

第3期 宜野湾市子ども・子育て支援事業計画に関する
ニーズ調査報告書

令和6年3月

宜野湾市

＜全体目次＞

第3期 宜野湾市子ども・子育て支援事業 計画に関するニーズ調査報告書

1. 子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査報告書 1

2. 子ども未来応援計画策定に係る
アンケート調査報告書 151

3. ひとり親家庭自立促進計画策定に係る
アンケート調査報告書 328

※調査ごとに別途詳細目次を掲載しています。

【第3期宜野湾市子ども・子育て支援事業計画に関するニーズ調査について】

第3期宜野湾市子ども・子育て支援事業計画は、本市の子ども・子育て施策をわかりやすく体系化し、一層充実させることを目的に、これまで個別策定していた「宜野湾市子ども未来応援計画」「宜野湾市ひとり親家庭自立促進計画」を包含し策定を進めているため、本報告書についても各計画に関する調査を包含して作成しています。

子ども・子育て支援事業計画策定に係る
ニーズ調査報告書

目 次

1. 調査の実施概要	1
2. 就学前児童家庭ニーズ調査結果	4
問1 お住まいの地区（行政区）	4
問1-1 住居年数	5
問2 子どもの年齢	5
問3 お子さんとの同居・近居の状況	6
問4 アンケートの回答者	6
問5 配偶関係	7
問6 子育てを主に行っている方	7
問7 お子さんの障がいや発達の遅れが気になっている状況	8
問8 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるか	9
問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況	9
問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況	10
問9 子どもの健康管理でやっていること	10
問10 子育てに関して不安や負担感などを感じているか	11
問11 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になること	12
問12 相談できる人や育児を助けられていると感じる人はいるか	13
問12-1 相談できる人や育児を助けられていると感じる人	13
問13 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいか	14
問14(1) 保護者（母親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）	14
問14(1)-1 1ヶ月当たりの就労時間（母親）	15
問14(2) 保護者（父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）	15
問14(2)-1 1ヶ月当たりの就労時間（父親）	16
問15(1) フルタイムへの転換希望（母親）	16
問15(2) フルタイムへの転換希望（父親）	17
問16(1) 就労希望（母親）	17
問16(2) 就労希望（父親）	19
問16(3) 家庭の年間収入	20
問17 定期的な教育・保育の事業の利用状況	21
問17-1 平日、どのような教育・保育の事業を利用しているか	21
問17-3 現在利用している教育・保育の事業の実施場所	22
問17-4 平日の教育・保育の事業の利用理由	22
問17-5 平日の教育・保育の事業の利用意向	23
問17-6 現在利用している施設の満足度	23
問17-7 現在利用している施設の不満理由	23
問17-8 教育・保育の事業を利用していない理由	24
問18 希望した時期に、希望した保育サービスを利用できたか	24
問19 平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業	25
問19-1 幼稚園の利用希望	26

問 19-2	教育・保育事業を利用したい場所	26
問 19-3	保育所や幼稚園等を選ぶ際に重視したこと、重視すること	27
問 20	現在の地域子育て支援拠点事業等の利用状況	27
問 21	地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向	28
問 22	現在お住いの地域は子育てしやすいと思うか	28
問 23	子どもとの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったこと	29
問 24	サービスの認知度、利用状況、利用希望について	30
問 25	土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望	36
問 26	長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望（幼稚園）	37
問 27	お子さんが病気やケガで事業を利用できなかったこと	37
問 27-1	病気やケガで通常サービスが利用できなかった場合の対処方法	38
問 27-2	「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の意向	38
問 27-3	病児・病後児保育施設等を利用したい場合の望ましい事業形態	39
問 27-4	病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由	39
問 27-5	できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか	40
問 27-6	休んで看ることが難しい理由	40
問 28	不定期に利用している事業	41
問 28-1	事業を現在利用していない理由	42
問 29	事業の利用希望	42
問 29-1	事業を利用したい場合の望ましい形態	43
問 30	お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないこと	44
問 30-1	お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらった際の困難度	45
問 31	夜間養護等事業（トワイライトステイ）の利用希望	45
問 32	短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望（令和5年のみ）	46
問 33	平日の放課後の過ごし方（低学年）	47
問 34	平日の放課後の過ごし方（高学年）	48
問 34-1	放課後児童クラブを利用したいと思う事業形態	48
問 35	育児休業取得について	49
問 35-1	育児給付金の支給の仕組みや保険料免除になる仕組みの認知度	51
問 35-2	育児休暇後の職場への復帰について	51
問 35-3	育児休暇後の職場に復帰したタイミング	52
問 35-6	希望の時期に職場復帰しなかった理由	53
問 35-7	職場復帰時の短時間勤務制度の利用について	55
問 35-8	短時間勤務制度を利用しなかった理由	56
問 35-9	1歳になるまでの育児休業取得希望	57
問 36	子育てにはどのような支援が必要だと思うか	58
問 37	教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関しての意見	59
3.	調査票（就学前児童用）	88
4.	小学生児童家庭ニーズ調査の結果	97
問 1	お子さんが通学している小学校	97
問 1-1	問 1 で回答した小学校区に住んで通算何年になるか	97

問 2	子どもの学年	98
問 3	お子さんの人数	98
問 4	お子さんとの同居・近居の状況	99
問 5	お子さんの身の回りの世話などを主にしている方	99
問 6	お子さんの障がいや発達の遅れが気になっている状況	100
問 7	保護者以外にお子さんを預かってもらえる人はいるか	101
問 7-1	祖父母に預かってもらっている状況	101
問 7-2	知人に預かってもらっている状況	101
問 8	お子さんは毎日朝食を食べているか	102
問 9	子育てに関して不安や負担感などを感じているか	102
問 10	子育てに関して日頃悩んでいること、または気になること	103
問 11	相談できる人や育児を助けられていると感じる人はいるか	104
問 12	子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいか	105
問 13	子育てに関する情報入手先	105
問 14(1)	保護者（母親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）	106
問 14(1)-1	1ヶ月当たりの就労時間（母親）	106
問 14(2)	保護者（父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）	107
問 14(2)-1	1ヶ月当たりの就労時間（父親）	107
問 15(1)	フルタイムへの転換希望（母親）	108
問 15(2)	フルタイムへの転換希望（父親）	108
問 16(1)	就労希望（母親）	109
問 16(2)	就労希望（父親）	110
問 16(3)	家庭の年間収入	111
問 17	サービスの認知度、利用状況、利用希望について	112
問 18	現在住んでいる地域は子育てしやすいと思うか	115
問 19	子どもとの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったこと	115
問 20	お子さんが病気やケガで学校を休んだこと	116
問 20-1	子どもが学校を休んだ場合の対処方法	116
問 20-2	病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか	117
問 21	夜間養護等事業（トワイライトステイ）の利用希望	117
問 22	短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望（令和5年のみ）	118
問 23	放課後の過ごし方（現状）	119
問 23-1	放課後児童クラブの利用時間	119
問 23-2	放課後児童クラブの利用経験や利用希望	120
問 23-3	放課後児童クラブを「利用しなくなった」・「利用しなかった理由」	121
問 24	小学校高学年に放課後に過ごさせたい場所	121
問 25	土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望	122
問 26	夏休み・冬休みなどの放課後児童クラブの利用希望	123
問 27	子育てにはどのような支援が必要だと思うか	123
問 28	教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関しての意見	124
5.	調査票（小学生用）	147

1. 調査の実施概要

(1) 調査の目的

「第3期宜野湾市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、市民の皆様の子育て環境や教育・保育の利用状況並びに今後の利用希望などを把握し、子ども・子育て支援施策の検討に活用することを目的とします。

(2) 調査の対象者

- ①就学前児童家庭：住民基本台帳より行政区等を考慮し、3,500件を無作為抽出
- ②小学校児童家庭：市内9小学校の各学年1クラスを対象（全54クラス）

(3) 調査方法

- ①就学前児童家庭
無作為抽出した対象児童3,500件全て、郵送による配布回収を実施。
- ②小学校児童家庭
市内の小学校を通じて配布・回収（WEB併用）を実施。

(4) 調査期間

- ①就学前児童家庭
令和5年11月20日～12月20日
- ②小学校児童家庭
令和5年11月20日～12月15日

(5) 回収率

回収率は、就学前児童家庭が49.2%、小学校児童家庭が61.2%。

ニーズ調査	回収数	配布数	回収率(%)
就学前児童家庭	1,723	3,500	49.2%
小学校児童家庭	1,041	1,700	61.2%

参考：第二期ニーズ調査（H30年度）※調査期間 平成31年1月8日～25日
回収率は、就学前児童家庭が45.5%、小学校児童家庭が81.2%。

ニーズ調査	回収数	配布数	回収率(%)
就学前児童家庭	1,365	3,000	45.5%
小学校児童家庭	1,380	1,700	81.2%

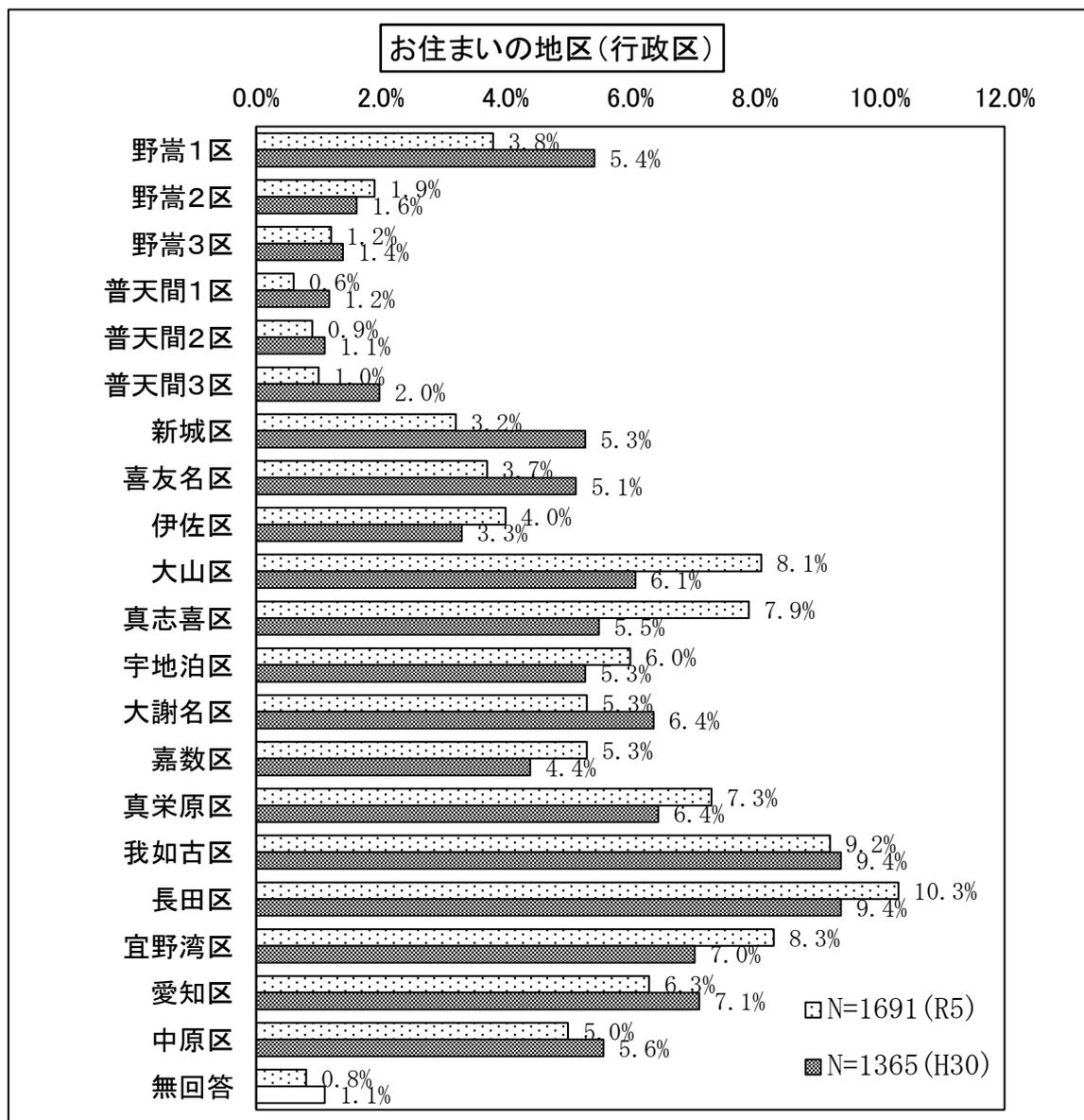
就学前兒童集計結果

2. 就学前児童家庭ニーズ調査結果

問1 お住まいの地区（行政区）

回答者の住んでいる地区は、平成30年は「我如古区」「長田区」が最も高い。一方、令和5年では「長田区」が最も高く、「我如古区」はやや減少している。

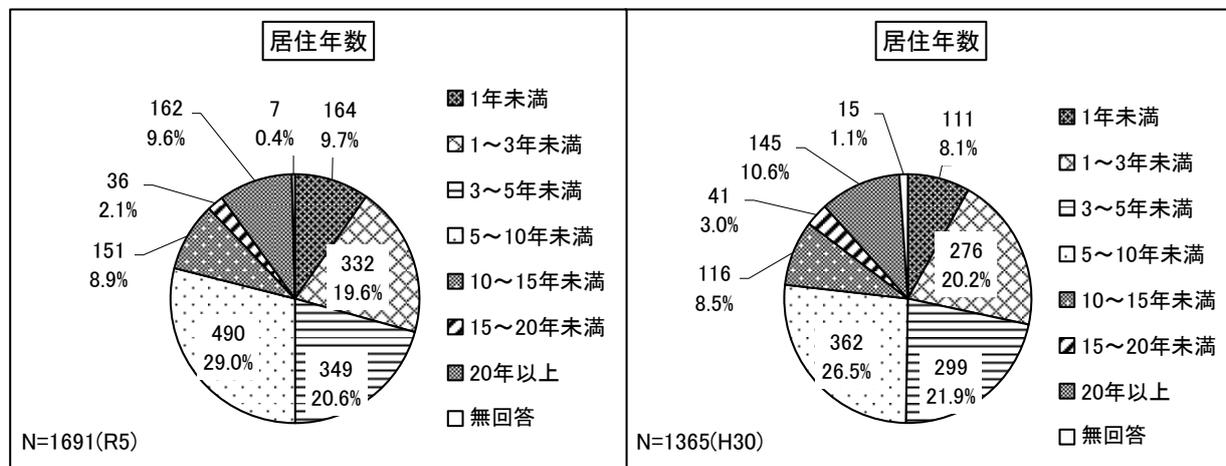
図表1. お住まいの地区（行政区）



問 1-1 住居年数

現在住んでいる行政区に住んで通算何年になるかについては、令和 5 年・平成 30 年共に大きな変化はなく、現在の行政区に住んで 10 年未満の方が約 7 割を占めている。

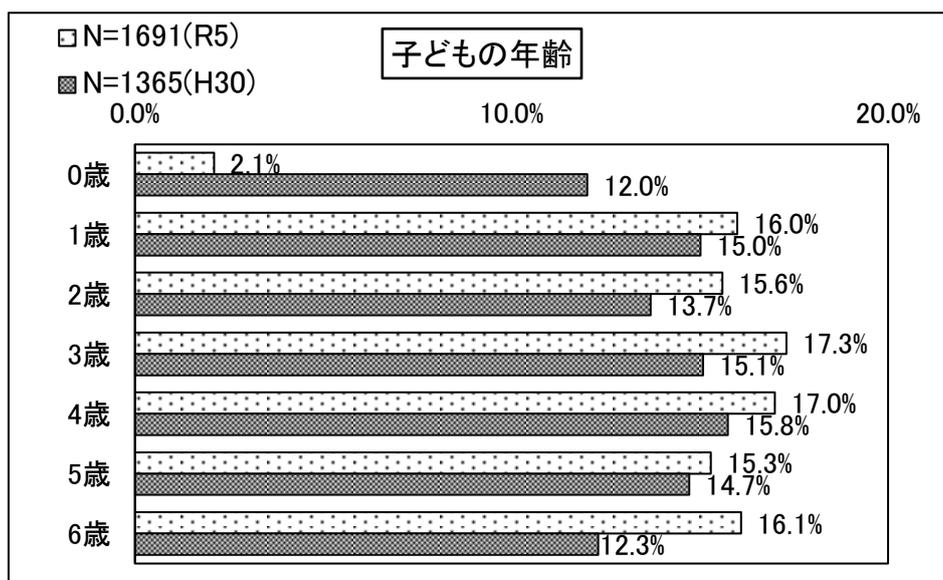
図表2. 居住年数



問 2 子どもの年齢

子どもの年齢は、令和 5 年では「1 歳～6 歳」の年齢が増加しているが、「0 歳」が 2.1%と最も低く、平成 30 年に比べると約 10%減少している。減少した要因としては、平成 30 年は「0 歳」の対象児を生後 3 か月以上に設定しているのに対し、令和 5 年は、生後 6 か月以上を設定したことにより対象数の差が生じたためである。

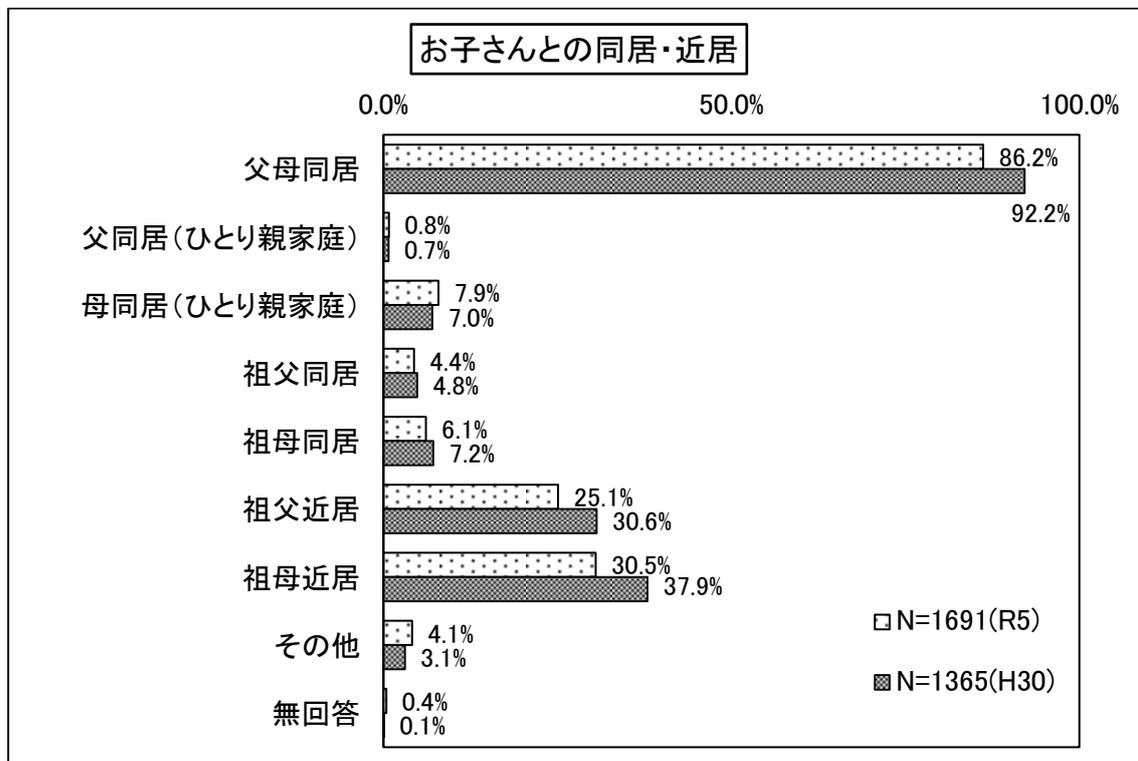
図表3. 子どもの年齢



問3 お子さんとの同居・近居の状況（複数回答）

お子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）については、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、「父母同居」が最も高く、「父同居（ひとり親家庭）」が最も低い。

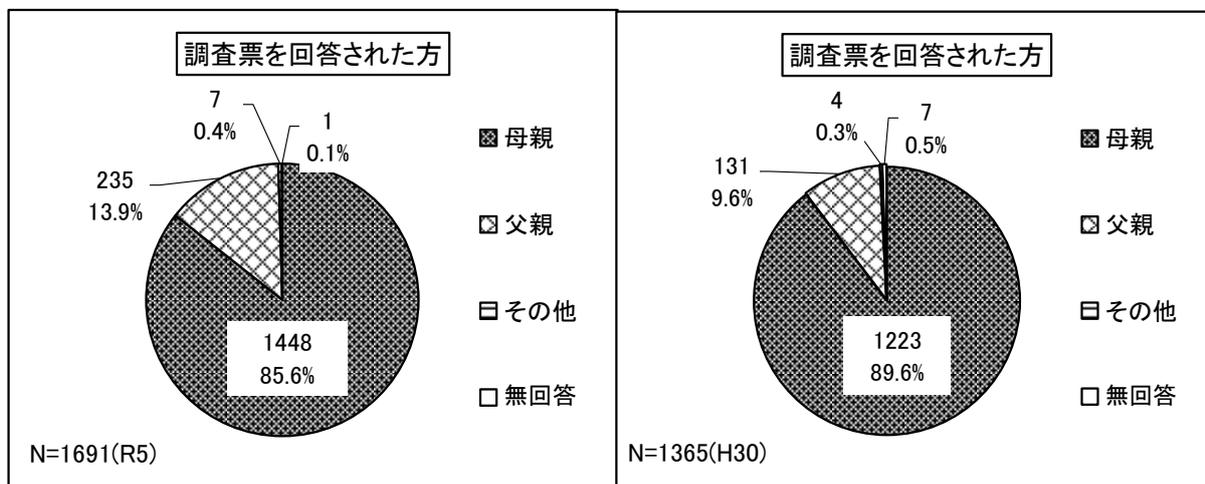
図表4. お子さんとの同居・近居の状況（複数回答）



問4 アンケートの回答者

アンケートの回答者は、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、「母親」の回答が最も高い。

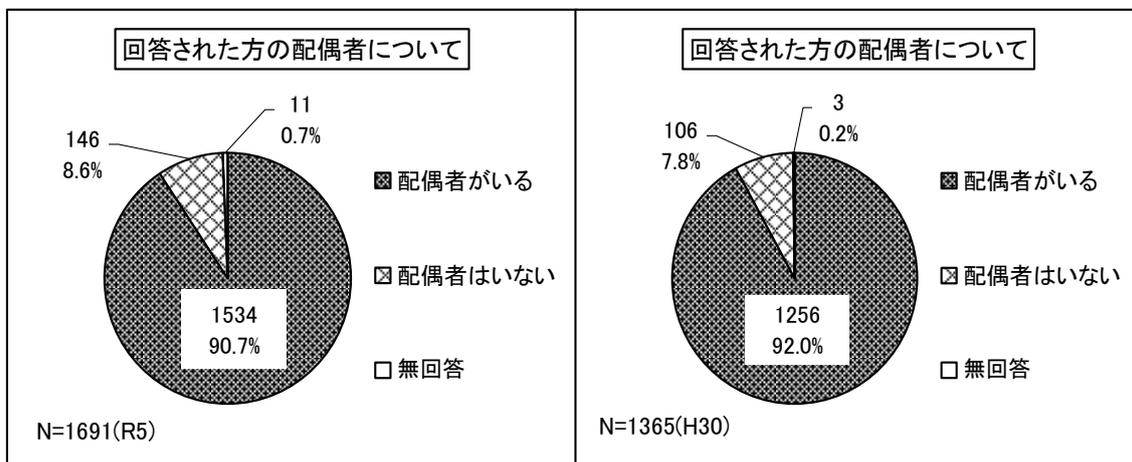
図表5. アンケートの回答者



問5 配偶関係

アンケートの回答者の配偶関係は、令和5年・平成30年共に「配偶者がいる」が9割を占めているが、平成30年より令和5年ではやや減少し、「配偶者がいない」がやや増加している。

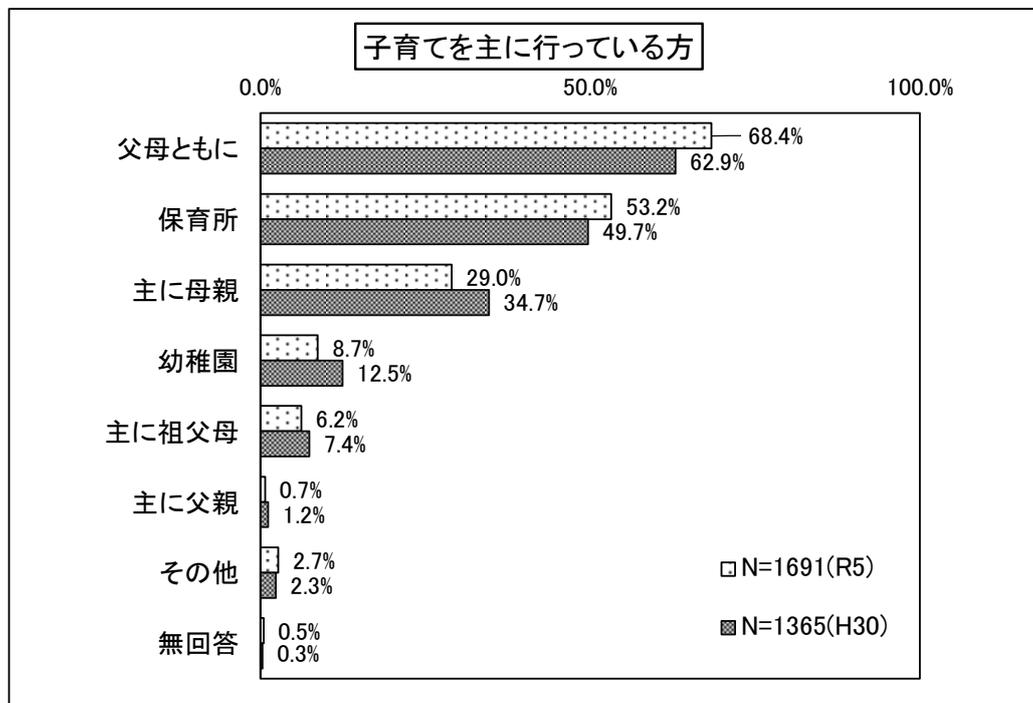
図表6. 配偶関係



問6 子育てを主に行っている方（複数回答）

子どもの子育てを主に行っているのは、「父母ともに」「保育所」が平成30年より令和5年で高くなっている。

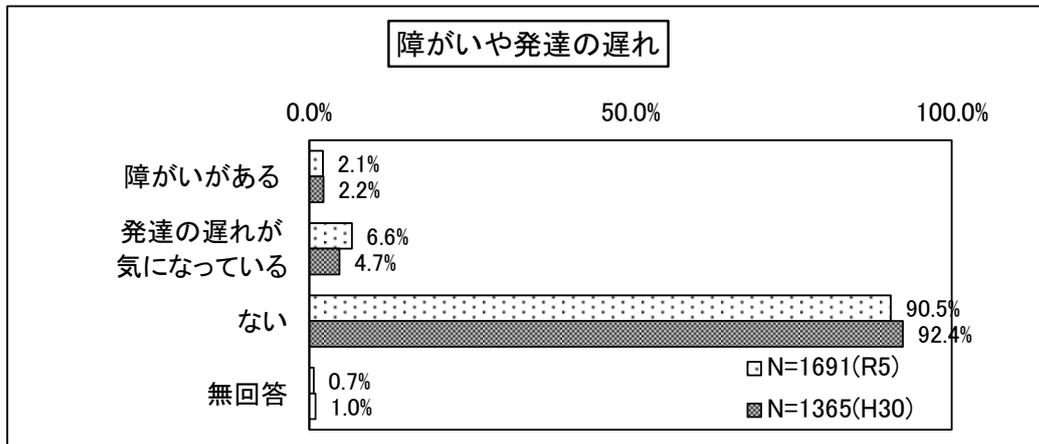
図表7. 子育てを主に行っている方（複数回答）



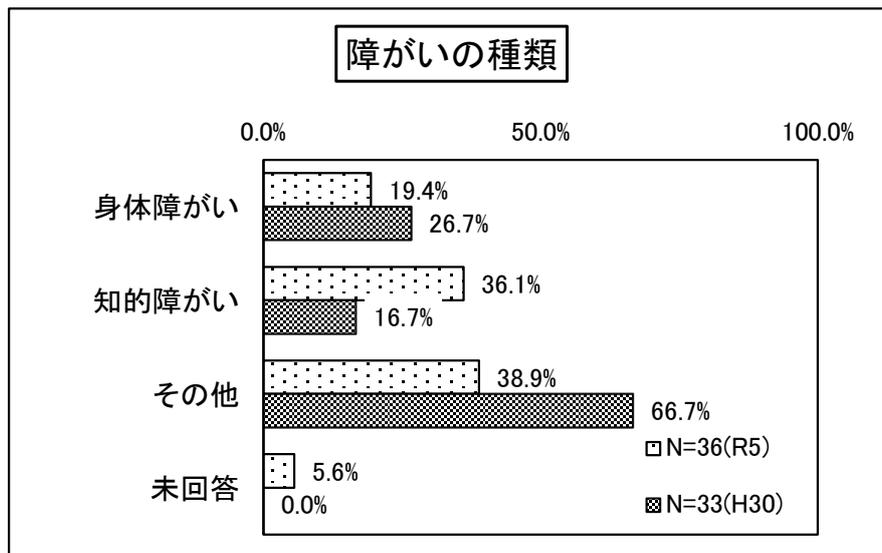
問7 お子さんの障がいや発達の遅れが気になっている状況

障がいや発達の遅れが気になっている状況については、令和5年・平成30年共に大きな変化はないが「発達の遅れが気になっている」が、平成30年より令和5年では、やや増加している。

図表8. お子さんの障がいや発達の遅れが気になっている状況



図表9. 障がいの種類について

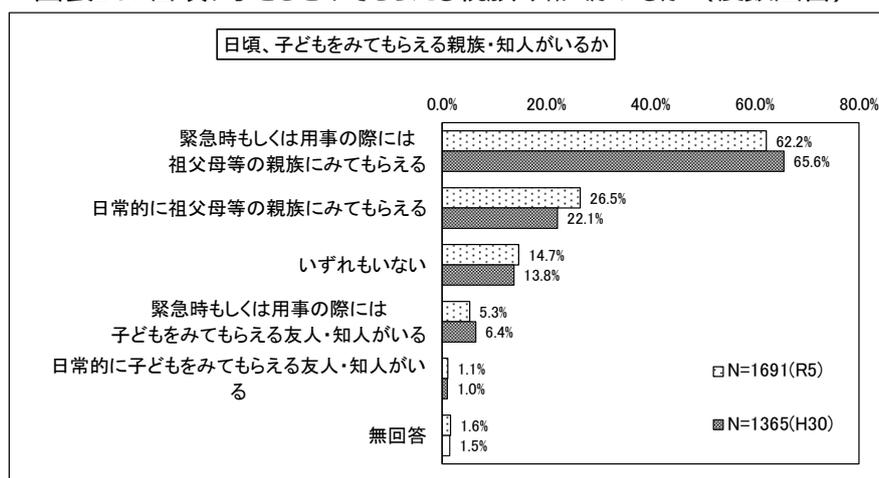


問8 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるか（複数回答）

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」の割合が令和5年でやや減少している。

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「いずれもない」の割合は令和5年でやや増加している。

図表10. 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人がいるか（複数回答）

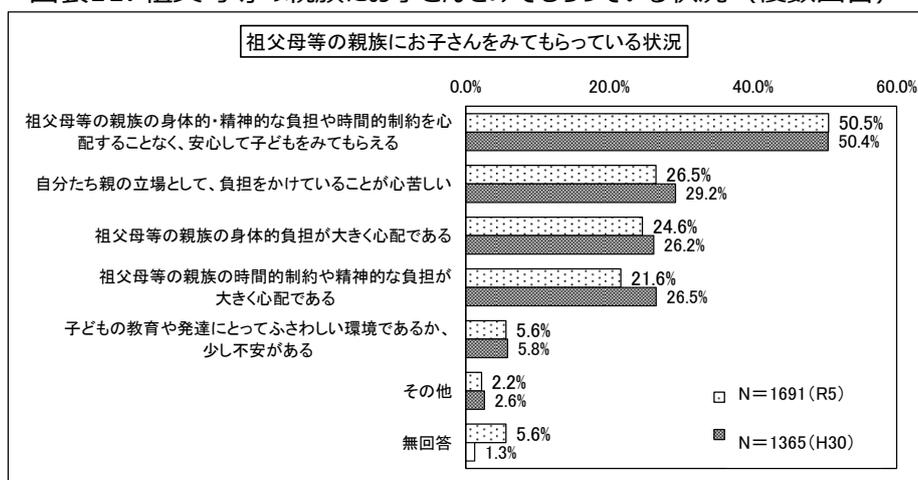


問8で「1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」に○をつけた方のみ

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況（複数回答）

祖父母等の親族に子どもをみてもらっている状況については、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が共に5割以上となっている。

図表11. 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況（複数回答）

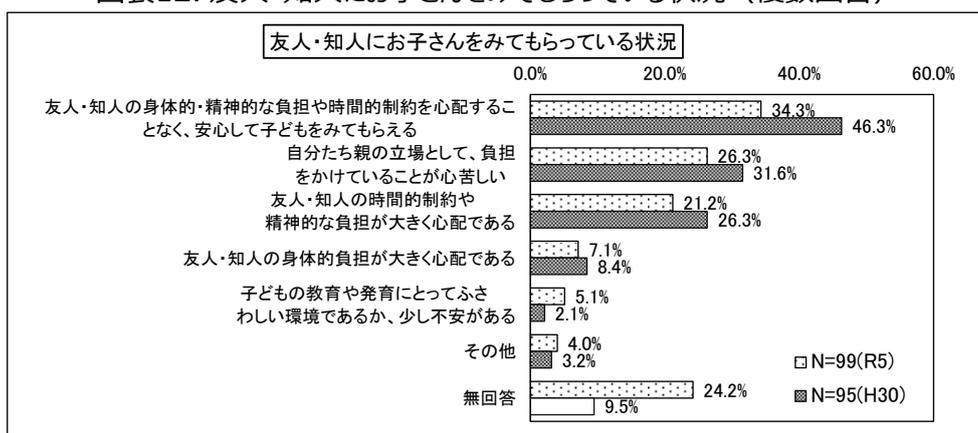


問 8 で「3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」に○をつけた方のみ

問 8-2 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況（複数回答）

友人・知人に子どもをみてもらっている状況については、令和 5 年は平成 30 年より「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が減少し、「子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある」が増加している。

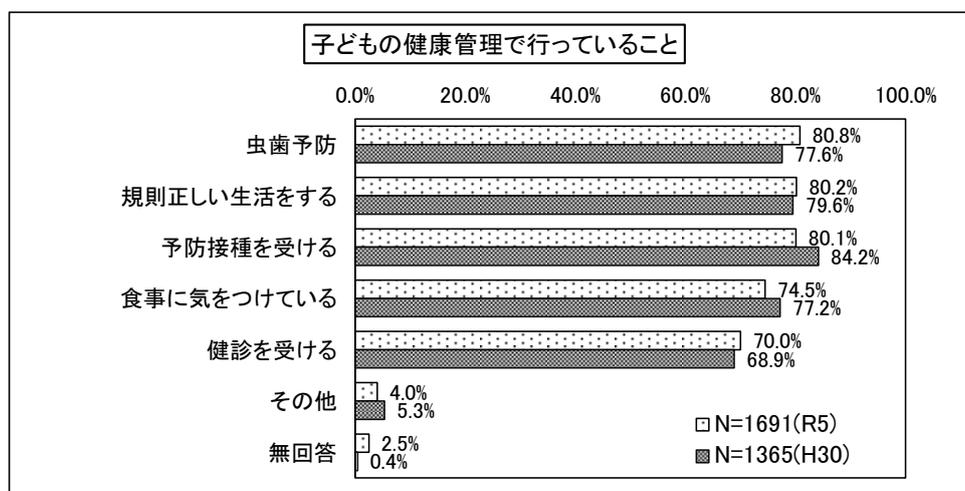
図表12. 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況（複数回答）



問 9 子どもの健康管理でやっていること（複数回答）

子どもの健康管理で行っていることは、平成 30 年では「予防接種を受ける」が最も高いが、令和 5 年では「虫歯予防」が最も高い。どの項目においても高い割合となっている。

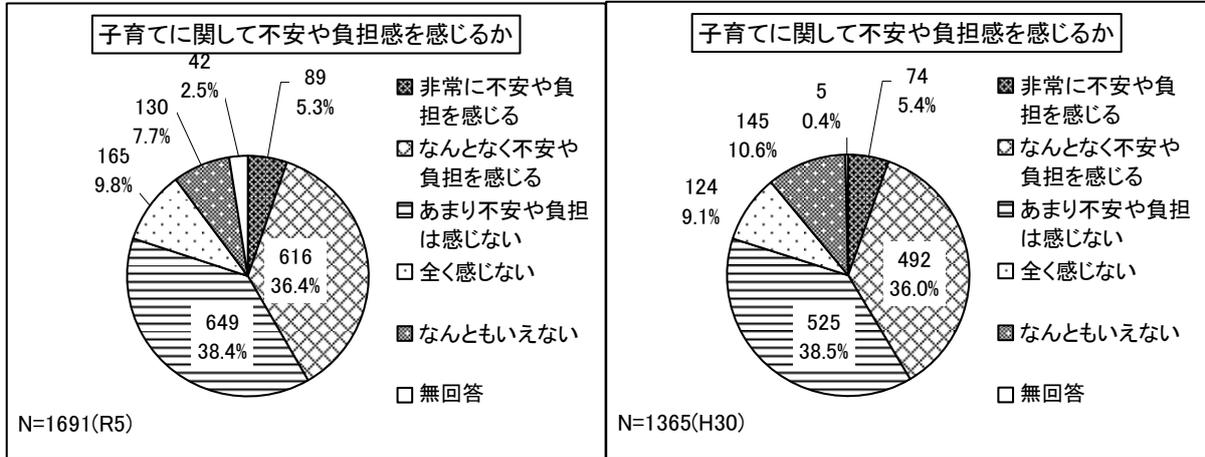
図表13. 子どもの健康管理で行っていること（複数回答）



問 10 子育てに関して不安や負担感などを感じているか

子育てに関しての不安や負担感については、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、回答者の約4割の方が子育てに関して何らかの不安や負担を感じている。

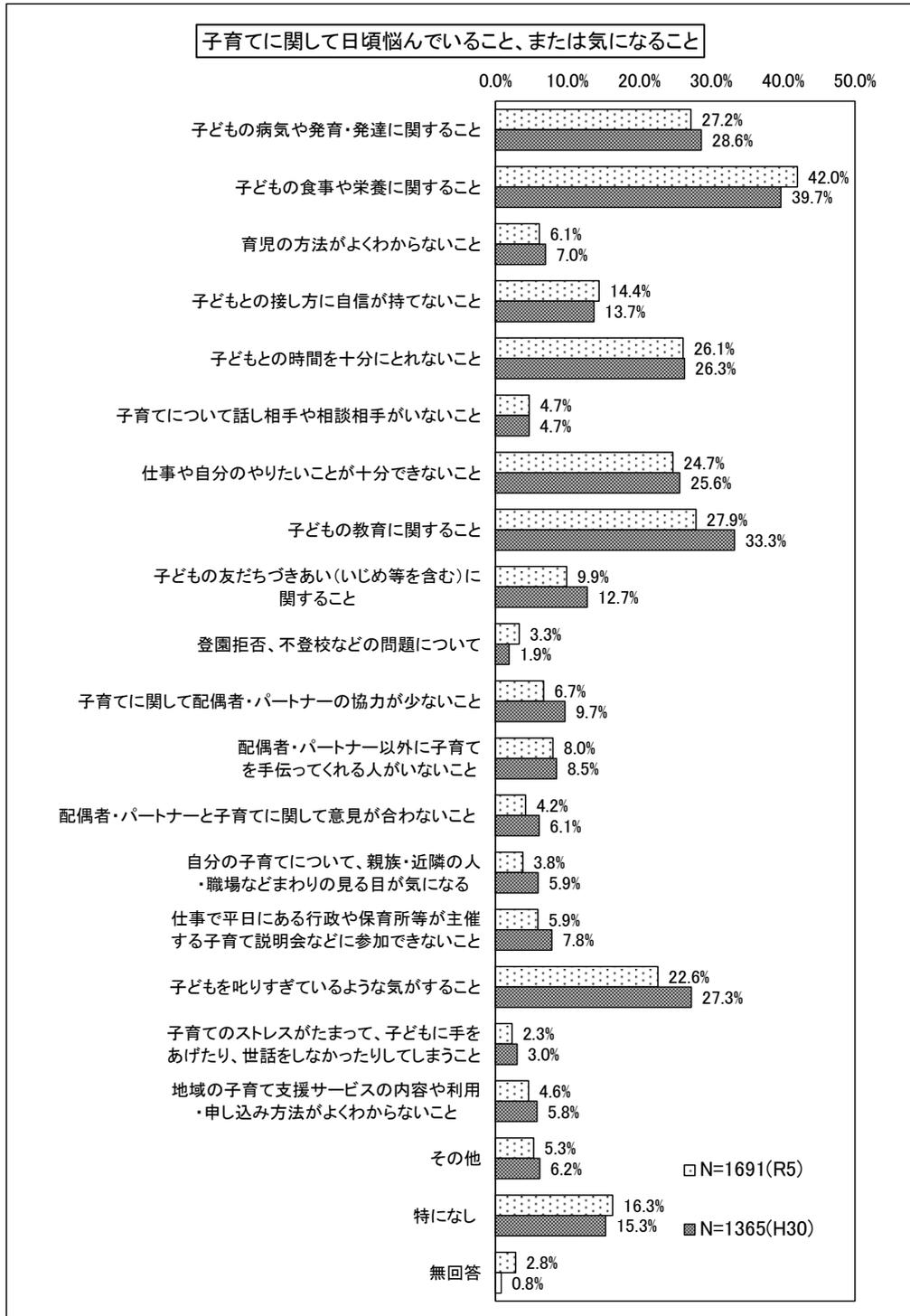
図表14. 子育てに関して不安や負担感などを感じているか



問 11 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になること

子育てに関して日頃悩んでいることなどについては、令和5年・平成30年共に上位3つ「子どもの食事や栄養に関すること」「子どもの教育に関すること」「子どもの病気や発育・発達に関すること」に大きな変化はない。

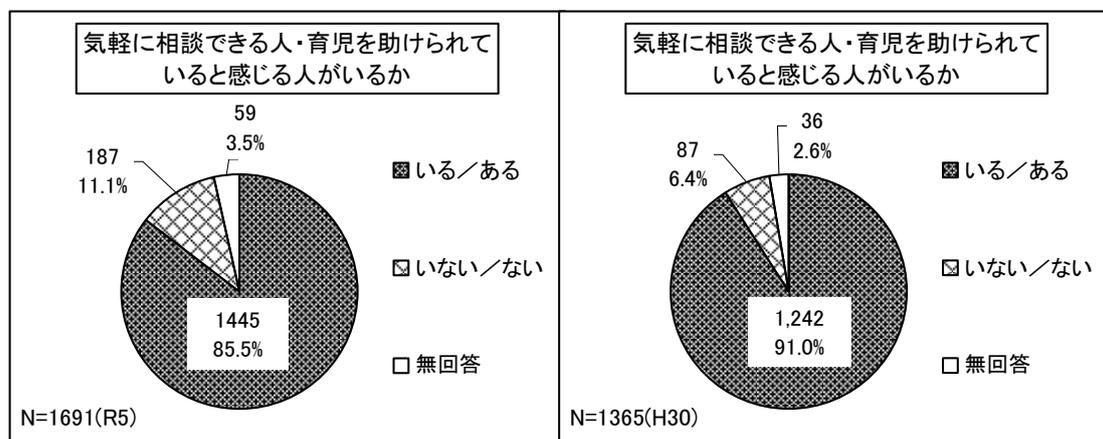
図表15. 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になること



問 12 相談できる人や育児を助けられていると感じる人はいるか

子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）や育児を助けられていると感じている人（場所）について、「いる/ある」の割合が平成 30 年より令和 5 年で 5.5 ポイント減少し、「いない・ない」の割合が 4.7 ポイント増加している。

図表16. 相談できる人や育児を助けられていると感じる人はいるか

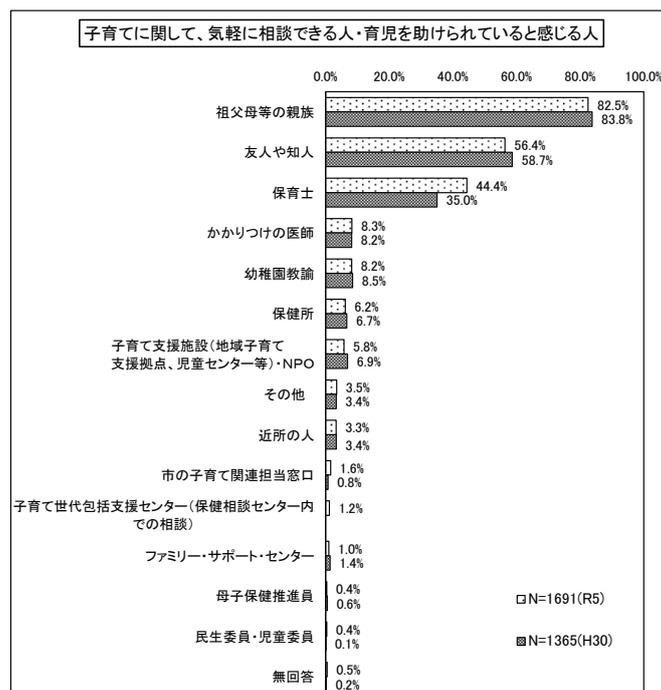


問 12 で「1. いる/ある」に○をつけた方のみ回答

問 12-1 相談できる人や育児を助けられていると感じる人（複数回答）

子育てに関して、気軽に相談できる人・育児を助けられていると感じる人については、「保育士」が平成 30 年より令和 5 年で増加している。どちらも「祖父母等の親族」が最も高く、8割を占めている。

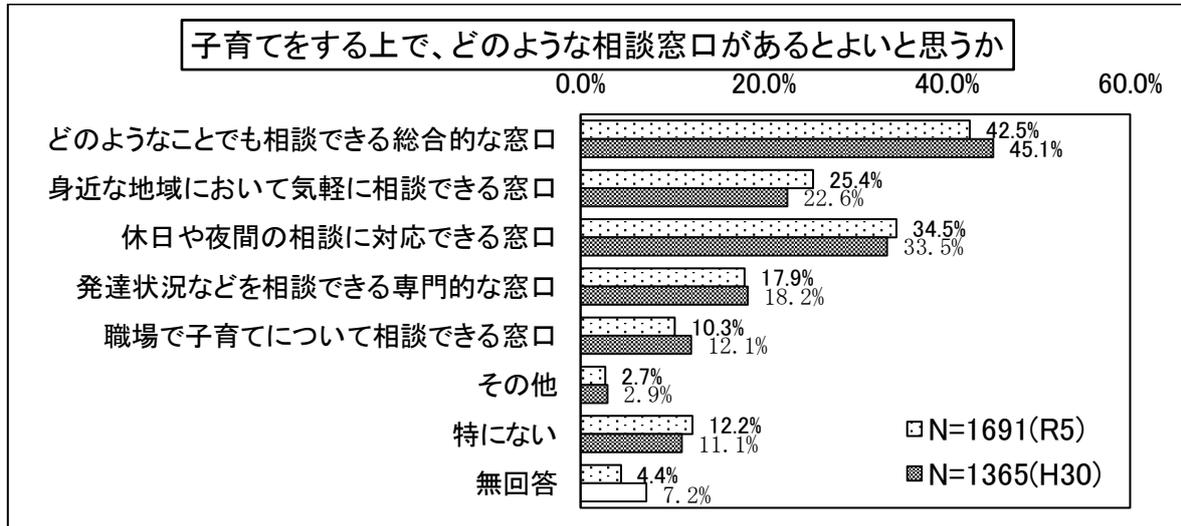
図表17. 相談できる人や育児を助けられていると感じる人（複数回答）



問 13 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいか（複数回答2つまで）

子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいと思うかについては、令和5年では、「身近な地域において気軽に相談できる窓口」「休日や夜間の相談に対応できる窓口」の割合がやや増加している。

図表18. 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいか（複数回答2つまで）

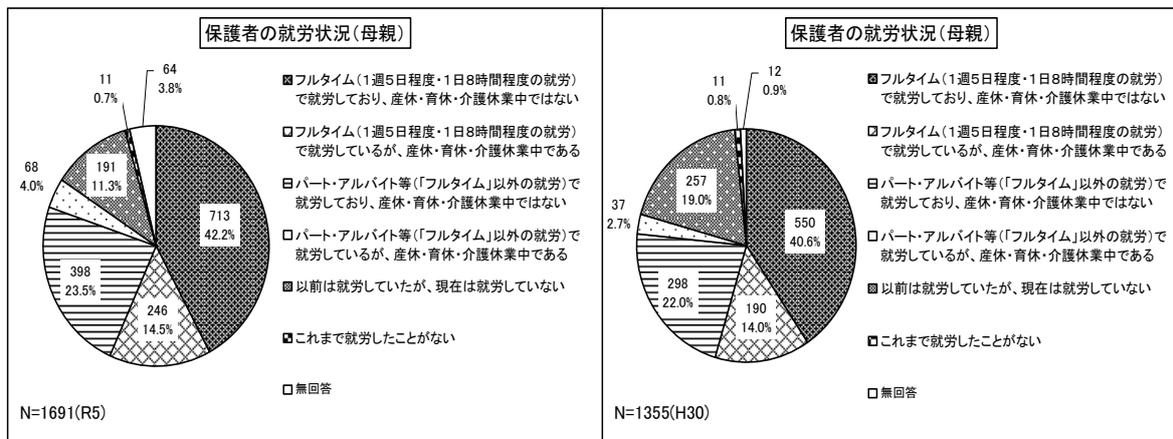


問 14(1) 保護者（母親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

【母親】

母親の就労状況については、平成30年では休業中を含め、母親の79.3%が就労していると回答しているが、令和5年ではやや増加し、84.2%が就労していると回答している。

図表19. 【母親】保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）



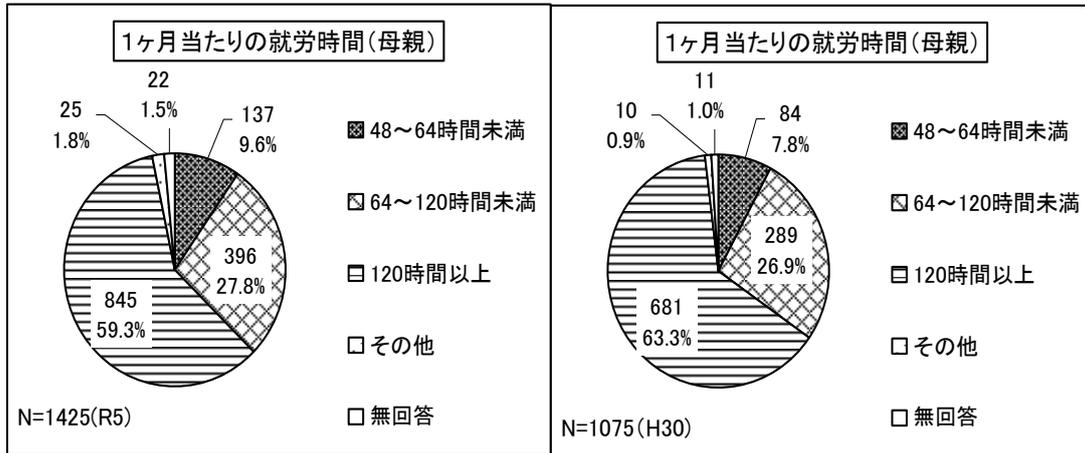
問 14(1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方のみ

問 14(1)-1 1ヶ月当たりの就労時間(母親)

【母親】

母親の1ヶ月あたりの就労時間は、「120時間以上」が平成30年より令和5年でやや減少し、「48～64時間未満」「64～120時間未満」がやや増加している。

図表20.【母親】1ヶ月当たりの就労時間(残業時間含む)



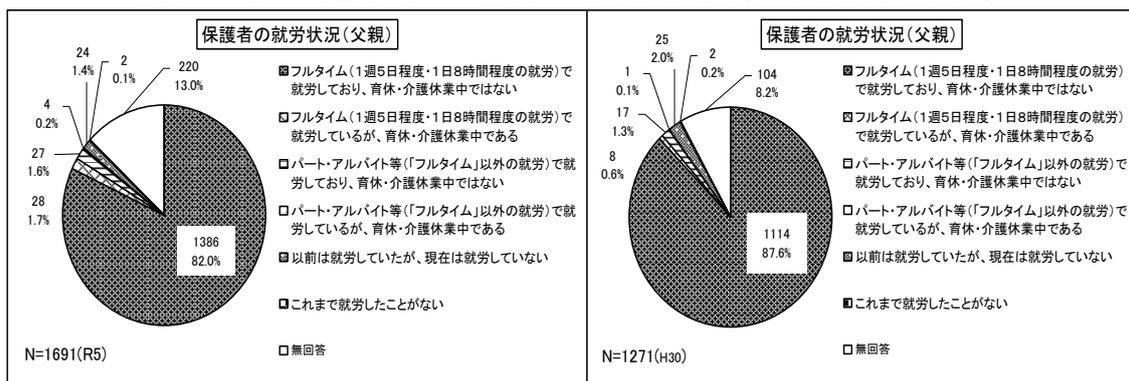
問 14(2) 保護者(父親)の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)

【父親】

父親の就労状況については、平成30年では、父親の0.7%が休業中であると回答しているが、令和5年ではやや増加し、1.9%が休業中であると回答している。

また、「フルタイムで就労している」割合が令和5年ではやや減少している。

図表21.【父親】保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)



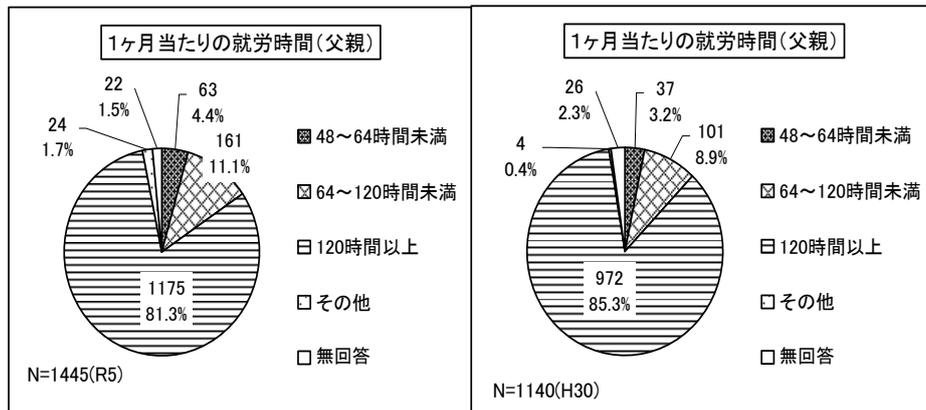
問 14(2)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方のみ

問 14(2)-1 1ヶ月当たりの就労時間(父親)

【父親】

父親の1ヶ月あたりの就労時間は、「120時間以上」が平成30年より令和5年でやや減少し、「48～64時間未満」「64～120時間未満」がやや増加している。

図表22.【父親】1ヶ月当たりの就労時間(残業時間含む)



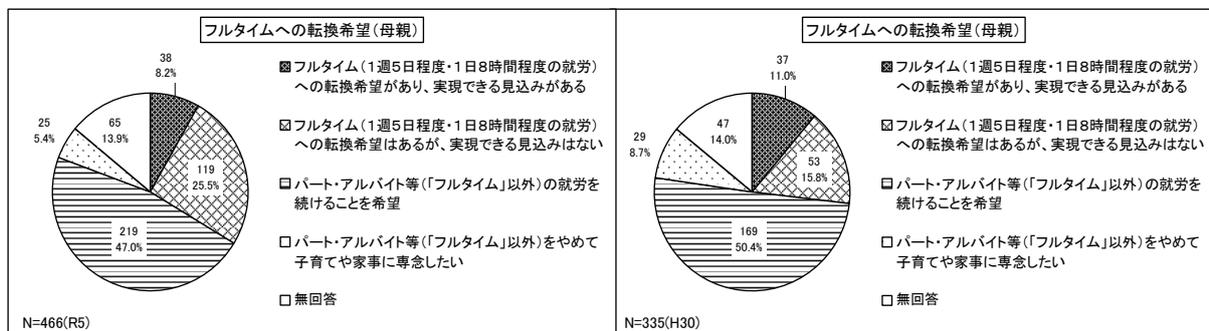
問 14の(1)または(2)で「3. 4」(パート・アルバイト等で就労している)につけた方のみ

問 15(1) フルタイムへの転換希望(母親)

【母親】

パート・アルバイト等で就労している母親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が平成30年より令和5年でやや増加し、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」がやや減少している。

図表23.【母親】フルタイムへの転換希望

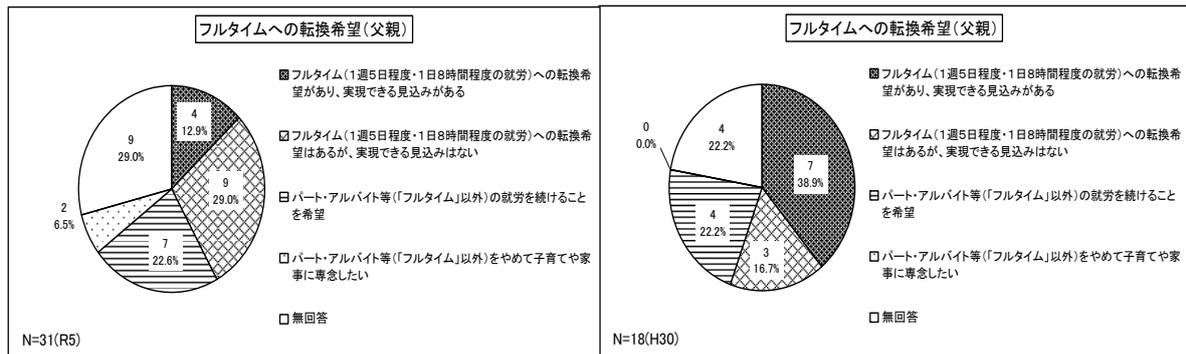


問 15(2) フルタイムへの転換希望（父親）

【父親】

パート・アルバイト等で就労している父親のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が平成 30 年より令和 5 年で増加し、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が大幅に減少している。

図表24. 【父親】フルタイムへの転換希望



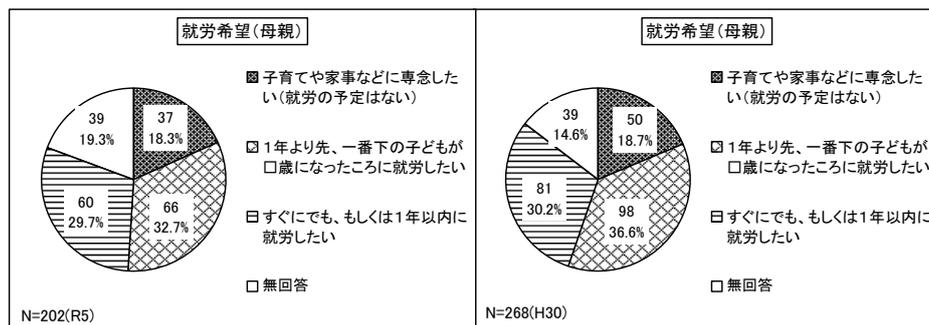
問 14 の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

問 16(1) 就労希望（母親）

【母親】

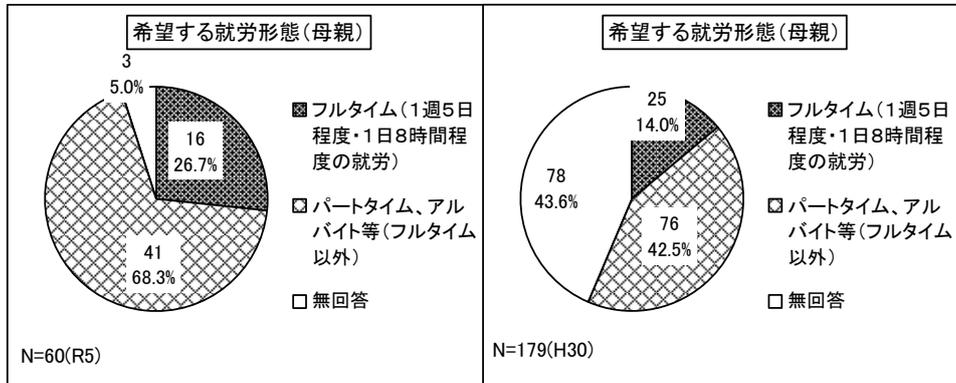
母親の就労希望については、令和 5 年・平成 30 年共に大きな変化はない。「1 年より先、一番下の子どもが○歳になったところに就労したい」で令和 5 では平成 30 年より 3.9 ポイント低くなっている。

図表25. 【母親】就労希望



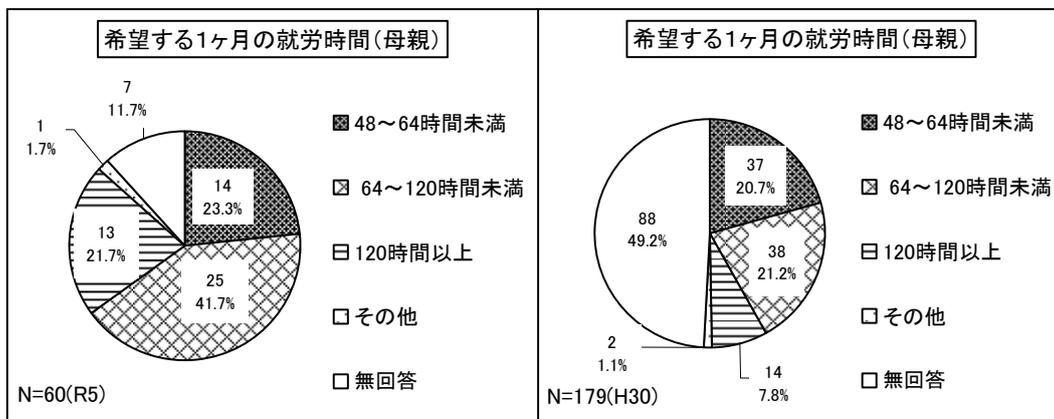
就労を希望する母親の望む就労形態は、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」「パートタイム、アルバイト等(フルタイム以外)」が、平成30年より令和5年で増加している。

図表26. 【母親】希望する就労形態



母親の希望する1ヶ月当たりの就労時間は、「48～64時間未満」「64～120時間未満」「120時間以上」が、平成30年より令和5年で増加している。

図表27. 【母親】希望する1ヶ月の就労時間

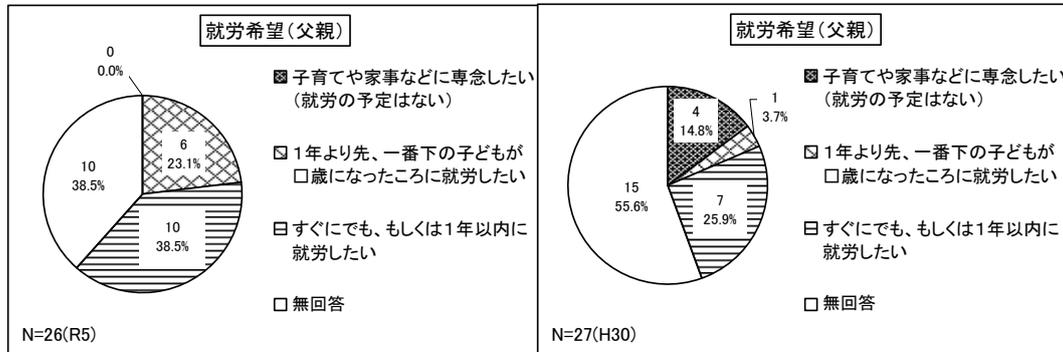


問 16(2) 就労希望（父親）

【父親】

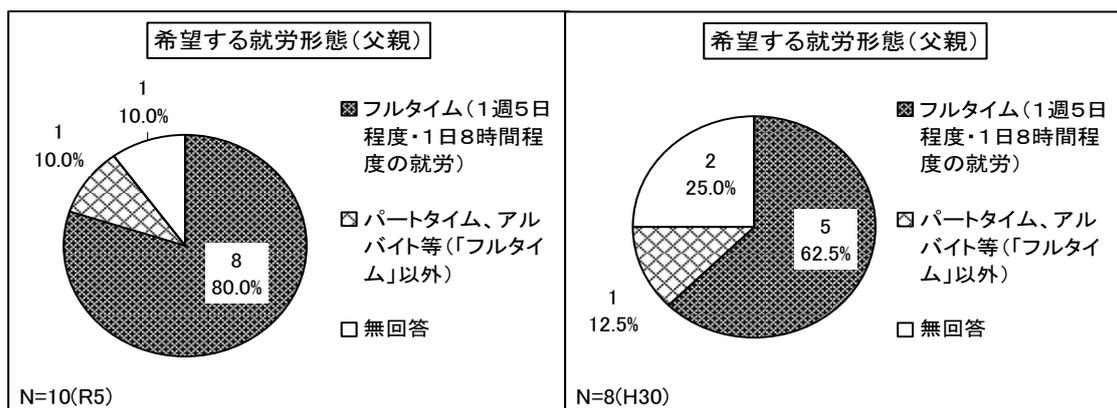
父親の就労希望については、平成 30 年では「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 14.8%（4 人）いたが、令和 5 年では、0.0%である。

図表28. 【父親】就労希望



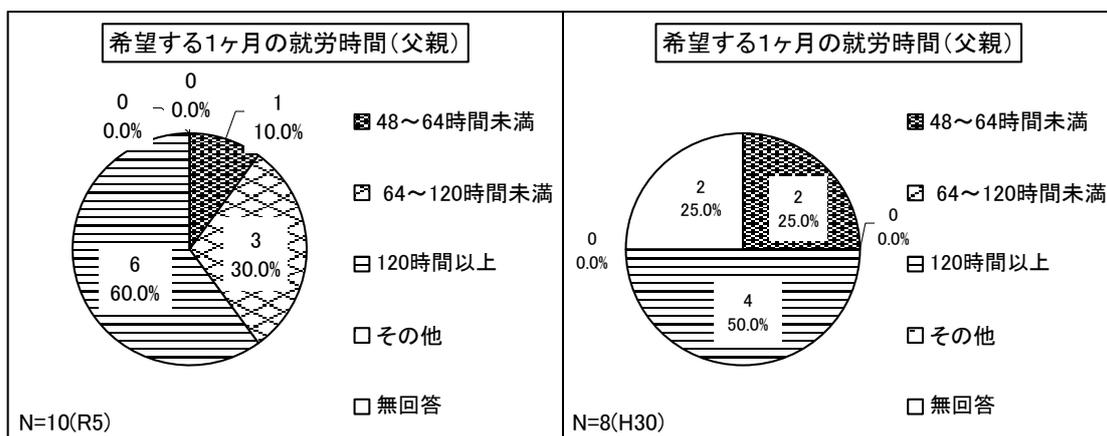
就労を希望する父親の望む就労形態について、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が、平成30年より令和5年で増加している。

図表29. 【父親】希望する就労形態



父親の希望する1ヶ月当たりの就労時間は、「120時間以上」が最も多く、令和5年は60.0%となっており、平成30年の50.0%より10ポイント高くなっている。

図表30. 【父親】希望する1ヶ月の就労時間

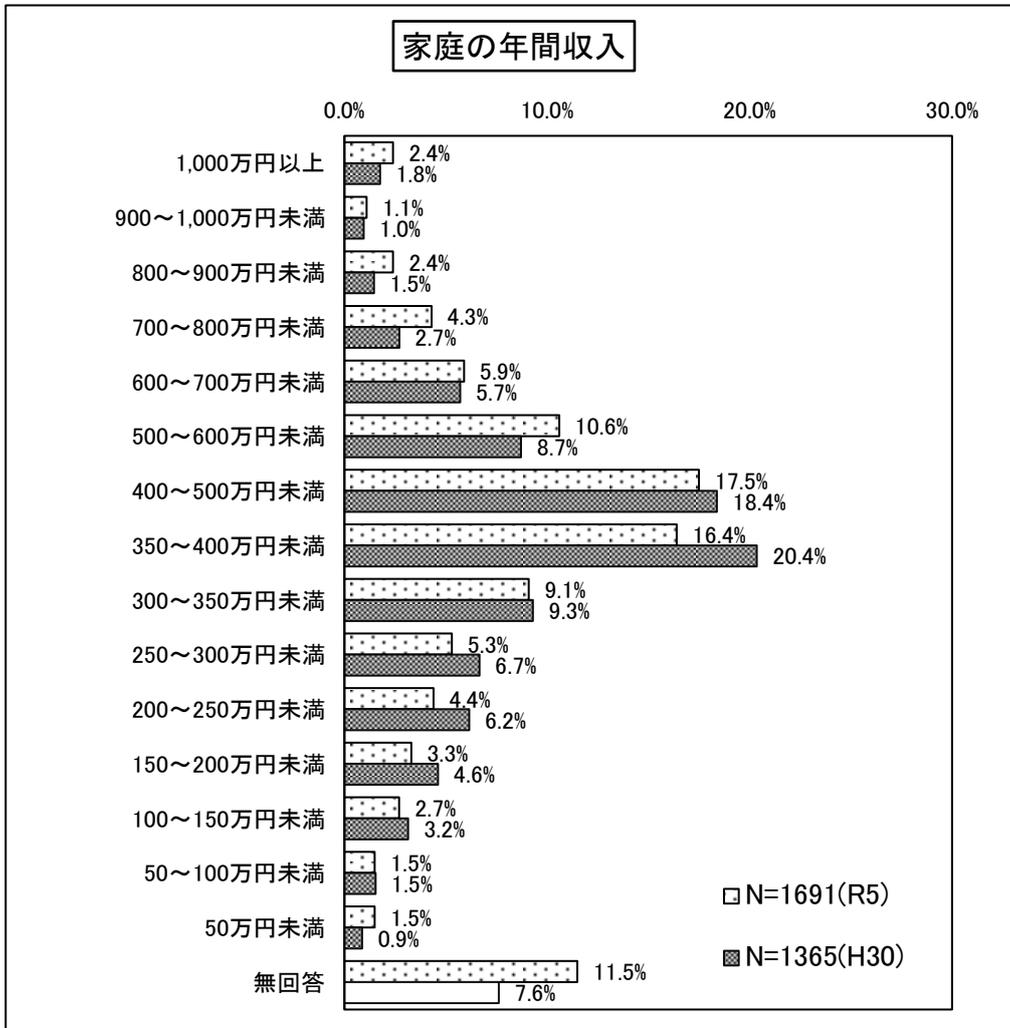


問 16(3) 家庭の年間収入

家庭における年間の収入（手取り）については、平成 30 年では「350～400 万円未満」が最も高いが、令和 5 年では「400～500 万円未満」が最も高い。

また、平成 30 年より令和 5 年では、500 万円以上の収入の割合が高くなっている。

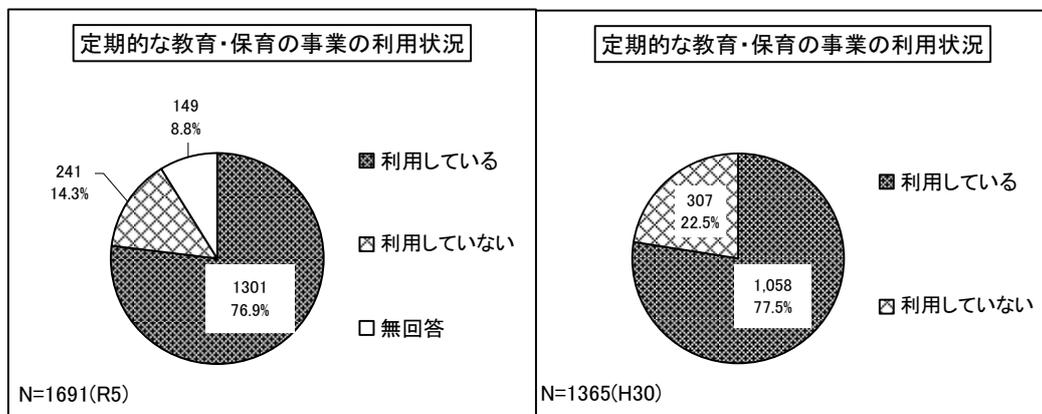
図表31. 家庭の年間収入



問 17 定期的な教育・保育の事業の利用状況

現在の定期的な教育・保育の事業の利用状況については、「利用していない」が平成30年よりも令和5年で減少している。「利用している」割合は、ほぼ同じである。

図表32. 「定期的な教育・保育の事業」の利用状況

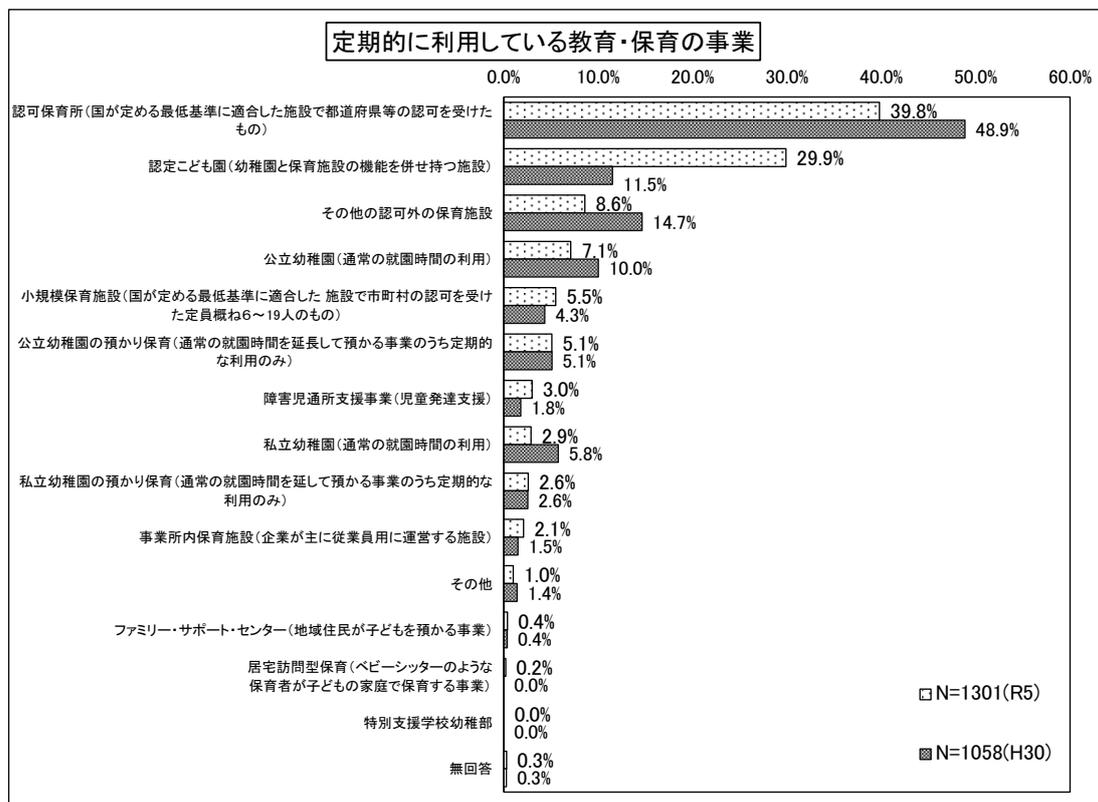


問 17-1～問 17-7 は、問 17 で「1. 利用している」に○をつけた方のみ

問 17-1 平日、どのような教育・保育の事業を利用しているか

定期的にご利用している教育・保育の事業については、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」の割合が平成30年より2倍以上増加している。増加した要因としては、認可保育所の認定こども園移行が進んだことが挙げられる。

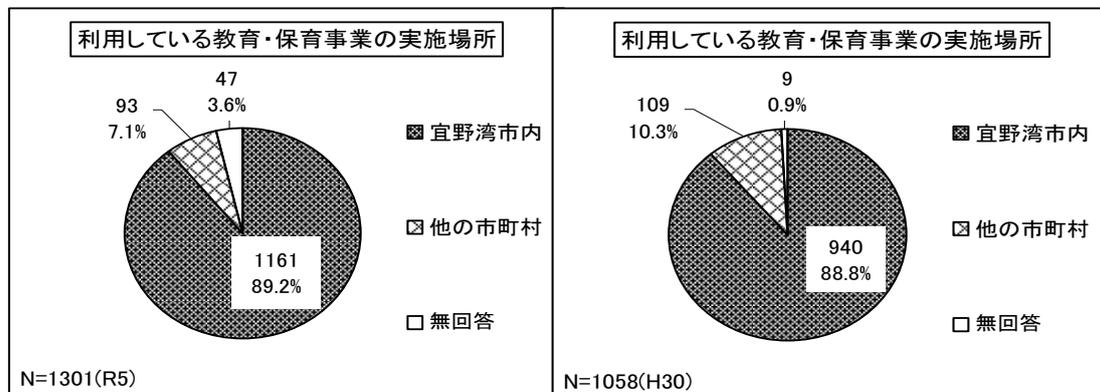
図表33. 平日、どのような教育・保育の事業を利用しているか



問 17-3 現在利用している教育・保育の事業の実施場所

平日の教育・保育の事業の実施場所については、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく「宜野湾市内」が9割程となる、

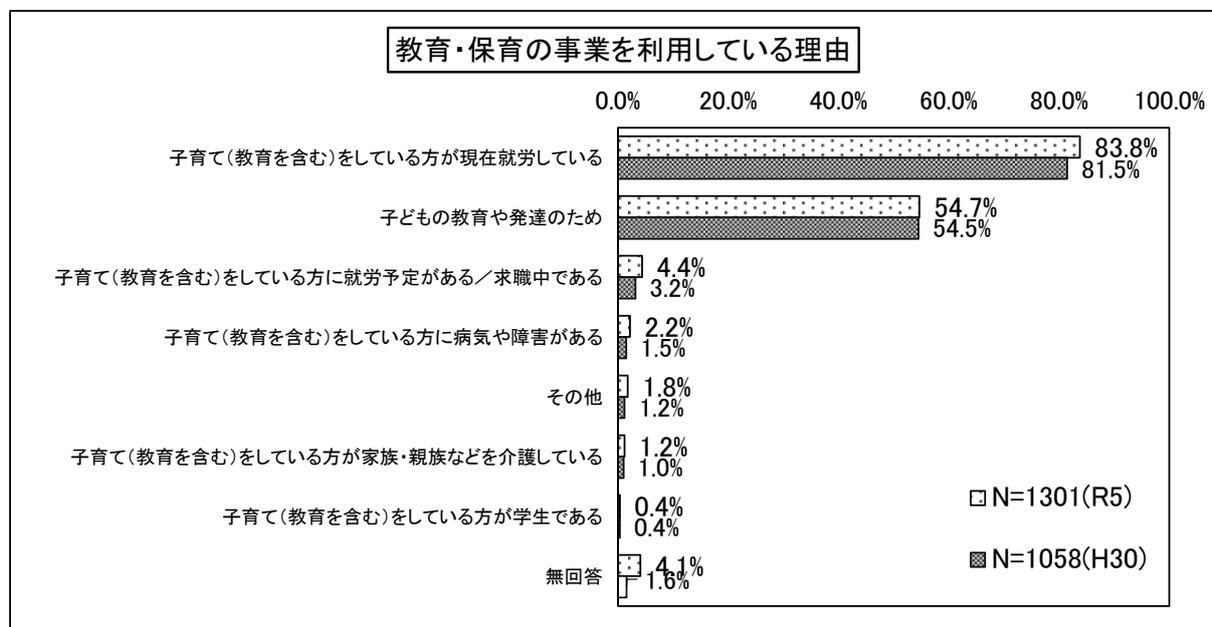
図表34. 現在利用している教育・保育の事業の実施場所



問 17-4 平日の教育・保育の事業の利用理由（複数回答）

平日の教育・保育の事業の利用理由については、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」が令和5年・平成30年共に8割程で最も高い。次いで「子どもの教育や発達のため」が5割程と続く。

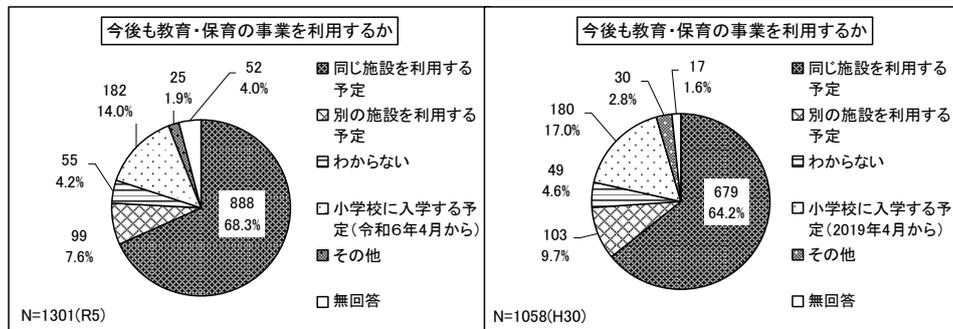
図表35. 平日の教育・保育の事業の利用理由（複数回答）



問 17-5 平日の教育・保育の事業の利用意向

平日の教育・保育の事業の利用意向については、令和5年・平成30年共に大きな変化はないが、「同じ施設を利用する」が令和5年・平成30年共に最も高くなっている。

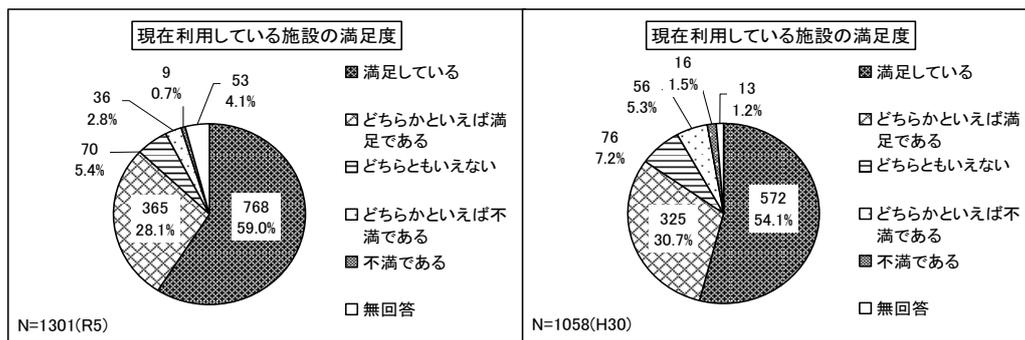
図表36. 平日の教育・保育の事業の利用意向



問 17-6 現在利用している施設の満足度

施設の満足度については、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、「満足している」が6割程で半数は満足している。

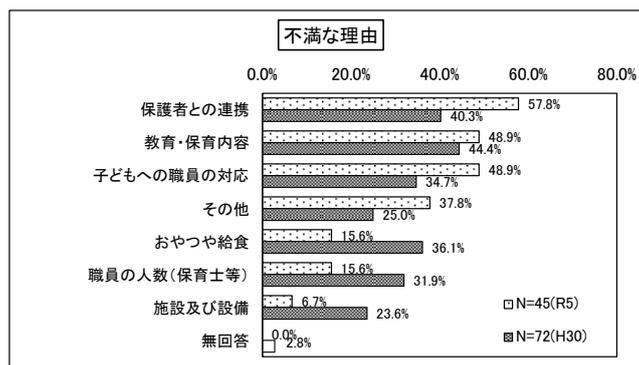
図表37. 現在利用している施設の満足度



問 17-7 現在利用している施設の不満理由 (複数回答)

施設の不満理由については、令和5年で全体的に不満度合いが高くなっている。「保護者との連携」が平成30年より17.5ポイント高くなっている。

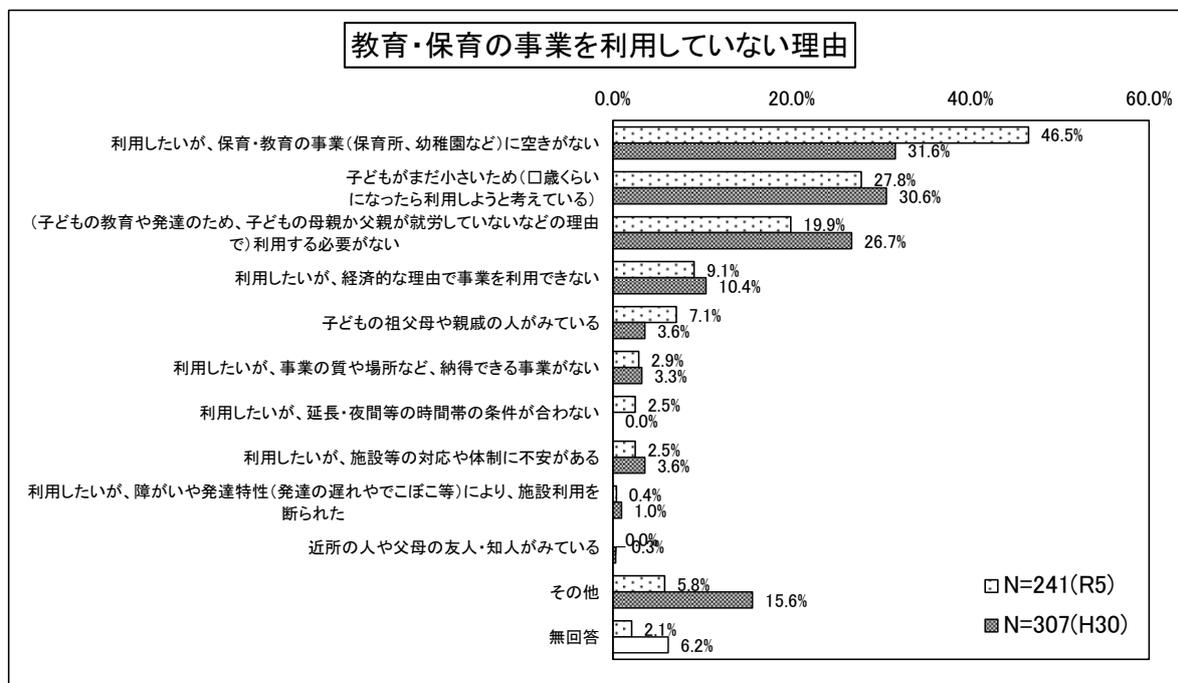
図表38. 現在利用している施設の不満理由 (複数回答)



問 17-8 教育・保育の事業を利用していない理由

教育・保育の事業を利用していない理由については、「利用したいが、保育・教育の事業（保育所、幼稚園など）に空きがない」が令和5年は4割以上で、平成30年より14.9ポイント高くなっている。

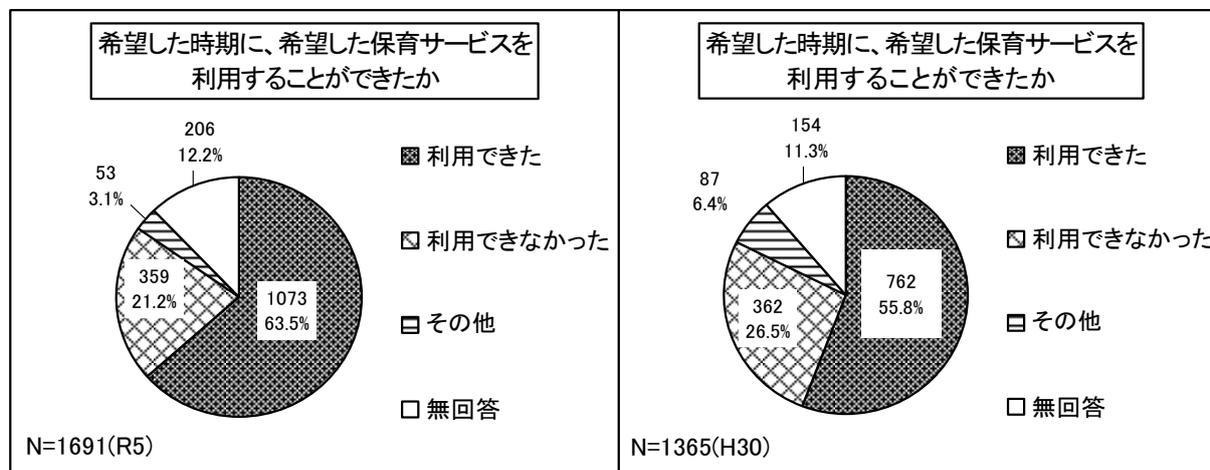
図表39. 教育・保育の事業を利用していない理由



問 18 希望した時期に、希望した保育サービスを利用できたか（複数回答）

希望した時期に、希望した保育サービスを利用することができたかについては、平成30年より令和5年では「利用できた」割合が増加し「利用できなかった」が減少している。

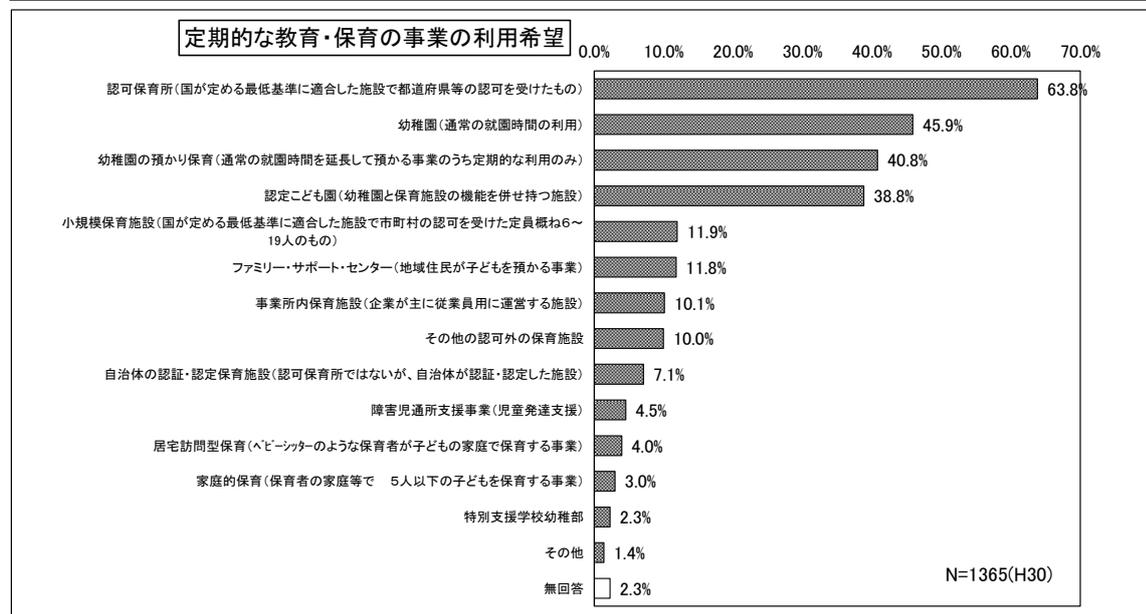
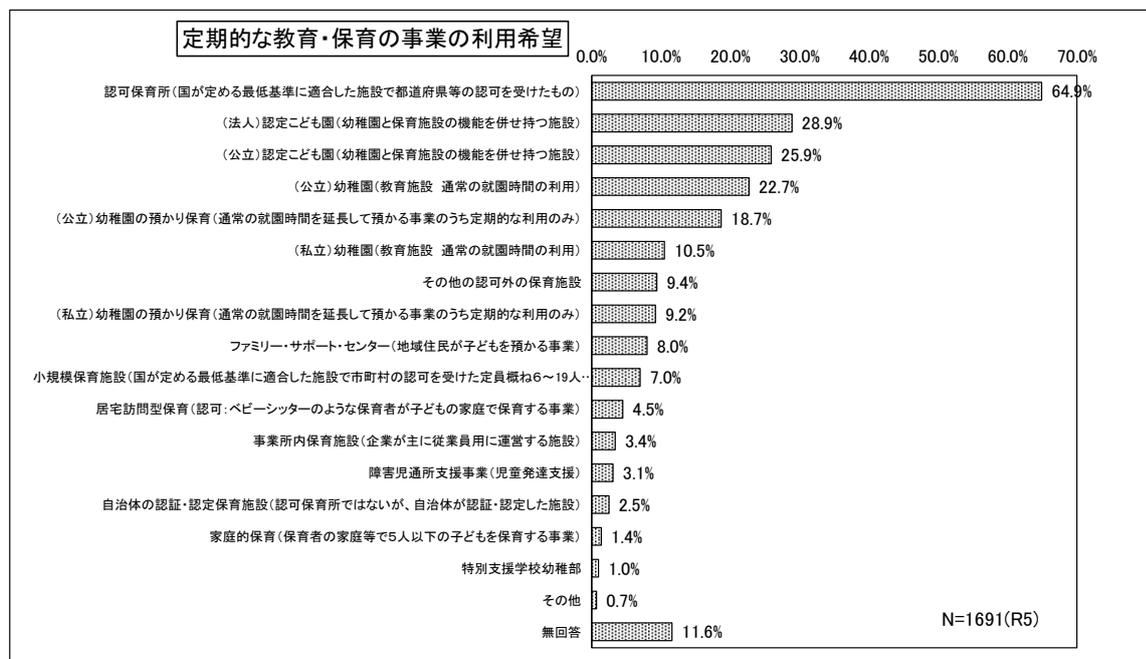
図表40. 希望した時期に、希望した保育サービスを利用できたか（複数回答）



問 19 平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業

「定期的に」利用したいと考える事業として、令和5年と平成30年では認定こども園の整備に伴い選択肢が異なっているため、比較はしないが、「認可保育所(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの)」は令和5年・平成30年共に6割以上が利用したいとの回答が最も高い。

図表41. 平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業

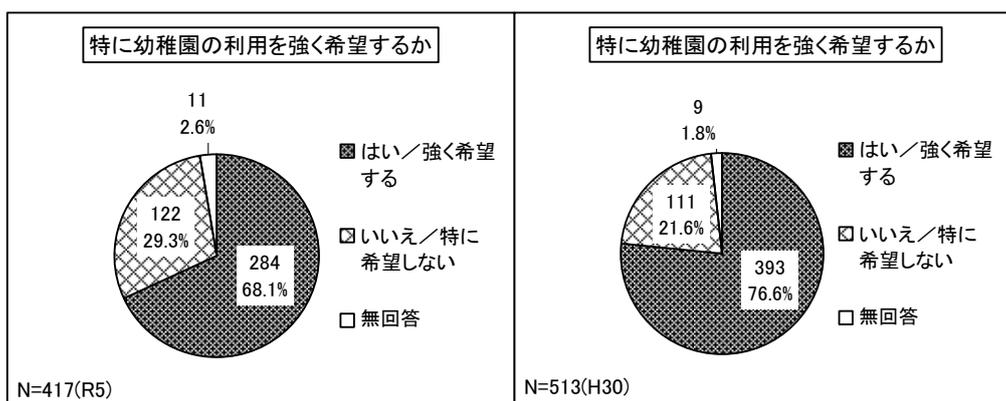


問 19 で「3. (公立) 幼稚園」または「4. (私立幼稚園)」「5. (公立) 幼稚園の預かり保育」「6. (私立) 幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ他の選択肢にも○をつけた方のみ

問 19-1 幼稚園の利用希望 (複数回答)

幼稚園 (幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む) の利用希望の意向については、令和 5 年・平成 30 年共にあまり変化はないが、令和 5 年は平成 30 年より「強く希望する」が 8.5 ポイント減少し、「特に希望しない」が 7.7 ポイント増加した。

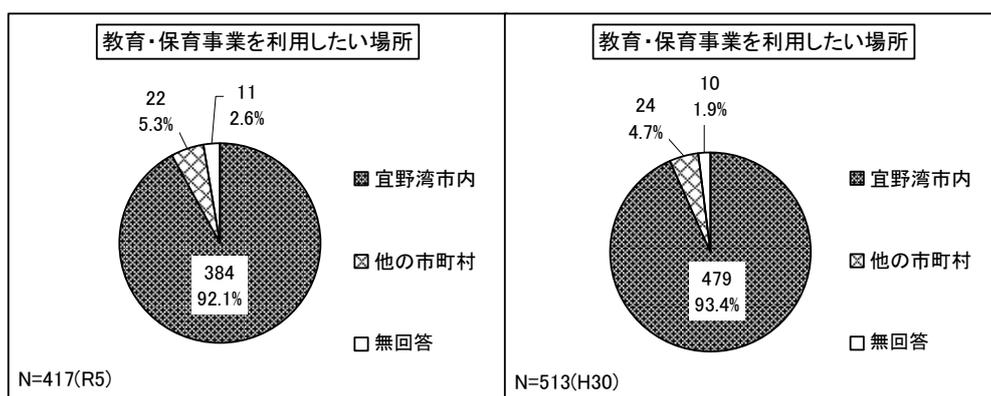
図表42. 幼稚園の利用希望 (複数回答)



問 19-2 教育・保育事業を利用したい場所

教育・保育事業を利用したい場所については、令和 5 年・平成 30 年共に「宜野湾市内」が 9 割以上と最も高い。

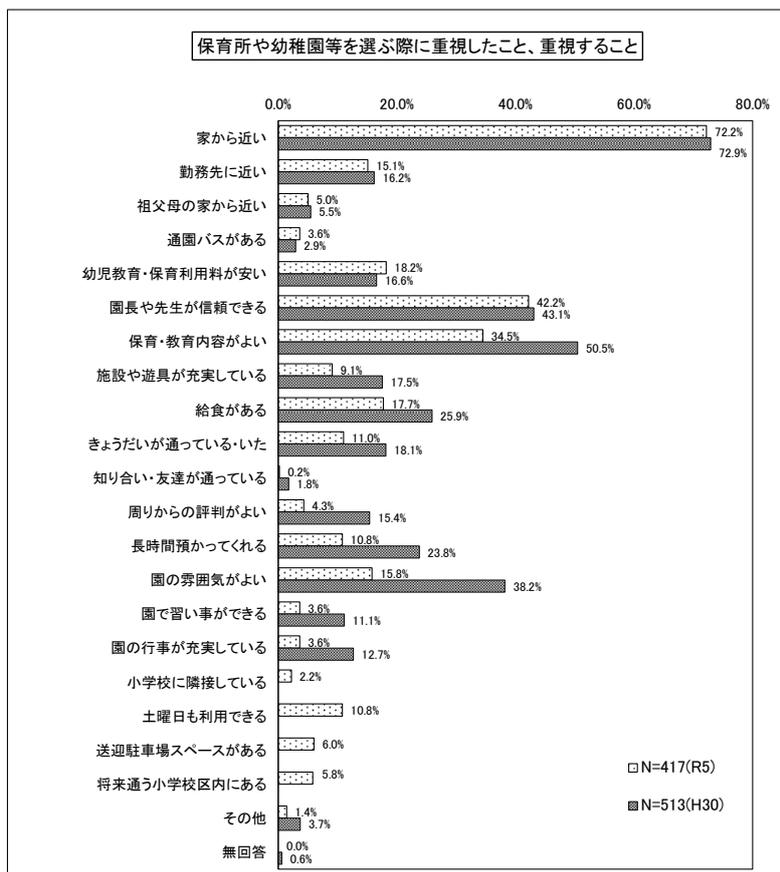
図表43. 教育・保育事業を利用したい場所



問 19-3 保育所や幼稚園等を選ぶ際に重視したこと、重視すること（複数回答3つまで）

保育所や幼稚園等を選ぶ際に重視したこと、重視することについては、「家から近い」が令和5年・平成30年共に7割以上と最も高く、次いで「園長や先生が信頼できる」が4割以上と続く。

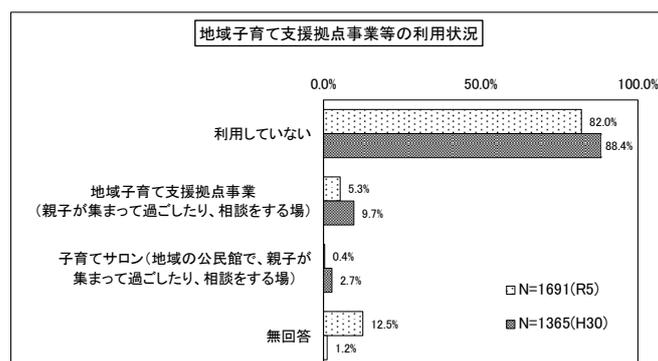
図表44. 保育所や幼稚園等を選ぶ際に重視したこと、重視すること（複数回答3つまで）



問 20 現在の地域子育て支援拠点事業等の利用状況（複数回答）

地域子育て支援拠点事業等の利用状況について、平成30年より令和5年ではどの項目も割合がやや減少しているが、共に「利用していない」が8割を占めている。

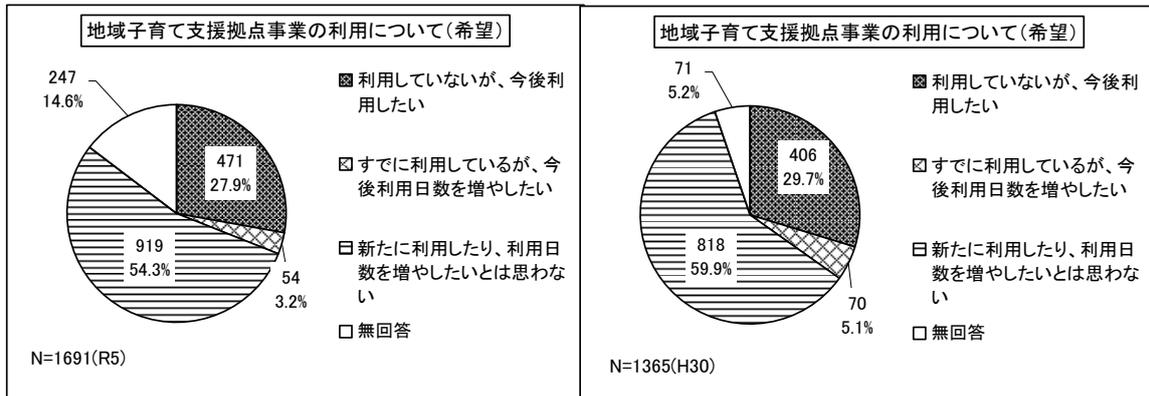
図表45. 現在の地域子育て支援拠点事業等の利用状況（複数回答）



問 21 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向

地域子育て支援事業の今後の利用意向は、平成 30 年より令和 5 年では、どの項目もやや減少しているが、共に「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が最も高く、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が最も低い。

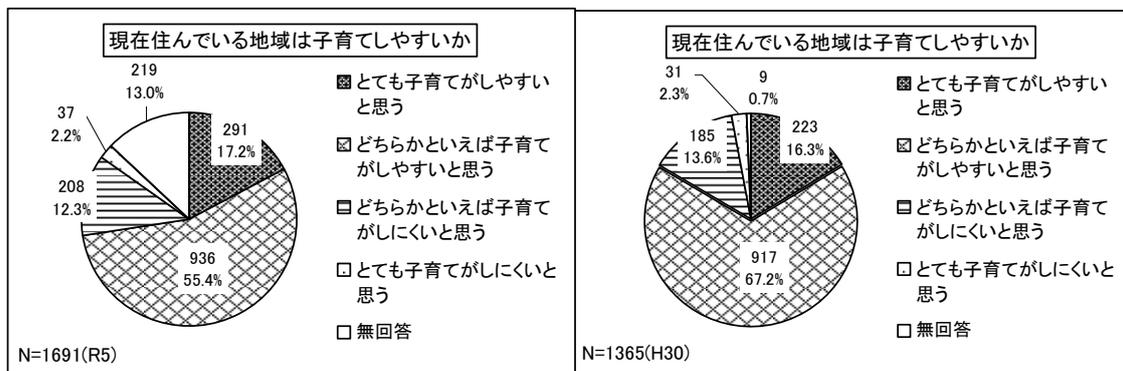
図表46. 地域子育て支援拠点事業の今後の利用意向



問 22 現在お住いの地域は子育てしやすいと思うか

現在住んでいる地域は子育てしやすいと思うかについては、「どちらかといえば子育てがしやすいと思う」が平成 30 年より令和 5 年では減少している。

図表47. 現在お住まいの地域はあなたにとって子育てしやすいと思うか

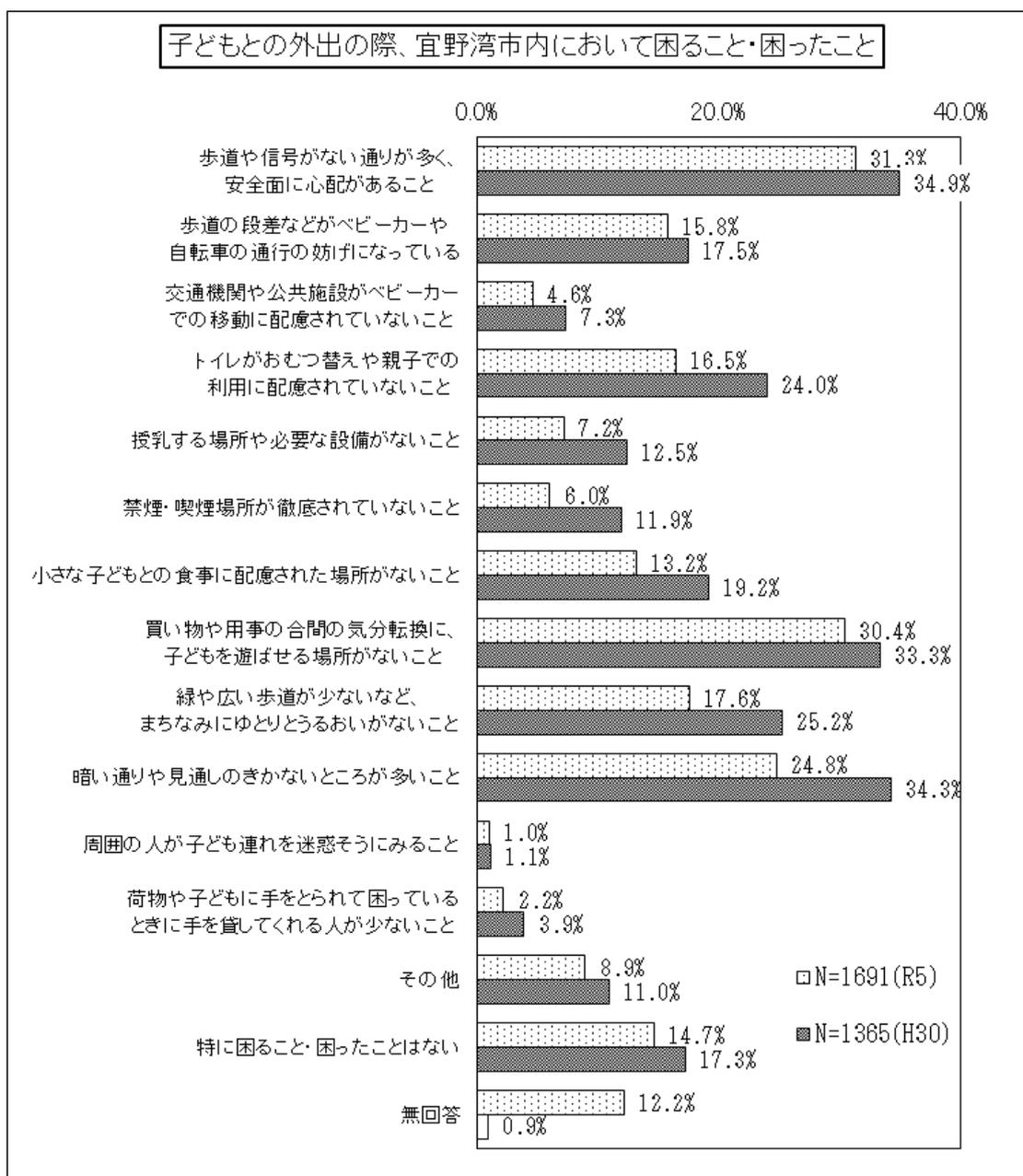


問 23 子どもとの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったこと（複数回答 3 つまで）

子どもとの外出の際に市内で困ること等について、平成 30 年より令和 5 年では「暗い通りや見通しのきかないところが多いこと」が約 10%減少している。

また、令和 5 年・平成 30 年共に「歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること」が最も高い。

図表48. 子どもとの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったこと（複数回答 3 つまで）

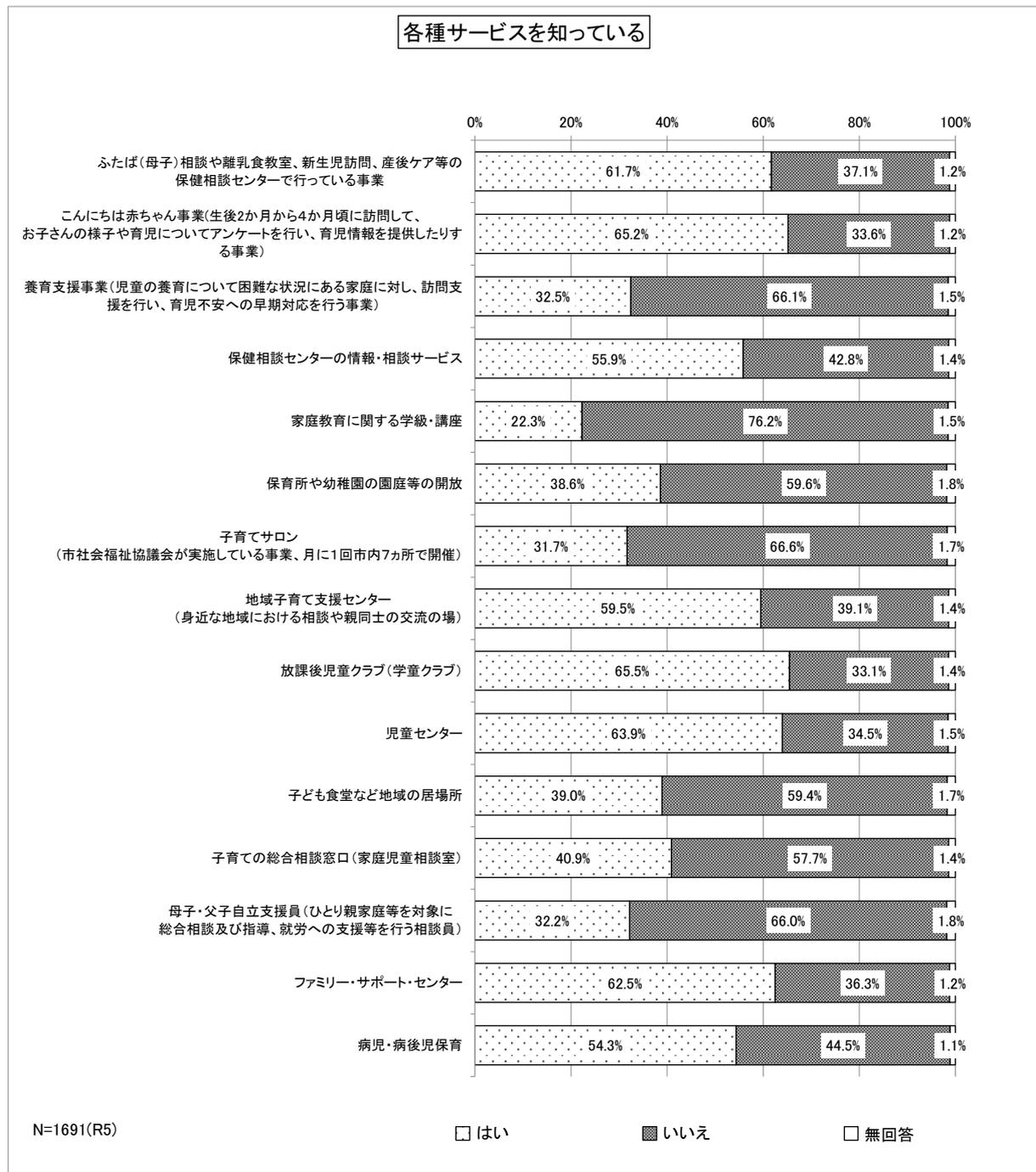


問 24 サービスの認知度、利用状況、利用希望について

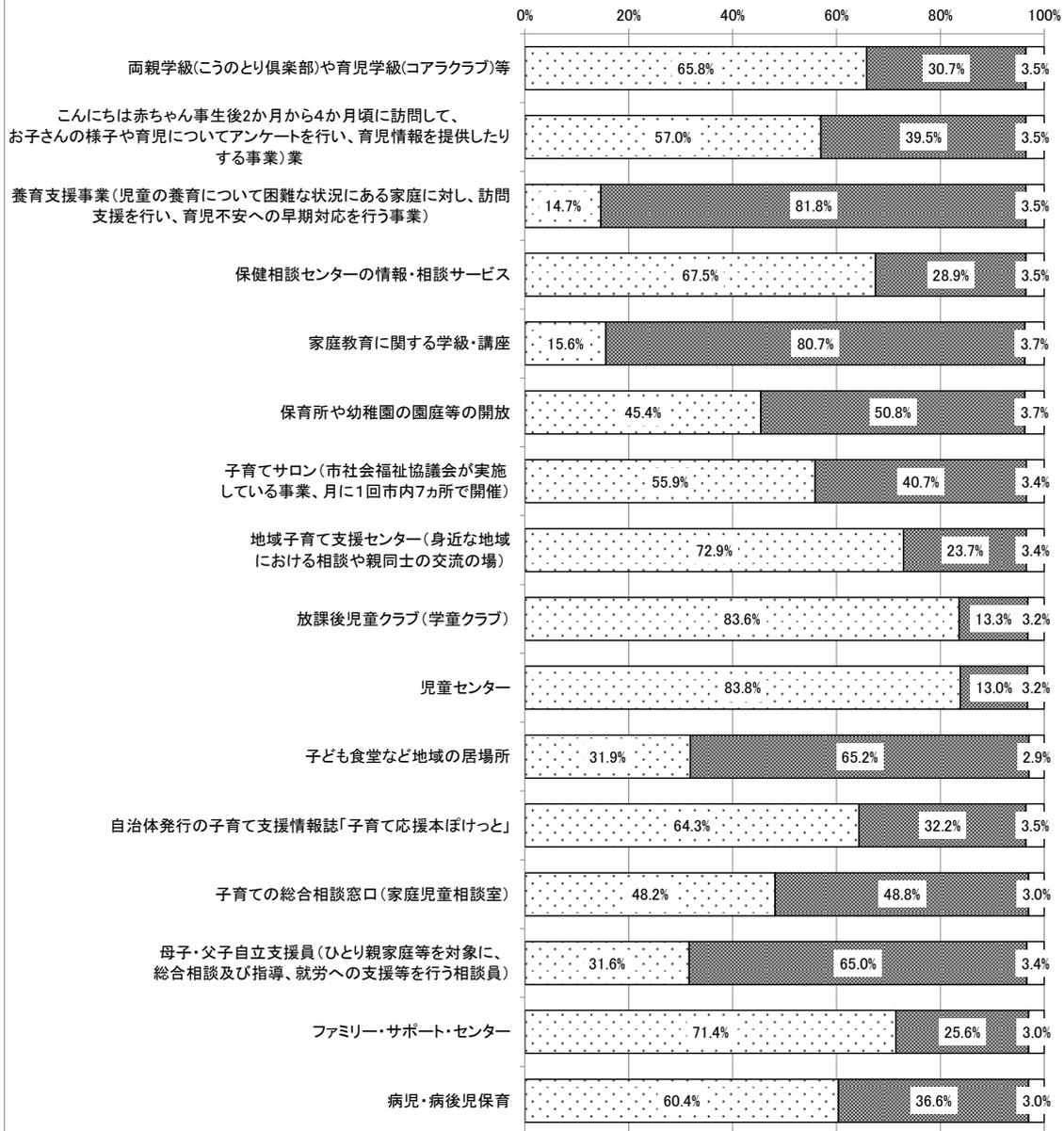
【各種サービスの認知度】

各種サービス（15種）の認知度については、平成30年では「児童センター」や「放課後児童クラブ」の認知度が8割だったが、令和5年では、6割まで減少している。平成30年では「家庭教育に関する学級・講座」及び「養育支援事業」については、2割未満の認知度だったが、2割以上に増加している。

図表49. 各種サービスの認知度



各種サービスを知っている



N=1365(H30)

□はい

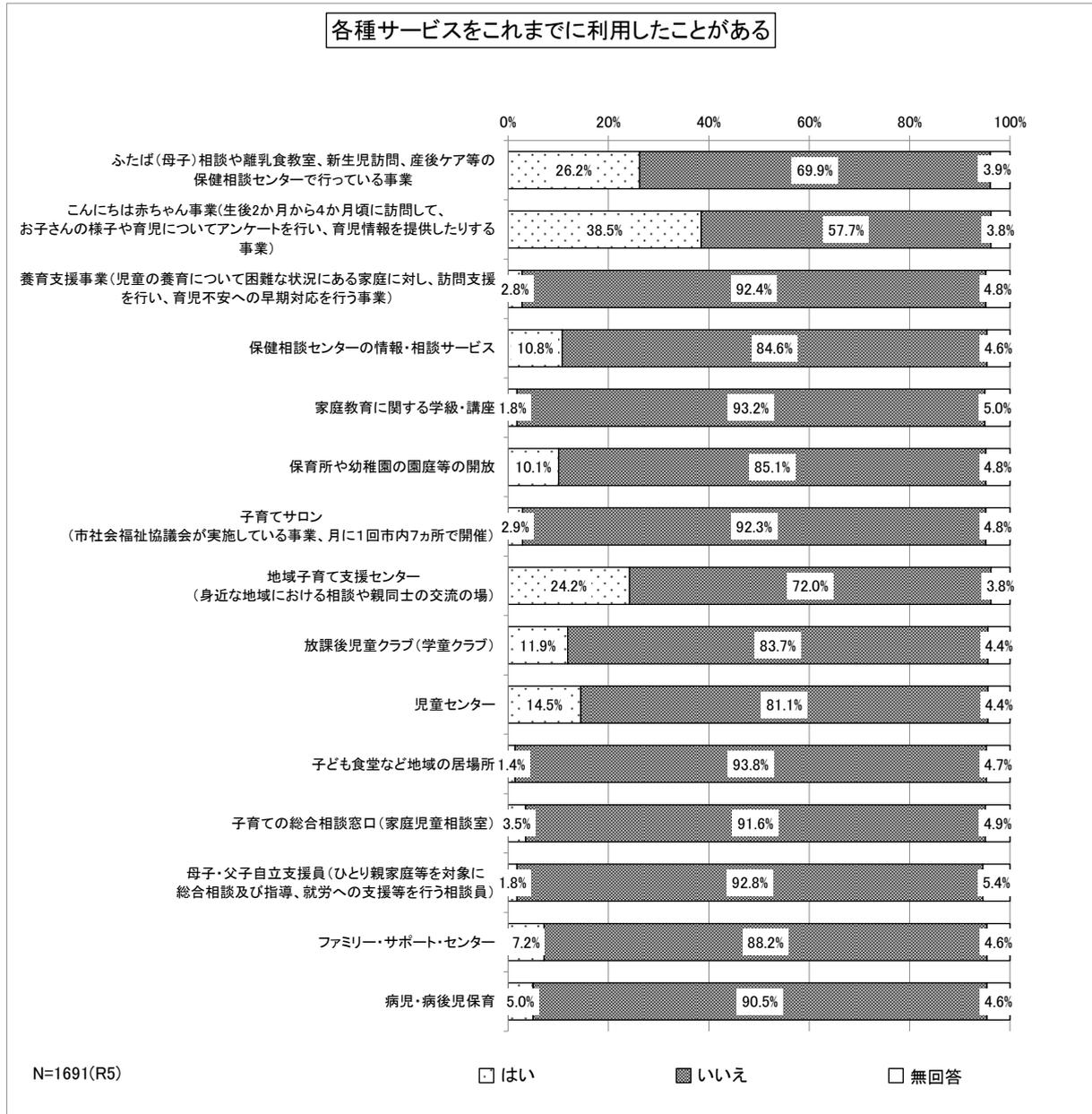
■いいえ

□無回答

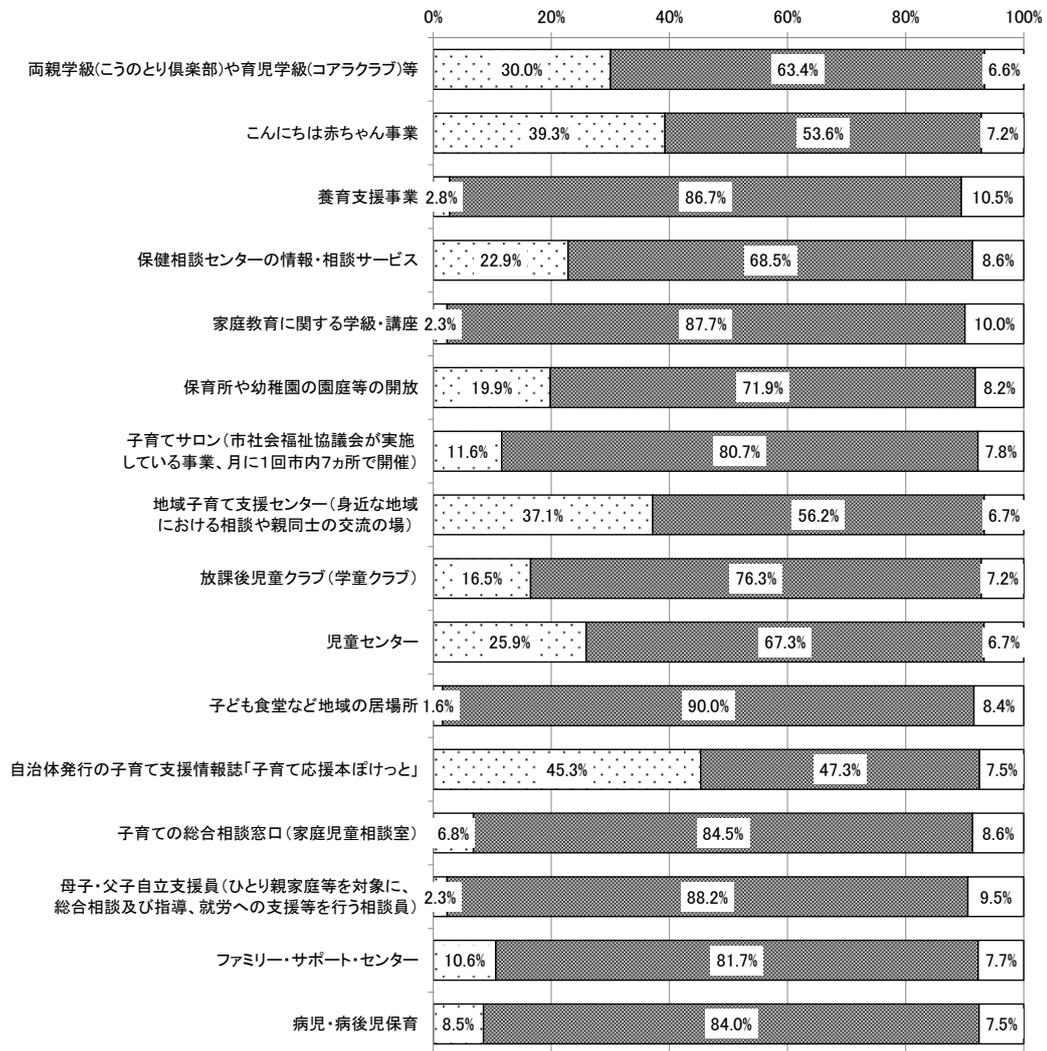
【各種サービスの利用状況】

各種サービスの利用状況については、すべてのサービスにおいて平成30年と同じく、令和5年でも利用していない方の割合が高い。また、利用したことがある方の割合が全体的に減少している。

図表50. 各種サービスの利用状況



各種サービスをこれまでに利用したことがある



N=1365(H30)

□ はい

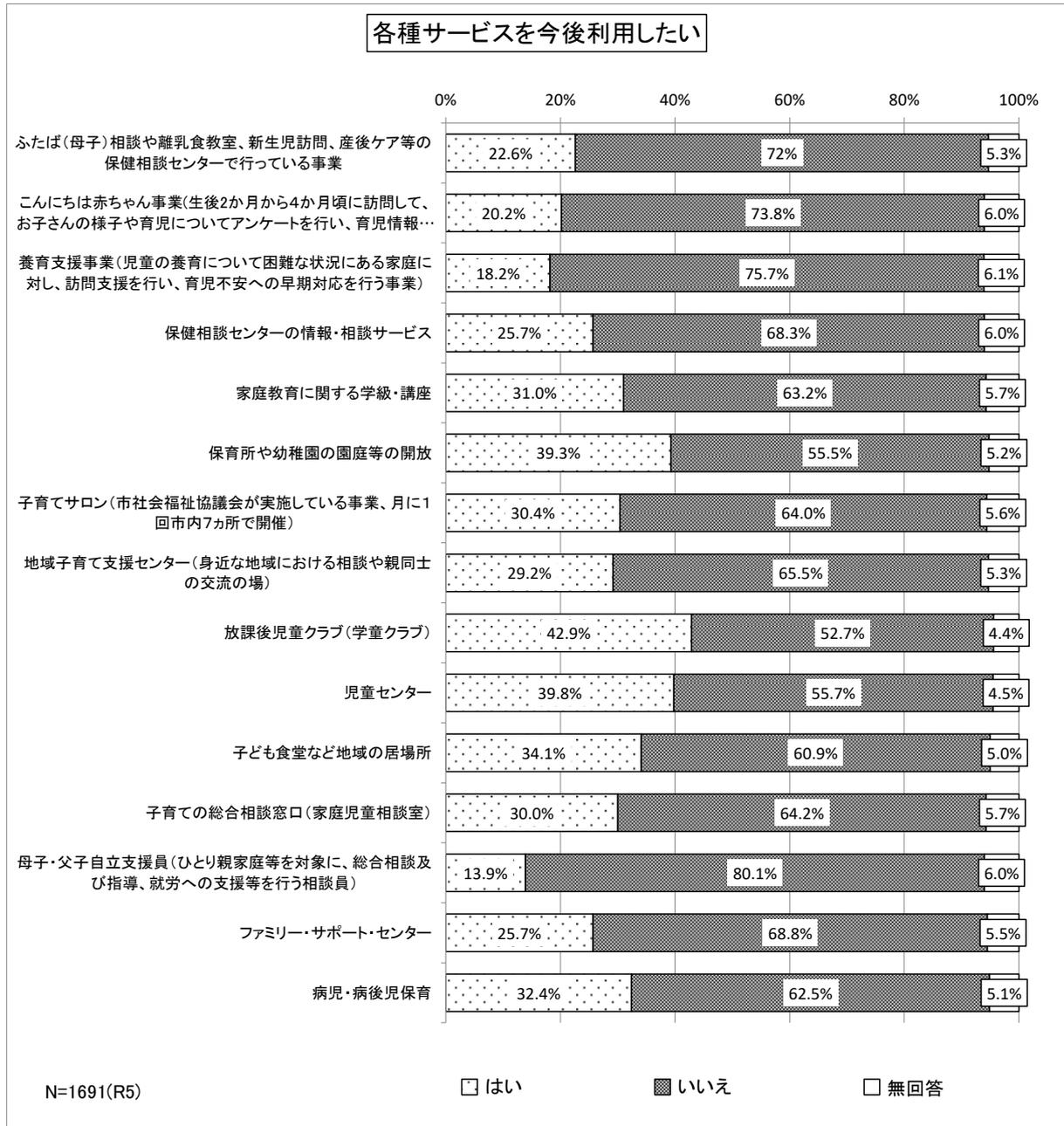
■ いいえ

□ 無回答

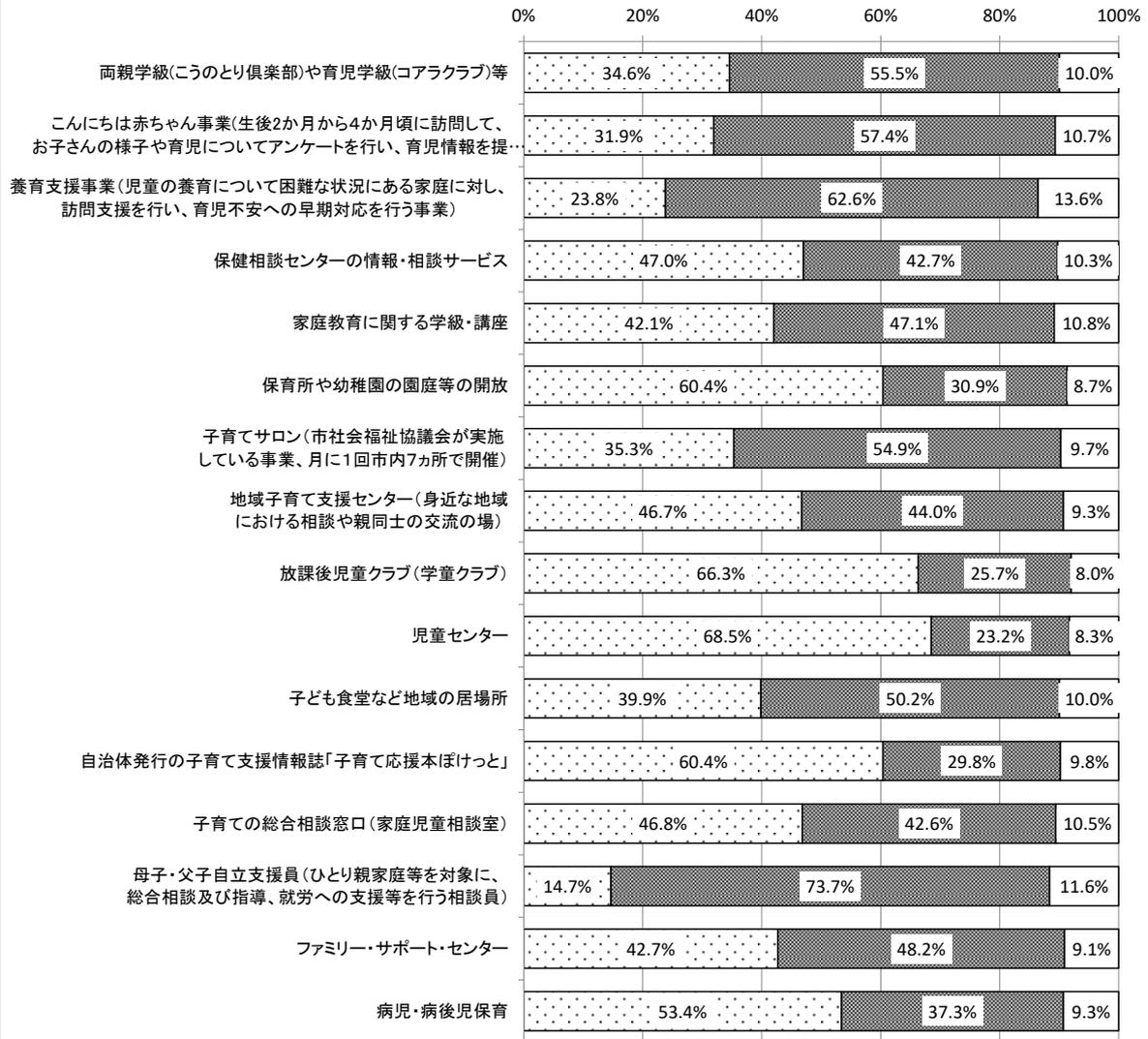
【今後利用したいサービス】

今後利用したいサービスについて平成 30 年より令和 5 年では今後利用したい割合が全体的に減少している。

図表51. 各種サービスの利用希望



各種サービスを今後利用したい



N=1365(H30)

□ はい

■ いいえ

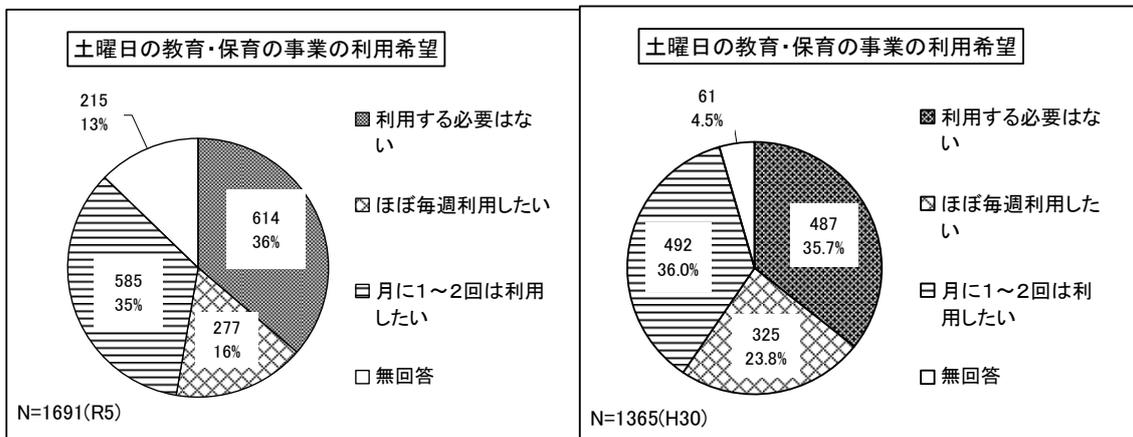
□ 無回答

問 25 土曜日と日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望

【土曜日】

土曜日の定期的な教育・保育サービスの利用希望については、「ほぼ毎週利用したい」割合が、平成 30 年に比べ、令和 5 年は減少している。

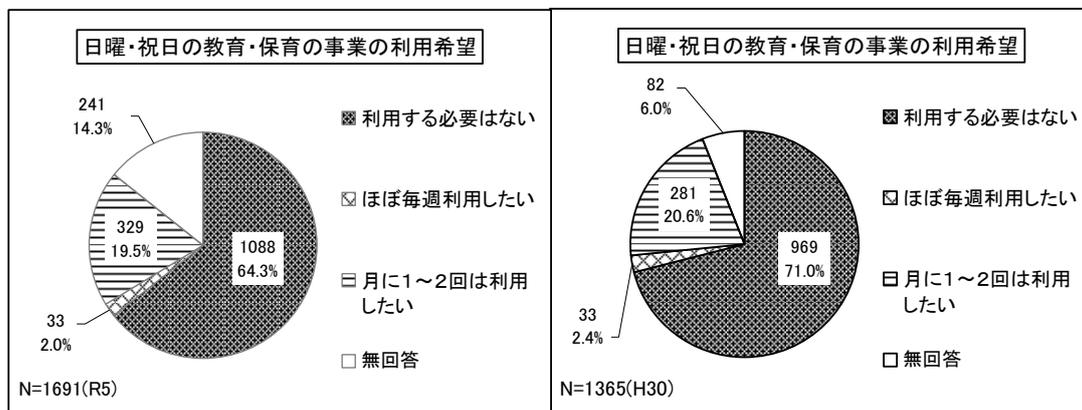
図表52. 【土曜日】定期的な教育・保育の事業の利用希望



【日曜・祝日】

日曜・祝日の定期的な教育・保育サービスの利用希望については、令和 5 年・平成 30 年共に大きな変化はなく、「利用する必要はない」が全体の 6～7 割を占めている。

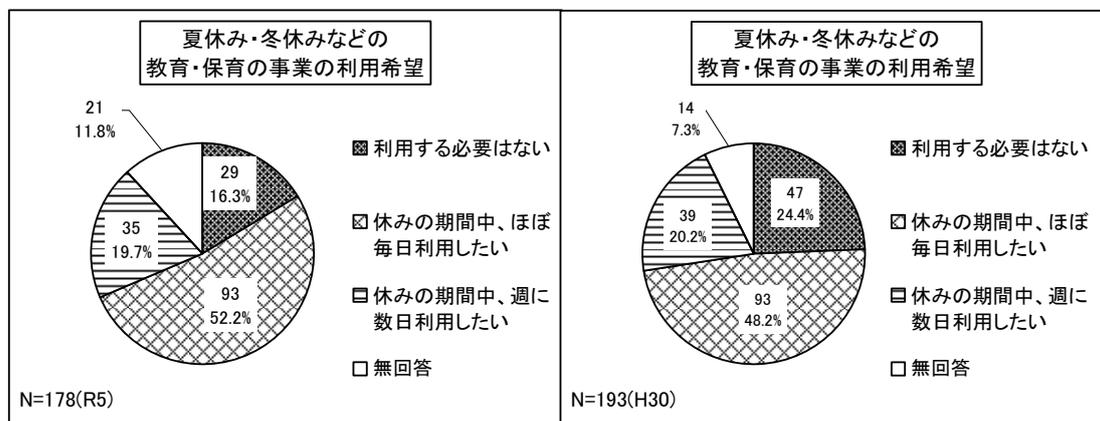
図表53. 【日曜・祝日】定期的な教育・保育の事業の利用希望



問 26 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望（幼稚園）

現在、幼稚園を利用している回答者のうち夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育サービスの利用希望は、平成 30 年より令和 5 年では「利用する必要はない」が減少し、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が増加している。

図表54. 長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望

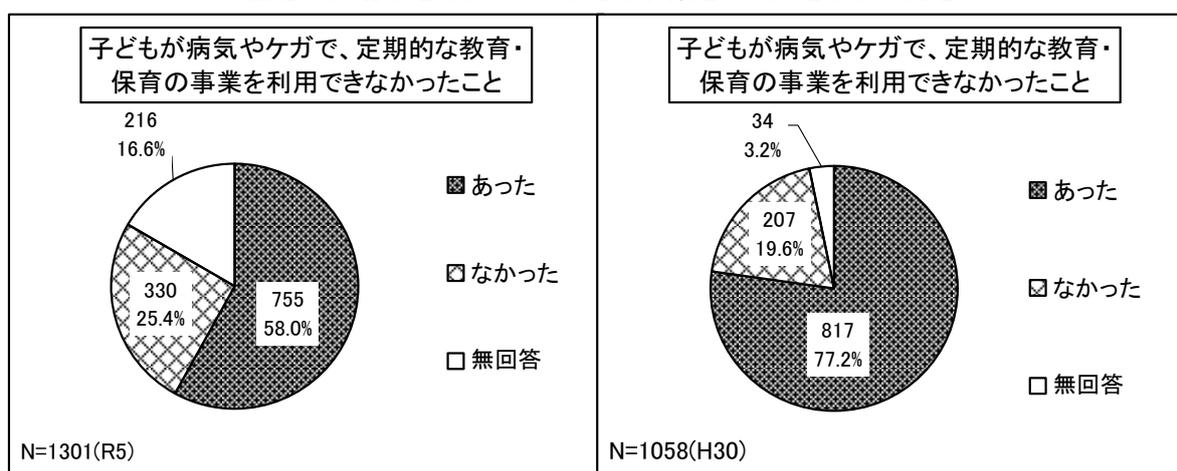


問 17 で平日の定期的な教育・保育の事業を利用している方のみ

問 27 お子さんが病気やケガで事業を利用できなかったこと

平日の定期的な教育・保育事業を利用している方のうち、この1年間に子どもが病気やケガで通常サービスを利用できないことがあったかについて、「あった」が平成 30 年より令和 5 年では約 20%減少し、「なかった」がやや増加している。

図表55. お子さんが病気やケガで事業を利用できなかったこと

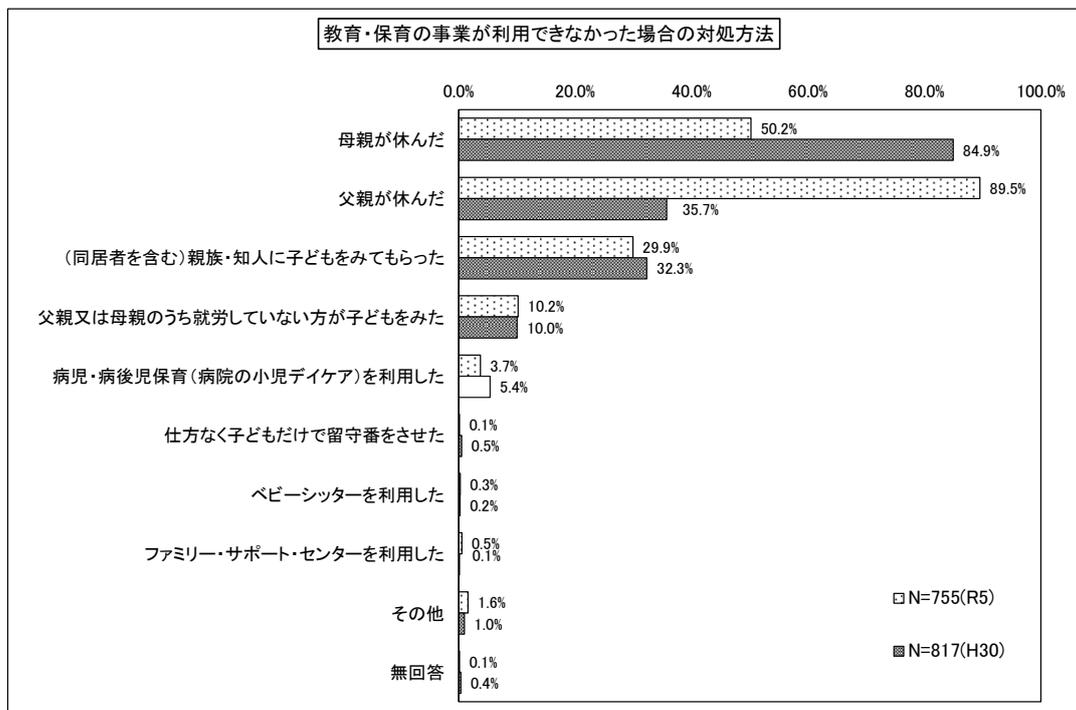


問 27 で「1. あった」と回答した方のみ

問 27-1 病気やケガで通常サービスが利用できなかった場合の対処方法（複数回答）

子どもが病気やケガで通常サービスが利用できなかった場合の対処方法については、平成 30 年より令和 5 年では、「母親が休んだ」割合が大幅に減少し、「父親が休んだ」割合が 2 倍以上増加している。

図表56. 病気やケガで通常サービスが利用できなかった場合の対処方法（複数回答）

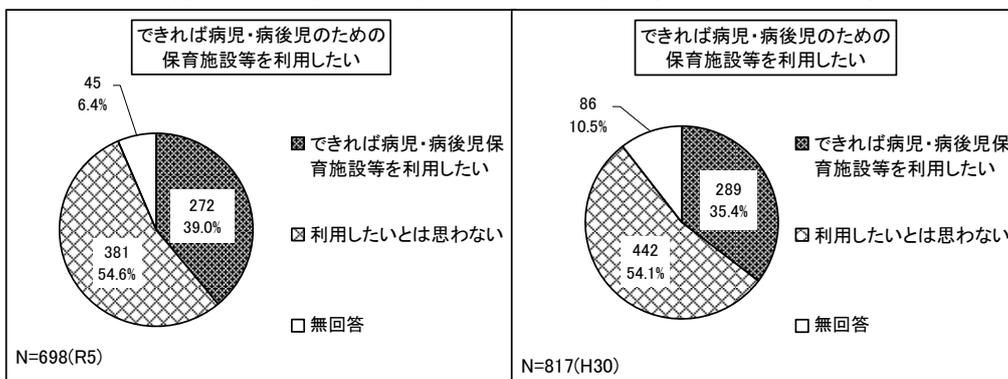


問 27-1 で「ア. 父親が休んだ」「イ. 母親が休んだ」のいずれかに回答した方のみ

問 27-2 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の意向

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」の意向については、令和 5 年・平成 30 年共に大きな変化はないが、令和 5 年では「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が平成 30 年より 3.6 ポイント高くなっている。

図表57. 病児・病後児のための保育施設等を利用したい意向

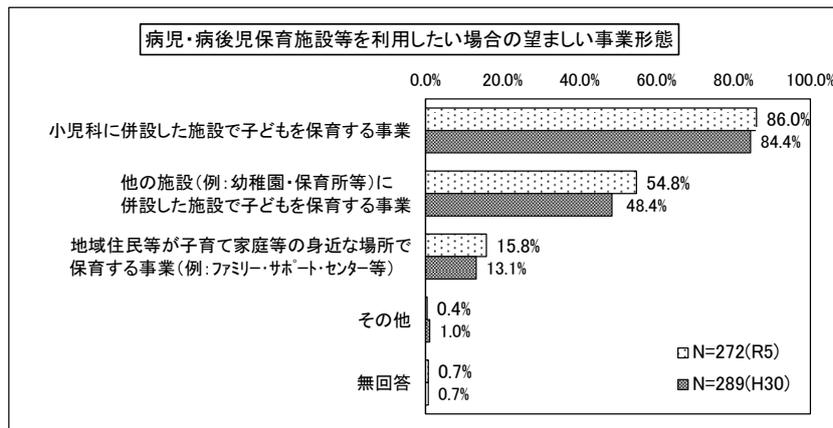


問 27-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」に○をつけた方のみ

問 27-3 病児・病後児保育施設等を利用したい場合の望ましい事業形態（複数回答）

病児・病後児保育施設等を利用したい場合の望ましい事業形態は、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が最も多く、次いで、「他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業」、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）」の順となっている。

図表58. 病児・病後児保育施設等を利用したい場合の望ましい事業形態（複数回答）

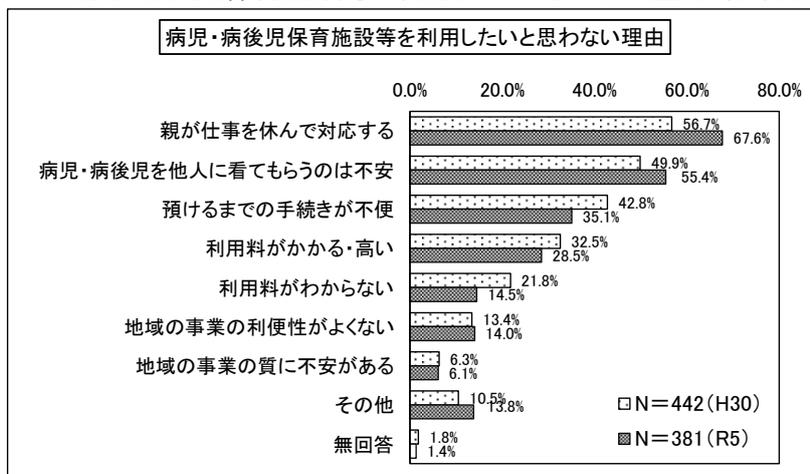


問 27-2 で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方のみ

問 27-4 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由（複数回答）

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由について、令和5年・平成30年共に「親が仕事を休んで対応する」が最も多く、次いで、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」、「預けるまでの手続きが不便」の順となっている。

図表59. 病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由（複数回答）

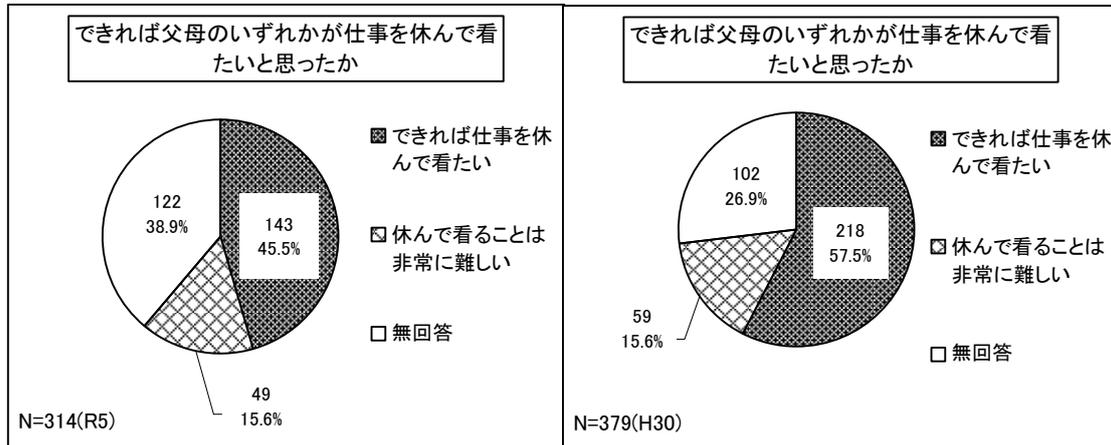


問 27-1 で「ウ。」から「ケ。」のいずれかに回答した方のみ

問 27-5 できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったかについては、令和 5 年・平成 30 年共に「できれば仕事を休んで看たい」が約 5 割を占めていて、「休んで看ることは非常に難しい」は変わらず 1.5 割となっている。

図表60. できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

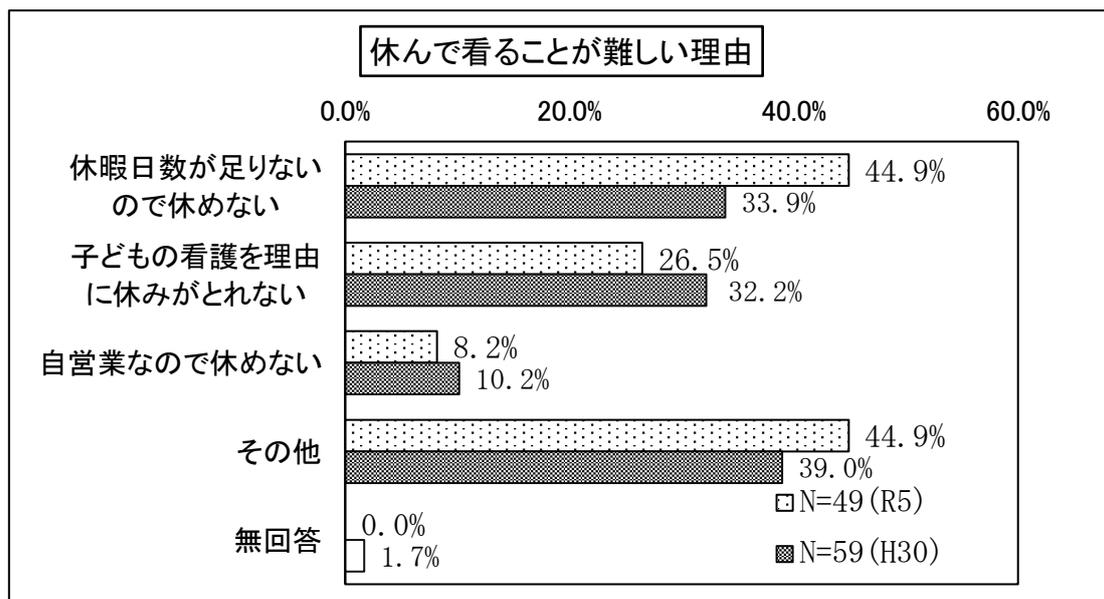


問 27-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方のみ

問 27-6 休んで看ることが難しい理由（複数回答）

休んで看ることが難しい理由については、令和 5 年・平成 30 年共に「休暇日数が足りないので休めない」が最も多く、「その他」、「子どもの看護を理由に休みがとれない」、「自営業なので休めない」の順となっている。

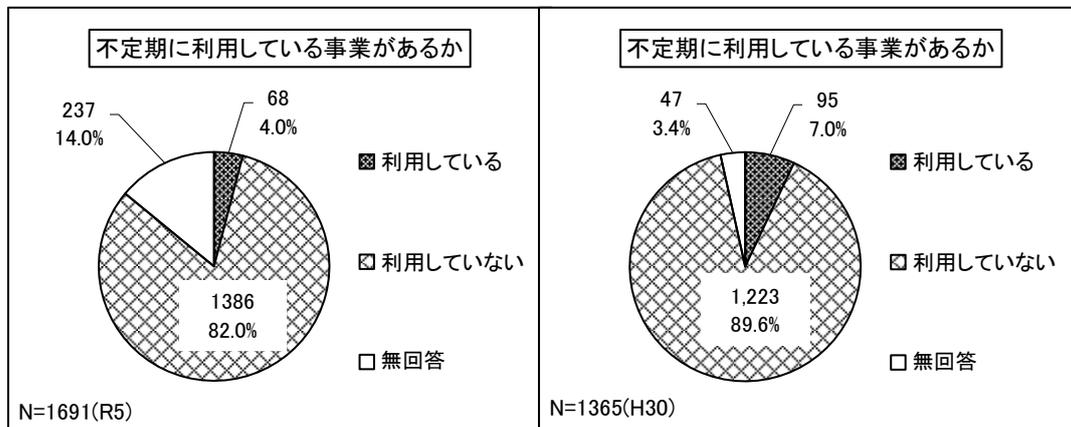
図表61. 休んで看ることが難しい理由（複数回答）



問 28 不定期的に利用している事業（複数回答）

日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業について、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、どちらも「利用していない」が全体の8～9割を占めている。

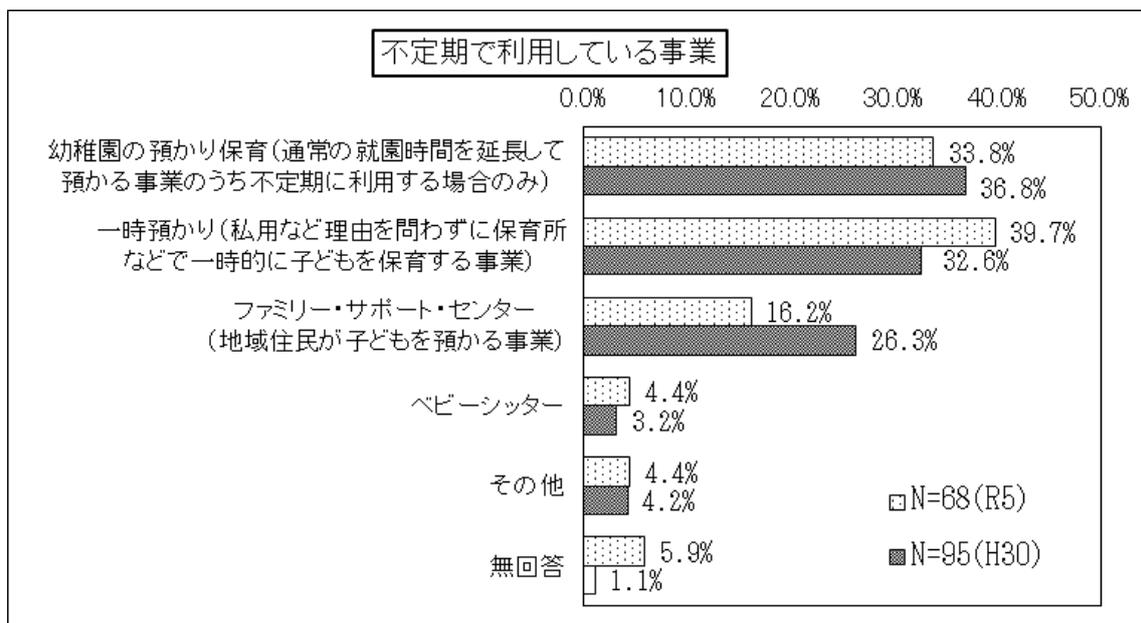
図表62. 不定期的に利用している事業（複数回答）



【不定期的に利用している事業内容】

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用しているサービスについては、令和5年では「一時預かり」が最も高い。「ファミリー・サポート・センター」の利用は、平成30年よりも減少している。

図表63. 不定期的に利用している事業内容

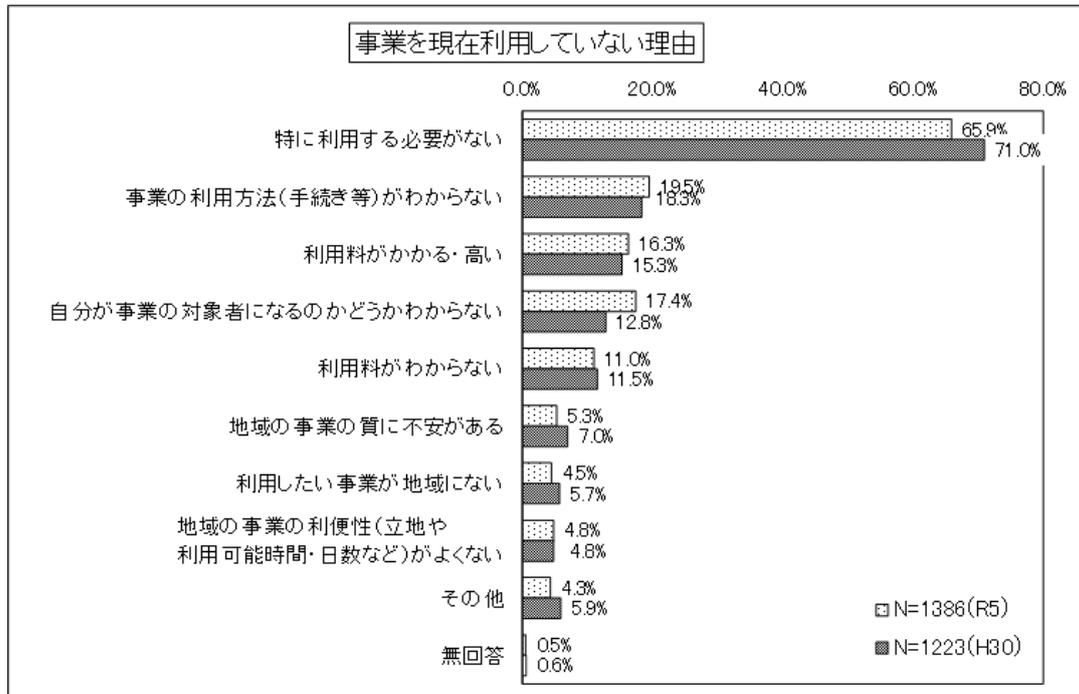


問 28 で「2. 利用していない」と回答した方のみ

問 28-1 事業を現在利用していない理由（複数回答）

事業を現在利用していない理由について、令和 5 年・平成 30 年共に大きな変化はなく、「特に利用する必要がない」が 6～7 割を占めている。令和 5 年は次いで、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」、「利用料がかかる・高い」の順となっている。

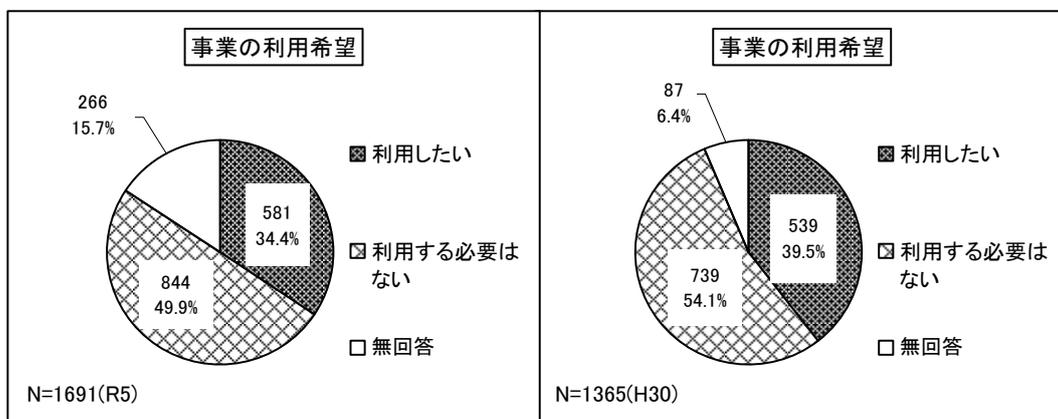
図表64. 事業を現在利用していない理由（複数回答）



問 29 事業の利用希望（複数回答）

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期サービスを利用する必要の有無については、平成 30 年より令和 5 年では「利用したい」「利用する必要はない」共にやや減少している。

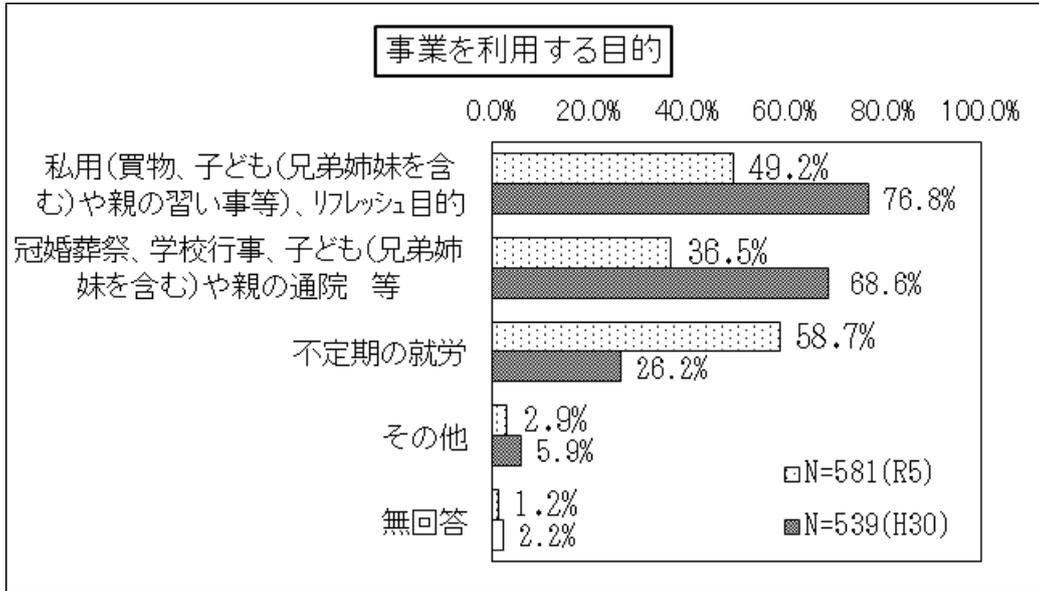
図表65. 事業の利用希望（複数回答）



【利用したい目的・理由】

不定期サービスを利用する目的については、平成30年より令和5年では「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が減少し、「不定期の就労」が2倍以上増加している。

図表66. 事業を利用する目的

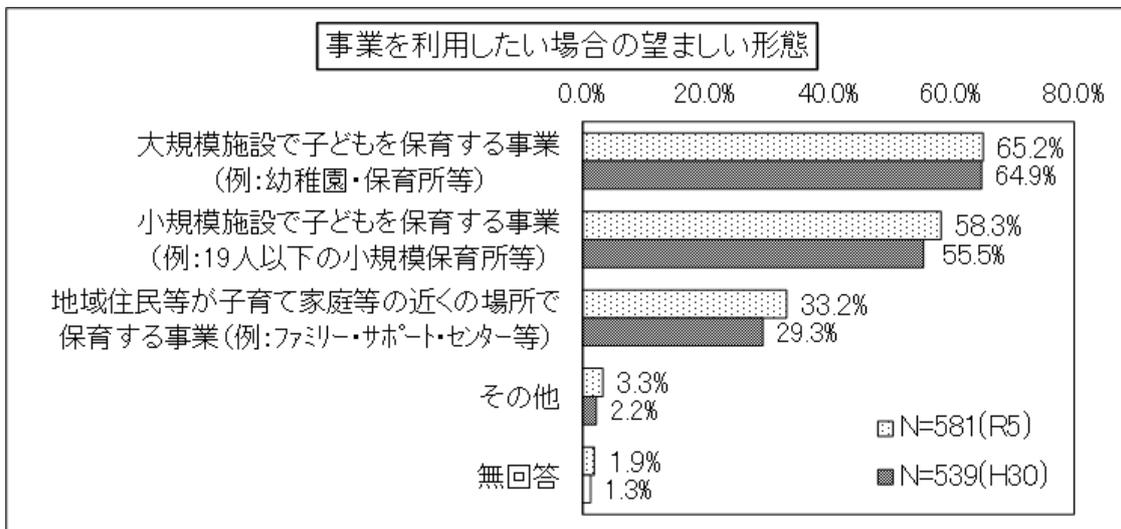


問29で「1. 利用したい」と回答した方のみ

問29-1 事業を利用したい場合の望ましい形態（複数回答）

事業を利用したい場合の望ましい形態については、令和5年・平成30年共に「大規模施設で子どもを保育する事業」が、最も多く、「小規模施設で子どもを保育する事業」、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」、「その他」の順となっている。

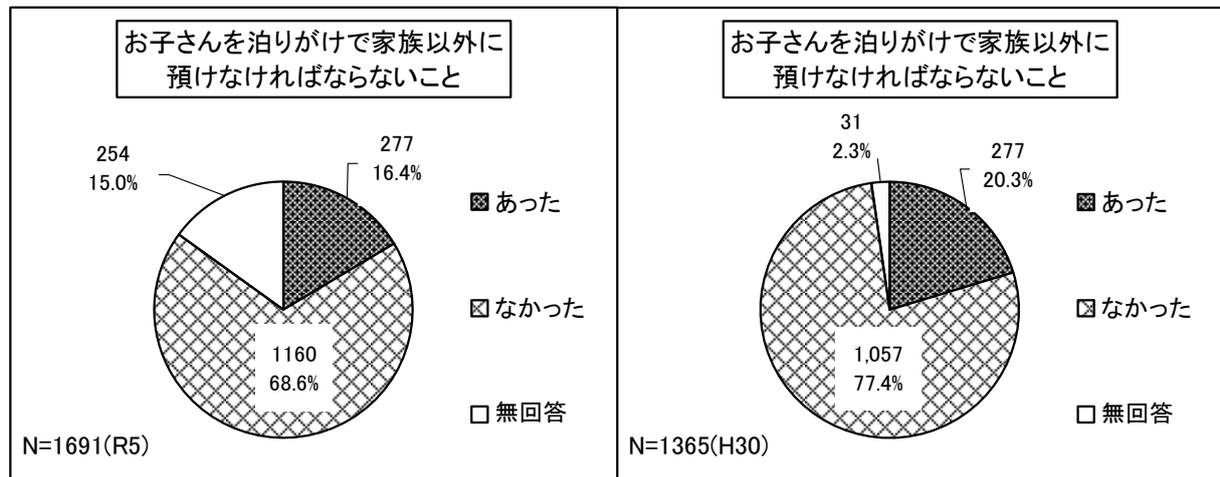
図表67. 事業を利用したい場合の望ましい形態（複数回答）



問 30 お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないこと（複数回答）

この1年間に、保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外に預けなければならないことがあったかについては、「あった」「なかった」共に令和5年ではやや減少している。

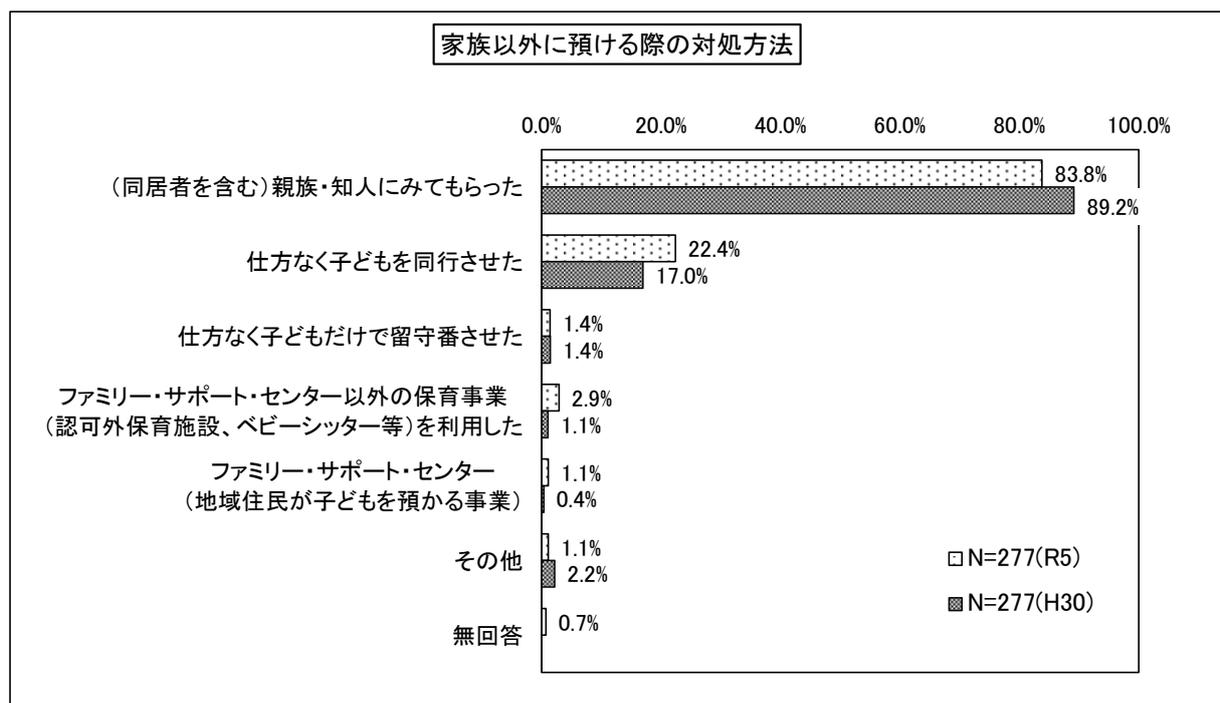
図表68. お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないこと（複数回答）



【家族以外に預ける際の対処方法】

子どもを泊りがけで家族以外に預ける際の対処方法は、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、「親族・知人にみてもらった」が8割以上占めている。

図表69. 家族以外に預ける際の対処方法

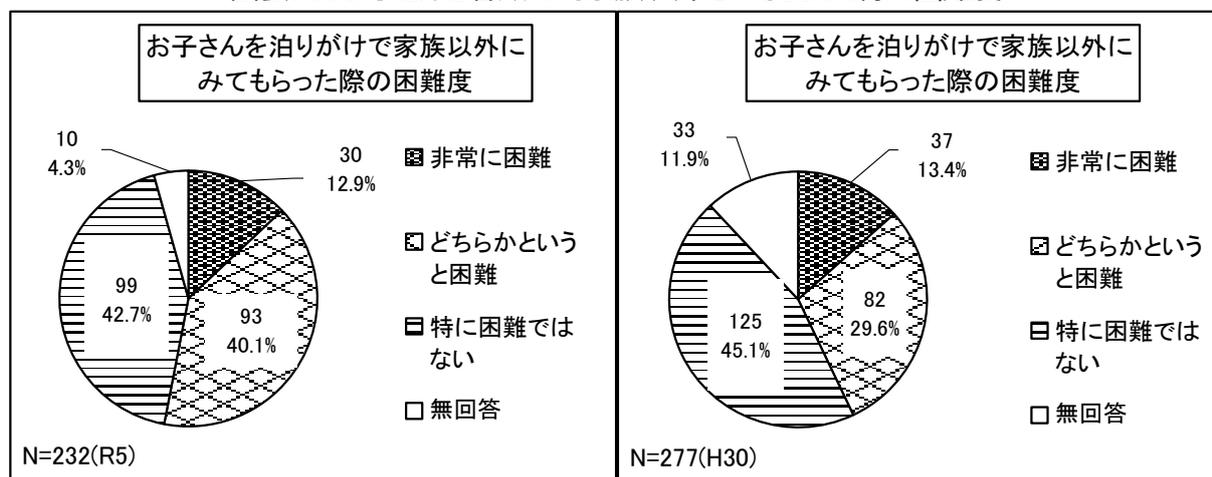


問 30 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方のみ

問 30-1 お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらった際の困難度

お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらった際の困難度は、平成 30 年より令和 5 年では「どちらかという困難」が 10.5 ポイント増加し、「非常に困難」、「特に困難ではない」がやや減少している。

図表70. お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらった際の困難度

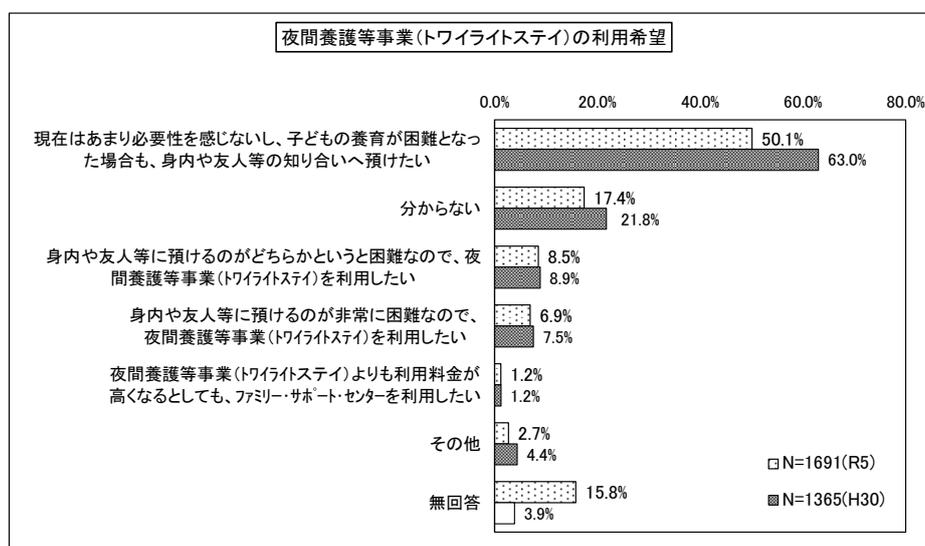


問 31 夜間養護等事業 (トワイライトステイ) の利用希望 (複数回答 2 つまで)

夜間養護等事業の利用希望について、令和 5 年では「現在はあまり必要性を感じないし、子どもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい」の割合が減少している。

最も低いのは「夜間養護等事業 (トワイライトステイ) よりも利用料金が高くなるとしても、ファミリー・サポート・センターを利用したい」が 1.2%と平成 30 年・令和 5 年で変化はなかった。

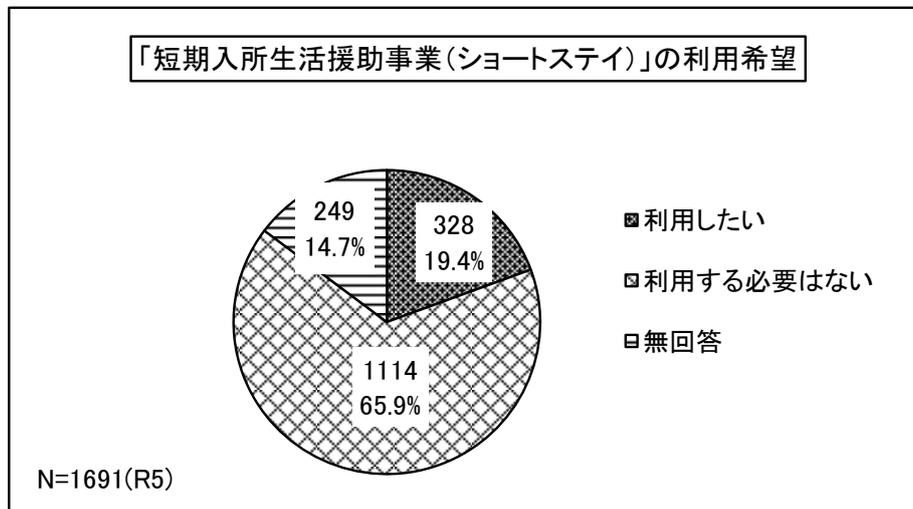
図表71. 「夜間養護等事業 (トワイライトステイ)」の利用希望 (複数回答 2 つまで)



問 32 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望（令和5年のみ）

短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望については、令和5年のみの設問となる。「利用する必要はない」が65.9%で最も高くなっている。

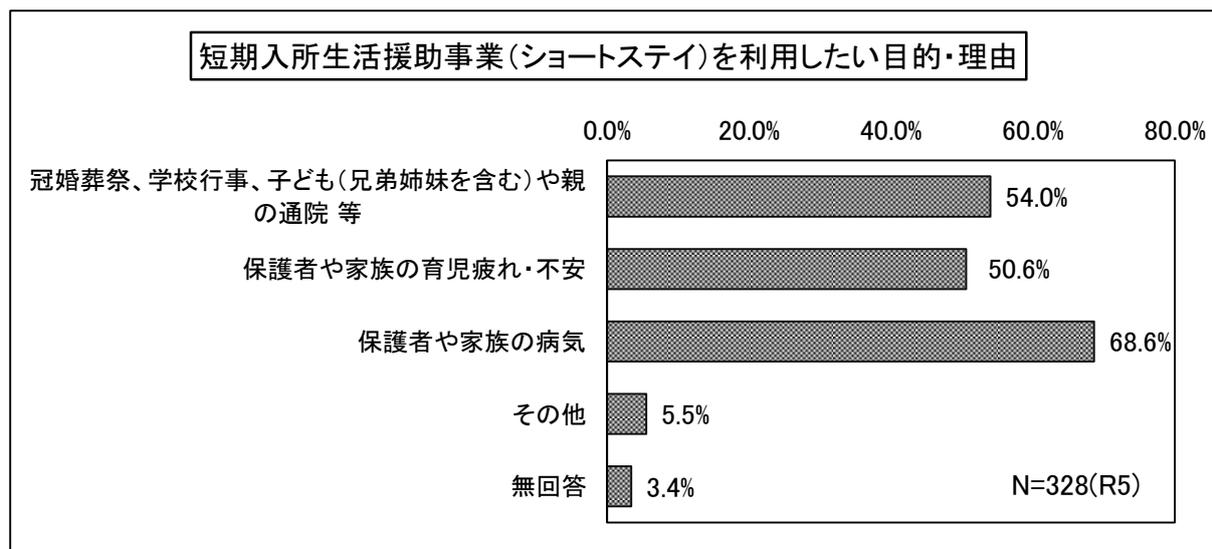
図表72.「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」の利用希望（令和5年のみ）



【利用したい目的・理由】

短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい目的・理由については、「保護者や家族の病気」が68.6%で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が54.0%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が50.6%となっている。

図表73.「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」を利用したい目的・理由（複数回答）



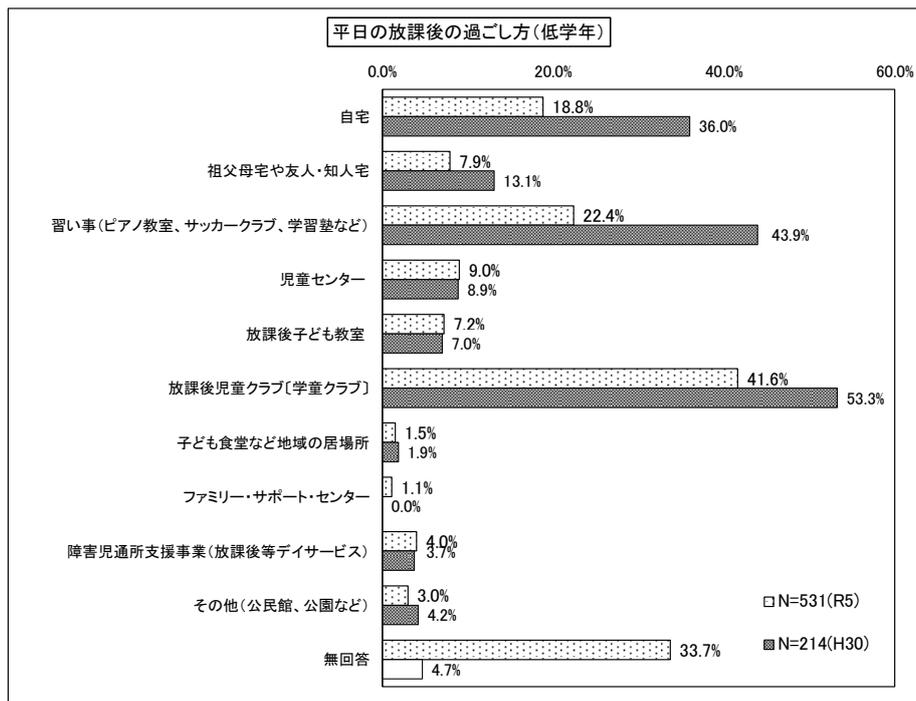
問 33 平日の放課後の過ごし方（低学年）（複数回答）

【低学年（1～3年生）】

小学校へ入学予定の子ども達の平日の放課後の過ごし方について、低学年（1～3年生）の希望は平成30年・令和5年では共に「放課後児童クラブ〔学童クラブ〕」が最も高い。

また、令和5年では「習い事」の割合が21.5%も減少している。

図表74. 平日の放課後の過ごし方（低学年）（複数回答）

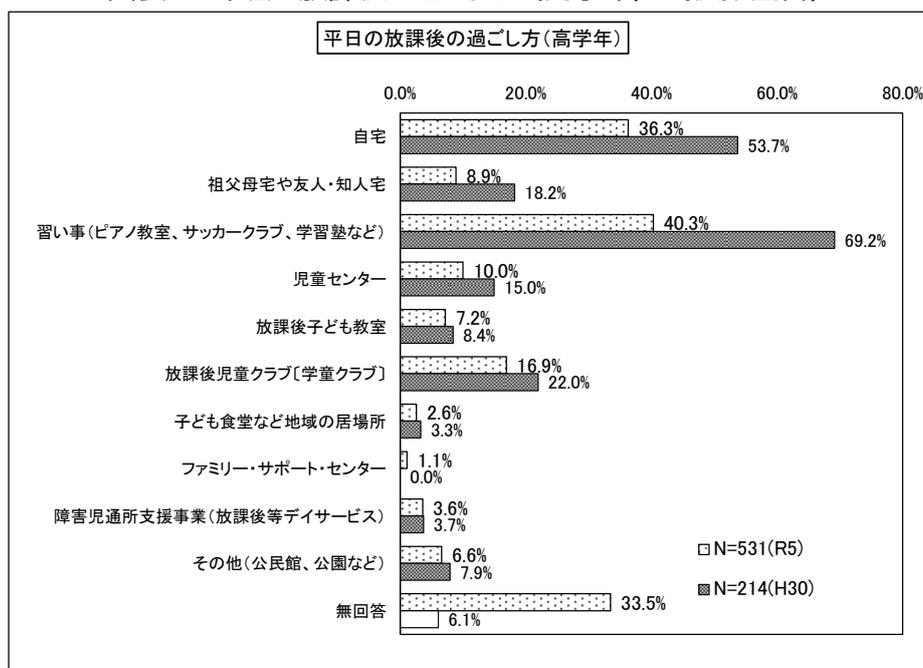


問 34 平日の放課後の過ごし方（高学年）（複数回答）

【高学年（4～6年生）】

小学校へ入学予定の子どもの平日の放課後の過ごし方について、高学年（4～6年生）の希望は平成30年・令和5年では共に「習い事」が最も高いが、令和5年では割合が28.9%も減少している。

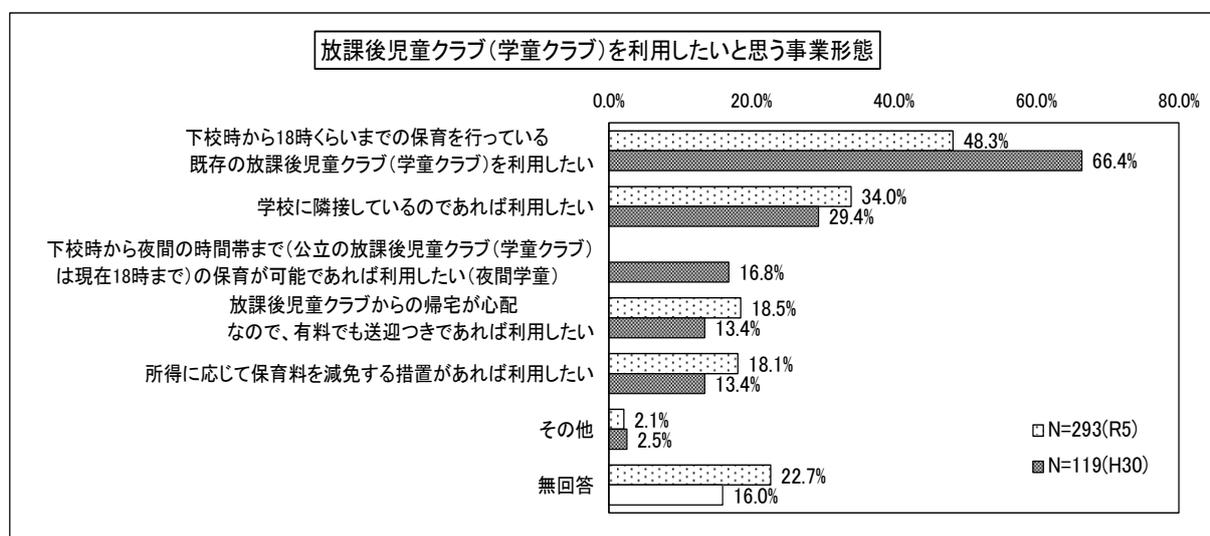
図表75. 平日の放課後の過ごし方（高学年）（複数回答）



問 34-1 放課後児童クラブを利用したいと思う事業形態（複数回答）

放課後児童クラブ（学童クラブ）を利用したいと思う事業形態については、平成30年より令和5年では、学童クラブや夜間学童の利用希望が18.1ポイント低くなっている。

図表76. 放課後児童クラブを利用したいと思う事業形態（複数回答）

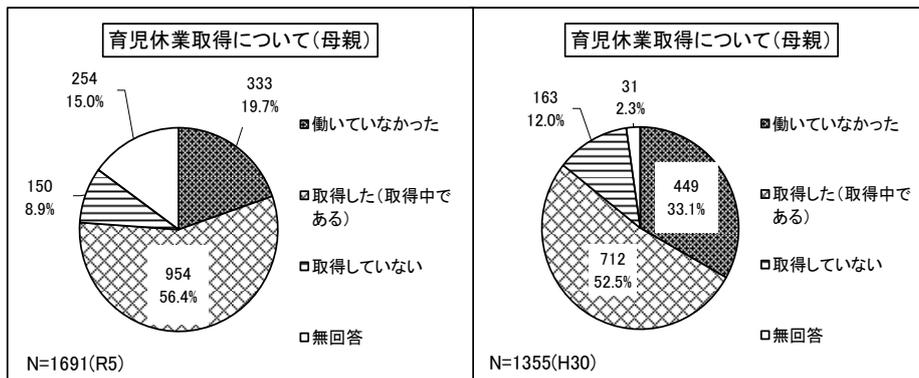


問 35 育児休業取得について

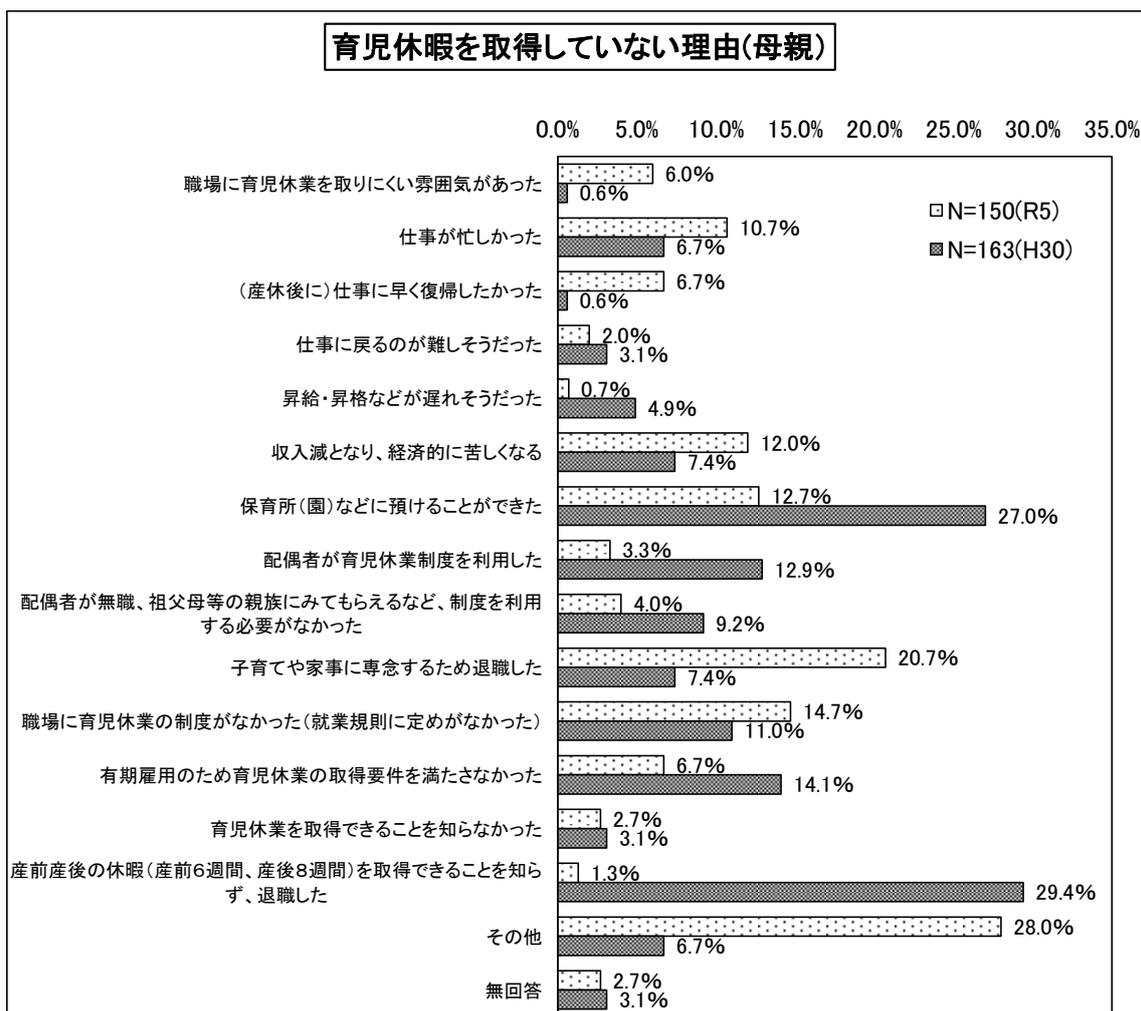
【母親】

母親の育児休業の取得状況としては、平成 30 年より令和 5 年では、育児休暇を「取得した」割合がやや増加した。一方で「働いていなかった」「取得していない」割合が減少した。

図表77. 【母親】育児休業取得について



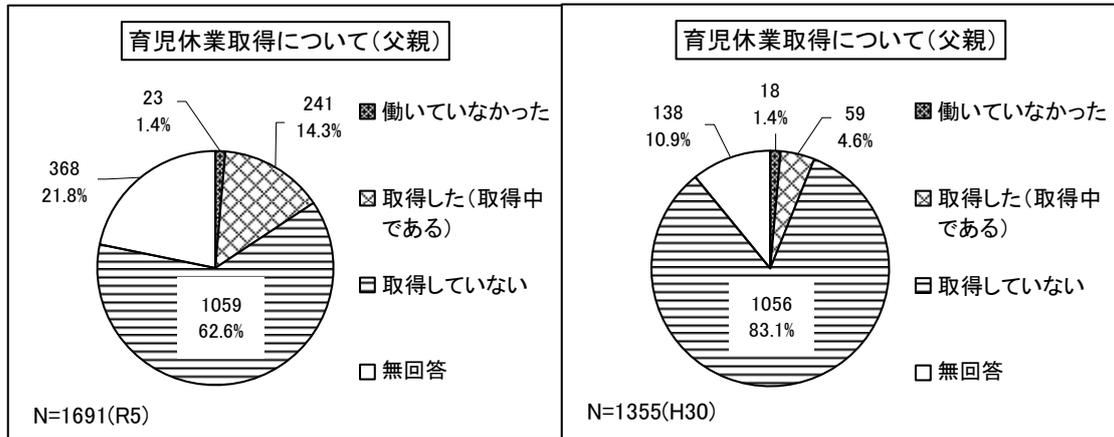
図表78. 【母親】育児休業を取得していない理由



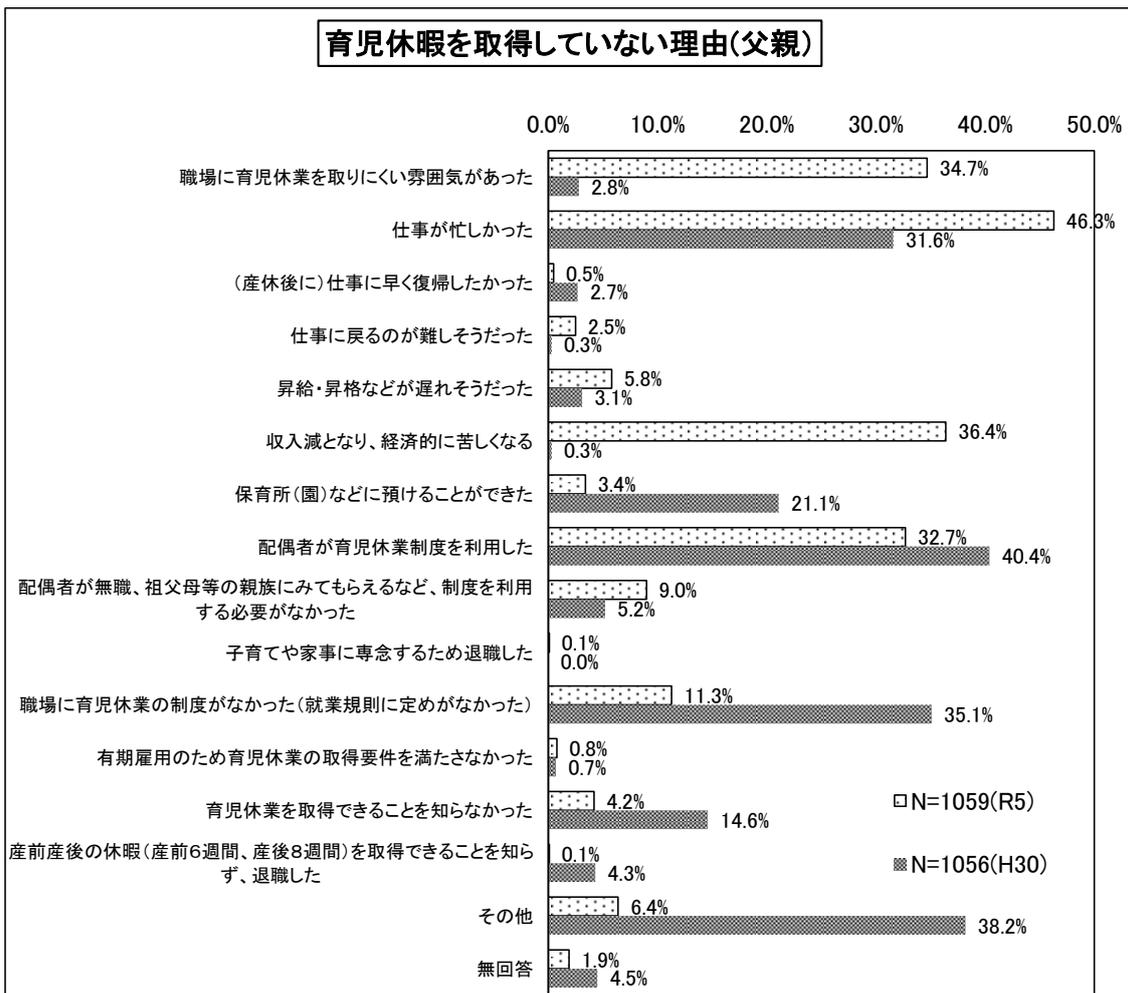
【父親】

父親の育児休業の取得状況としては、平成30年より令和5年では、育児休暇を「取得した」割合が増加し、「取得していない」割合が減少した。

図表79. 【父親】育児休業取得について



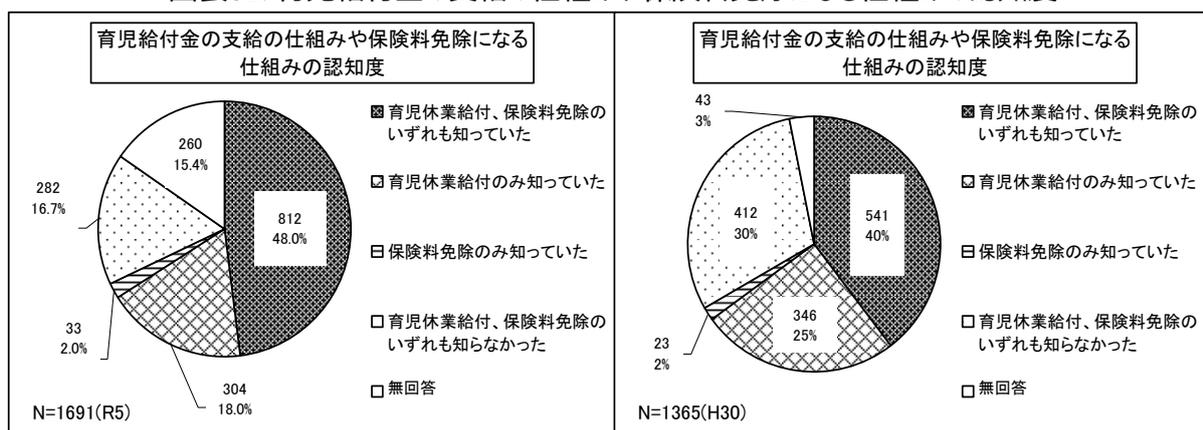
図表80. 【父親】育児休業取得について



問 35-1 育児給付金の支給の仕組みや保険料免除になる仕組みの認知度

育児給付金の支給の仕組みや保険料免除になる仕組みの認知度については、令和5年・平成30年共に「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が4割以上と最も高く、次いで、「育児休業給付のみ知っていた」が令和5年は平成30年より、7.0ポイント低く、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が令和5年は平成30年より、13.3ポイント低くなっている。

図表81. 育児給付金の支給の仕組みや保険料免除になる仕組みの認知度



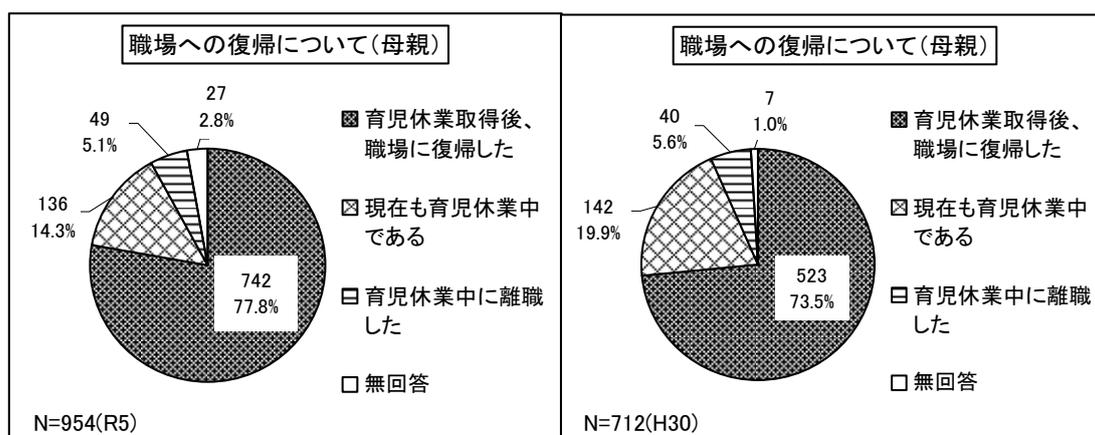
問 35 で「2. 取得した（取得である）」と回答した方のみ

問 35-2 育児休暇後の職場への復帰について

【母親】

母親の育児休暇後の職場への復帰について、令和5年・平成30年共に「育児休業取得後、職場に復帰した」が7割以上で最も高くなっている。「現在も育児休業中である」が令和5年は平成30年より5.6ポイント低くなっている。

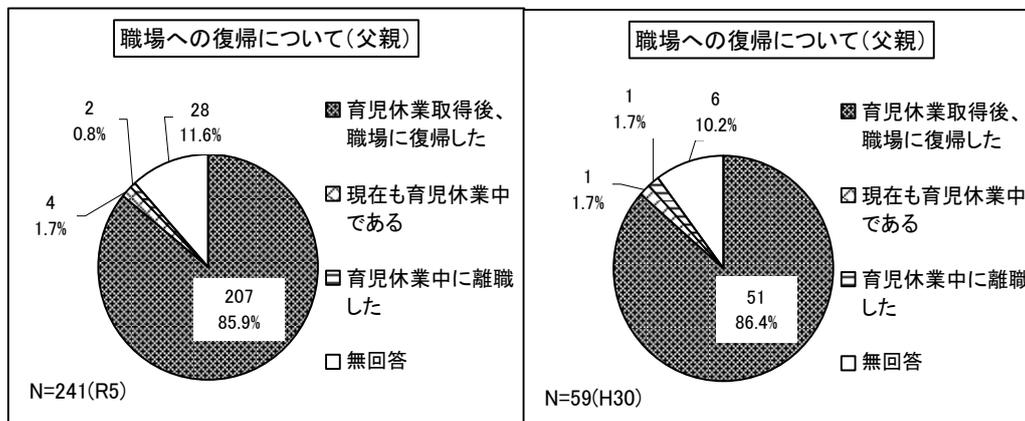
図表82. 【母親】育児休暇後の職場への復帰について



【父親】

父親の育児休暇後の職場への復帰について、令和5年・平成30年共にあまり変化はなく、「育児休業取得後、職場に復帰した」が8割以上と最も高く、「育児休業中に離職した」が令和5年は平成30年より、0.9ポイント低くなっている。

図表83. 【父親】職場への復帰について



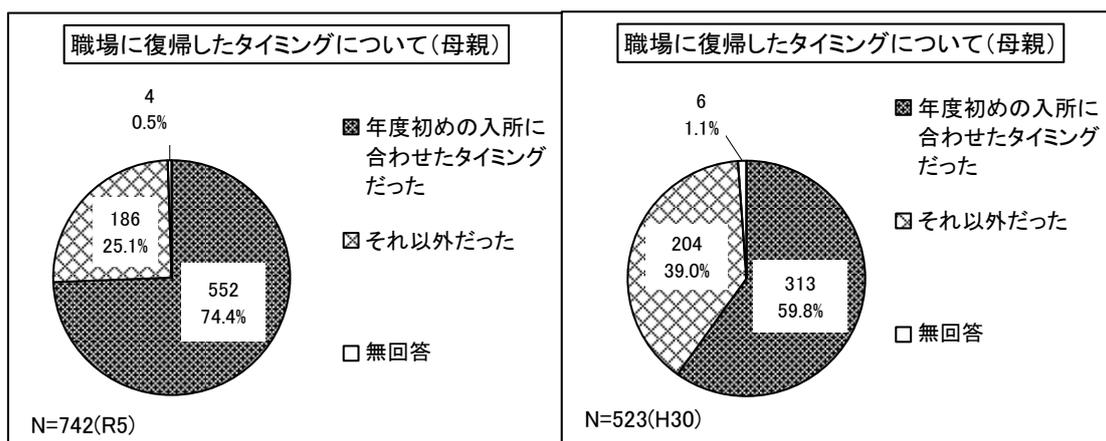
問 35-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 35-3 育児休暇後の職場に復帰したタイミング

【母親】

母親の育児休暇後の職場に復帰したタイミングについて、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が令和5年は平成30年より14.6ポイント高く、「それ以外だった」が13.9ポイント低くなっている。

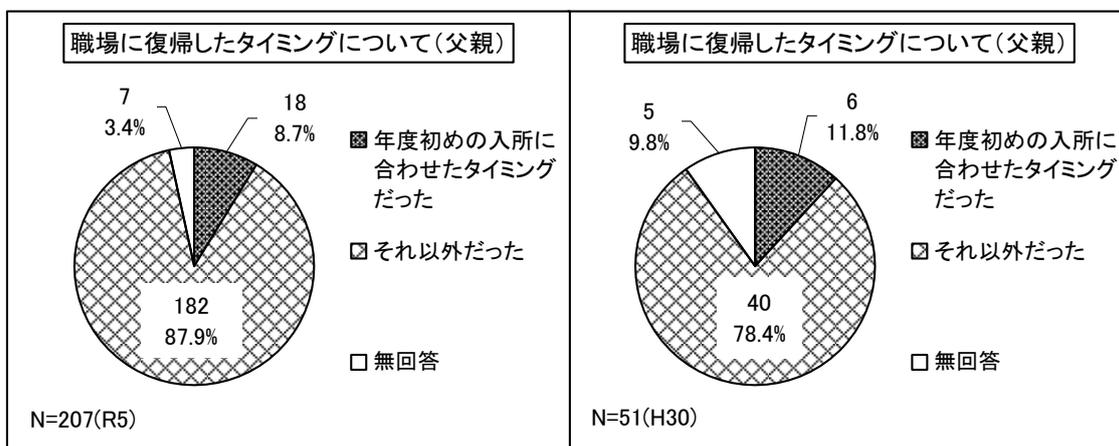
図表84. 【母親】職場に復帰したタイミングについて



【父親】

父親の育児休暇後の職場に復帰したタイミングについて、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が令和5年は平成30年より3.1ポイント低く、「それ以外だった」が令和5年は平成30年より9.5ポイント高くなっている。

図表85. 【父親】職場に復帰したタイミングについて

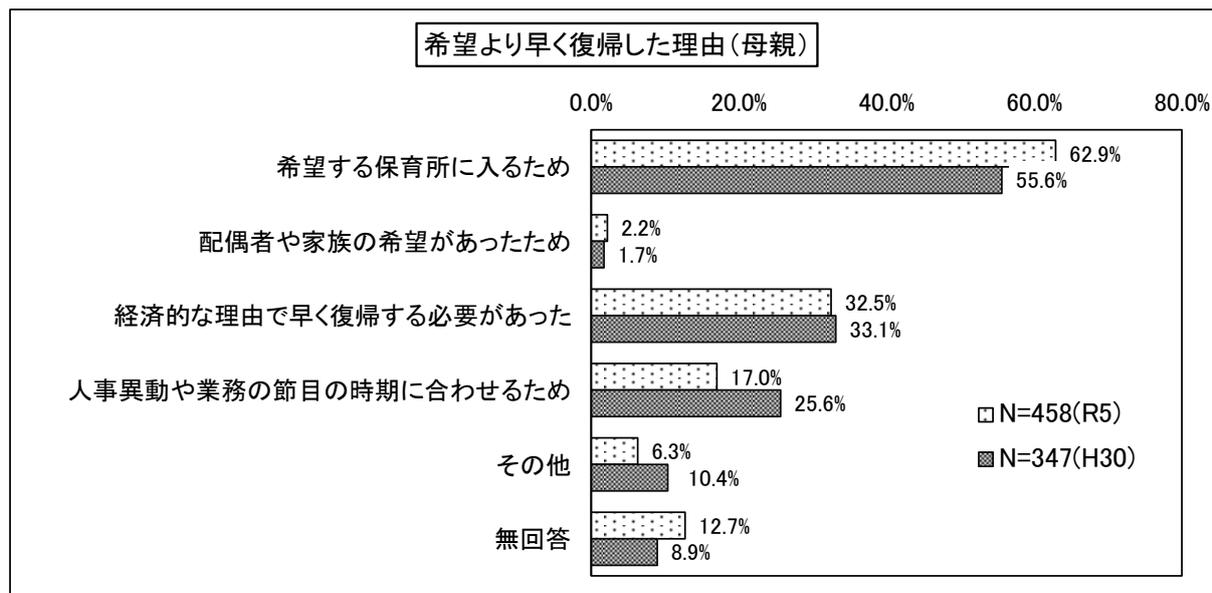


問 35-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由（複数回答）

【希望より早く復帰した理由（母親）】

母親が希望より早く職場に復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が令和5年は平成30年より7.3ポイント高く、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が8.6ポイント低くなっている。

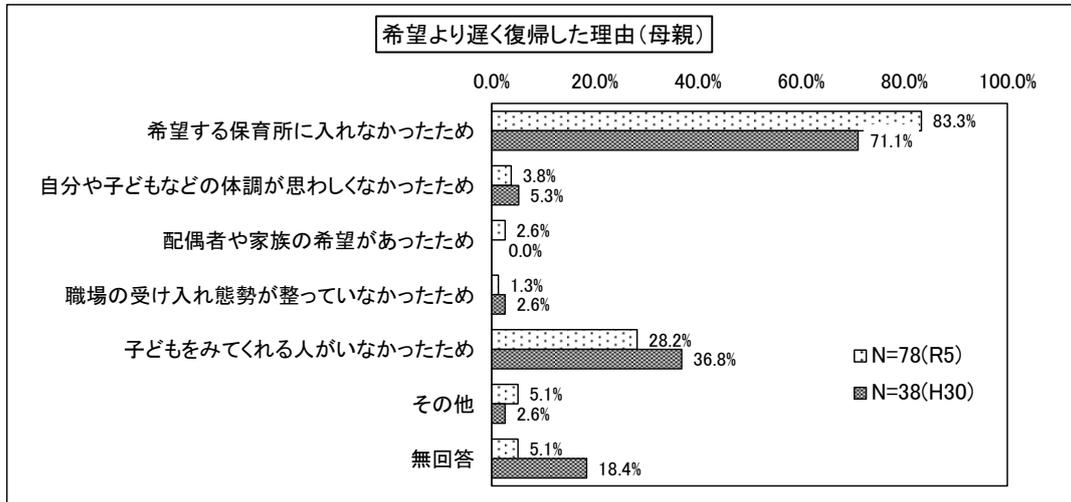
図表86. 【母親】希望より早く復帰した理由（複数回答）



【希望より遅く復帰した理由（母親）】

母親が希望より遅く職場に復帰した理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が令和5年・平成30年共に7割～8割と最も多く、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が、令和5年は平成30年より8.6ポイント低くなっている。

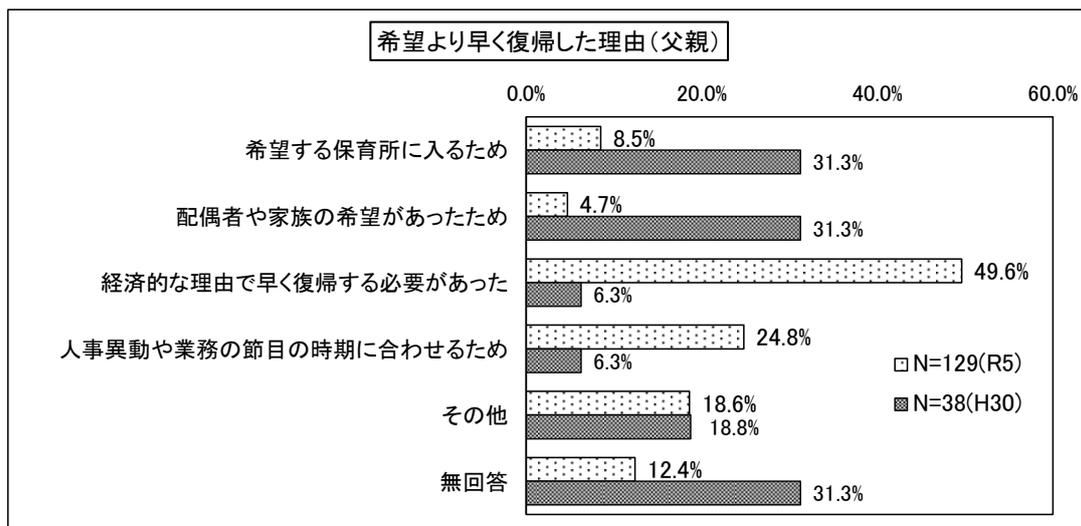
図表87. 【母親】希望より遅く復帰した理由（複数回答）



【希望より早く復帰した理由（父親）】

父親が希望より早く職場に復帰した理由は、「希望する保育所に入るため」が令和5年は平成30年より22.8ポイント低く、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が43.3ポイント高くなっている。

図表88. 【父親】希望より早く復帰した理由（複数回答）



【希望より遅く復帰した理由（父親）】

父親が希望より遅く職場に復帰した方は、平成30年は該当者なしで、令和5年は該当者1名だったが、無回答であった。

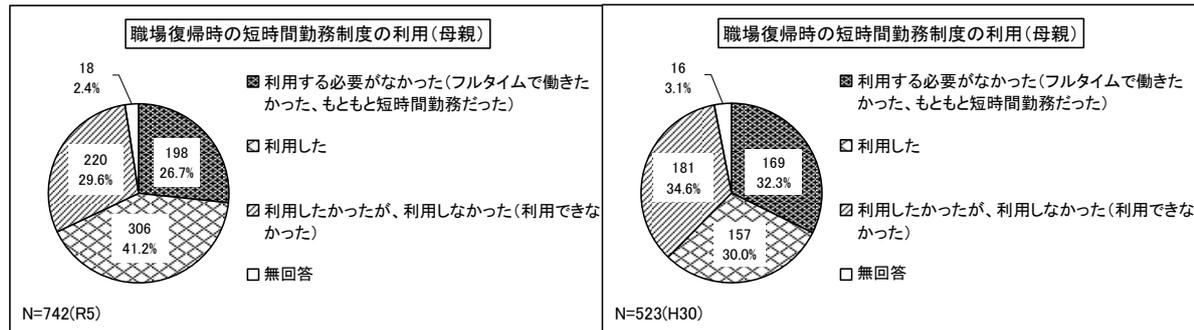
問 35-2 で「1. 育児休暇取得後、職場に復帰した」と回答した方のみ

問 35-7 職場復帰時の短時間勤務制度の利用について

【母親】

母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況については、「利用した」が令和5年は平成30年より11.2ポイント高く、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が令和5年・平成30年共に約2～3割程度である。

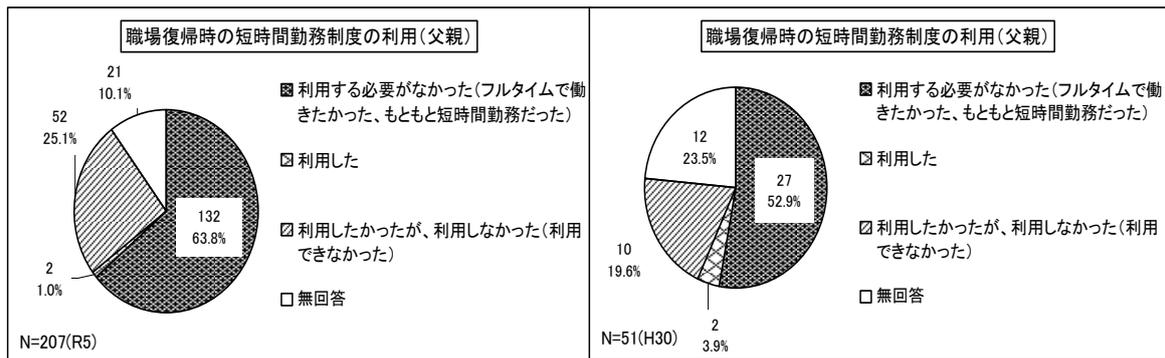
図表89. 【母親】職場復帰時の短時間勤務制度の利用



【父親】

父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用状況については、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が令和5年は平成30年より10.9ポイント高く、「したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が5.5ポイント高くっている。

図表90. 【父親】職場復帰時の短時間勤務制度の利用



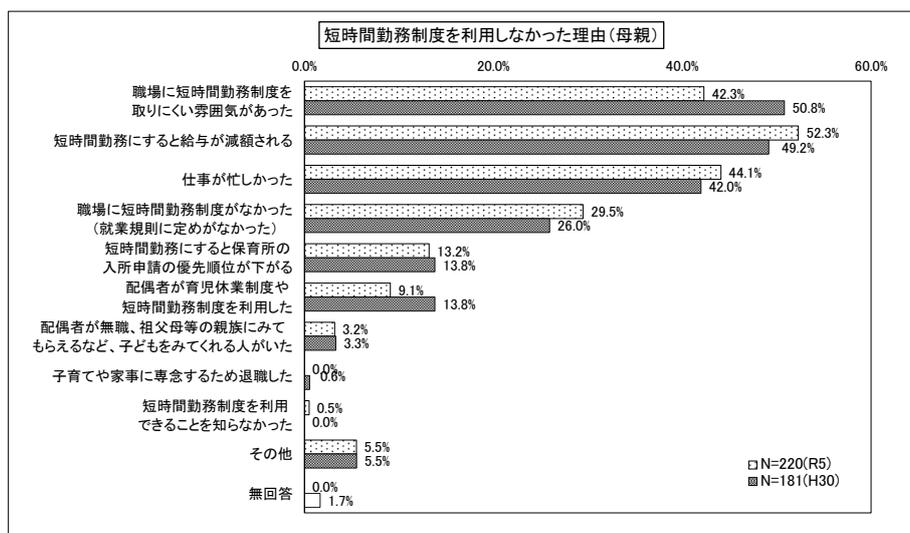
問 35-7 で「3. 利用しなかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方のみ

問 35-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）

【母親】

短時間勤務制度を利用しなかった理由について、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が令和5年は平成30年より8.5ポイント低く、「職場に短時間勤務制度がなかった」が3.5ポイント、「短時間勤務にすると給与が減額される」が3.1ポイント高くなっている。

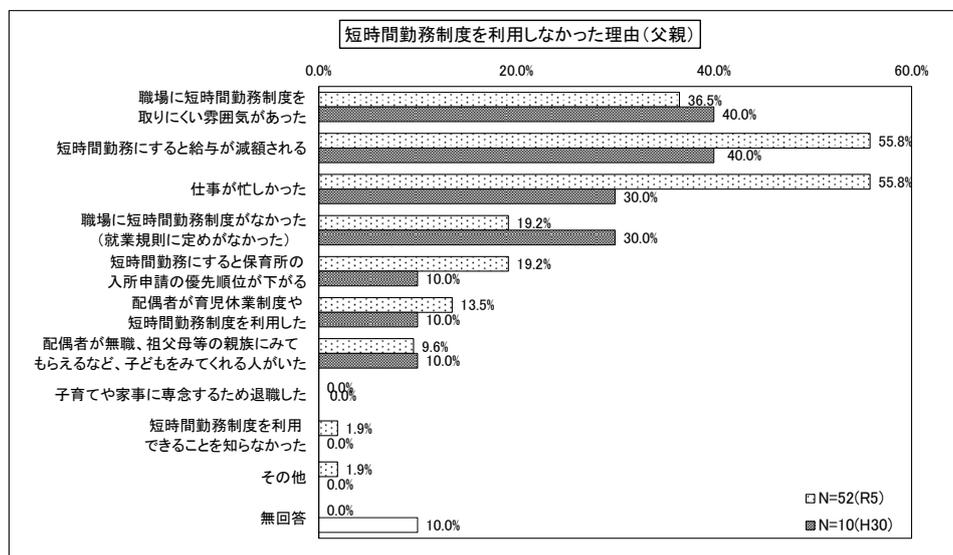
図表91. 【母親】職場復帰時の短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）



【父親】

短時間勤務制度を利用しなかった理由について、「短時間勤務にすると給与が減額される」が令和5年は平成30年より15.8ポイント高く、「仕事が忙しかった」が25.8ポイント高くなっている。

図表92. 【父親】職場復帰時の短時間勤務制度を利用しなかった理由（複数回答）



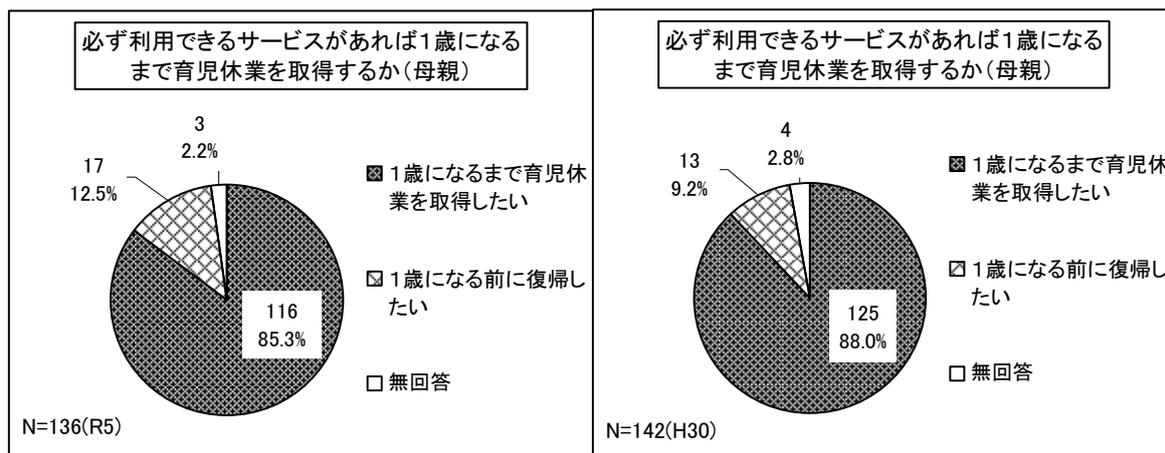
問 35-2 で「2. 現在も育児休暇中である」と回答した方のみ

問 35-9 1歳になるまでの育児休業取得希望

【母親】

母親の必ず利用できるサービスがあれば1歳になるまで育児休業取得するかについては、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が令和5年・平成30年共に8割以上で、「1歳になる前に復帰したい」が令和5年は平成30年より3.3ポイント高くなっている。

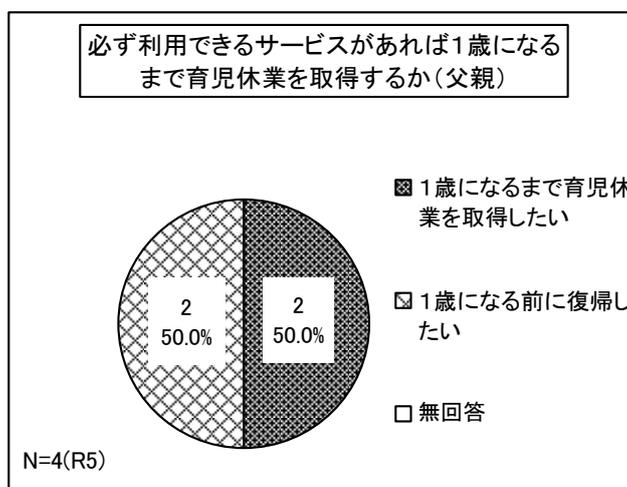
図表93. 1歳になるまでの育児休業取得希望（母親）



【父親】

父親の必ず利用できるサービスがあれば1歳になるまで育児休業取得するかについては、平成30年は有効回答がなかったため、令和5年と比較はできないが、「1歳になるまで育児休業を取得したい」、「1歳になる前に復帰したい」が共に5割の割合となった。

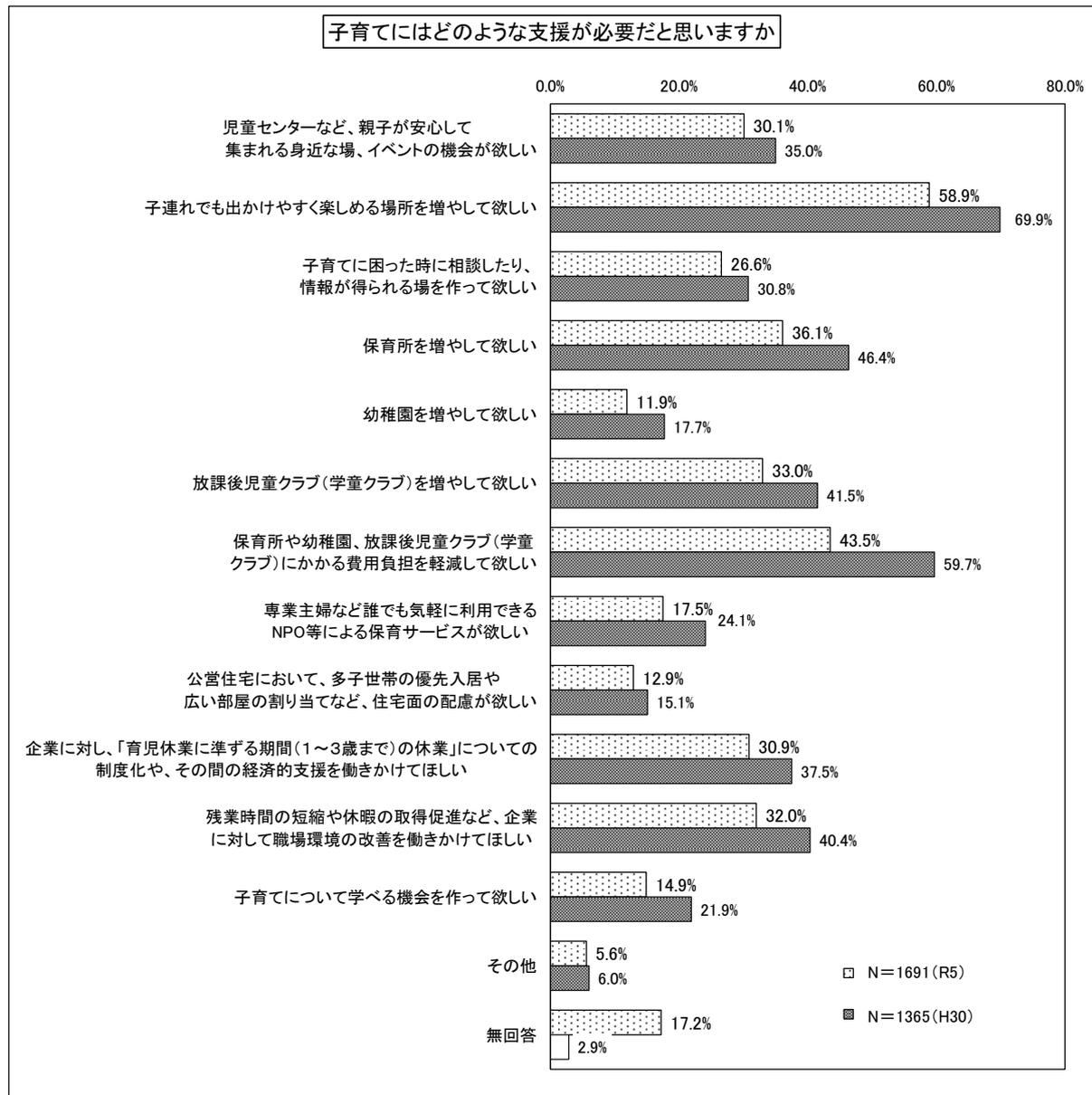
図表94. 1歳になるまでの育児休業取得希望（父親）



問 36 子育てにはどのような支援が必要だと思うか（複数回答）

平成 30 年と令和 5 年ではどちらも「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」が最も高く、「その他」が最も低い。また、全体的に令和 5 年の方が割合が減少している。

図表95. 子育てにはどのような支援が必要だと思うか（複数回答）



問 37 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援についての意見

回答者から挙げられたご意見を抜粋し、主な項目を整理すると以下の通りである。

図表96. 自由意見（就学前児童）

区分	件数
遊び場の確保・充実・整備	20
経済的支援・費用負担軽減	29
子育てに関する情報提供	5
保育所・幼稚園について	41
図書館・支援センター・児童館等の施設整備	13
医療サービス	2
送迎サービスや交通の便の改善	2
子育てにやさしいまちづくり・地域での子育てについて	8
保育・教育事業の時間延長	4
防犯・安全確保対策	10
病児病後児の預かり支援	8
学校教育の充実	2
子育て支援サービスの充実	7
仕事と子育ての両立支援	7
短時間の預かりや支援	4
相談体制	5
子ども・子育て関連のイベントや教室の開催	8
住まいに関する支援	4
待機児童対策について	5
ファミリー・サポート・センター事業について	8
その他（上記以外）	24

No	居住地区 (行政区)	自由意見－遊び場の確保・充実・整備
1	野嵩1区	子供が1才になるので、外で遊ばせるための公園を利用する事が増えた。小学生の子供がぶつかってきたり、ボールがとんできたりするので、年齢に応じて利用できる場所を区別する（浦添大公園みたいな）などして欲しい。 公園にゴミが目立つ。子供がさわるので、ゴミ箱を設置して

		ほしい。自分が体調不良になったとき、突発的に利用できる育児サービスがほしい。
2	新城区	公営の年中使えるプールや、小さい子でも遊べる公園が欲しい。子育て中の税金の減免、手続きなくいつでも使える病児保育や日曜祝日でも預かってもらえる保育園（資格試験は日曜日だし、葬式などは年中無休。）や育児等に関する講演会や講習会、行事。共働きの親でも参加できるものは少ない。特に就学前。
3	喜友名区	雨天時に土日祝でも子供を遊ばせる施設があればいいと思います。今後新しく宜野湾市内に公園を作る際には足場が砂や芝生だと動物の糞で不衛生なのでやめて欲しいです。それと噴水広場や水浴びができる公園があれば子育てする市民が増えて宜野湾市が賑わうのではないかと思います。宜野湾市が仲介するような形で月一回育児用品の譲渡会等があればゴミにならず処理代もかからない、必要な方は0円で育児用品が揃えて購入代を他の育児費用にまわし、と子育てがしやすい地域になるといいなと思います。アプリやインターネット不慣れな方は少なからずいると思うので育児用品回収ボックスとか設けるのでもいいのかなと思います。
4	喜友名区	歩道の確保、街灯設置、道路に減速加工を強く希望します。親子で利用できる。緑の多い開けた憩いの場・公園等があるとなお良い（駐車場がある場所）。児童館や公民館がもっと子供が利用しやすい環境であってほしい。「登録しないと使えない」や「老人のみが利用する施設感」が強すぎて「ダメだと言われた…」と利用を断念して道路で遊んでいる子供も居る。又、ボール遊び禁止の公園だけで、道路やアパート等の広めの駐車場でボール遊びをしている子供が多い。学校の開放も策の一つとして検討してほしい。子供達が自由に遊ぶ場所が少ない…。
5	大山区	宇地泊地区の区画整理で公園がどんどん作られるのはいいが、アダンも児童公園のすべり台、コンクリートが崩れて、中の鉄筋まで見えている状態で、危険だなと思いました！しかもそこが階段のところなので子供がジャンプしたりすると崩れてこないか心配です。既存の公園の整備もちゃんと行って欲しいです！あと、かたばる公園を週1清掃活動してくれるのはありがたいです。
6	大山区	宜野湾市は他の市町村に比べて、飲食店を子連れで楽しめる場所が少ないと感じています。市をあげて、飲食店に対して子連れの行きやすいお店づくりを支援する事業などもおもしろいと思います。

7	真志喜区	自転車の練習ができる場所があるといいです。
8	真志喜区	子どもを連れて、ゆっくりできる場（カフェのようなところ）食事を低額で提供してくれる場があれば、母親もママ友達をつくりやすいと思います。宜野湾市保健相談センターを、リニューアルしては？どうでしょう！立体（P）と、健診後などカフェ利用とか、イベントなど…。福祉推進部こども政策課のみなさんへ市民が子育てしやすいようにと、いろいろ考えてくださりありがとうございます。みなさんの働きに感謝です。お身体に気をつけて下さいね。宜野湾市で子育てしていて、とっても助かっています。どの子どもも、すくすくと、健康で豊かに育ててほしいと願っています。良い社会になりますように！
9	宇地泊区	しちやばる公園、ていーちが一公園、かめ公園、ロケット公園など全ての公園に駐車場を設けてほしい。あと自転車置き場などもあるといい。
10	嘉数区	大謝名小学校の近くに公園がなく、子供たちが自分で遊びに行ける場所がない。ぜひ学校近くに増やして頂きたい。
11	我如古区	雨の日でも利用ができる遊び場があると嬉しいです。現在は雨が降ると大型デパートに行くしか選択肢がありません。屋内遊具施設があると助かります。
12	我如古区	子どもたちが走れる公園、小さい子（3才頃）から大きい子（小6生）まで楽しめる遊具を備えて、駐車場もある場所を、随所に作って欲しいです。
13	長田区	動物と触れあえる場所。公園。図書館でのイベント。
14	長田区	公園などに、赤ちゃんが体を動かして遊べる無料の施設があると嬉しい。
15	長田区	宜野湾市には大きな公園がないしキャンプなどの自然を楽しむ施設がないのでそういう場所を増やしてほしいです。
16	宜野湾区	場所の確保が難しいのであれば、保育園周辺に遊び場等があれば、外に出て日光をあびる時間が増え、子供達の健康の獲得にもつながると思います。色々な考えがあると思いますが、市内の保育園は外遊びが充実しない園が多過ぎます。
17	愛知区	よく出かけるいこいの市民パーク、いつでもきれいに整備されていて気持ちよく利用できる。こういう公共施設を増やしてほしい。市役所など子どもを連れて出かける施設のトイレを小さい子どもが使いやすいように改良してほしい。
18	中原区	公園を利用する際、駐車場がない、または分かりにくいことが多い。公園等に駐車場があるのか、あるならどの辺なのか市のホームページなどで情報がほしい(あるならわかりにくい

		のでわかりやすくしてほしい) し、公園周辺に駐車場の整備もしてほしい。
19	中原区	子どもたちが安心して安全にすごせる公園を増やしてほしい。トイレ設備も古くて使うのもこわいです。そういう設備もきれいにしていきたいです。児童センターのような小学生、中学生が学校帰り等に気軽に立ち寄れる場、居場所を増やしてほしいです。大きな施設とかでなくて、家庭的な感じのできるのであれば、是非利用したいです。
20	中原区	雨が降っても遊べる所や子供も楽しめるイベントをもっと増やしてほしい。テーマパークやイベントのクーポンもあると嬉しいです。

No	居住地区 (行政区)	自由意見ー経済的支援・費用負担軽減
1	野嵩2区	国民負担率が48%なので子供を育てるのに資金が足りないのが現実です。フランスのように公立の教育機関を税金負担で通えるようにして下さい。(小、中、高、大)食育の名を基に給食費の税金負担をお願いします。(小、中、高)この意見を反映できるような行政を実現して下さい。
2	野嵩3区	保育料の収入による差をなくしてほしい。待機児童(特に0~1)の解消に向けて取り組んでほしい。子育て世帯への支援は収入など関係なく全世帯平等に行ってほしい。
3	普天間2区	経済的困窮はひとり親世帯だけではない。保育料の軽減等、生活にすぐに反映される経済的支援がほしい。
4	普天間3区	児童手当だけでは生活が苦しい。子供4名の世帯では年収350万円以上稼ぐのも大変だし、それ以上稼ぐと、児童手当が貰えなくなるのもおかしい。今後、この国では子供が少なくなるのが一般人でも目に見えて解かる。
5	新城区	もっと子供に使えるお金を増やして欲しい。(金額を上げてほしい)3才以降給付金の金額が減額されるが、それ以降も必要なのになぜ減額?
6	大山区	どんなに施設の質や数が充実しても、結局お金がかかる事が多いので、一定年齢以下(育児休業や短時間勤務が必要となる年齢)が利用する施設については無償化する、あるいは独自に児童手当へ上乗せする等経済的支援があればいいなと思います。
7	大山区	本土では妊娠期間中の医療費無料や0歳から保育料無料など、経済的な支援が手厚い自治体があります。子連れが多く、商業施設などを利用しやすい分、経済的な支援がもう少しあれば、住み続けたいなと思います。

8	大山区	<p>小学校入学時から、現在まで約20年以上宜野湾市に住んでいます。公園が近くにたくさんあり、遊具も整備され、とても子育ての環境が良いと感じます。課税世帯になりますが、保育料の3人目の数え方を見直しただけでないでしょうか。</p> <p>1人目の子が保育園利用時に3人目が入所というのは働いている母親としては難しいところが多くあります。3人目の保育料が発生する時（1人目が小学校入学時）には、保育料と1人目の子の学童クラブ利用料が重なり、大きな経済的負担となります。他市町村や平均的な学童利用料は、5000円～8000円とされているそうですが、宜野湾市の学童利用料は2倍近い1万5000円なので、他市町村程度に抑えていただけると助かります。</p>
9	大山区	<p>学童クラブが公立と民間で料金の差がありすぎる。保育所のように両親の就労や所得でみてほしい。</p>
10	真志喜区	<p>4月1日から認可保育園に通っていますが、その時は一昨年前の収入をみて保育料が決まるため、一昨年前は仕事していたから収入がある訳で、保育料も高くなる。産休・育休中は収入0円になるから、入園後9月からは保育料が無償化（非課税）になって大変助かるけど、4月～8月までの間が、本当に大変だったので、できれば昨年の収入をみて保育料を算出してもらいたい。社会制度を受けたいときに受けられたらありがたいです。</p>
11	真志喜区	<p>1名以上の子どもを産むには、金銭的な面（行政による支援金、税金の負担、保育料や子育てに係る費用）学校や学ぶ為の費用等が払っていけるのかと不安がある。その為、きょうだいを増やす事に前向きになれない。</p>
12	宇地泊区	<p>保育料の負担を軽減してほしい。例えば1人目→認可、2人目→認可外だった場合2人分で家賃を超える水準の保育料になる。2人共認可だと2人目は半額になるのでとても不平等。どこの施設を利用しても家庭の負担にあまり差が出ないよう支援がほしい。その支援があれば、認可外の枠も余すことなく活用されると思う。</p>
13	宇地泊区	<p>医療費無償は本当に助かります。ありがとうございます。</p>
14	真栄原区	<p>保育士や先生たちの給与を上げ、保育の質を上げてほしい。子供にかかるお金は税を取らないでほしい。教育費を無償にしてほしい。妊娠した時点で生活費を保証してほしい。産みたくても育休が取れない、つわりで働けないときのお金が不安。</p>

15	我如古区	育休手当で100%にしてほしい。手当での申請が2ヶ月かかるなどではなく、給与のように毎月入ってほしい。そうすれば、経済的不安は一際減って、安心して生活できる。
16	我如古区	高校までの義務教育化と教育費の無償化。
17	我如古区	多胎家庭への支援を手厚くしてほしい。(ミルクやオムツの支給等)
18	我如古区	非課税世帯の親は医療費無料等あったらいいなと思います。
19	我如古区	保育料無償化は0～5才を対象にしてほしい。
20	我如古区	子ども4人がいる多子世帯です。母子や父子家庭ばかり優遇されているように感じます。多子にも免除や給付金等があってほしいです。
21	我如古区	保育料の無償化があればいいなと思います。(0才から)双子の世帯など金銭面で免除があれば良いなと思いました。
22	長田区	子供が3才になるまで、自分で子育てしたいが金銭面に余裕がないため、仕事復帰しないといけなかった。保育園に入れても、最初はカゼなどで休みがちで仕事も休まないといけず、保育料もかかるのに給与も減った。早い時期から保育料無償だと助かります。
23	長田区	母子家庭だけでなく、共働き家庭にも手当等が充実して欲しい。
24	長田区	宜野湾市は子育てしにくいと感じている。待機児童が多く、子育て家庭に対する支援(給食費無料など)や給付金(習い事代や塾代、出産祝金など)が他の市町村や自治体に比べてない。魅力がない。
25	愛知区	宜野湾市だけではなく、国の問題ではありますが、保育士の給料の増額。専業主婦でも保育を利用できる。保育料の免除等。そして毎回低所得子育て世帯に給付金や免除制度などがありますが、高中所得世帯の方が苦しくて子育てしにくいという事を理解してほしいです。
26	中原区	保育料が3歳から無償だが、なぜ0歳から無償化にしてくれないのか。また、宜野湾市は他市町村よりも保育料が高く、非課税世帯への援助は手厚いが、共働きの子育て世帯への支援はない。不満。全ての施設において利用料が世帯の所得・市民税に応じて決められているのも、低所得家庭からすれば利用しやすくなるが、それ以外の家庭に関しては“お金がかかるなら利用しない”ことになりえる。←低所得家庭もそれ以外も、子育てに対する困り感は同等である為、同等にサービスを受けられるようになってほしい。

27	中原区	子が通っている学童での月額費用が高すぎです。（現在18,000円払っています。）県外は10,000円以下が多い中なぜ沖縄は保護者負担がこんなにもかかるのでしょうか。学童の費用が軽減されれば習い事にお金をかけたいです。ご検討宜しくお願い致します。
28	中原区	所得の差が教育に差が出ないようにして欲しい。大学までの教育費用は国が負担して、学びたい子供には親の経済力は関係なく平等に学べる機会を与えて欲しい。
29	-	子育ては、多額の費用がかかり、育てていくことに不安を感じる家庭もあると思います。学費免除など特定の世帯だけが、恩恵を受けるものではなく、全ての世帯で、子育ての不安を払拭できる政策などが宜野湾市で計画していただけると幸いです。

No	居住地区 (行政区)	自由意見ー子育てに関する情報提供
1	真志喜区	就学にあたり、学童がとても少なく入りづらいことに驚きました。引っ越してきて知り合いも少なく、情報もないので、今とても困っています。児童センターの人数を増やしてほしいです。また小学校へお迎えに行ってほしいです。民間学童は保育料も高く負担が大きいです。 いくつか（民間に）申込み、入所可否の結果を待っていますが、入れなければ退職するしかない状況です。低学年のうちは1人で家においておくことも難しいので、ぜひ市で何か検討いただけたらと思います。
2	宇地泊区	調べないと分からない事、知らない事が多く、地域でこのような支援がありますと、説明会など、定期的に行ってくださいたら、母子、父子家庭の方、低所得の方などが暮らしやすくなるかな？と思いました。何かしら頼りたくてもどうしたら良いかわからない方は多いと思います。
3	嘉数区	コロナ禍だったためか、子育てに関する情報発信が少ないと感じる。また、転居してきた人への情報伝達も少ない。役所で転入手続きをする際、子供のいる世帯へ、児童センターの案内や自治会加入についての案内などより力を入れてもらいたい。
4	真栄原区	子ども向けのイベントなどがあるとき、もっと情報を広めてほしい。（例えば、宜野湾市のLINEなどで知らせるなど。）公園マップなどがあると、面白いと思いました。

5	愛知県	子供向けのイベントや地域交流の情報の告知は、やっぱり届きにくい。気づいたら日付が過ぎていたり、予定が入ってしまっていたり…。参加したいのに…。SNS使ってほしいです。インスタとかで公園とか、イベント、サポートしている内容とか広めてほしい。
---	-----	---

No	居住地区 (行政区)	自由意見ー保育所・幼稚園について
1	野嵩1区	専業主婦でも2人目以降、上の子を気軽に保育園、幼稚園に通わせてほしい。子どもと24時間つきっきりは、しんどいです。下の子をお家でみているからといって、上の子の退園はやめてほしいです。
2	野嵩1区	就労状況、家庭環境、子どもの病気や障がいの有無に関係なく、保育園や幼稚園などで子どもを預かって欲しい。現代の祖父母世代は何かと忙しく家に居る時間も少ないので昔のように家族みんなで子育てをすることには限界がある。又、親も働き方が増える中で、様々な暮らし方、働き方をしている。わずらわしい手続き等をより簡潔にして、誰もが子どもの就学までの大変な時期に保育園、幼稚園のサービス受けられるようにして欲しい。
3	野嵩1区	産後の職場復帰時に、いつでも希望の保育園へ入園できる環境にしてほしい。多子世帯への優遇をもっと増やしてほしい。
4	野嵩2区	1クラスの在籍児童数を減らして欲しいです。1クラス40人では、どんなにベテランの先生でも、目が行き届かないと思います。学力を上げるために、安全で安心な学校をつくるために、1クラスの上限を30人以下にして欲しいです。また、支援学級の児童も、通常学級で学ぶ機会もたくさんあるのに、この人数の中に含まれていないのも、おかしいなと思います。全員の児童数で考えて、1クラス30人以下にして頂きたいです。1人1人の子どもを手厚く見てもらいたいです。
5	新城区	実家からの支援や援助を受けられない家庭のために、産後の生活サポートが充実していただけると嬉しいです。希望する人全てが希望した時期に保育園等に入園できる環境になればなあと思います。
6	新城区	保育園と幼稚園の教育費？を同じにしてほしい。幼稚園も土曜保育をやってほしい。

7	新城区	フルタイムで働いているため、保育園の先生方には感謝しかないが、先生方の研修や保護者からの要望やクレームなども多いと聞く。先生方の負担を減らしてほしい。
8	新城区	幼稚園 or 保育園で、今後の通う園に悩みました。幼稚園へのメリットはとて多く感じましたが、週2のお弁当がとて大変に思えて、それさえなければすぐに幼稚園を選択するのに…と思いました。給食となると夏休み冬休み（小学校・中学校の）期間中は無くなるはずなのでケータリング対応（もちろん有料でかまいません）ができれば嬉しいなあ…保護者の方々にも色々な意見あると思いますが、一つの意見として聞いてもらえれば幸いです。
9	喜友名区	私は保育士をしています。保護者がリフレッシュでの保育園利用が多いため、私たちは日々の保育が圧迫しています。保育士も週休を与えないといけない、でも土曜日利用児が多すぎて土曜出勤の人数を確保しなければいけない、そうすると平日に休みを回さなければならず、平日圧迫し、思うように活動できない。（散歩や園外保育など）又、アレルギー児も多いため0歳3人対保育士1人。1、2歳児6人対保育1人では、対処が困難、そのため早急に保育士配置基準の見直しを要求します
10	伊佐区	公立幼稚園の3年教育の希望。公立幼稚園の給食の導入。
11	大山区	夫婦どちらも、移住して来たので、子供も預けられるような頼る人がいません。家の目前が保育園なのにいっぱい入園できません。育休中ですが、あと半年で2才なので、収入もなくなります。沖縄はシングルマザーなどにはとても親切だし優遇されているのに、移住組には冷たいととても感じます。本当に困っている人を優先して保育園に入れてほしいです！
12	大山区	保育園を2年連続でおちており、こんなにも入園できないのだ…と残念です。来年こそは、受かりたいです。
13	大山区	保育内容については満足していますが、保育士が少なく心配です。基準内の配置かもしれませんが、散歩やバスに乗って園足に行く時は、特に不安です。置いていかれないか、しっかり見ているのか不安で遠足の日には休ませた事もあります。保育士さんの手当てを増やし、基準以上の人員配置ができれば、親も子供も安心して保育園へ、行く事ができます。よろしくお願いします。
14	大山区	公立の幼稚園のお弁当の日を認定こども園などの月1程度にして欲しい。希望者全員（親の就労問わず）預かり保育を実施して欲しい。

15	大山区	兄弟が1歳になるまでは、専業主婦でも預かり保育をして欲しい。
16	真志喜区	保育料に見合った保育内容の実施→減額してほしいを求めたいです。また、めいっぱい時間利用したい（お迎え時間の指定をやめてほしい）。行事・イベントをちゃんと実行してほしい（何の説明もなく予定行事が行われていない）。定期的な身体計測の記入がされない等。
17	真志喜区	全部の保育園が認定こども園になってくれたらとても助かります。私の出身地が全て認定こども園なので。認可保育に申請する時、仕事をしていない母親はどうしてもポイントが足りないので、入園しにくい、その点こども園は働いてなくても少なからず希望が持て、入りやすいと私は思います。
18	真志喜区	幼稚園年少（3才）から通えたらよかったと思う。下の子が現在（4才）、来年（年中）でやっと入園できるので他市町村のように年少からの受け入れがあると助かるなと思いました。
19	宇地泊区	育児において色々なサービスがあり感謝しています。発達に多少気になるところはありますが、元気にすくすくと育っています。個人的に、一時的な預かりではなく、保育園のような定期的、長期利用できる場所を強く望んでおります。子どもや、親も安心して利用できる為。仕事復帰において、会社からの圧もあって、今まで通りに働く事が出来るか不安です。どうか待機児童がなくなり、職場環境が理解ある世の中になりますように。大切な子どもとの時間が貴重であるのに、わがままですみません。
20	宇地泊区	保育園、幼稚園を増やして欲しいのはありますが、外を散歩しない園、小麦、砂糖、添加物をださない園を増やしてほしいです。オーガニックな自然に近い食べ物をだしてほしい。子どもの健康は食からです。適切な食を園でも学校でも提供してほしいです。
21	宇地泊区	小規模保育園卒園後の入園先を増やしてほしい（3才児が確実に、できるだけ希望する施設へ入園できるように）公立幼稚園の3才児の受け入れ（3年保育）子ども園への移行を早めに進めていただきたいです。
22	大謝名区	子どもが保育園で熱が出て、次の日熱が下がっているのにコロナの影響で1日様子見て下さいということが何度もあった。検査もして、熱もない状態なのに保育園に登園するのを断られることの意味が分からない。この制度のせいで、余分に仕事も多く休まないといけなくなっている。上の子が幼稚園にかよっていたが、給食があまりにも少なく、かわいそう

		だったので増してほしい。認可保育園から移ったのでギャップがすごかった。
23	大謝名区	①他市町村では年度転園の制度があるのに、宜野湾市は一定退園しないといけない制度設計なのではないでしょうか。兄弟で違う保育園に通っているケースが多すぎ、保護者の大きな負担になっています。②幼稚園についても、週2回のお弁当は、他の市町村ママ達と話してもおどろかれます。これでは、共働き世帯は負担が大きく、通せることを諦めなくてはなりません。（5才児保育問題解決のためにあえてやっているのでしょうか？）この2点をどうか、解決してほしいと切に願っています。
24	嘉数区	子ども3名（4、1、0歳）がおり、楽しいことが多いですが、仕事での急な休みや保育園（同じところに）に入園できないのがすごく負担に感じます。 「入れるだけラッキー」とよく言われてしまいますが、入れることが普通になったらいいなと強く思います。
25	嘉数区	母親が専業主婦でも、週1～2回、保育園利用できるようにしてほしい。（利用できる保育園を増やしてほしい）。実家に頼れず、ずっと家庭でワンオペ育児をしていると、心の余裕がなく、2人目、3人目を作ろうと考えられなくなる。
26	嘉数区	認可保育所の選考に関し、過去の応募人数や点数の分布、当落ライン等を開示していただき、入所の見通しが立てられるようになると良い。
27	嘉数区	保育園の連絡帳を、手書きのものからアプリ（コドモなど）へ移行するようになって頂けると助かります。そのニーズ調査もあると、園に働きかけやすいかと思いました。
28	嘉数区	早生まれ（1月～3月）の子どもは、保育園の0歳児クラスの4月の一斉入所には間に合わず、空き待ちをしたが、結局一年間は待機児童となった。同じような保護者は多いと思う。早生まれの子どもたちの分の0歳児クラス入所枠を設けてほしい。（6月入所など）
29	真栄原区	配置基準の見直し 保育人数に対して保育士が少なすぎる。
30	真栄原区	両親が就労しているにも関わらず、認可保育園にはいれず、3歳児に1号認定でこども園に入った場合に、2号認定と同じ時間帯で保育をしてほしい。こども園の施設によっては、2号認定だったら、7時から預けられるのに、1号認定だと、8時半からしか預けられず、早朝保育料が発生する。保護者の就労が確認できるのであれば、2号も1号も平等にしてほしい。早朝保育料を補助する等してほしい。

31	真栄原区	先生の人員を増やして欲しい。人手不足なら仕事量を減らすべきではないのか？（提出物や研修など）子供との関わりがなさすぎる。学校行事は年間表ではなく、前もって前月に連絡して欲しい。学校の遊具が全く無い。危険・資金がないのは分かるが、それでは子供の発達の為にはならない。宜野湾市も幼稚園を年少からにし、給食ありの14時迄にはできないのか？そうならば、少しは親の負担も軽くなる。（保育所不足パートでも働ける）
32	我如古区	保育園の1クラスの先生の数を増やし、先生の負担を減らしてほしい（先生も子もゆとりが生まれる）。園庭が広く子供達のがびのびと走りまわられる環境（砂だけではなく土や芝生など昔ながらの感じ）。
33	我如古区	宜野湾市の公立幼稚園は5才が主で週2回のお弁当で保護者の負担が大きい。浦添市の公立幼稚園は3才から入園できて（認定こども園になっている）毎日給食が利用できる。施設からみても3才から利用は難しいと思うがせめて毎日給食が食べられるようにしてほしいと思う。
34	我如古区	公立幼稚園をなくさないでほしいです。遊びを中心とした、子ども一人一人を大切にしたい素晴らしい教育をしています。小学校とも連携しており、一年生になるにあたって本当に安心して通わすことができます。習い事や親のニーズばかりを重視した私立園、認定子ども園ばかりではなく、公立幼稚園を大切にしてほしいです。弟たちも何人かいます。絶対に公立幼稚園をなくさないで下さい。お願いします。
35	長田区	出産時は働いておらず、本当は1歳になるまでは子どもを自分で見たかったです。ですが1歳クラスからの入園や0歳クラスの途中入園はなかなか空きがないと思い、4月から保育園にあずけ仕事も再開しました。もし1歳から必ずあずかってもらえる場があると安心できる制度や環境が整っていたらありがたいなと思います。
36	長田区	下の子が産まれた時、上の子供達の保育利用時間が短縮されました。0歳の子を連れて、上の子の保育園の登園降園することに精神的につらいと感じていた。（睡眠時間も短かったので）風が強い日、雨の日はとても大変だった。役所へ相談しても対応してもらえなかった。話を聞いてもらえず悲しい気持ちだった。保育料も払っているのに保育時間を短縮されたのは納得いきませんでした。育休期間も1年未満でもっとたくさん子供と過ごしていたかった。

37	長田区	認可保育所をもっと増やして、対象になる家庭の範囲を増やさないとダメだと思います。適切な保育を受ける権利は、家庭の事情で決まるのではなくて、すべての子供が平等に受ける権利があります。だから予算の配分を大幅に変更して宜野湾市の子育て世代が安心して子育てできる環境を作る必要があります。
38	宜野湾区	ひとり親で実家にも頼れない状況のなか、年度初め以外のタイミングで急きょ保育園に預ける必要があったが、当時はどこも無理で結局市外の認可外に預けることになった。一人ひとりの家庭状況に応じて、配慮していただけると助かります。
39	愛知区	養育支援訪問事業は本当に助かったが、預けて外出も出来たらもっと良かった。一時保育はもっと利用出来るように保育園への助成等を行ってほしい。長時間延長保育を行う保育所の増加、もっと早朝から開園している保育園があれば多様な働き方をすることが出来るし、父母どちらかに育児の負担の偏りが減ると思うので検討してほしい。企業主導型保育施設が那覇寄りに偏っているので分散してほしい。離乳食教室の時子ども預かりもしてほしい。又、離乳だけでなく幼児食の教室も欲しい。もっともっと認可保育園を増やしてほしい。
40	中原区	いつでも希望したときに、保育所に必ず入れるという市になってほしい。
41	中原区	就学前は公立幼稚園に通わせたいと思っていたが、宜野湾市内の幼稚園には給食がないこと、送迎で車を止めるスペースがないことがありあきらめました。共働きをしながらお弁当作り、日々徒歩での送迎はとても大変だと思います。他市町村のようにせめて給食を導入していただければ保育園の定員オーバーも改善されるのではないのでしょうか。

No	居住地区 (行政区)	自由意見—図書館・支援センター・児童館等の施設整備
1	野嵩1区	<p>公民館をもっと上手に使っていったら良いと思う。公民館を子育て支援センター他の児童館の様にして、2～3人常時保育者をおいて、お母さん達が少し離れても見てくれている人がいると安心だし、子ども達も保育所や幼稚園に行く前の練習にもなるし、ママ達も気軽にお茶しながら話せるような所にしてほしい。公民館が古くて、運営している方も年配の方が多いなど…。公民館だと広さもあるので、子育てのイベントや、ワークショップ、ベビーマッサージやママヨガ、季節のもの作り等色々できそうです。そして、小学生たちも学童だけでなく、集えるような場になると思う。長田公民館がすごく良い例のような気がします。宮古島の支援センターがその様な感じだったので参考にしてほしいです。</p>
2	野嵩1区	<p>普天間小学校区は学童が3つしかないようです。見学にうかがった時期が、10月中旬だったからか、出遅れてしまいました。2つの学童→(「学童への見学時期はいつ頃からがいいのか」など、口コミでしか知ることができなかった。行政の方で取りまとめて、いつから見学可能なのか、申し込みはいつごろ開始かなど、保育園や幼稚園のように募集通知を出してもらえると助かります。他の校区は、周りにたくさんあるのに、なぜ普天間小周辺には少ないのでしょうか？子どもが少ないわけじゃないですよ？もう少し増やしていただけると、親としても、子どもと一緒に安心して預けられる場所を探せると思います。</p>
3	野嵩1区	<p>気軽に利用できるようにする為、市内の大きいスーパーや、市役所内に保育所がほしかった。あと、学校内に学童をつくってほしい！学校内であれば、放課後校内ですごすので安全だし、広さも、あそぶ友達もいるし、そこに教員OBの方や保育資格をもつ方を配置して宿題を見たりして発達や家族内の問題のある子へのきれ目のないケアができる。これは本当にやってほしい。</p>
4	伊佐区	<p>放課後児童クラブ入所希望ですが、募集しないと募集はしても12月頃で若干名などが多く、全然見つからなくて困っています。(仕事が続けられない恐れ)入所希望者数に応じた数となっていないのでは。また単に預かるだけではなく、有料でも様々なプログラムを組んでもらい、保護者が選択できるようにしてほしいです。</p>

5	大山区	学童をもっと増やしてください。保健センターのトイレが和式で利用しにくい。健診で子供が検尿を行うので洋式に変えて欲しい。
6	大山区	はごろも小学校区は学童が明らかに不足しています。保育園や幼稚園を通して就学前の親のニーズを把握していただき、施設が不足している場合は施設の定員の増員や増設を検討して欲しいです。校内に公設の学童クラブの設置を希望します。民間学童は利用料も高額です。小1の壁で就労を諦める親も周りにいます。民間の学童任せにせず、公立の学童の設置や補助金等を検討してください。
7	宇地泊区	学童クラブを希望する人にもれなく入れるように増やしてほしい。保育園並の規模、料金等負担が軽減。宜野湾市の保育園は充実してきたけれど、その後の支援がまだまだだと思う。
8	嘉数区	学童を増やしてほしい。保育園（幼稚園）に学童があるといいです。
9	我如古区	宜野湾市の放課後児童クラブについて。市の児童クラブは利用料5千円と安いですが利用時間が仕事をしている人からしたら、短すぎて送迎時間を入れるととても間に合わず、それ以外の児童クラブに入れるしかないがそうすると、利用料が高すぎて入れられない。結果生活の為に仕事をしないといけなから、子ども帰宅してからのお留守番の時間が夜までと長くなってしまうので心配。
10	長田区	宜野湾市は、学童がとっても少なく困っている人がたくさんいます。うるま市の児童館で、土曜日のお昼ごはんもボランティアの方達が作って子供達に食べさせてくれるようで宜野湾市にも、そういうボランティアがあったらいいなと思いました。
11	長田区	学童の数を増やして欲しい。特に私立等、公立学校以外の児童も通える学童を増やして欲しい。住んでいる地域が、地元でない、知り合いがいない場合、小学校や中学校の情報（学校の雰囲気や特色等）を入手することが難しいので公立学校の情報交換できる場所・機会を設けてほしい。
12	宜野湾区	働く前は子育て支援センターに通わせてもらい、とても楽しく過ごせました。宜野湾市はセンターの数も多く、スタッフの方も親切な方が多くて大満足です。現在は仕事があり行きませんが、機会があればまた参加したいです。

13	宜野湾区	放課後児童クラブも少なく、地域によっても差が大きい。保育所整備もあるので、放課後児童クラブの整備、利用体制整備など一貫して行ってほしい。差が大きすぎて上の子のときは大変困った。子育ての預けるなどの困り事、身近に親族がいないと本当に大変。もっと気軽に一時的に預かってくれる施設が増えてくれたらうれしいです。
----	------	--

No	居住地区 (行政区)	自由意見－医療サービス
1	野嵩1区	各保育所に常駐の看護師がいて、軽度の体調不良の子は看られるような環境が欲しい。
2	大山区	コロナ後から病院が完全予約制になり、体調不良になってもすぐに病院予約をとれない事が多い。(1週間予約埋まっている等) すぐに対応できる環境に戻ってほしい。また、親その他家族の体調不良時、子ども一緒に園を休まないといけない場合があるのでその際の預かり場所が欲しい。

No	居住地区 (行政区)	自由意見－送迎サービスや交通の便の改善
1	真志喜区	車を持ってないので、小さい子と外出しやすい公共交通を増やしてほしい！大型商業施設に子供も遊べる施設入れてほしい。子育てにつかれたママのサービス増やしてほしいな。
2	嘉数区	コミュニティバスを走らせてほしい。

No	居住地区 (行政区)	自由意見－子育てにやさしいまちづくり・地域での
1	野嵩3区	地域との交流、各公民館に気軽に立ち寄れて、オジーオバー世代とも子ども達が交流して勉強をおしえたりする。地域で子を育てるしくみ、あればいい。働く親が増えているので、家事代行や子どもたちが栄養とれる食事をとれるしくみ(子ども食堂)→年会費制 take out(しっかり栄養素あるもの)
2	普天間2区	子供、お年寄りと分けるのではなく、子供からお年寄りまでが一カ所で交流しながらお互いが学び、助け合い、過ごすスペースが今後必要だと思う。子育てだけのニーズ調査は今後の社会を考えるうえでとても緩慢で今更感が拭えない。従来を踏襲する事なく、もっと宜野湾市の方向性を示したうえで、多角的なものの見方をする事で自然と教育、保育環境の充実が実現されると思う。

3	普天間3区	公立幼稚園だけではなく、保育所や私立幼稚園などでも自分の校区内の小学校と連携（学習面など）出来たらいいと思う。
4	伊佐区	スーパー、ショッピングモール内にある多目的トイレの中でオムツ台が無い（設置されてない場所もまだまだあるのでそのへんの改善策をしてほしい。公園とかのトイレにもオムツ台を設置してほしい。とりあえずオムツ替え室やオムツ台を増やしてほしい。） あと、暴走族のバイクとかの暴音をしないように取り締まってほしい。
5	伊佐区	米軍のヘリやオスプレイ、爆音問題早くなんとかしてほしい。この問題がある限り宜野湾市に永住する気がなくなってしまいます。
6	我如古区	大通りにパチンコやスナックが多いことが気になります。子供達が安心して歩ける町であってほしいです。
7	愛知区	子ども食堂を増やしてほしい。
8	中原区	今の職場は子供の人数にかかわらず、看護休暇が5日/年なので、子供の人数によって増やしてほしい。小さい子供は、よく体調くずすので年給を使っても足りません。

No	居住地区 (行政区)	自由意見－保育・教育事業の時間延長
1	普天間3区	保育園の時間が短い。18時までに迎えに行くのはかなりムリしている。せめて19時まで預けられると気持ち楽になる。 (全員が17時定時の仕事をしている訳じゃないのを理解してほしい)
2	新城区	幼稚園に通わせたいが、午前中のみというのが、難しく通わせることが出来ていない。土曜日でも午前・午後（別料金なし）みてくれる、幼稚園というのは難しいのでしょうか。
3	真栄原区	育休明けに時短勤務を取得しましたが、子が3才になる前日までしかできないので延長して欲しい。フルタイムだと保育園の送迎が間に合わず周りの協力が不可欠。協力する人がいないと退職するしかなく困る。
4	宜野湾区	下の子の育休取得中の幼稚園の長期預かりを対象にしてほしい。（みなし育休の短期預かりではなく、長期預かり。）

No	居住地区 (行政区)	自由意見－防犯・安全確保対策
1	野嵩1区	安全面のために、歩道には柵（ガードレール）をつけてほしい。
2	新城区	米軍基地の飛行機の騒音？子どもが怖がるくらいうるさいので（大人でも怖いし…） どうにかしてほしい。
3	大山区	チャイルドシートの大切さをもっと伝えるべきだと思う。ベルトすらしていない子供を度々目にします。
4	宇地泊区	信号設置など交通安全面でも、予算を増やし警察と一体となって子供を安心して育てられる環境づくりをして欲しい。
5	真栄原区	地域、公園に不審者、不良学生が多いです。公園、通学路に防犯カメラの増設、定期的なパトロール、声かけ事案、不審者情報は敏速に地域住民、保育施設にお知らせするシステムなどを作り安心して子どもが過ごし、遊べる地域にしたいです。
6	我如古区	志真志小（1丁目付近）までの通学路について…我如古方面から、なかよし橋まで向かう際の通学路がほしい。※歩道がなく、低学年などは特に車から見えにくく非常にあぶないと感じる。※朝の通勤時間帯とかぶるため、とばす車も多いためとても不安。
7	長田区	不審者情報や事件、事故等、小学校入学後の登園時等が不安。道路整備や集団登園、送迎バス等ができれば安心して子育て仕事できる。
8	長田区	不審者情報が多いので、パトロール強化などで子供が一人でも安全に歩ける町づくり、一人で外での行動がこわいので、子供の自立の妨げになる。
9	愛知区	宜野湾市内でも、子育てしやすい環境の差を感じる。宇地泊は、公園等の整備も整っていて、子育て中のママ達からも住み良いとの声を聞く。安心安全な子ども達の登下校環境をお願いしたい。歩道や外灯の整備設置を！未来ある子ども達の為に。
10	愛知区	歩道が整備されておらず、徒歩通学に非常に不安を感じる。子どもが安心して、外出できる環境が不十分であり、公園などに1人で、簡単に外出できる環境とはいえない。子育て環境としては、適さないと感じるのは、主に、上記の点であり、他の制度よりも優先度が高いように思う。

No	居住地区 (行政区)	自由意見－病児病後児の預かり支援
1	-	子どもは発達遅滞があり、2年連続特別支援保育加配をとり申請しています。R6年も保育園申請しています。今年すべて落ちた時の絶望感は大きく仕事も復帰できず、有難いことにその後の面談で（職場は保育園に入れなければ3歳まで休業可と）にしてもらえた。来年は保育園に通いつつ発達支援と併用していけたらと思っています。心理士さんも忙しいとのことであまりお話相談ができておらず、通知がくるまで本当に不安な日々です。障害を持つ子の親は仕事復帰できないのでしょうか？保育士の確保、ともしっかりと障害のある子の保育支援サービスの充実を望みます。
2	-	宜野湾には障害や病気があっても安心して預けられる施設が少ない。首がすわっておらず、てんかんもあるため保育所に入所することも、デイサービスに預けることもできず（ナースがいて受け入れてくれる事業が少ない）市外のデイサービスに毎日送迎しているため仕事も制限されて、家族と過ごす時間、自分のための時間が削られ、充実した生活が送れない。障害があっても安心して保育を受けられる、障害児がいても、子どもがいても健康的で充実した生活ができる宜野湾早急に実現させてほしい。
3	大山区	医療ケア児の度合いを見て、3才以下でも認可保育園の申請可否を個別に見直しするよう、柔軟性をもたせてほしい。障害児同士の親がつながれるコミュニティの場がほしい。（宜野湾市内の情報とか共有したいです）。
4	大山区	病児保育を増やしてほしい。小児特有の症状がでた場合不安。小児科医が回診を行い、症状にあわせた医療を提供する病児保育を増やしてほしい。県外出身者にとっては、このようなサービスがとても助かります。
5	真志喜区	子供の急な体調不良の際に、保育園と連携して利用できる病児保育施設を作してほしい。
6	我如古区	特別支援保育ができるようなサポート体制作りが必要だと思う。理由としては、認可のみなので、小規模保育園が対応できるようにしてほしい。
7	我如古区	病児保育施設が近くにあると助かる。
8	愛知区	医療ケア児を見て下さる加配スタッフや看護師さんの環境も考慮して頂きたいです。夏休みや入院等で児童が長期休みをする期間中、給与が減額されるのであれば復職を認めるなど、制度化や支援を希望します。医療ケア児が幼稚園を希望

	<p>する際に、対応して頂ける看護師が見つからない為に延長保育が利用できないという事が発生しています。</p>
--	---

No	居住地区 (行政区)	自由意見－学校教育の充実
1	真志喜区	英語に力を入れた保育を増やしてほしい。(インターと幼稚園の間)
2	真栄原区	育児に関する事だけでなく、教育にもっと力を入れてほしい。保育園に看護師や心理士、英会話の先生など常駐で配置してほしい。市町村によって保育園の手厚さにばらつきがあるため格差をなくしてほしい。高齢者とのふれあいだけでなく、小学校訪問などの少し年上の子供とふれあう機会があるとうれしい。

No	居住地区 (行政区)	自由意見－子育て支援サービスの充実
1	伊佐区	ふたば(母子)相談、新生児訪問、こんにちは赤ちゃん事業は続けて欲しい。子育て支援センターもすごく助かりました。初めての子育てで近くに親族もいないため不安な事があったがそういう地域の事業に助けられた。ありがとうございます。今後、仕事と子育てを両立していく中で放課後に育児サポートできる場所が増えると良いです。
2	大山区	産後ケアは、子ども体調が悪いときは、母親だけでも受けられるようにしてほしい。ふたば相談に参加することを強引に進めて、やむを得ず有給を取ることになりました。親の仕事のストレスも考えて、このような講習会は自由参加で行きたいです。
3	宇地泊区	育児中の女性も働きやすい場所の紹介をしてほしい。浦添の大型商業施設内に支援センターがあるように宜野湾にも(大型商業施設など)行きやすい支援センターや屋内施設をつかってほしい。
4	宇地泊区	自身は保育園に預けながら、別の保育園で保育士として働いています。預けられないと働けないことも十分承知はしていますが、未就学児と保護者の関わりもとても大切だと感じます。保護者へ子育てへの興味、関心が高まるような支援をぜひお願いします。

5	大謝名区	コロナ、インフル等子どもが罹る場合は休める限りそばに居ますが、親が罹りうつしたくない場合でも預け先が無く（祖父母も持痛が有り、なるべく預けたくない）子どもの様子を見つつ、親を隔離出来るようなサービスがあると嬉しいです。
6	我如古区	子育ては昼夜問わず、特に母親は対応しています。産後だけのケアだけでなく、1歳以降の母子ケアも充実してほしいです。
7	宜野湾区	看護休暇（5日）では、足りないため、何か補助（利用しやすい）をして欲しい。

No	居住地区 (行政区)	自由意見ー仕事と子育ての両立支援
1	新城区	仕事は嫌いではないし、自立もしたいのでフルタイムで（残業なく）働きたいが、妊娠、出産、小学校入学まで支援が不透明なのが不安、産むのはいいけど誰が育てるの？といつも思う（母）
2	大山区	現在は専業主婦ですが、いずれ就労したいと考えています。希望としては、在宅での勤務を考えているので、在宅勤務の就労支援等があれば助かります。ひとり親世帯や家で子供だけで過ごす家庭には必要だと思います。
3	真志喜区	1人親でもっと収入を増やしたいが保育の場もなく母子手当なども前年度所得のため1番大変な時に苦しい。1年で状況は変わる…仕事も育児のために生きている気がする。育児は幸せで、子供との時間は増やしたいがそうすると収入が少なくなり、生活が苦しい。
4	大謝名区	子供や家族の急な休み（病気）時の仕事と子育ての両立に困りました。慰霊の日や台風など、子供が休みで親が仕事の時にも対応に困りました。こういった事態に対するサポートを希望します。ファミリー・サポート・センターも、急な事態で対応できないと、お願いできなかったです。
5	大謝名区	産後保育園に入園が難しい。すぐに働く事が出来なかった。0歳児～1歳児までは、おむつ、ミルクの支援があるだけでもとても助かると思います
6	嘉数区	生活困難な為、保育園にあずけて就職活動をしたいが、就職活動中だとなかなか保育園が受からない。面接に何度か行ったが、子供の預け先がまだ決まっていなと伝えると、“採用は難しい、保育園が受かってから面談にもう一度来て”と帰される事も多々。保育園が決まらなと、採用してくれない企業が多い事をもっと理解して、対応して欲しい。

7	我如古区	育休は子供が1歳になるまでは確実に取得したい。勤務先では、育休1年取得出来るが、保育園の入園（4月）に合わせて職場復帰しないと保育園に入れないのではなく、前倒しで保育園申込を申請している。→待機児童を無くして欲しい！！また育休中に、保育園に預けている時間がなぜ時短になるか分からない。育児の為に仕事を休んでいるのに、就業中の人に差が出るのはおかしいと思う。
---	------	--

No	居住地区 (行政区)	自由意見－短時間の預かりや支援
1	野嵩2区	お泊まり保育、夜間保育が利用できる施設を増やしてほしい。
2	宇地泊区	専業主婦でも1日1時間～2時間、子どもを預かってくれる施設が欲しい。あっても家の近くにない（半日ならなおよい）。
3	嘉数区	子どもを預けたいときに日中だけでもすぐ対応できる施設がほしい。必要なときに、どこに連絡しても預かってもらえずとてもしんどいです。仕事の有無に関わらず預けられる場所がほしい。
4	中原区	マンマン教室がコロナ禍の影響なのか、子ども不参加だった為に預け先がなく、行けなかった。一時保育の新規受付がない。保護者の歯医者や眼科などの通院、買い物等、数時間で預かってもらえる施設、制度（ファミリー・サポート・センター以外）があれば嬉しい。前日や当日予約okなど気軽に利用出来ると、より有難い。支援センターや助産院などで預かってもらえるのが理想。

No	居住地区 (行政区)	自由意見－相談体制
1	伊佐区	自営なので長時間働いても、金銭的にゆとりがなく、子どもとの時間はつくれなくて保育園にばかりお世話になっているのも申しわけない…早く安定して子供との時間ふやしたい…悩みを話せる場所がほしい。
2	真志喜区	栄養士や食に関して随時相談できる場所や保育園入れない子どもがいける食の教室（親子）参加できる場所があってほしい。
3	嘉数区	子育ての相談に行きたくても、平日はお仕事なので、土、日でも相談できる場所が欲しいです。

4	我如古区	子どもへの対応や声かけの仕方の講座はもちろん必要でタメになると思いますが、親自身の心とどう向き合うか、などの学びももっとあるといいと思います。すでにあるかもしれませんが心理カウンセラーとの無料相談などもあるといいと思います。
5	愛知区	子育てファミリーが安心してらせる市へ。就学前に急に保育士さんから気になる事を言われてバタバタと診察とか言われても、近くですぐに行けるクリニックはない 保育→就学→小学校での流れあまり分からず…もっと早くフォローされていたらいいと感じる事が2～3件ありました。また那覇市みたいな療育センターなど安心して相談できる場がほしい。

No	居住地区 (行政区)	自由意見ー子ども・子育て関連のイベントや教室の開催
1	宇地泊区	もっと、子どもと一緒にいる時間がほしい。仕事から帰ってきて、子どもと過ごす時間が短すぎる。もっと家族で過ごす時間や場所があるといいな！！児童センターを学校の敷地内または近くに作ってほしい。
2	真栄原区	年齢別に子供との向き合い方に悩むときがあります。妊娠前や子が産まれる前から子育てや接し方などが学べる環境があれば良いと思います。
3	真栄原区	男性も育児に参加できる環境を！生理や妊娠体験（出産）などがあると良い！
4	我如古区	楽しめるイベントを増やしてほしい。休みの土曜日、日曜日に出掛けるのを楽しみにしているので。公園やイベント、お祭りへ行く等…
5	我如古区	沖縄市で行われている夜回り先生の講演会を、宜野湾市でも無料で開いて欲しいです。夜回り先生のお話を中・高生にも聞いてもらいたいです。子連れのイベントがもっとあれば楽しいです。
6	長田区	離乳食教室など子ども同伴で参加できる環境にしてほしいです。初めてのことで是非参加したかったのですが、預け先がありませんでした。ふたば相談にお世話になりました。身体測定をしてくれる方がいつも明るくて、元気をもらえました。他のお母さんと交流できる場になってよかったです。市役所の保育園に関する話を聞きに行った際、丁寧に対応してもらってありがたかったです。

7	宜野湾区	保育園からの不必要なアレルギー検査や病院受診の提案をやめてほしい。離乳食教室のように、抱っこや睡眠についての講座もあればもっと楽しく子育てできる人が増えると思う。習うことではないからこそ、知らずに大変な思いをしている人が多いのでは…
8	宜野湾区	未就学児のうちから性教育を親子で学べる機会をつくってほしい

No	居住地区 (行政区)	自由意見－住まいに関する支援
1	真志喜区	多子世帯のため広い部屋に入りたいが、宜野湾市は家賃が高い、また3LDK、4LDKほどのまどりの部屋はほぼ見つかりません。公営住宅などがもっと増え、家族の多い世帯も住みやすくなってほしいと思います。
2	嘉数区	住宅などの補助や、家を建てやすい金銭的支援があると子育てしやすい。生活のために働き、子供と過ごす時間がへるサイクルをどうにかできないかと思います。
3	真栄原区	団地を増やして欲しい。
4	我如古区	母子・父子家庭に対し、公営住宅、団地等の住まいを提供してほしい。(保証人等無し、家賃軽減) ひとり親世帯への公共交通機関無料パス等

No	居住地区 (行政区)	自由意見－待機児童対策について
1	野嵩1区	待機児童を改善しないかぎり、仕事もできず経済的に厳しくなり結果、少子化につながると思います。保育園を増やすなり対応してもらえたらだいぶ助かります。息子を子育てするにあたって、わからないことだらけです。若いママさん達は育児について相談する人も少ないだろうし、悩んでいる人もたくさんいます。気軽に相談できる場所や、アドバイザーがいたらいいなと思います。そしたら、児童虐待や、育児放棄など少なくなるのではないのでしょうか。宜野湾市が育児もしやすく住みやすい地域になりますように。我が子のために。
2	大山区	待機児童で保育所に入れず、働けないというループから抜け出すのが中々大変だった為、もっと入りやすくなると良いなと思います。保育所の施設はあるけど保育士不足で受け入れ人数が…という話しを良く聞く事と、認可保育園に通っていた時期に保育士の配置基準が実態と合っておらず先生方がギスギスとした感じで保育にあたっている場面がちらほらと見

		えた為、保育士さんの労働環境が改善されて欲しいなど切に思います。
3	真栄原区	0才児や1才児の待機児童がまだまだ沢山いるので改善してほしい。兄弟を同じ保育園に通えるようにしてほしい。
4	長田区	宜野湾市は、待機児童が多く、大変困っている。認可保育園も、誰でも入園できるようになってほしい（集団生活に慣れさせたい等の理由があって、共働きでなくても、入園したい。保育料無償化にしてほしい）。
5	長田区	学童クラブの待機問題等、すぐに解決して欲しい。

No	居住地区 (行政区)	自由意見ーファミリー・サポート・センター事業に
1	野嵩1区	ファミリー・サポート・センターを利用したいと思い登録はしたが、利用したい日の2週間を前に予約しないといけないことを知り利用を断念した。（1週間以内に利用したかった）料金をもう少し安くしてほしい。
2	新城区	ファミリー・サポート・センターに登録もしましたが、利用料が高いです。その日の日当分以上の金額なのであきらめました。利用料金を見直して欲しいです。あと、個人宅で預かるではなく、（少人数）集団で預かる（以前はありました）形の預かりをやって欲しいです。
3	伊佐区	助産施設や預かり（有料）の補助券的なものがほしい。リフレッシュをしたくても、有料施設を使うとなると、1回のリフレッシュ代はかなり高額になる感覚があるため、預けられるシステムがあっても使う気になれない。また、育児につかれている時こそ使うべきであっても消耗しているため、使用する考えにならない（料金面）。ファミリー・サポート・センターは利用まで道のりが長いと感じる。預けたいと思った時に預けられる場所がほしい。自治体独自の取組みがない。母子手帳受取時に長いこと説明を受けるが覚えきれないので短くしてほしい。予約性の周知が足りない。

4	真志喜区	母子家庭になってから市役所の方でファミリー・サポート・センターや母子会のヘルパーなどの1人親世帯が利用できる制度を紹介してもらいました。仕事が忙しいため、1人で子育てすることに不安があったので情報を教えて下さって感謝しています。今はヘルパーを利用してもらって仕事と子育ての両立ができています。ありがとうございます。
5	宇地泊区	いつもファミリー・サポート・センターさんに助けてもらっています。シングル非課税の方への金銭的援助はあるようですが、ボーダーを超えると受けられる援助が本当に少なく感じます。それこそ、県内に身寄りが1人もいない、サポートがない、という実際全くのひとり親、にもそれなりの援助があると助かります。お金もですが、お泊まりや、朝、夜の保育援助が欲しいです
6	長田区	無料のファミリー・サポート・センターがあってほしい。 (3回分無料等)
7	愛知区	子供を預けるのではなく、一緒にみてくれる人(自宅でみてくれる)が、いたらいいと思うので、今後、居宅訪問型保育が利用できるようにしてほしい。ファミリー・サポート・センターを利用したいと思ったが、子供を預けに行く(外出する)気力もなく、移動手段の確保も困難なので、ハードルが高い。
8	-	私はファミリー・サポート・センターを利用し、なんとかやってきました。本当に感謝しています。ファミリー・サポート・センターは心の支えにもなり相談もできるところが、素晴らしいです。祖父母は近くにいないので子どもにとっても、まるで安心できる場所が増えたような気持ちになっているのが解ります。忙しいから預けたいというよりそういった気持ち(心)の支援が必要です。子ども達の心のゆとりの為にも本当は、理由なくともお願いしたい所ですが、お金もいりますので…そのあたりも1意見としてお願いします。
No	居住地区 (行政区)	自由意見-その他(上記以外)
1	伊佐区	産後、特に母親は、体力、精神的に限界を超えており、それをケアしてくれる事業が欲しかった。助産師の訪問も1回は利用したが、一回だけでは全然足りず。産後の生活がどんな状態か定期的に訪問して相談を聞くなど。精神的にギリギリの状態かどうかはアンケートでは分からない。人が話をしてみて、もっと助けが必要なのか判断した方がいいと思う。

2	大山区	子どもの病気等（その他、学校行事、役所、銀行での手続き含）仕事をあたりまえに休めるような（有休で）仕組みを中小企業に促してほしい。子ども看護休暇の導入。
3	大山区	他市町村である様に、（小学）学校で預かる仕組みを作って欲しい！
4	大山区	県外から沖縄に移住して、出産子育てをしています。利用しているハートフルスポットの駐車場が建物の入り口付近にあり、スペースが広いため、ベビーカーの乗り降りがしやすく、とても助かりました。児童手当など、子供を持つまで知らず、子育て＝お金がかかって厳しいイメージでしたが、県や市のサポートで生活しやすいです。
5	大山区	土日祝日休みが取れない職場もあるため、土曜保育利用の用紙を毎月提出は大変。学校行事も土曜日集中し、毎月続くと仕事を休みづらく、土曜保育が利用できない日もあるため、調整が大変です。
6	大謝名区	せめて子供が1才になるまでは、父母、両方の育休で子育てできる事をもっと当たり前にしてほしい。
7	大謝名区	大謝名区域に住んでいて不満や不安な事もなく住み心地もいいので私は満足しています！大謝名幼稚園の先生方も良い方ばかりで最高の教育になっていると感じています！
8	嘉数区	子どもが小さいうちは、父親の残業等をなくしてほしい。母の負担が大きい。
9	真栄原区	市が子育てしやすい環境を目指していると知り嬉しくなりました。更に子育てのしやすい街になることを願っています。
10	我如古区	発達に関する事について、保育園へ働きかけてほしい。発達グレー・療育についての紹介・加配についてなど…
11	我如古区	慣らし保育の時期も育児休業を取りやすい雰囲気にしてほしい。4月から職場後帰と慣らし保育が4月からだと1ヶ月では、病気や、慣らし保育で1ヶ月の期間だと難しい。4月で復帰できないと退所しないとイケないのは厳しい。（保育園）
12	我如古区	市役所の申請や、子供の予防接種等、基本平日でやらなければならない事を2ヶ月に1日でも夜間対応してくれるようになればとても助かるなあと思っております。そうなれば仕事も休まず給与にも響かず子供の事をちゃんと考える事が出来るのかなと思っております。
13	長田区	主体的に動けるご家庭は既に自分から助けを求めていると考える。本当に支援が必要なのは、助けを求められない、どこに助けを求めているのか分からない人が多いのではないかとと思う。ボランティア以外でもっと地域を見回すべき。

14	長田区	市独自の子育て世代向けの対策、政策が必要。宜野湾市で生まれ育ち、現に子育てしているが、浦添市など子が多くいる、若い世帯がいる市町村をまわるだけでなく宜野湾市が引っ張って行ってほしい。
15	宜野湾区	宜野湾市には、とても助けられています。出産した時から、育児に不安がある時も支援してもらいました。まだ子供が1歳なので今後も支援の力を借りることもありますが、宜野湾市の取り組みに感謝しています。
16	宜野湾区	充分子育て環境は充実している。少子化対策として多子世帯が安心して子育てできるためには、ハード、ソフト共にサービス面での問題は殆ど無い。明確に多子世帯は、他より経済的負担が大きくなるため税制面での配慮をして貰えるだけで充分有難い。無理に色々な新規事業を行うのではなく、シンプルにそういった支援を検討していただきたいというのが本音。
17	宜野湾区	母親だからって子育てが誰でも得意だとは思ってほしくない。仕事をやっている母親にも賃金的UPを！
18	愛知県	子育て支援（例：3才未満の子供がいる家庭は、6時間以上の勤務は禁止（給料はフルタイム額支給あり）など、雇う側入の義務として定めてほしい）結局、職場の雰囲気ですりていく、仕事を時短すると所得が下がりフルにならないと生活が困難だと取りたくても取れない。→少子化対策として子供を産み育てられる環境作りにもっと力を入れてほしい。
19	愛知県	幼稚園、小・中学校、高校などの長期休暇をなくしてほしい。長期休暇のことがひっきり仕事に制限がでてきて見つけにくいし、仕事に踏み込めない。今は、専業主婦なので夏休み期間中、ずっと付き添いできるが、仕事で不在を考えると、心配で仕事を考えられない。長期休みをなくして、親の年休や休みと合わせたりする、年休制度みたいなものがあつたらいいなと思う。そうすると親の年休に合わせて、遊びに連れて行けるし、旅行なども行きやすくなると思う気がします。わざわざ飛行機が高い時にチケット取る必要もなくなるし利便性もでてくると思います。
20	愛知県	ありとあらゆる交付金、その他国、県、地域の補助金等を漏れなく全てを市民に開示し、かつ積極的に行政からこのような利用が可能と働きかけ、子育て世帯、若い世代に希望がもてるよう分かりやすい資料を多数用意して利用しやすいすぐに申請でき速やかに対応可能な人員体制を構築してください。お願いいたします。

21	愛知区	祝日も出勤しないといけない中小企業に勤めています（母） 年間の祝日16日、祝日のたびに有給を消化し、子供が体調をくずした時など本当に休みが必要なとき有給がなく欠勤しないといけない時があります。市、県、国の行政から企業へのなにかしらの働きかけをし、子育てしやすいようにできないでしょうか…。
22	愛知区	（父親）職場が”子育て世帯”に対しての理解が無く、仕事優先の環境（体制）である為、市町村及び沖縄県で子育てしやすい”職場・企業改革”を是正してほしい。
23	-	不登校児が通いやすい居場所の確保（学校内にでもかまいません）をしていただけるとありがたいです。フリースクールなどの補助など。居場所確保の支援をよろしくお願いいたします。
24	-	給食の時間が10分くらいの時もあり、時間が足りなくて完食出来ないこともあるそうです。ボランティアの方たちに、各教室に1人ずつなど配膳、準備をサポートしてくださると食事時間を今よりも確保出来るのでは無いかと思います。教員、子どもたちだけでは、準備に時間がかかることもあるのかと思います。せっかくの美味しい給食を、満足いくように食べて欲しいと思っております。来年から小学校に入学する子もいますので改善されるといいなと思っております。これまで、1年生の場合は保護者が配膳サポートに入るということは参加したことがあります。他の学年もサポートが必要なのかなと思っておりますご検討、よろしくお願い致します。

3. 調査票（就学前児童用）

令和5年度 宜野湾市 子ども・子育て に関する二一ス調査(就学前児童用)

日頃より、宜野湾市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、国において平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が制定され、平成27年度の新制度開始に伴い、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務付けられ、本市においても、令和2年度～令和6年度までを第2期とする「宜野湾市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

今回、令和7年度以降の第3期計画に向けて、改めて市民の皆様の子育て環境や教育・保育の利用状況並びに今後の利用希望などを把握するべく、「令和5年度 宜野湾市子ども・子育て支援に関する二一ス調査」を実施いたします。この調査は、0歳から6歳までの就学前（小学校入学前）のお子さんを持つ保護者を対象としています。

つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、質問に対するご回答について、ご協力下さいますようお願い申し上げます。なお、回答いただきました内容により回答者個人が特定されたり、また他の目的に利用することは一切ございません。

令和5年11月 宜野湾市長 松川 正則

ご記入いただいたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れ、封をしていただき、**令和5年12月20日(水)**までにお近くのポストへご投入くださいますようお願い致します。

QRコード

パソコン・スマートフォンでウェブでの回答も可能です。
QRコードまたはURLからご回答をお願いします。
その場合は、紙アンケートの提出は不要です。

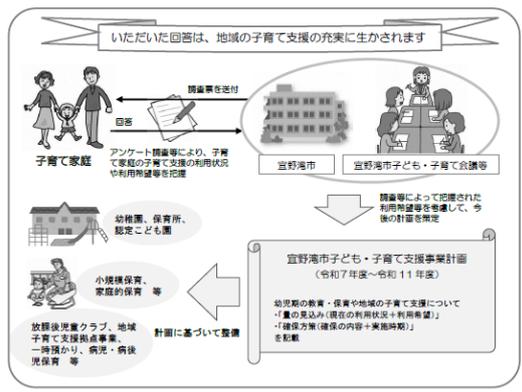
URL : <https://ipresearch.net/r/misyuugaku>

令和5年12月20日(水)までにご回答をお願いいたします。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

担 当 課：宜野湾市役所 福祉推進部 ことば政策課
電話：098-893-4411（内線3411）

調査協力機関：(株)サーベイリサーチセンター沖縄事務所
電話：0800-888-6585（フリーダイヤル）
（受付時間 平日 月～金：10時～17時）



- #### ご記入にあたってのお願い
1. 封筒の宛名のお子さんお1人についてご記入ください。
 2. アンケートには、お子さんの保護者の方がご記入ください。
 3. ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
 4. 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
 5. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ごわり書きや封印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
 6. 本アンケートで用いる「子育て」、「教育」とは下記の意味を指します。
「子育て」… 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。
「教育」… 時16(3)までにおいては家庭での教育を含めた広い意味。
時17以降においては幼児期の学校における教育の意味。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地区（行政区）として当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。

1. 野嵩1区	2. 野嵩2区	3. 野嵩3区	4. 普天間1区
5. 普天間2区	6. 普天間3区	7. 新城区	8. 喜友名区
9. 伊佐区	10. 大山区	11. 真志名区	12. 宇地泊区
13. 大勝名区	14. 嘉数区	15. 真栄原区	16. 我知古区
17. 長田区	18. 宜野湾区	19. 慶知区	20. 中原区

問1-1 問1で回答した行政区に住んで通算何年になりますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 1年未満	2. 1～3年未満	3. 3～5年未満	4. 5～10年未満
5. 10～15年未満	6. 15～20年未満	7. 20年以上	

封筒の宛名のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 宛名のお子さんの生年月日を記入ください。（□内に数字でご記入ください。数字は一桁一桁。）

1. 平成 □□年 □□月生まれ

2. 令和 □□年 □□月生まれ

問3 宛名のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況についておうかがいします。続柄は宛名のお子さんから見た関係です。当てはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 父母同居	2. 父同居（ひとり親家庭）	3. 母同居（ひとり親家庭）	4. 祖父同居
5. 祖母同居	6. 祖父近居	7. 祖母近居	8. その他（ ）

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親	2. 父親	3. その他（ ）
-------	-------	-----------

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる	2. 配偶者がいない
-----------	------------

問6 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 父母ともに	2. 主に母親	3. 主に父親	4. 主に祖父
5. 幼稚園	6. 保育所	7. その他（ ）	

問7 宛名のお子さんは、何らかの障がいや発達の違いが気になる状況がありますか。なお、障がいがある場合には、併せて【 】の障がいの種類に○をお願いします。

1. 障がいがある	障がいの種類についておうかがいます【①身体障がい ②知的障がい ③その他（ ）】
2. 発達の違いが気になる	
3. ない	

子育てをめぐめる環境についてうかがいます。

問8 日頃、宛名のお子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない

▶問9へ

▶問8で「1」または「2」に○をつけた方うかがいます。

問8-1 祖父母等の親族にお子さんをみてもらえている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

▶問8で「3」または「4」に○をつけた方うかがいます。

問8-2 友人・知人にお子さんをみてもらえている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問9 子どもの健康管理であなたがやっていることは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 食事に気をつけている	2. 虫歯予防	3. 規則正しい生活を
4. 健診を受ける	5. 予防接種を受ける	
6. その他（具体的に）		

問10 あなたは子育てに関して不安や負担感などを感じていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に不安や負担を感じる	2. なんとなく不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担は感じない	4. 全く感じない
5. なんともしえない	

問11 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 子どもの病気や発育・発達に関すること
- 子どもの食事や栄養に関すること
- 育児の方法がよくわからないこと
- 子どもとの接し方に自信が持てないこと
- 子どもとの時間を十分にとれないこと
- 子育てについて話し相手や相談相手がないこと
- 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
- 子どもの教育に関すること
- 子どもの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
- 登園拒否、不登校などの問題について
- 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
- 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
- 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
- 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になる
- 仕事で平日にある行政や保育所等が主催する子育て説明会などに参加できないこと
- 子どもを叱りすぎているような気がする
- 子育てのストレスがたまって、子どもに手をあげたり、世話をしなかりしてしまうこと
- 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
- その他（具体的に）
- 特になし

問12 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人（場所）や育児を助けられていると感じている人はいますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる/ある 2. いない/ない → **問13へ**

問12-1 お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人や育児を助けられていると感じている人はどなた（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 祖父母等の親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子育て支援施設 (地域子育て支援拠点、児童センター等)・NPO
5. 保健所	6. 保育士
7. 幼稚園教諭	8. 母子保健推進員
9. 民生委員・児童委員	10. かかりつけの医師
11. 市の子育て関連担当窓口	12. 子育て世代包括支援センター (保健相談センター内での相談)
13. ファミリー・サポート・センター	
14. その他（【例】ベビーシッター）	

問13 子育てをする上で、どのような相談窓口があるかと思えますか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

- どのようなことでも相談できる総合的な窓口
- 身近な地域において気軽に相談できる窓口
- 休日や夜間の相談に対応できる窓口
- 発達状況などを相談できる専門的な窓口
- 職場で子育てについて相談できる窓口
- その他（具体的に）
- 特になし



宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問14(1) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親の就労状況について【父子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	→ (1)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	→ 問14(2)へ
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

問14(1)で「1~4」（就労している）に○をつけた方うかがいます。

(1)-1 1ヶ月当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（主にあてはまるもの1つに○をつけてください）

【例】1ヶ月あたり平均10日出勤し、1日あたり8時間勤務の場合は「10×8=80時間」となるので、下記の選択肢の「2」に○をつけます。

1. 48~64時間未満	2. 64~120時間未満	3. 120時間以上
4. その他（時間）		

問14(2) 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。父親の就労状況について【母子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	→ (2)-1へ
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、育休・介護休業中ではない	→ 問16(1)へ
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、育休・介護休業中である	
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

問14(2)で「1~4」（就労している）に○をつけた方うかがいます。

(2)-1 1ヶ月当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（主にあてはまるもの1つに○をつけてください）

【例】1ヶ月あたり平均10日出勤し、1日あたり8時間勤務の場合は「10×8=80時間」となるので、下記の選択肢の「2」に○をつけます。

1. 48~64時間未満	2. 64~120時間未満	3. 120時間以上
4. その他（時間）		

問14の（1）または（2）で「3.4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方うかがいます。該当しない方は、問16（1）へお進みください。

問15(1) フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（母親の転換希望について）

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問16(2) フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（父親の転換希望について）

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14の（1）または（2）で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方うかがいます。該当しない方は、問16（3）へお進みください。

問16(1) 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。（母親の就労希望について）

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが□歳になったときに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい

→希望する就労形態

ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）	イ. 64~120時間未満
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）	
ウ. 120時間以上	エ. その他（時間）

→1ヶ月の就労時間

問19 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

※幼稚園及び認定こども園における幼児教育は、3歳から対象となります。令和元年10月からは、幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳～5歳の子どもの利用料が無償化（給食費など一部実費負担が想定）されています。また、0歳～2歳の子どもは、住民税非課税世帯のみ無償化の対象となります。利用料の無償化を踏まえ回答をお願いします。（別紙、事業内容等をご参照）

- 認可保育所（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）
- その他の認可外の保育施設
- （公立）幼稚園（教育施設 通常の就園時間を利用）
- （私立）幼稚園（教育施設 通常の就園時間を利用）
- （公立）幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
- （私立）幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ）
- （法人）認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
- （公立）認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）
- 特別支援学校幼稚部
- 障害児通所支援事業（児童発達支援）
- 事業所内保育施設（企業が主に従業員用に運営する施設）
- 小規模保育施設（国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの）
- 自治体の認証・認定保育施設（認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設）
- 家庭的保育（保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業）
- 居宅訪問型保育（認可：ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業）
- ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）
- その他（ ）

問19で「3.（公立）幼稚園」または「4.（私立）幼稚園」「5.（公立）幼稚園の預かり保育」「6.（私立）幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ他の選択肢にも○をつけた方うかがいます。

問19-1 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（あてはまるもの1つに○）

- はい、強く希望する
- いいえ/特に希望しない

問19-2 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

- 宜野湾市内
- 他の市町村

問19-3 保育所や幼稚園等を選ぶ際に重視したこと、重視することは何ですか。（主にあてはまるもの3つに○）

- 家から近い
- 勤務先に近い
- 祖父母の家から近い
- 送迎バスがある
- 園長や先生が信頼できる
- 幼児教育・保育利用料が安い（無償化施設である）
- 保育・教育内容がよい
- 施設や遊具が充実している
- 給食がある
- きょうだいが通っている・いた
- 知り合い・友達が通っている
- 周りからの評判がよい
- 長時間預かってくれる（預かり保育がある等）
- 園の雰囲気やよい
- 園で遊び事ができる
- 園の行事が充実している
- 小学校に隣接している
- 土曜日でも利用できる
- 送迎駐車場スペースがある
- 将来通う小学校区内にある
- その他（ ）

宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場で、「つどいの広場」「子育て支援センター」等と呼ばれています）等を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。（事業内容は別紙参照）

- 地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
⇒1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
- 子育てサロン（地域の公民館で、親子が集まって過ごしたり、相談をする場）
⇒1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
- 利用していない

問21 問20のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号1つに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください（数字は一律に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

- 利用していないが、今後利用したい
⇒1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
- すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
⇒1週当たり 回 もしくは 1ヶ月当たり 回程度
- 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問22 現在お住まいの地域はあなたにとって子育てしやすいと思いますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- とても子育てがしやすいと思う
- どちらかといえば子育てがしやすいと思う
- どちらかといえば子育てがしにくいと思う
- とても子育てがしにくいと思う

問23 子どもの外出の難、宜野湾市内において困ること・困ったことはありますか。優先順位の高い項目3つに○をつけてください。

- 歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること
- 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
- 交通機関や公共施設がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
- トイレやおむつ替えや親子での利用に配慮されていないこと
- 授乳する場所や必要な設備がないこと
- 禁煙・喫煙場所が設置されていないこと
- 小さな子どもに食事に配慮された場所がないこと
- 重い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
- 緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとるおいが少ないこと
- 短い通りや見通しのきかないところが多いこと
- 周囲の人が子ども連れを迷惑そうにみること
- 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
- その他（具体的に： ）
- 特に困ること・困ったことはない



問24 下記のサービスの認知度とこれまでの利用状況についてお聞きします。また、今後、これらのサービスを利用したいと思いませんか。サービスごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

サービスの種類	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①心たば（母子）相談や産乳教室、新生児訪問、産後ケア等の保健相談センターで行っている事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②ごんごんは赤ちゃん事業（産後2か月から4か月児健診に付随して、お子さんの様子や育児上についてアンケートを行い、育児情報や相談にのり行う事業）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③圖書支援訪問事業（児童の読書について情報収集がある家庭に対し、読書活動を行い、育児不安への早期対応を図る事業）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保健相談センターの情報・相談サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育てサロン（市社会福祉協議会が実施している事業、コロナ禍により現在休止中、今後再開に向けて調整中）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧地域子育て支援センター（身近な地域における相談や親子交流の場）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨放課後児童クラブ（学童クラブ）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪子ども食堂など地域の居場所	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫子育ての総合相談窓口（家庭児童相談室）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬母子・父子自立支援員（ひとり親家庭等を対象に、総合相談及び指導、就労への支援等を行う相談員）	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮病児・病後児保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用を除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一种に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、事業料金は別紙参照）
※保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日 …… 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

→ 利用したい時間帯 □□時から□□時まで

(2) 日曜・休日 …… 1. 利用する必要はない
2. ほぼ毎週利用したい
3. 月に1～2回は利用したい

→ 利用したい時間帯 □□時から□□時まで

「幼稚園」を利用されている方うかがいます。⇒該当しない方は問27(P16)へお進みください

問26 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください（数字は一种に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、事業料金は別紙参照）

1. 利用する必要はない
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい
3. 休みの期間中、週に数日利用したい

→ 利用したい時間帯 □□時から□□時まで



宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。（平日の教育・保育を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問17で1に○をつけた方）うかがいます。⇒利用していらっしゃらない方は、問28(P18)にお進みください

問27 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

1. あった 2. なかった ⇒ 問28(P18)へ

問27で「1. あった」と回答した方うかがいます。

問27-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一种に一字）。

1年間の対応方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□日
イ. 母親が休んだ	□□日
ウ. (両方をきむ) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□日
オ. 病児・病後児保育(病院の小児ドイケア)を利用した 利用した施設⇒【1. 海邦病院 2. もりのなま保育園(下園) 3. その他()】	□□日
カ. ベビーシッターを利用した	□□日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□日
ケ. その他()	□□日

⇒問27-5(P17)へ

※「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問27-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方うかがいます。

問27-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一种に一字）。なお、病児・病後児のための事業(病児・病後児保育、もりのなま保育園(下園)にて実施)等の利用には、一定の利用料がかかります。利用期間にかかりつけ医などの受診が必要となります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒年数 □□日 ⇒問27-3(P17)へ
2. 利用したいとは思わない ⇒問27-4(P17)へ

問27-2で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問27-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)
4. その他()

問27-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方うかがいます。

問27-4 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看てもらおうとは思えない
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 預けるまでの手続きが不便
7. 職が仕事を休んで対応する
8. その他()

問27-1で「ウ」から「ケ」のいずれかに回答した方うかがいます。

問27-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ケ」の日数のうち仕事を休んで看った日数についても数字でご記入ください（数字は一种に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒ □□日 ⇒ 問28(P18)へ
(問27-1で回答した「ウ」から「ケ」の日数のうち、仕事を休んで看った日数について数字でご記入ください。)

2. 休んで看ることは非常に難しい

問27-5で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方うかがいます。

問27-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休暇日数が足りないで休めない
4. その他()

宛名のお子さんの不規則な教育・保育事業や預泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問28 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のために以外に、私用・親の送迎、不規則な就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる記号すべてに○をつけ、1年間の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一种に一字)。

1. 利用している →

利用している事業内容	日数(年間)
ア. 一時預かり(私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業)	□□日
イ. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ)	□□日
ウ. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かる事業)	□□日
エ. ベビーシッター	□□日
オ. その他()	□□日

2. 利用していない

⇒問29(P19)へ

問28で「2. 利用していない」と回答した方うかがいます。

問28-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない
2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない
5. 利用料がかかる・高い
6. 利用料がわからない
7. 自分が事業の対象者になるのかわからない
8. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
9. その他()

問29 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間毎日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の利用日数の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一種に一字）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

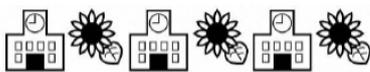
利用したい	利用したい目的・理由	日数（年間）
1. 利用したい	ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の言い事等）、リフレッシュ目的	□□ 日
2. 利用する必要はない	イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□□ 日
	ウ. 不定期の就労	□□ 日
	エ. その他（ ）	□□ 日
	合計	□□ 日

→ 問29-1へ

問29で「1.利用したい」に○をつけた方うかがいます。

問29-1 問29の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：19人以下の小規模保育所等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）



19

問30 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを預りだけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号・記号のすべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一種に一字）

1. あった	1年間の対処方法	日数（年間）
2. なかった	ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	□□ 日
	イ. ファミリー・サポート・センター（地域住民が子どもを預かる事業）	□□ 日
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	□□ 日
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	□□ 日
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
	カ. その他（ ）	□□ 日

→ 問30-1へ

→ 問31へ

問30で「1.あった ア.（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方うかがいます。→ア.以外を選択した方は 問31へ

問30-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難
2. どちらかというと困難
3. 特に困難ではない

問31 保護者が仕事等の理由により、平日の夜間や休日に子どもの養育が困難となった場合において、児童養護施設等で夜間などにお子さんを預かる事業として「夜間養護等事業（トワイライトステイ）」があります。（長野県では現在未実施）
このような事業があれば、利用したいと思いますか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、事業料金は別紙参照）

1. 身内や友人等に預けるのが非常に困難なので、夜間養護等事業（トワイライトステイ）を利用したい
2. 身内や友人等に預けるのがどちらかというと困難なので、夜間養護等事業（トワイライトステイ）を利用したい
3. 夜間養護等事業（トワイライトステイ）よりも利用料が高くなるとしても、ファミリー・サポート・センターを利用したい
4. 現在はあまり必要性を感じないし、子どもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい
5. 分からない
6. その他（ ）

20

問32 保護者の疾病や出産、介護等や育児疲れや育児不安、病気により、子どもの養育が一時的に困難となった場合において、児童養護施設等でお子さんを一定期間（原則7日以内）養育する事業として「短期入所生活援助事業（ショートステイ）」があります。
このような事業があれば、利用したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけ、必要な日数をご記入ください。
なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（事業内容、事業料金は別紙参照）

利用したい	利用したい目的・理由	日数（年間）
1. 利用したい	ア. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	□□ 日
2. 利用する必要はない	イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□□ 日
	ウ. 保護者や家族の病気	□□ 日
	エ. その他（ ）	□□ 日
	合計	□□ 日



21

宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問35（P24）へ

問33 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後の）時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する適当な日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の選定には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時 のように24時間制でご記入ください（数字は一種に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童クラブなどと呼ばれています。保護者が就労等により児童家庭にいない場合などに、指導員の下、遊びを中心とした子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

放課後の過ごし場所	小学校低学年（1～3年生）のうらの放課後の過ごし方
1. 自宅	選 □ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	選 □ 日くらい
3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学芸会など）	選 □ 日くらい
4. 児童センター ※1	選 □ 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	選 □ 日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）	選 □ 日くらい → 下校時から □□ 時まで
7. 子ども食堂など地域の居場所	選 □ 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	選 □ 日くらい
9. 障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）	選 □ 日くらい
10. その他（公民館、公署など）	選 □ 日くらい

※1 児童センターで行う放課後児童クラブを利用したい場合は「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」に回答。

※2 「放課後子ども教室」…地域の力での協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

22

問34 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごせたいと思いますか。当ではまる番号すべてに○をつけ、それぞれの選んだり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合は利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時 のように24時間制でご記入ください(数字は一律に一字)。
※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

放課後の過ごし場所	小学校高学年(4～6年生)のうちの放課後の過ごし方
1. 自宅	選 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	選 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	選 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. 児童センター	選 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後子ども教室	選 <input type="checkbox"/> 日くらい
6. 放課後児童クラブ(学童クラブ)	選 <input type="checkbox"/> 日くらい →下校時から <input type="checkbox"/> 時まで
7. 子ども食堂など地域の居場所	選 <input type="checkbox"/> 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	選 <input type="checkbox"/> 日くらい
9. 障害児支援事業(放課後等デイサービス)	選 <input type="checkbox"/> 日くらい
10. その他(公民館、公園など)	選 <input type="checkbox"/> 日くらい

問33もしくは問34で「6. 放課後児童クラブ(学童クラブ)」と回答した方がいます。

※それ以外の方は、次のページの問34へお進みください

問34-1 放課後児童クラブ(学童クラブ)がどのような事業形態であれば利用したいと思いますか。当ではまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. 既存の放課後児童クラブ(学童クラブ)を利用したい
2. 学校に隣接しているのであれば利用したい
3. 放課後児童クラブからの帰宅が心配なので、有料でも送迎つきであれば利用したい
4. 所得に応じて保育料を減免する措置があれば利用したい
5. その他()

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の孤立支援制度についてうかがいます。

すべての方にうかがいます。問35～問39にかけて「母親」「父親」の両二方の回答をお願いします。

問35 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたが、母親、父親それぞれについて、当ではまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方は、その理由について当ではまる番号すべてに○をつけてください。

育児休業の取得状況	(1) 母親	(2) 父親
働いていなかった	1	1
取得した(取得中である)	2	2
取得していない	3	3

育児休業を取得していない理由	(1) 母親	(2) 父親
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
(産休後に)仕事に早く復帰したかった	3	3
仕事に戻るのが難しそうだった	4	4
昇給・昇格などが遅れそうだった	5	5
収入減となり、経済的に苦しくなる	6	6
保育所(園)などに預けることができた	7	7
配偶者が育児休業制度を利用した	8	8
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった	9	9
子育てや家事に専念するため退職した	10	10
職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)	11	11
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	12	12
育児休業を取得できることを知らなかった	13	13
産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した	14	14
その他()	15	15

問35-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。そのことをご存じでしたか。当ではまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問35 で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方がいます。

問35-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたが、当ではまる番号1つに○をつけてください。

育児休業後の職場復帰の状況	(1) 母親	(2) 父親
育児休業取得後、職場に復帰した	1	1
現在も育児休業中である	2	2
育児休業中に退職した	3	3

→問35-9 (P27)へ

→問36 (P27)へ

→問35-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方がいます。

問35-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。
※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

職場復帰のタイミング	(1) 母親	(2) 父親
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	1
それ以外だった	2	2

問35-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、出勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取ったかったですか。口内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。

育児休業の取得期間	(1) 母親	(2) 父親
① 実際の職場復帰	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月
② 取ったかった期間(希望)	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月まで	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月まで

問35-5 出勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取ったかったですか。口内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。

育児休業の取得期間	(1) 母親	(2) 父親
① 3歳までに取得できたとしたら、取ったかった期間	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月まで	<input type="text"/> 歳 <input type="text"/> ヶ月まで

問35-4 で実際の職場復帰と希望が異なる方がいます。

問35-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

(1) 希望より早く復帰した理由	① 母親	② 父親
希望する保育所に入るため	1	1
配偶者や家族の希望があったため	2	2
経済的な理由で早く復帰する必要があった	3	3
人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4	4
その他()	5	5

(2) 希望より遅く復帰した理由	① 母親	② 父親
希望する保育所に入らなかったため	1	1
自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2	2
配偶者や家族の希望があったため	3	3
職場の受け入れ態勢が整ってなかったため	4	4
子どもをみてくれる人がいなかったため	5	5
その他()	6	6

問35-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方がいます。

問35-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたが、当ではまる番号1つに○をつけてください。

短時間勤務制度の利用	(1) 母親	(2) 父親
利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)	1	1
利用した	2	2
利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)	3	3

→問35-7で「3. 利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方がいます。

問35-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。当ではまる番号すべてに○をつけてください。

短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由	(1) 母親	(2) 父親
職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1	1
仕事が忙しかった	2	2
短時間勤務にすると給与が削減される	3	3
短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる	4	4
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5	5
配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	6	6
子育てや家事に専念するため退職した	7	7
職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)	8	8
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9	9
その他()	10	10

問35-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問35-2 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1歳になるまでの育児休業取得希望	(1)母親	(2)父親
1歳になるまで育児休業を取得したい	1	1
1歳になる前に復帰したい	2	2

問36 子育てにはどのような支援が必要だと思いますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 児童センターなど、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい
3. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作って欲しい
4. 保育所を増やして欲しい
5. 幼稚園を増やして欲しい
6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）を増やして欲しい
7. 保育所や幼稚園、放課後児童クラブ（学童クラブ）にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい
9. 公営住宅において、多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい
10. 企業に対し、「育児休業に準ずる期間（1～3歳まで）の休業」についての制度化や、その間の経済的支援を働きかけてほしい
11. 就業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
12. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
13. その他（具体的に：）

問37 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
27

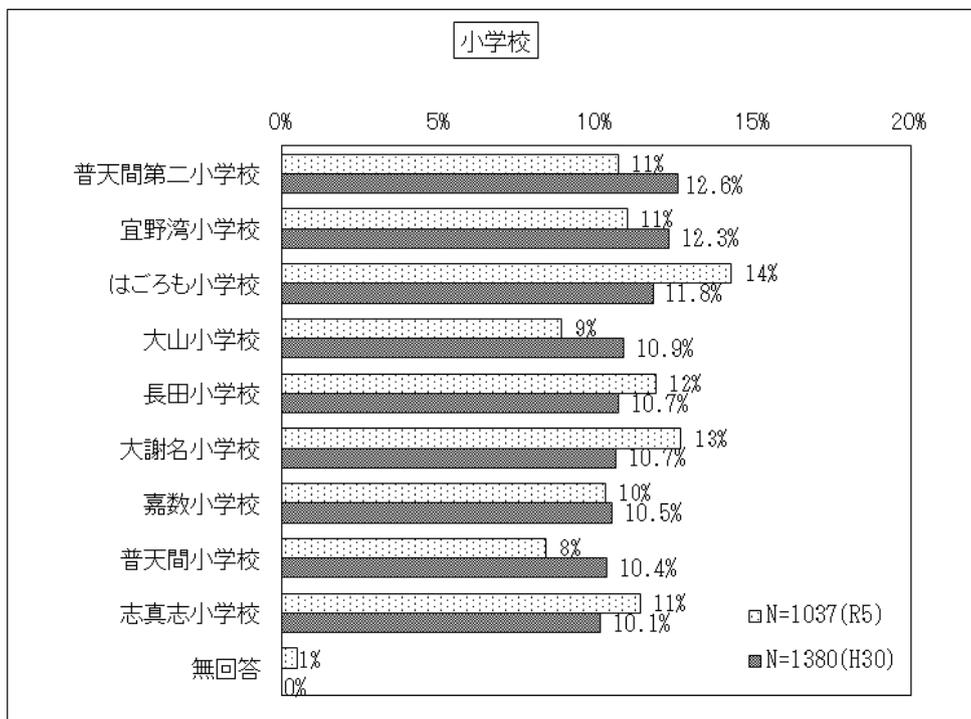
小学生集計結果

4. 小学生児童家庭ニーズ調査の結果

問1 お子さんが通学している小学校

回答者の子どもが通っている小学校は、以下の通りであった。

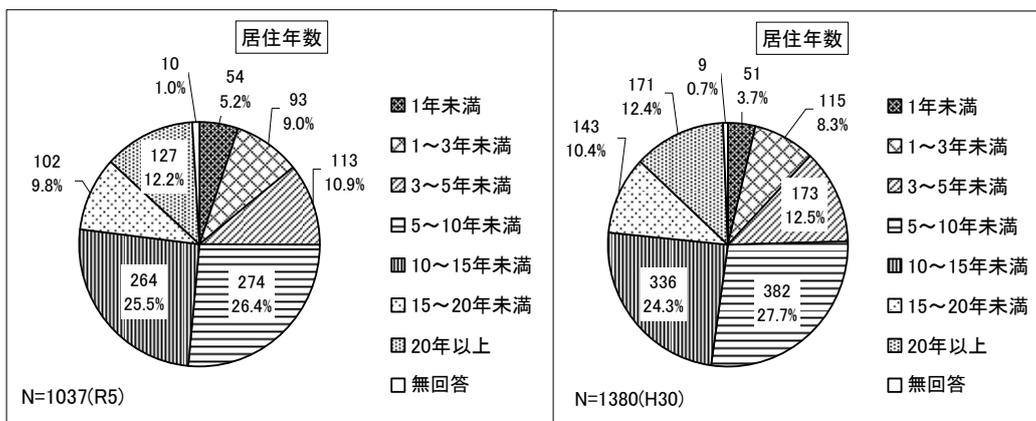
図表97. お子さんが通学している小学校



問1-1 問1で回答した小学校区に住んで通算何年になるか

小学校区に住んで何年になるかは、令和5年・平成30年共に大きな変化はない。

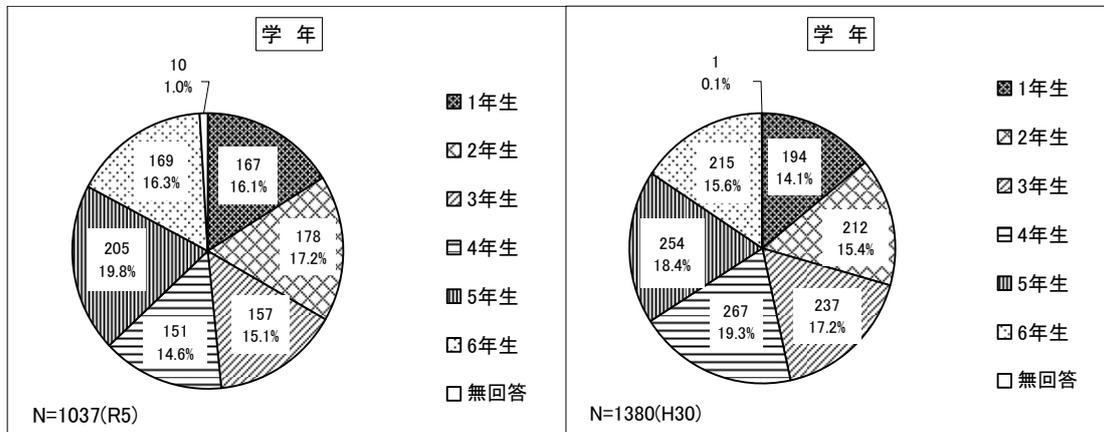
図表98. 問1で回答した小学校区に住んで通算何年になるか



問2 子どもの学年

子どもの学年は、令和5年・平成30年共に大きな変化はない。令和5年では平成30年より「1年生」「2年生」でやや増加となる。

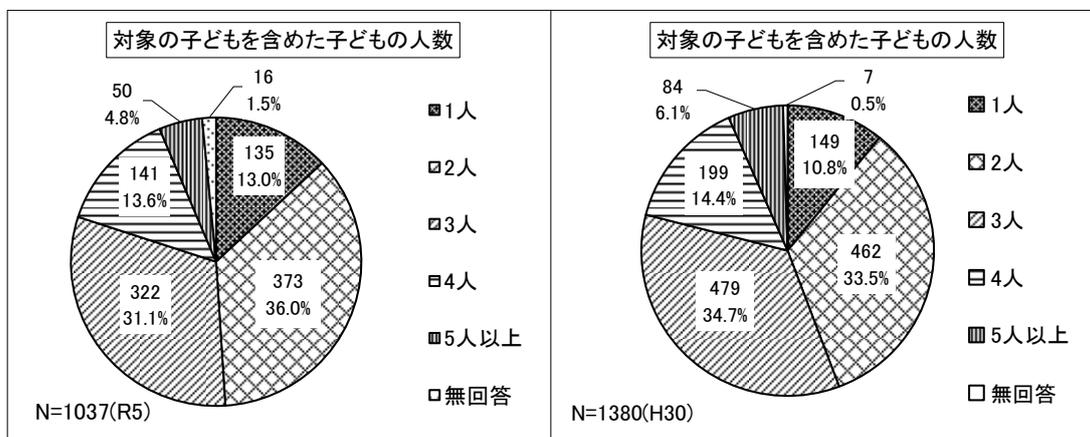
図表99. 子どもの学年



問3 お子さんの人数

対象の子どもを含めた子どもの人数は、令和5年・平成30年共に大きな変化はない。令和5年では平成30年より「1人」「2人」がやや増加している。

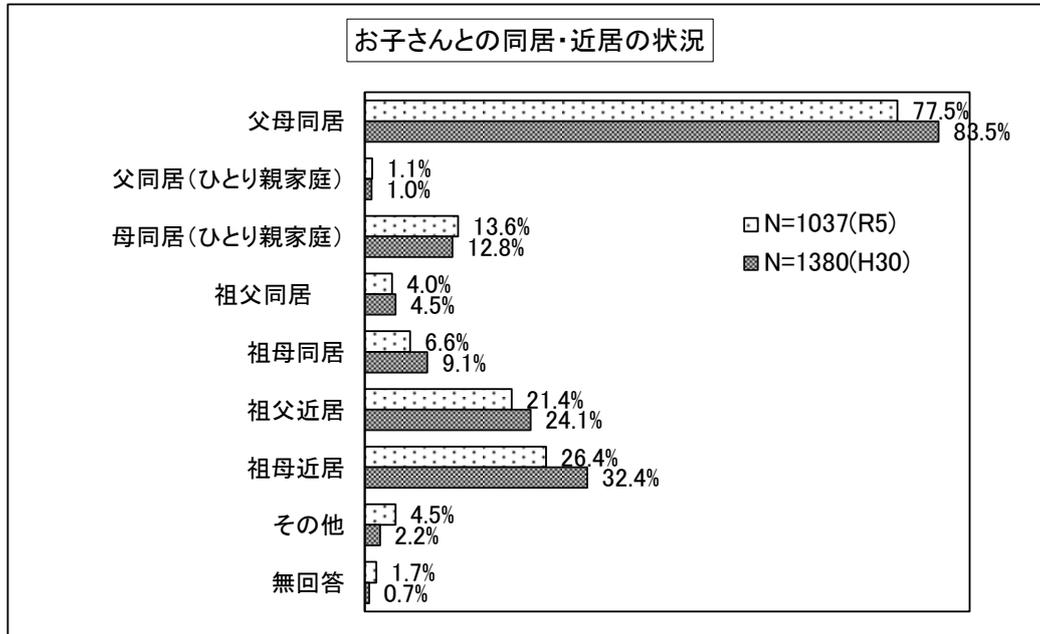
図表100. お子さんの人数



問4 お子さんとの同居・近居の状況

令和5年では「父母同居」の割合が若干低くなっている。一方で「母同居」、「その他」の割合が高くなっている。

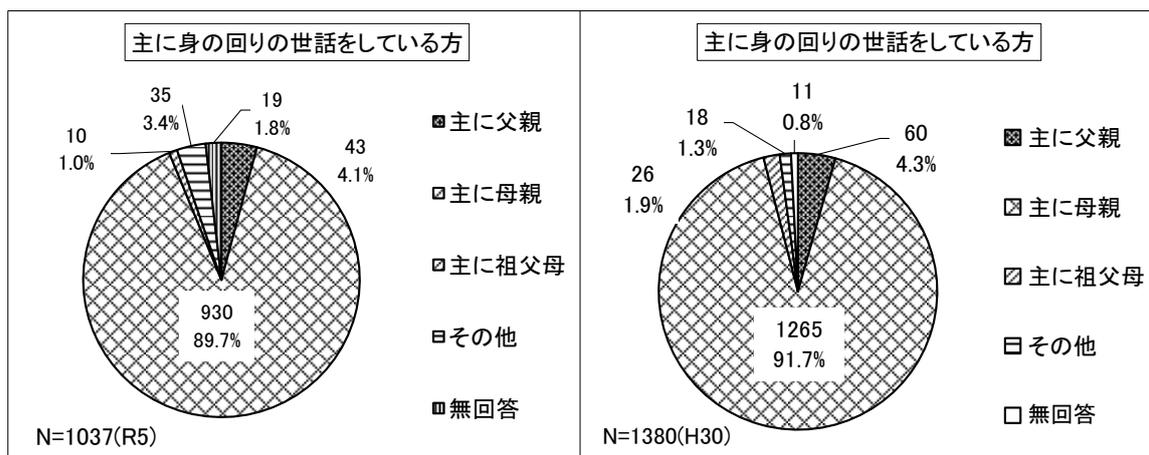
図表101. お子さんとの同居・近居の状況



問5 お子さんの身の回りの世話などを主にしている方

主に身の回りの世話をしている方は、令和5年・平成30年共に大きな変化はない。「主に母親」という回答が9割程で最も高い。

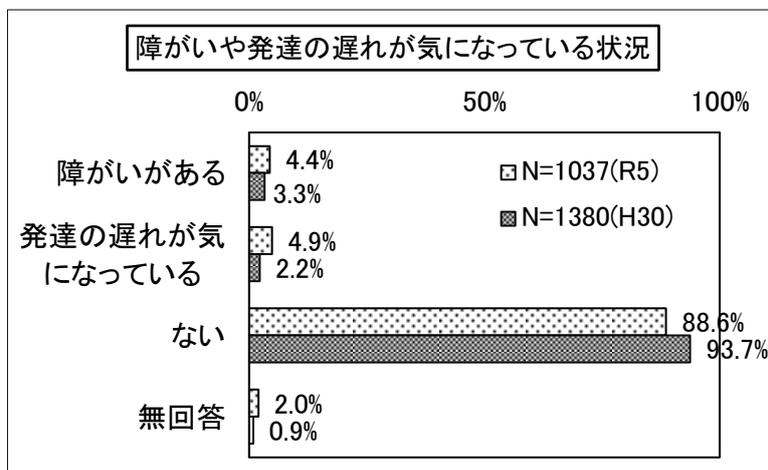
図表102. お子さんの身の回りの世話などを主にしている方



問6 お子さんの障がいや発達の遅れが気になっている状況

障がいや発達の遅れが気になっている状況については、「ない」が令和5年・平成30年共に最も高い。一方、「発達の遅れが気になっている」が令和5年は平成30年より2倍高くなっている。

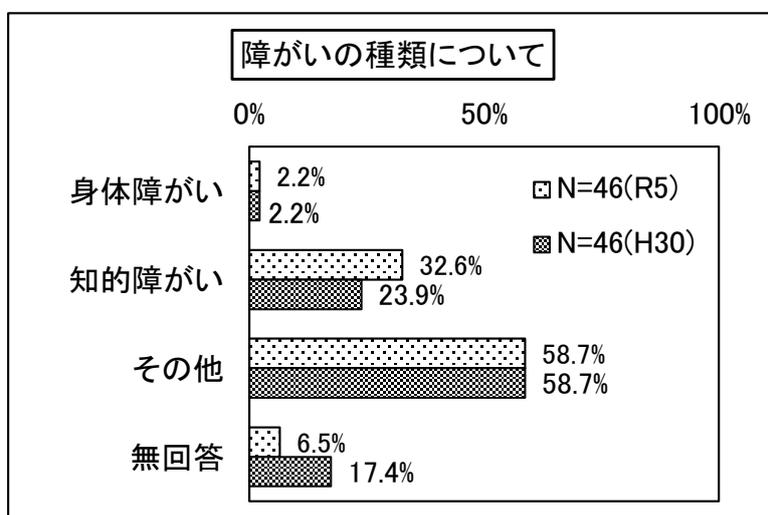
図表103. お子さんの障がいや発達の遅れが気になっている状況



【障害の種類について】

令和5年では平成30年より、「知的障がい」の割合が増えている。

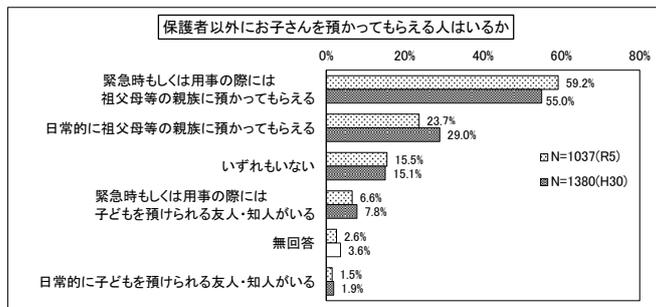
図表104. 障がいの種類について



問7 保護者以外にお子さんを預かってもらえる人はいるか（複数回答）

子どもを預かってくれる人の有無については、令和5年では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が平成30年より高くなっている。一方、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」は令和5年で平成30年よりやや減少している。

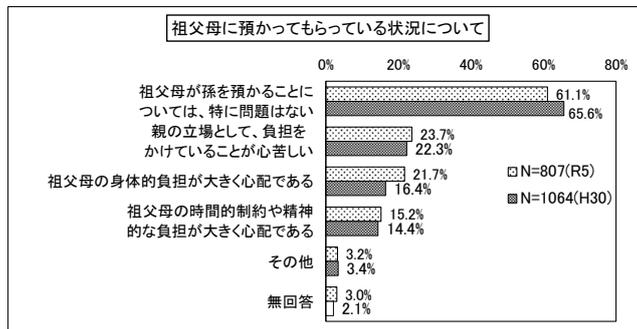
図表105. 保護者以外にお子さんを預かってもらえる人はいるか（複数回答）



問7-1 祖父母に預かってもらっている状況（複数回答）

「祖父母の身体的負担が大きく心配である」が平成30年より令和5年でやや高くなっている。

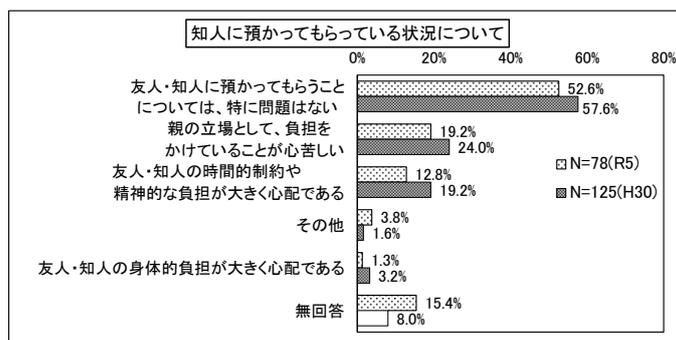
図表106. 祖父母に預かってもらっている状況（複数回答）



問7-2 知人に預かってもらっている状況（複数回答）

令和5年では平成30年より全体的に割合が低下している。

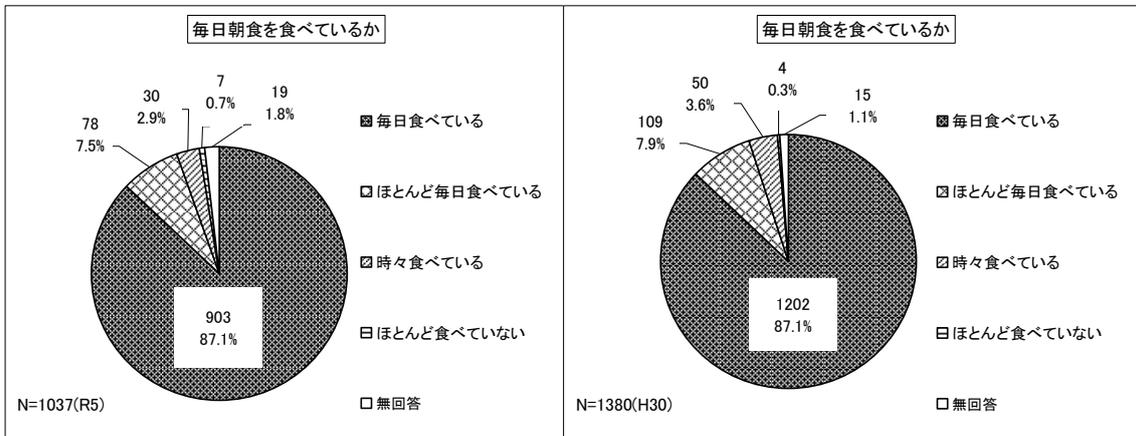
図表107. 知人に預かってもらっている状況（複数回答）



問8 お子さんは毎日朝食を食べているか

毎日朝食を食べているかについては、令和5年・平成30年共に大きな変化はない。「毎日食べている」が令和5年・平成30年共に最も高い。

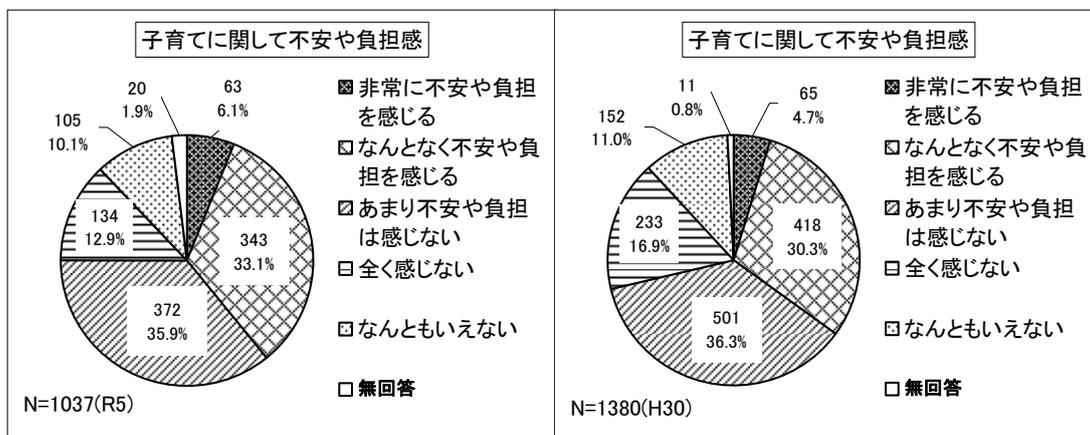
図表108. お子さんは毎日朝食を食べているか



問9 子育てに関して不安や負担感などを感じているか

子育てに関して不安や負担感などを感じているかについては、不安や負担を感じる合計は令和5年で約4ポイント高くなっている。

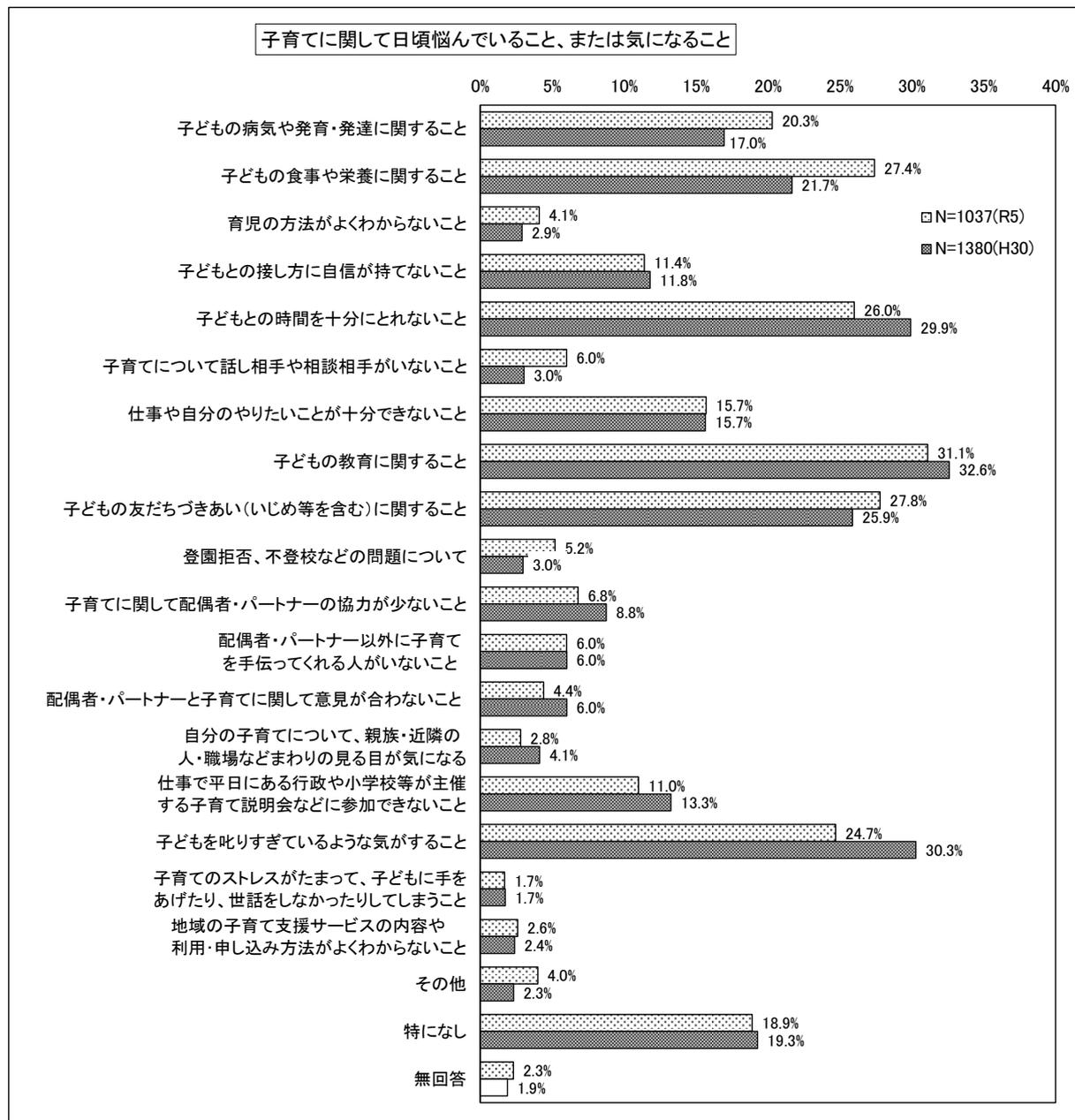
図表109. 子育てに関して不安や負担感



問10 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になること（複数回答）

子育てに関して日頃悩んでいることについては、令和5年で「子どもの病気や発育・発達に関すること」「子どもの食事や栄養に関すること」「子育てについて話し相手や相談相手がないこと」などが平成30年よりやや高くなっている。

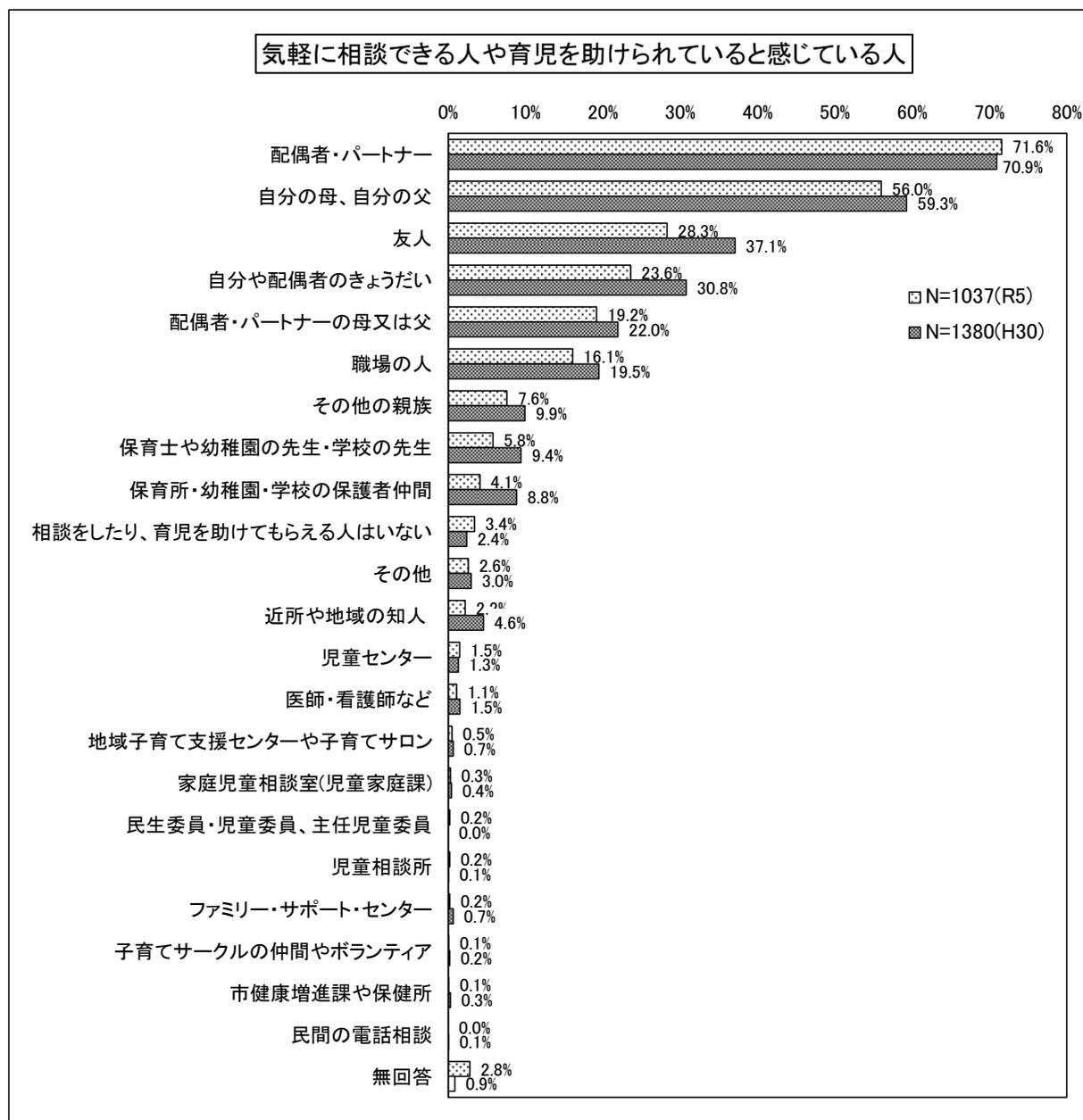
図表110. 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になること（複数回答）



問 11 相談できる人や育児を助けられていると感じる人はいるか（複数回答 3 つまで）

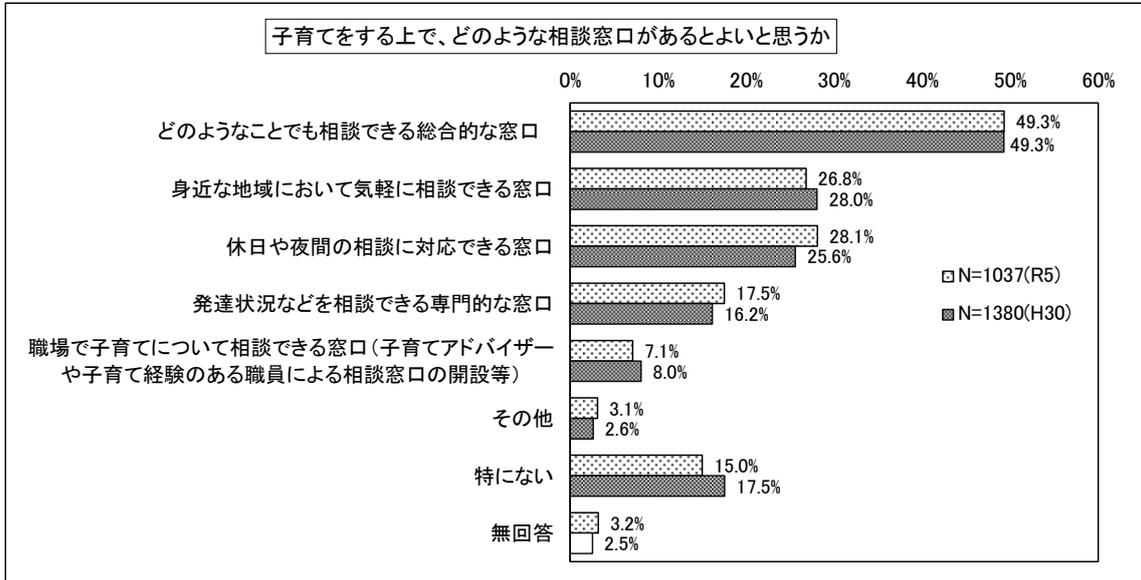
令和 5 年では平成 30 年より「友人」、「自分や配偶者のきょうだい」などが低くなっている。

図表111. 気軽に相談できる人や育児を助けられていると感じている人（複数回答 3 つまで）



問 12 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいか（複数回答 2 つまで）
 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいと思うかについては、令和 5 年・平成 30 年共に大きな変化はない。

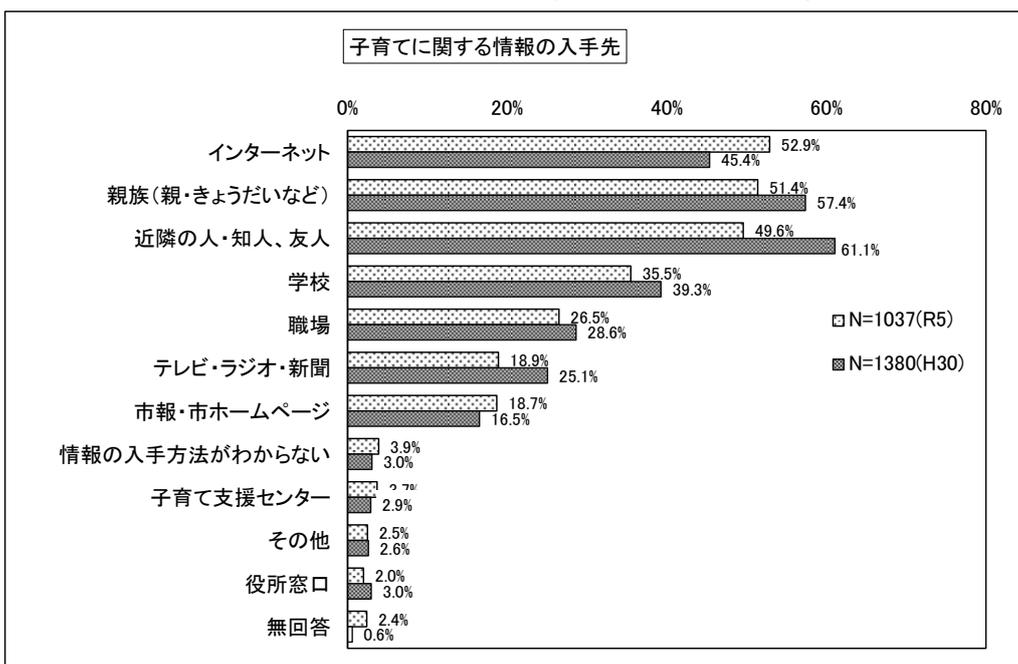
図表112. 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいか（複数回答 2 つまで）



問 13 子育てに関する情報入手先（複数回答）

子育てに関する情報の入手先について、令和 5 年では「インターネット」が平成 30 年より 7 ポイント程高くなっている。一方、「親族」「近隣の人・知人・友人」は平成 30 年より低くなっている。

図表113. 子育てに関する情報入手先（複数回答）

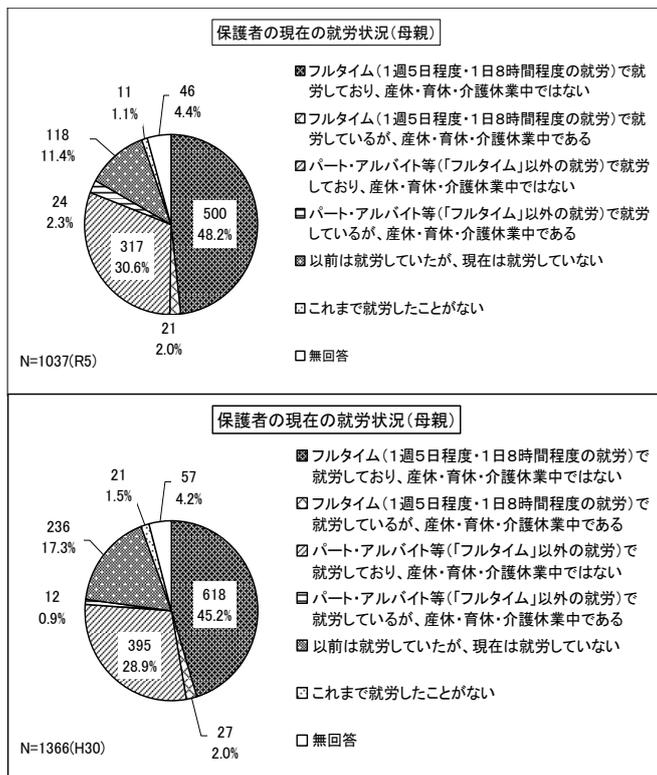


問 14(1) 保護者（母親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

【母親】

母親の就労状況は、「フルタイムで就労している」という割合が令和5年・平成30年共に最も高く5割程度である。令和5年では平成30年より「以前は就労していたが、現在は就労していない」割合がやや低くなっている。

図表114. 【母親】保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

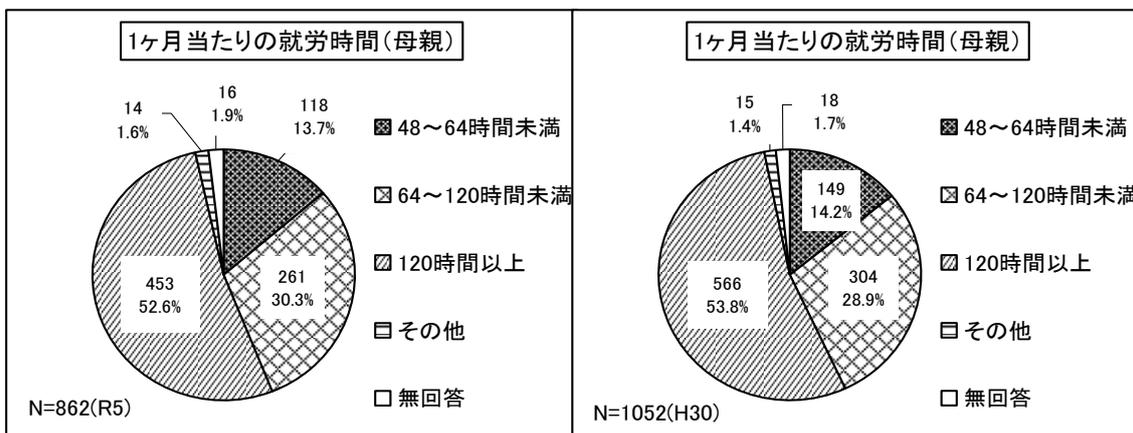


問 14(1)で「1.～4」(就労している)に○をつけた方のみ

問 14(1)-1 1ヶ月当たりの就労時間(母親)

令和5年・平成30年共に「120時間以上」が最も高い。

図表115. 【母親】1ヶ月当たりの就労時間

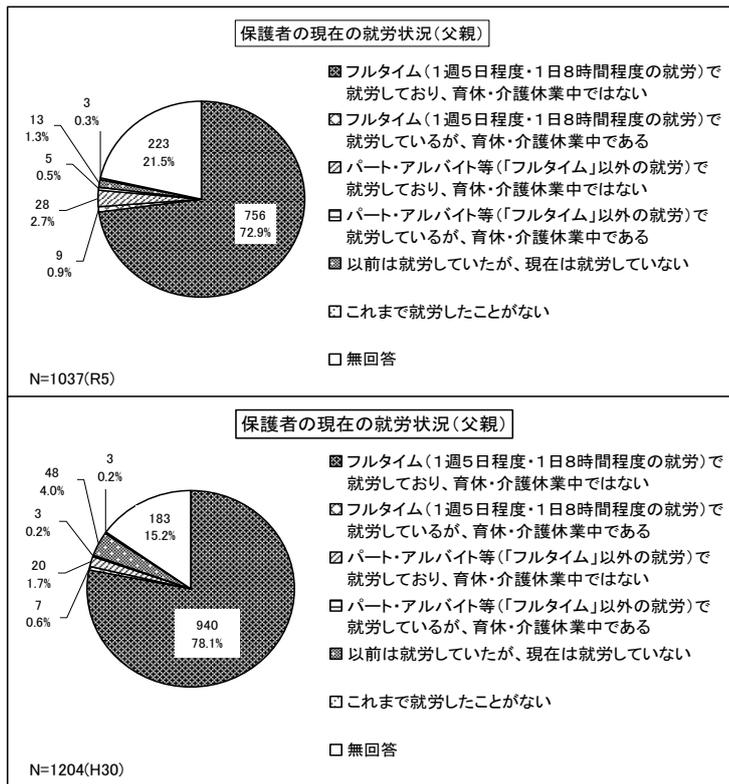


問 14(2) 保護者（父親）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

【父親】

父親の就労状況は、「フルタイムで就労している」という割合が令和5年・平成30年共に最も高くなっている。「パート・アルバイト等で就労している」が令和5年でやや高くなっている。

図表116. 【父親】保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）

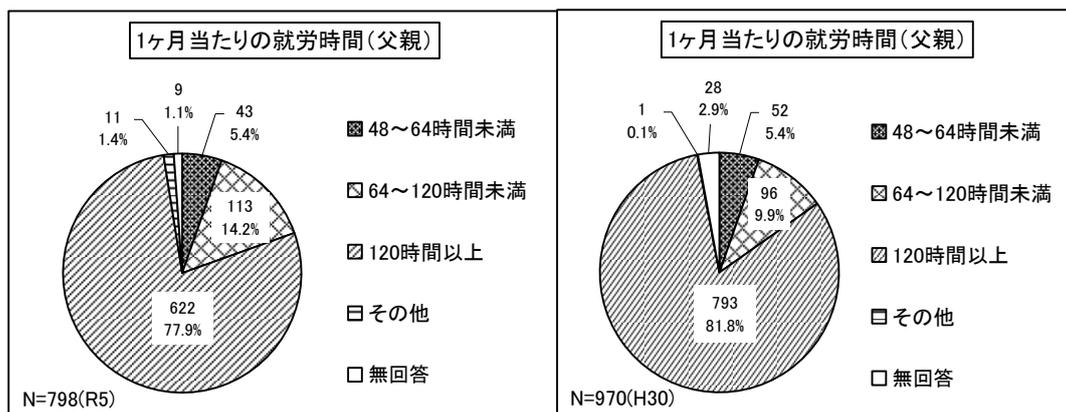


問 14(2)で「1.～4」（就労している）に○をつけた方のみ

問 14(2)-1 1ヶ月当たりの就労時間（父親）

令和5年・平成30年共に「120時間以上」が最も高い。

図表117. 【父親】1ヶ月当たりの就労時間

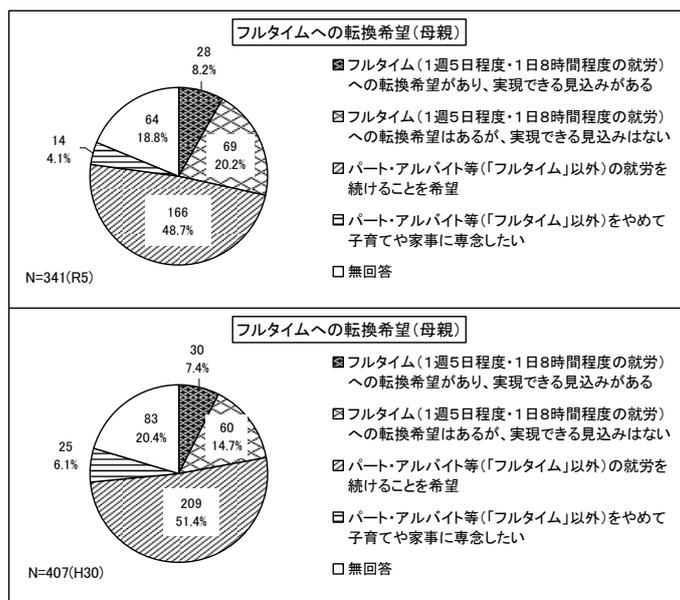


問 15(1) フルタイムへの転換希望（母親）

【母親】

令和5年と平成30年の両方で最も高いのは「パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望」であり、それに次いで多い「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と答えた人はやや増加している。

図表118. 【母親】フルタイムへの転換希望

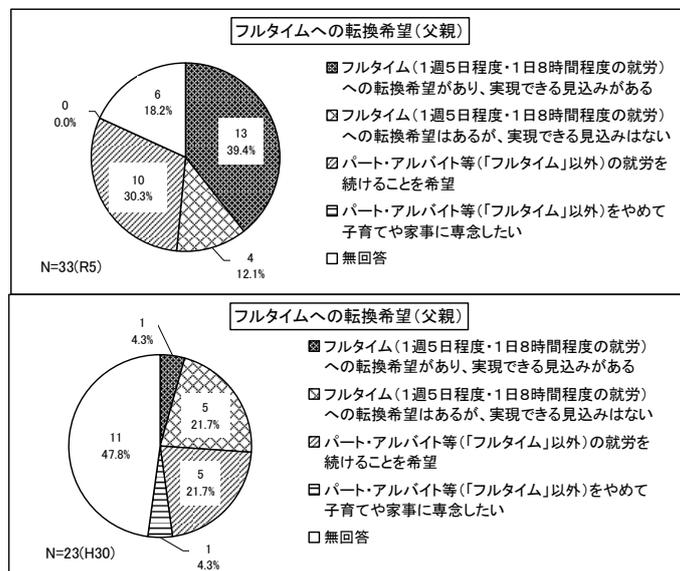


問 15(2) フルタイムへの転換希望（父親）

【父親】

令和5年では「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある」と答えた人の割合が大幅に高くなっている。

図表119. 【父親】フルタイムへの転換希望



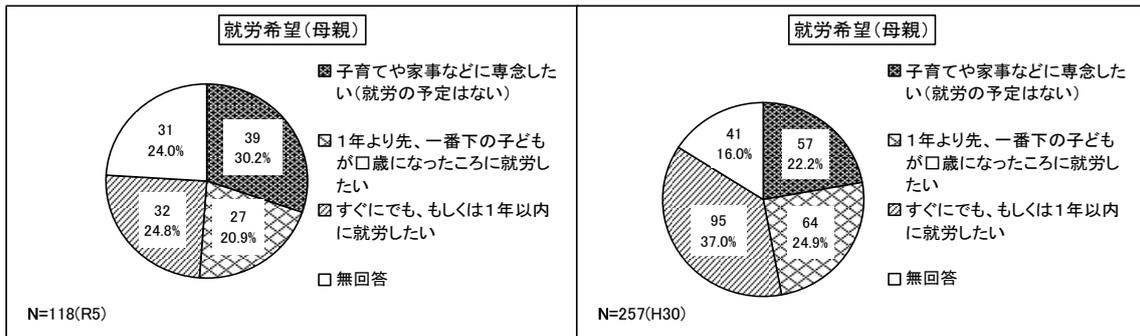
問 14 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方のみ

問 16(1) 就労希望 (母親)

【母親】

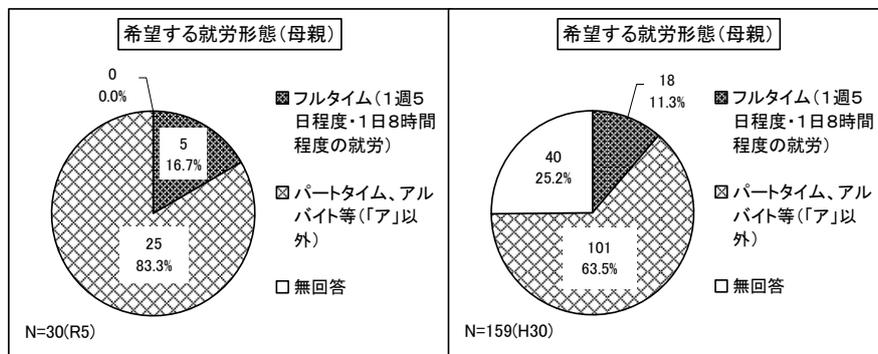
平成 30 年では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が最も高かったが、令和 5 年では「子育てや家事などに専念したい (就労の予定はない)」の割合が最も高くなっている。

図表120. 【母親】就労希望



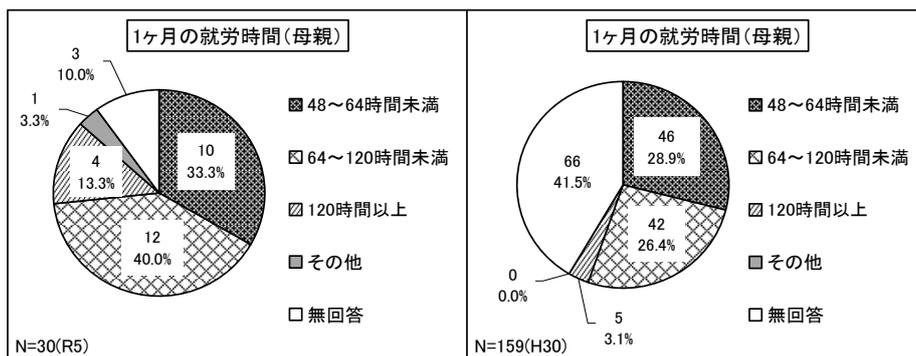
希望する就労形態は、平成 30 年よりも令和 5 年で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」と「パートタイム、アルバイト等」と答えた人の割合が増加している。

図表121. 【母親】希望する就労形態



希望する就労時間は、平成 30 年よりも令和 5 年で「48～64 時間未満」、「64～120 時間未満」、「120 時間以上」が増加している。

図表122. 【母親】1ヶ月の就労時間

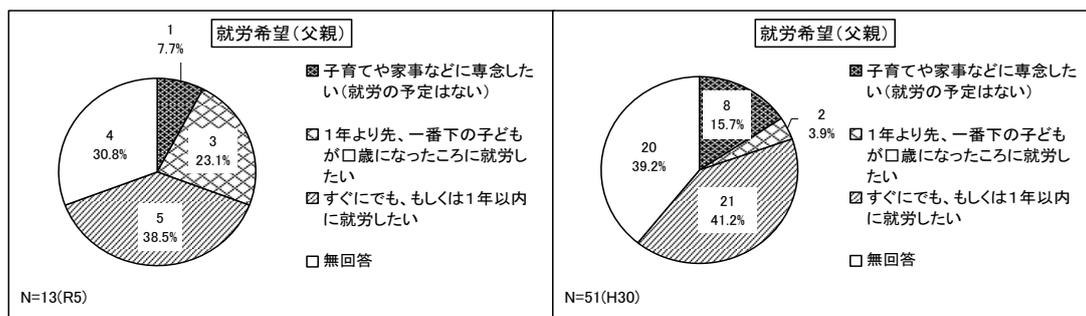


問 16(2) 就労希望（父親）

【父親】

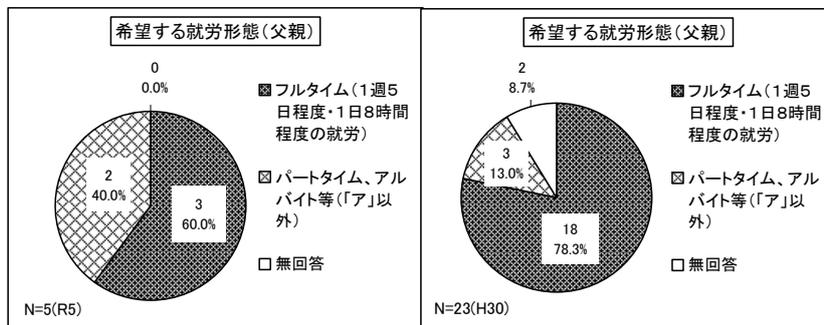
令和5年度では、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と答えた人の割合が低くなり、「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったところに就労したい」の割合が高くなっている。

図表123. 【父親】希望する就労形態



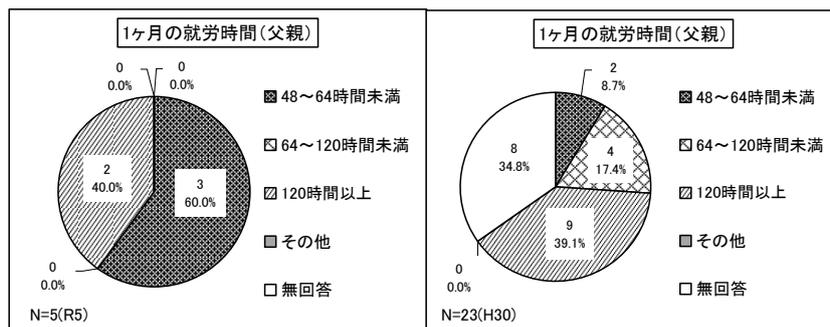
希望する就労形態は、平成30年よりも令和5年で「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)」を希望する父親が減少した一方、「パートタイム、アルバイト等」を希望する父親が増加した。

図表124. 【父親】希望する就労形態



1ヶ月当たりの就労希望時間は、「48～64時間未満」が令和5年は平成30年より51.3ポイント高くなっている。

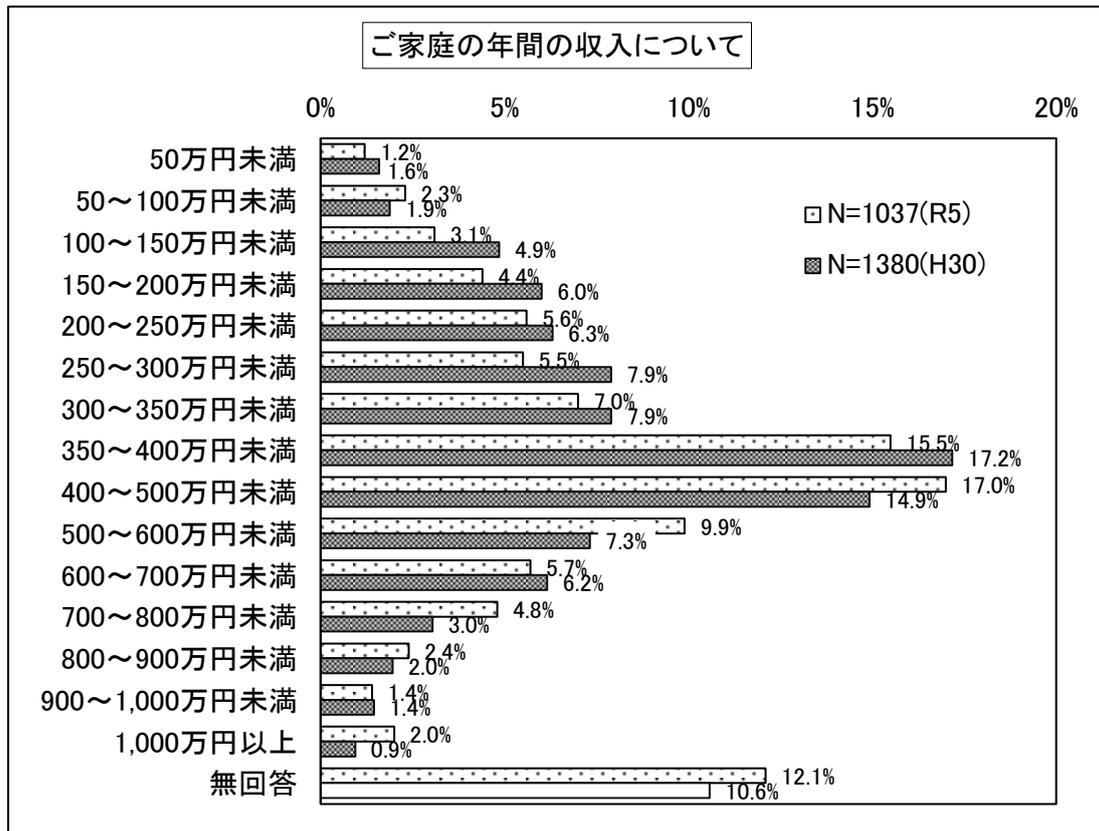
図表125. 【父親】1ヶ月の就労時間



問 16(3) 家庭の年間収入

家庭における年間の収入（手取り）については、平成 30 年では「350～400 万円未満」が最も高かったが、令和 5 年では、「400～500 万円未満」の割合が最も高くなっている。

図表126. 家庭の年間収入



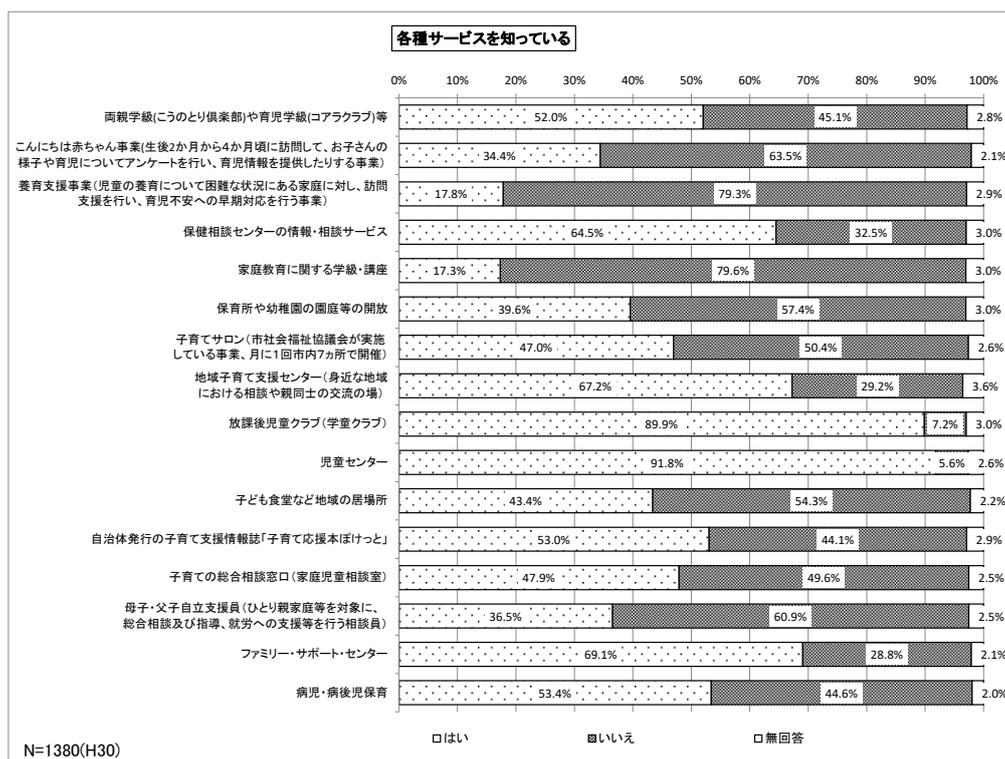
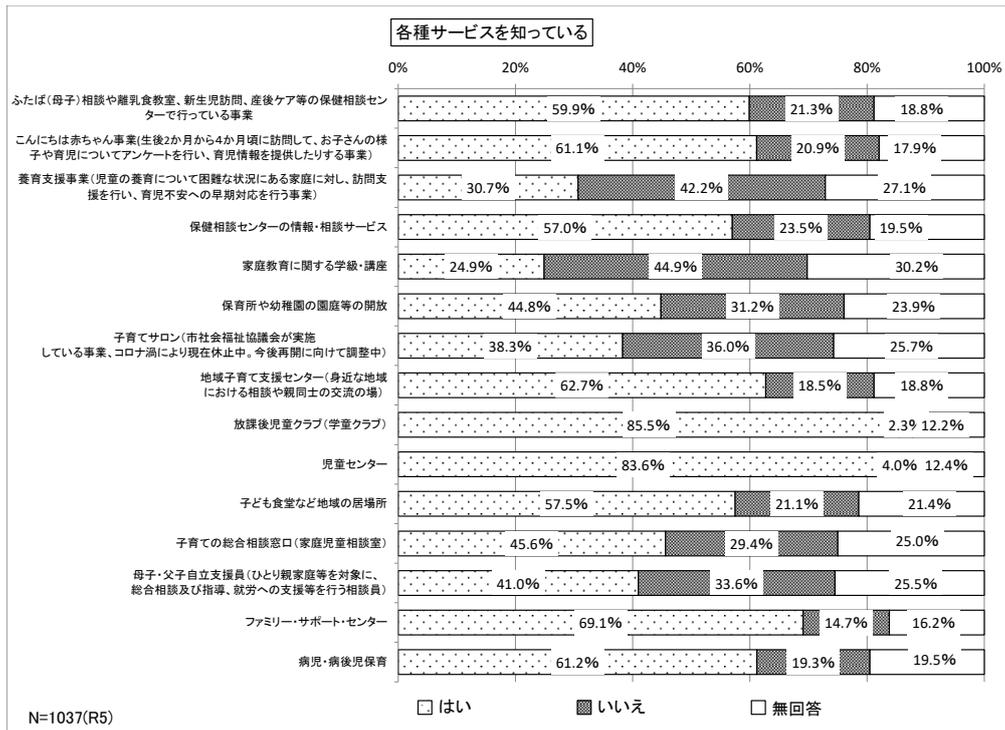
問17 サービスの認知度、利用状況、利用希望について

【各種サービスの認知度】

各種サービスの認知度については、令和5年・平成30年共に認知度の高いサービスの上位3つは「放課後児童クラブ」「児童センター」「ファミリー・サポート・センター」となっている。

令和5年では「こんにちは赤ちゃん事業」が平成30年より26.7ポイントと大幅に高くなっている。

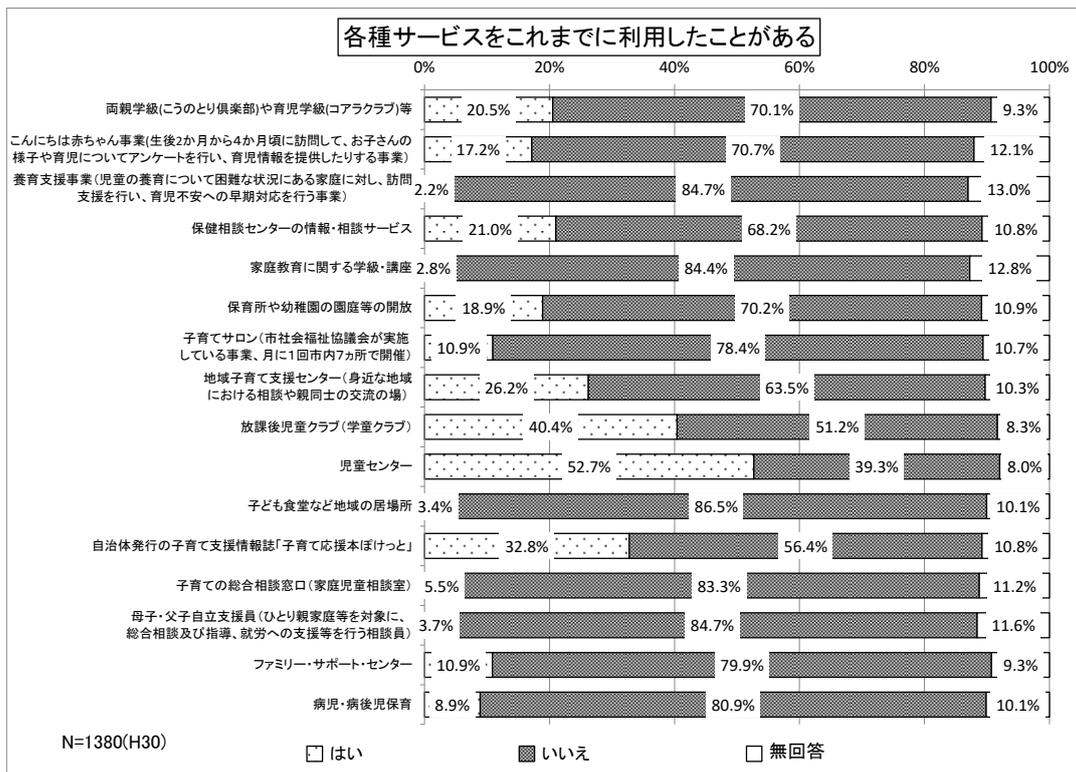
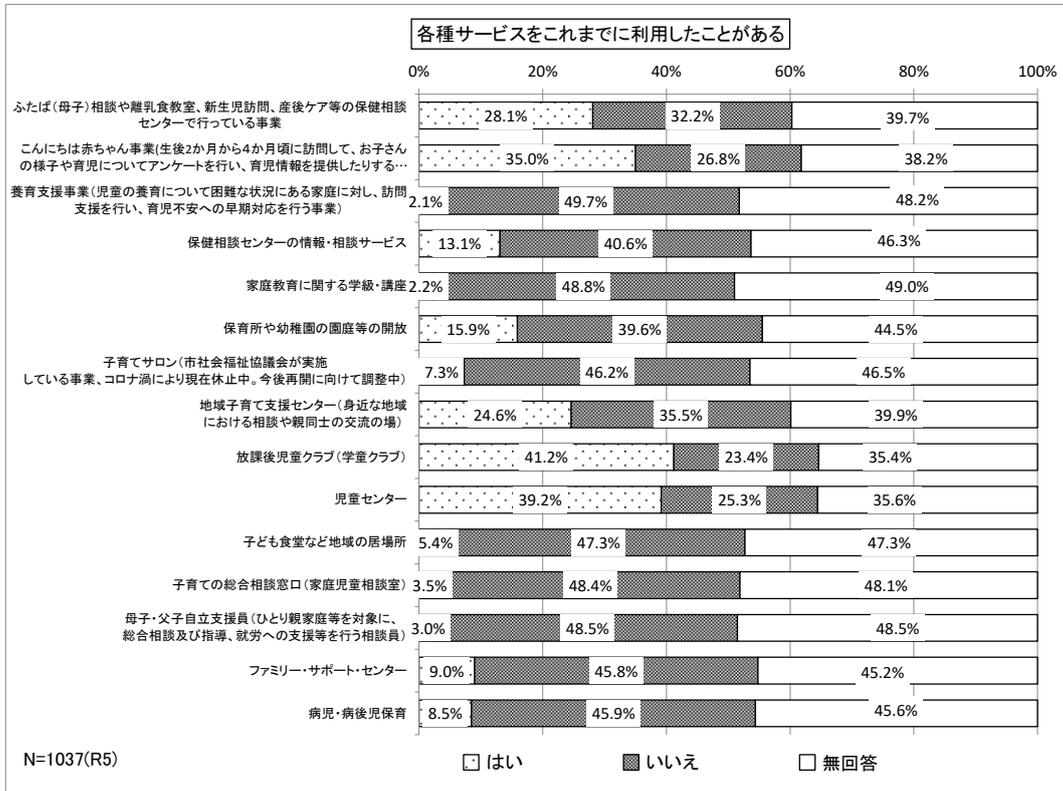
図表127. 各種サービスの認知度



【各種サービスの利用状況】

各種サービスの利用状況については、上位2位は「放課後児童クラブ」「児童センター」となる。令和5年では、「児童センター」の利用が平成30年より減少し、「放課後児童クラブ」の利用が高くなっている。

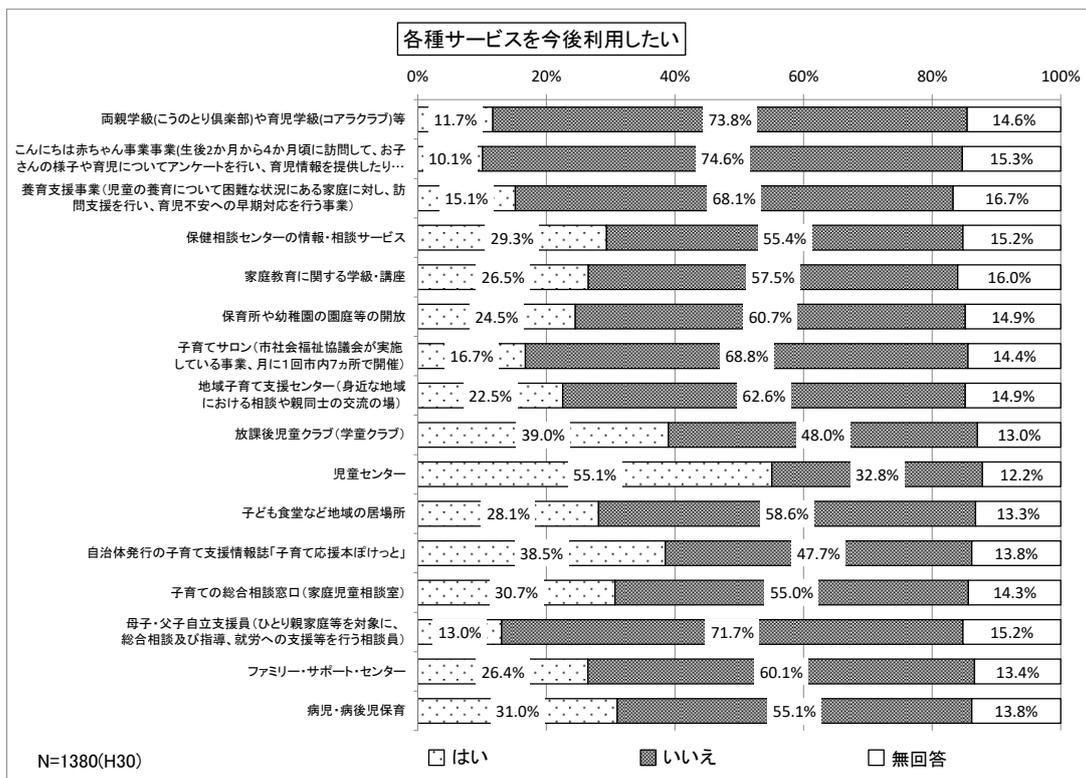
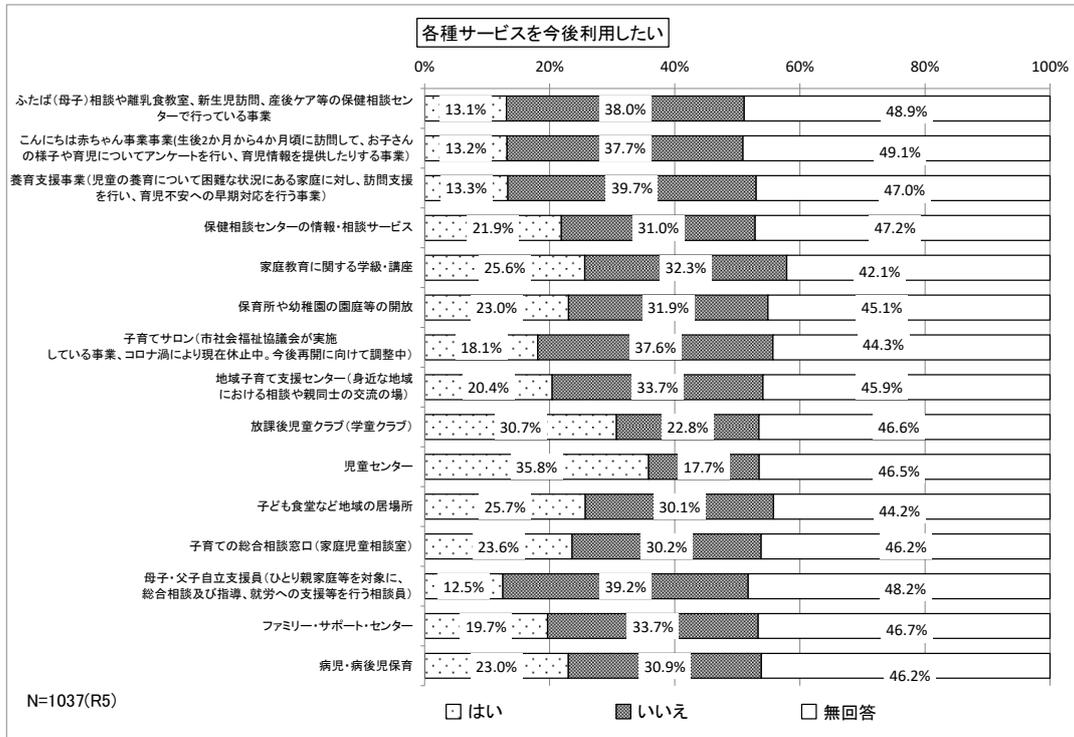
図表128. 各種サービスをこれまでに利用したことがある



【今後利用したいサービス】

今後利用したいサービスについて、令和5年・平成30年共に上位は「児童センター」「放課後児童クラブ」となる。平成30年は「児童センター」が半数以上あったが、令和5年では、「児童センター」が35%程度となっている。

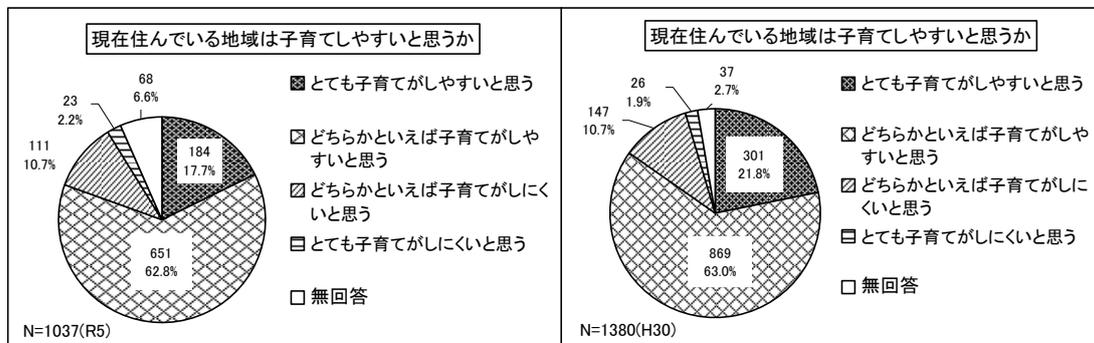
図表129. 各種サービスを今後利用したい



問 18 現在住んでいる地域は子育てしやすいと思うか

現在住んでいる地域は子育てしやすいと思うかについては、令和5年・平成30年共に大きな変化はなく、「どちらかといえば子育てがしやすいと思う」が6割以上を占めている。

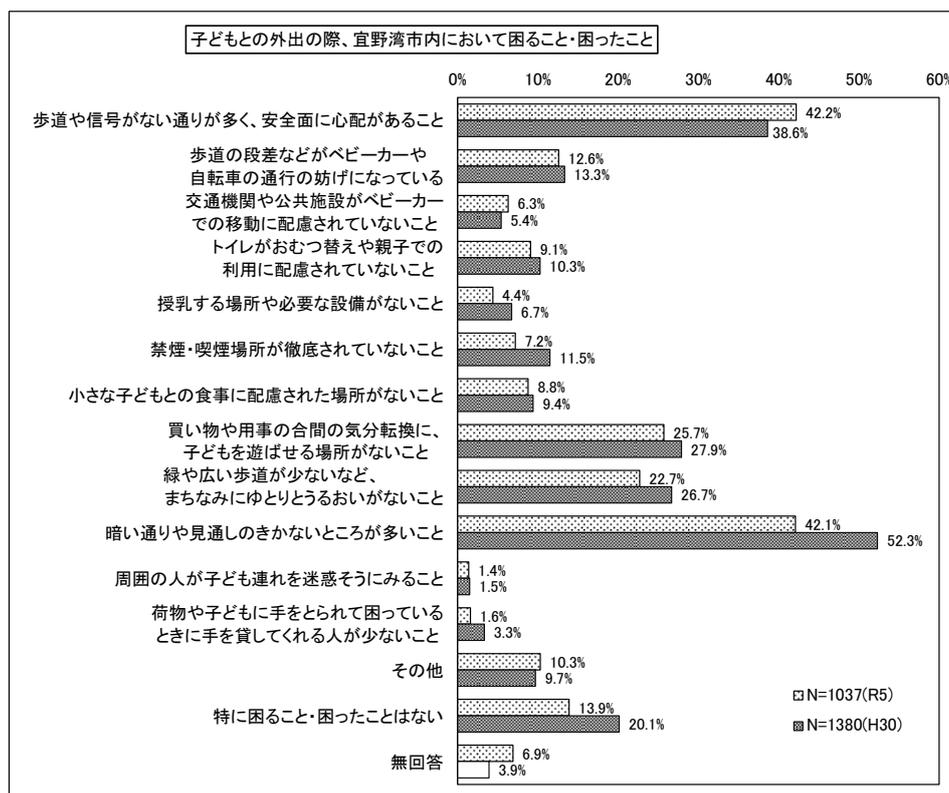
図表130. 現在住んでいる地域は子育てしやすいと思うか



問 19 子どもとの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったこと（複数回答3つまで）

子どもとの外出の際に市内で困ること等については、令和5年・平成30年共に「歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること」「暗い通りや見通しのきかないところが多いこと」が上位、次いで「買い物や用事の合間の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと」「緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとうるおいが少ないこと」が続いている。

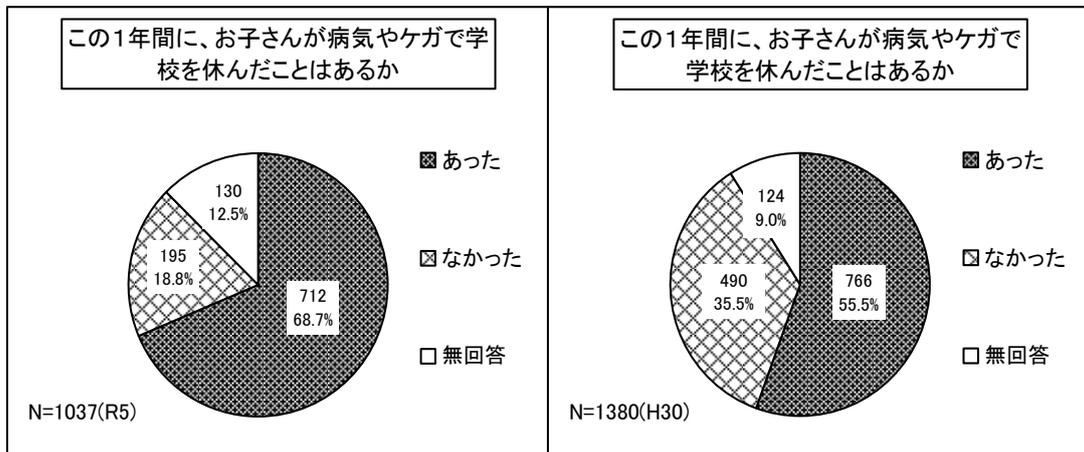
図表131. 子どもとの外出の際の困ること・困ったこと



問 20 お子さんが病気やケガで学校を休んだこと

この1年間に、子どもが病気やケガで学校を休んだことについては、令和5年・平成30年共に「あった」が最も高い。令和5年では平成30年より「あった」割合が13.2ポイント高くなっている。

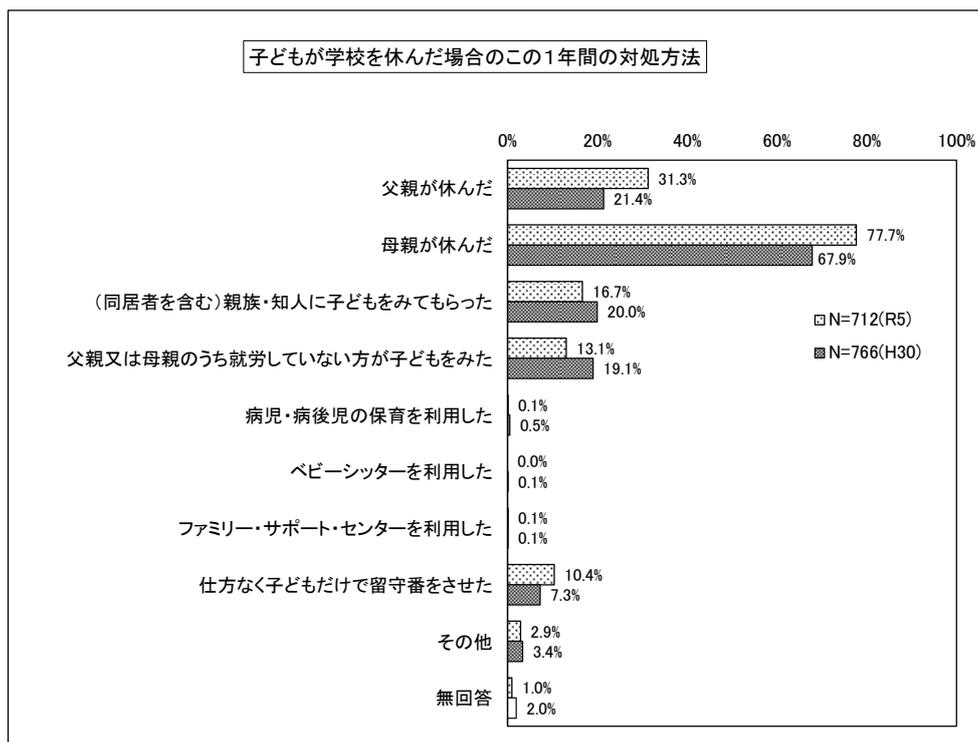
図表132. お子さんが病気やケガで学校を休んだこと



問 20-1 子どもが学校を休んだ場合の対処方法

子どもが学校を休んだ場合のこの1年間の対処方法では、令和5年・平成30年共に「母親が休んだ」が最も高い。令和5年では、「母親が休んだ」「父親が休んだ」が平成30年よりやや高く、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」の割合もやや高くなっている。

図表133. 子どもが学校を休んだ場合の対処方法

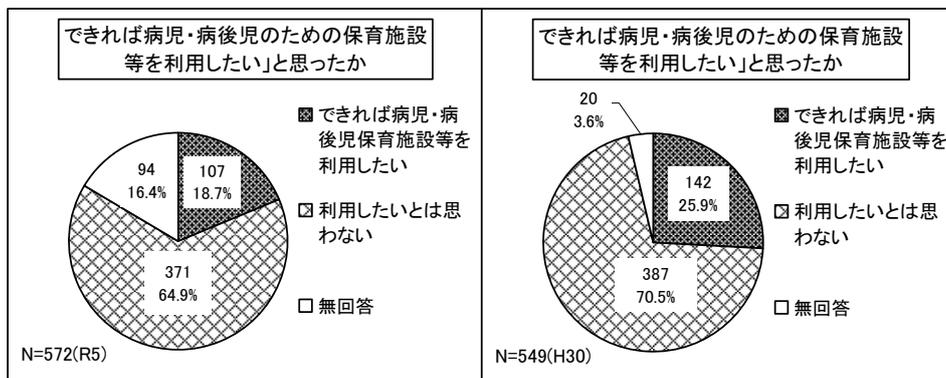


問 20-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方のみ

問 20-2 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか

できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったかについて、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が令和 5 年は平成 30 年より 7.2 ポイント低く、「利用したいとは思わない」も 5.6 ポイント低くなっている。

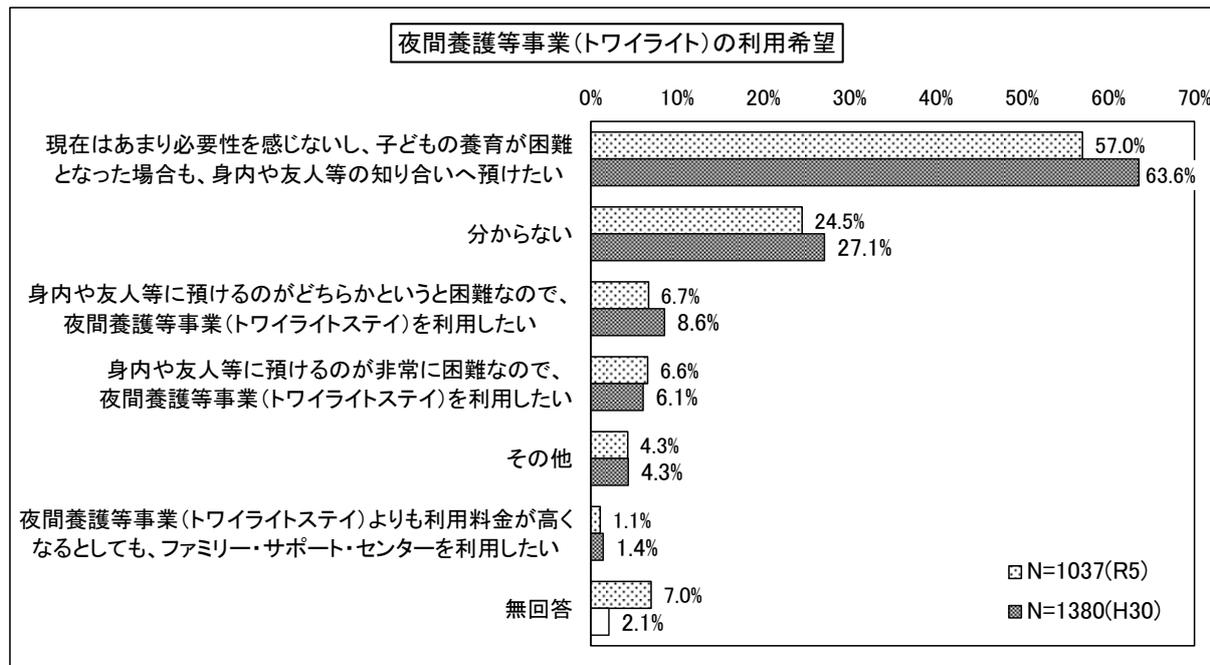
図表134. 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思ったか



問 21 夜間養護等事業（トワイライトステイ）の利用希望（複数回答 2 つまで）

夜間養護等事業（トワイライトステイ）の利用希望については、「現在はあまり必要性を感じないし、子どもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい」が令和 5 年・平成 30 年共に高くなっているが、令和 5 年では 6.6 ポイント低くなっている。

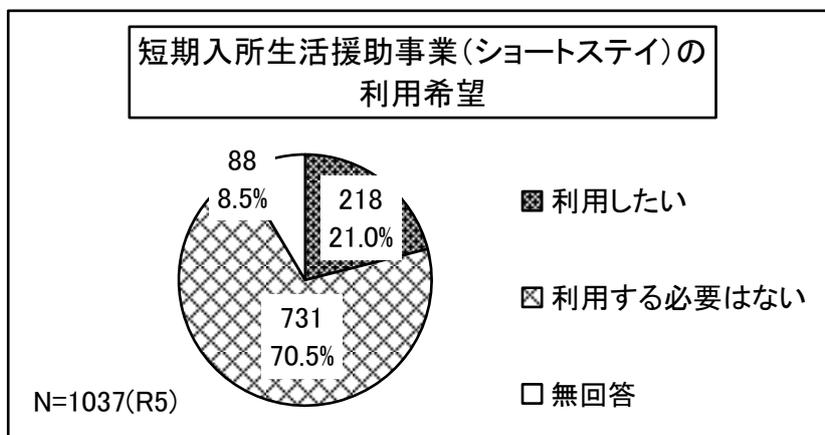
図表135. 夜間養護等事業（トワイライトステイ）の利用希望（複数回答 2 つまで）



問 22 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望（令和5年のみ）

短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望については、「利用する必要はない」が7割と最も高く、「利用したい」は2割程度である。

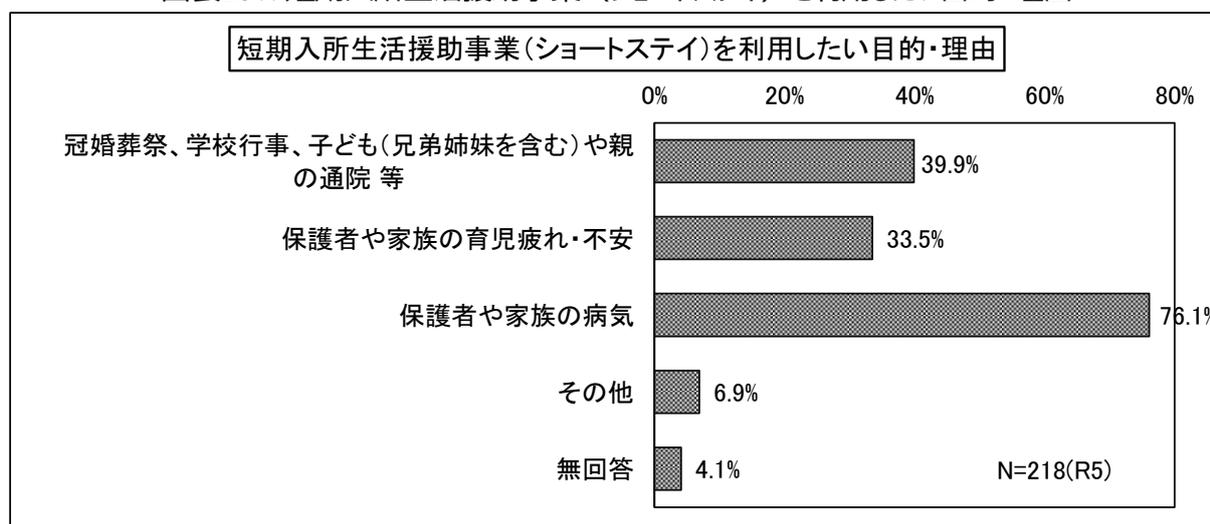
図表136. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用希望（令和5年のみ）



【利用したい目的・理由】

短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい目的・理由については、「保護者や家族の病気」が76.1%であり、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が39.9%、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が33.5%となっている。

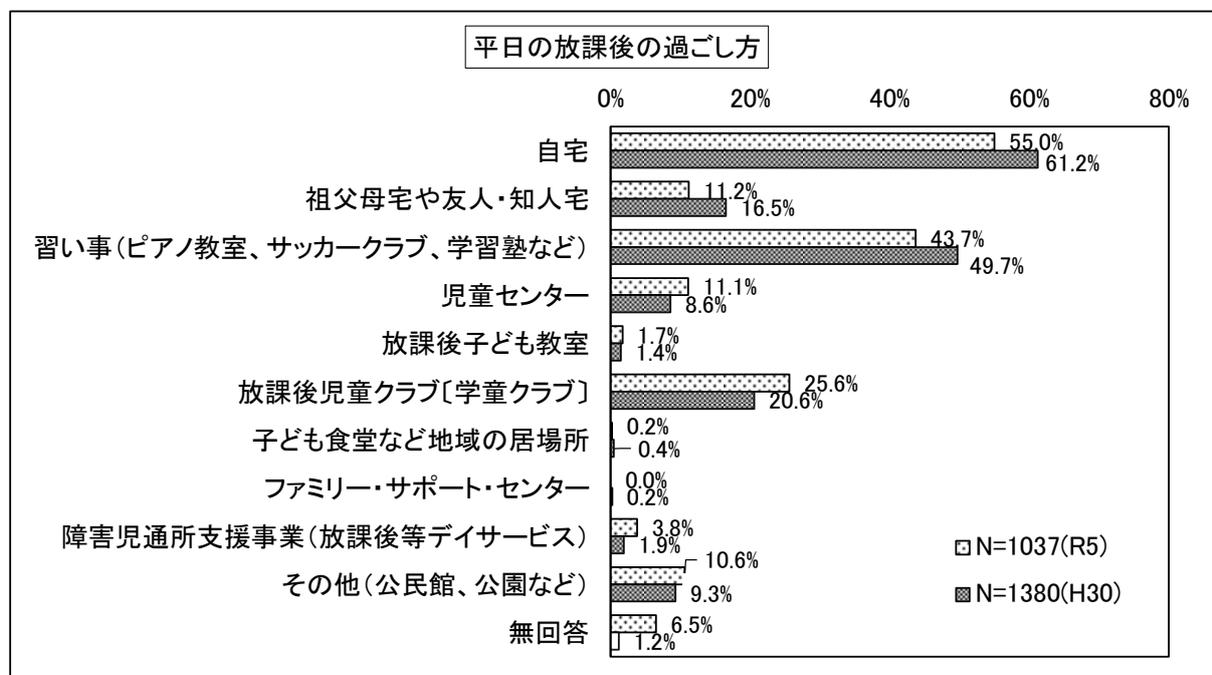
図表137. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用したい目的・理由



問 23 放課後の過ごし方（現状）

平日の放課後の過ごし方では、令和5年・平成30年共に「自宅」が最も高く、次いで「習い事」が続く。「放課後児童クラブ」は令和5年が平成30年より5ポイント高くなっている。

図表138. 放課後の過ごし方（現状）

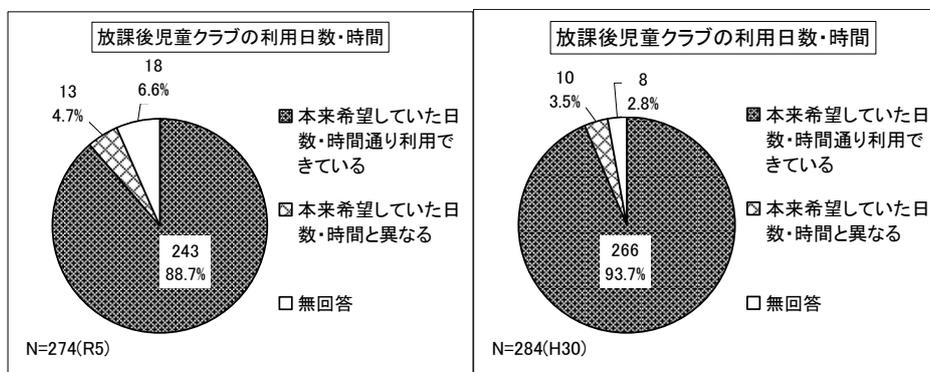


問 23 で「6. 放課後児童クラブ〔学童〕」に○をつけた方のみ

問 23-1 放課後児童クラブの利用時間

令和5年では平成30年とあまり大きな変化はなく、どちらも「本来希望していた日数・時間通り利用できている」が全体の8～9割を占めている。

図表139. 放課後児童クラブの利用時間

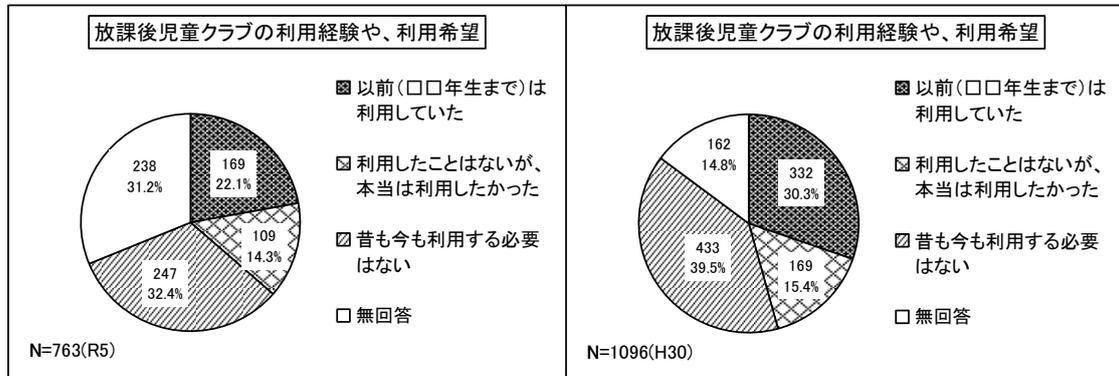


問 23 で 6. 放課後児童クラブ〔学童〕に○をつけなかった方のみ

問 23-2 放課後児童クラブの利用経験や利用希望

放課後児童クラブの利用経験や利用希望については令和 5 年・平成 30 年共に「昔も今も利用する必要はない」割合が最も高くなっている。

図表140. 放課後児童クラブの利用経験や利用希望

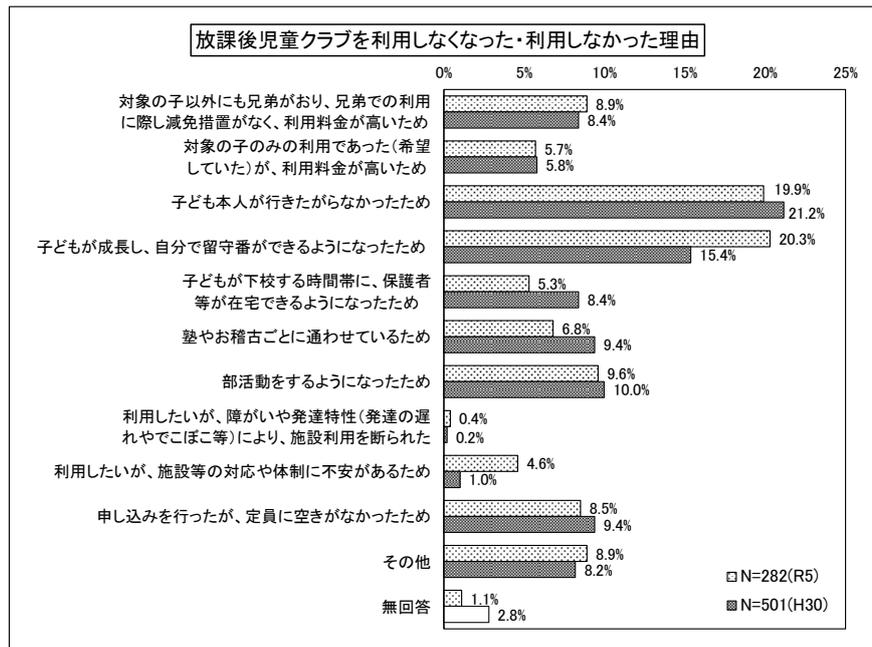


問 23-2 で「1. 以前は利用していた」又は「2. 利用したことはないが、本当は利用したかった」に○をつけた方のみ

問 23-3 放課後児童クラブを「利用しなくなった理由」・「利用しなかった理由」

放課後児童クラブを「利用しなくなった理由」・「利用しなかった理由」については、令和5年・平成30年共に理由の順位に大きな変化はないが、「子どもが成長し、自分で留守番ができるようになったため」が令和5年は平成30年より4.9ポイント高くなっている。

図表141. 放課後児童クラブを「利用しなくなった理由」・「利用しなかった理由」

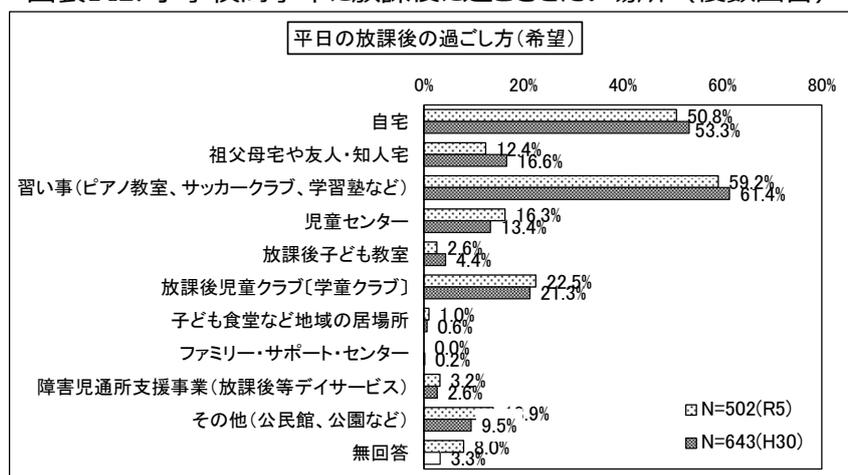


対象のお子さんが小学校低学年(1~3年生)の方のみ

問 24 小学校高学年に放課後に過ごさせたい場所(複数回答)

平日の放課後の過ごし方の希望について、令和5年・平成30年共に大きな変化はないが、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が最も多く、次いで「自宅」という順となっている。

図表142. 小学校高学年に放課後に過ごさせたい場所(複数回答)

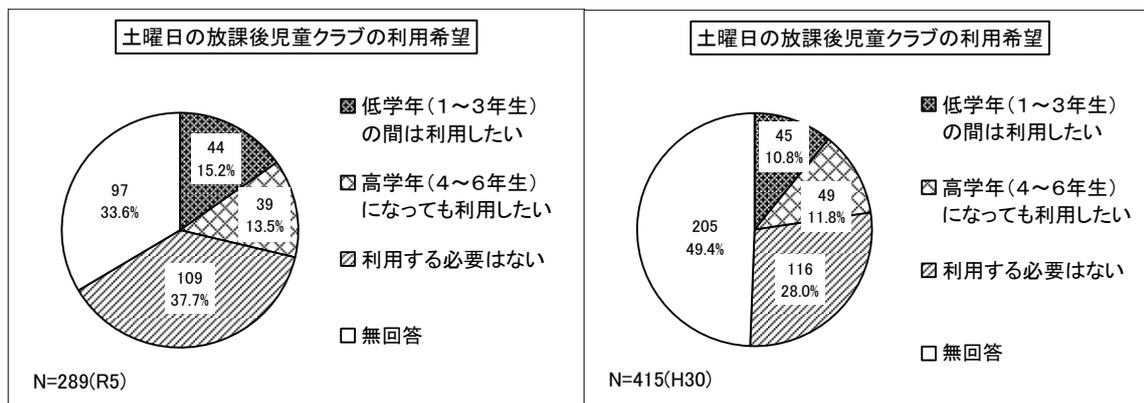


問 25 土曜日と日曜日・祝日の放課後児童クラブの利用希望

(1) 【土曜日】

土曜日の放課後児童クラブの利用希望について、令和5年・平成30年共に「利用する必要はない」が高く、令和5年では平成30年より9.7ポイント高くなっている。

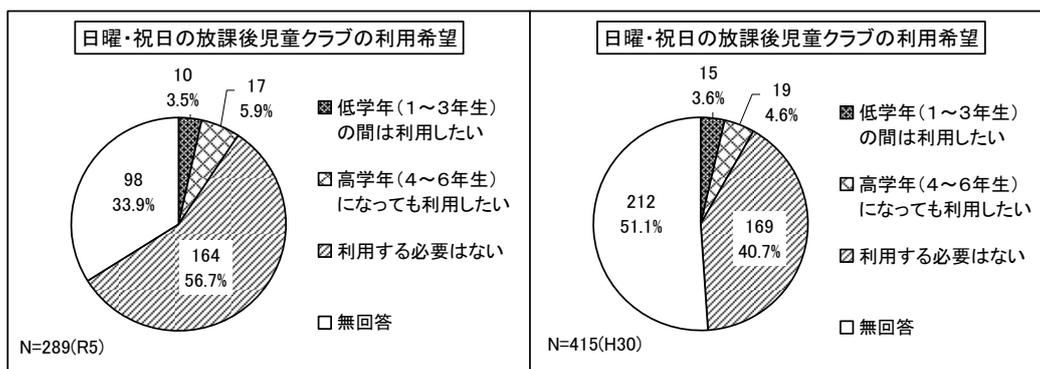
図表143. 【土曜日】放課後児童クラブの利用希望



(2) 【日曜・祝日】

日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望について、令和5年・平成30年共に「利用する必要はない」が高く、令和5年では平成30年より16.0ポイント高くなっている。

図表144. 【日曜・祝日】放課後児童クラブの利用希望

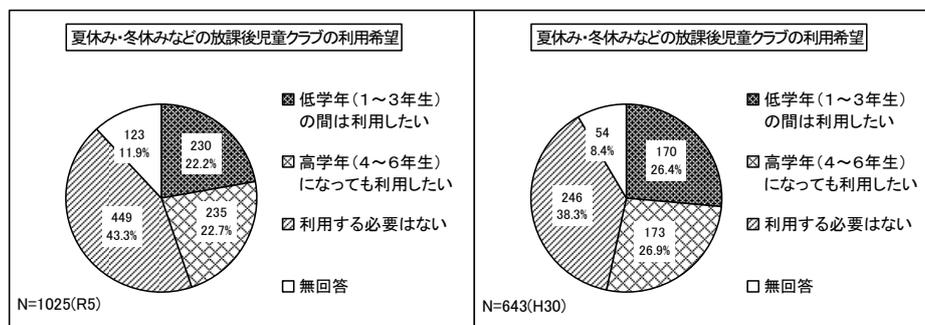


問 26 夏休み・冬休みなどの放課後児童クラブの利用希望

【小学校低学年（1～3年生）】

夏休み・冬休み等の放課後児童クラブの利用希望について、令和5年・平成30年共に「利用する必要はない」が高いが、平日や土日祝の利用希望より、低学年や高学年の利用希望が令和5年・平成30年共に2～3割程ある。

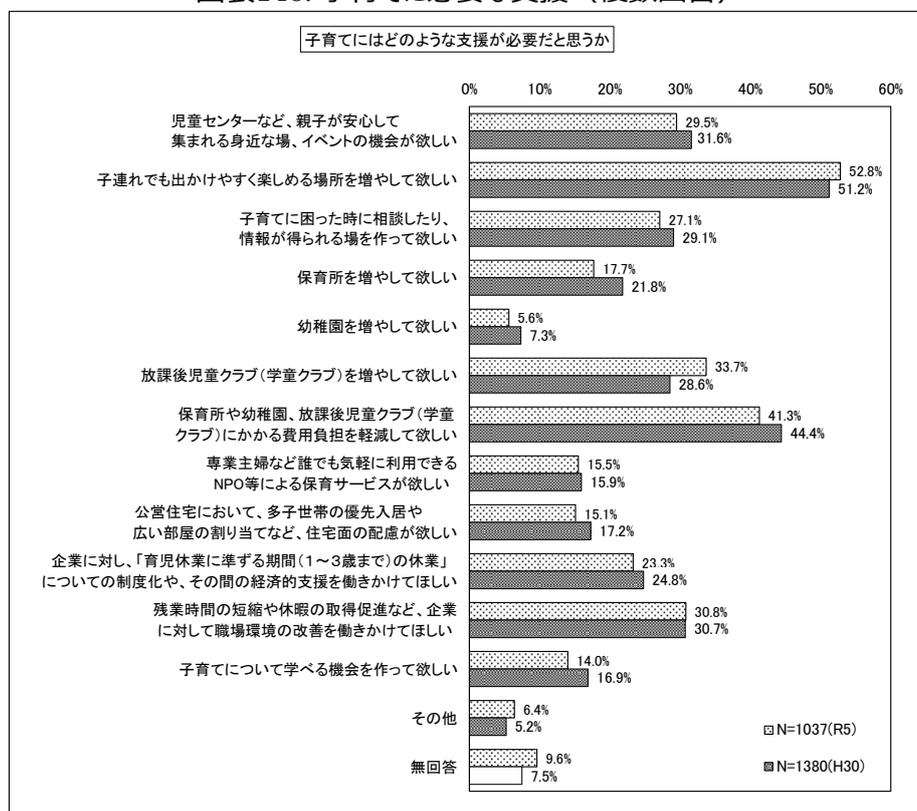
図表145. 夏休み・冬休みなどの放課後児童クラブの利用希望



問 27 子育てにはどのような支援が必要だと思うか（複数回答）

子育てに必要な支援について、令和5年・平成30年共に「子連れで出かけやすく楽しめる場所を増やして欲しい」「保育所や幼稚園、放課後児童クラブにかかる費用負担を軽減して欲しい」が上位である。「放課後児童クラブを増やして欲しい」が令和5年では平成30年より5.1ポイント高くなっている。

図表146. 子育てに必要な支援（複数回答）



問 28 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援についての意見

回答者から挙げられたご意見を抜粋し、主な項目を整理すると以下の通りである。

図表147. 自由意見（小学生児童）

区分	件数
遊び場の確保・充実・整備	18
経済的支援・費用負担軽減	32
子育てに関する情報提供	6
小学校・保育所・幼稚園について	26
図書館・支援センター・児童館等の施設整備	42
送迎サービスや交通の便の改善	1
子育てにやさしいまちづくり・地域での子育てについて	8
防犯・安全確保対策	16
病児病後児の預かり支援	2
学校教育の充実	4
土日・祝日の預かり	5
子育て支援サービスの充実	9
仕事と子育ての両立支援	4
相談体制	2
子ども・子育て関連のイベントや教室の開催	4
住まいに関する支援	2
保護者の交流・仲間づくり支援	1
いじめ・虐待・貧困問題	1
ファミリー・サポート・センター事業について	3
障害児支援	3
その他（上記以外）	7

No	子どもが通学している小学校	自由意見－遊び場の確保・充実・整備
1	普天間第二小学校	普天間第二小学校付近は公園があっても遊具が少なかったりするのが気になる。周囲に気軽に行ける公園があったらいいなとおもう。
2	普天間第二小学校	もっと体を動かせる公園など増やしてほしい（バスケットリングがあるなど…）

3	普天間第二小学校	赤ちゃんや幼児がリラックスして快適で家にいるかのように感じるので遊ぶよう奨励します。子どもたちは可能性をもたらず空間で自然に発見し、学ぶようになります。
4	大山小学校	公園が少ないと思います。58号線もあり、交通量多いので仕方がないと思いますが、伊佐やコンベンションの方面は公園ありますが、大山ジミー付近は小さい公園もあまりなく、子どもがあそぶ場所がないといつもつぶやいています…。
5	大謝名小学校	近くに公園がないので、公園があったら良いです。
6	大謝名小学校	団地に子供が遊べる公園を作ってほしいです。大人の目があるので普通の公園より安心かと思います。
7	大謝名小学校	登下校の際に、交通見守り（信号旗ふり）をしてくださる方がもっといたら安心できます。
8	大謝名小学校	車が駐車できる公園の整備。
9	大謝名小学校	公園に行くと、カップ麺のカップやペットボトル、空き缶など散乱していることがあります。子どもたちが安心、安全に過ごせるよう、いつもキレイにしてほしい。遊具の点検など管理を徹底してほしいです。
10	大謝名小学校	近くに公園がないので、公園があったら良いです。
11	嘉数小学校	子供が徒歩でいける距離に、もっと公園を作ってほしい。子供が放課後、安全に遊べる場所が少なすぎる。
12	志真志小学校	毎日パタパタで急しいですが、楽しみながら子育てしています。公園が近くにあるけど、どこも遊具が古く遊ばせにくい。
13	志真志小学校	学校の近くに、子供があそべる所（大人が見守りあり）出来る所がほしいです。雨の日、お家まで帰るので大変な時など利用したいです。
14	志真志小学校	子どもが放課後あそべる安全な場所を増やしてほしい。もしくは施設の利用の仕方を見直してほしい。
15	宜野湾小学校	乳児連れで室内で遊んだり、過ごしたりする場所がほしい。
16	宜野湾小学校	近くに公園が有りますが、ベンチで、不審者が寝ている時がよくあります。せつかく公園に来て、あそばずそのまま帰った事があります。どうにかできたら、助かります。
17	はごろも小学校	子ども達が自転車の練習ができるような広場があるといいです。

18	はごろも小学校	子供とペットが安全に遊べる施設を増やしてほしい。 (ドックラン併設の公園等) 大型商業施設で、親と子が離れていても安全な買い物ができるようにしてほしい。
----	---------	---

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー経済的支援・費用負担軽減
1	普天間小学校	収入が多いわけでも少ないわけでもない世帯に対して、もう少し費用負担を軽減してほしい。保育園、小、中、高の教育費の無償化。・大学、専門学校等な費用負担。
2	普天間小学校	物価が高騰しているのに給料は上がりず少し買い物(食材)しただけでも、2～3千円する事が多く非常に困っています。低所得世帯のみに給付金があるのが納得行きません！頑張っているのに生活が苦しい人は沢山います。給付金をぜひすべての子育て世帯によろしくお願いします。
3	普天間小学校	多子世帯は習い事をさせるにもお金がかかりすぎるので、やらせたくても難しい。「オンライン」の習い事でもいいので無料で提供してほしい。
4	普天間第二小学校	子育て世帯の負担軽減策として学校給食費の無償化に取り組んでほしい。
5	普天間第二小学校	物価高になり、給食費の無料や医療費の(中学生まで)無料があり、大変ありがたく思います。また、本当に助かっています。できるなら、学童クラブの費用負担を軽減して欲しいです。
6	普天間第二小学校	子どもが大きくなっていくにつれ、ライフスタイルが変わり、車やお家をかえていかないといけないし、習い事やりたいと言われたり、部活に入りたいと言われたり、それに対してもお金がかかるので、せめて学校用品は援助してもらえたら助かります。今年度は給食費の全額補助があったので、とても助かりました。ありがとうございます。
7	大山小学校	子育てを充実させたいというなら、児童手当など、お金にかかる支援を充実させてほしい。生活のためにパートに出る母親からすれば、手当が充実して生活に余裕が出れば無理して働かなくてもいいのでは？イライラしているお母さんが多いのは、そのせいではないか？と思います。

8	大山小学校	給食費半額、今年度は全額補助など、その年度ごとにかえられて、中途半端に感じる。一度、全額補助にしたのなら、次年度からもしっかり予算をとって、ずっと保護者負担を減らすべきだと感じる。しっかり税金の使い方を考えて欲しい。
9	大山小学校	医療費や、給食費など、保護者の負担を減らしてくれたら助かります。
10	大謝名小学校	子どもが大きくなるにつれて、お金がどんどん減っていくのが早くなってきた。子ども手当がすごく助かっています。子ども5人いますが、金額が1人目も5人目も同じだとすごく助かります。給食費が大きいと思います。(保育園、学校)
11	大謝名小学校	金銭的な負担が大きく、子どもの数に応じてもっと支援して欲しい。給食費無償にしてほしい。
12	大謝名小学校	現在習い事をするのが当たり前になっています。小さいうちからいろんな経験をさせてあげること、一つのものを続けることは子どもにとっていい影響を与えると考えています。収入によって習い事に差が出るのはしょうがないことですが、ひとり一つまでの補助があればとても助かります。特に4人もいると全員習い事をさせるのは費用的に厳しく、始めたとしてもすぐに辞めてしまったらと考えるとなかなか始めさせることもできません。その点、制度としてあれば子どもたちの色々な可能性も見いだせるのではと思います。
13	大謝名小学校	子育て世帯への(衣(制服・体操着など)・食・住)の負担を考えて支援してほしい。
14	大謝名小学校	一人親世帯や低所得世帯への支援は多く、優先度が高いのは理解、納得しているが、共働き世帯への支援も考慮してほしい。両親がいるとは言え不規則な仕事をしているので、夜間の支援などが必要。子供が入院した時も、家に残る子供への支援が不十分。通院のためのタクシー補助が内地にはあると聞いた事がある。そのサービスがあれば使用したい。
15	大謝名小学校	共働きでも子育てできる環境、若しくは専業主婦(主夫)家庭でも子育てに困らない経済環境が必要と思います。また、義務教育期間は教育にかかる費用は国負担とできるような環境が理想。

16	嘉数小学校	平日に子どもの習い事や一緒に過ごす時間確保をしたいが、経済的な理由により、できていません。子育て世代への支援・制度が増えてくれると嬉しいです。職場の子育てに対する理解・制度等が拡大してくれると嬉しいです。
17	嘉数小学校	放課後児童クラブ等だけではなく、いろいろなおけいこごと（スイミング、カラテ、書道など）への補助金を出してほしい。もしくは体育館を貸出すとか。福岡の久留米市ではこのあたりがすごく充実していました。市がバックアップしてくれているので、カラテ週2回2000円、体操教室週2回3000円etc（宜野湾市内では5000円以上かかります。）「放課後の過ごし方」にもいろいろあると思います。
18	志真志小学校	子育てのために費用が必要→そのために勤労増やす→子どもとの家庭の時間が減る→心労、体の疲労、虐待… [現代の悪循環] 子育てのために費用が必要→そもそもの子育てにかかる負担、費用を減らす、または税金減、または補助、給料かわらなくて良いから勤務時間を減らし、子ども、家庭時間を増やす。
19	志真志小学校	市町村によって医療費助成が高校卒業までの所までである。親に精神障害があっても働けているのなら大丈夫と支援を切られる事がある。家庭が厳しいからがんばっているのにがんばれば薬の服用が増える。何でこのへんの考慮をしないのか？
20	志真志小学校	歯科矯正費用の助成が欲しい
21	志真志小学校	医療費の無料化高校卒業までに延ばしてほしい。高校授業料無償化所得制限なしにしてほしい。
22	宜野湾小学校	学童費用の補助をしてほしい。習い事をさせたいが、学童+習い事だと費用の面で厳しい。どちらがひとつに決めなければならず子どもに申し訳なく思っている。
23	宜野湾小学校	子供たちに使えるお金がほしい。たとえば（体育着、水着、筆記用具、学校に使うお金の補助金）
24	宜野湾小学校	学童クラブの料金補助が必要です！兄弟での割引額が少なすぎます。2人通って2万越えはあずけたくてもあずけられず低学年でも1人家で過ごさないといけない家庭もあるのではないのでしょうか。
25	宜野湾小学校	児童手当等、母子家庭、父子家庭と同じようにもっと支援をしてもらいたい。
26	宜野湾小学校	子供たちに使える補助金がほしい。

27	宜野湾小学校	医療費無料、とても助かります。ありがとうございます。誰でも大学までの授業料、通学にかかる交通費が無料になると、誰でも安心してこれから出産、子育てできると思います。
28	宜野湾小学校	非課税世帯ではないが収入の少ない子育て世帯にも経済的支援をしてほしい。
29	宜野湾小学校	公立、私学に関係なく給食の補助や一部費用の負担を検討して欲しい。税金は均等に徴収され、私学に行っているからと教育補助か受けられないのは違う気がする。教育にかけるお金は、公立、私学平等に！
30	はごろも小学校	給食の無償化を保育園（私立含め）～中学まで実現してほしい。実現できている各市町村と何が違うから予算確保ができないのでしょうか？
31	はごろも小学校	教育費などの金銭不安が悩みで支援がほしいです。
32	はごろも小学校	明石市の取り組みをぜひやってほしい。2人目以降の保育料無償化（1人目が卒園しても対象となる）在園かどうかでなく何人子供がいるかによる。例。1人目18才、2人目3才、3人目0才）在園児…無料。高校まで授業料無償化。0才からの保育料無償化。保育園が足りず待機になった場合、保育園への補助金や育休を取得する親へ支給されるなら、父親も育休をとれる。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー子育てに関する情報提供
1	普天間第二小学校	いろいろな対策や情報があるというのがなかなか届いていない印象です。親も積極的に情報を集めないといけません。定期的に通学してでもこのサイトをチェックとか声掛けがあると、意識も高まり、自然と子育て環境も良くなるのでは？と思います。
2	大山小学校	情報を得る機会が少ない。親子ではなく、親・子と切り離してのケアが必要かと思います。宜野湾が大好きです。よろしくお願いします。
3	嘉数小学校	遺族年金のため色々な情報が入ってこないのではと不安。自分で調べるのが限界。総合サイトみたいのをつくってほしい。ここからすべて知りたいことがわかるとか支援があるとかが援助があるとかが。

4	嘉数小学校	市から子育て世帯に対してまたは学校から配布でもいいので学童クラブ、公民館、児童センターなどの施設について詳しい資料を配布して欲しい。利用料や利用できる時間、申し込み方法、具体的にどのような保育をするのか等記載されていると助かります。雨風が強い日に学校側で待機できる場所があると助かります。体育館や多目的広場の開放等。
5	志真志小学校	子育て世帯への情報を提供してほしい。(LINEやSNS等で通知など)
6	—	サービスはあるとは言ってもいろいろな人まで情報が届いていないので、情報をキャッチするのが苦手な人にも、周知できるような策はないかな?と…具体案はないのですが…考えていただけたらと思います。

No	子どもが通学している小学校	自由意見—小学校・保育所・幼稚園について
1	普天間小学校	普天間小にある金曜日の「チャレンジ」(放課後子供教室)みたいなのが、週にもっとあればありがたいです。
2	普天間小学校	保育士の給与を上げて、なり手を増やしてほしい。認可保育園でも、両親の仕事の有無関係なく入園できるようになれば、親の精神的負担(ストレス)は軽減されると思う。
3	普天間小学校	制服や体育着、その他学校で使う物のお下がり&交換会を3ヵ月に1回ぐらいやってはどうか?会場の一部はゆんたくブース作って学校情報交換とかも出来るようには?
4	普天間小学校	1クラス38人学級が、1年生から3年生までの間ずっと続いていて、受けられる教育が平等ではないと感じています。1クラス20人学級の中で学べるのと、39人学級の中で学ぶのとでは、学力に大きな差ができると思います。どの学校に通っても手厚く見てもらえる様、1クラス30人以下にして頂きたいです。(特支の子どもたちも一緒に学ぶ機会も多いので、特支の子も含めて、30人以下にして欲しいです。)
5	普天間第二小学校	保育園と幼稚園の利用額を同額にしてもっと選びやすくしてほしい。

6	普天間第二小学校	普天間第二小学校には遊具がありません。幼稚園の遊具も使用できません。子供達がかawaiiそうです。対応して頂きたいです。
7	普天間第二小学校	宜野湾市で子育てしやすいと思うことがありません。 (交通の面、立地はいいですが) 嘉手納がうらやましいです。子育てがしやすいと胸を張って言える宜野湾市になってほしいと願っています。
8	大山小学校	地域の大人やおじい、おばあど日常的に交流できる場所が必要。おじい、おばあの持っている知識やスキル(方言、歴史、料理、物づくり、畑など)を子どもたちに教えてほしい。大人との交流は子どもたちのコミュニケーション能力を磨き、社会に出ても物怖じせずに挑戦できる人材になる。・子どもたちに関心を持ってもらうことで地域の人同士のつながりが強くなり防犯にも貢献する。おじい、おばあが外出する機会が増え健康増進に寄与する。一人住まいの老人の安否確認にも役立つし。
9	大山小学校	小学校を増やす、1クラス30名以下にする。幼稚園の時間を常時14時~15時に退園にする。
10	大山小学校	就労の量や有無に関わらず保育園を利用できるようにしてもらいたいし。
11	大謝名小学校	保育士を増やしてほしい。その為にどうにかしてほしい。保育士が働きやすくなる為に改善してほしい。←保育士が増えるためにも!
12	大謝名小学校	保育所を増やし、仕事が出来、安心して子育てを出来る環境を作りたいです。宜しく願います。
13	大謝名小学校	保育士をふやしてほしい、その為にどうにかしてほしい。保育士が働きやすくなる為に改善してほしい。←保育士が増えるためにも!
14	嘉数小学校	保育園の預かり時間を18時から19時までと、学童と同じ時間にしてほしい。(17:30終業だとギリギリか間合わない事が多い。)延長ではなく。
15	嘉数小学校	現在は、コロナの小学校休業等対応助成金もないのに少しのカゼ症状や微熱等ですぐ呼び出しは勘弁してほしい。多子の場合頻度が増えすぐ有休も無くなり、授業参観等行きたくても欠勤してまでは行けなくなります。

16	志真志小学校	認可保育園だけでなく、認可外保育園にも行政から何らかの支援をしてほしい。認可外がたくさん閉園になって困った。保護者としては認可外でも預けられるなら預けたい。
17	志真志小学校	保育園や幼稚園、学童などの学校給食の栄養バランス不安。
18	宜野湾小学校	専業主婦でも誰でも利用できる幼稚園の後のあずかり保育や保育園を増やしてほしい
19	宜野湾小学校	保育園の0才～入園しないと枠がなくてはいれないのに困っています。物価高とうにより生活も大変で、緊急におじてあずけ先もなくものすごく不安を感じる。
20	宜野湾小学校	保育園も学童も仕事をしている人が優先で妊娠とともに職を失った母親は保育園に預けることもできなくて働きたくても働けなくて孤立している。誰でも平等に保育園へ預けたい人は預けられる制度になればいいと思います。
21	宜野湾小学校	認可保育園の申請については、祖父母の状況も審査の条件にくわえてほしい。共働きだが祖父母が近隣に居住している場合と、専業主婦（夫）でも祖父母が遠方で協力を頼めない場合だと子育ての手は後者の方が少ない。
22	宜野湾小学校	子供にアレルギーがある際、学校給食において対応希望の時の締め切り時期が早すぎる。（引っ越してきた時、アレルギー対応の申し込みに間に合わず、断念した。以前住んでいた所は、小学校入学オリエンテーションの時に申し出だったので、市町村の対応の違いがここまで差がある事に驚きました。
23	宜野湾小学校	幼稚園に通っていましたが、年中のとき、預かり保育が月の保育の半分しか預けられなかったり、ケータリングの注文ができなかったりと、共働きにはとても大変だった。共働きの人でも負担なく預けられるようにしてほしい。認可保育園と同じような時間帯などにしてくれると幼稚園に通わせやすいのではないかと思う。
24	宜野湾小学校	学校、幼稚園、保育所の一クラス定員を少なくする。長期にわたり見直されていない。

25	はごろも小学校	保護者へのサポートも大切だと思いますが、それを支える保育・幼稚園・小学校など先生方の困っている事やこうしたらいいのではなど意見を逆に聞いてみるのもいかがでしょうか。
26	はごろも小学校	放課後の学校の一部を開放して、学童のように使えると良い。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー図書館・支援センター・児童館等の施設整備
1	普天間小学校	核家族の夫婦で協力するしかない中、預かり事業（学童）などがもっと預かってくれれば、安心して働きに出られます。祝祭日やお盆など、学童が休みで困りました。特にお盆3日間休みだったので、仕事も3日間休まざるを得えなかったです。もっともっと、預かってほしいです。
2	普天間小学校	学童が無償化になったら助かる。利用金額が高い。
3	普天間小学校	突発的な行事（冠婚葬祭）、病気などに対し、子供の受け入れを対応してほしい。夜間でも。
4	普天間第二小学校	学童クラブでの外遊びの充実（現状は先生の数が足りていないようで室内遊びがメインとなっている）児童センターを利用しているが、台風後の片づけ、環境整備が遅く、しばらく折れた木が放置されており危険だと感じた。
5	普天間第二小学校	学童に入れず、1年生1人お家で待っているの学童が増えて入れる事を願っています。
6	普天間第二小学校	児童センターを利用しているが、お昼時間は施設を出ないといけない。夏休みは、仕事をしている為、お弁当をお友達と食べる場所があると安心できる。児童センター内で、食事が出来ると助かる。
7	普天間第二小学校	学習をサポートしてくれるサービスがあると、経済的にも助かります。
8	大山小学校	全く頼れる人が居ない中で、新1年生になる時に、学童に入ることができなかつたので、途方にくれました。今後ぜひ校内に学童を全学校に作って頂きたいです。
9	大山小学校	小学生になると学童へ行きたくないと思が出てきます。結局、父・母どちらかが仕事をセーブするしかない。子供だけの留守番が普通。子供食堂（有料でも…）をもっと気軽に利用できるとありがたいです。

10	大山小学校	子供食堂の時間を月に1回ではなく、ふやしてほしい
11	大謝名小学校	小学校内に学童クラブが低予算であるといいと思います。(月¥500など)→本土ではこのくらいだと聞きました。
12	大謝名小学校	学童クラブが少ないと感じました。利用したい人が利用できるように宜野湾市として環境を整えてほしいです。児童館の学童クラブにキャンセル待ちで入ることができましたが、夏休みの利用時間が仕事している人のことを考えて8時前(学校と同じように)からあけてほしいと思いました。また学童クラブへの連絡方法が電話のみで(児童館の先生方が忙しくて連絡がとりづらい)コドモンなど他の連絡できる方法を取入れてほしいと思います。入学時に取り入れる話がありましたが、1年近くたっても導入が進んでいないことが残念です。今後の利用者のためにも、しっかり取り組んでもらいたいです。
13	大謝名小学校	現在学童クラブで低学年がなかなか入れなくなってきました。高学年まで利用可能にするのであれば、高学年が低学年のお世話をしたりすることで、低学年の受け入れ人数を多く、確保出来るように出来たら良いかと思います。
14	大謝名小学校	学童支援(小学生)を充実させてほしい(補助先生を増やす等)(放課後に宿題のサポート等)。
15	大謝名小学校	学童や児童センターの職員の方の中に支援が必要な子供たちについての理解のない方が時々いらっしゃいます。子供と関わる施設の方々にはせめて理解を深めるための講座のようなものを受講していただけたらと思います。うるま市のように児童センターを夕方～夜の時間に中高生に開放していただけるといいなと思います。体育館で運動をしたり、友達と話をしたり、本を読んだり、ゲームをしたり等子供達が安心して過ごせる場所として。行き場所を作ってあげてほしいです。
16	大謝名小学校	小学校内に学童が低予算であるといいと思います。
17	大謝名小学校	安価な放課後の塾のような勉強を教えてくれる場所があればいいと思う。
18	大謝名小学校	民間の学童を利用しているが、利用料(3人いるので)をもっと安くしてほしい。

19	大謝名小学校	放課後クラブなど小さな子ばかりではなく、高学年の子たちでも安心してすごせる場所、親も安心して働けるようにしてほしいです。
20	嘉数小学校	家が学校から遠い為安全面が心配。学童を利用したいと思うが、子供が行きたがらない現状もあり難しい。
21	嘉数小学校	嘉数小区域に児童館がない。我如古にあるが遠い。児童館があれば利用したい。
22	嘉数小学校	嘉数にも児童館がほしい
23	嘉数小学校	一昨年、那覇市から越してきて、学童クラブに入所できる学年の短かさに驚きました。学童クラブの受入人数が増やせる様、学童支援員増員の為の支援等をぜひお願いしたいです。
24	嘉数小学校	学童クラブは入学前から予約入れないと入らなかったことがありました。例え申込出来ていたとしても発達障害がある子供は人数制限があり枠が少な過ぎる状況があったので保育園児の時にアナウンスがあればよかったのと思う事がありました。
25	志真志小学校	特に民間の学童クラブが多いのですが志真志小周辺の学童の入園を断られて大変に困っています。理由としては1年生の学生が入学するので2年生のお子様は（次年度）キャンセル待ちだということです。（10月入ってすぐに行動したが…）4～5カ所回りましたがほとんど相手にされずこのまま学童に通えない可能性があります、こんなことなら他の市に引越しした方が良いのかとさえ考えてしまいました。幼稚園の時はふうせんクラブという時間があり問題なく預かってもらったので助かりましたが小学校に入ったとたん問題だらけで役所の方も児童センターの利用でお願いしますとだけ。何の為に話を聞きに行ったかわからない。とにかく学童を増してもらいたいです！本当に困っています。
26	志真志小学校	学童クラブの利用料が高すぎる。・学童クラブが少なすぎる。
27	志真志小学校	預けたくても、料金がなくて預ける事ができないなどの理由で、家に誰もいないのに一人で帰る低学年の子が沢山いるように感じます。料金が安い児童センターはすぐに定員オーバーになってしまいます。
28	志真志小学校	とにかく保育園や学童に入れるようにしてほしい。→（毎度結果を不安になりながら待つ）働きたくても働けない。この声がどうか届きますように。

29	宜野湾小学校	フルタイムで働きたいが、小学生を育てながらはやはり難しい。パートになると給料がとても減ってしまう。高学年になると学童も嫌がると聞きます。高学年が集まれるような居場所がほしいです。民間の学童クラブがもう少し安いと助かる。
30	宜野湾小学校	琉大附属小に行く場合だと受け入れてくれる学童がほとんどないと聞いているので、協力してくれる学童を増やすよう取り組んで頂きたいです。私の子は地域の学校に入ったので大丈夫でしたが、琉大附属の方はとても困っているようです。子育て環境については、全体的には整っていると思います。おかげ様で2人の子ども達はすくすくと成長しております。今後とも子育てしやすい宜野湾市を作っていくって下さい。
31	宜野湾小学校	学童に抽選しないと入れないのはとても困る。たまたま抽選であたったのでよかったが、もし、はずれていたらと思うと、非常に不安を感じる。
32	宜野湾小学校	高学年になっても学童が利用できるようにしてほしい。夏休みなどの長期の休みの時だけでも学童など利用できる場所をつくってほしい。自宅に1人で留守番というのは不安なので。(仕事でも気になってしまうので)学童クラブにかかる費用をもっと安くしてほしい。
33	宜野湾小学校	児童センターでサークル(バスケ、ダンス等)に入り、放課後利用したいが、枠が少なく、利用できずにいる。もっと多くの人ができる様にしてほしい。
34	宜野湾小学校	宜小校区は子どもが安心してすごせる場が少ない。公民館など、もっと子育てに協力してほしい。
35	宜野湾小学校	不登校の子どもたちが自由に勉強できる心地よい場所ができることを願っています。家にこもっている子どもたちが好きな時にいき、学校のタブレットでオンライン授業もできるような、個人で勉強できるような場所がはごろも学習センターのような場所が増えたら、子どもたちの学ぶ選択肢も増えるし、ひきこもりする子どもも少なくなるかと思っています。
36	宜野湾小学校	小学校1年生にあがる時に放課後児童クラブを利用したかったが、すべて申し込んだが定員いっぱいに入れなかった。低学年のうちには必要としている家庭が多いと思うので、放課後児童クラブをもっと増やしてほしいと思います。

37	はごろも小学校	対保護者よりも対子どもの支援を増やしてほしいと思います。家庭環境に関らず、どのような子も学びの機会が等しくあるべきですし、子どもたちの成長や学びが環境によって左右されるべきではないと思います。子どもたちの居場所を多く作ること、将来に希望が持てるよう働きかけをする場をたくさん設けてほしいです。
38	はごろも小学校	保育園や学童など希望するところへ入りやすくしてほしい。先生たちへ手厚くし、保育や学童の内容にかたよりがでないようにしてほしい。子供の病気で仕事が気軽に休める、給料面の保証などしてほしい。小児科が増えてほしい。(予約がとりづらい。すぐ受診できない)
39	はごろも小学校	放課後、宿題や本が読めたり、友達が集まっておしゃべりできたりする施設(室内)
40	はごろも小学校	子育て支援センターが保育園の一室にあり、良い反面、非常に入りづらい。園入口に掲示板などあれば、周知されやすく利用しやすいと思う。小学校の部活がない。少ない。隣の学校へ行けば地域サークルのようなものがあるが、小学生が徒歩で隣校区まで行き帰りは少しハードルが高い。各小学校でやってほしい。校庭開放をして、放課後せめて部活でなくともあそばせてほしい。
41	はごろも小学校	はごろも小学校区内にも児童センターを作してほしい。大山大謝名は子どもの足では遠すぎる。
42	はごろも小学校	もう高学年になったので必要性はあまり感じないが、低学年は学童クラブ入れず困った。空き待ちしたがキャンセルの連らくなく入れなかった。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー送迎サービスや交通の便の改善
1	宜野湾小学校	子どもと気軽にバスが使える環境になると有難いです。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー子育てにやさしいまちづくり・地域での子育てについて
1	普天間第二小学校	物価高になり、給食費の無料や医療費の（中学生まで）無料があり、大変ありがたく思います。また、本当に助かっています。できるなら、学童クラブの費用負担を軽減して欲しいです。
2	普天間第二小学校	他の市町村から移り住むと隣の方との近所付き合いも薄い為、子ども達だけで、外で遊ばせる事に不安が強く、安心してお留守番もさせきれていないです。不審者も多く、もっと安心して外を子どもだけでも歩けるような地域だと助かります。
3	大山小学校	学校以外の学びの場、フリースクールの支援、通学路の整備。
4	大山小学校	宜野湾市（大山）は子育てしやすく感謝しています！ありがとうございます。
5	大謝名小学校	宜野湾市は比較的子育てしやすい環境かと思いますが、支援や福祉がいきとどいていない状況が多々あると思います。皆が子育てし易い地域になるようになれば良いと思います。
6	宜野湾小学校	子育てしやすい宜野湾市になってほしい。
7	宜野湾小学校	子ども達、お年寄り、妊婦といった弱者とも言える立場のひとを中心とした街づくりにすれば、みんなが住みやすい街になると思う。緑多く歩いているだけで癒され、健康になる街。そのような街になれば人との交流は増えると思う。今はお互いが遠慮し合っているけれど、みんなが助け合う中で子育てしていけるのが、本当は理想だな～と思います。子育てに1番大切なのは、子どものことを見守る大人のゆとりだと思います。子どもを守ることが未来を守ること。宜野湾市は子育て支援が弱いと良く聞くので、充実してほしいなだと思います。
8	はごろも小学校	カギを持って自宅で低学年の子を一人でお留守番させるのは最近の世の中ではすごく危険があるから、地域的に家庭環境を巡回しながら子供の居場所を増やしてほしい。

No.	お子さんが通学している小学校	自由意見－防犯・安全確保対策
1	普天間小学校	育児休暇の時、騒音で子ども達の耳を塞ぎながら子育てしていることを行政は知っているのか。安心な空、水、宜野湾市にして欲しい。また、普天間基地西地区などに、どこにもない子育て施設があると親として大変助かると思います。宜しくをお願いします。
2	大山小学校	大山の中道は、危ないので高学年になっても（学童は低学年で終了予定）自分で自宅へ帰れるか心配です。
3	大山小学校	公園が少ない。子どもをあそばせたい時に遠くまでいかないといけないから大変。伊佐やロンベンション付近はたくさんあるが、大山ジミー付近、近辺は何もない。交通量も多いのに、ガードレールもないので心配です。
4	大山小学校	58号線にガードレール、歩道橋の設置をお願いしたいです。
5	志真志小学校	大通りの通学路はガードレールがあってほしい。我如古十字路はとてもこわい。
6	志真志小学校	宜野湾市に住んでいて子育てしやすい環境だと思っています。しかし、不審者情報も多いので、パトロールを強化してほしいと思います。
7	志真志小学校	小学生の子ども達が通学する道を、私自身も自転車で通勤するようになり、危険性を痛感している。自動車を運転する人の歩行者への配慮が低い！見守りや、取り締まりが必要かは分からないが、悩んでいる。
8	志真志小学校	登校時間と、下校時間にパトカーでパトロールをして欲しい。志真志小学校前の道路が狭いので。何とかして欲しい。通学路が車のスピードが減速出来る道路にして欲しい。
9	宜野湾小学校	防犯灯を希望した所、自治会に入った人からの要望じゃないと応えられないとのことでした。自治会に加入していなくても防犯灯の希望要望は必要だと思います。
10	宜野湾小学校	登校時に車が多く、危険が多い。細い道でも、スピードを落とさない。道がデコボコしている為、雨水がたまる。朝の登校時から汚れる。
11	宜野湾小学校	基地のヘリコプターやオスプレイが21:00以降も飛んでいてうるさいので小さい子のいる家庭で寝かしつけとか大変だろうなあと感じます。

12	はごろも小学校	近くにまなぶ保育園や公園もあるのに、琉銀大謝名支店 J Aはごろも支店の十字路に信号がないのでつけてほしい。車の事故も多く始めて通る車はスピードを出している車も見かける。夕方になると夕日で歩行者も見えにくく（車から）子供だけで信号のない交差点を渡るのが危ないと思う。
13	はごろも小学校	交通量も多く、昔と違い子供たちが楽しめる場所が少ないと感じる。子供同士で出かけたがることも増えてきたが不安がある。
14	はごろも小学校	琉球銀行大謝名支店、J Aおきなわはごろも支店の十字路に信号が無く、事故が何回か起きているので子供達だけで渡るのが気になる。近くにまなぶ保育園や公園もあるのに、何故、一時停止表示のみか分からない。始めて通る車はどちらが優先か気にせずスピードを出している車もあり、危ないとずっと思っている。
15	はごろも小学校	通学路に危険な箇所がないか調査、改善してほしい。親だけでなく、子どもたちと直に接し現場で頑張ってくださいっている方々の意見を聞きサポートも充実させてほしい。
16	はごろも小学校	上空を飛行機やヘリが飛んでない静かな環境が良い。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー病児病後児の預かり支援
1	大謝名小学校	病児保育施設等をもっと増やして欲しい。かつ受け入れを簡素化して欲しい。初回の利用時の診療が必要なのはわかりますが、同施設で毎度預ける際に診療は必要ないと思う（医療従事者が預るのだから）どうしても仕事に穴を空けられない。その為に利用するのに時間のロス。
2	宜野湾小学校	子どもが病気になったとき、看護休暇はあるが、子どもの数によって変わるわけではない。そんなときに、働きにくさを感じる。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー学校教育の充実
1	大山小学校	大山小学校は漢字検定がないので、ぜひ実施してほしい。子供の自信と学力アップにつながるのを希望します。

2	大謝名小学校	学習塾や習い事等に通わせる為の金銭に余裕がないので無償で勉強を教えてくれる所があればと思います。私自身、子供に勉強を教える事に不安があります。子供の勉学が遅れないか心配です。
3	大謝名小学校	小学校中学校に外部人材を登用して、学習支援や生活支援（平日に学校に行かない子どもの見回り）など、教師でなくてもできる役割になってもらう。貧困やネグレクトなどの問題は、負の連鎖をうまないようにするためには教育の力が不可欠だと感じる。
4	志真志小学校	学校教育では実際に大人になったときのことを考えた教育を望みます。子供の頃から教育、育児について考える授業が必要。対症療法のように今になって、教育、育児について環境を変えようとしても何も変わらない。幼い頃からの教育を家庭とともにあるべき。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー土日・祝日の預かり
1	普天間第二小学校	土・日の子供あずかり場所が少なすぎます。子供1人で1日家にいることもある。心苦しく、申し訳なくなるけど、仕事は休めないしとても困っている。
2	宜野湾小学校	1年生の時、児童クラブを利用したが、土曜日の空く時間がおそいのがネックでした。
3	宜野湾小学校	夏休み、冬休みなどの長期のお休みの昼ご飯をおいての留守番が大変なので、長期間の休みの間だけ、学童に入れるシステムがほしい。
4	宜野湾小学校	夏休み、冬休みなど長期的な休みの場合、行き場所がなくこまる。仕事をしないといけなくても、子の世話でできなかつたりするので、子供だけで行きたい時に行ける所を増やしてほしい。（学校などで遊んだり宿題をさせたりなど）
5	はごろも小学校	夏休み、冬休み、春休みだけ利用できる学童クラブやイベント、学区外の子供達と交流できる場所があると大変助かります。基地内外交流も学校単位で積極的にする事でグローバル力が育くまれると思います。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー子育て支援サービスの充実
1	普天間第二小学校	不登校についての支援がほしい（親がまともに働けない）。障がい児の親が全てを申請するルートがわかりづらい。
2	普天間第二小学校	子育て支援は保護者の収入に関係なく実施してほしいです。
3	普天間第二小学校	学習をサポートしてくれるサービスがあると、経済的にも助かります。
4	普天間第二小学校	子育ての環境や支援にもっと行政が援助してほしい。
5	大謝名小学校	母子家庭や父子家庭への家事代行サービスなどひとり親支援を充実させてほしい。
6	大謝名小学校	子どもが家庭環境に左右されずやりたい事をやれる環境、支援があったらよい。
7	はごろも小学校	市内の塾や習い事、クラブ等に関して低額（均一）または無料で利用できる環境があれば助かります。所得に応じた支援も大切ですが、「子育てに関する支援について」現在子育て中の方みんな子育て中にさせてあげたい事があると思います。それができる環境があればいいと思います。
8	はごろも小学校	子供や地域の親が延びのび過ごしていける環境、子育て支援を良くしてほしい。
9	はごろも小学校	母子、父子、片親世帯のみならず、子育ては皆大変していると思います。大学、専門学校までの費用や、もっと子供達の進学、医療に対して、もっと改善してほしいです。非課税世帯のみならず、共働き（フルタイム）の家庭も、しっかりそれぐらいの対応してほしいです。今からの若い子たちが子供を産んで、子育てしやすい宜野湾市を目指してほしいです。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー仕事と子育ての両立支援
1	普天間小学校	子供の事での休み、授業参観など、部活など、仕事を休むときに嫌な目をされる。
2	普天間第二小学校	小学生を持つ就労している母親の業務軽減。母親の身体的精神的ゆとりの有無がそのまま子どもへ反映されると思います。

3	宜野湾小学校	仕事と育児が両立しやすい環境が整うと良いと思います。また、STEAM教育の様な、世界に通用する教育を公立学校でも実施して欲しいです。
4	宜野湾小学校	コロナを経て、収入が減った時にも保育園の就労証明には収入を記入する箇所があり、困惑しました。今や様々な働き方がある中で、生き方も様々。仕事をしていても思うような収入にむすびつかない人も多数いらっしゃいます。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー相談体制
1	嘉数小学校	ちょっとした事でも気軽に相談出来る場所が欲しい。情報発信をもっと分かりやすくして欲しい。公園に手洗い石けん設置して欲しい。
2	宜野湾小学校	高学年の子が学校生活で不安や悩みがあるが、周囲の目を気にする年ごろなので、自宅又は、学校以外の場所で相談できるような取り組みがあれば利用したいです。はごろも学習センターは、保護者同伴や人の目が気になる様子。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー子ども・子育て関連のイベントや教室の開催
1	嘉数小学校	子供の健診や子供向けイベント時もして、気軽に集まれる場として使って欲しい。天候（雨・熱中症）に関係なく安心して遊ばせられる室内公園がもっと充実してくれると嬉しい。
2	志真志小学校	近所のつきあいがいないため、休日や夏休やすみはいつも子供ひとりで遊んでいます。近所のイベントが増やしてほしいです。
3	宜野湾小学校	子供と無料で遊べるイベントを増やしてほしい。（体験型の）
4	宜野湾小学校	子供達が楽しく学べる企画を増やしてほしい。また、リーダー育成の研修等も積極的に市内で企画し学校を通して周知し、他市町村のモデルになる宜野湾市になってほしい。

No	子どもが通学している小学校	自由意見－住まいに関する支援
1	嘉数小学校	今のところは、不自由に思うのは、家の広さのみですが、この学区での公営住宅はない。かといって家を購入するだけの収入もないため、このまま子供たちが大きくなった時のことをかんがえると不安になります。今の地理的（公園近くて）にも子供の友達が近くに住んでいる（人間関係的）にも、とてもよいと思っているので家を購入するための補助金とかがあれば、広報と市のホームページとかで特集でもしてほしいです。
2	志真志小学校	どこのアパートも家賃が高すぎるので団地に入りたいけど落ちたので、母子家庭とか子供多い人とか、優先してくれたら助かる。

No	お子さんが通学している小学校	自由意見－保護者の交流・仲間づくり支援
1	大謝名小学校	子供と一緒に出掛けられる場所や、発達障害の子の集まりを作って欲しい。発達障害の子の情報が欲しいです。

No	子どもが通学している小学校	自由意見－いじめ・虐待・貧困問題
1	嘉数小学校	ネグレクトの子供達にもっと充実した環境を提供してほしい。

No	子どもが通学している小学校	自由意見－ファミリー・サポート・センター事業について
1	普天間小学校	子供が入園前の時、ファミリー・サポート・センターを利用したい時もあったが、利用料が高く感じて断念したことがあった。もう少しでも安かったら、利用して育児の大変さを軽くできたかも。
2	嘉数小学校	子供の看病の為に有休を消化するので、有休が無くなると欠勤になり、給料は減る。ファミリー・サポート・センターも有料で安価にも感じないので気軽に利用出来ない。経済的ゆとりある子育ては諦めている。

3	はごろも小学校	ファミリーサポート支援員講座を動画やウェブ講座受講でも可能にしてほしい。現在はすべてのカリキュラムに出席する必要があり、就労しながら受講するのは難しい。また、沖縄県の「子育て支援員研修」（ウェブ講座）を宜野湾市でも実施してほしい。よろしくお願いします。
---	---------	--

No	子どもが通学している小学校	自由意見ー障害児支援
1	大謝名小学校	宜野湾市だけではなく、沖縄県全体ですが、「ヘルプマーク」の理解と認知度を上げてほしいです。
2	宜野湾小学校	発達障害児が通える施設（放課後デイサービスや勉強会、交流会など）増えたら助かります。
3	はごろも小学校	発達障害児の特性等をもっと広く周知して頂けると保護者もその児童にとっても生きやすい（育児しやすい）環境になるのかなと思います。気をつけて見ていると突発的に動いたり、喋ったりする為周囲に迷惑をかけてしまい申し訳なく思う事が多々あります。決して本人に悪気があってしているのではないと少しでも理解が広がれば…と思います。

No	子どもが通学している小学校	自由意見ーその他（上記以外）
1	普天間第二小学校	息子の部活に関する事ですが、保護者の仕事が忙しい方は、なかなか、部活の見守り、週末の大会や試会に参加できず、お子さんが「部」に入りたくても親の仕事の都合で、断念せざるを得ない現状があります。子育てというよりも、社会や職場の環境を見直すべきだと思います。
2	大謝名小学校	幼稚園の週2回の弁当作りは、とても負担であった。
3	嘉数小学校	子どもが小さいうちは夫婦協力して育てていきたい。母親だけに負担が大きいのを世の中的にどうにかしてほしい。
4	嘉数小学校	発達検査の際、テストでの数値結果だけで判断するのではなく、子どもの日常や環境を考慮して、支援が必要か判断してほしい。検査してくれた心理士さんは、子どもが通級指導教室へ通っていることを知らず、「数値上の結果でしか判断できない」と言われました。

5	嘉数小学校	子育てにはお金も時間も体力も必要です。何人も子どもがいたら、成長を見届けるまでに何十年も費やします。だいぶ環境改善されて、これからの子育て世代がうらやましいです。
6	志真志小学校	公共の機関が積極的に子育て環境を改善に向け取り組んでもらえるのは住民としては、有難いです。世の中には困っている人がたくさんいると思うので、そういった人々の助けになる事を信じています。
7	志真志小学校	フルタイムで働いていて、仕事後も家事などで忙しく、小学校の宿題の丸つけがとても負担に感じる。ずっと宿題にも付き合う時間もなくなってお互いがイライラして悪循環になっている。

5. 調査票（小学生用）

令和5年度 宜野湾市 子ども・子育てに関するニース調査(小学生用)

日頃より、宜野湾市政に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、国において平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が制定され、平成27年度の新制度開始に伴い、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、市町村に「子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務付けられ、本市においても、令和2年度～令和6年度までを第2期とする「宜野湾市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。
今回、令和7年度以降の第3期計画の策定に向けて、改めて市民の皆様の子育て環境や教育・保育の利用状況並びに今後の利用希望などを把握するべく、「令和5年度 宜野湾市子ども・子育て支援に関するニース調査」を実施いたします。この調査は、小学1年生から6年生までのお子さんを持つ保護者を対象としています。
つきましては、お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣意をご理解の上、質問に対するご回答について、ご協力下さいますようお願い申し上げます。なお、回答いただきました内容により回答者個人が特定されたり、また他の目的に利用することは一切ございません。

令和5年11月 宜野湾市長 松川 正則

ご記入いただいたアンケート票は、配布いたしました封筒に入れて、
令和5年12月15日（金）までに担任の先生へご提出願います。

パソコン・スマートフォンでウェブでの回答も可能です。
QRコードまたはURLからご回答をお願いいたします。
その場合は、紙アンケートの提出は不要です。

QRコード



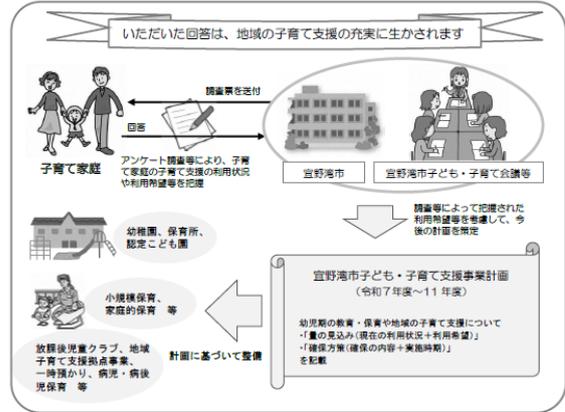
URL : <https://ipresearch.net/r/shougaku>

令和5年12月15日（金）までにご回答をお願いいたします。

ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。



担当 課：宜野湾市役所 福祉推進部 こども政策課
電話：098-893-4411（内線3411）
調査協力機関：(株)サーベイリサーチセンター沖縄事務所
電話：0800-888-5585（フリーダイヤル）
（受付時間 平日 月～金：10時～17時）



ご記入にあたってのお願い

- アンケートをお持ちいただいたお子さん（以下「対象のお子さん」）についてご記入ください。
- アンケートには、対象のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 選択肢の場合、お選びいただく数が増えることによって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、その後にある（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時～18時）でご記入ください。
- 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや失印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は次の設問にお進みください。
- 本アンケートで用いる「子育て」、「教育」とは下記の意味を指します。
「子育て」… 教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援。
「教育」… 問16(3)までにおいては家庭での教育を含めた広い意味。
問17以降においては幼児期の学校における教育の意味。

お子さんご家族の状況について伺います。

問1 対象のお子さんが通学している小学校をお答えください。当てはまる答えの番号1つに○をつけてください。
1. 普天閣小学校 2. 普天閣第二小学校 3. 大山小学校 4. 大謝名小学校
5. 暮教小学校 6. 志真志小学校 7. 宜野湾小学校 8. 長田小学校
9. はごろも小学校

問1-1 問1で回答した小学校区に住んで通算何年になりますか。（あてはまるもの1つに○）
1. 1年未満 2. 1～3年未満 3. 3～5年未満
4. 5～10年未満 5. 10～15年未満 6. 15～20年未満 7. 20年以上

問2 対象のお子さんの学年をご記入ください。
小学校 年生

問3 対象のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、2人以上いらっしゃる場合、末子の年齢（令和5年4月1日現在の年齢）をご記入ください。
 人 末子の年齢 歳

問4 対象のお子さんとの同居・近居（概ね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況について伺います。続柄はお子さんから見た関係です。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。
1. 父母同居 2. 父同居（ひとり親家庭） 3. 母同居（ひとり親家庭） 4. 祖父母同居
5. 祖母同居 6. 祖父近居 7. 祖母近居 8. その他（ ）

問5 対象のお子さんの身の回りの世話を主にしている方として、あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。続柄は対象のお子さんから見た関係です。
1. 主に父親 2. 主に母親 3. 主に祖父母 4. その他（ ）

問6 対象のお子さんは、何らかの障がいや発達の違いが気になる状況がありますか。なお、障がいがある場合には、併せて、【 】の障がいの種類に○をお願いします。
1. 障がいがある
一障がいの種類について伺います。【①身体障がい ②知的障がい ③その他（ ）】
2. 発達の遅れが気になる
3. ない

子育てをめぐる環境について伺います。

問7 保護者以外にお子さんを預かってもらえる人はいますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。
1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない → 問8へ

▶ 問7-1は、問7で「1」または「2」を選ばれた方にお伺いします。
問7-1 祖父母に預かってもらっている状況について伺います。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。
1. 祖父母が預かることについては、特に問題はない
2. 祖父母の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他（ ）

▶ 問7-2は、問7で「3」または「4」を選ばれた方にお伺いします。
問7-2 友人や知人に預かってもらっている状況について伺います。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。
1. 友人・知人に預かってもらうことについては、特に問題はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. その他（ ）

問8 対象のお子さんは毎日朝食を食べていますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。
1. 毎日食べている 2. ほとんど毎日食べている
3. 時々食べている 4. ほとんど食べていない

問9 あなたは子育てに関して不安や負担などを感じていますか。あてはまる答えの番号に1つだけ○をつけてください。
1. 非常に不安や負担を感じる 2. なんとなく不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担は感じない 4. 全く感じない
5. なんともしない

問10 子育てに関して日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの病気や発育・発達に関すること
2. 子どもの食事や栄養に関すること
3. 育児の方法がよくわからないこと
4. 子どもの接し方に自信がないこと
5. 子どもとの距離を十分にとれないこと
6. 子育てについて話し相手や相談相手がないこと
7. 仕事や自分のやりたいことが十分できないこと
8. 子どもの教育に関すること
9. 子どもとの友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること
10. 登園拒否、不登校などの問題について
11. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
12. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
13. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと
14. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見る目が気になる
15. 仕事で平日にある行政や小学校等が主催する子育て説明会などに参加できないこと
16. 子どもを叱りすぎているような気がする
17. 子育てのストレスがたまると、子どもに手をあげたり、世話をしなかつたりしてしまうこと
18. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからないこと
19. その他（具体的に： ）
20. 特になし

問11 日常生活において育児などのごことで気軽に相談できる人や育児を助けられていると感じている人はどなたですか。あてはまる番号の答えを3つ選び○をつけてください。

1. 配偶者・パートナー
2. 自分の母、自分の父
3. 配偶者・パートナーの母又は父
4. 自分や配偶者のきょうだい
5. その他の親族
6. 友人
7. 近所や地域の知人
8. 職場の人
9. 保育所・幼稚園・学校の保護者仲間
10. 子育てサークルの仲間やボランティア
11. 保育士や幼稚園の先生・学校の先生
12. 医師・看護師など
13. 家庭児童相談室（児童家庭課）
14. 地域子育て支援センターや子育てサロン
15. 児童センター
16. 民生委員・児童委員、主任児童委員
17. 市健康増進課や保健所
18. 児童相談所
19. 民間の電話相談
20. ファミリー・サポート・センター
21. その他（具体的に： ）
22. 相談をしたり、育児を助けてもらえる人はいない

問12 子育てをする上で、どのような相談窓口があるとよいと思いますか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。

1. どのようなことでも相談できる総合的な窓口
2. 身近な地域において気軽に相談できる窓口
3. 休日や夜間の相談に対応できる窓口
4. 発達状況などを相談できる専門的な窓口
5. 子育てについて相談できる窓口（子育てアドバイザーや子育て経験のある職員による相談窓口の開設等）
6. その他（具体的に： ）
7. 特になし

問13 子育てに関する情報はどちらから入手していますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 親族（親・きょうだいなど）
2. 近隣の人・知人、友人
3. 子育て支援センター
4. 学校
5. 職場
6. 役所窓口
7. 市報・市ホームページ
8. テレビ・ラジオ・新聞
9. インターネット
10. その他（具体的に： ）
11. 情報の入手方法がわからない

保護者の皆さんの就労状況について伺います。

問14(1) 対象のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。母親の就労状況について【父子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ (1)・1へ

→ 問14(2)へ

問14(1)で「1～4」（就労している）に○をつけた方うかがいます。

(1)-1 1ヶ月当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（主にあてはまるもの1つに○をつけてください）

【例】1ヶ月あたり平均10日出勤し、1日あたり8時間勤務の場合は「10×8=80時間」となるので、下記の選択肢の「2」に○をつけます。

1. 48～64時間未満
2. 64～120時間未満
3. 120時間以上
4. その他（ 時間）

問14(2) 対象のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。父親の就労状況について【母子家庭の場合は記入不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、産休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、産休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、産休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

→ (2)・1へ

→ 問15(1)へ

問14(2)で「1～4」（就労している）に○をつけた方うかがいます。

(2)-1 1ヶ月当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（主にあてはまるもの1つに○をつけてください）

【例】1ヶ月あたり平均10日出勤し、1日あたり8時間勤務の場合は「10×8=80時間」となるので、下記の選択肢の「2」に○をつけます。

1. 48～64時間未満
2. 64～120時間未満
3. 120時間以上
4. その他（ 時間）

問14の(1)または(2)で「3.4」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方うかがいます。該当しない方は、問16へお進みください。

問15(1) フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（母親の転換希望について）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問15(2) フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。（父親の転換希望について）

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問14の(1)または(2)で「5.以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6.これまで就労したことがない」に○をつけた方うかがいます。

該当しない方は、問16(3)へお進みください。

問16(1) 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一律に一字）。（母親の就労希望について）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 - 希望する就労形態
 - ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 - イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
 - 1ヶ月の就労時間
 - ア. 48～64時間未満
 - イ. 64～120時間未満
 - ウ. 120時間以上
 - エ. その他（ 時間）

問16(2) 就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一律に一字）。（父親の就労希望について）

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
2. 1年より先、一番下の子どもが□□歳になったときに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
 - 希望する就労形態
 - ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）
 - イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
 - 1ヶ月の就労時間
 - ア. 48～64時間未満
 - イ. 64～120時間未満
 - ウ. 120時間以上
 - エ. その他（ 時間）

問16(3) ご家庭の年間の収入についてお聞きします。（主にあてはまるもの1つに○）

※ここで言う収入については、ご家族で働いている方の手取り収入（税引き後）の合計です。

【例】夫婦共働きで、2人の手取り額の合計が1ヶ月あたり30万円の場合は、30万円×12ヶ月で年間360万円となるので、下の選択肢の「8」に○をつけることになります。

1. 50万円未満
2. 50～100万円未満
3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満
5. 200～250万円未満
6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満
8. 350～400万円未満
9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満
11. 600～700万円未満
12. 700～800万円未満
13. 800～900万円未満
14. 900～1,000万円未満
15. 1,000万円以上

地域の子育て支援事業の利用状況について伺います。

問17 下記のサービスの認知度とこれまでの利用状況についてお聞きします。また、今後、これらのサービスを利用したいと思いますか。サービスごとに、A～Cのいずれかについて、「はい」、「いいえ」のいずれかに○をつけてください。
なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

サービスの種類	A 知っている	B これまでに利用 したことがある	C 今後利用したい
①ふたば(母子)相談や母乳教室、新生児訪問、産後ケア等の保健相談センターで行っている事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②こんには赤ちゃん事業 (生後2か月から4か月頃に実施して、お子さんの様子や育児についてアンケートをとり、育児情報を提供しだす事業)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③養育支援訪問事業 (保護者等について困難状況にある家庭に対し、助産師を派遣し、育児不安への早期対応を行う事業)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保健相談センターの情報・相談サービス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤家庭教育に関する学級・講座	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦子育てサロン (市社会福祉協議会が実施している事業、コロナ禍により現在休止中。今後再開に向けて調整中)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧地域子育て支援センター (身近な地域における相談や親同士の交流の場)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨放課後児童クラブ(学童クラブ)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩児童センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪子ども食堂など地域の居場所	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑫子育ての総合相談窓口(家庭児童相談室)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑬母子・父子自立支援員 (ひとり親家庭等を対象に、総合相談及び指導、就労への支援等を行う相談員)	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑭ファミリー・サポート・センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑮病児・病後児保育	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

問18 現在お住まいの地域は、あなたにとって子育てしやすいと思いますか。あてはまる番号の番号に1つだけ○をつけてください。

1. とても子育てがしやすいと思う
2. どちらかといえば子育てがしやすいと思う
3. どちらかといえば子育てがにくいと思う
4. とても子育てがにくいと思う

問19 子どもの外出の際、宜野湾市内において困ること・困ったことはありますか。あてはまる番号の番号3つに○をつけてください。

1. 歩道や信号がない通りが多く、安全面に心配があること
2. 歩道の段差などがベビーカーや自転車の通行の妨げになっている
3. 交通機関や公共施設がベビーカーでの移動に配慮されていないこと
4. トイレがおむつ替えや親子での利用に配慮されていないこと
5. 授乳する場所や必要な設備がないこと
6. 禁煙・喫煙場所が設置されていないこと
7. 小さな子どもとの食事に配慮された場所がないこと
8. 重い物や用事の合図の気分転換に、子どもを遊ばせる場所がないこと
9. 緑や広い歩道が少ないなど、まちなみにゆとりとうるおいが少ないこと
10. 騒い通りや見通しのきかないところが多いこと
11. 周囲の人が子どもを連れを迷惑そうにみる
12. 荷物や子どもに手をとられて困っているときに手を貸してくれる人が少ないこと
13. その他(具体的に:)
14. 特に困ること・困ったことはない



お子さんの病気の際の対応について伺います。

問20 この1年間に、対象のお子さんが病気がけがで学校を休んだことはありますか。「1」「2」のいずれかに○をつけてください。

1. あった
2. なかった ⇒ 問21 (P10)へ

問20で「1. あった」と回答した方うかがいます。

問20-1 対象のお子さんが病気がけがで学校を休んだり、学童クラブなどの預かりサービスが利用できなかった場合に、この1年間に行った対応方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一律に一字)。

1年間の対応方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□ 日
イ. 母親が休んだ	□□ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
ク. その他()	□□ 日

⇒ 問21 (P10)へ

*「キ. ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問20-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方うかがいます。

問20-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください(数字は一律に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。利用前にかかりつけ医などの受診が必要となります。(事業内容、事業料金は別紙参照)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ 年数 □□ 日
2. 利用したいとは思わない

お子さんの一時預かり等の利用について伺います。

問21 保護者が仕事等の理由により、平日の夜間や休日に子どもの養育が困難となった場合において、児童養護施設等で夜間などにお子さんをお預かりする事業として「夜間養護等事業(トワイライトステイ)」があります。(宜野湾市では現在未実施)このような事業があれば、利用したいと思いますか。当てはまる番号を2つまで選んで○をつけてください。なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。(事業内容、事業料金は別紙参照)

1. 身内や友人等に預けるのが非常に困難なので、夜間養護等事業(トワイライトステイ)を利用したい
2. 身内や友人等に預けるのがどちらかという困難なので、夜間養護等事業(トワイライトステイ)を利用したい
3. 夜間養護等事業(トワイライトステイ)よりも利用料が高くなるとしても、ファミリー・サポート・センターを利用したい
4. 現在はあまり必要性を感じないし、子どもの養育が困難となった場合も、身内や友人等の知り合いへ預けたい
5. 分らない
6. その他()

問22 保護者の疾病や出産、介護等や育児疲れや育児不安、病気がり、子どもの養育が一時的に困難となった場合において、児童養護施設等でお子さんを一定期間(原則7日以内)養育する事業として「短期入所生活援助事業(ショートステイ)」があります。このような事業があれば、利用したいと思いますか。当てはまる番号に○をつけ、必要な日数をご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。(事業内容、事業料金は別紙参照)

利用したい理由・理由	日数(年間)
1. 利用したい	
2. 利用する必要はない	
ア. 冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	□□ 日
イ. 保護者や家族の育児疲れ・不安	□□ 日
ウ. 保護者や家族の病気	□□ 日
エ. その他()	□□ 日
合計	□□ 日

お子さんの放課後の過ごし方について伺います。

問23 対象のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ選んだ日数を数字で記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合は、利用時間も口内に数字で記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制で記入ください（数字は一律に一字）。

1. 自宅	選	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	選	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	選	日くらい
4. 児童センター ※1	選	日くらい
5. 放課後子ども教室 ※2	選	日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）	選	日くらい → 下校時から □□ 時まで
7. 子ども食堂など地域の居場所	選	日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	選	日くらい
9. 障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス)	選	日くらい
10. その他（公民館、公園など）	選	日くらい

※1 児童センターで行う放課後児童クラブを利用している場合は「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」に回答。
 ※2 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

▶ 前問で「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」に○を付けた方にお聞きします。

問23-1 放課後児童クラブの利用時間について、「本来希望していた日数・時間」と「実際に利用している日数・時間」に違いはありますか。違いがある場合には、本来希望していた日数・時間を数字で記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制で記入ください（数字は一律に一字）。

1. 本来希望していた日数・時間通り利用できている
2. 本来希望していた日数・時間と異なる ⇒ 本来の希望：選 日くらい
→ 下校時から □□ 時まで

問23で「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」に○を付けた方にお聞きします。

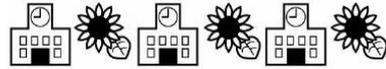
問23-2 対象のお子さんについて、放課後児童クラブの利用経験や、利用希望はありましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。また、利用していた・利用しなかった場合には、選んだ日数と時間を数字で記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制で記入ください（数字は一律に一字）。

1. 以前（□ 年生まで）は利用していた ⇒ 通 日くらい
2. 利用したことはないが、本当は利用したかった ⇒ 下校時から □□ 時まで
3. 昔も今も利用する必要はない

▶ 前問で「1. 以前は利用していた」又は「2. 利用したことはないが、本当は利用したかった」に○を付けた方にお聞きします。

問23-3 放課後児童クラブを「利用しなくなった理由」・「利用しなかった理由」として、あなたのお考えに最も近い理由はどれですか。あてはまる答えの番号に1つだけ○を付けてください。

1. 対象の子以外にも兄弟があり、兄弟での利用に際し減免措置がなく、利用料が高いため
2. 対象の子のみの利用であった（希望していた）が、利用料が高いため
3. 子ども本人が行きたがらなかったため
4. 子どもが成長し、自分で留守番ができるようになったため
5. 子どもが下校する時間帯に、保護者等が在宅できるようになったため
6. 塾やお稽古ごとに通わせているため
7. 部活動をするようになったため
8. 利用したいが、障がいや発達特性（発達の違いやこだわり等）により、施設利用を断られた
9. 利用したいが、施設等の対応や体制に不安があるため
10. 申し込みを行ったが、定員に空きがなかったため
11. その他（具体的に：）



対象のお子さんが小学校低学年（1～3年生）の方にお聞きします。

問24 対象のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの選んだ日数を数字で記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合は、利用希望する時間も口内に数字で記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制で記入ください（数字は一律に一字）。

1. 自宅	選	日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	選	日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	選	日くらい
4. 児童センター	選	日くらい
5. 放課後子ども教室	選	日くらい
6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）	選	日くらい → 下校時から □□ 時まで
7. 子ども食堂など地域の居場所	選	日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	選	日くらい
9. 障害児通所支援事業 (放課後等デイサービス)	選	日くらい
10. その他（公民館、公園など）	選	日くらい

問23 または問24 で「6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）」に○をつけた方、問23-2で「1又は2」に○を付けた方にお聞きします。 ⇒ **それぞれ以外の方は問25へ**

問25 対象のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（事業内容、事業料金は別紙参照）

- (1) 土曜日
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで
- (2) 日曜日・祝日
1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

問26 対象のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（事業内容、事業料金は別紙参照）当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に（例）09時～18時のように24時間制で記入ください（数字は一律に一字）。

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい
 2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい
 3. 利用する必要はない
- ⇒ 利用したい時間帯 □□ 時から □□ 時まで

子育て環境として重要と思うことについて伺います。

問27 子育てにはどのような支援が必要だと思いますか。あてはまる答えの番号すべてに○をつけてください。

1. 児童センターなど、親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会が欲しい
2. 子連れでも出かけやすい楽しめる場所を増やして欲しい
3. 子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を作って欲しい
4. 保育所を増やして欲しい
5. 幼稚園を増やして欲しい
6. 放課後児童クラブ（学童クラブ）を増やして欲しい
7. 保育所や幼稚園、放課後児童クラブ（学童クラブ）にかかる費用負担を軽減して欲しい
8. 専業主婦など誰でも気軽に利用できるNPO等による保育サービスが欲しい
9. 公営住宅において、多子世帯の優先入居や広い部屋の割り当てなど、住宅面の配慮が欲しい
10. 企業に対し、「育児休業に準ずる期間（1～3歳まで）の休業」についての制度化や、その間の経済的支援を働きかけてほしい
11. 残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい
12. 子育てについて学べる機会を作って欲しい
13. その他（具体的に：）

問28 最後に、教育・育児環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由に記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

子ども未来応援計画策定に係る
アンケート調査報告書

目次

1. 子ども未来応援計画調査の実施概要	151
2. 小学5年生調査結果	153
問1 性別	153
問2 学校の授業以外での勉強	153
問3 授業以外での1日あたりの勉強時間	154
問4 勉強はできるか	154
問5 授業がわからないことはあるか	155
問6 将来どの学校まで行きたいか	156
問7 地域の活動に参加したことがあるか	158
問8 平日の放課後の過ごす場所	159
問9 食事の頻度	159
問10 ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に就寝しているか	160
問11 あなたにどれくらいあてはまるか	161
問12 相談できると思う人	162
問13 自分が使用できるもの	163
問14 生活の満足度	164
問15 子どもの自己肯定感	165
問16 学校や家庭でのできごと	166
問17 子どもの居場所	166
3. 小学5年生保護者調査結果	169
問1 お子さんの性別	169
問2 子どもとの続柄	169
問3 生計が同じ家族の人数	170
問4 子どもと生計が同じ家族の続柄	170
問5 親の最終学歴	171
問6 母親の就労状況	171
問7 父親の就労状況	173
問8 子どもの将来の現実的な進学先	175
問9 お子さんに行っていること	176
問10 子どもとの体験	177
問11 頼れる人について	178
問12 現在の暮らしの状況	180
問13 物価高騰による生活の苦しさ	180
問14 食料が買えなかった経験（過去1年間）	181
問15 衣服が買えなかった経験（過去1年間）	181
問16 支払いができなかった経験（過去1年間）	182
問17 経済的理由で世帯にないもの	183
問18 世帯の年間手取り収入	184
問19 支援制度の利用の有無	186
問20 重要だと思う支援等	188

4. 中学2年生調査結果	190
問1 性別	190
問2 学校の授業以外での勉強	190
問3 授業以外での1日あたりの勉強時間	191
問4 勉強はできるか	191
問5 授業がわからないことはあるか	192
問6 将来どの学校まで行きたいか	193
問7 地域の活動に参加したことがあるか	195
問8 平日の放課後の過ごす場所	196
問9 食事の頻度	196
問10 ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に就寝しているか	197
問11 あなたにどれくらいあてはまるか	198
問12 相談できると思う人	199
問13 自分が使用できるもの	200
問14 生活の満足度	201
問15 子どもの自己肯定感	202
問16 学校や家庭でのできごと	203
問17 子どもの居場所	203
5. 中学2年生保護者調査結果	206
問1 お子さんの性別	206
問2 子どもとの続柄	206
問3 生計が同じ家族の人数	207
問4 子どもと生計が同じ家族の続柄	207
問5 親の最終学歴	208
問6 母親の就労状況	208
問7 父親の就労状況	210
問8 子どもの将来の現実的な進学先	212
問9 お子さんに行っていること	213
問10 子どもとの体験	214
問11 頼れる人について	215
問12 現在の暮らしの状況	217
問13 物価高騰による生活の苦しさ	217
問14 食料が買えなかった経験(過去1年間)	218
問15 衣服が買えなかった経験(過去1年間)	218
問16 支払いができなかった経験(過去1年間)	219
問17 経済的理由で世帯にないもの	220
問18 世帯の年間手取り収入	221
問19 支援制度の利用有無	223
問20 重要だと思う支援等	225
6. 17歳調査結果	227
問1 性別	227

問 2	現在の状況	227
問 3	学校の授業がわからないことはあるか	228
問 4	授業以外での1日あたりの勉強時間	230
問 5	勉強はできるか	230
問 6	部活動	231
問 7	今までの就労経験	231
問 8	1日の活動について	237
問 9	ふだん会話する相手について	239
問 10	あなたの家の暮らし（経済状況）	240
問 11	地域活動への参加	240
問 12	卒業後の進学や就職意向について（学生）	241
問 13-1	理想的な進学先（学生）	243
問 13-2	現実的な進学先（学生）	243
問 13-3	理想的な進学先と現実的な進学先で違う学校を選んだ理由（学生）	244
問 14	自分が持っている（できる）もの	245
問 15	毎日の生活の楽しさ	246
問 16	子どもの自己肯定感	247
問 17	今までに感じたこと、経験したこと	248
問 18	相談できると思う人	249
7. 17	歳保護者調査結果	251
問 1	子どもとの続柄	251
問 2	生計が同じ家族の人数	251
問 3	子どもと生計が同じ家族の続柄	252
問 4	母親と父親の年齢	253
問 5	家族の中で介護や看護が必要な方	254
問 6	子どもが現在通学している学校を卒業後の望ましい進路	254
問 7	子どもの進路を決める時に考えること	255
問 8	経済的にゆとりがある場合のお子さんの進路	255
問 9	子どもとの体験	256
問 10	お子さんにしていること	257
問 11	母親の就労状況	258
問 12	父親の就労状況	260
問 13	世帯の年間手取り収入	262
問 14	頼れる人について	264
問 15	現在の暮らしの状況	266
問 16	物価高騰による生活の苦しさ	266
問 17	経済的理由で世帯にないもの	267
問 18-1	食料が買えなかった経験（過去1年間）	268
問 18-2	衣服が買えなかった経験（過去1年間）	268
問 19	支払いができなかった経験（過去1年間）	269
問 20	母親の最終学歴	270

問 21	父親の最終学歴.....	270
問 22	支援制度等の利用有無.....	271
問 23	重要だと思う支援等.....	273
8.	自由記入欄に寄せられた意見.....	275
問 18	これから新しく挑戦してみたいこと（小学5年生）.....	275
問 19	アンケートの感想や大人の人に言いたいこと（小学5年生）.....	281
問 18	これから新しく挑戦してみたいこと（中学2年生）.....	283
問 19	アンケートの感想や大人の人に言いたいこと（中学2年生）.....	289
問 19	アンケートの感想やふだん感じていること（17歳）.....	292
問 21	制度や支援策への自由意見（小学5年生保護者）.....	293
問 21	制度や支援策への自由意見（中学2年生保護者）.....	299
問 24	制度や支援策への自由意見（17歳保護者）.....	303
9.	資料編（調査票）.....	309

1. 子ども未来応援計画調査の実施概要

1. 調査の目的

本調査は、本市の子ども及びその保護者の生活実態や支援ニーズ等の把握・分析を行い、子どもの貧困対策の効果的な実施や、施策の評価に活用することを目的とし実施する。

2. 調査の対象

- ・宜野湾市立小学校に通う、小学校5年生及びその保護者。
- ・宜野湾市立中学校に通う、中学校2年生及びその保護者。
- ・宜野湾市内に在住の、平成18年4月2日～平成19年4月1日生まれの子ども及びその保護者(令和5年度に17歳になる子ども。以下17歳と記述する。)

3. 調査の実施方法

(1) 小学5年生、中学2年生及びその保護者

各小学校・中学校の在籍児童数に応じ、各学校1～3クラスを対象に調査票の配布を行う。調査票へ記入して提出、もしくはインターネットから回答を行う。

(2) 17歳及びその保護者

住民基本台帳から調査対象者数に相当する世帯を無作為に抽出し、郵送にて調査票の配布・回収を行い、インターネットの回答も可能とする。

4. 調査期間

(1) 小学5年生、中学2年生及びその保護者

令和5年11月20日～令和5年12月15日

(2) 17歳及びその保護者

令和5年11月20日～令和5年12月20日

5. 回収率

回収率は、小学5年生が76.0%、中学2年生が74.3%、17歳が21.2%。

小学5年生保護者が49.8%、中学2年生保護者が45.3%、17歳保護者が24.0%。

こども未来計画	回収数	配布数	回収率(%)
小学5年生	342	450	76.0
中学2年生	297	400	74.3
17歳	106	500	21.2
小学5年生保護者	224	450	49.8
中学2年生保護者	181	400	45.3
17歳保護者	120	500	24.0

6. 調査結果の見方

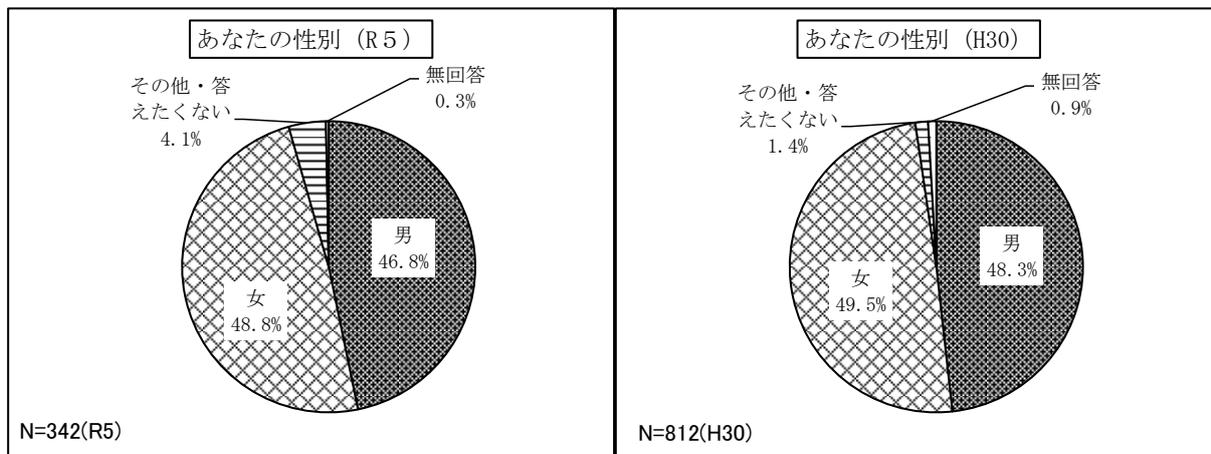
回答は、原則として各質問の「調査数」を基数(N)とした百分率(%)で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。

小学5年生調査結果

2. 小学5年生調査結果

問1 性別

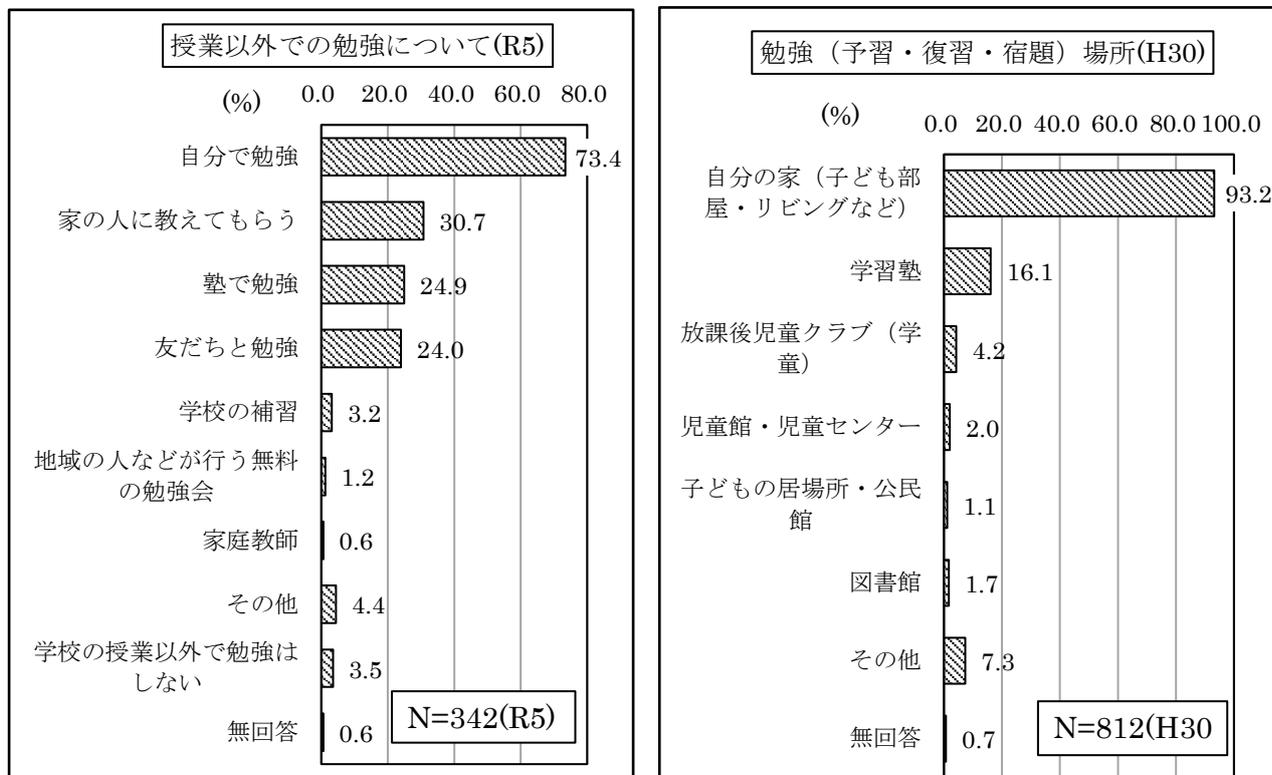
・令和5年と平成30年調査の性別ごとの回答割合は、ほぼ同じである。



問2 学校の授業以外での勉強 ※あてはまるものすべてに○

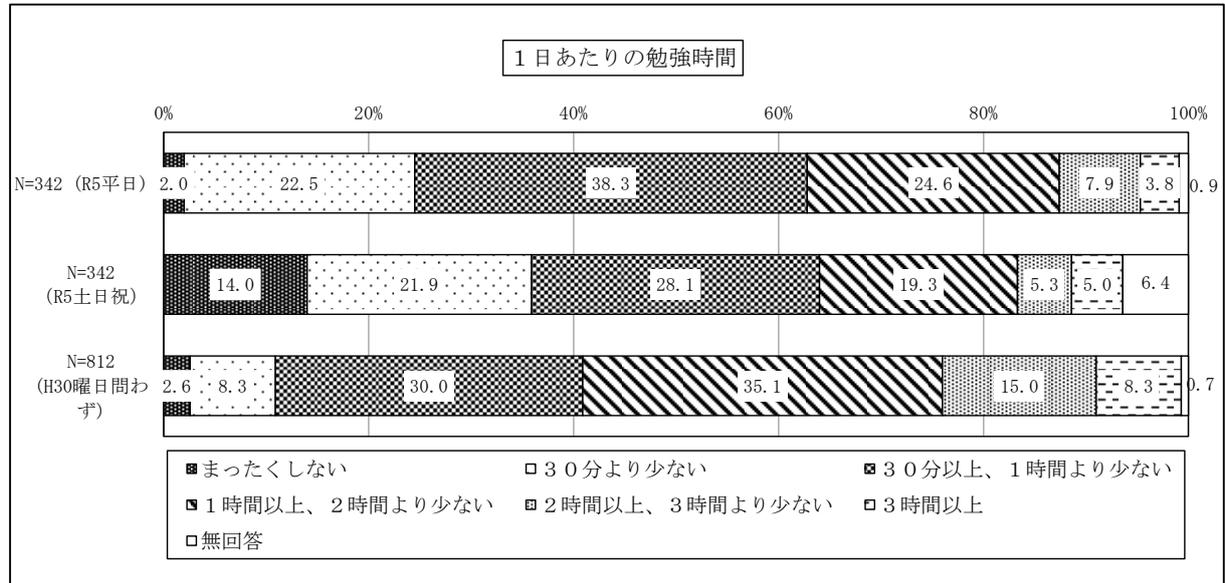
・学校の授業以外での勉強では、「自分で勉強／自分の家で勉強」が最も高い。令和5年調査では「家の人に教えてもらう」が上位となり、自宅での勉強が中心となっている。

・「塾」での勉強は令和5年・平成30年共に上位であるが、令和5年が平成30年よりも割合が高い。



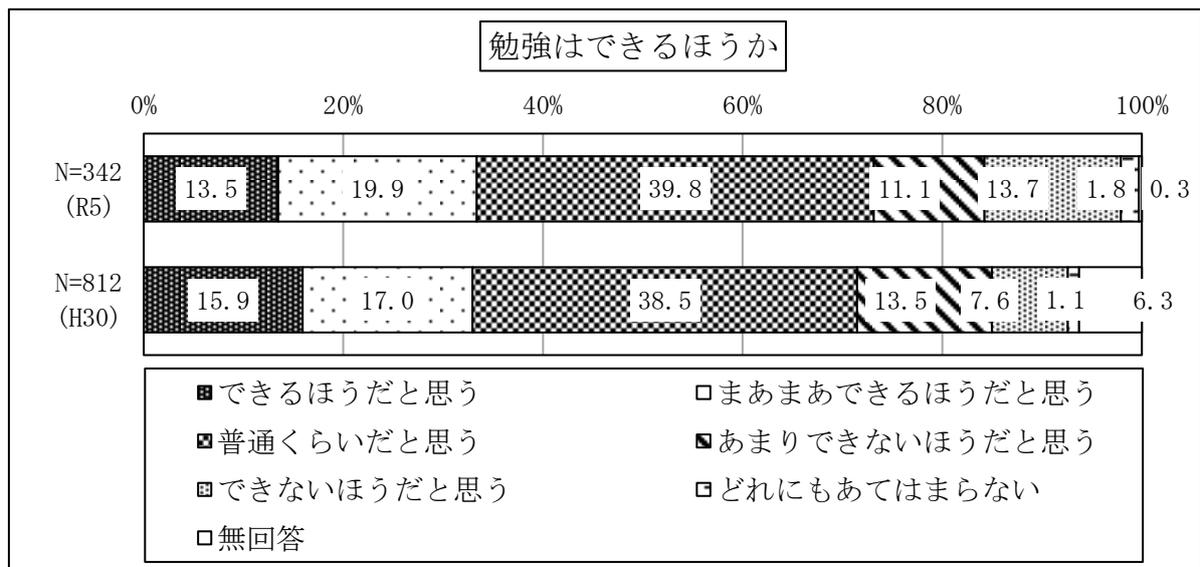
問3 授業以外での1日あたりの勉強時間

- ・授業以外での1日あたりの勉強時間では、平日(R5)・土日祝(R5)共に「30分以上、1時間より少ない」が最も高い割合となっている。
- ・一方で平成30年では、「1時間以上、2時間より少ない」が最も高くなっており、令和5年では平成30年より1日あたりの勉強時間はやや短くなっている。



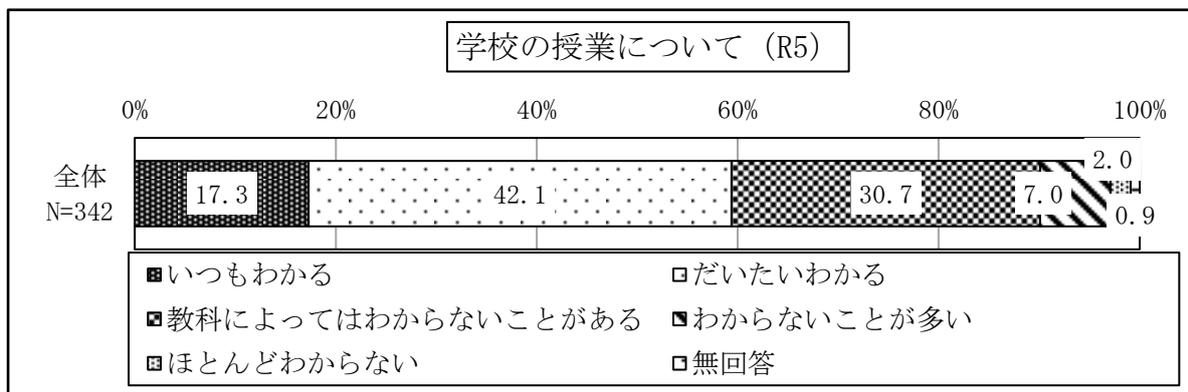
問4 勉強はできるか

- ・勉強については、令和5年・平成30年共にほぼ近似しているが、「できないほうだと思う」は平成30年より令和5年では、6.1ポイント高くなっている。



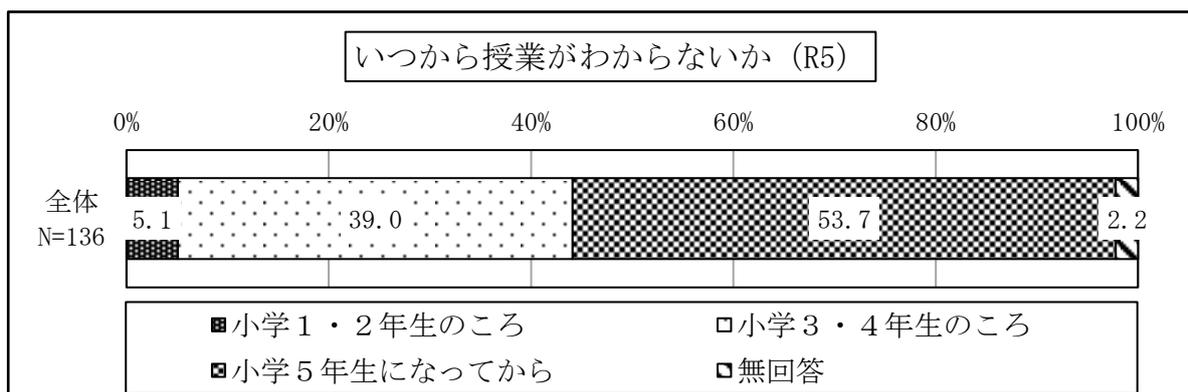
問5 授業がわからないことはあるか

・授業がわからないことはあるかについては、「だいたいわかる」が42.1%と最も高く、次いで「教科書によってはわからないことがある」が30.7%となっている。



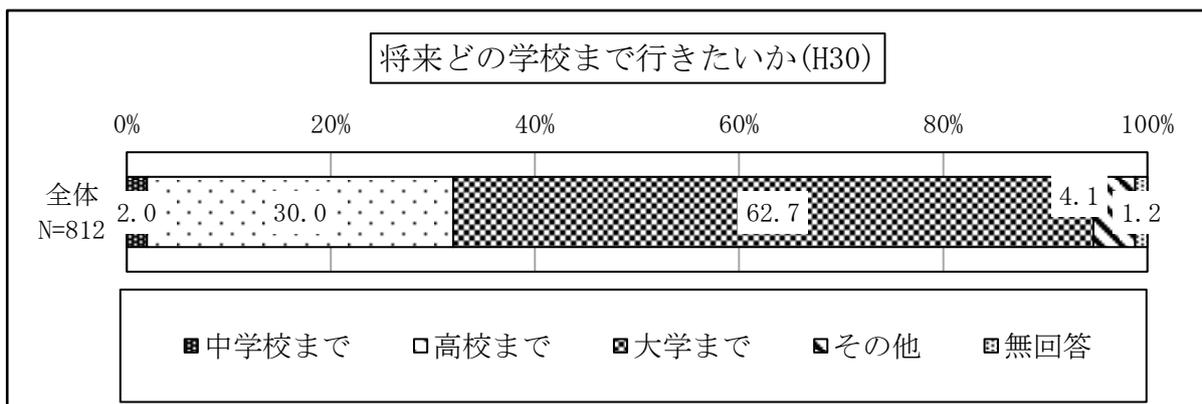
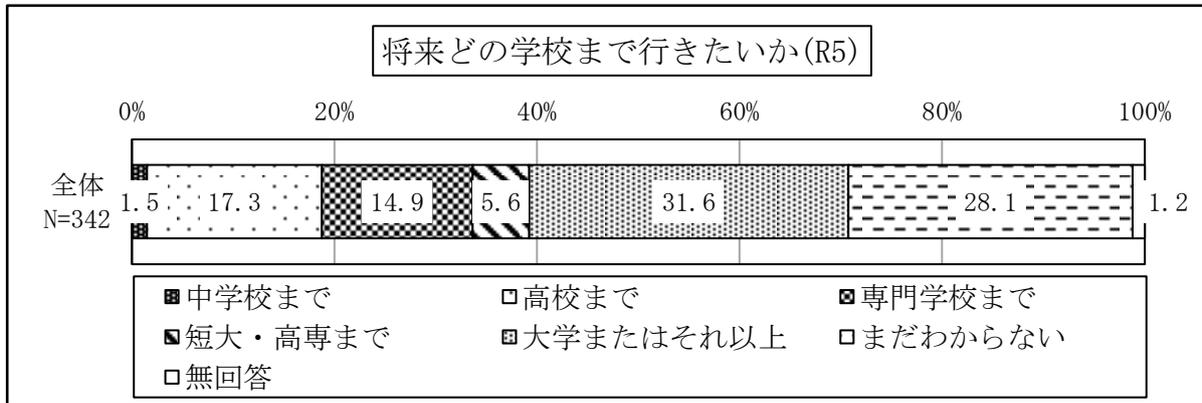
問5-1 いつから授業がわからないか

・いつから授業がわからないかについては、「小学5年生になってから」が53.7%で最も高く、次いで「小学校3・4年生のころ」が39.0%となっている。



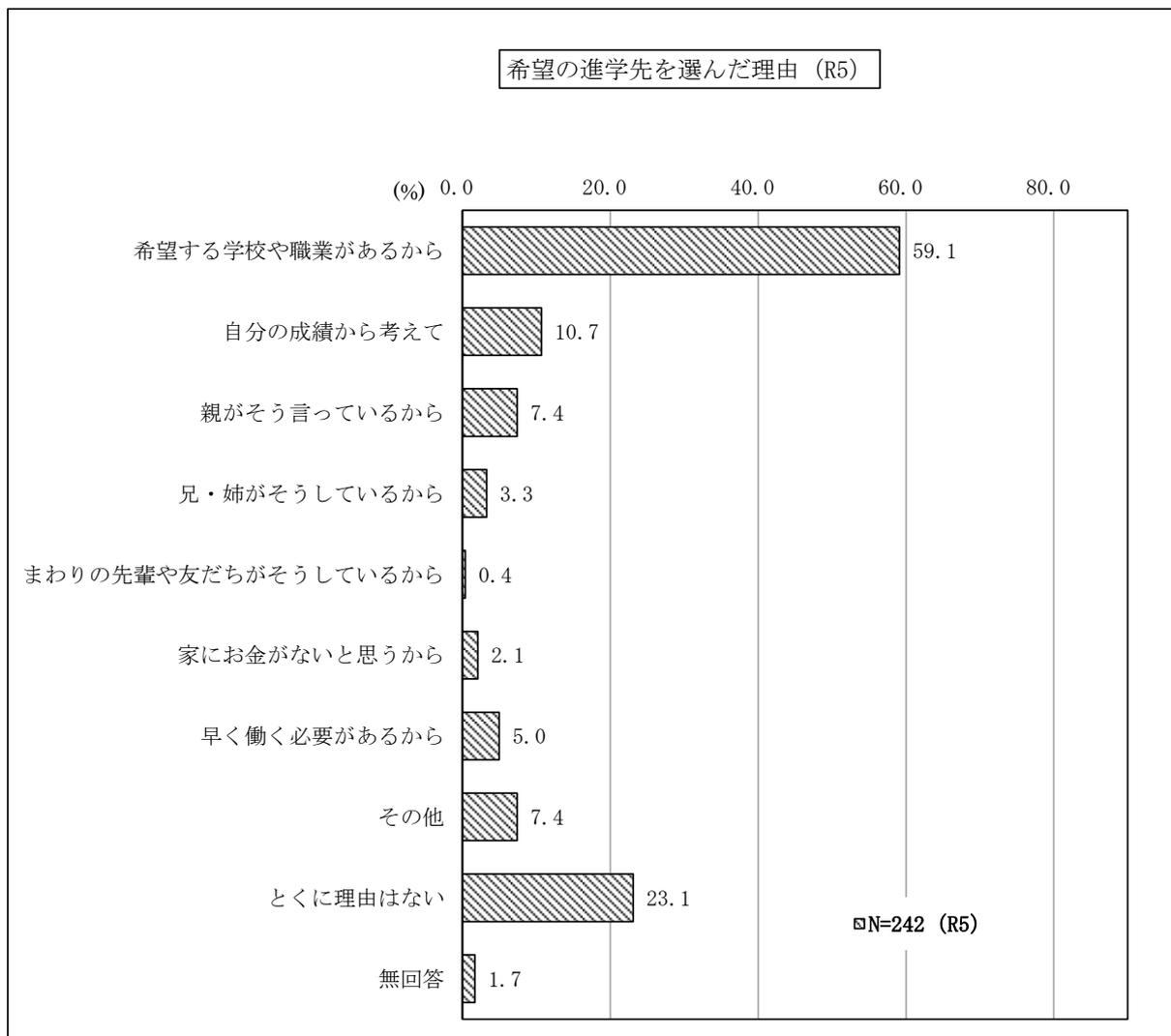
問6 将来どの学校まで行きたいか

・将来の進学については、平成30年の「大学まで」が62.7%であったが、令和5年は「大学までまたはそれ以上」が31.6%と低くなっている。一方、令和5年は設問に「まだわからない(28.1%)」を追加したことで、小学5年生時点では進学の意向が定まっていない児童が一定数いることが分かる。



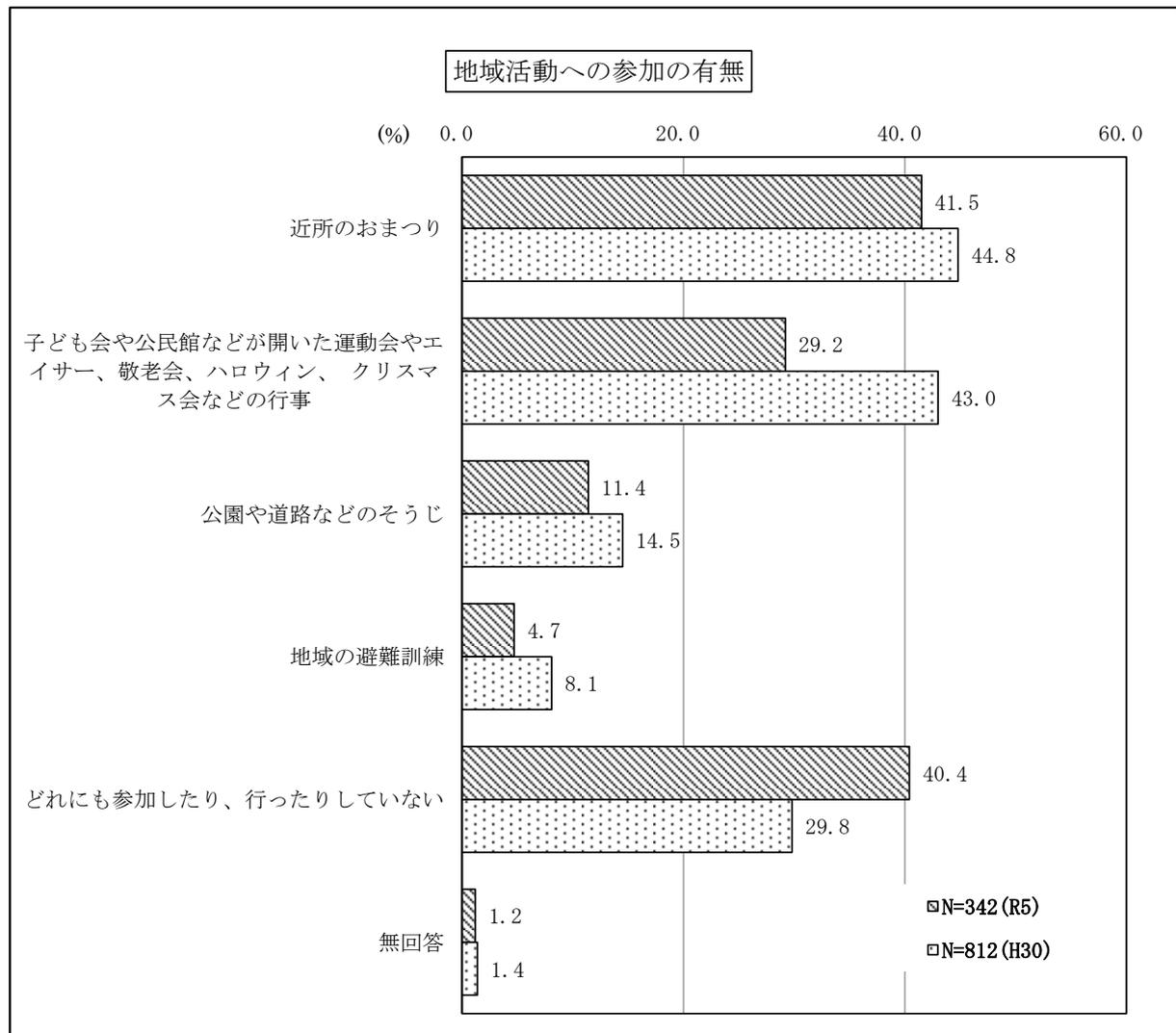
問6-1 希望する進学先を選んだ理由 ※あてはまるものすべてに○

・希望する進学先を選んだ理由については、「希望する学校や職業があるから」が59.1%で最も高く、次いで「とくに理由はない」が23.1%、「自分の成績から考えて」が10.7%、「親がそう言っているから」、「その他」が7.4%となっている。



問7 地域の活動に参加したことがあるか ※あてはまるものすべてに○

- ・地域活動の参加については、令和5年・平成30年共に「近所のおまつり」が全体で最も高い。一方、「どれにも参加したり、行ったりしていない」は令和5年で10ポイント程度高い。
- ・また、令和5年では平成30年より「子ども会や公民館などが開いた運動会やエイサー、敬老会、ハロウィン、クリスマス会などの行事」で13.8ポイント低くなっている。



問8 平日の放課後の過ごす場所

・平日の放課後の過ごす場所は、令和5年・平成30年共に毎日「自分の家」で過ごす割合が最も高くなっている。

・一方で週3～4日では、「塾や習い事」と回答した割合が令和5年・平成30年共に最も高くなっている。

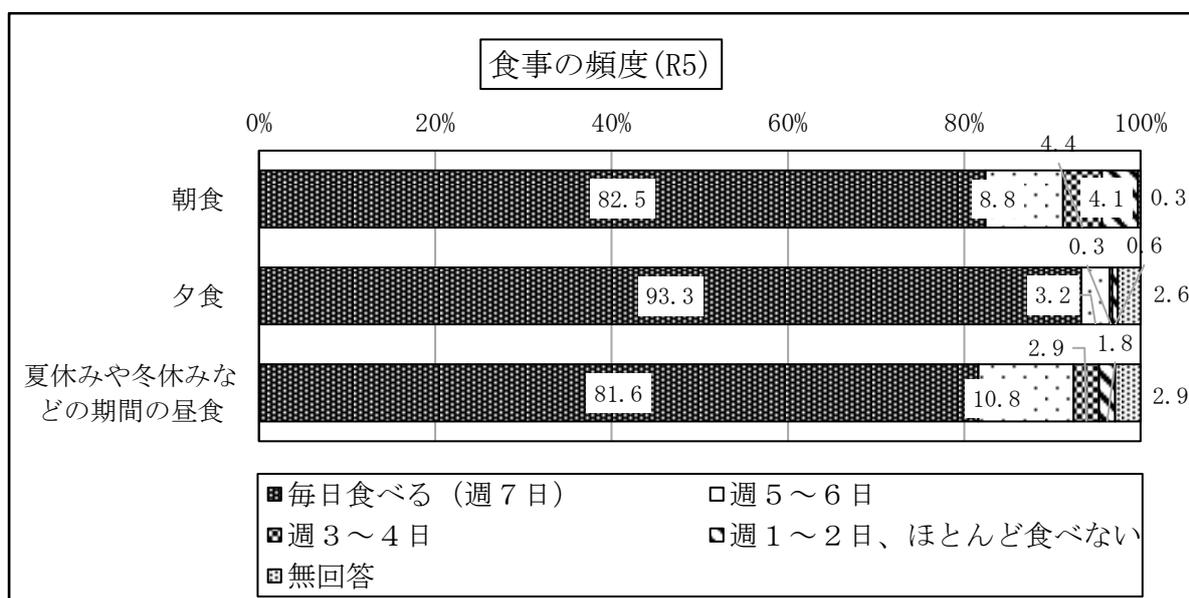
※灰色は令和5年に追加選択肢 単位：%

N=342 (R5) N=812 (H30)		1. 毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. そこでは全く 過ごさない	無回答
ア. 自分の家	R5	46.2	14.6	17.0	7.9	14.3
	H30	44.0	19.6	20.7	14.4	1.4
イ. 祖父母の家	R5	6.1	4.4	12.3	47.1	30.1
	H30	8.1	5.4	22.8	62.3	1.4
ウ. 友だちの家	R5	1.2	5.0	21.1	44.2	28.5
	H30	2.5	5.7	25.6	64.9	1.4
エ. 塾や習い事	R5	5.8	16.4	20.5	33.3	24.0
	H30	7.3	20.1	24.3	47.0	1.4
オ. 放課後児童クラブ	R5	3.8	4.4	2.3	60.5	29.0
	H30	-	-	-	-	-
カ. 児童館・児童センター	R5	2.3	4.1	9.1	55.8	28.7
	H30	2.5	3.0	3.3	89.9	1.4
キ. 学校 (部活動・放課後子ども教室など)	R5	4.4	2.9	4.4	58.2	30.1
	H30	0.9	1.5	7.9	88.4	1.4
ク. 子ども食堂などの地域の居場所	R5	0.9	-	2.6	64.9	31.6
	H30	3.4	4.3	6.7	84.2	1.4
ケ. 公民館	R5	-	1.5	4.7	62.9	30.9
	H30	0.7	0.6	1.5	95.8	1.4
コ. 地域のスポーツクラブなどの活動	R5	6.4	9.1	8.5	48.8	27.2
	H30	0.6	1.4	5.9	90.8	1.4
サ. 公園	R5	4.1	9.1	24.6	37.7	24.5
	H30	2.8	9.6	20.7	65.5	1.4
シ. 図書館	R5	-	0.3	6.1	62.0	31.6
	H30	0.5	2.1	6.0	90.0	1.4
ス. ゲームセンター	R5	0.3	0.9	5.3	62.0	31.5
	H30	0.4	1.0	5.9	91.4	1.4
セ. その他	R5	2.9	3.5	2.0	50.3	41.3
	H30	0.7	0.9	0.9	0.0	1.4

問9 食事の頻度

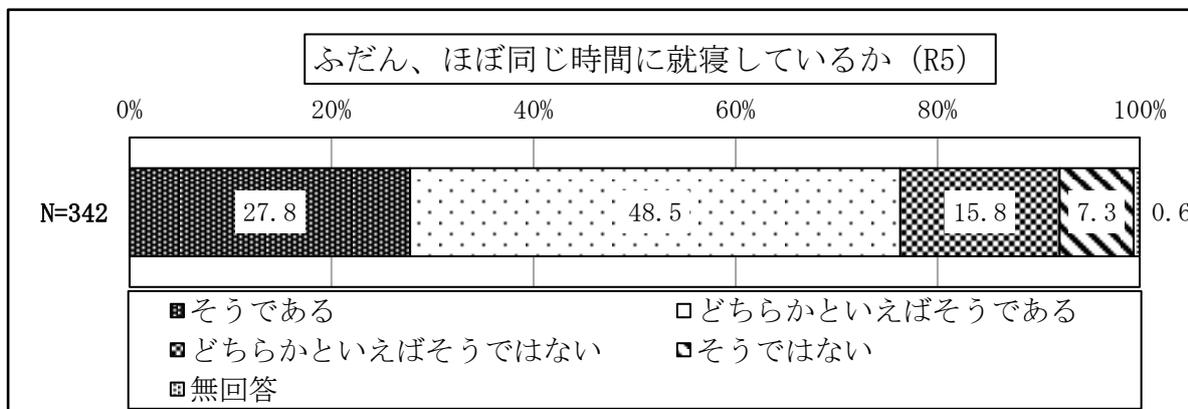
・朝食、夕食、休日の昼食ともに「毎日食べる」と答える割合が8割以上と高くなっている。

・また、「週1～2日、ほとんど食べない」と回答した割合が、「朝食」で4.1%、「夕食」で0.6%、長期休み期間の昼食で1.8%となっており、食事の頻度が少ない児童もいると考えられる。



問 10 ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に就寝しているか

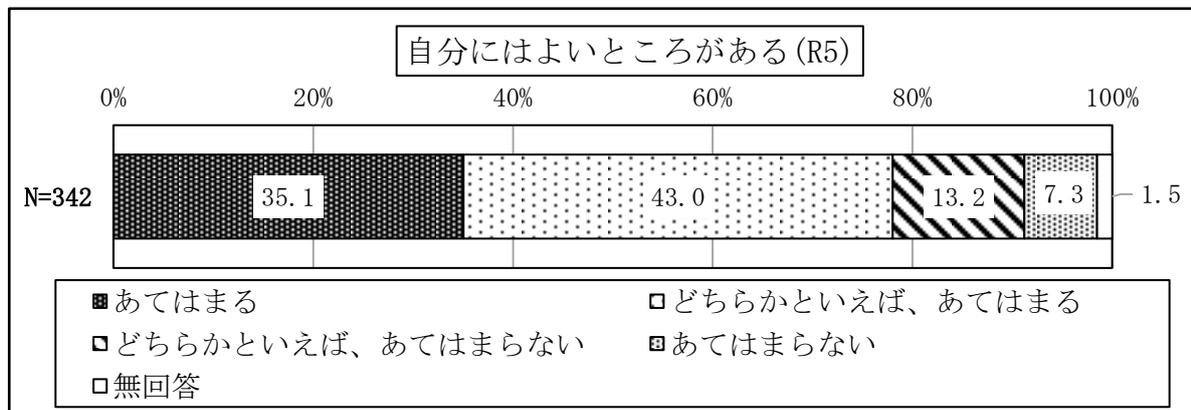
・ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に就寝しているかについて、「そうである」が 27.8%、「どちらかといえばそうである」が 48.5%となっており、ほぼ同じ時間に就寝している割合が 7 割以上となっている。



問 11 あなたにどれくらいあてはまるか

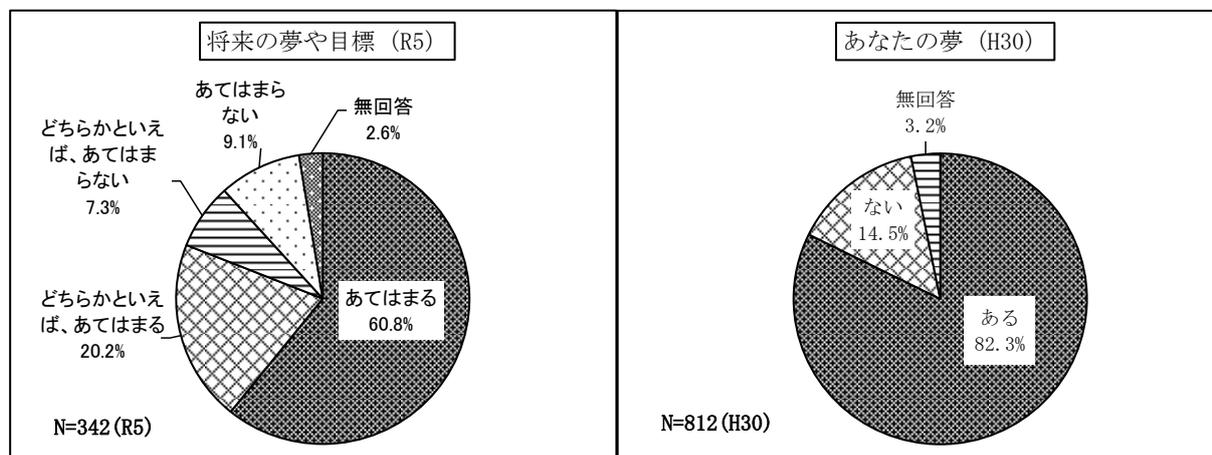
【自分には、よいところがあると思う】

- ・自分には、よいところがあると思うについては、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」が 78.1%と高い割合になっている。
- ・一方、「あてはまらない」と回答した児童は 7.3%となっている。



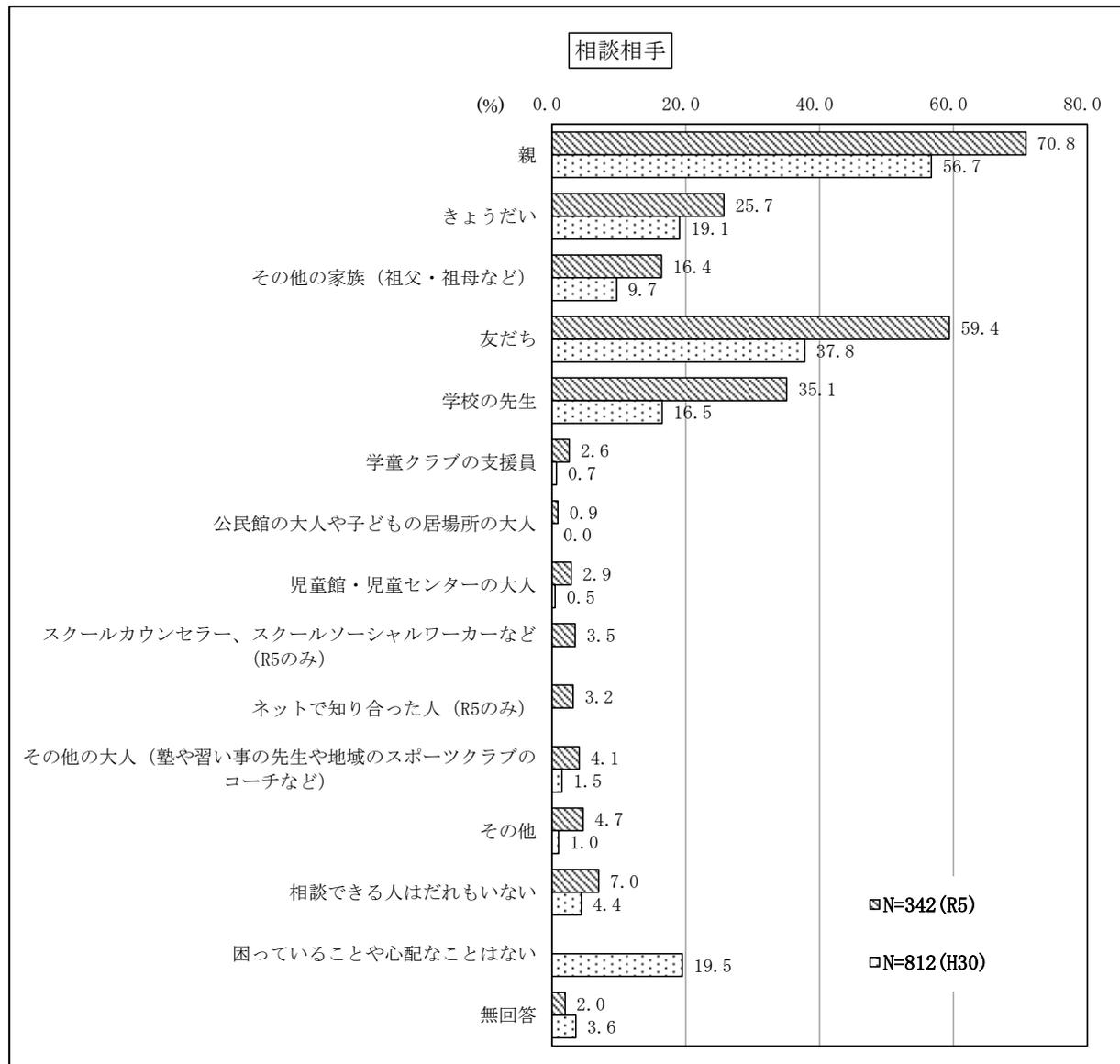
【将来の夢や目標をもっているか】

- ・将来の夢や目標をもっているかについては、令和5年の「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」、平成 30 年の「ある」は共に8割程度となっている。
- ・令和5年に「あてはまらない」「どちらかといえば、あてはまらない」と答えた割合は 16.4%、平成 30 年で「ない」と答えた割合は 14.5%となっている。



問 12 相談できると思う人 ※あてはまるものすべてに○

- ・相談できると思う人では、令和5年と平成30年共に「親」に次いで「友だち」が上位である。「学校の先生」は令和5年で平成30年の2倍程高くなっている。
- ・令和5年では平成30年より相談できると思う人としてあがったすべての対象について割合が高くなっている。



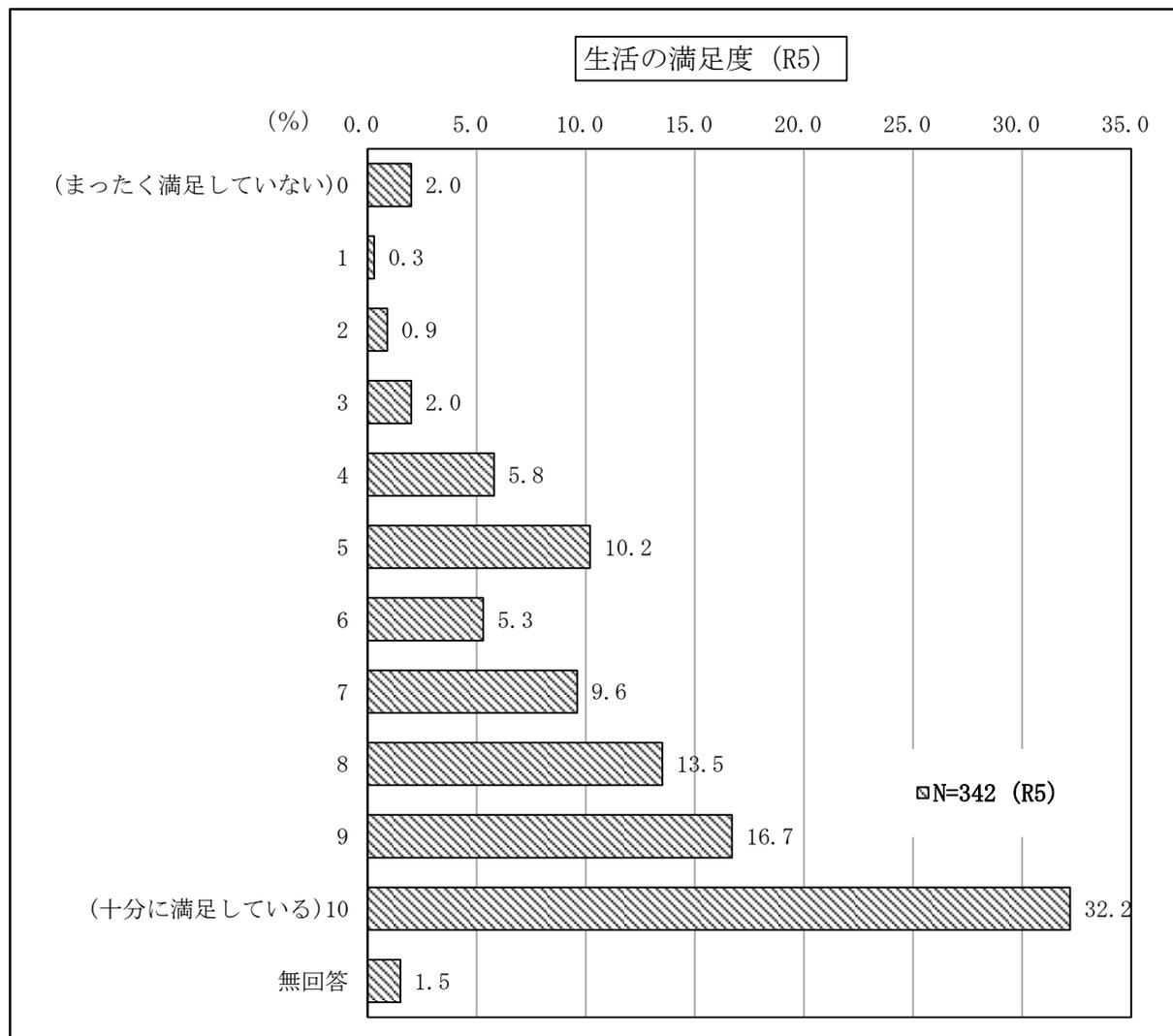
問 13 自分が使用できるもの

・自分が使用できるものでは、子ども部屋を持っている割合が平成 30 年より令和5年の割合が低く、ほしい割合は令和5年が高くなっている。スマートフォンを持っている割合は令和5年で全体の6割程度と平成 30 年に比べ所有割合が高くなっている。

N=342(R5) N=812(H30)		※灰色はR5の選択肢			単位 (%)
		持っている	持っていない		無回答
			ほしい	ほしくない	
①自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）	R5	48.5	17.0	29.8	4.7
	H30	62.6	16.3	18.8	2.3
②子ども部屋	R5	48.5	38.3	8.2	5.0
	H30	60.2	29.3	8.1	2.4
③インターネットにつながるパソコンやタブレット	R5	53.3	31.8	13.4	1.5
	H30	38.3	35.7	20.8	5.2
④自宅で宿題をすることができる場所	R5	72.8	13.2	9.1	4.9
	H30	-	-	-	-
⑤自分専用の勉強机	R5	60.8	23.4	11.7	4.1
	H30	67.0	20.2	10.8	2.0
⑥スポーツ用品 (野球のグローブや、サッカーボールなど)	R5	50	8.2	36.5	5.3
	H30	60.8	11.0	26.4	1.8
⑦ゲーム機	R5	69.3	13.7	12.6	4.4
	H30	66.4	14.4	17.1	2.1
⑧たいていの友だちが持っているおもちゃ	R5	25.1	19.3	50.3	5.3
	H30	30.8	19.2	47.5	2.5
⑨自転車	R5	46.2	25.1	23.7	5.0
	H30	54.3	29.4	14.0	2.3
⑩おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい	R5	53.5	30.7	10.5	5.3
	H30	55.5	24.4	18.5	1.6
⑪友だちが着ているのと同じような服	R5	30.4	19.3	44.4	5.9
	H30	33.1	15.6	49.5	1.8
⑫2足以上のサイズのあった靴	R5	12.9	20.5	5.3	61.3
	H30	-	-	-	-
⑬携帯電話、スマートフォン	R5	57.3	32.2	5.8	4.7
	H30	36.7	46.2	15.0	2.1
⑭携帯音楽プレイヤーなど	R5	26.3	27.5	39.8	6.4
	H30	23.6	41.0	33.7	1.6

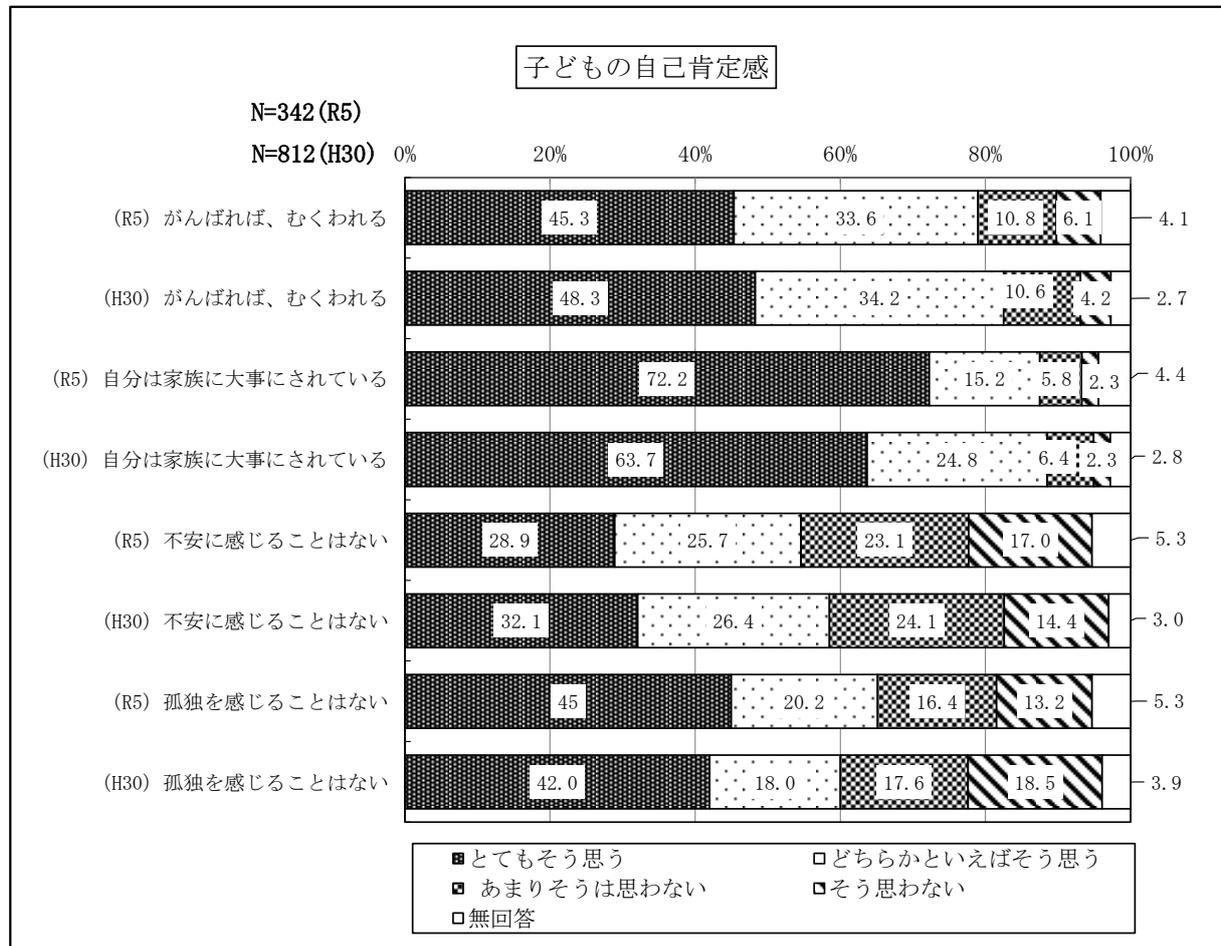
問 14 生活の満足度

・生活の満足度については、10段階評価のうち、「10(十分に満足している)」が最も高い割合で32.2%を占めており、次いで満足度「9」が16.7%、満足度「8」が13.5%と生活の満足度は高い傾向がみられる。



問 15 子どもの自己肯定感

・子どもの自己肯定感では、令和5年・平成30年共に大きな変化はない。自分は家族に大事にされていると思う割合が平成30年より令和5年は8.5ポイント高くなっている。



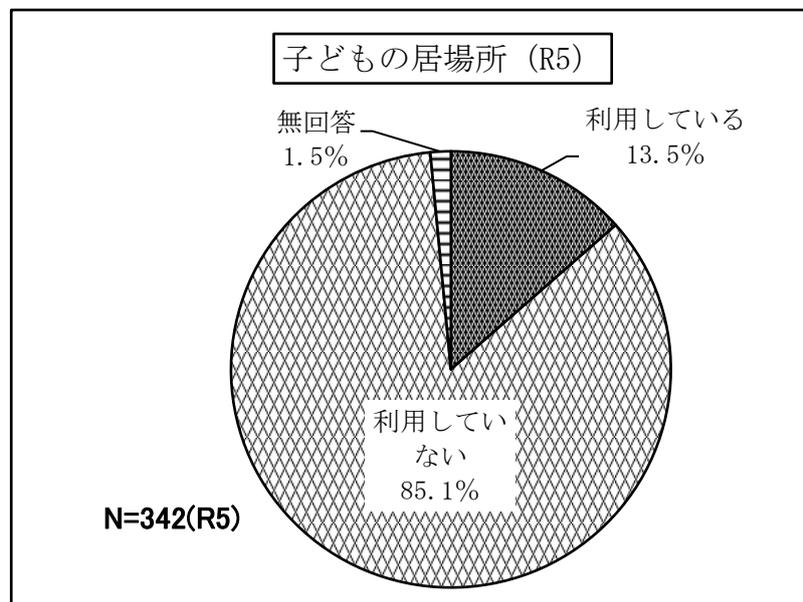
問 16 学校や家庭でのできごと

・学校や家庭であったことでは、令和5年は「①学校に行きたくないと思った」の項目で「よくあった/時々あった」の割合が高くなっている。平成 30 年に比べ令和5年では「よくあった」の割合が9ポイント程高くなっている。

		※灰色は令和5年に追加選択肢				単位：%	
N=342 (R5) N=812 (H30)		よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	答えたくない・わからない	無回答
①学校に行きたくないと思った	R5	21.3	32.2	19.9	23.1	2.3	1.2
	H30	12.6	31.2	19.3	32.4	4.1	0.4
②1ヶ月以上学校に行けなかった	R5	0.6	2.3	6.4	84.2	2.6	3.9
	H30	0.7	1.6	2.5	91.3	3.4	0.5
③いじめられた	R5	4.7	10.5	11.1	62.6	7.6	3.5
	H30	5.4	12.2	10.7	65.9	5.4	0.4
④夜遅くまで子どもだけで過ごした	R5	3.8	8.2	14.3	67.8	1.5	4.4
	H30	1.6	3.9	7.4	83.3	3.4	0.4
⑤学校に遅刻した	R5	10.2	14.9	17.5	51.2	2.0	4.2
	H30	-	-	-	-	-	-
⑥これまでに家事や家族の世話で勉強する時間がとれなかった	R5	2.0	3.5	12.0	75.1	3.2	4.2
	H30	-	-	-	-	-	-

問 17 子どもの居場所 ※あてはまるものすべてに○

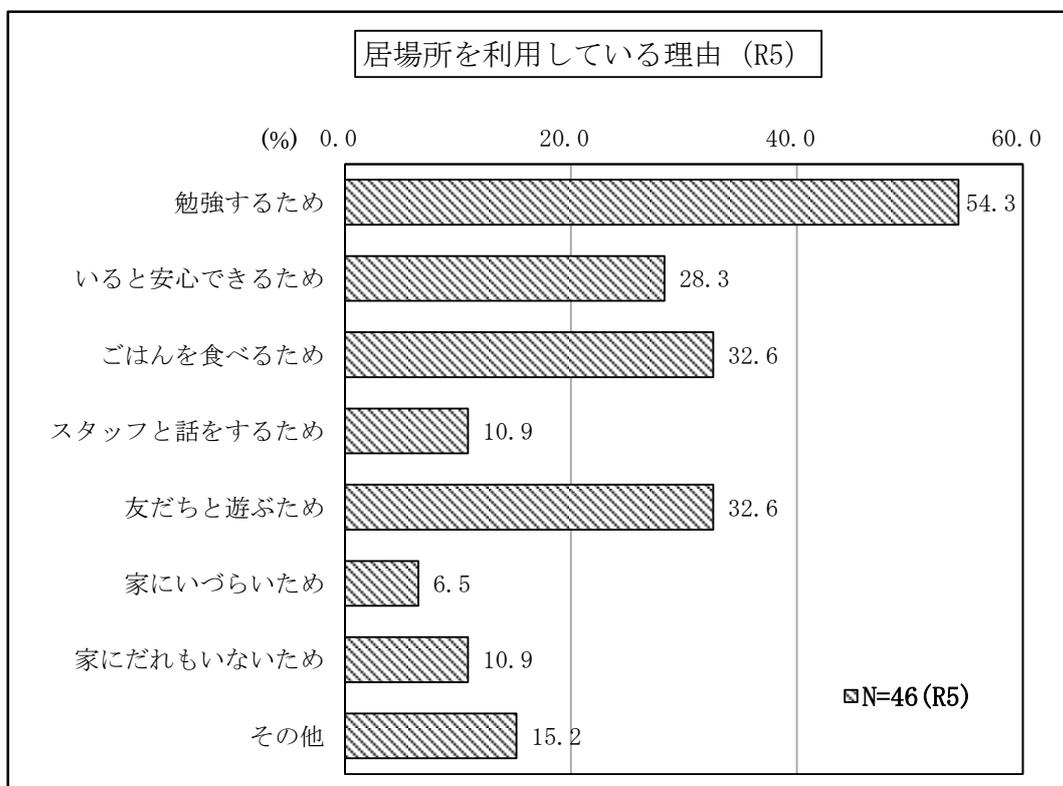
・子どもの居場所については、「利用していない」が85.1%、「利用している」が13.5%となっている。



問 17-1 子どもの居場所を利用する理由（問 17 で「利用している」を選んだ方）

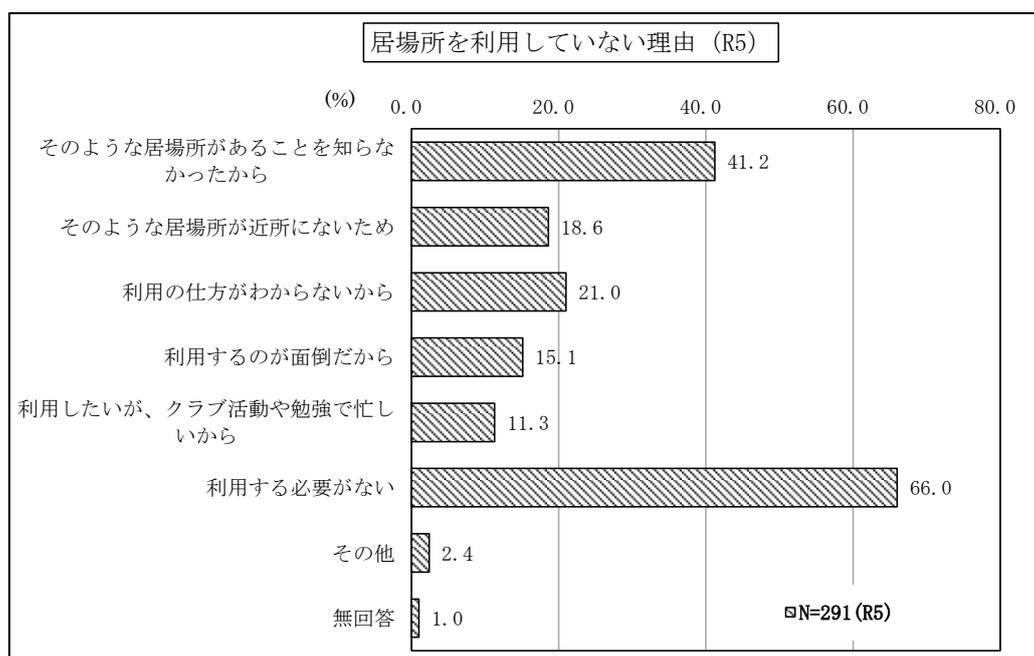
※あてはまるものすべてに○

・居場所を利用する理由について、「勉強するため」が 54.3%、次いで「ごはんを食べるため」、「友だちと遊ぶため」が 32.6%、「いると安心できるため」が 28.3%となっている。



問 17-2 子どもの居場所を利用していない理由（問 17 で「利用していない」を選んだ方）※あてはまるものすべてに○

・居場所を利用しない理由について、「利用する必要がない」が 66.0%で最も高く、次いで「そのような居場所があることを知らなかったから」が 41.2%、「利用の仕方がわからないから」が 21.0%となっている。

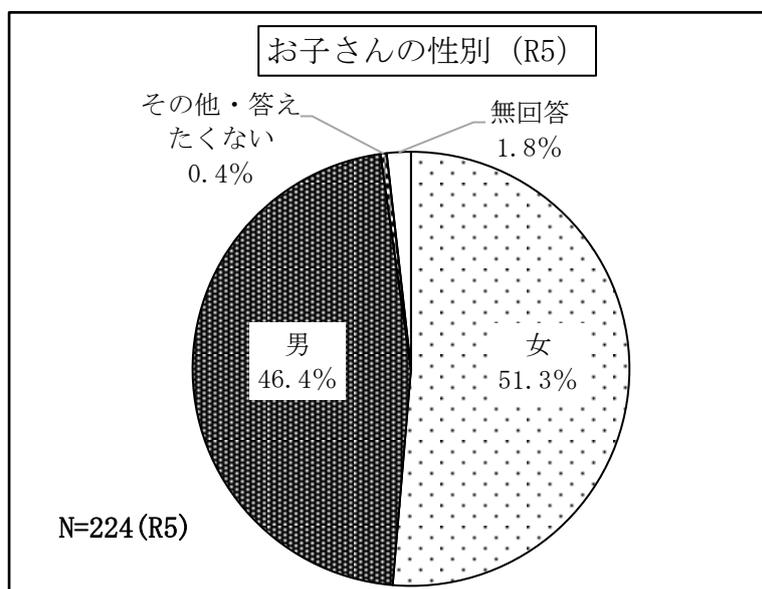


小学5年生保護者調査結果

3. 小学5年生保護者調査結果

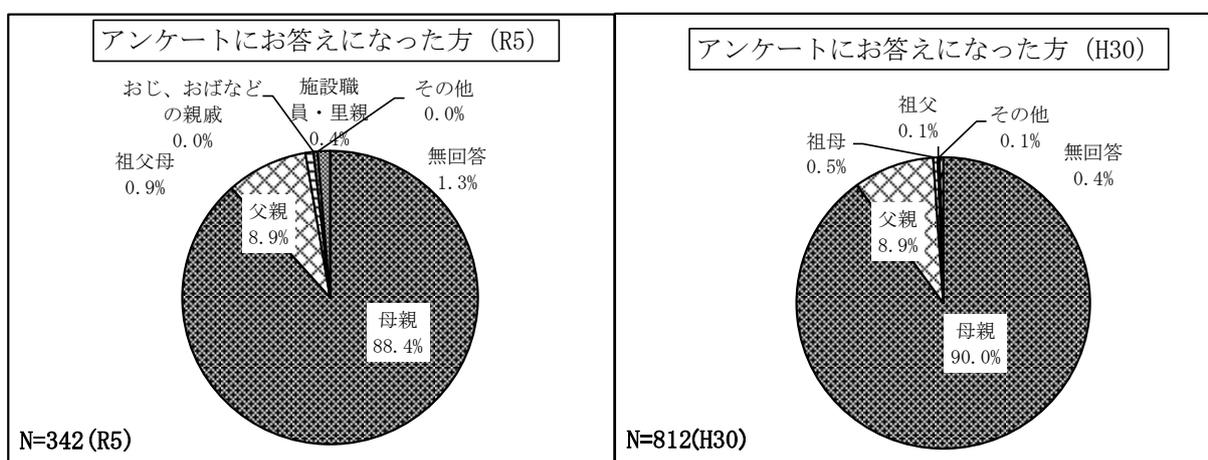
問1 お子さんの性別

・お子さんの性別については、「女」が51.3%、「男」が46.4%となっている。



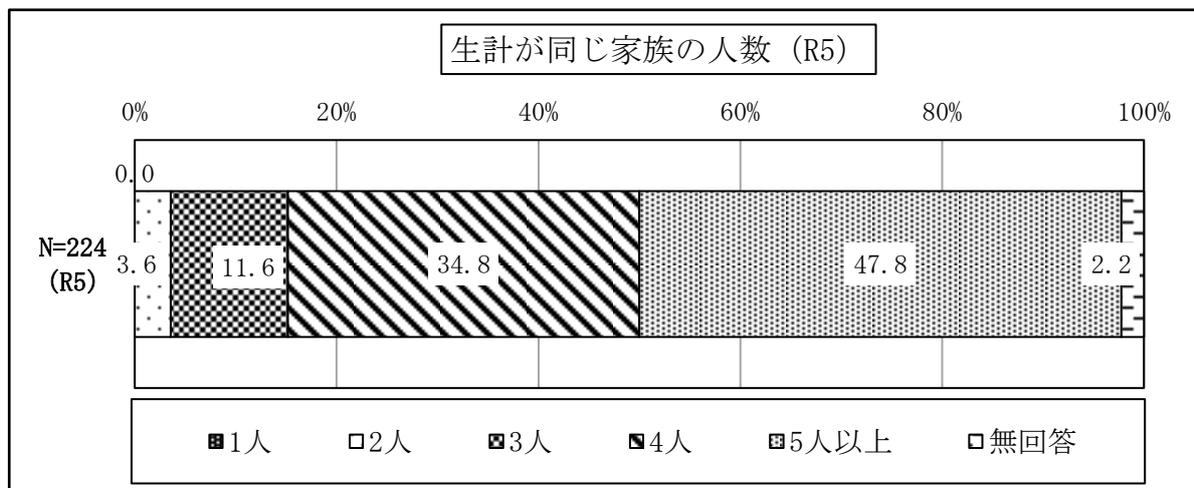
問2 子どもとの続柄

・回答者の子供との続柄については、令和5年・平成30年共に「母親」が9割程で高い。
・「父親」の回答は、8.9%であり、母親に比べ低い割合となっている。



問3 生計が同じ家族の人数

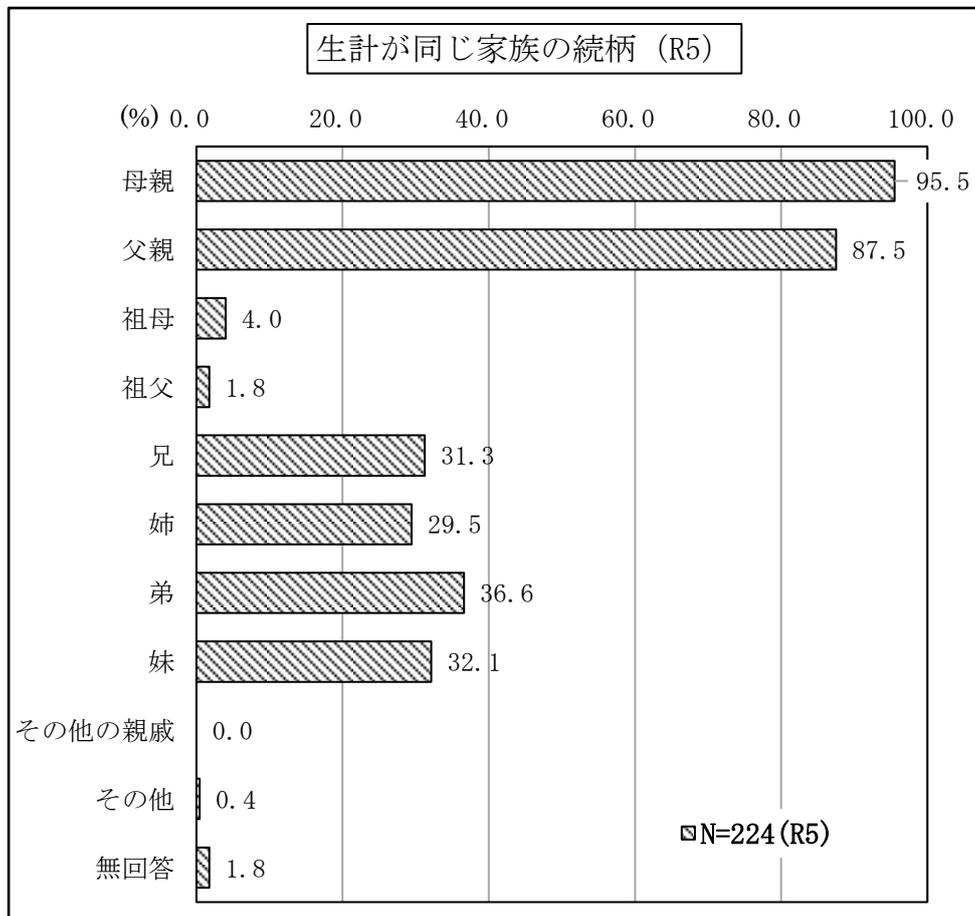
・家族の人数については、「5人以上」が47.8%と最も高く、次いで「4人」が34.8%である。



問4 子どもと生計が同じ家族の続柄 ※あてはまるものすべてに○

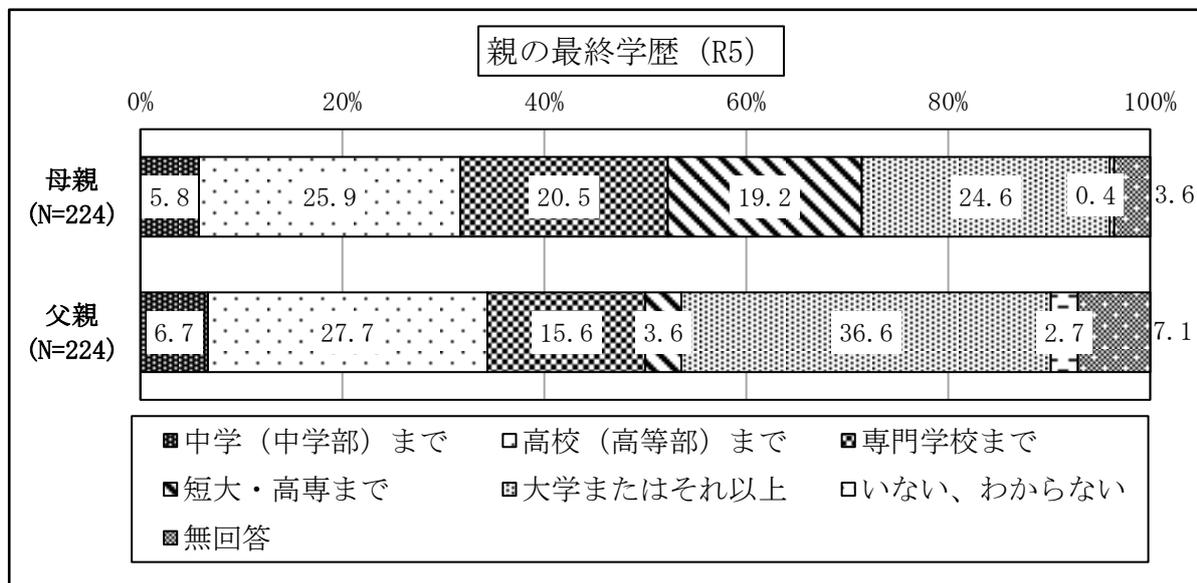
・子どもとの続柄については、「母親」が95.5%で最も高く、次いで「父親」が87.5%となっている。

・兄妹別にみると、「弟」が最も高く36.6%、次いで「妹」が32.1%、「兄」が31.3%、「姉」が29.5%、となっている。



問5 親の最終学歴

・親の最終学歴について、「短大・高専まで」では、母親が19.2%に対し、父親は3.6%となっている。一方で「大学またはそれ以上」では、父親が36.6%に対し、母親は24.6%となっており、最終学歴は、父母により異なる傾向がみられた。



問6 母親の就労状況

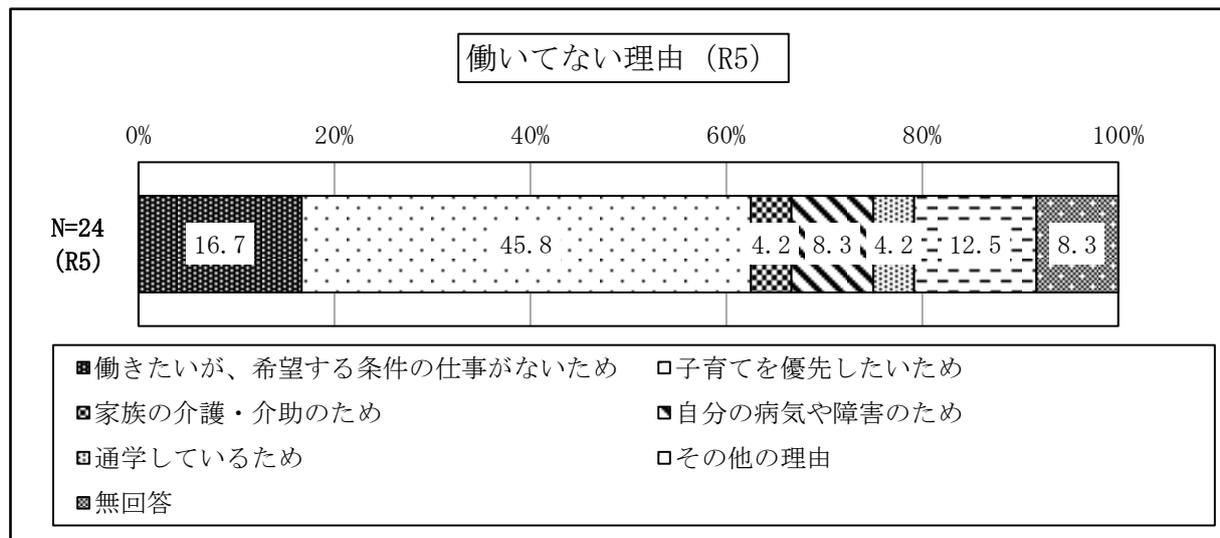
・母親の就労状況では、令和5年・平成30年では雇用形態の選択肢が異なっているが、令和5年・平成30年共に正社員(職員・役員)とパート等の割合が高くなっている。

母親の就労状況 (R5)		N = 224	
	件数	%	
正社員・正規職員・会社役員	81	36.2	
嘱託・契約社員・派遣職員	22	9.8	
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	75	33.5	
自営業	15	6.7	
いない、わからない	4	1.8	
働いていない	24	10.7	
無回答	3	1.3	
合計	224	100.0	

母親の就労状況 (H30)		N = 635	
	件数	%	
会社役員	23	3.6	
民間企業の正社員	141	22.2	
公務員などの正職員	58	9.1	
団体職員	10	1.6	
契約社員・派遣社員・嘱託社員	76	12.0	
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	261	41.1	
自営業(専従業者を含む)	45	7.1	
自由業	4	0.6	
その他の働き方をしている	1	0.2	
無回答	16	2.5	
合計	635	100.0	

問6-1 働いていない理由（母親）

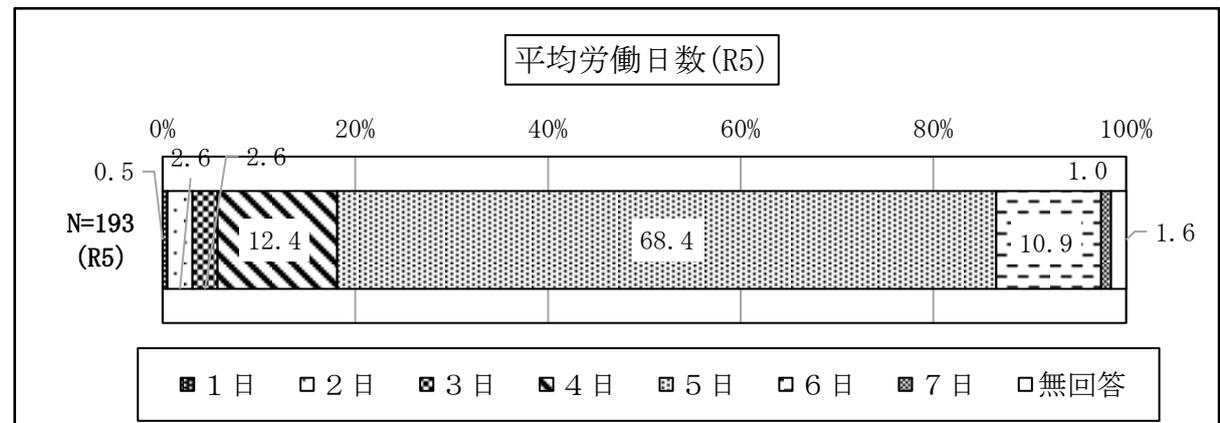
・働いていない理由については、「子育てを優先したいため」が45.8%で高い。



問6-2 労働日数と労働時間について（母親）

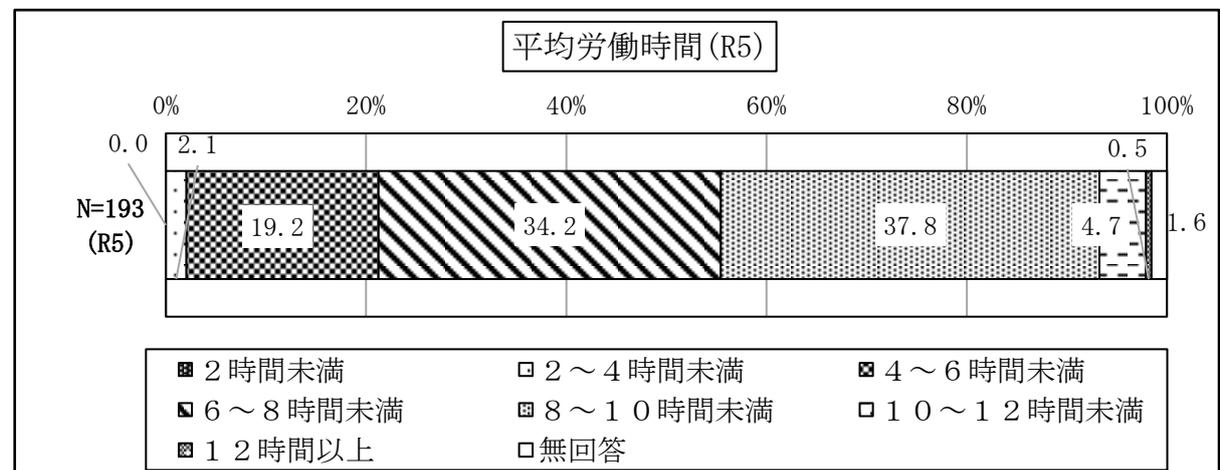
① 平均労働日数

・平均労働日数については、「5日」が68.4%で最も高く、次いで「4日」の12.4%となっている。



② 平均労働時間

・平均労働時間については、「8～10時間未満」が37.8%で最も高くなっている。



問7 父親の就労状況

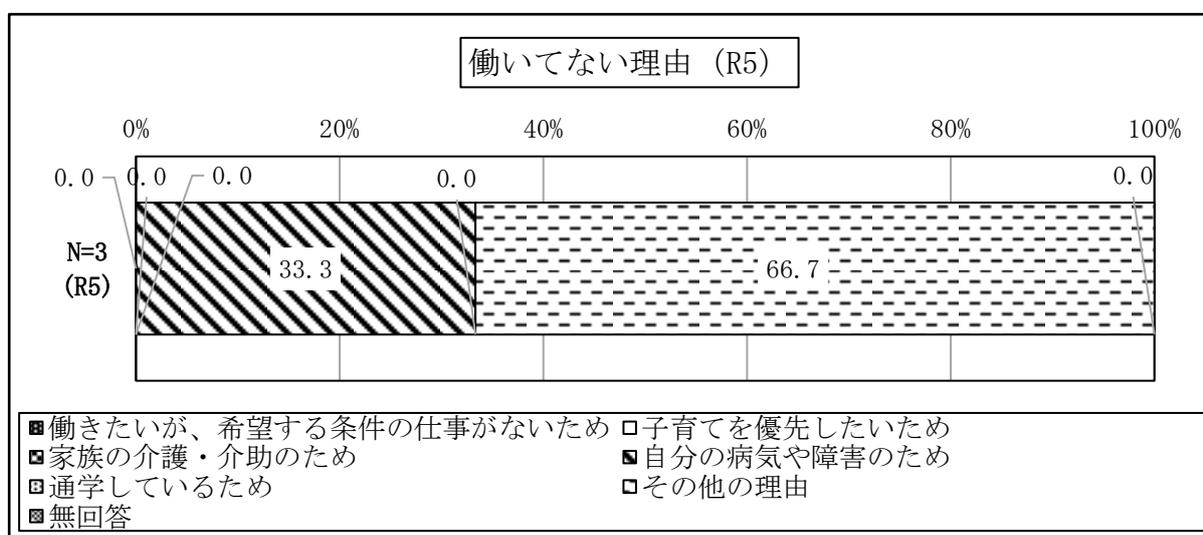
・父親の就労状況では、令和5年・平成30年共に正社員等が最も高く、次いで自営業の割合が続く。

父親の就労状況(R5)		N=224
	件数	%
正社員・正規職員・会社役員	154	68.8
嘱託・契約社員・派遣職員	7	3.1
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	8	3.6
自営業	30	13.4
いない、わからない	15	6.7
働いていない	3	1.3
無回答	7	3.1
合計	224	100.0

父親の就労状況(H30)		N=663
	件数	%
会社役員	83	12.5
民間企業の正社員	282	42.5
公務員などの正職員	94	14.2
団体職員	13	2.0
契約社員・派遣社員・嘱託社員	32	4.8
パート・アルバイト・日雇い・非	23	3.5
自営業（専従業者を含む）	97	14.6
自由業	4	0.6
その他の働き方をしている	2	0.3
無回答	33	5.0
合計	663	100.0

問7-1 働いてない理由（父親）

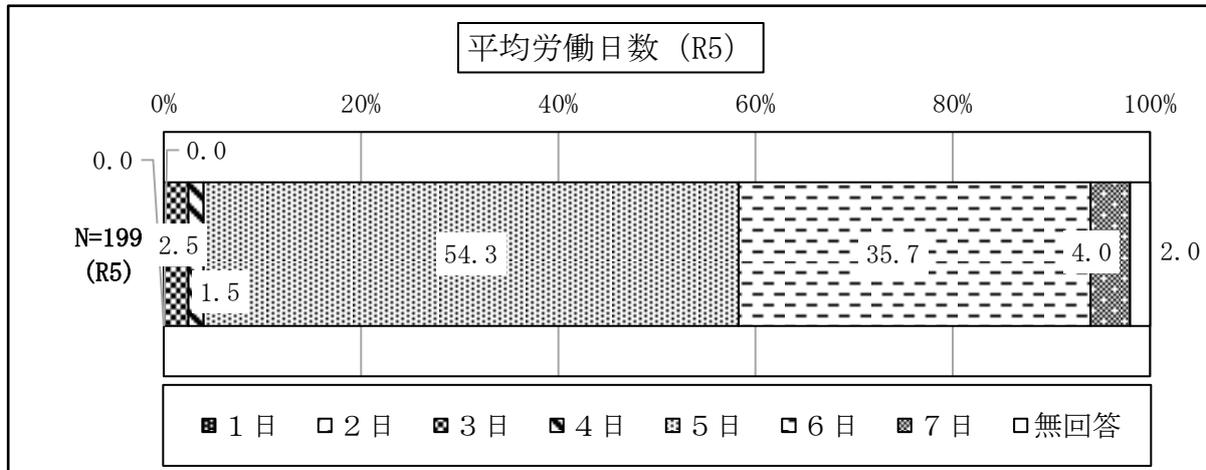
・働いていない理由については、「その他の理由」が66.7%で最も高く、次いで「自分の病気や障害のため」が33.3%となっている。



問7-2 労働日数と労働時間について（父親）

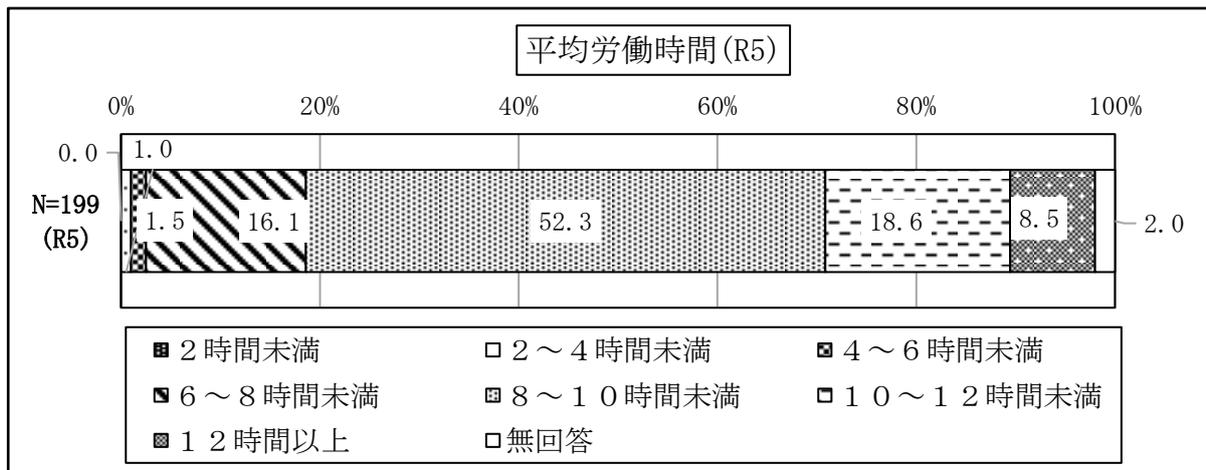
① 平均労働日数

・平均労働日数については、「5日」が54.3%で高い。



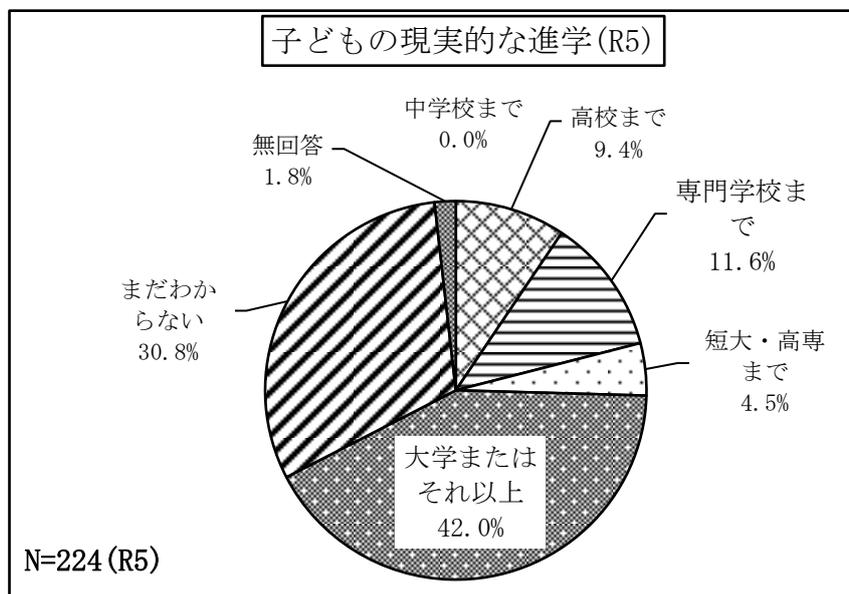
② 平均労働時間

・平均労働時間については、「8～10時間未満」が52.3%で高い。



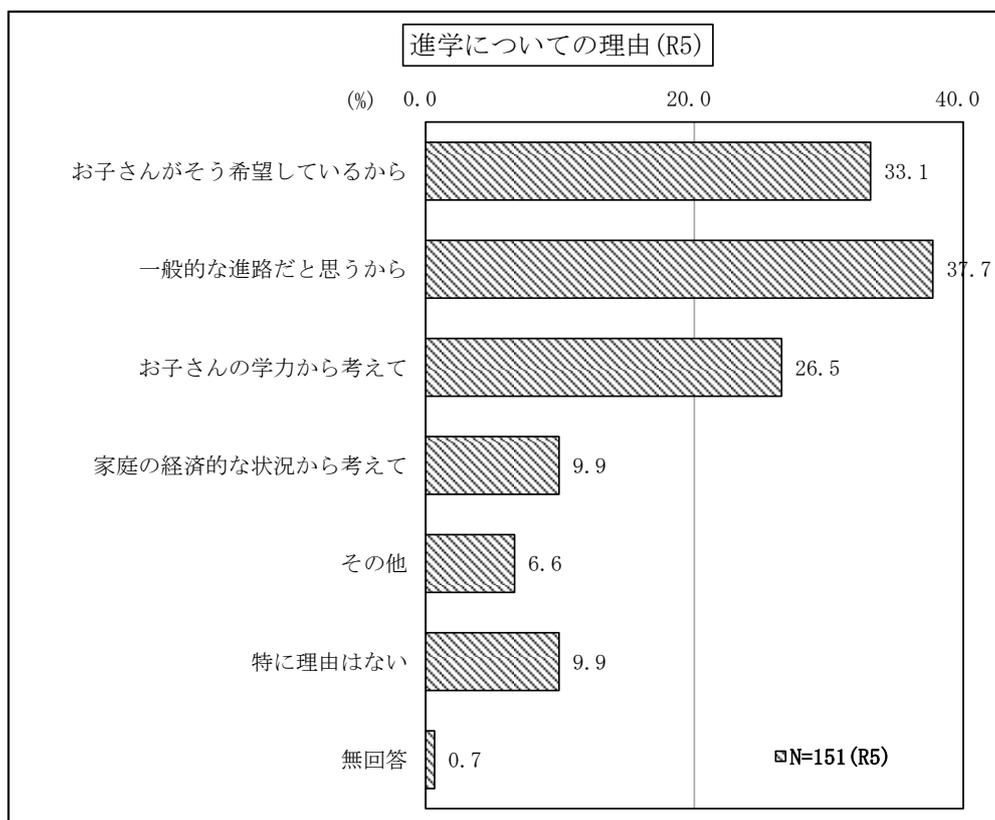
問8 子どもの将来の現実的な進学先

・子どもの将来の現実的な進学先について、「大学またはそれ以上」が42.0%で最も高く、次いで「まだわからない」が30.8%、「専門学校まで」が11.6%となっている。



問8-1 現実的な進学先についての理由 ※あてはまるものすべてに○

・現実的な進学先についての理由については、「一般的な進路だと思うから」が37.7%、次いで「お子さんがそう希望しているから」が33.1%、「お子さんの学力から考えて」が26.5%となっている。



問9 お子さんにしていること

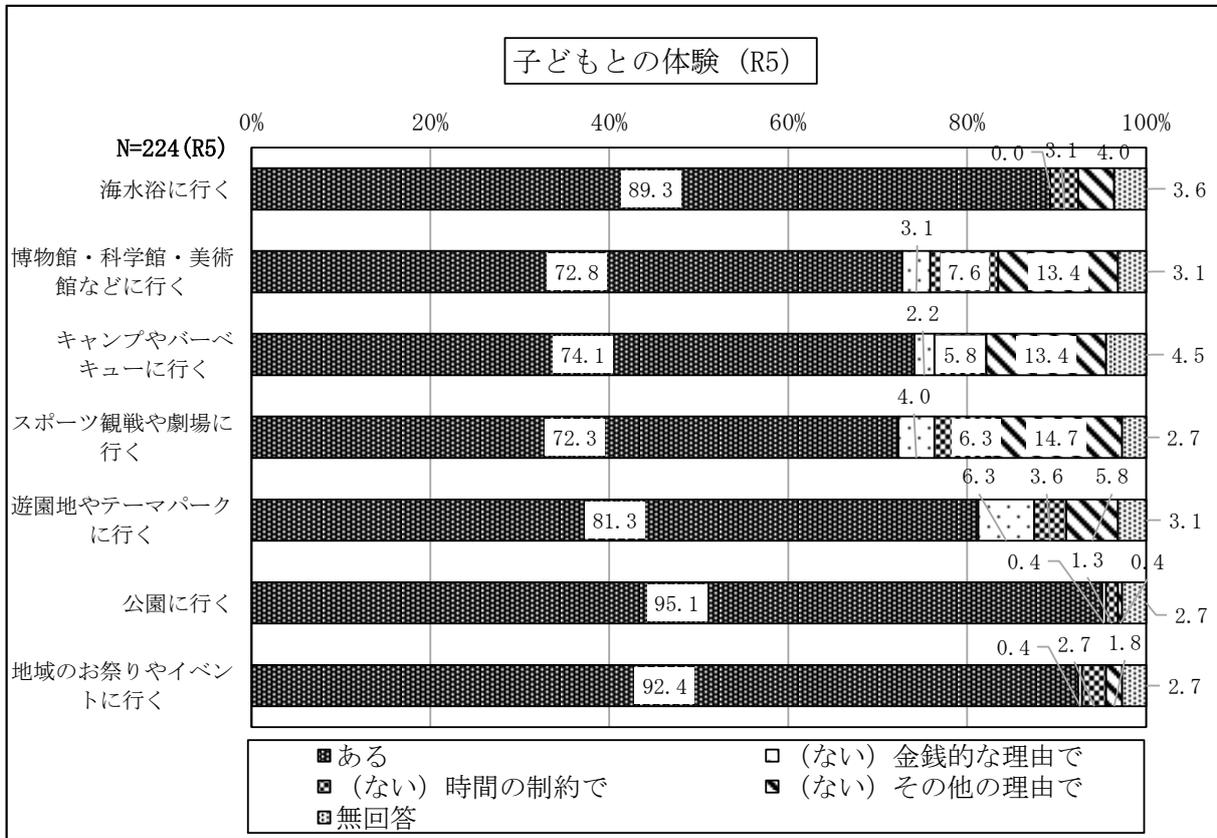
・お子さんにしていることで、「お誕生日のお祝いをする」が令和5年・平成30年共に97%以上と最も高い割合となっている。

・「毎月お小遣いを渡す」割合は、令和5年では平成30年より10.3ポイント高くなっている。

N=224(R5) N=812(H30) (%)	年度	灰色はH30のみの選択肢			
		していた	していない		無回答
			思わなかつた	必要なかつた	
A. 毎月お小遣いを渡す	R5	35.7	47.8	11.6	4.9
	H30	25.4	59.2	12.9	2.5
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	R5	85.3	5.8	6.3	2.7
	H30	86.8	6.2	6.0	1.0
C. 習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる	R5	71.4	14.3	10.3	4.0
	H30	66.4	10.8	18.7	4.1
D. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	R5	24.6	47.3	20.1	8.0
	H30	34.0	33.4	28.6	4.1
E. お誕生日のお祝いをする	R5	98.2	0.0	0.0	1.8
	H30	97.4	0.5	1.2	0.9
F. 家族旅行に行く	R5	61.2	5.4	30.8	2.7
	H30	-	-	-	-
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	R5	95.1	0.9	2.2	1.8
	H30	94.0	1.1	4.1	0.9
H. 医者に行く(医療機関での健診を含む)	R5	-	-	-	-
	H30	96.8	1.4	0.6	1.2
I. 歯医者に行く(歯科医での健診を含む)	R5	-	-	-	-
	H30	93.0	2.0	3.3	1.7
J. 子どもの学校行事などへ親が参加する	R5	-	-	-	-
	H30	95.9	1.4	1.4	1.4

問10 子どもとの体験

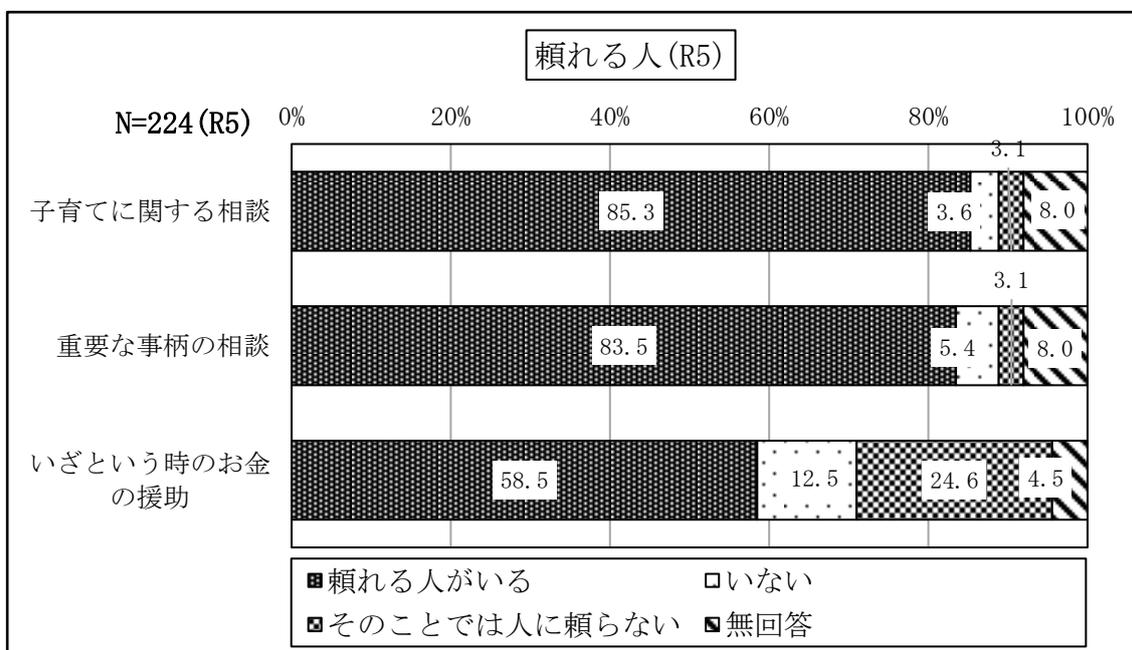
・子どもとの体験については、「公園に行く」が95.1%で最も高く、次いで「地域のお祭りやイベントに行く」が92.4%、「海水浴に行く」が89.3%である。



問 11 頼れる人について

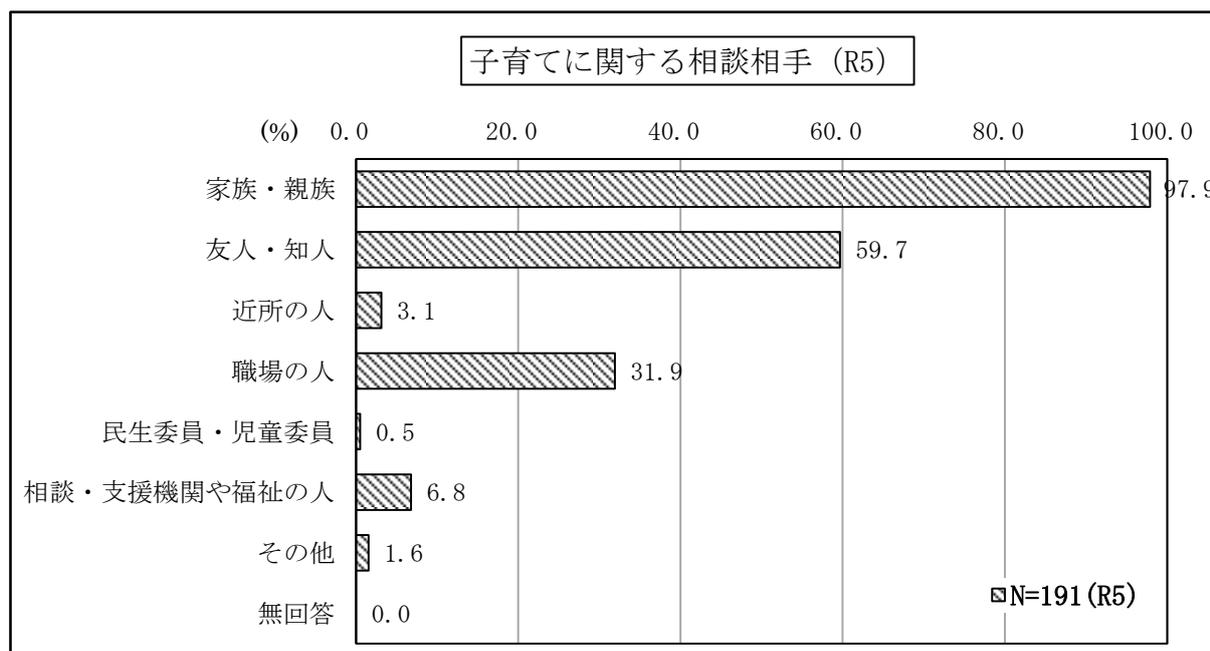
(1) 頼れる人の有無

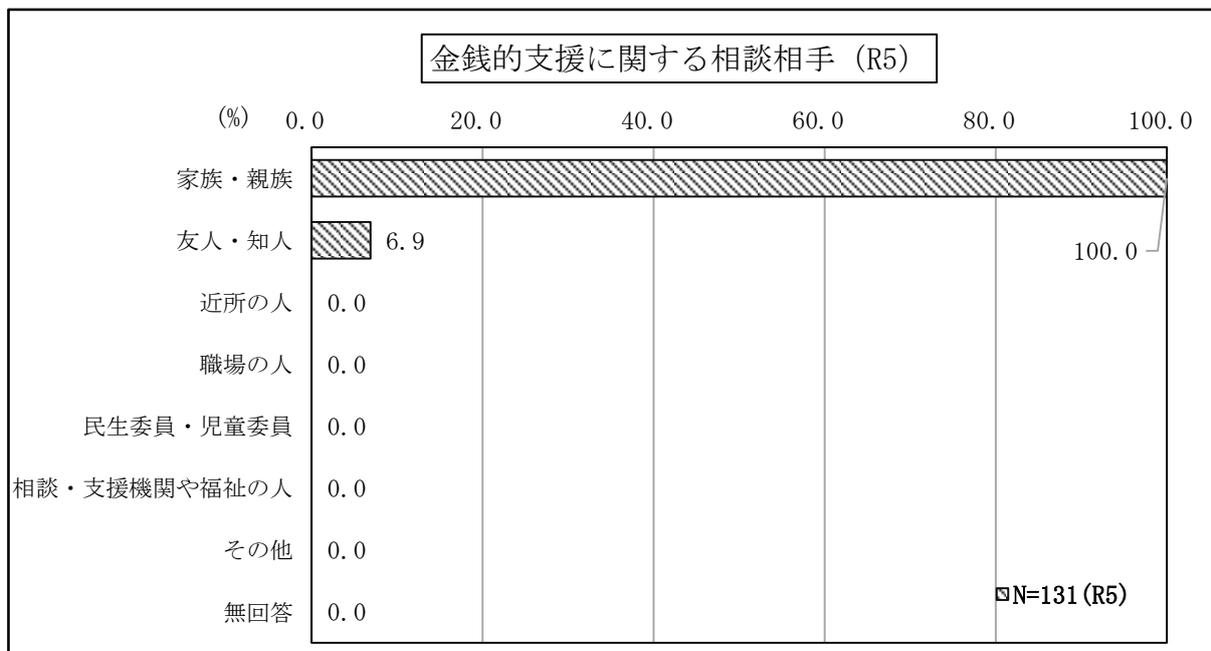
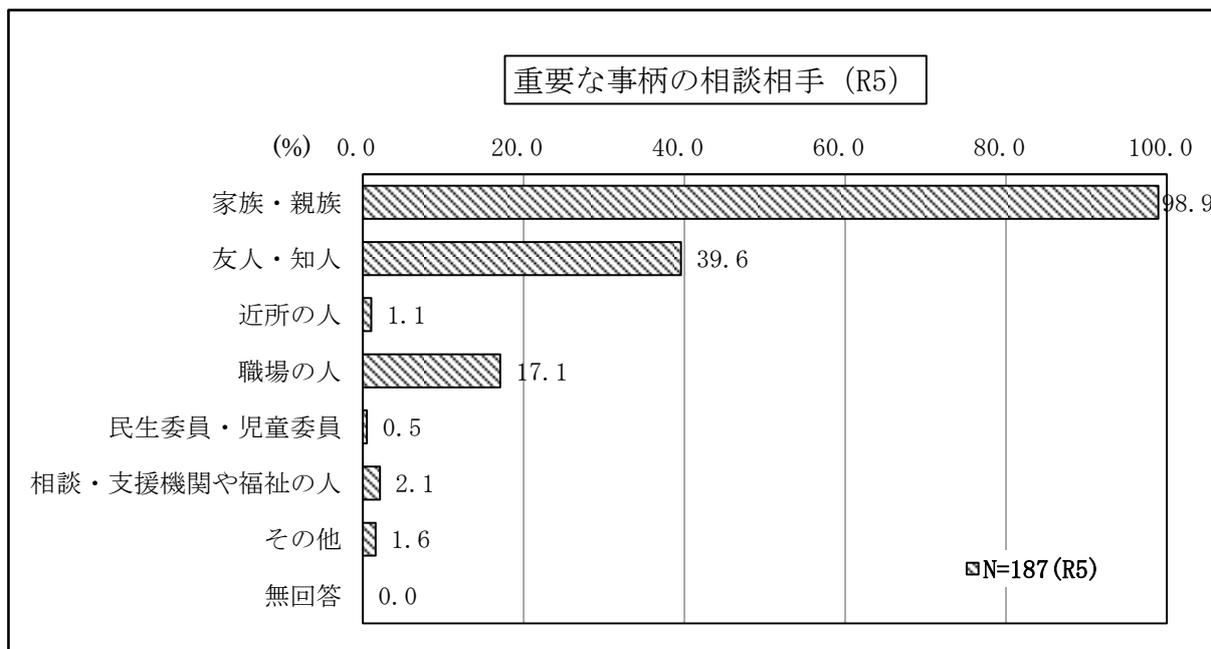
・頼れる人の有無については、「子育てに関する相談」が 85.3%、「重要な事柄の相談」で 83.5%が「頼れる人がある」と回答しており、8割以上が各種相談をできる人があるとみられる。



(2) 頼れる相手(問 11 で「頼れる人がある」を選んだ方) ※あてはまるものすべてに○

・頼れる相手については、子育てに関する相談、重要な事柄の相談、金銭的援助に関する相談のいずれも「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」が続いている。

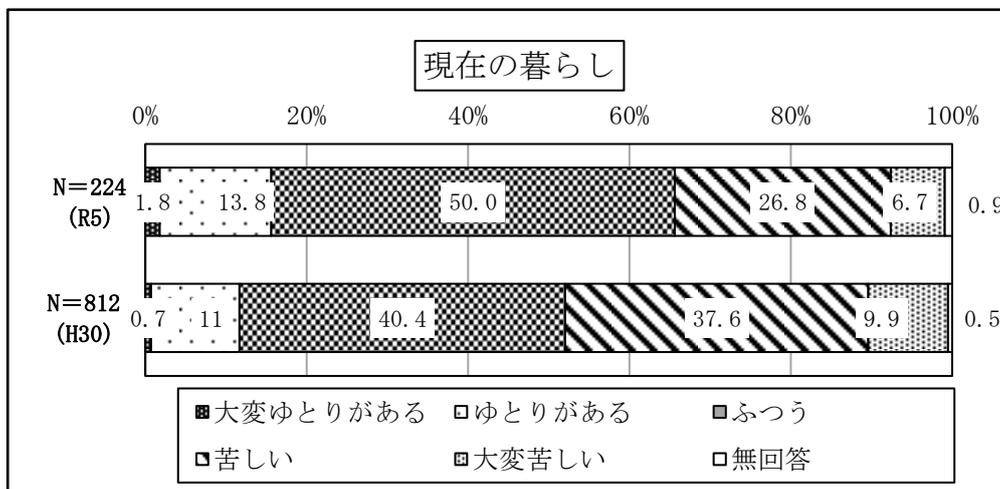




問 12 現在の暮らしの状況

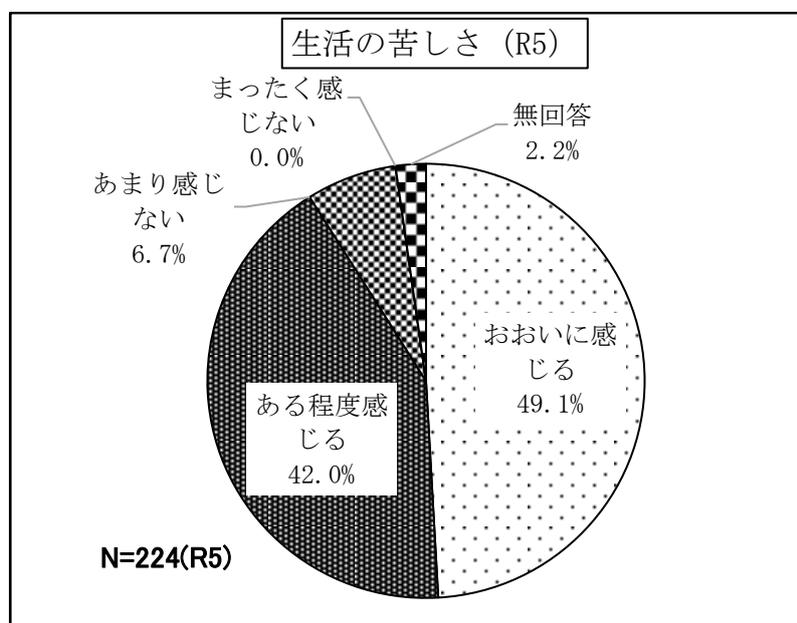
・現在の暮らしの状況については、令和5年では平成30年より「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」「ふつう」がやや高くなっている。

・「苦しい」と回答した割合は、令和5年では平成30年より10.8ポイント低くなっている。



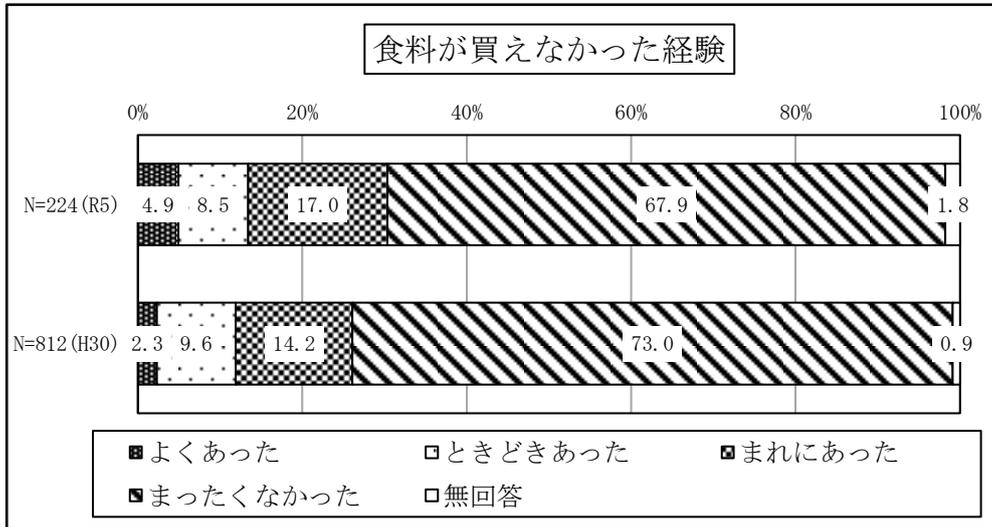
問 13 物価高騰による生活の苦しさ

・物価高騰による生活の苦しさについては、「おおいに感じる」と回答した家庭が49.1%、「ある程度感じる」と答えた家庭が42.0%であり、全体の90%以上の家庭が何らかの形で物価高騰による経済的な苦しさを感じていることがわかる。



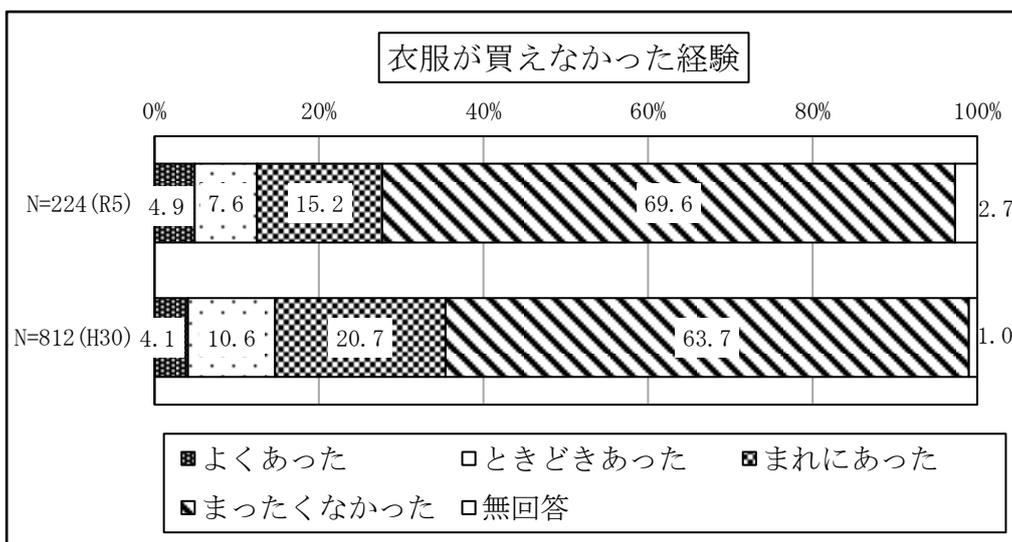
問 14 食料が買えなかった経験（過去 1 年間）

・食料が買えなかった経験では、令和5年は「よくあった」「まれにあった」が平成 30 年より高くなっている。全体では、「まったくなかった」が7割程で令和5年・平成 30 年共に同程度である。



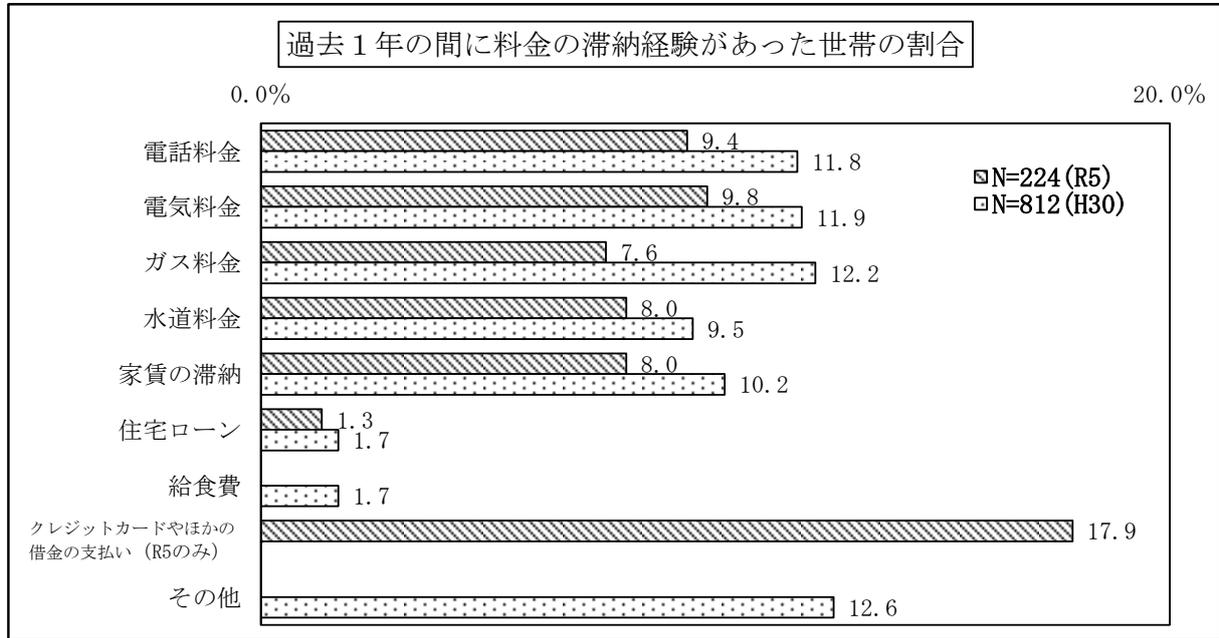
問 15 衣服が買えなかった経験（過去 1 年間）

・衣服が買えなかった経験は、令和5年では平成 30 年より「よくあった」が 0.8 ポイント高くなっており、「ときどきあった」「まれにあった」の割合は低くなっている。
 ・また、「まったくなかった」については平成 30 年より 5.9 ポイント高くなっている。



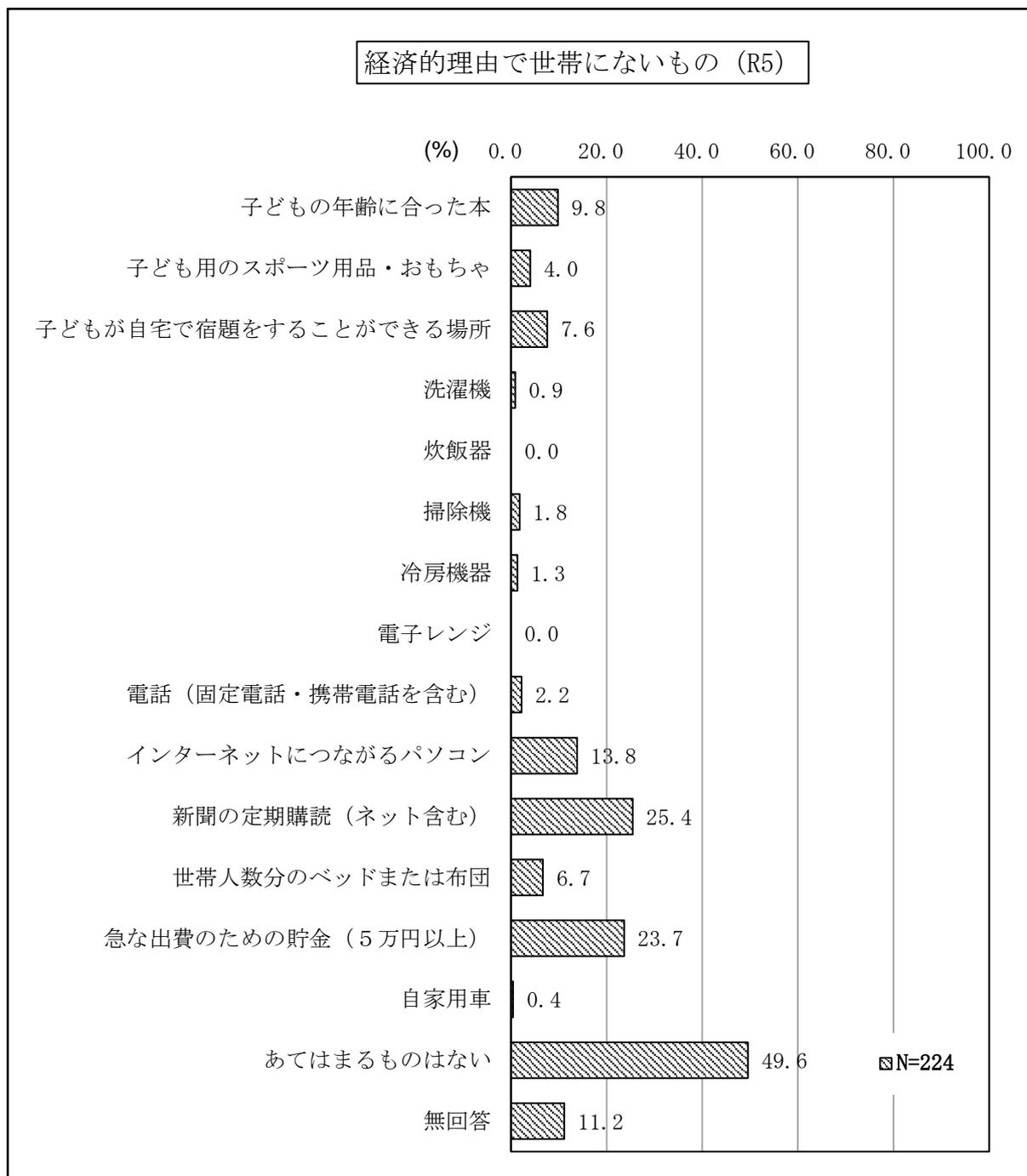
問 16 支払いができなかった経験（過去 1 年間）

・支払いができなかった経験については、平成 30 年より令和5年は全体的に滞納経験の割合は低くなっている。一方、クレジットカードや借金の支払い(R5のみ)は 17.9%と他の項目よりも高く、他の料金の支払いでクレジットカードを利用していることも考えられる。



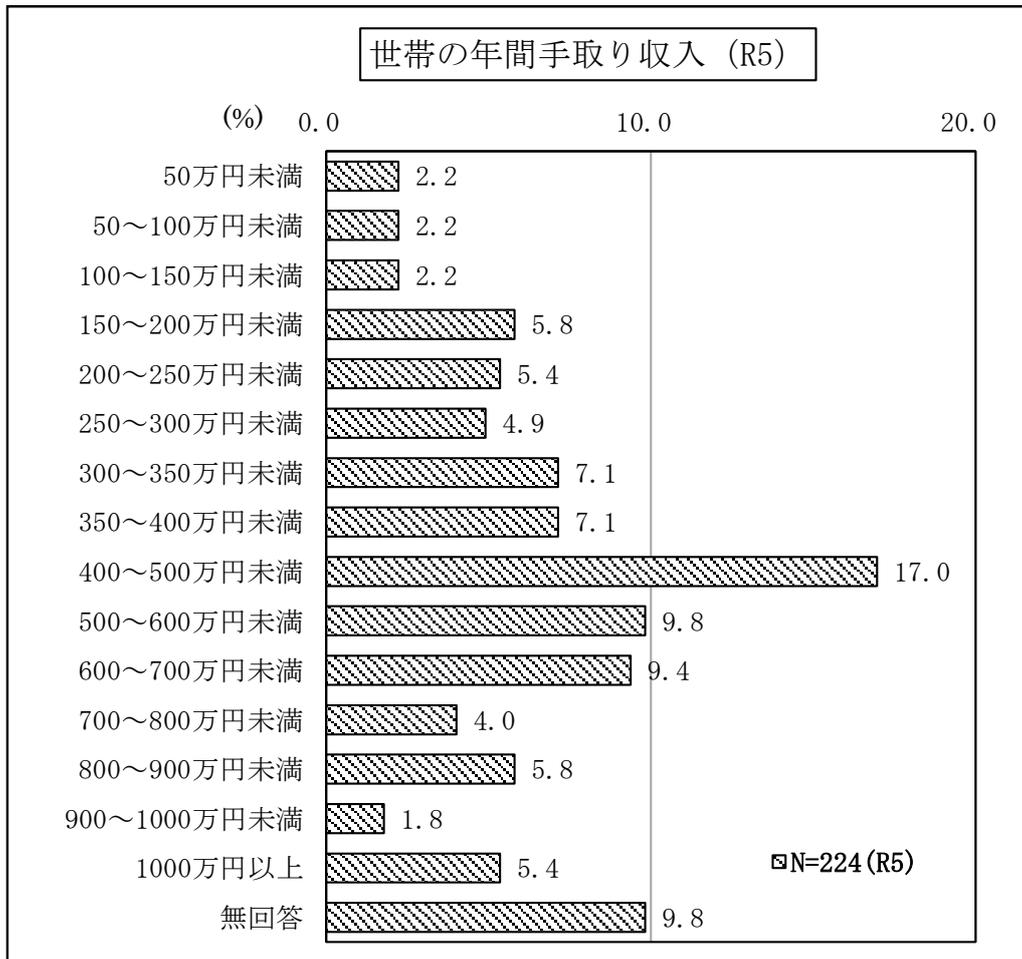
問 17 経済的理由で世帯にないもの ※あてはまるものすべてに○

・世帯にないものについては、「あてはまるものはない」が 49.6%が最も高く、次いで「新聞の定期購読」が 25.4%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が 23.7%である。



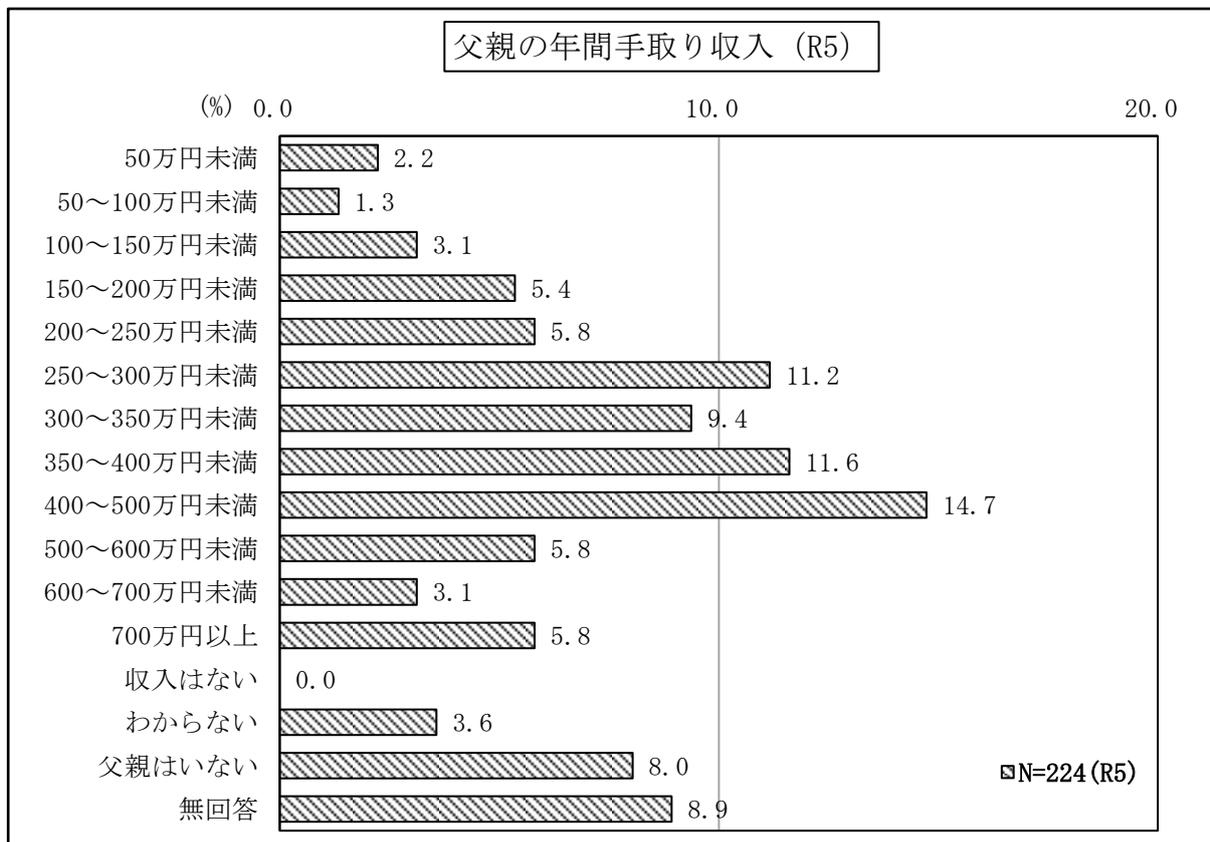
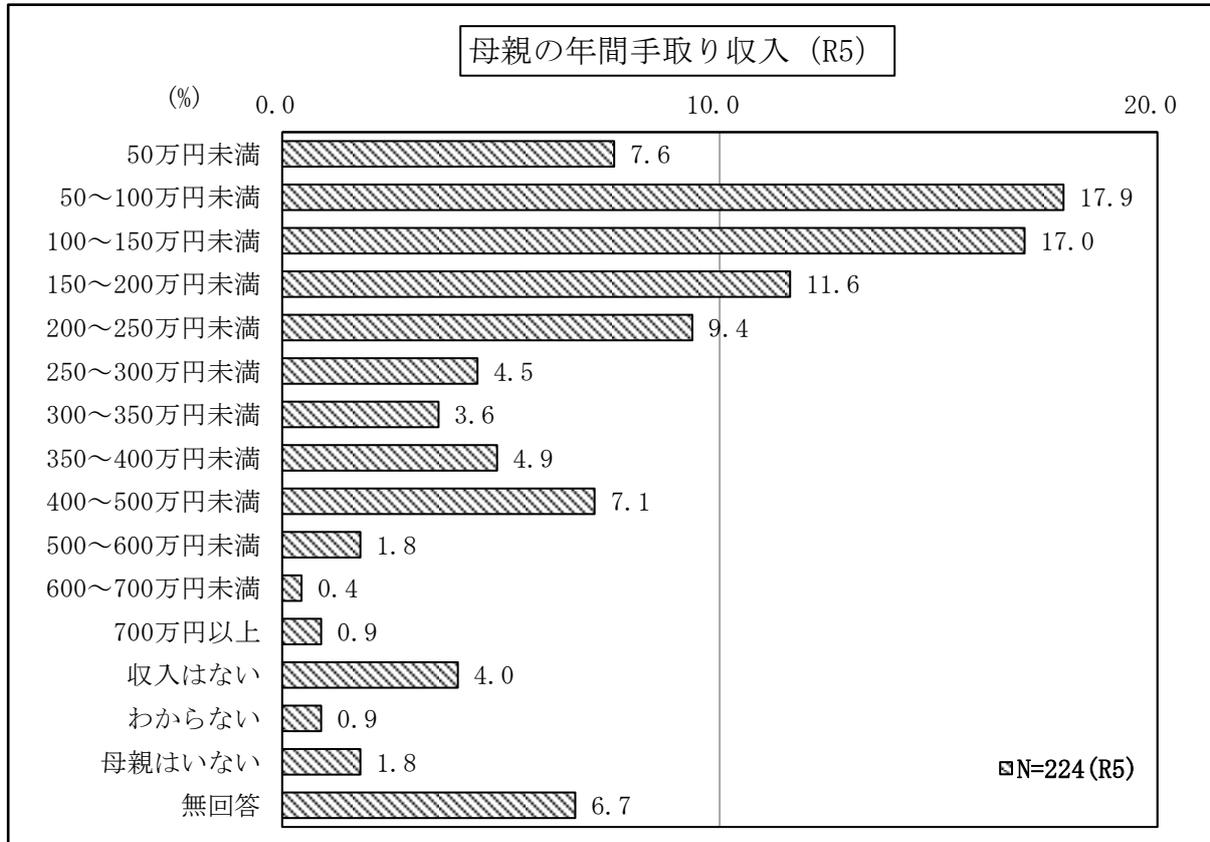
問 18 世帯の年間手取り収入

・世帯の年間手取り収入については、「400～500 万円未満」が 17.0%で最も高い。



問 18-1 親の年間手取り収入

・親の年間手取り収入については、母親では「50～100万円未満」が17.9%で最も高く、父親では「400～500万円未満」が14.7%で最も高くなっている。



問 19 支援制度の利用の有無

・支援制度の利用有無では、令和5年・平成30年共に同程度の利用割合である。「児童手当」は9割前後、次いで「こども医療費助成金」は7～8割程が制度を利用した経験がある。

灰色はR5のみの選択肢		
N=224 (R5) N=812 (H30)		現在利用している、 利用したことがある 単位：%
A. 児童手当	R5	88.4
	H30	95.0
B. 児童扶養手当	R5	34.8
	H30	39.7
C. 就学援助	R5	24.1
	H30	30.2
D. 生活保護	R5	1.3
	H30	3.0
E. 児童相談所（児童福祉司）	R5	3.1
	H30	2.6
F. スクールカウンセラー	R5	8.5
	H30	10.0
G. スクールソーシャルワーカー	R5	4.5
	H30	4.1
H. 高等学校等就学支援金	R5	9.4
	H30	12.4
I. 奨学のための給付金	R5	5.4
	H30	5.0
J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	R5	0.4
	H30	0.6
K. 生活福祉資金貸付金	R5	1.3
	H30	0.4
L. こども医療費助成金	R5	74.1
	H30	79.2
M. 生活困窮者の自立支援相談窓口	R5	1.8
	H30	-

※R5は「現在利用している」「現在利用していないが以前利用したことがある」を合算

(1) 支援制度を利用しなかった理由(R5のみ)

・支援制度を利用しなかった理由は、「制度の対象外だと思うから」がいずれの支援制度でも高い割合を占めており、「生活保護」の 65.2%が最も高くなっている。

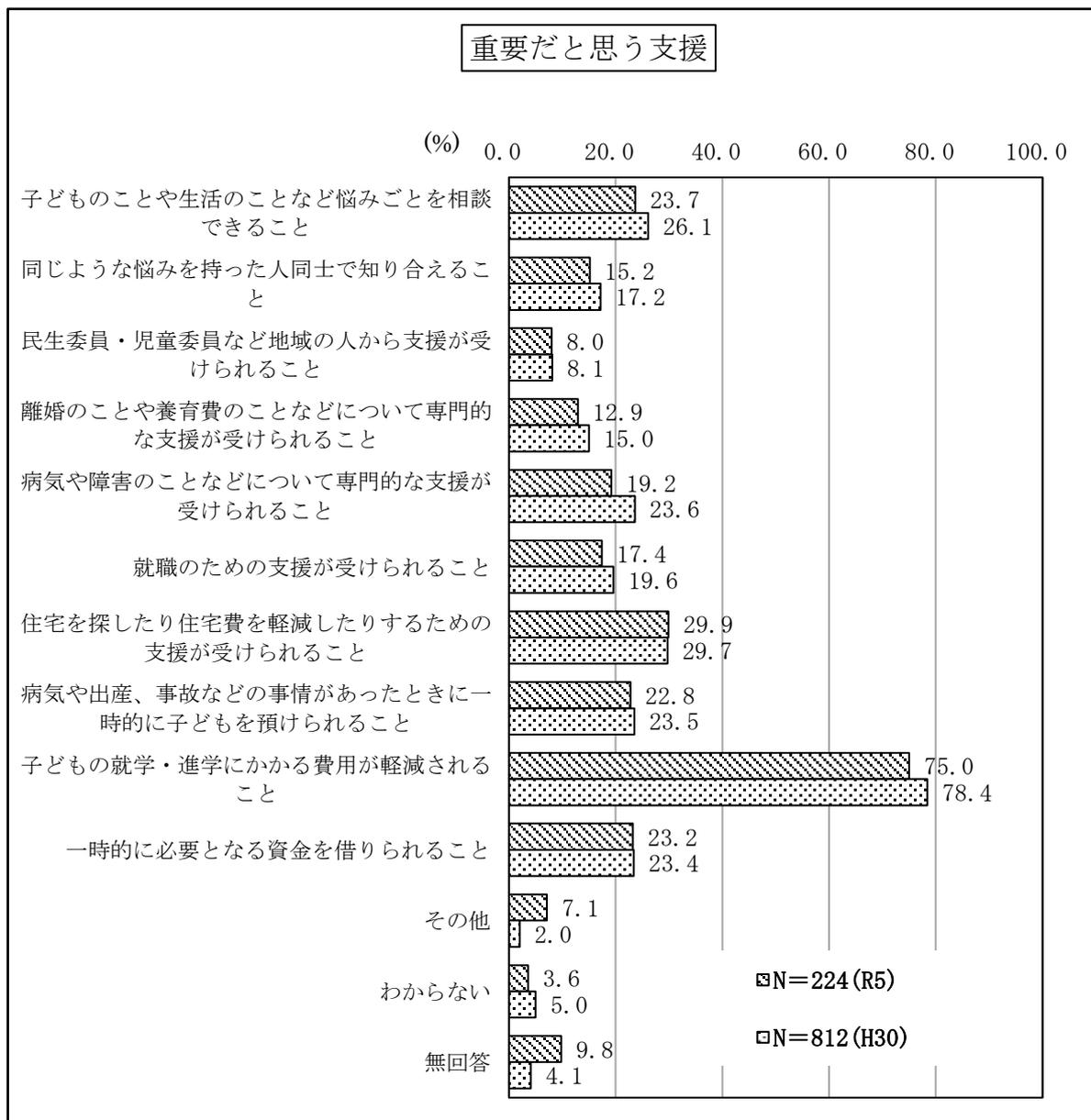
・「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が「児童相談所」、「スクールカウンセラー」、「スクールソーシャルワーカー」で 2 割程度となっている。

単位：%

N=224 (R5)	利用したことがない					無回答
	に利用はできないが、特になかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり利用しにくいから	利用したくないが、収入等の条件を満たさな	い) だと思うから	制度の対象外(収入を知らなかったから	
A. 児童手当	0.0	0.4	4.5	0.4	0.4	5.8
B. 児童扶養手当	0.4	2.2	38.4	4.0	7.6	12.5
C. 就学援助	1.8	1.3	54.9	0.0	4.0	13.8
D. 生活保護	1.8	0.4	65.2	0.9	11.6	18.8
E. 児童相談所(児童福祉司)	25.9	1.8	24.6	3.6	22.3	18.8
F. スクールカウンセラー	25.9	2.2	20.5	2.7	21.9	18.3
G. スクールソーシャルワーカー	25.9	2.7	21.4	4.5	22.8	18.3
H. 高等学校等就学支援金	4.0	2.2	37.1	8.5	21.0	17.9
I. 奨学のための給付金	4.0	4.9	37.5	10.7	19.2	18.3
J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	4.5	1.3	42.4	12.1	19.6	19.6
K. 生活福祉資金貸付金	4.0	0.9	42.0	12.5	19.2	20.1
L. こども医療費助成金	0.9	0.4	4.5	1.8	6.3	12.1
M. 生活困窮者の自立支援相談窓口	6.7	0.4	42.9	8.0	20.1	20.1

問 20 重要だと思う支援等 ※あてはまるものすべてに○

・令和5年と平成30年共に「子どもの就学・進学にかかる費用の軽減されること」が8割程で最も高い。次いで住宅費を軽減するための支援が3割程となっており、金銭的支援に関する項目が上位を占めている。

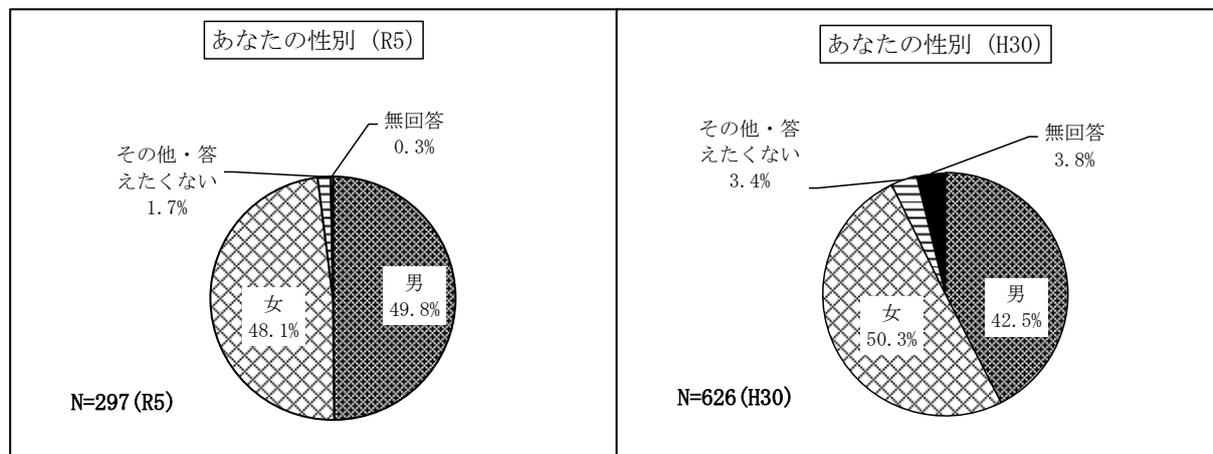


中学 2 年生調査結果

4. 中学2年生調査結果

問1 性別

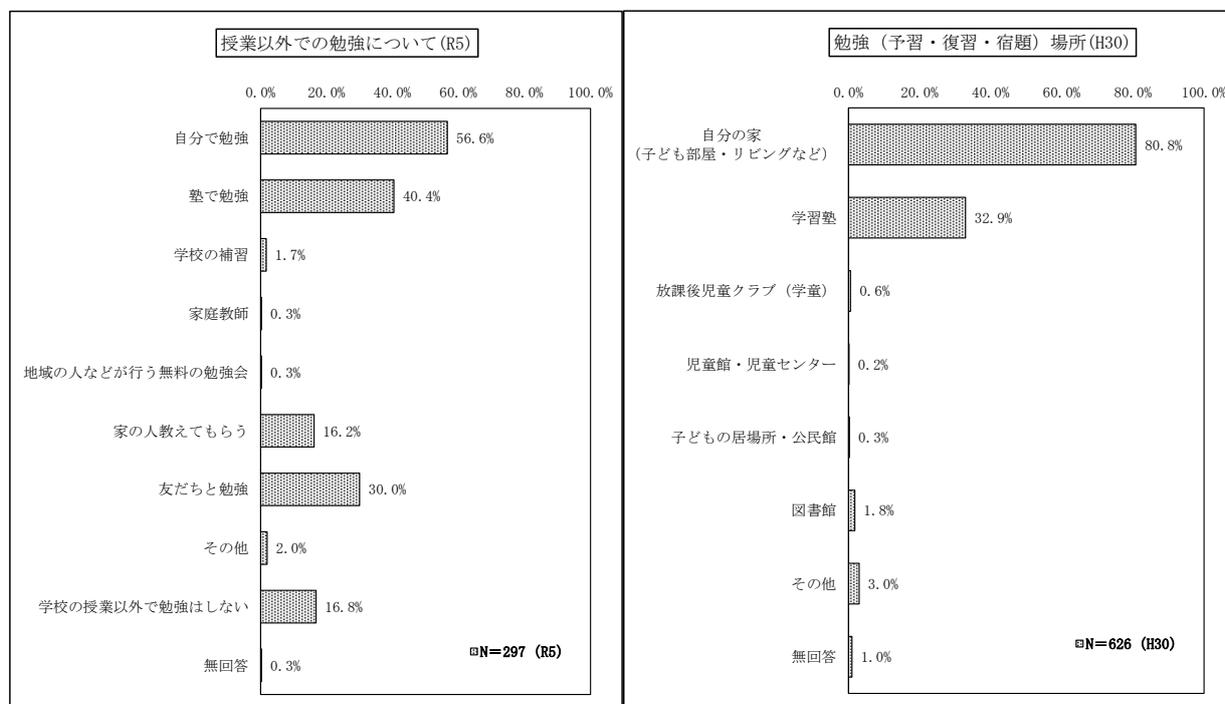
・令和5年では平成30年より「男」の割合が7.3ポイント高く、「女」の割合は2.2ポイント低くなっている。



問2 学校の授業以外での勉強 ※あてはまるものすべてに○

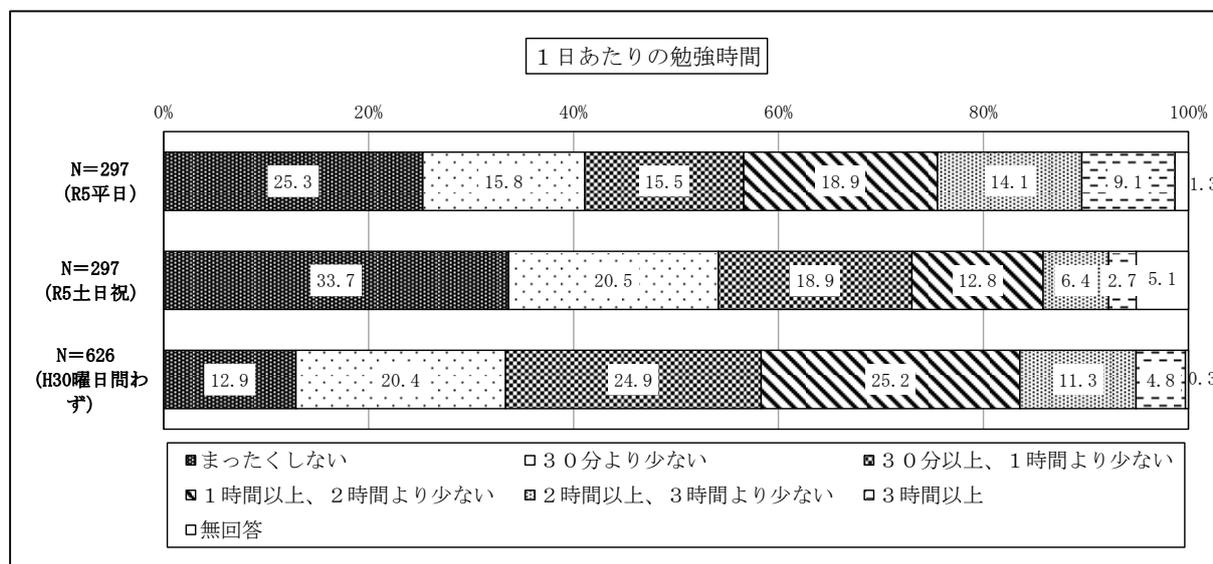
・学校の授業以外での勉強について、令和5年・平成30年共に「自分で勉強／自分の家で勉強」が最も高く、次いで「塾で勉強/学習塾」となっている。

・令和5年でみると、「友だちと勉強」が30.0%、「学校の授業以外で勉強はしない」が16.8%で続いている。



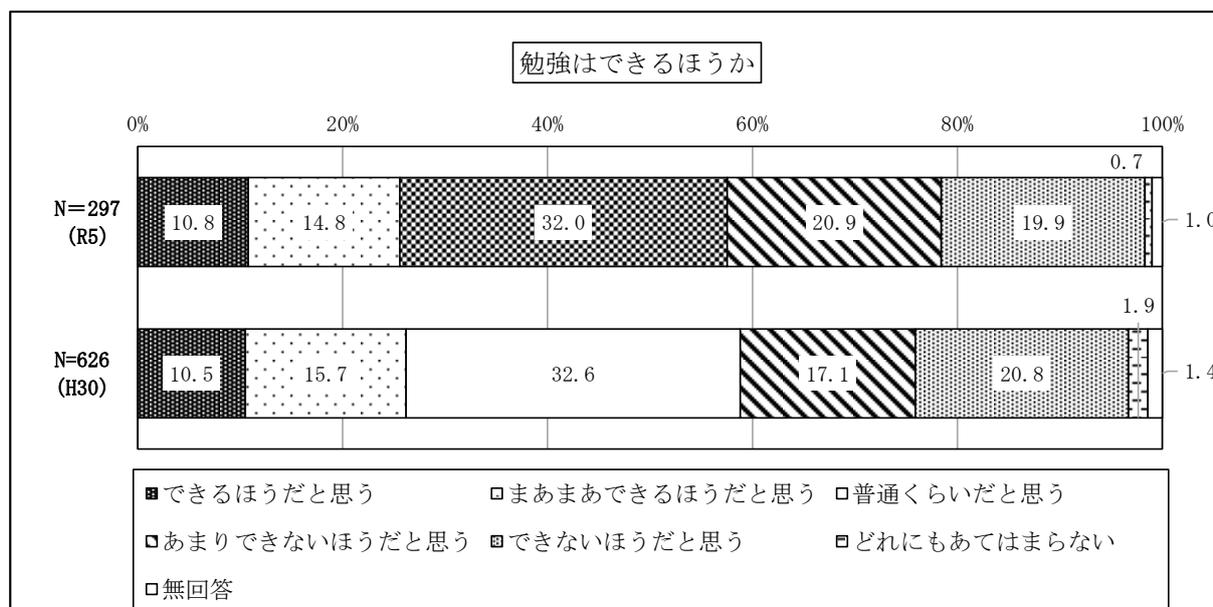
問3 授業以外での1日あたりの勉強時間

- ・授業以外での1日あたりの勉強時間については、「まったくしない」が平日(R5)・土日祝(R5)共に最も高い割合となっている。
- ・一方で平成30年では、「1時間以上、2時間より少ない」が25.2%と最も高くなっており、令和5年では平成30年より1日あたりの勉強時間は短くなっている。



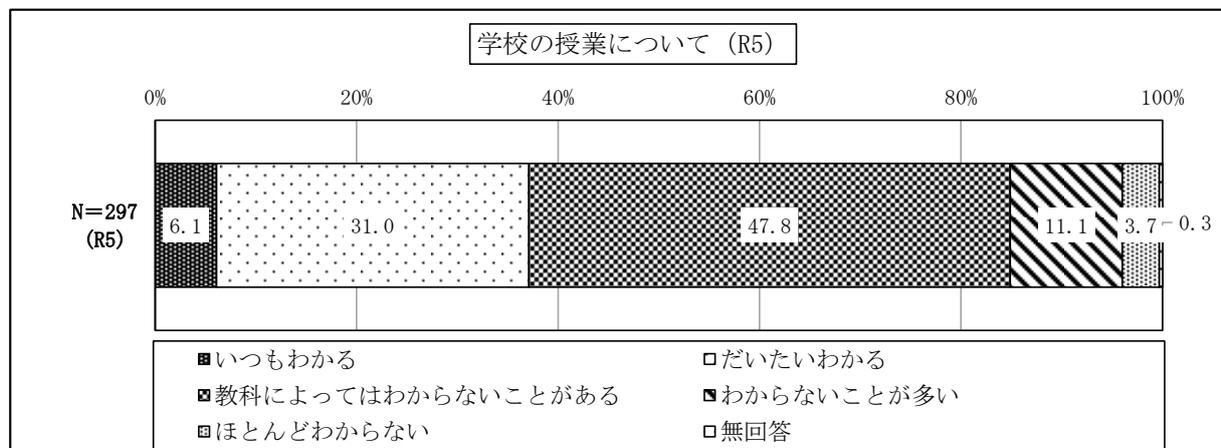
問4 勉強はできるか

- ・勉強については、令和5年は、平成30年より大きな変化は見られないが、「あまりできないほうだと思う」が平成30年より3.8ポイント高くなっている。



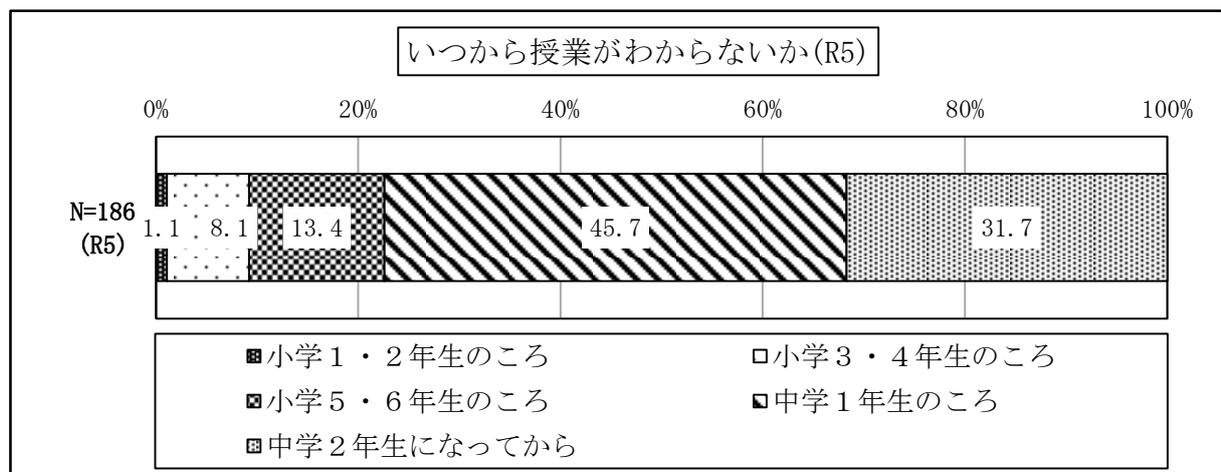
問5 授業がわからないことはあるか

・授業がわからないことはあるかについて、「教科によってはわからないことがある」が47.8%と最も高く、次いで「だいたいわかる」が31.0%となっている。



5-1 いつから授業がわからないか

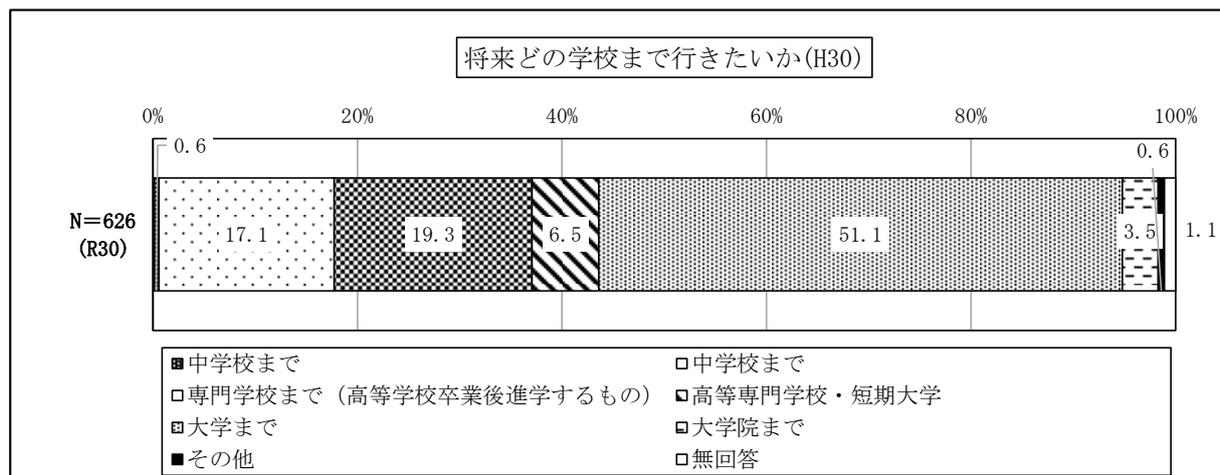
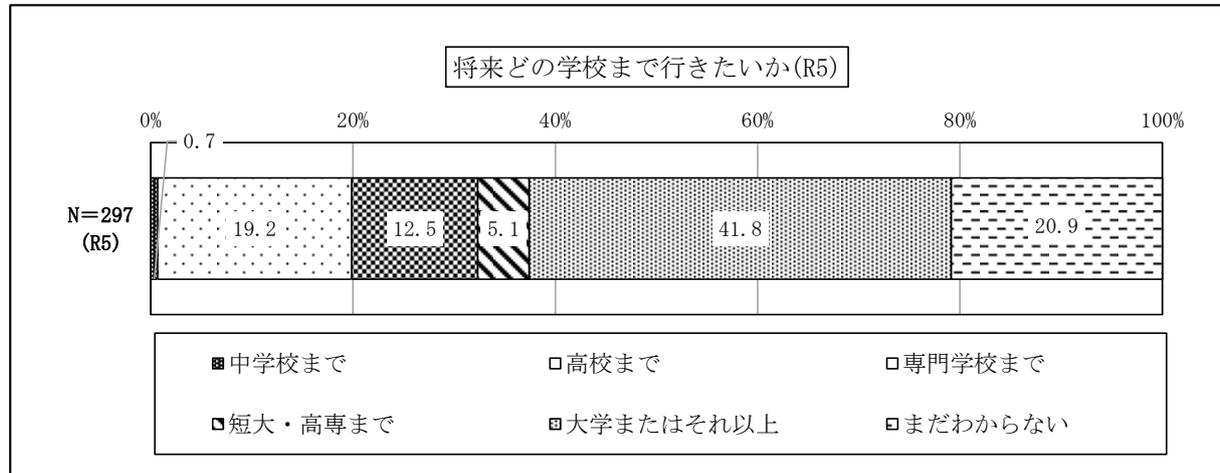
・いつから授業がわからないかについては、「中学1年生のころ」が45.7%で最も高く、次いで「中学2年生になってから」が31.7%、「小学5・6年生のころ」が13.4%である。



問6 将来どの学校まで行きたいか

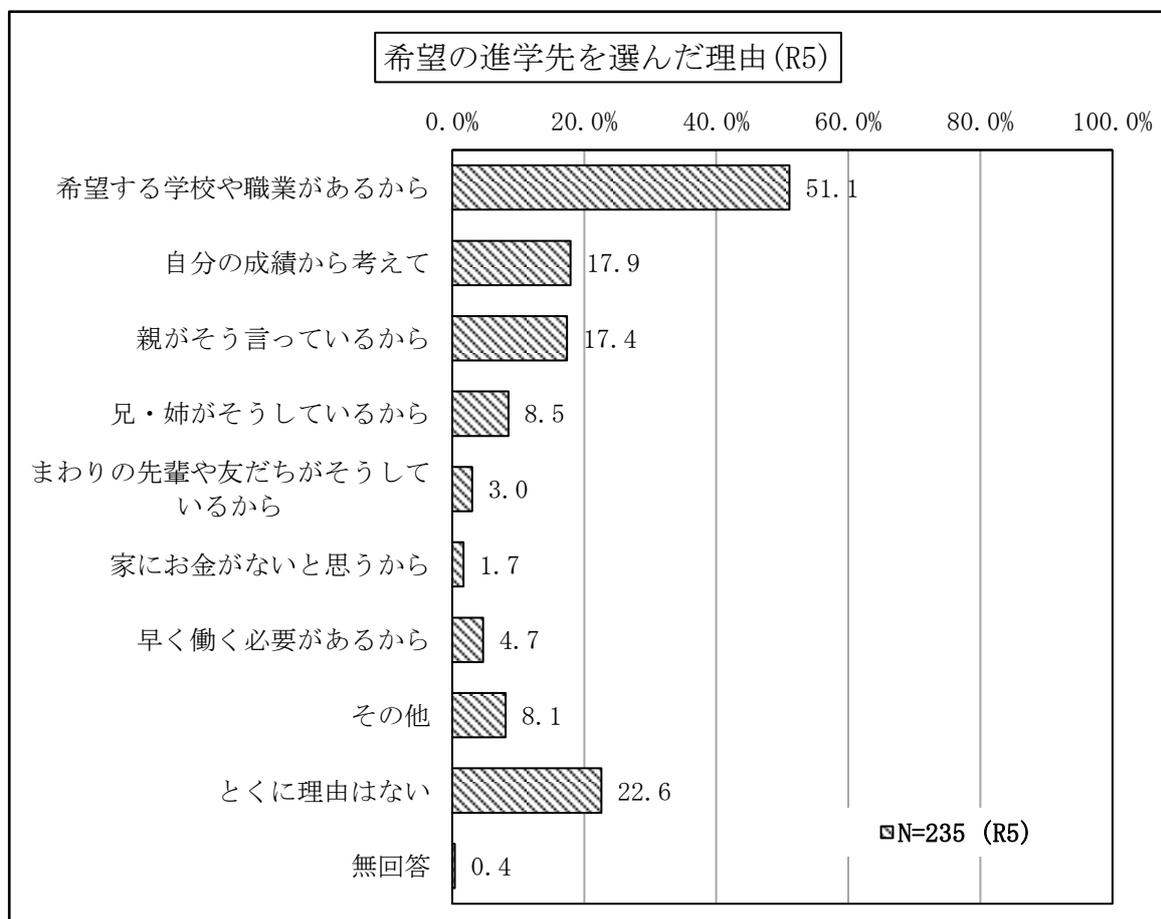
・将来の進学については、大学までを目指す割合が令和5年(41.8%)・平成30年(51.1%)共に最も高くなっている。

・「まだわからない」(R5のみ)は、20.9%となっており、将来の進学意向について定まっていない生徒が全体の2割程度いると思われる。



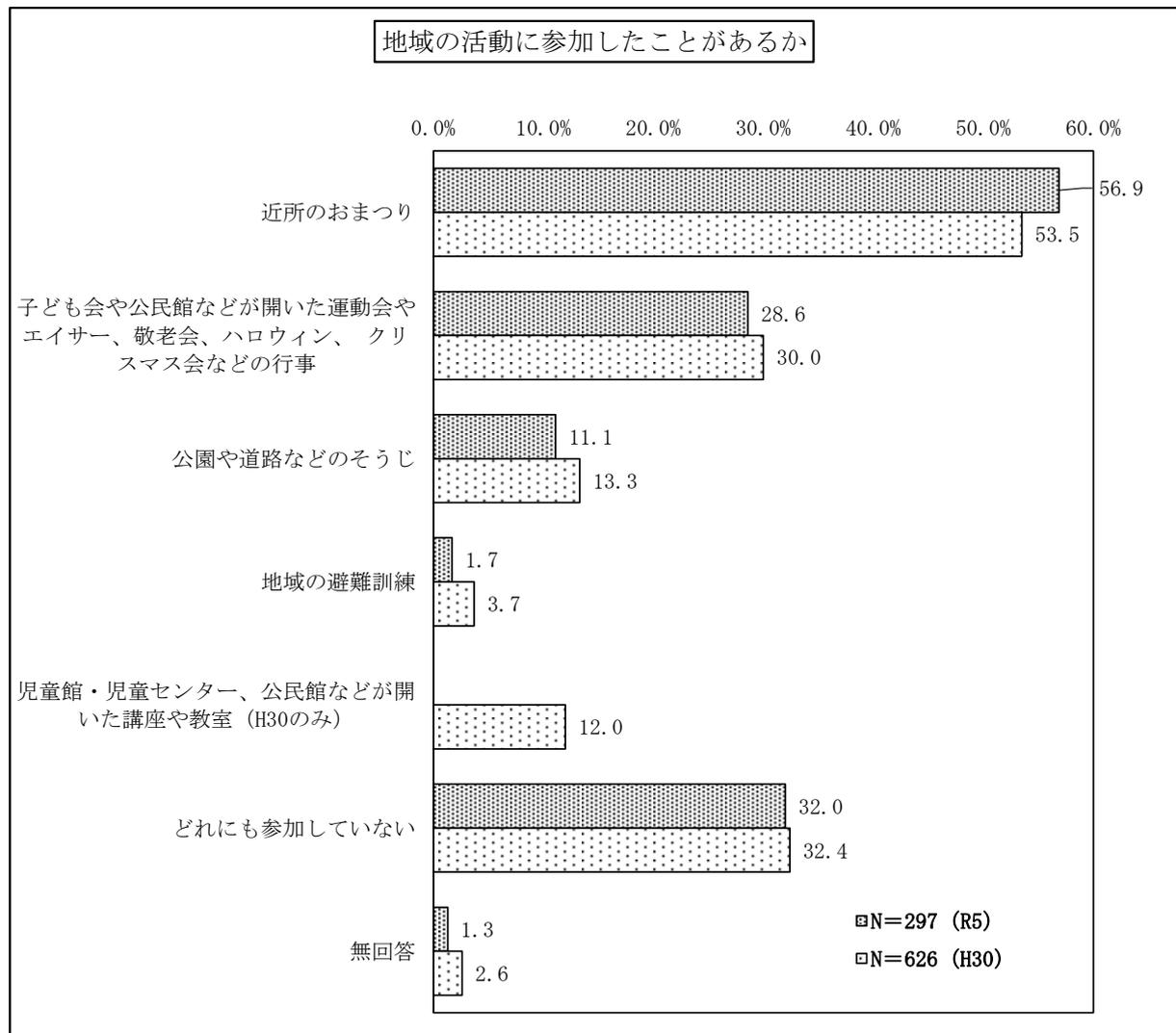
問6-1 希望の進学先を選んだ理由 ※あてはまるものすべてに○

・希望の進学先を選んだ理由については、「希望する学校や職業があるから」が51.1%で最も高く、次いで「とくに理由はない」が22.6%、「自分の成績から考えて」が17.9%、「親がそう言っているから」が17.4%となっている。



問7 地域の活動に参加したことがあるか ※あてはまるものすべてに○

・地域活動の参加については、令和5年・平成30年共に「近所のおまつり」が最も高い。それ以外の項目は平成30年のほうがやや高い。



問8 平日の放課後の過ごす場所

・平日の放課後については、毎日「自分の家」で過ごす割合が令和5年・平成30年共に最も高く、令和5年では平成30年より27.9ポイント高くなっている。

・一方で週3～4日では、「塾や習い事」が令和5年・平成30年共に最も高くなっている。

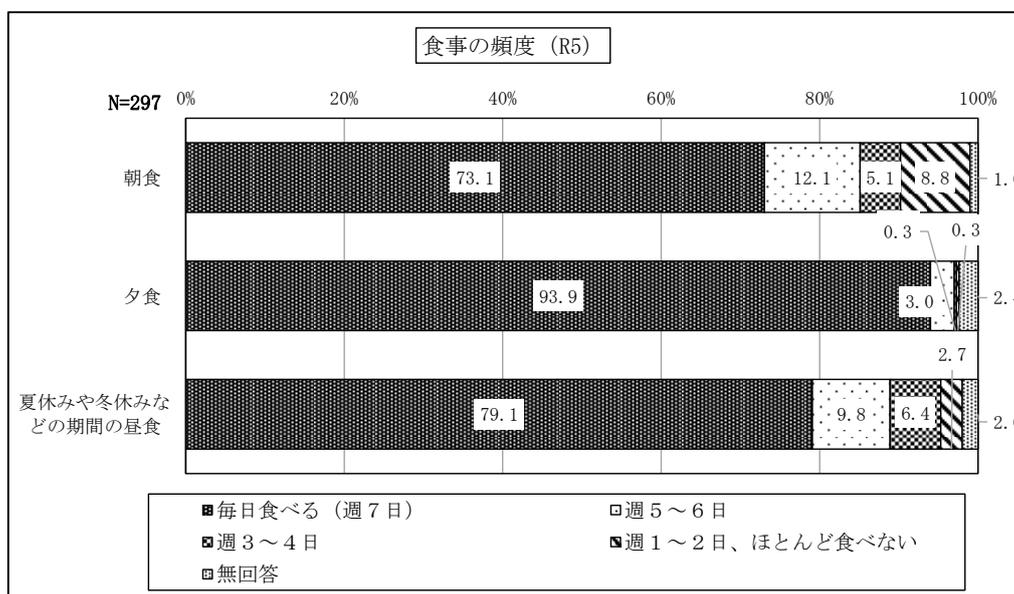
N=297 (R5) N=626 (H30)		※灰色は令和5年に追加選択肢				単位：%
		1. 毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. そこでは全く過ごさない	無回答
ア. 自分の家	R5	64.6	7.4	17.2	3.0	7.8
	H30	36.7	9.6	30.8	22.0	0.8
イ. 祖父母の家	R5	3.4	1.7	10.8	47.8	36.3
	H30	3.8	1.6	14.4	79.4	0.8
ウ. 友だちの家	R5	0.7	1.3	10.8	50.8	36.4
	H30	0.6	2.6	15.7	80.4	0.8
エ. 塾や習い事	R5	3.0	17.2	14.8	34.0	31.0
	H30	2.4	12.1	14.1	70.6	0.8
オ. 放課後児童クラブ	R5	0.7	1.0	0.7	59.9	37.7
	H30	-	-	-	-	-
カ. 児童館・児童センター	R5	0.3	0.0	0.0	60.9	38.8
	H30	1.1	0.5	1.3	96.3	0.8
キ. 学校 (部活動・放課後子ども教室など)	R5	7.1	8.1	4.4	47.1	33.3
	H30	-	-	-	-	-
ク. 子ども食堂などの地域の居場所	R5	0.3	0.0	1.0	59.9	38.8
	H30	0.5	0.3	1.4	97.0	0.8
ケ. 公民館	R5	0.3	0.0	1.3	59.9	38.5
	H30	0.0	0.0	0.6	99.4	0.0
コ. 地域のスポーツクラブなどの活動	R5	4.0	3.7	3.0	52.5	36.8
	H30	3.8	1.0	4.2	90.3	0.8
サ. 公園	R5	0.7	2.4	10.4	49.5	37.0
	H30	0.6	2.9	9.4	86.3	0.8
シ. 図書館	R5	0.3	0.3	3.0	57.6	38.8
	H30	0.6	0.8	2.2	95.5	0.8
ス. ゲームセンター	R5	0.7	0.7	3.7	56.9	38.0
	H30	0.2	1.4	5.0	92.7	0.8
セ. その他	R5	5.1	6.1	1.3	45.1	42.4
	H30	0.3	0.2	0.6	0.0	0.8

問9 食事の頻度

・食事の頻度については、「夕食」を「毎日食べる(週7日)」が93.9%で最も高い。

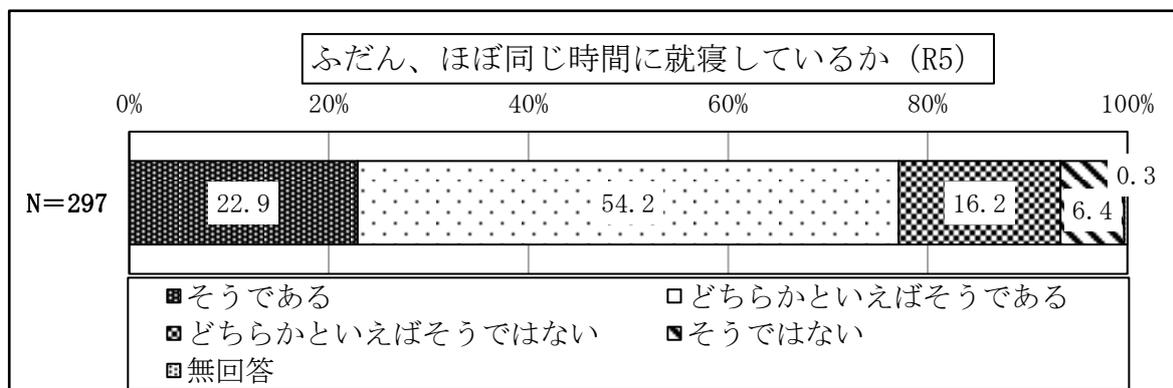
・「朝食」、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」は7～8割程となっており、中学生の食事の頻度は小学生と比べやや低くなる傾向がある。

・「週1～2日、ほとんど食べない」と回答した割合が、朝食で8.8%、夕食で0.3%、長期休み期間の昼食で2.7%となっており、食事の頻度が少ない生徒もいると考えられる。



問 10 ふだん（月曜日～金曜日）、ほぼ同じ時間に就寝しているか

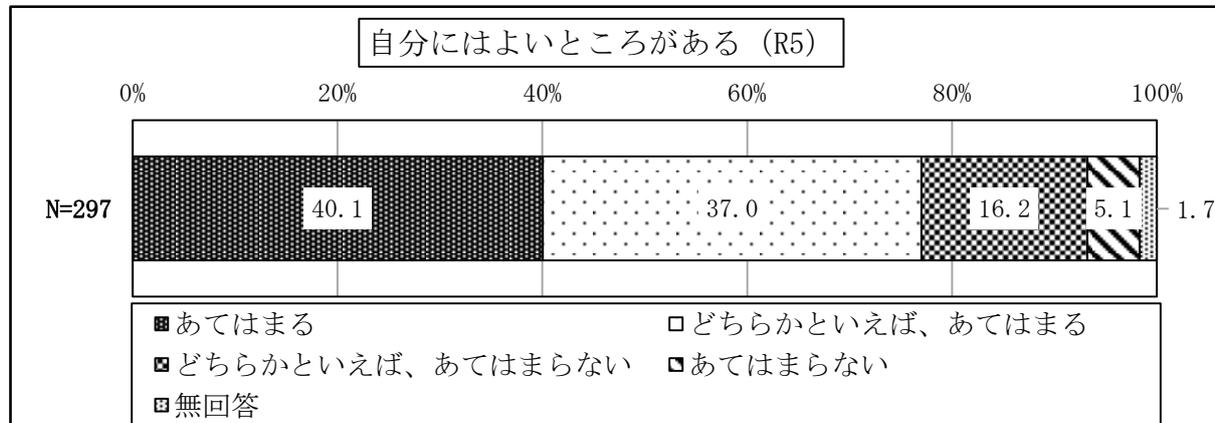
・就寝については、「どちらかといえばそうである」が 54.2%が最も高く、次いで「そうである」22.9%、「どちらかといえばそうではない」が 16.2%となっている。



問 11 あなたにどれくらいあてはまるか

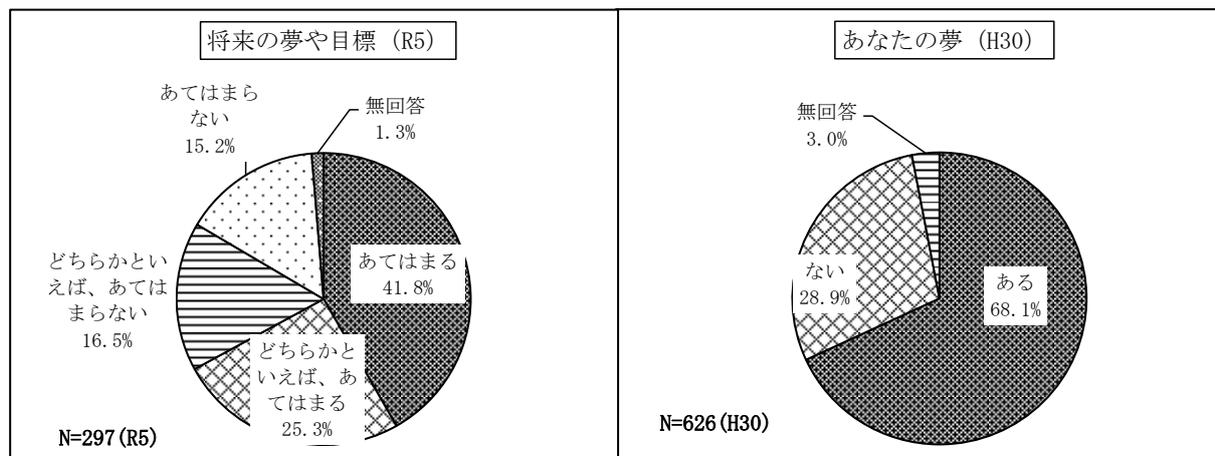
【自分には、よいところがあると思う】

・自分には、よい所があると思うについては、「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」を合わせると、77.1%と高い割合になっている。



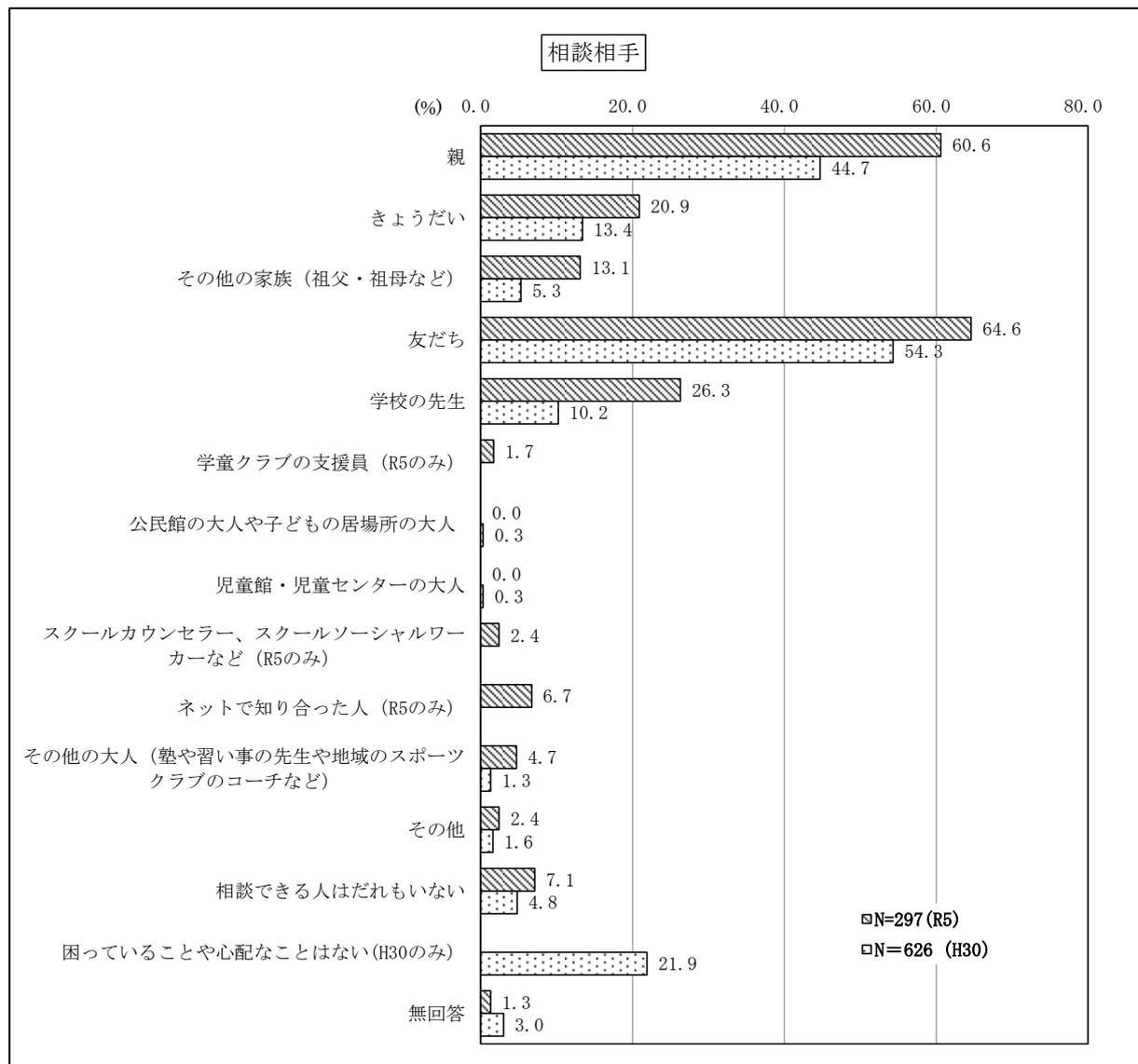
【将来の夢や目標をもっているか】

・将来の夢や目標をもっているかについては、令和5年の「あてはまる」「どちらかといえば、あてはまる」を合わせると67.1%、平成30年の「ある」は68.1%となっている。



問 12 相談できると思う人 ※あてはまるものすべてに○

・相談できると思う人については、令和5年では「友だち」が64.6%で「親」の60.6%より4ポイント高く、「学校の先生」は平成30年より16.1ポイント高くなっている。



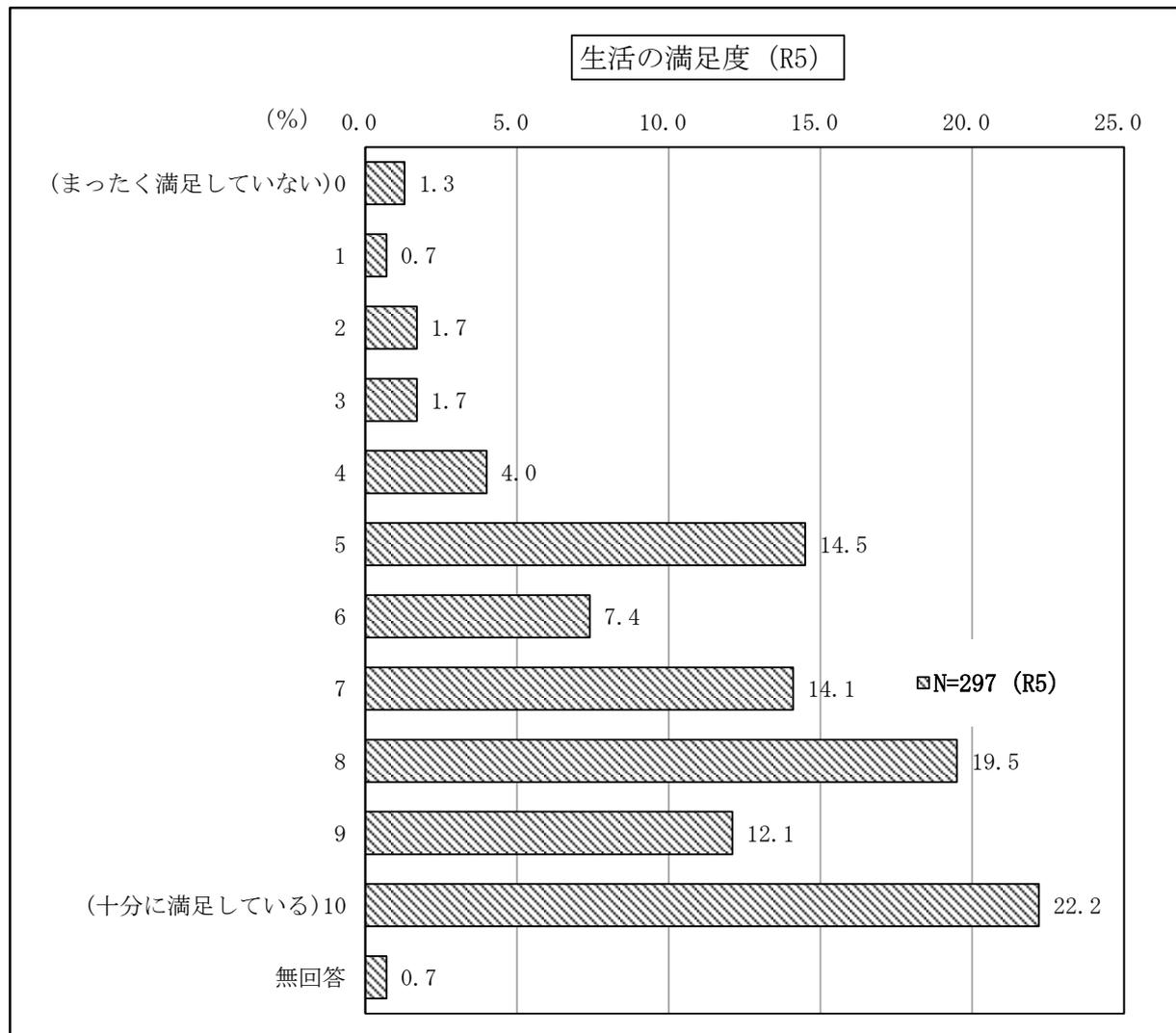
問 13 自分が使用できるもの

・自分が使用できるものについて、令和5年では「携帯電話、スマートフォン」を「持っている」が 82.2%で最も高くなっており、平成 30 年では「携帯電話、スマートフォン」を「ほしい」と回答した割合が 31.3%で最も高くなっており、携帯電話やスマートフォンの普及が進んだと考えられる。

N=297 (R5) N=626 (H30)		※灰色は令和5年に追加選択肢			単位：%
		持っている	持っていない		無回答
			ほしい	ほしくない	
①自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）	R5	54.5	10.1	31.3	4.1
	H30	63.4	10.5	24.8	1.3
②子ども部屋	R5	59.9	28.6	7.4	4.1
	H30	67.9	27.3	3.4	1.4
③インターネットにつながるパソコンやタブレット	R5	50.5	26.3	19.5	3.7
	H30	73.6	18.8	6.4	1.2
④自宅で宿題をすることができる場所	R5	74.7	12.1	9.1	4.1
	H30	-	-	-	-
⑤自分専用の勉強机	R5	66.0	17.8	11.8	4.4
	H30	75.6	12.5	10.9	1.0
⑥スポーツ用品 (野球のグローブや、サッカーボールなど)	R5	57.6	6.1	32.7	3.6
	H30	69.0	8.0	22.0	1.0
⑦ゲーム機	R5	69.4	11.1	16.2	3.3
	H30	66.1	5.6	26.7	1.6
⑧たいていの友だちが持っているおもちゃ	R5	33.0	6.4	54.9	5.7
	H30	43.3	14.7	40.4	1.6
⑨自転車	R5	37.7	25.6	32.0	4.7
	H30	41.2	24.1	33.5	1.2
⑩おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい	R5	63.6	22.6	9.1	4.7
	H30	65.8	24.8	8.1	1.3
⑪友だちが着ているのと同じような服	R5	35.4	15.5	42.8	6.3
	H30	44.1	13.3	41.4	1.2
⑫2足以上のサイズのあった靴	R5	69.4	11.8	13.8	5.0
	H30	-	-	-	-
⑬携帯電話、スマートフォン	R5	82.2	13.5	1.7	2.6
	H30	63.6	31.3	4.2	0.9
⑭携帯音楽プレイヤーなど	R5	45.1	22.9	26.9	5.1
	H30	45.7	29.2	23.8	1.3

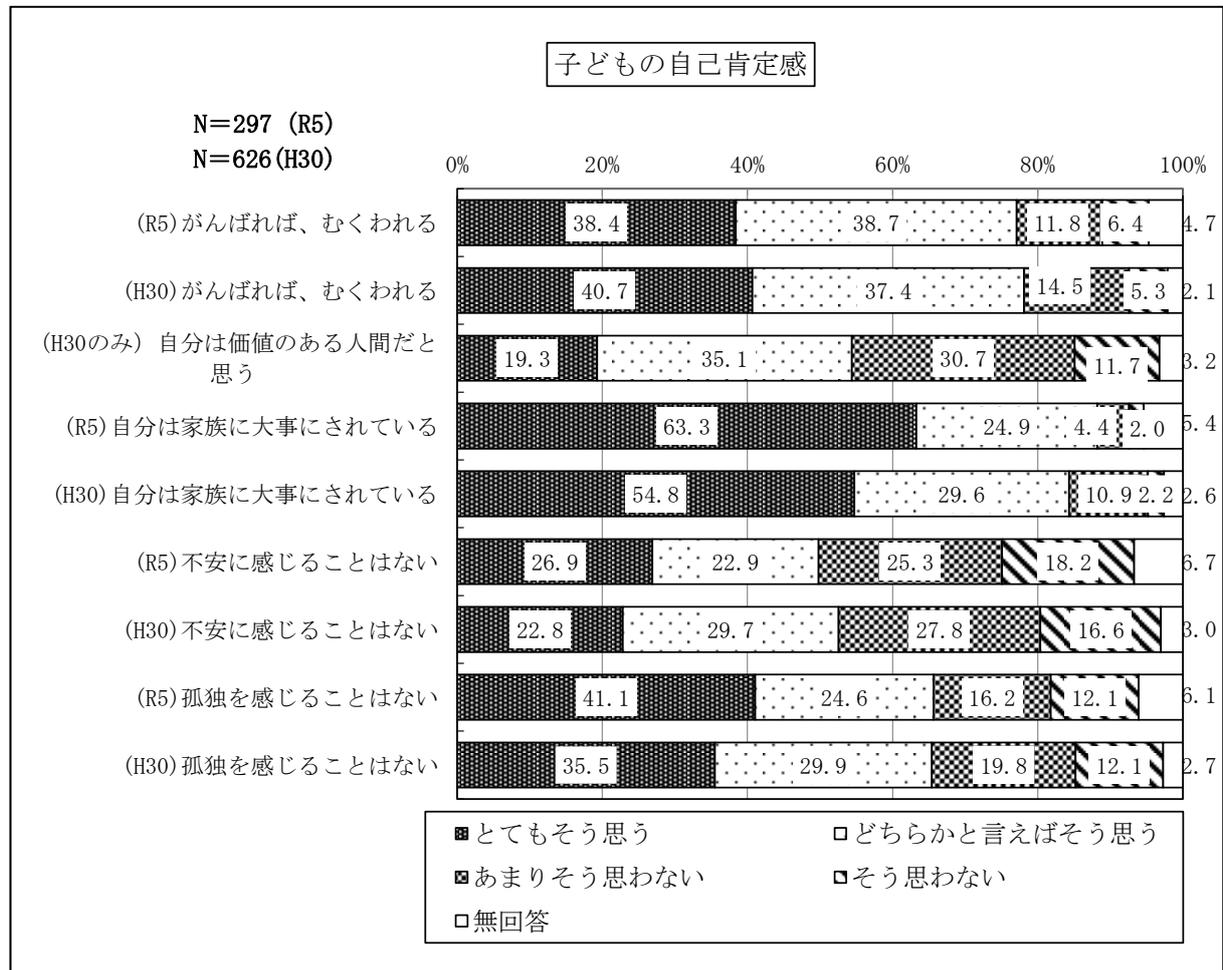
問 14 生活の満足度

- ・生活の満足度については、10 段階評価のうち、満足度「10」が最も高い割合で 22.2%を占めており、次いで満足度「8」が 19.5%となっている。
- ・また、満足度「8」～満足度「10」で 53.8%となっており、生活の満足度が高いと思われる生徒は半数以上となっている。



問 15 子どもの自己肯定感

・子どもの自己肯定感について、「自分は家族に大事にされている」が令和5年では平成 30 年より 8.5 ポイント高くなっているが、その他の項目で大きな変化はみられない。



問 16 学校や家庭でのできごと

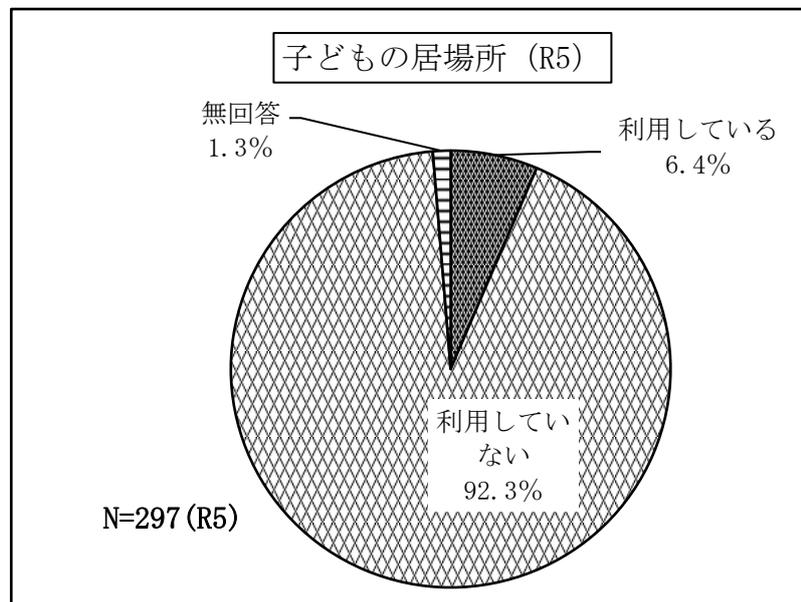
・学校や家庭でのできごとについては、「①学校に行きたくないと思った」の項目で「よくあった」と答えた人の割合が平成 30 年よりも7ポイント高くなっている。

※灰色は令和 5 年に追加選択肢 単位：%

		よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	答えたくない・わからない	無回答
N=297 (R5) N=626 (H30)							
①学校に行きたくないと思った	R5	24.6	37.0	19.5	16.5	0.7	1.7
	H30	17.6	34.7	22.2	24.1	0.6	0.8
②1ヶ月以上学校に行けなかった	R5	2.4	3.4	6.7	82.5	2.0	3.0
	H30	1.9	2.4	2.6	90.4	1.6	1.1
③いじめられた	R5	2.7	8.1	8.8	70.7	6.7	3.0
	H30	2.6	4.3	8.3	80.4	3.8	0.6
④夜遅くまで子どもだけで過ごした	R5	2.4	12.1	19.2	61.3	1.0	4.0
	H30	1.4	8.0	14.7	73.6	1.4	0.9
⑤学校に遅刻した	R5	5.1	16.2	19.2	54.5	2.7	2.3
	H30	-	-	-	-	-	-
⑥これまでに家事や家族の世話で勉強する時間がとれなかった	R5	1.0	7.1	14.1	69.7	4.7	3.4
	H30	-	-	-	-	-	-

問 17 子どもの居場所

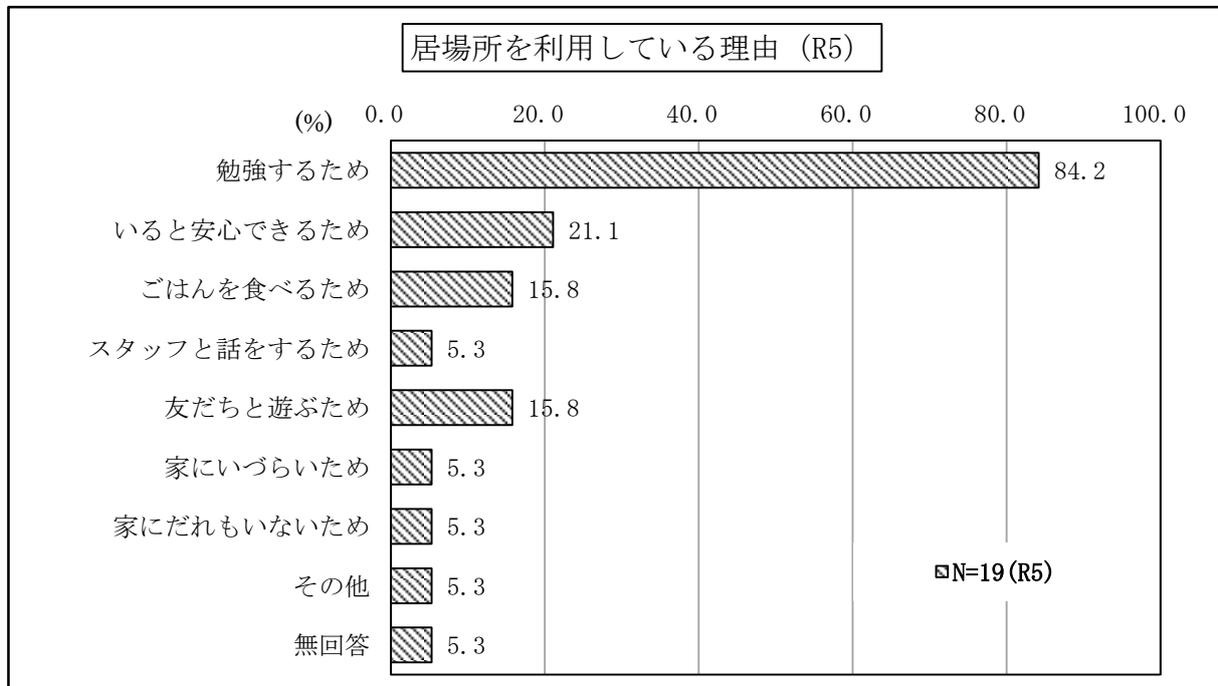
・子どもの居場所については、「利用していない」が92.3%、「利用している」が6.4%となっており、小学生に比べ利用している割合は低くなっている。



問 17-1 子どもの居場所を利用する理由（問 17 で「利用している」を選んだ方）

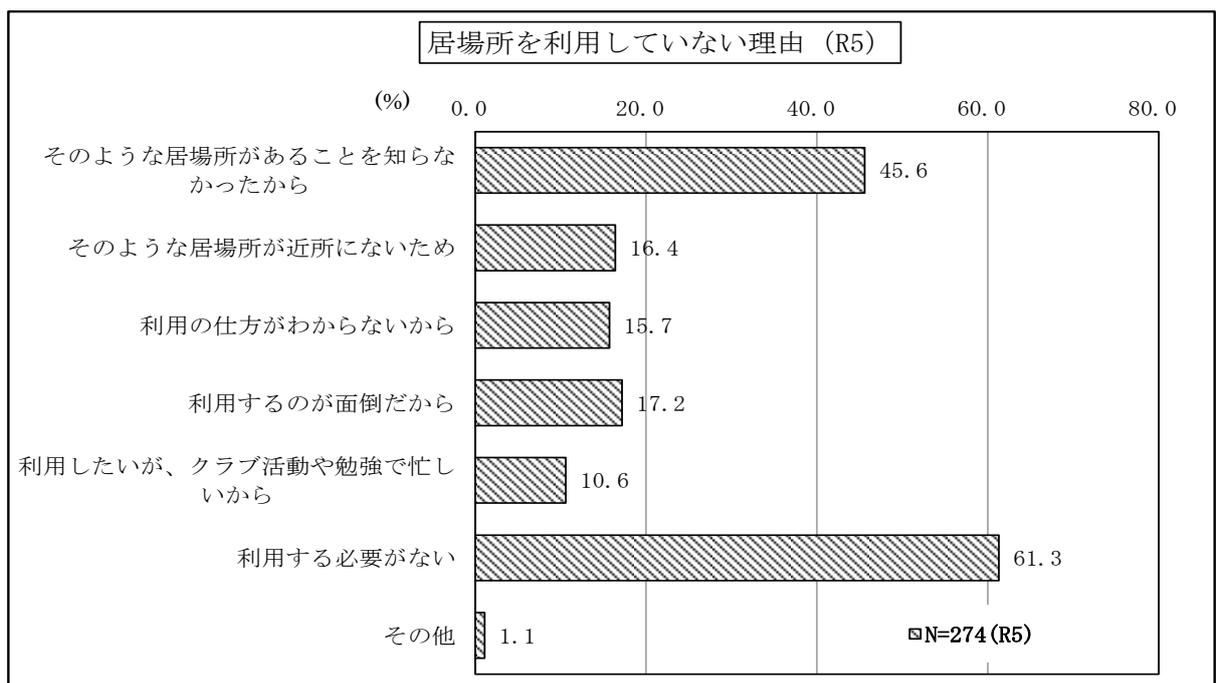
※あてはまるものすべてに○

・子どもの居場所を利用する理由については、「勉強するため」が 84.2%でもっとも高く、次いで「いると安心できるため」が 21.1%、「ごはんを食べるため」「友だちと遊ぶため」が 15.8%となっている。



問 17-2 子どもの居場所を利用していない理由（問 17 で「利用していない」を選んだ方） ※あてはまるものすべてに○

・居場所を利用していない理由について、「利用する必要がない」が 61.3%で最も高く、次いで「そのような居場所があることを知らなかったから」が 45.6%、「利用するのが面倒だから」が 17.2%となっている。

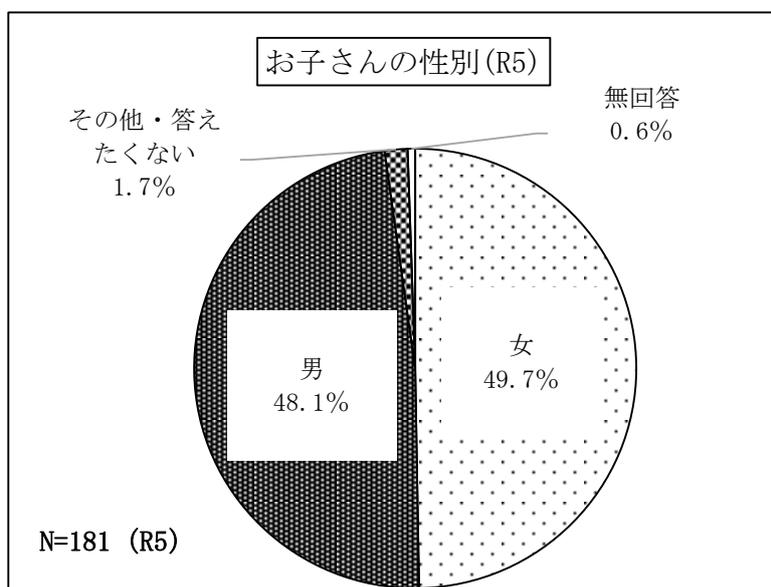


中学 2 年生保護者調査結果

5. 中学2年生保護者調査結果

問1 お子さんの性別

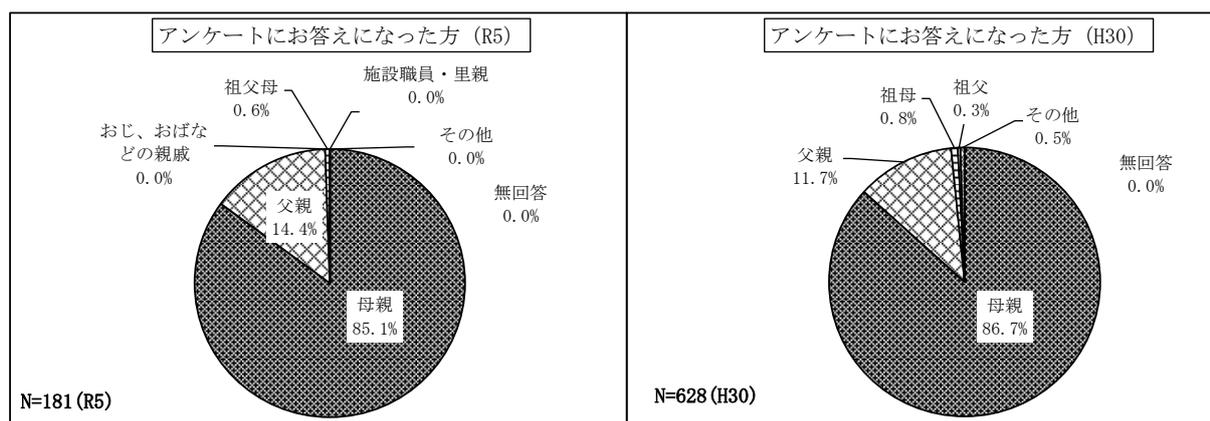
・お子さんの性別については、「女」が49.7%、「男」が48.1%である。



問2 子どもとの続柄

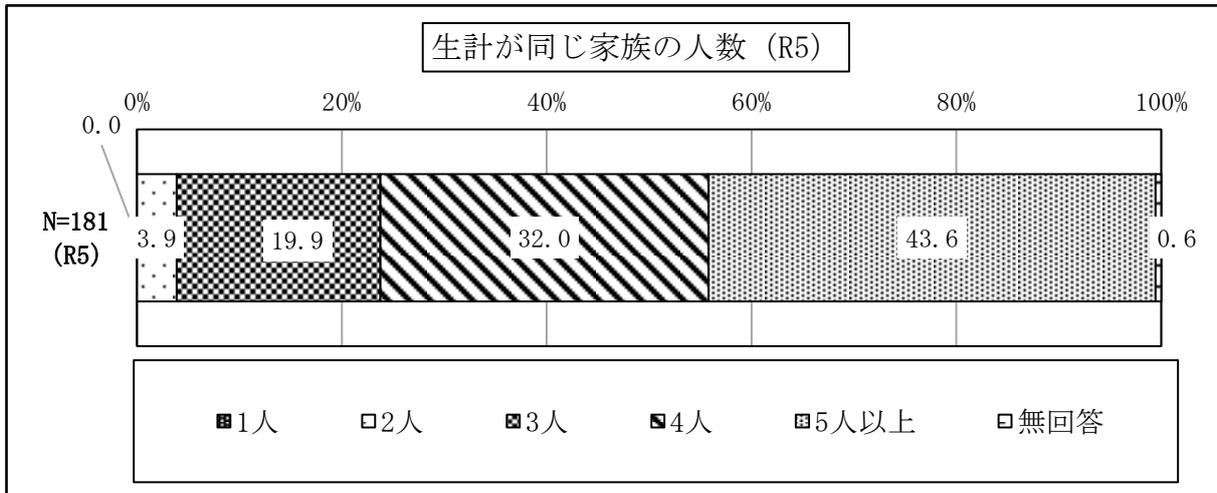
・回答者の子供との続柄については、令和5年・平成30年共に「母親」が85%程度となっている。

・「父親」の回答は、令和5年では平成30年より2.7ポイント高くなっているが、母親に比べ低い割合となっている。



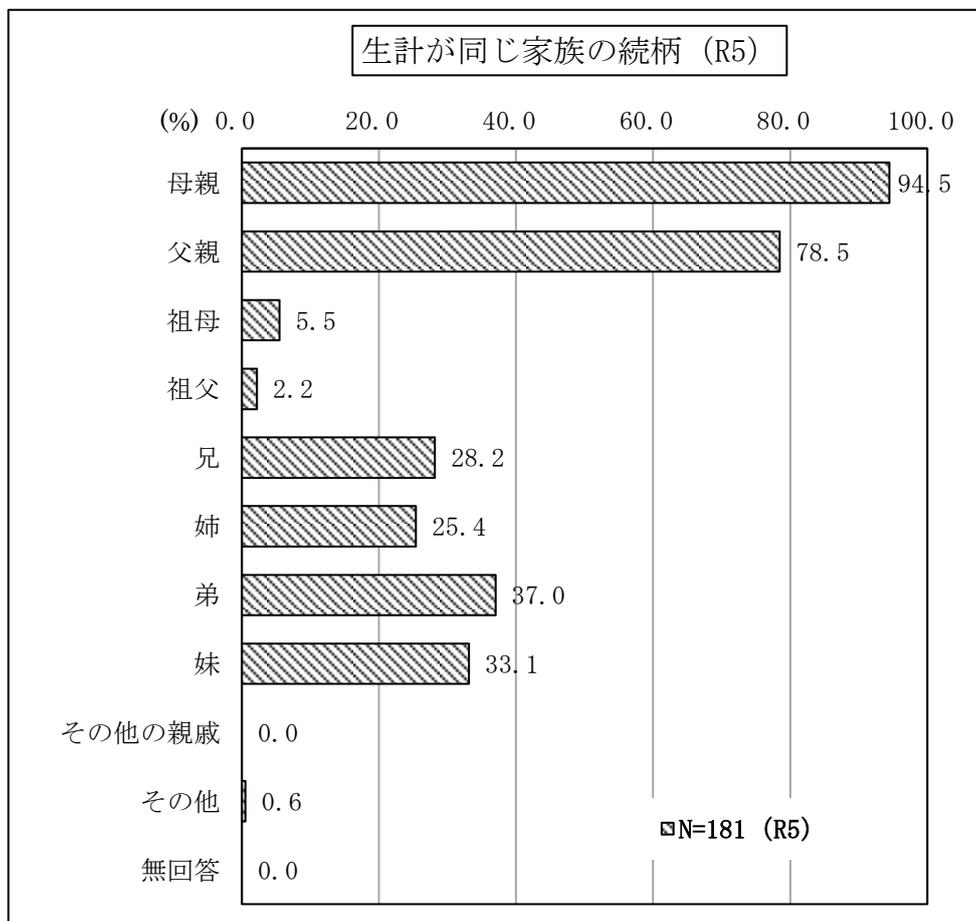
問3 生計が同じ家族の人数

・家族の人数については、「5人以上」が43.6%で最も高く、次いで「4人」が32.0%である。



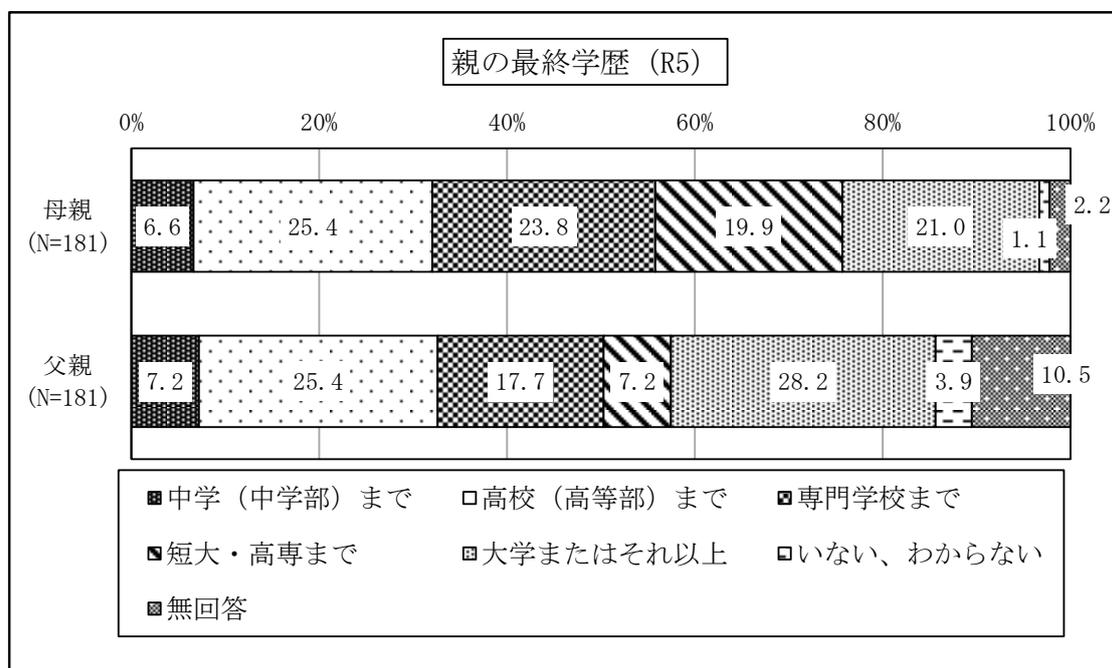
問4 子どもと生計が同じ家族の続柄 ※あてはまるものすべてに○

・子どもとの続柄については、「母親」が94.5%で最も高く、次いで「父親」が78.5%となっている。



問5 親の最終学歴

・親の最終学歴について、「短大・高専まで」では、母親が19.9%に対し、父親は7.2%となっている。一方で「大学またはそれ以上」では、父親が28.2%に対し、母親は21.0%となっており、最終学歴は、父母により異なる傾向がみられた。



問6 母親の就労状況

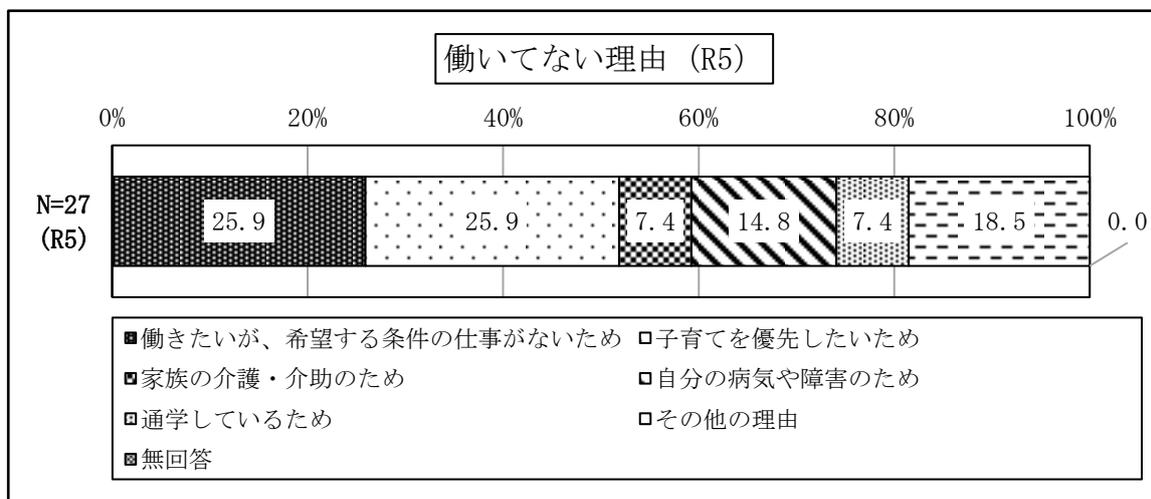
・母親の就労状況は、令和5年・平成30年では雇用形態の選択肢が異なっているが、令和5年・平成30年共に正社員(職員・役員)とパート等の割合が高くなっている。小学5年生保護者と比較しても近似した内訳となっている。

母親の就労状況 (R5)		N=181	
	件数	%	
正社員・正規職員・会社役員	64	35.4	
嘱託・契約社員・派遣職員	14	7.7	
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	58	32.0	
自営業	13	7.2	
いない、わからない	5	2.8	
働いていない	27	14.9	
無回答	0	0	
合計	181	100.0	

母親の就労状況 (H30)		N=495	
	件数	%	
会社役員	23	4.6	
民間企業の正社員	113	22.8	
公務員などの正職員	37	7.5	
団体職員	5	1.0	
契約社員・派遣社員・嘱託社員	59	11.9	
パート・アルバイト・日雇い・	188	38.0	
自営業 (専従業者を含む)	36	7.3	
自由業	1	0.2	
その他の働き方をしている	5	1.0	
無回答	28	5.7	
合計	495	100.0	

問6-1 働いていない理由（母親）

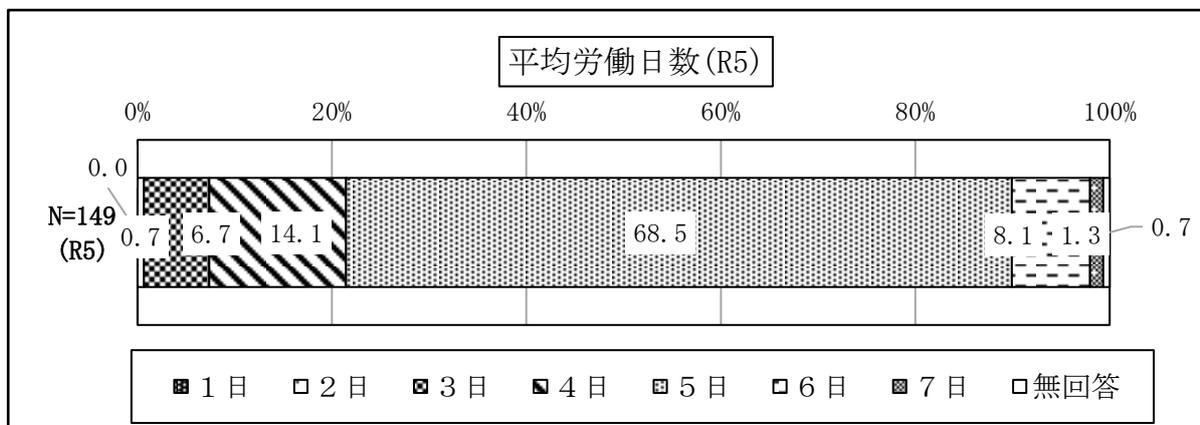
・働いていない理由については、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「子育て優先したいため」が共に 25.9%と最も高くなっている。



問6-2 労働日数と労働時間について（母親）

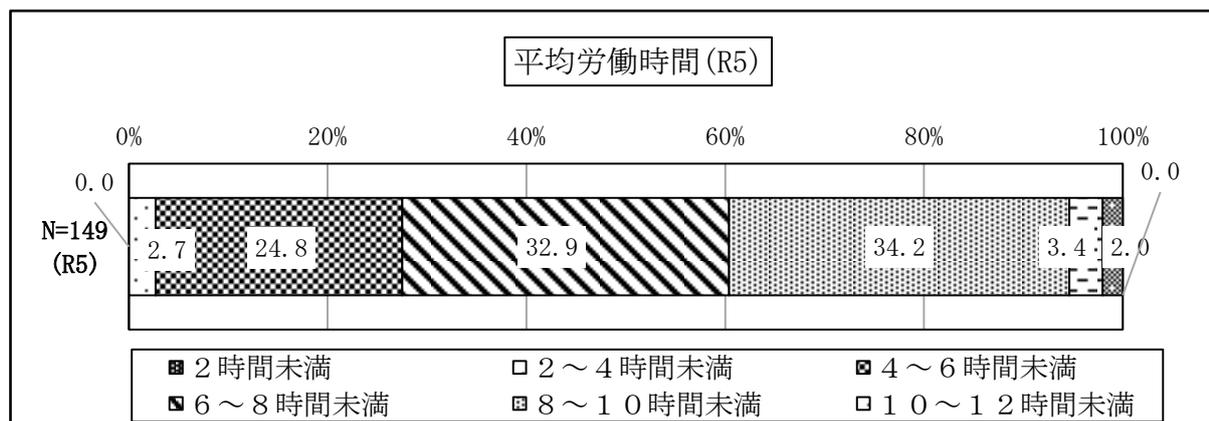
① 平均労働日数

・平均労働日数については、「5日」が 68.5%で最も高く、次いで「4日」の 14.1%となっている。



② 平均労働時間

・平均労働時間については、「8～10 時間未満」が 34.2%で最も高くなっている。



問7 父親の就労状況

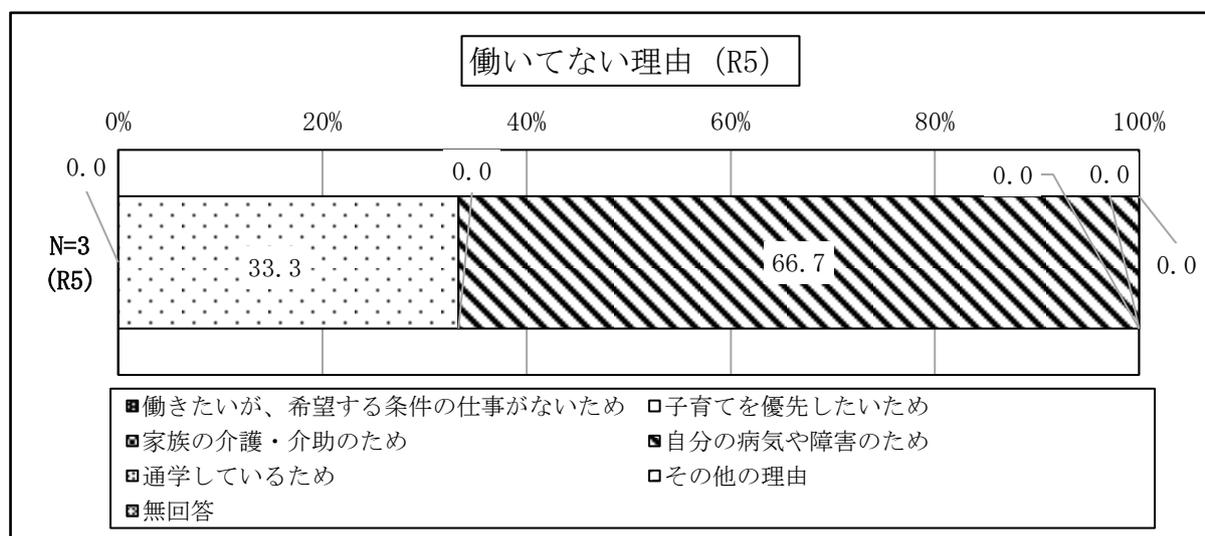
・父親の就労状況は、令和5年・平成30年では雇用形態の選択肢が異なっているが、共に「正社員・正規職員・会社役員」(R5)、「正社員(会社役員/民間企業の正社員/公務員などの正職員)」(H30)の割合が高くなっている。

	件数	%
正社員・正規職員・会社役員	116	64.1
嘱託・契約社員・派遣職員	3	1.7
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	1.7
自営業	23	12.7
いない、わからない	28	15.5
働いていない	3	1.7
無回答	5	2.8
合計	181	100.0

	件数	%
1. 会社役員	52	10.1
2. 民間企業の正社員	231	44.9
3. 公務員などの正職員	59	11.5
4. 団体職員	11	2.1
5. 契約社員・派遣社員・嘱託社員	33	6.4
6. パート・アルバイト・日雇い・	16	3.1
7. 自営業(専従業者を含む)	86	16.7
8. 自由業	1	0.2
9. その他の働き方をしている	4	0.8
無回答	22	4.3
合計	515	100.0

問7-1 働いていない理由(父親)

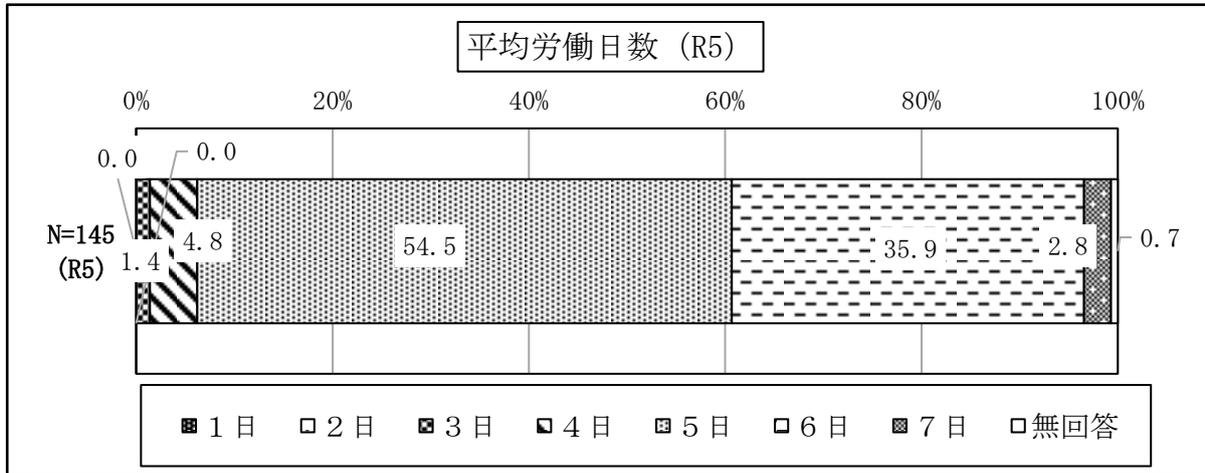
・働いていない理由については、「自分の病気や障害のため」が66.7%で最も高く、次いで「子育てを優先したいため」の33.3%となっている。



問7-2 労働日数と労働時間について（父親）

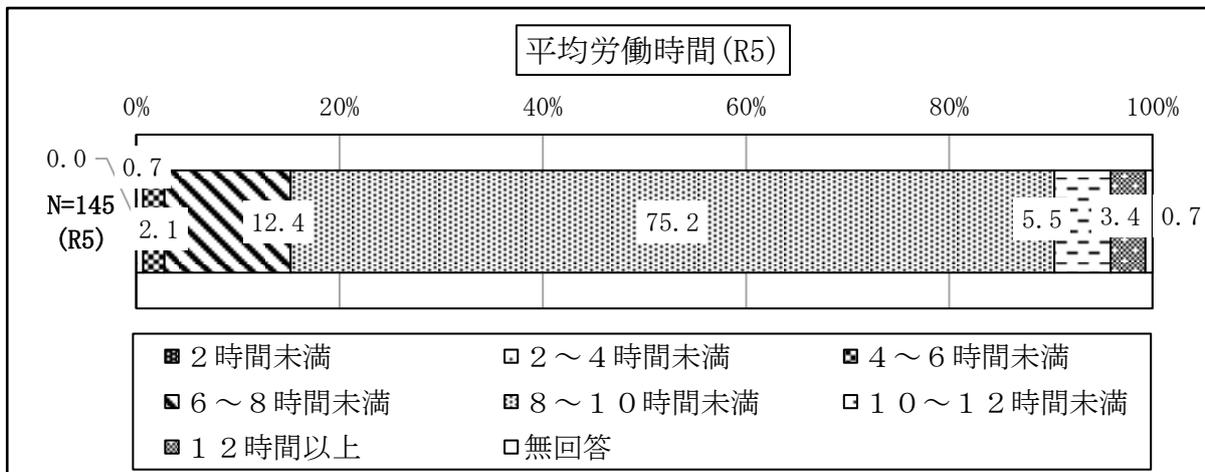
① 平均労働日数

・平均労働日数については、「5日」が54.5%で最も高く、次いで「6日」が35.9%となっている。



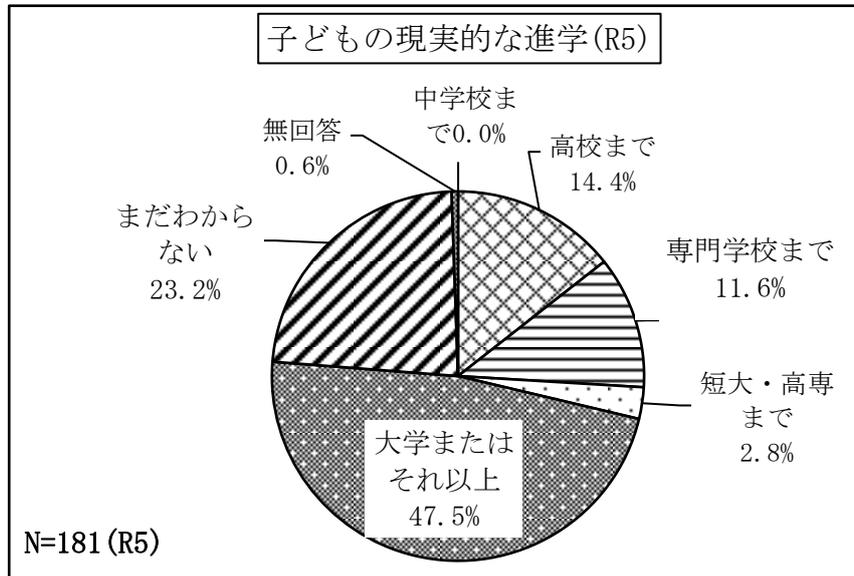
② 平均労働時間

・平均労働時間については、「8～10時間未満」が75.2%で最も高く、次いで「6～8時間未満」の12.4%となっている。



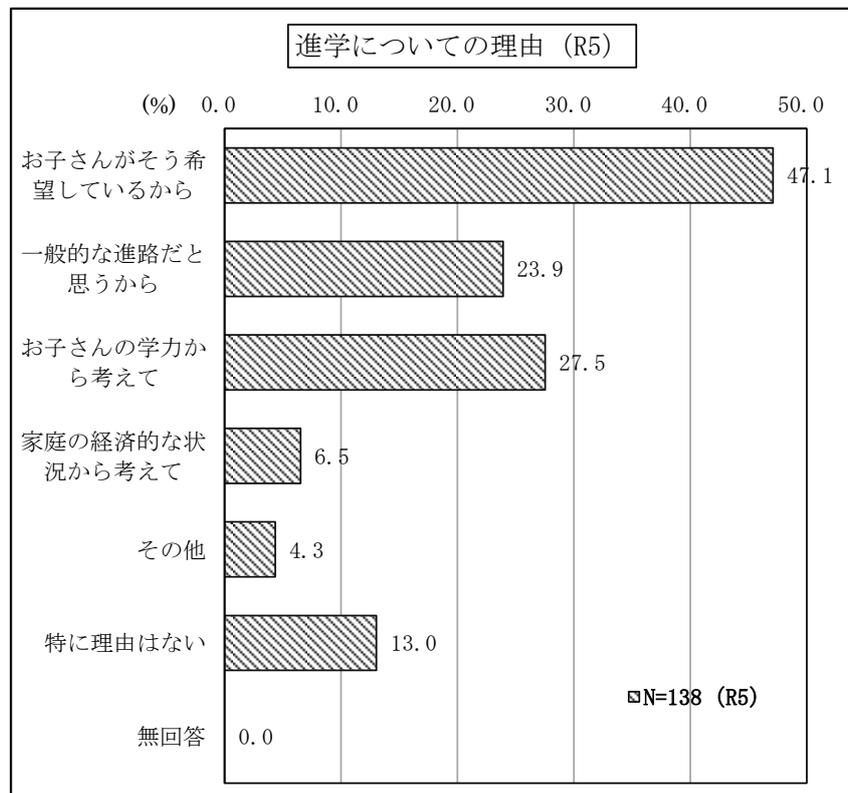
問8 子どもの将来の現実的な進学先

・子どもの将来の現実的な進学については、「大学またはそれ以上」が47.5%で最も高く、次いで「まだわからない」が23.2%、「高校まで」が14.4%となっている。



問8-1 現実的な進学先についての理由 ※あてはまるものすべてに○

・現実的な進学先についての理由については、「お子さんがそう希望しているから」が47.1%で最も高く、次いで「お子さんの学力から考えて」が27.5%、「一般的な進路だと思うから」が23.9%となっている。



問9 お子さんに行っていること

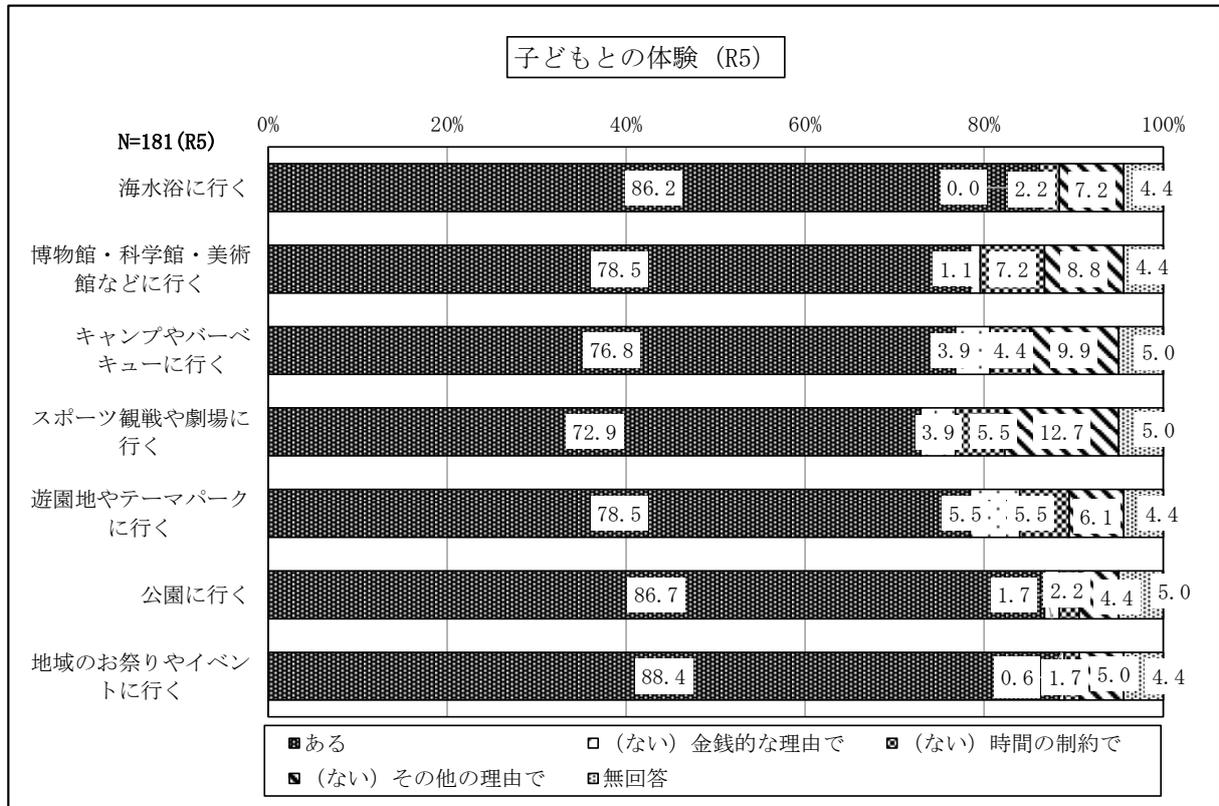
・お子さんに行っていることについては、「お誕生日のお祝いをする」が令和5年・平成30年共に94%以上と最も高い割合になっている。

・令和5年では平成30年より、「毎月お小遣いを渡す」が14.3ポイント高くなり、「毎年新しい(お古でない)洋服・靴を買う」が8.7ポイント高くなっている。

N=181 (R5) N=626 (H30) (%)	年度	灰色はH30のみの選択肢 単位:%			
		していた	していない		無回答
			思わなかつた	必要なかた	
A. 毎月お小遣いを渡す	R5	53.0	35.4	9.4	2.2
	H30	38.7	41.5	17.1	2.7
B. 毎年新しい(お古でない)洋服・靴を買う	R5	87.3	6.6	3.9	2.2
	H30	78.6	8.9	11.0	1.5
C. 習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる	R5	60.2	24.9	10.5	4.4
	H30	43.3	23.5	26.4	6.8
D. 学習塾に通わせる (または家庭教師に来てもらう、オンラ	R5	44.8	35.9	15.5	3.9
	H30	44.1	20.4	31.0	4.5
E. お誕生日のお祝いをする	R5	96.1	1.1	1.1	1.7
	H30	94.4	1.4	3.7	0.5
F. 家族旅行に行く	R5	54.1	8.3	34.3	3.3
	H30	-	-	-	-
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	R5	91.2	2.2	5.5	1.1
	H30	87.1	3.2	9.3	0.4
H. 医者に行く(医療機関での健診を含む)	R5	-	-	-	-
	H30	93.5	2.2	3.4	0.9
I. 歯医者に行く(歯科医での健診を含む)	R5	-	-	-	-
	H30	89.3	3.0	5.9	1.8
J. 子どもの学校行事などへ親が参加する	R5	-	-	-	-
	H30	90.4	4.0	3.5	2.1

問 10 子どもとの体験

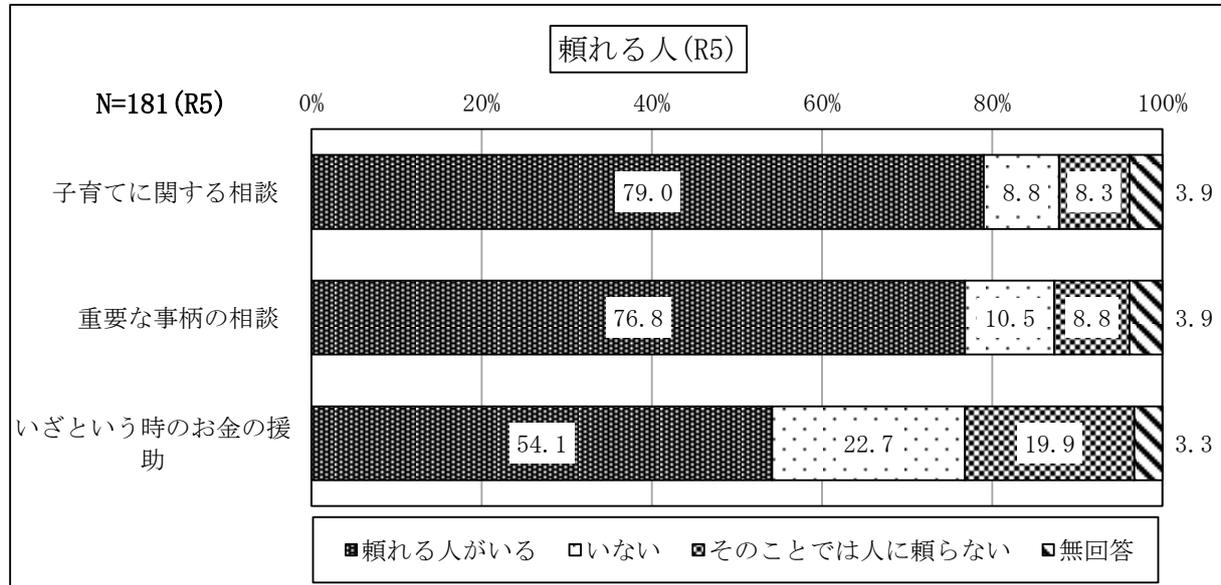
・子どもとの体験については、「地域のお祭りやイベントに行く」が 88.4%で最も高く、次いで、「公園に行く」が 86.7%、「海水浴に行く」が 86.2%である。



問 11 頼れる人について

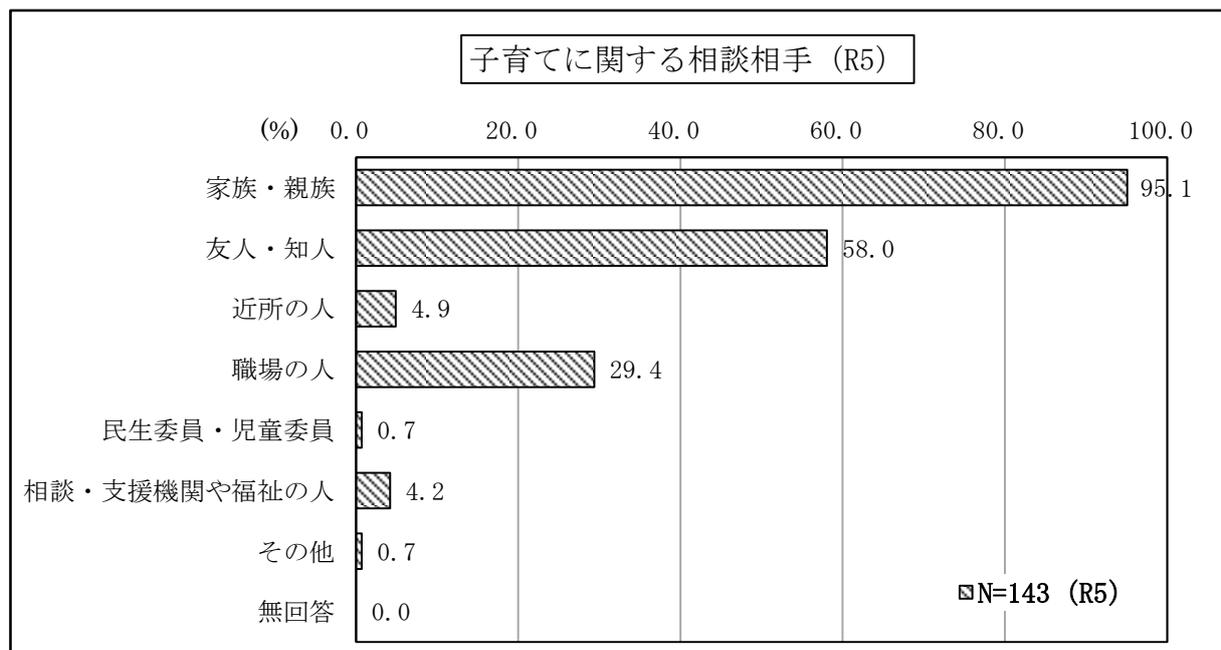
(1)頼れる人の有無

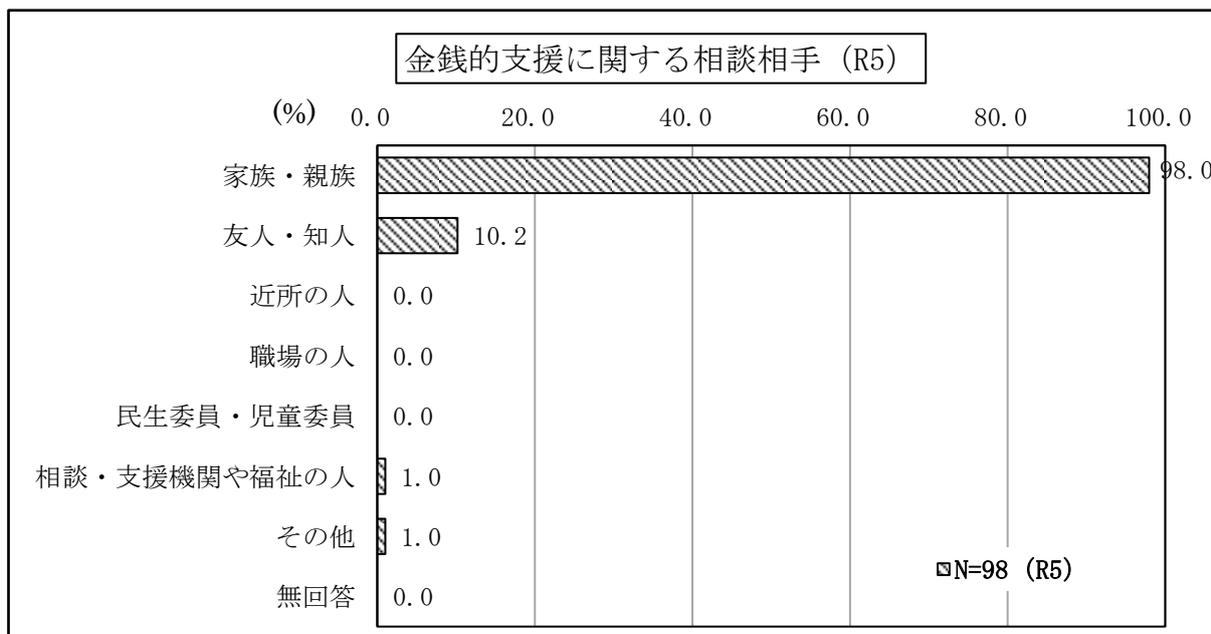
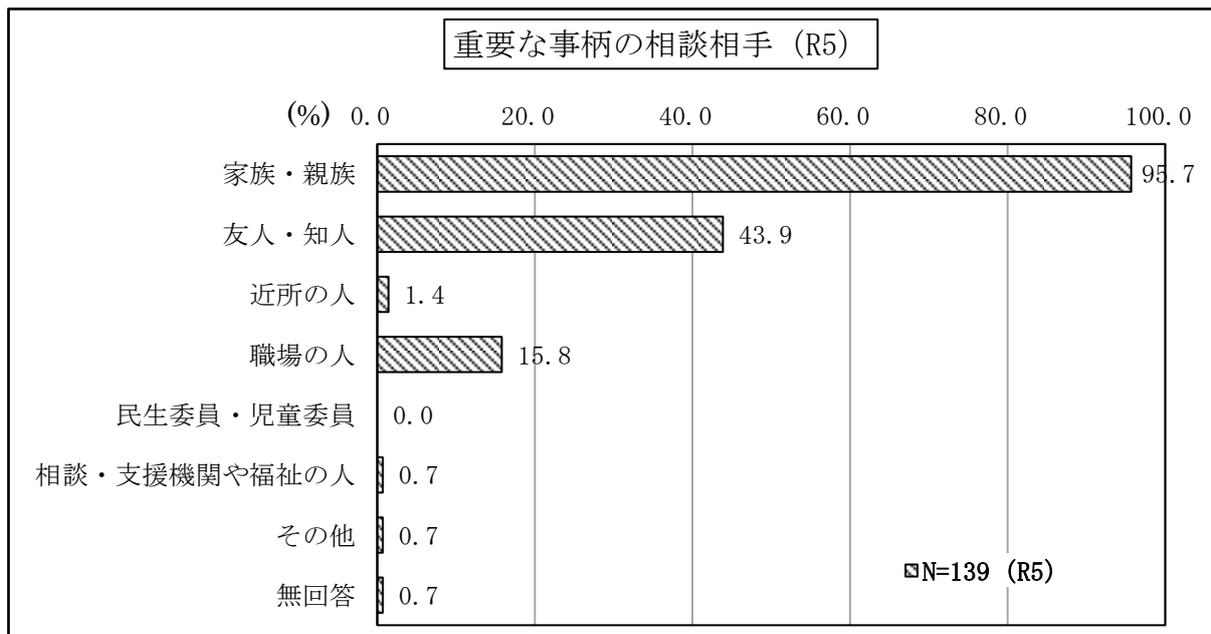
・頼れる人の有無については、「子育てに関する相談」で79.0%、「重要な事柄の相談」で76.8%が「頼れる人がある」と回答しており、回答者の8割程が各種相談をできる人があるとみられる。



(2)頼れる相手(問 11 で「頼れる人がある」を選んだ方) ※あてはまるものすべてに○

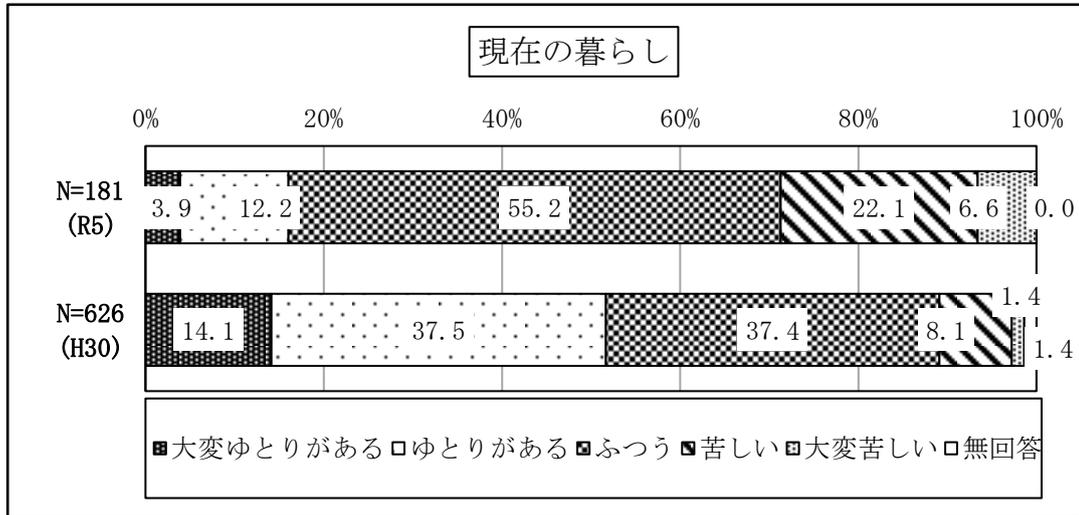
・頼れる相手については、子育てに関する相談、重要な事柄の相談、金銭的援助に関する相談のいずれも「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」が続いている。





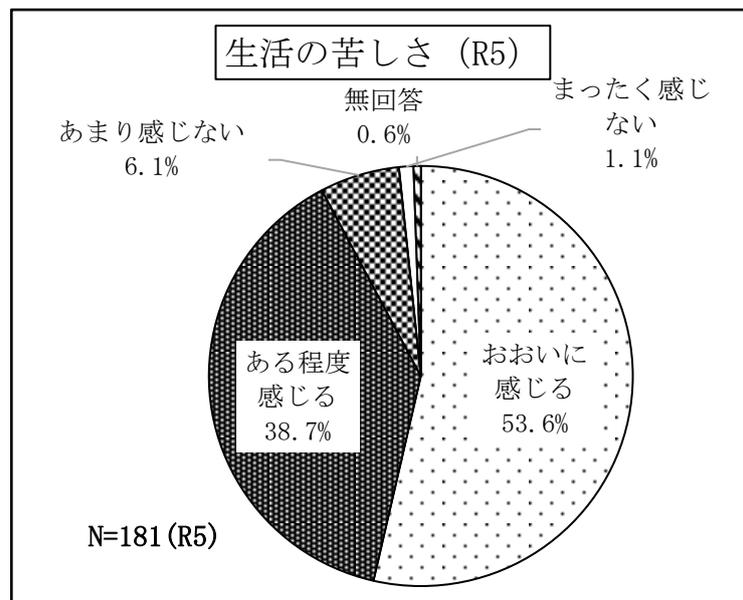
問 12 現在の暮らしの状況

- ・現在の暮らしの状況では、令和5年では平成30年より「大変ゆとりがある」が10.2ポイント低くなっており、「ゆとりがある」についても25.3ポイント低くなっている。
- ・「ふつう」の割合は、平成30年よりも17.8ポイント高くなっている。また、平成30年より「苦しい」が14ポイント、「大変苦しい」が5.2ポイント高くなっている。



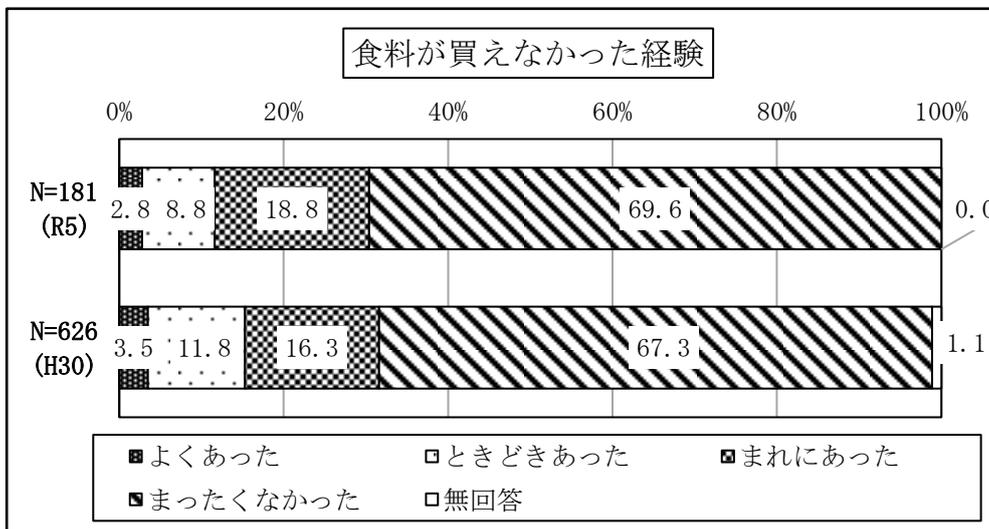
問 13 物価高騰による生活の苦しさ

- ・物価高騰による生活の苦しさについては、「おおいに感じる」と回答した家庭が53.6%、「ある程度感じる」と答えた家庭が38.7%であり、全体の90%以上の家庭が何らかの形で物価高騰による経済的な苦しさを感じていることがわかる。



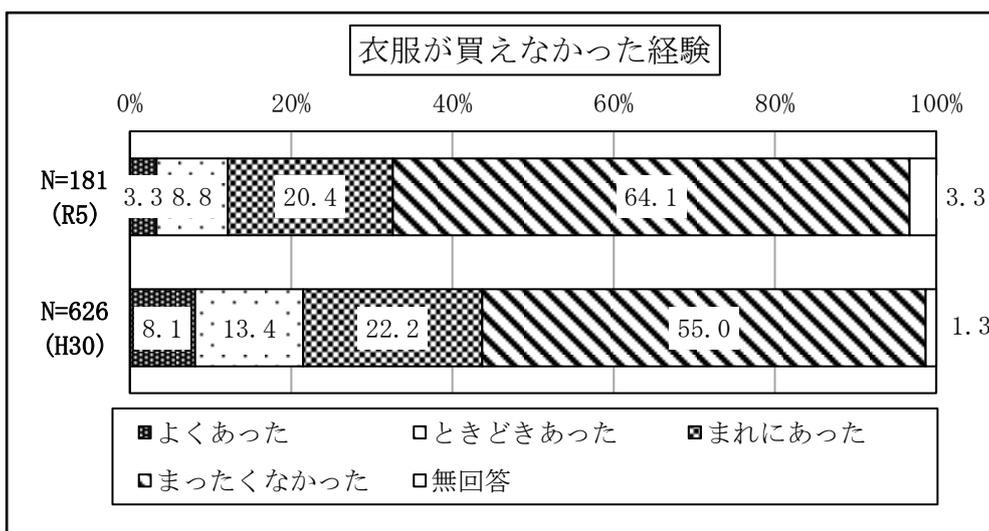
問 14 食料が買えなかった経験（過去 1 年間）

・食料が買えなかった経験では、令和5年では平成 30 年よりも「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」が減少し、「まったくなかった」の割合が高くなっている。また令和5年・平成 30 年共に「まったくなかった」の割合が最も高い。



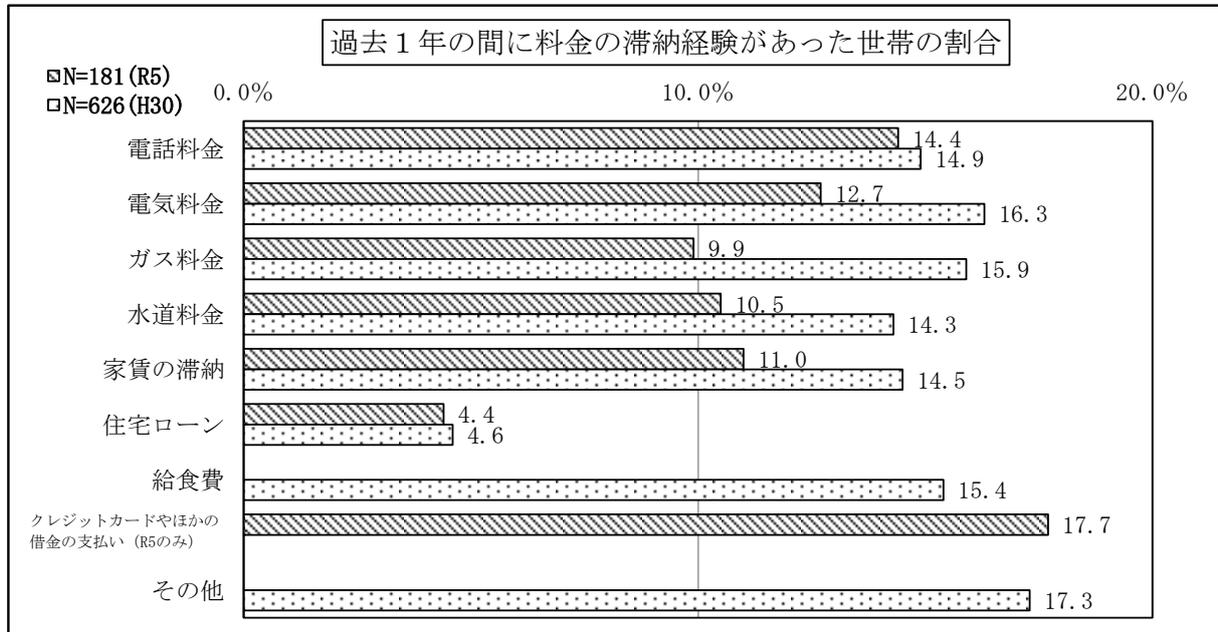
問 15 衣服が買えなかった経験（過去 1 年間）

・衣料が買えなかった経験は、令和5年では平成 30 年よりも「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の割合が減少し、「まったくなかった」の割合が高くなっている。また、令和5年・平成 30 年共に「まったくなかった」の割合が最も高い。



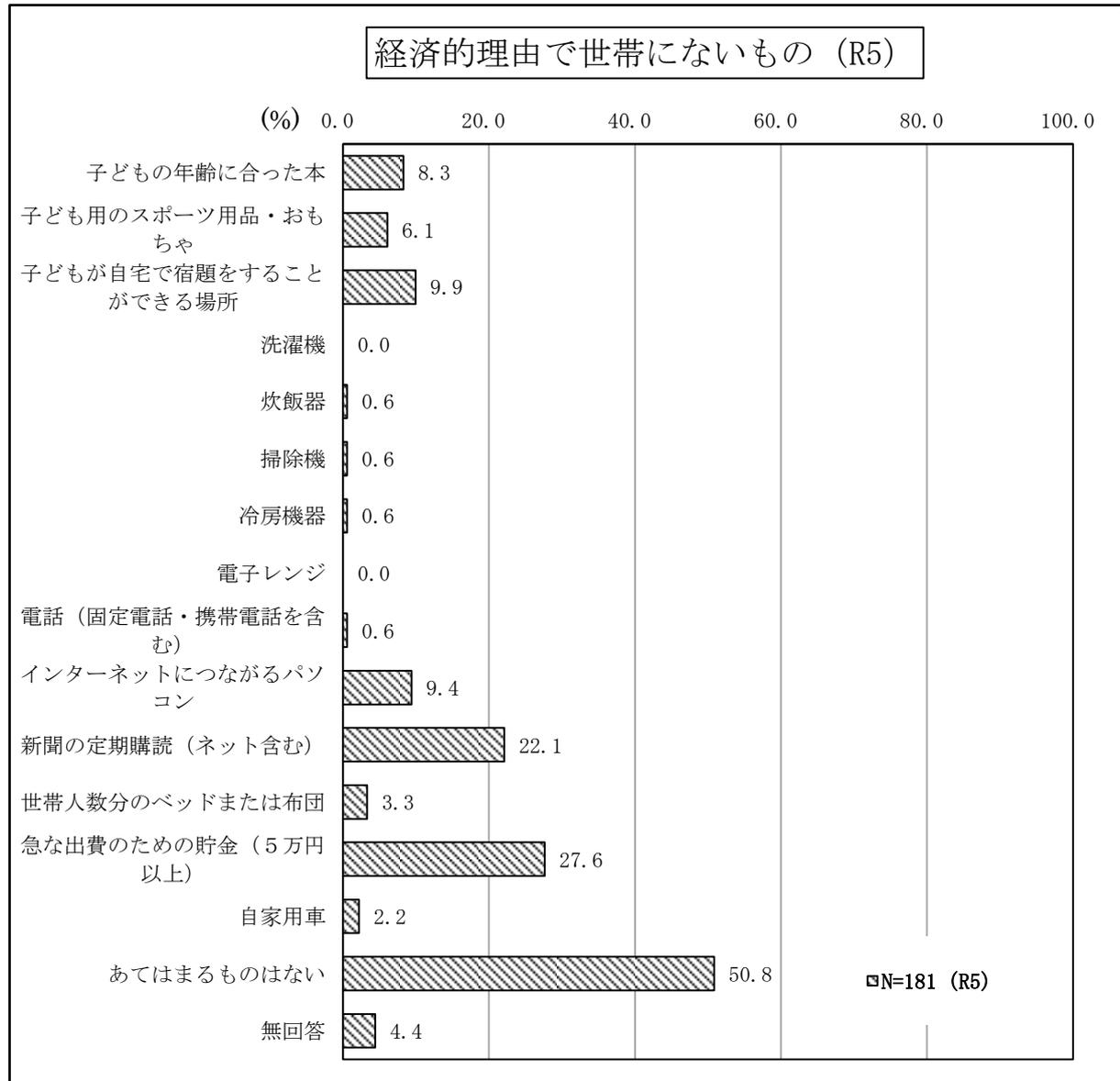
問 16 支払いができなかった経験（過去 1 年間）

- ・全体的に平成 30 年よりも滞納した経験の割合は低くなっているが、中でも最も低くなったのが「ガス料金」の 6 ポイント低くなっている。
- ・一方、クレジットカードや借金の支払い(R5のみ)は 17.7%と他の項目よりも高く、他の料金の支払いでクレジットカードを利用していることも考えられる。



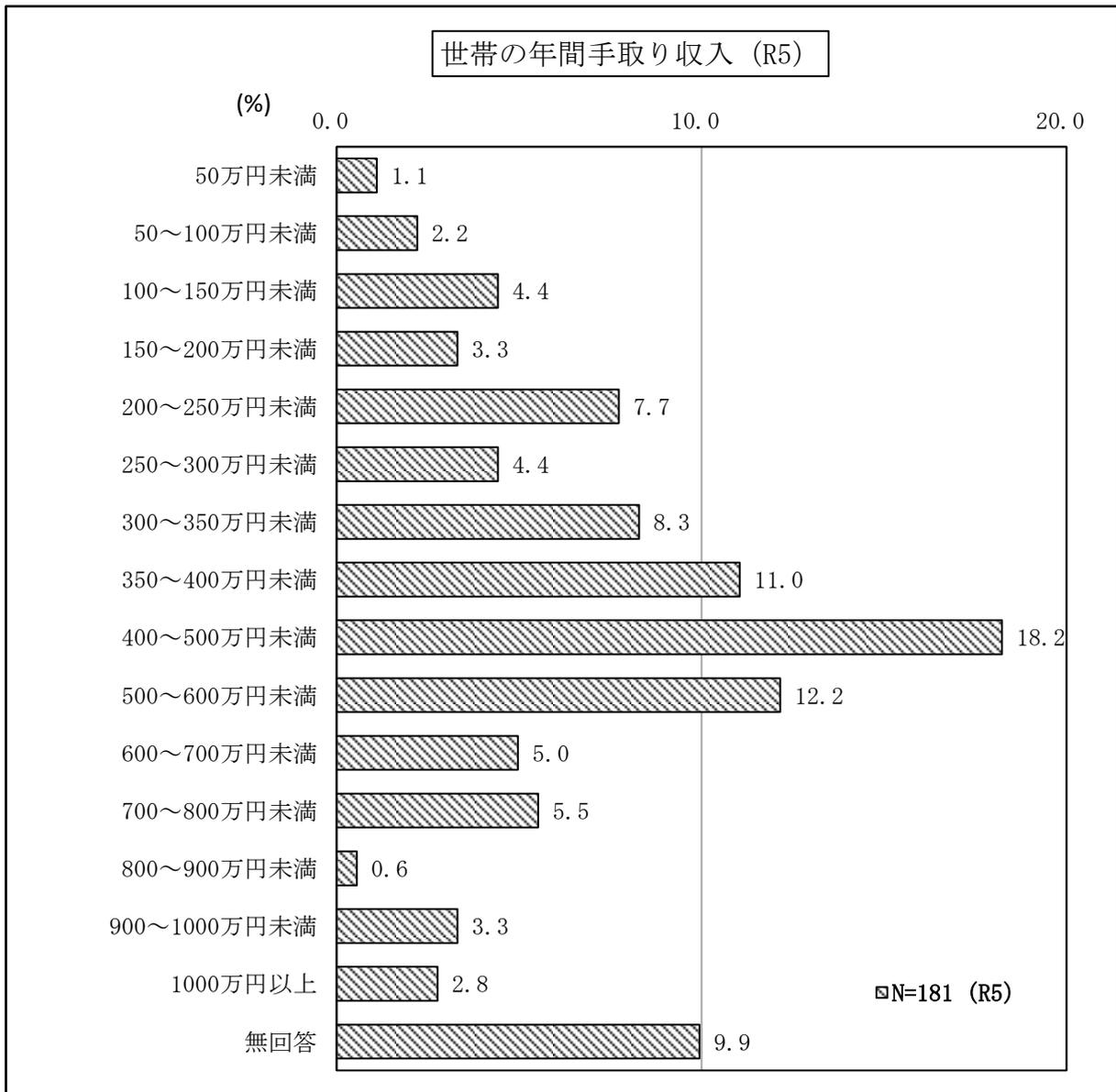
問 17 経済的理由で世帯にないもの ※あてはまるものすべてに○

・世帯にないものについては、「あてはまるものはない」が 50.8%で最も高く、次いで「急な出費のための貯金(5万円以上)」27.6%、「新聞の定期購読(ネット含む)」が 22.1%である。



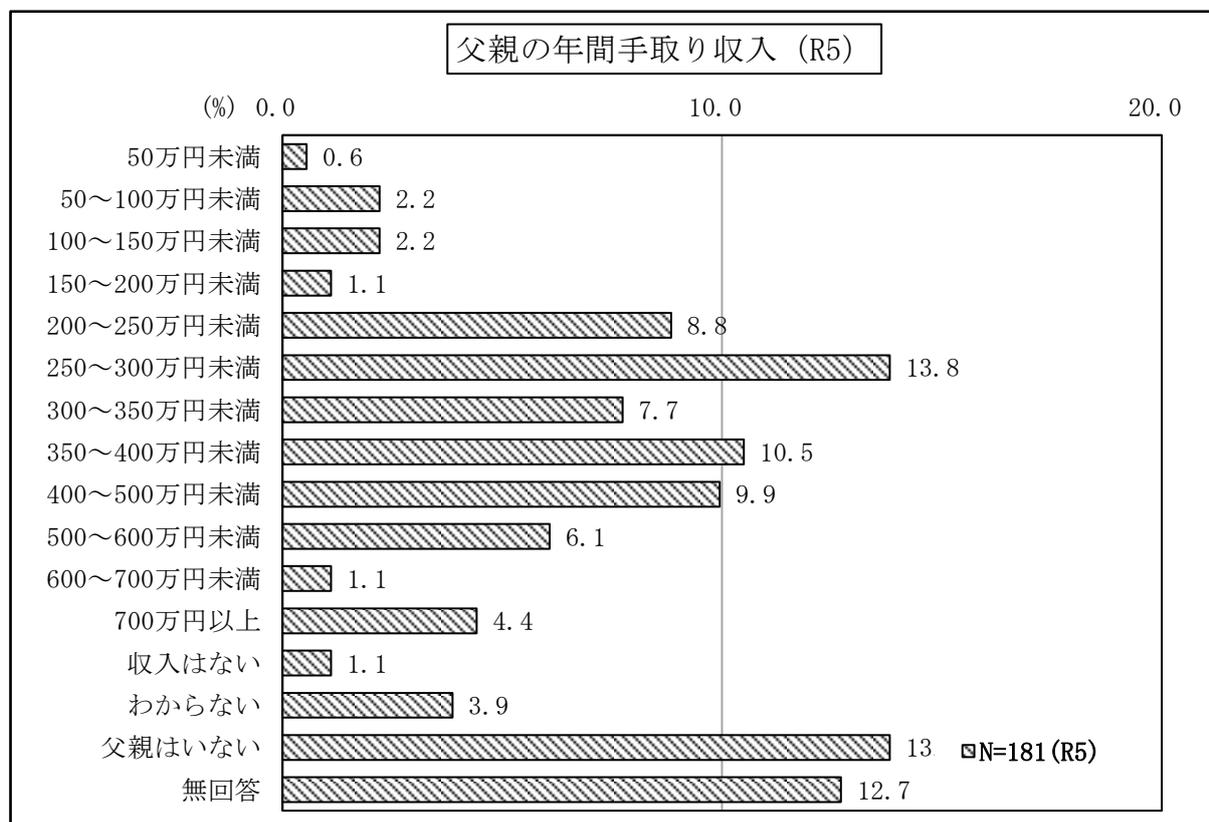
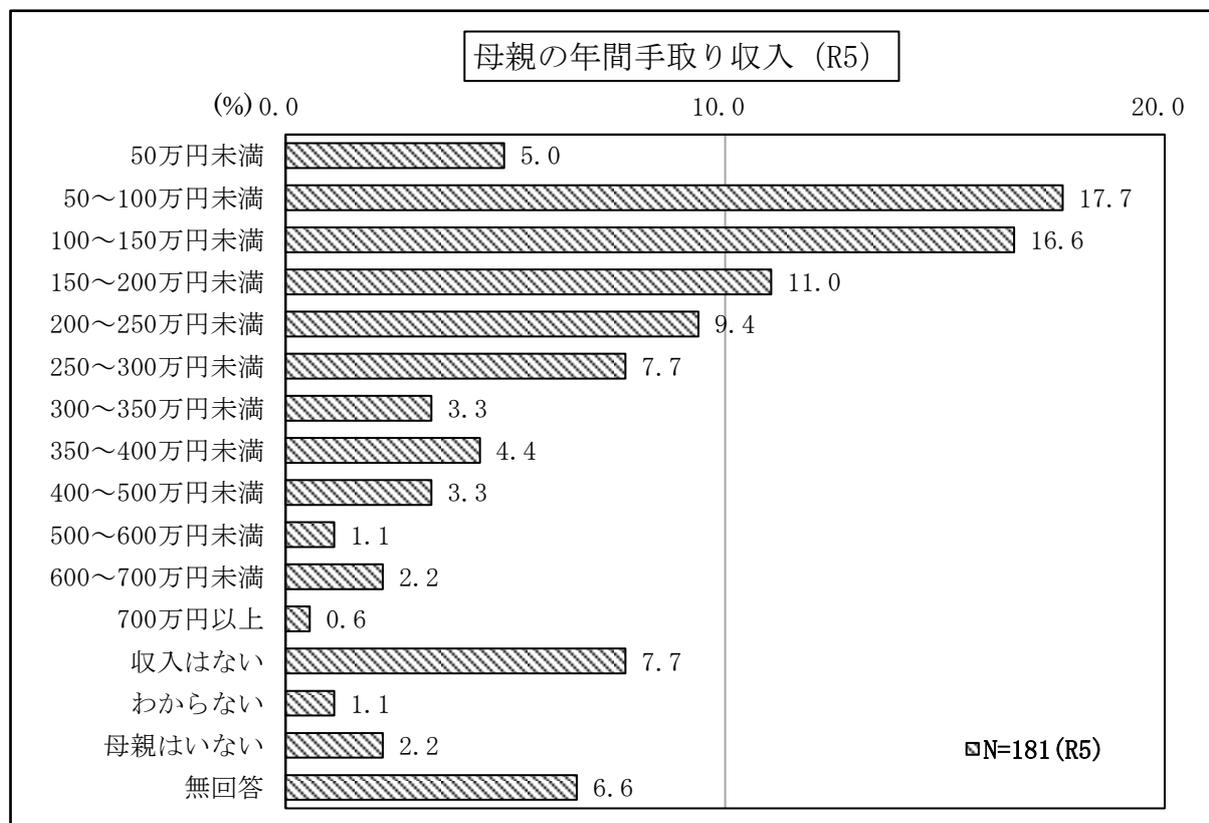
問 18 世帯の年間手取り収入

・世帯の年間手取り収入については、「400～500万円未満」が18.2%で最も高い。



問 18-1 親の年間手取り収入

・親の年間手取り収入については、母親では「50～100万円未満」の17.7%が最も高くなっており、父親では「250～300万円未満」の13.8%が最も高くなっている。



問 19 支援制度の利用有無

・支援制度の利用有無については、令和5年・平成30年共に同程度の利用割合である。「児童手当」は9割前後、次いで「こども医療費助成金」は7割程が制度を利用した経験がある。

		灰色はR5のみの選択肢	
N=181 (R5) N=626 (H30)		利用している、 利用したことがある	
A. 児童手当	R5		87.8
	H30		93.6
B. 児童扶養手当	R5		27.1
	H30		33.7
C. 就学援助	R5		27.6
	H30		32.3
D. 生活保護	R5		3.9
	H30		1.6
E. 児童相談所（児童福祉司）	R5		3.3
	H30		4.3
F. スクールカウンセラー	R5		10.5
	H30		10.4
G. スクールソーシャルワーカー	R5		3.9
	H30		3.2
H. 高等学校等就学支援金	R5		13.8
	H30		24.3
I. 奨学のための給付金	R5		8.8
	H30		8.8
J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	R5		0.6
	H30		0.6
K. 生活福祉資金貸付金	R5		1.7
	H30		0.5
L. こども医療費助成金	R5		70.7
	H30		67.4
M. 生活困窮者の自立支援相談窓口	R5		1.7
	H30		-

※R5は「現在利用している」「現在利用していないが以前利用したことがある」を合算

(1) 支援制度を利用しなかった理由(R5のみ)

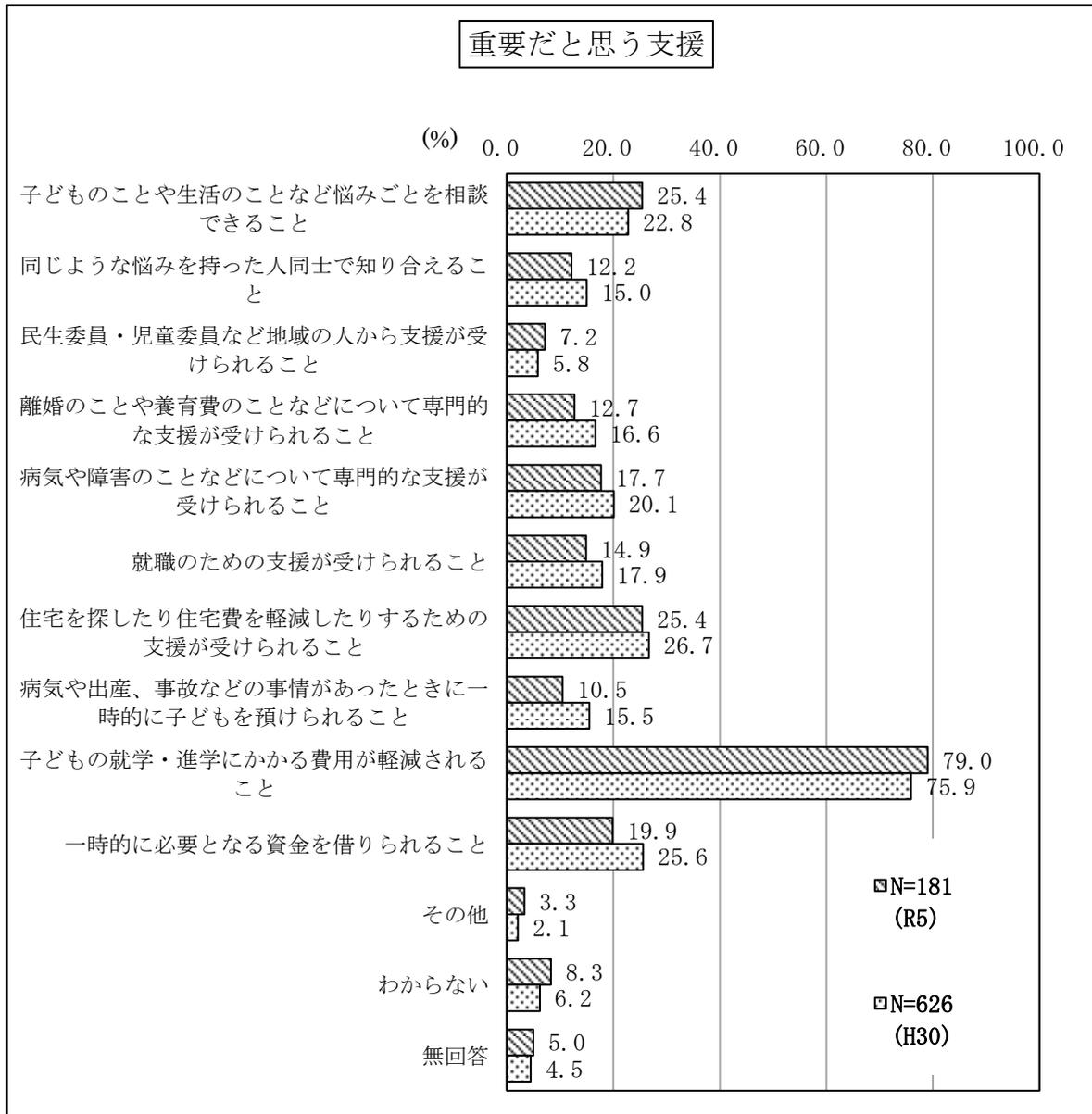
- ・支援制度を利用しなかった理由は、「制度の対象外だと思うから」がいずれの支援制度でも高い割合を占めており、「生活保護」の57.5%が最も高くなっている。
- ・「利用はできるが、特に利用したいと思わなかった」が「児童相談所」、「スクールカウンセラー」、「スクールソーシャルワーカー」で2～3割程度となっている。

単位：%

N=181 (R5)	利用したことがない					無回答
	利用はできるが、特 に利用したいと思わ なかったから	利用したいが、手続 がわからなかったり 利用しにくいから	制度の対象外（収入 等の条件を満たさな い）だと思うから	今までこの支援制度 を知らなかったから	それ以外の理由	
A. 児童手当	1.1	1.1	1.7	0.0	0.6	7.7
B. 児童扶養手当	1.7	2.2	39.2	5.0	5.5	19.3
C. 就学援助	2.8	3.3	44.2	1.7	4.4	16.0
D. 生活保護	3.3	2.8	57.5	2.2	11.6	18.8
E. 児童相談所（児童福祉司）	23.2	3.9	21.0	7.2	19.9	21.5
F. スクールカウンセラー	27.1	2.8	12.2	8.3	18.8	20.4
G. スクールソーシャルワーカー	28.2	3.9	14.4	9.9	18.8	21.0
H. 高等学校等就学支援金	2.8	6.1	26.0	18.8	14.4	18.2
I. 奨学のための給付金	5.0	7.7	27.6	15.5	15.5	19.9
J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	3.3	3.3	38.7	15.5	17.7	21.0
K. 生活福祉資金貸付金	5.0	3.3	35.9	14.4	17.7	22.1
L. こども医療費助成金	1.1	1.7	5.0	3.9	4.4	13.3
M. 生活困窮者の自立支援相談窓口	5.5	4.4	33.7	16.0	17.7	21.0

問 20 重要だと思う支援等 ※あてはまるものすべてに○

・令和5年と平成30年の両方で「子どもの就学・進学にかかる費用が軽減されること」がおよそ8割で最も高い。次いで住宅費の軽減支援は3割程度である。

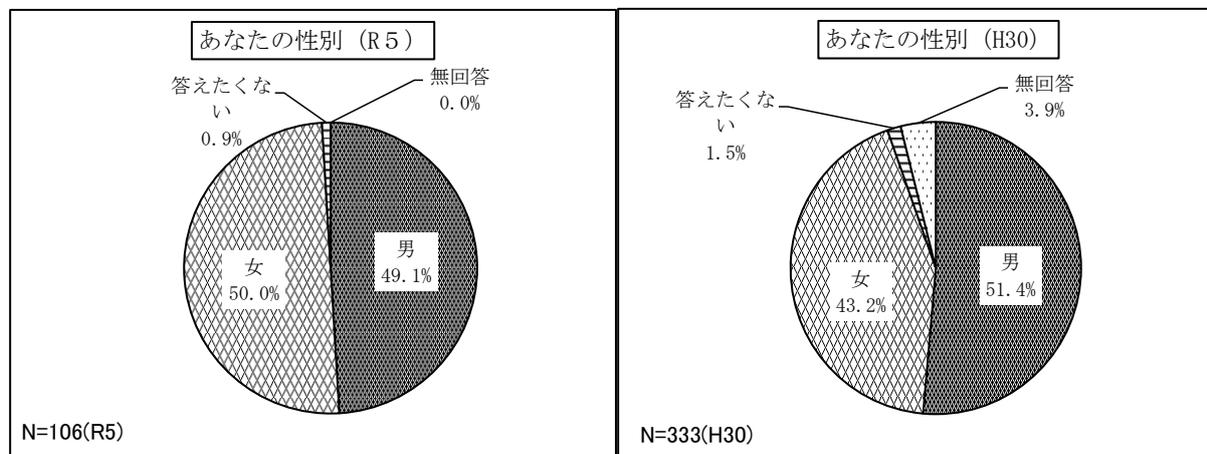


17 歲調查結果

6. 17歳調査結果

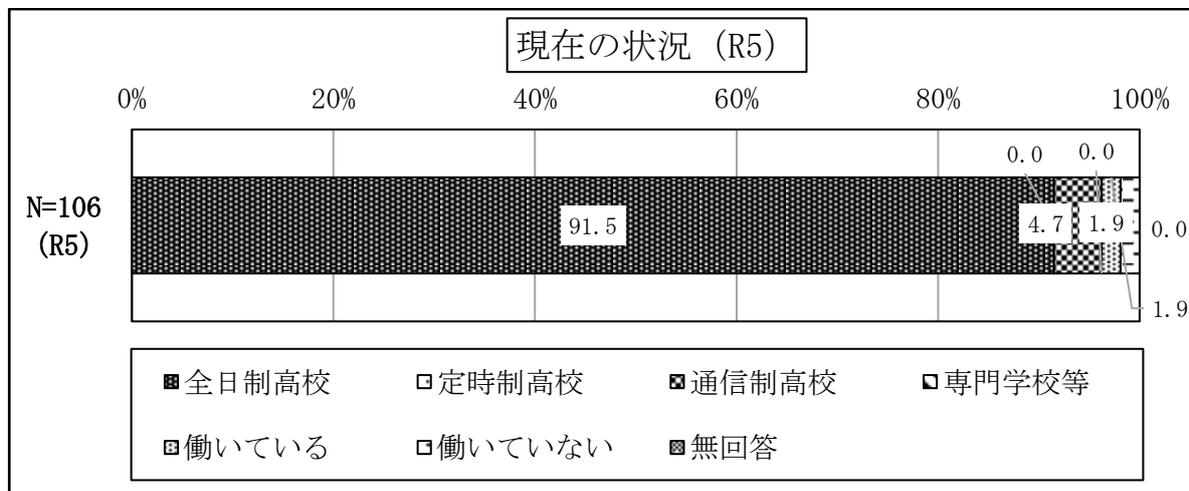
問1 性別

・令和5年と平成30年では、大きな変化はないが、令和5年では平成30年よりも「答えたくない」「無回答」の割合が低くなっている。



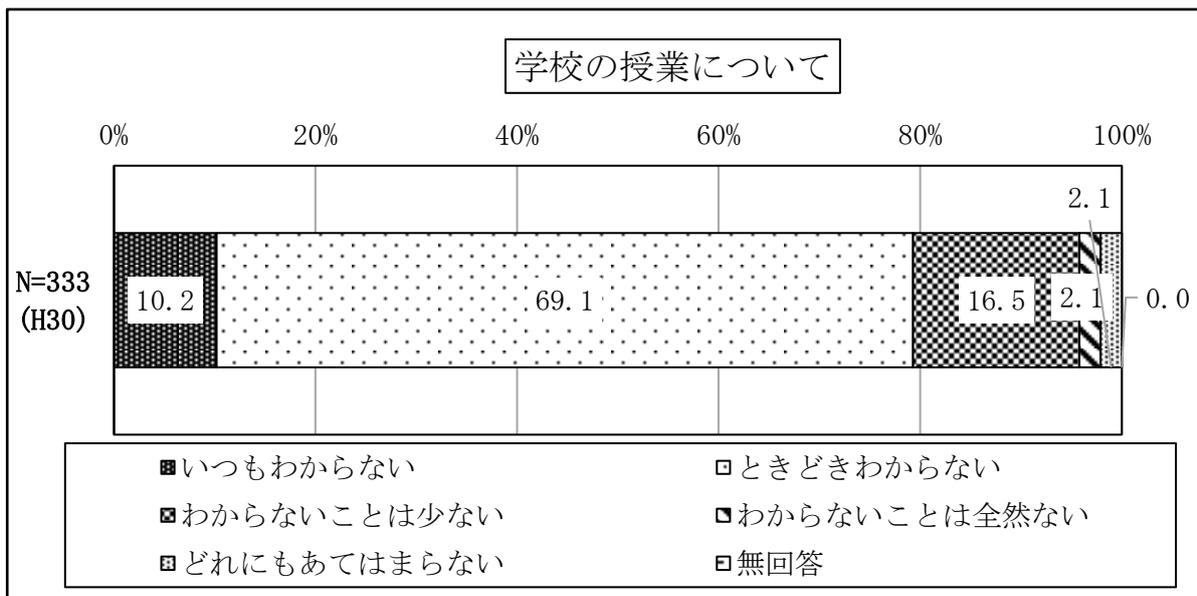
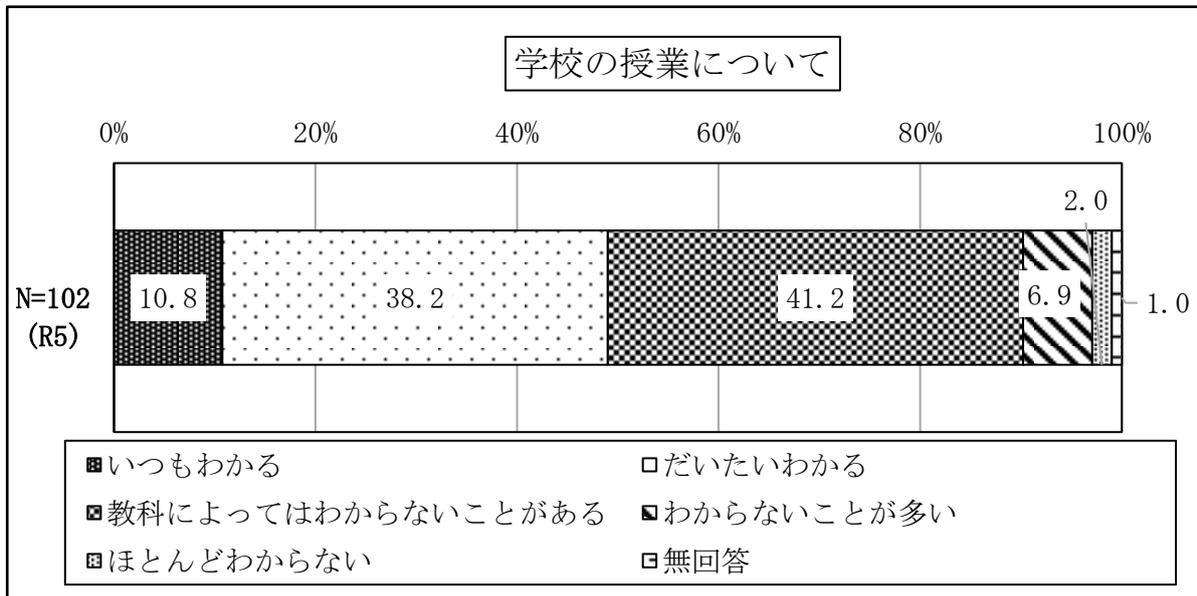
問2 現在の状況

・現在の状況については、「全日制高校」への就学が91.5%で最も高く、次いで「通信制高校」が4.7%、「働いている」「働いていない」が共に1.9%となっている。



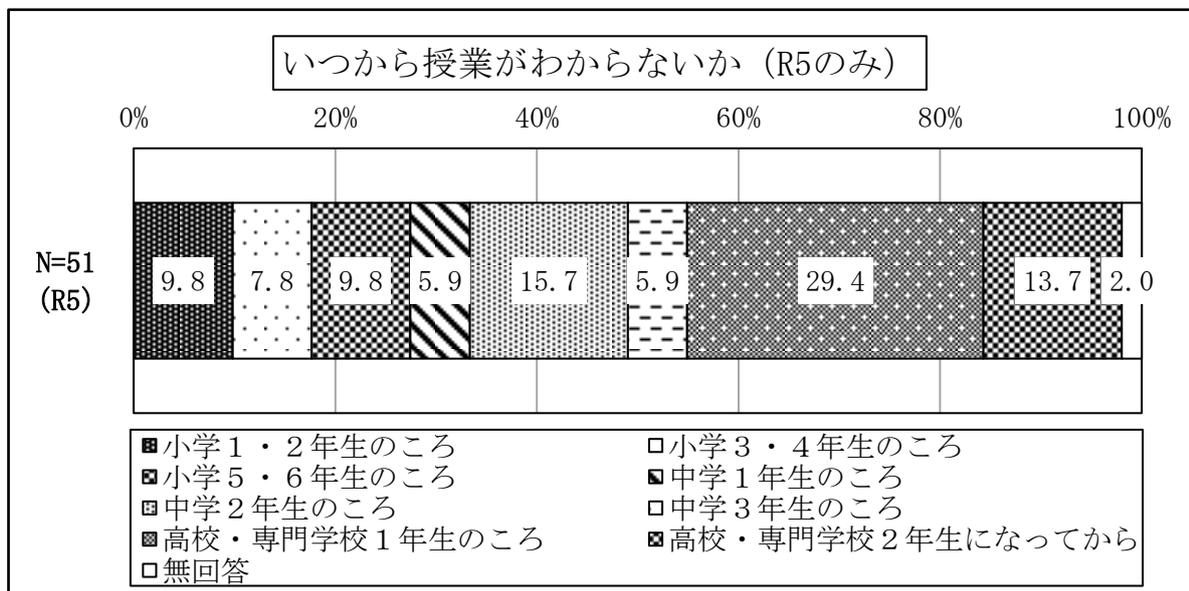
問3 学校の授業がわからないことはあるか（問2で「学生」を選んだ方のみ）

・令和5年で最も高いのは「教科によってはわからないことがある」の41.2%で、次いで「だいたいわかる」の38.2%である。



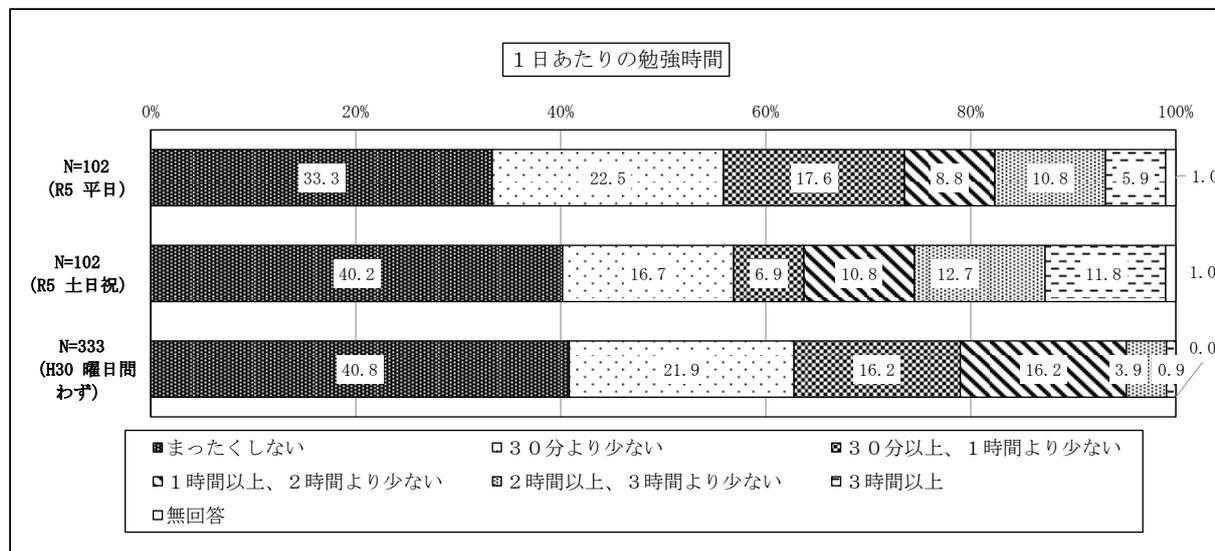
問3-1 いつから授業がわからないか（問2で「学生」を選んだ方のみ）

・いつから授業がわからないかについては「高校・専門学校1年生のころ」が29.4%で最も高く、次いで「中学2年生のころ」15.7%、「高校・専門学校2年生になってから」13.7%となっている。



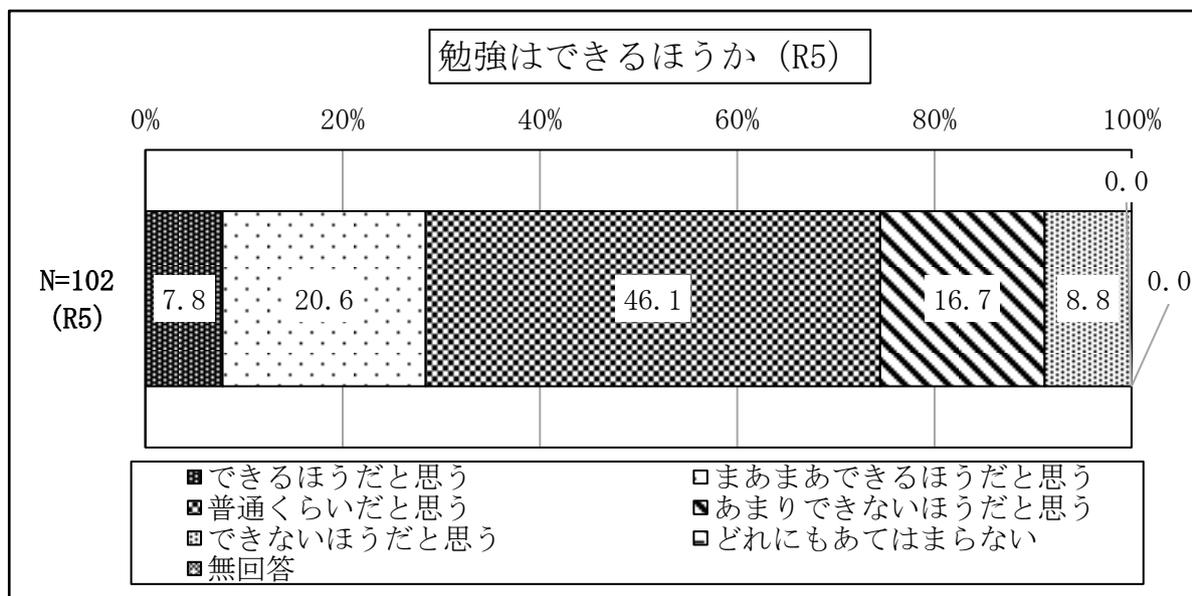
問4 授業以外での1日あたりの勉強時間（問2で「学生」を選んだ方のみ）

・授業以外での1日あたりの勉強時間では、「まったくしない」と回答した割合は、令和5年では平成30年よりやや低くなっている。平日(R5)・土日祝(R5)共に「まったくしない」に次いで、「30分より少ない」が高い割合となっている。



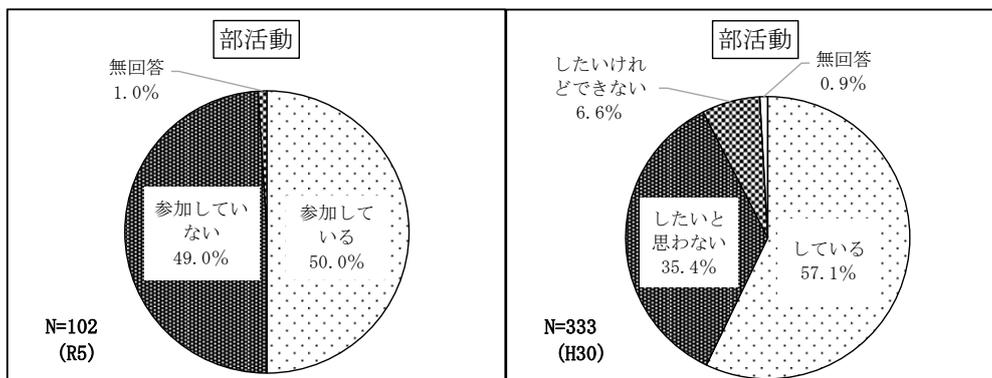
問5 勉強はできるか（問2で「学生」を選んだ方のみ）

・勉強はできるかについて、「普通くらいだと思う」が46.1%で最も高く、次いで「まあまあできるほうだと思う」が20.6%、「あまりできないほうだと思う」が16.7%となっている。



問6 部活動（問2で「学生」を選んだ方のみ）

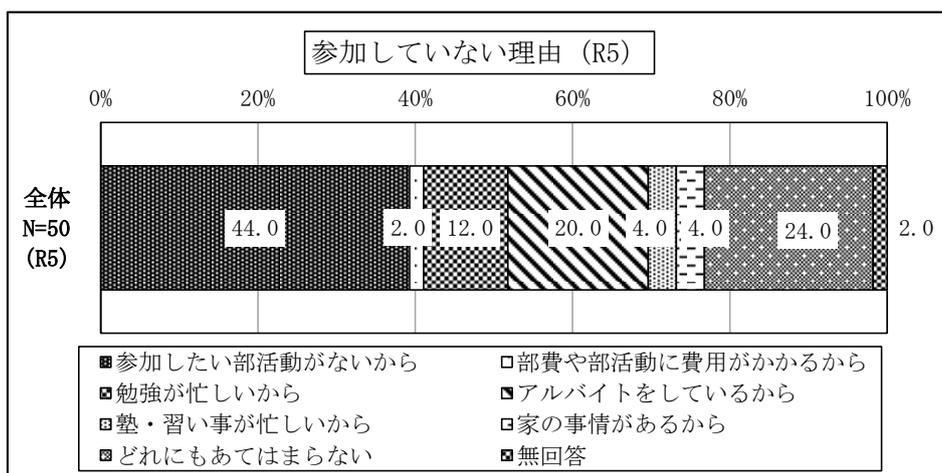
・部活動については、令和5年で「参加している」が50.0%、「参加していない」が49.0%となっている。令和5年では平成30年より部活動をしている割合は7.1ポイント低くなっている。



問6-1 参加していない理由（問2で「学生」を選んだ方のみ）

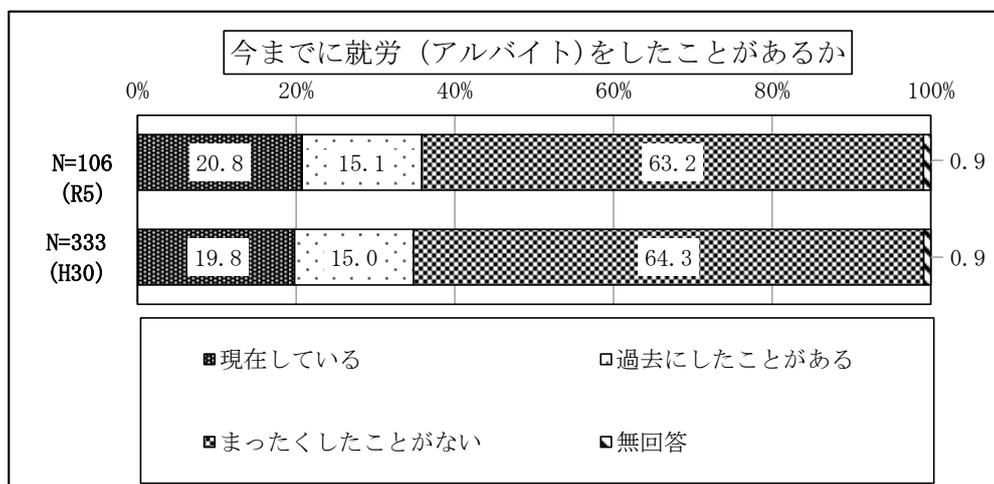
※あてはまるものすべてに○

・参加していない理由については、「参加したい部活動がないから」が44.0%で最も高く、次いで「どれにもあてはまらない」が24.0%、「アルバイトをしているから」が20.0%となっている。



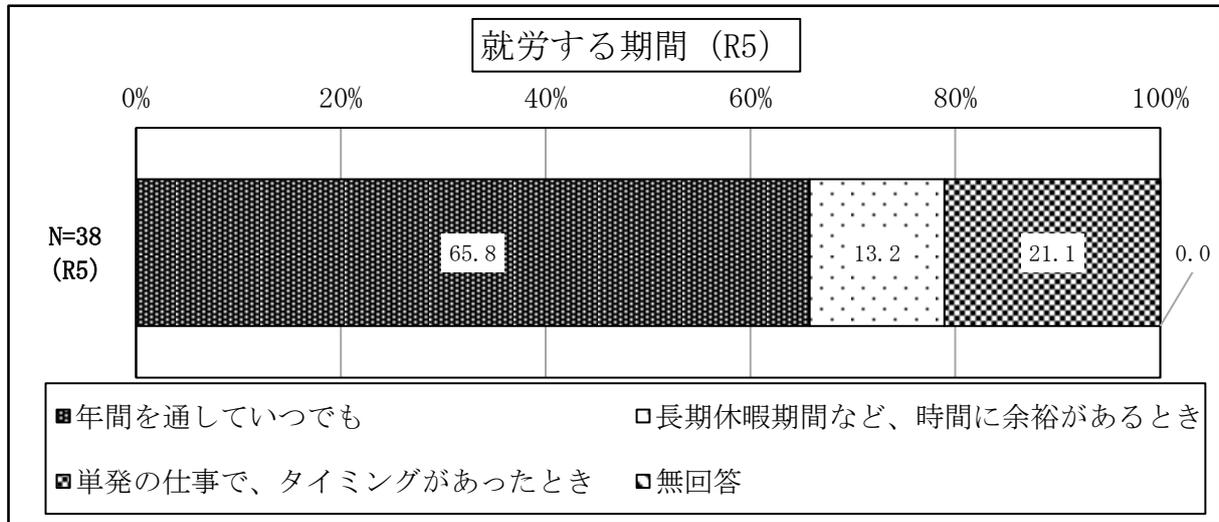
問7 今までの就労経験

・今までの就労経験については、令和5年と平成30年で大きな変化はなく、就労経験がある割合は「現在している/過去にしたことがある」を合わせて3割程となっている。



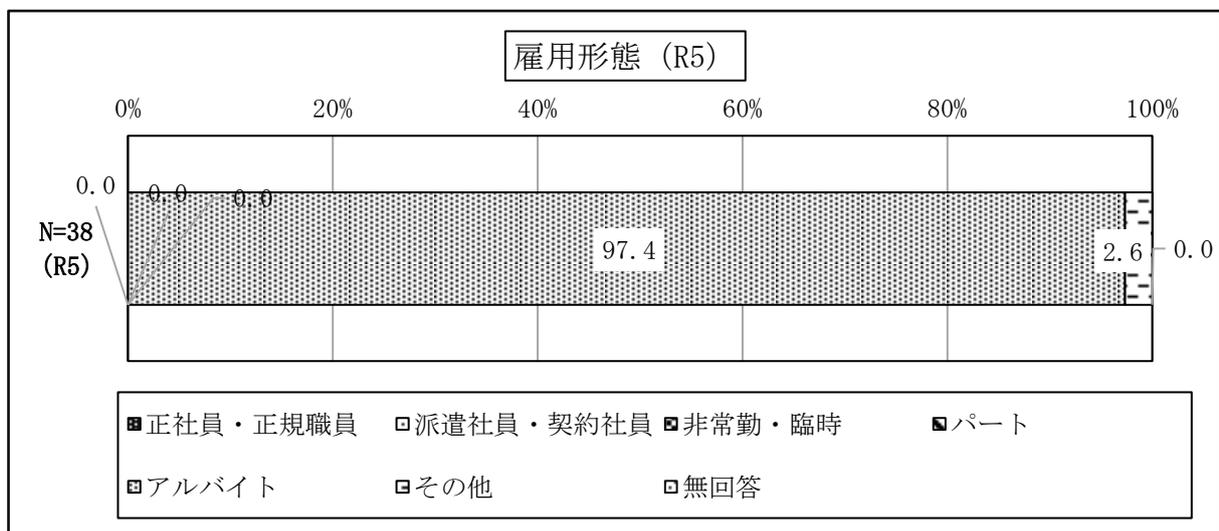
問 7-1 就労する期間（就労経験がある方）

・就労する期間については、「年間を通していつでも」が 65.8%で最も高く、次いで「単発の仕事で、タイミングがあったとき」が 21.1%となっている。



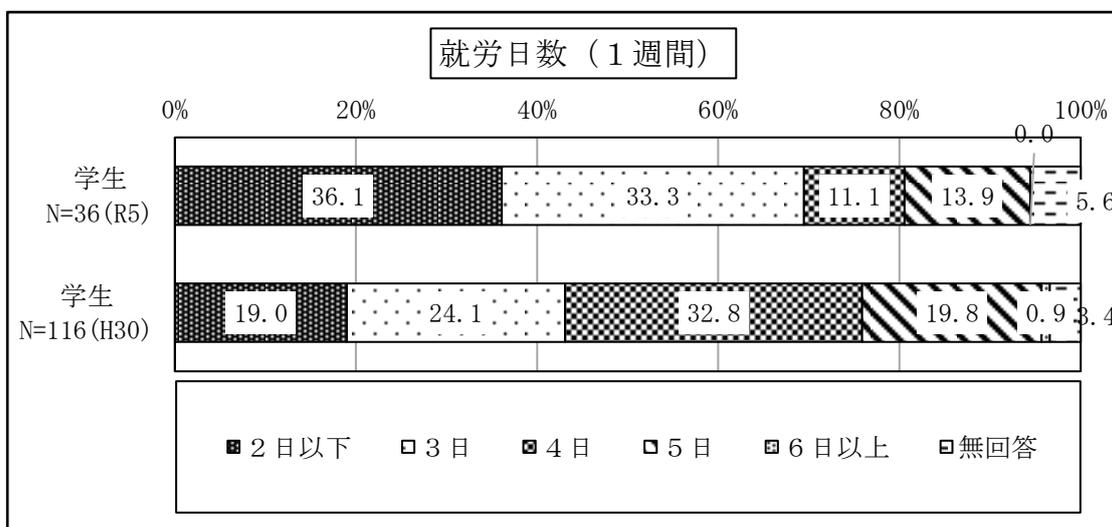
問 7-2 雇用形態（就労経験がある方）

・雇用形態については、「アルバイト」が 97.4%で最も高くなっている。「その他」が 2.6%であり、「正社員・正規職員」「派遣社員・契約社員」「非常勤・臨時」は共に 0.0%となっている。



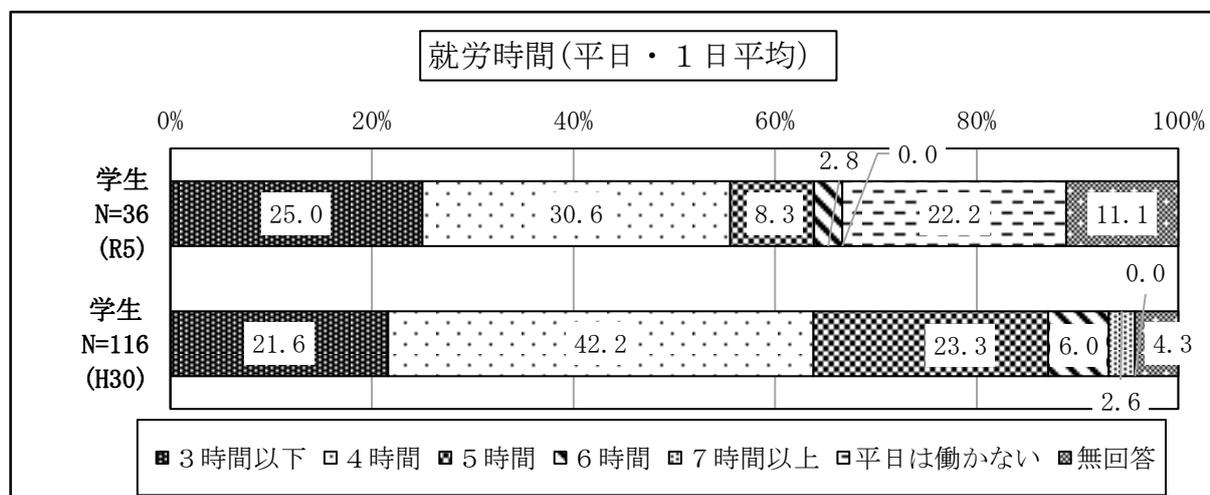
問7-3 1週間の就労日数（学生）

・学生の就労日数を比較すると、平成30年よりも4～6日以上働いている人の割合が低くなっている。一方で「2日以下」「3日」の割合は高くなっている。



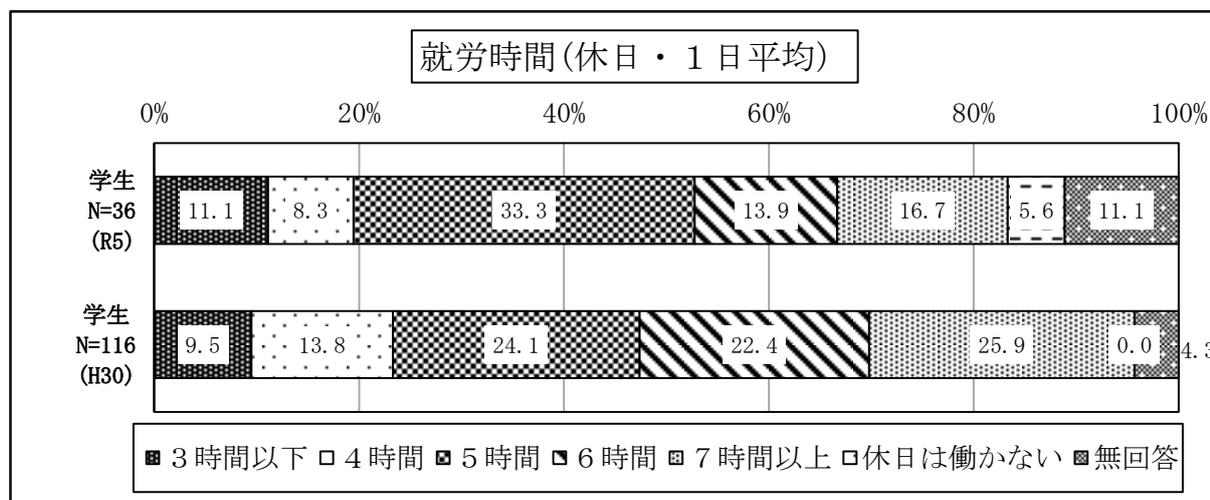
問7-4 平日一日の平均就労時間（学生）

・平日の平均就労時間については、令和5年では平成30年より「4時間」「5時間」「6時間」で減少し、「3時間以下」「平日は働かない」が増加しており、1日の就労時間は短くなっていると考えられる。



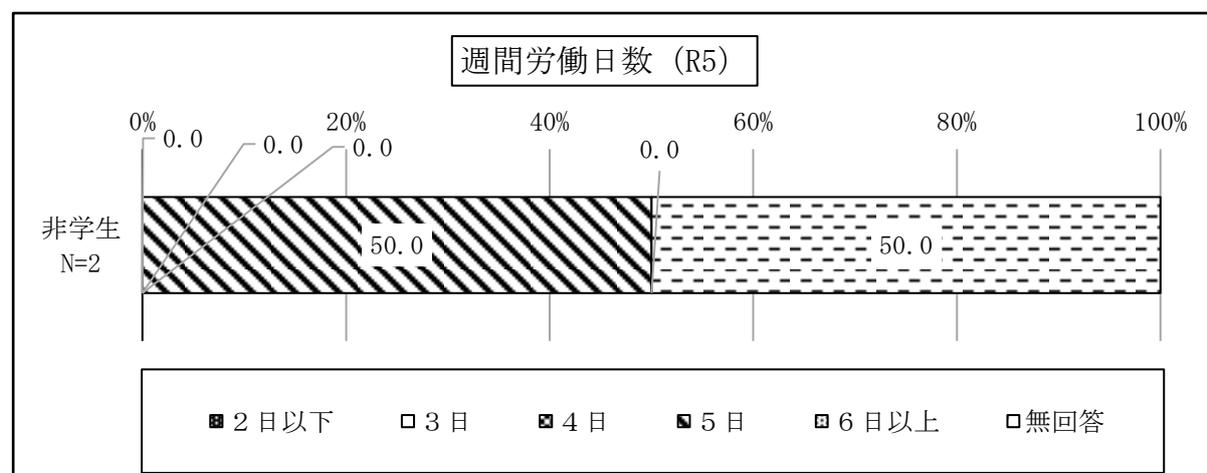
問7-5 休日一日の平均就労時間（学生）

・休日の就労時間については、令和5年では平成30年より「5時間」の割合が9.2ポイント高くなっている。その一方で「6時間」、「7時間以上」の割合は低くなっている。



問7-6 1週間の就労日数（学校へ通わず就労している方（非学生））

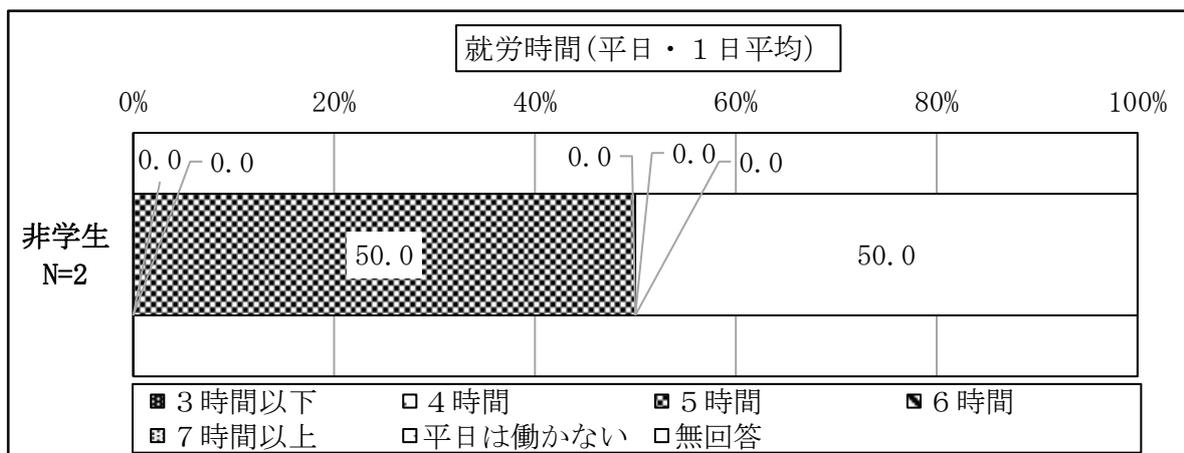
・非学生の週間労働日数については、「5日」が50.0%となっているが、非学生は全体で2名であるため、そのうち1名が1週間のうち「5日」の就労となっている。



※「非学生」については、集計サンプル数が少ないため参考までに数値を見る程度に留める必要がある。

問7-7 平日一日の平均就労（学校へ通わず就労している方（非学生））

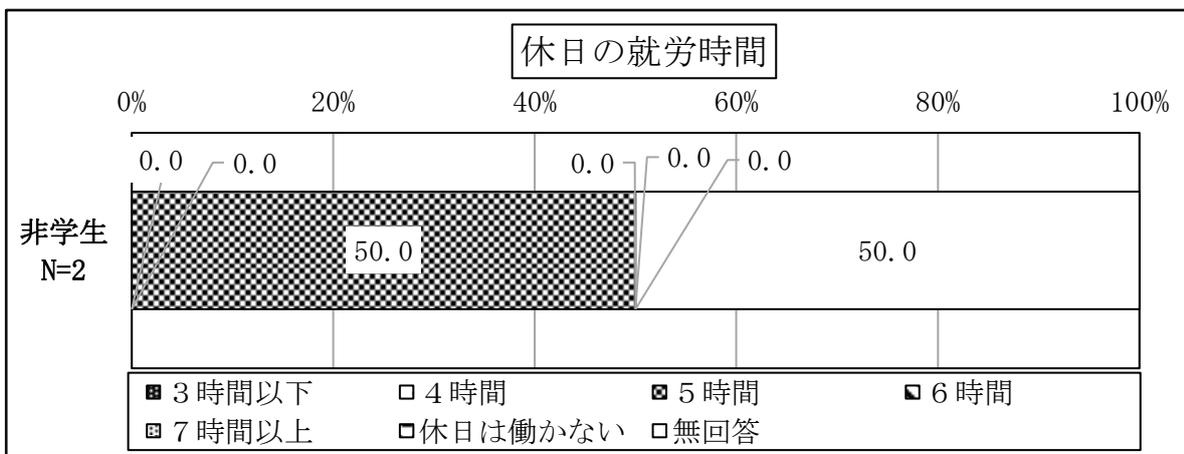
・現在就労している1名の平日の就労時間について、「5時間」となっている。



※「非学生」については、集計サンプル数が少ないため参考までに数値を見る程度に留める必要がある。

問7-8 休日の就労時間（学校へ通わず就労している方（非学生））

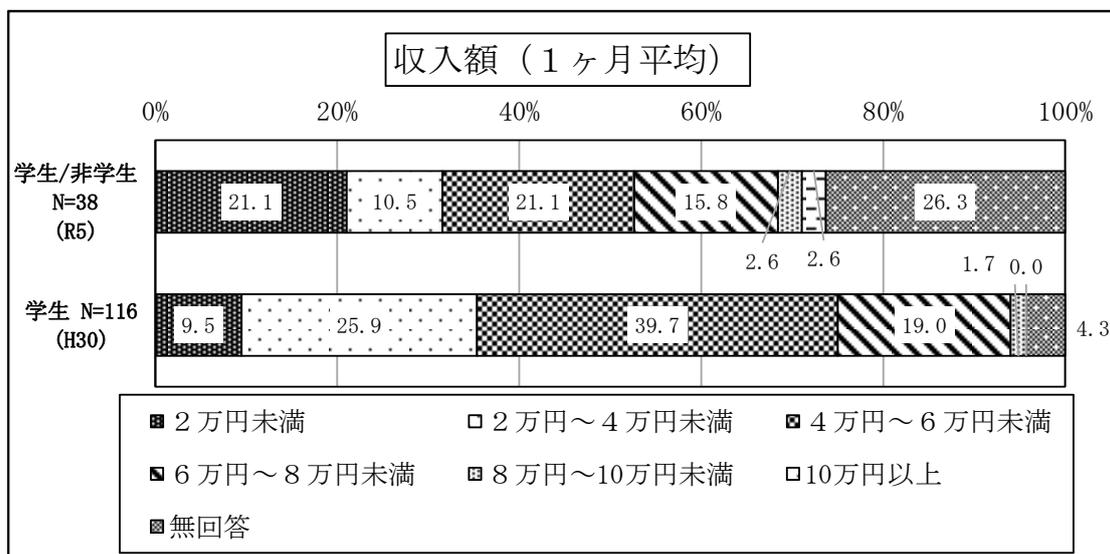
・現在就労している1名の休日の就労時間については、「5時間」となっている。



※「非学生」については、集計サンプル数が少ないため参考までに数値を見る程度に留める必要がある。

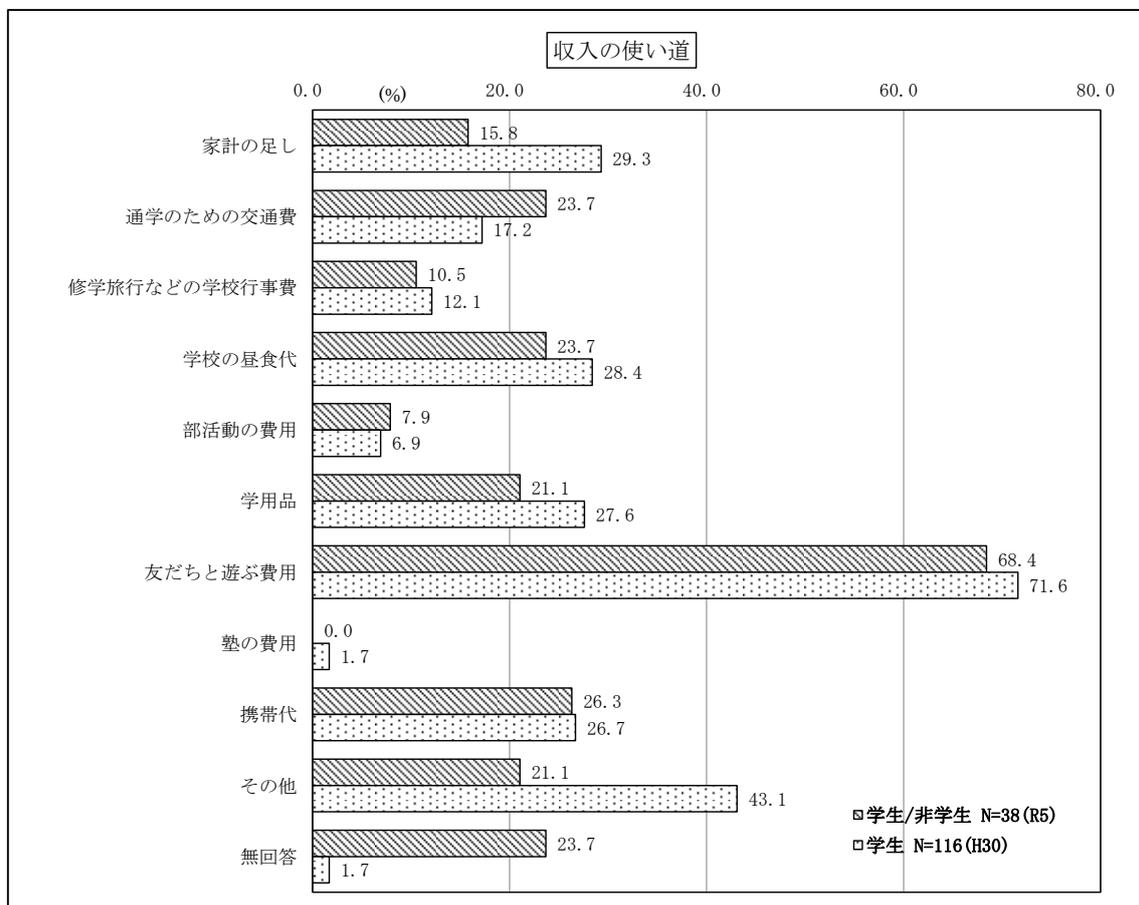
問7-9 一か月の収入（就労経験がある方）

・令和5年では「2万円未満」の割合が高くなっており、反対に「2万円～4万円未満」と「4万円～6万円未満」の割合は大幅に低くなっている。



問7-10 就労収入の使い道（就労経験がある方）※あてはまるものすべてに○

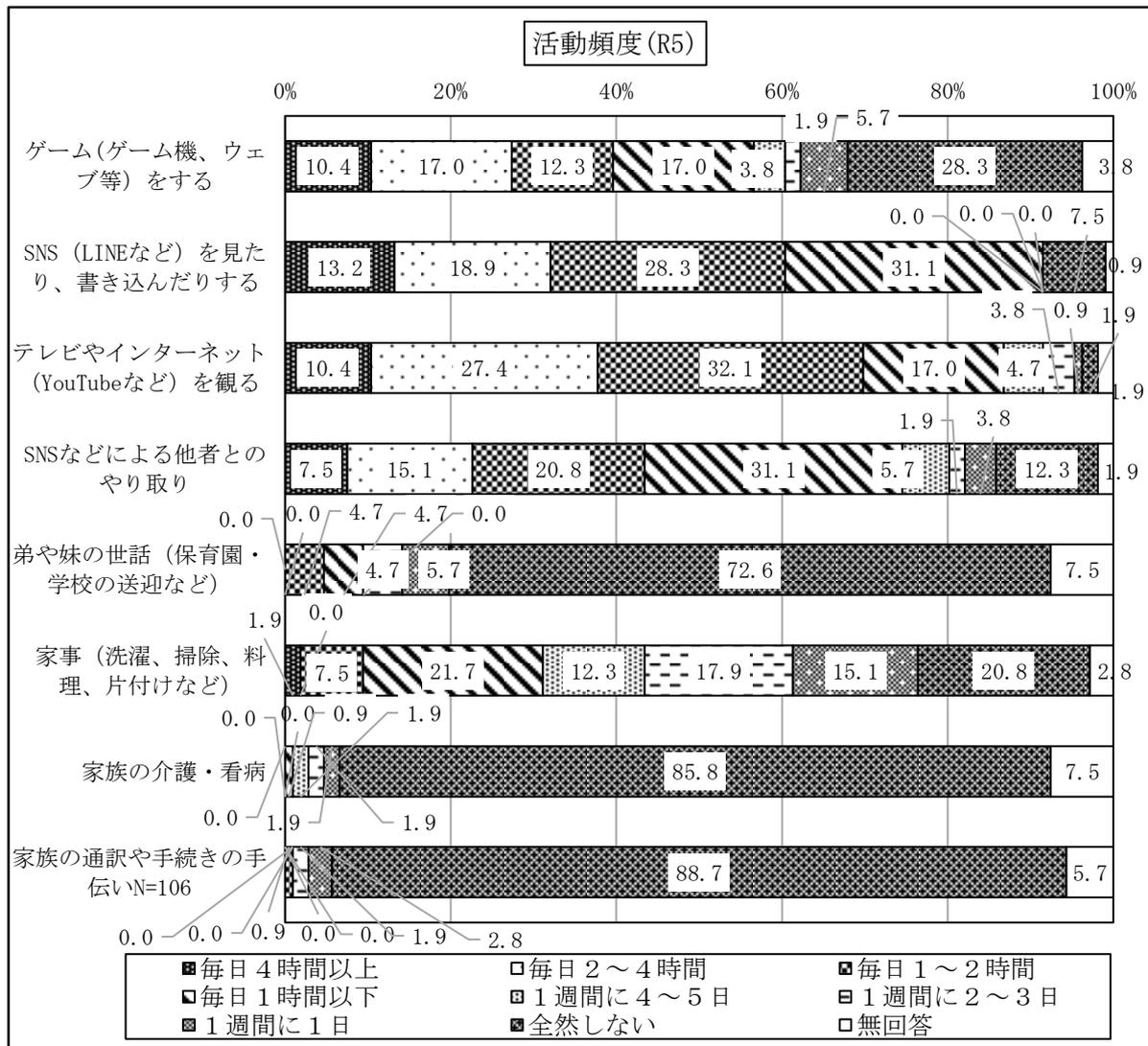
・令和5年と平成30年では、全体的に同程度の割合となっている。
 ・令和5年では、「友だちと遊ぶ費用」の68.4%で最も高く、次いで「携帯代」が26.3%となっている。



問8 1日の活動について

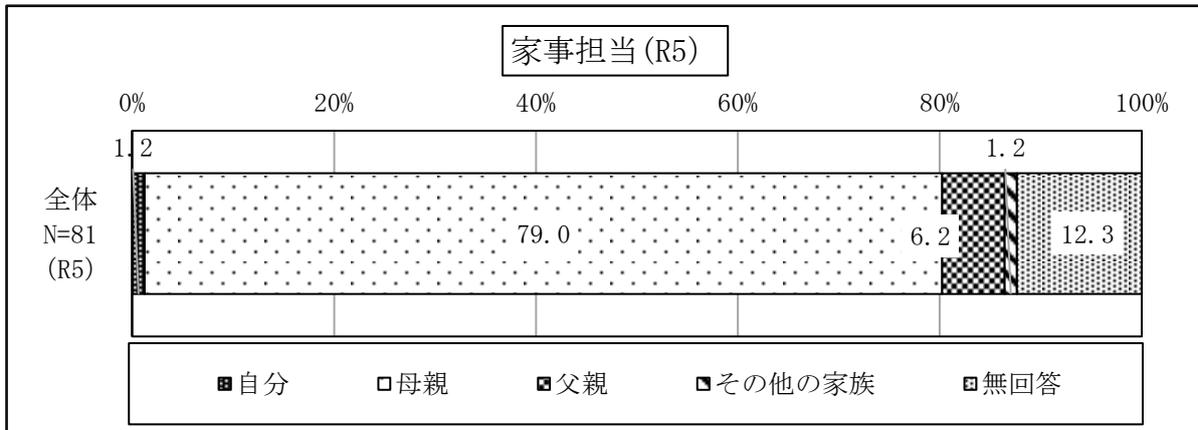
・1日の活動については、「毎日1時間以下」していることでは「SNS (LINE など) を見たり、書き込んだりする」、「SNS などによる他者とのやり取り」が共に 31.1%となっている。

・「家族の介護・看病」や「家族の通訳や手続きの手伝い」は、共に「全然しない」が高い割合を占めているが、「1週間に1日」と回答した割合が「家族の介護・看病」で 1.9%、「家族の通訳や手続きの手伝い」で 2.8%となっており、家族の看病や手続き等のお手伝いに時間を割いている17歳が一定数いると考えられる。



問 8-1 家族の中で家事を担っている人（問 8 で「家事」を選んだ人）

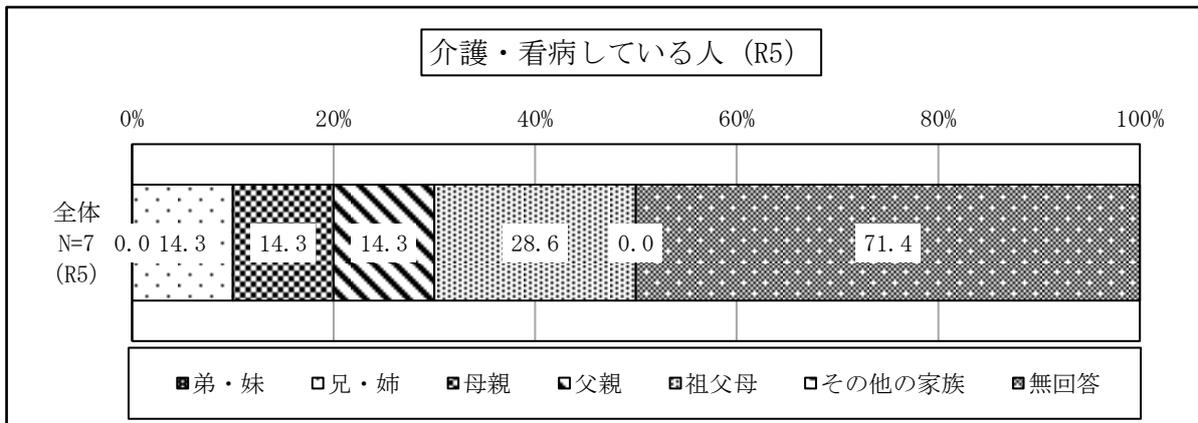
・家族の中で家事を担っている人については、「母親」が 79.0%で最も高く、次いで「父親」が 6.2%、「自分」「その他の家族」が共に 1.2%となっている。



問 8-2 あなたが介護・看病している人（問 8 で「家族の介護・看病」を選んだ人）

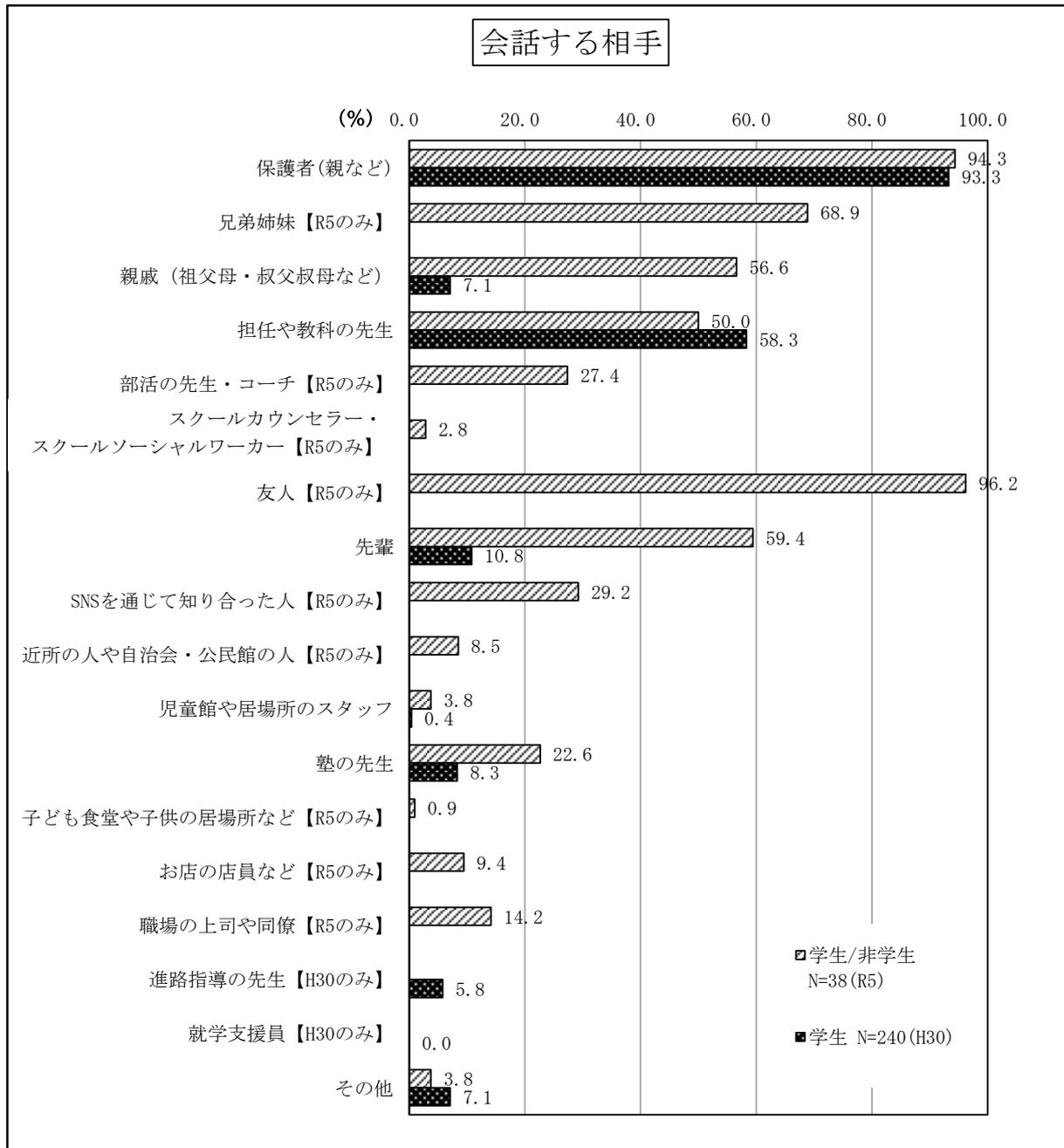
※あてはまるものすべてに○

・あなたが介護・看病している人については、「祖父母」が 28.6%で最も高く、次いで「兄・姉」、「母親」、「父親」が共に 14.3%となっている。



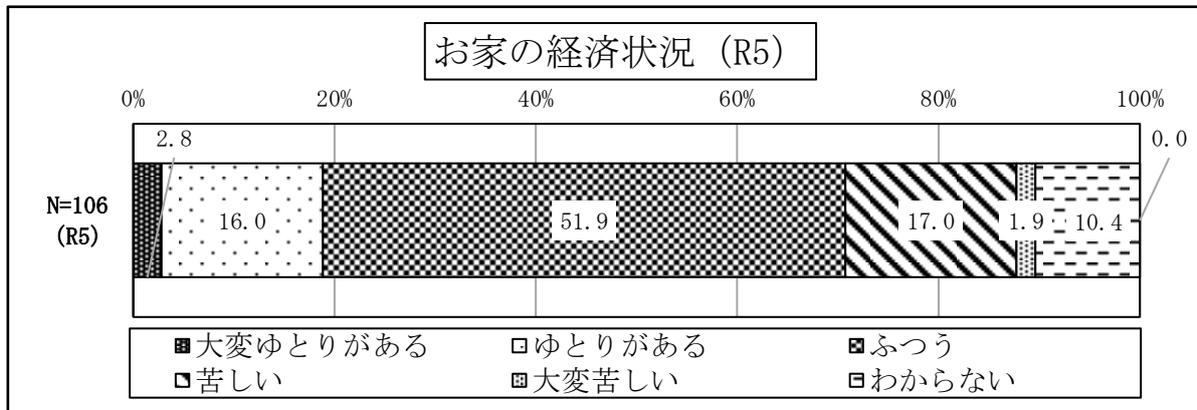
問9 ふだん会話する相手について

・ふだん会話する相手について、令和5年で最も高いのは「友人」で96.2ポイントとなり、次いで令和5年・平成30年共に「保護者(親など)」が高くなっている。



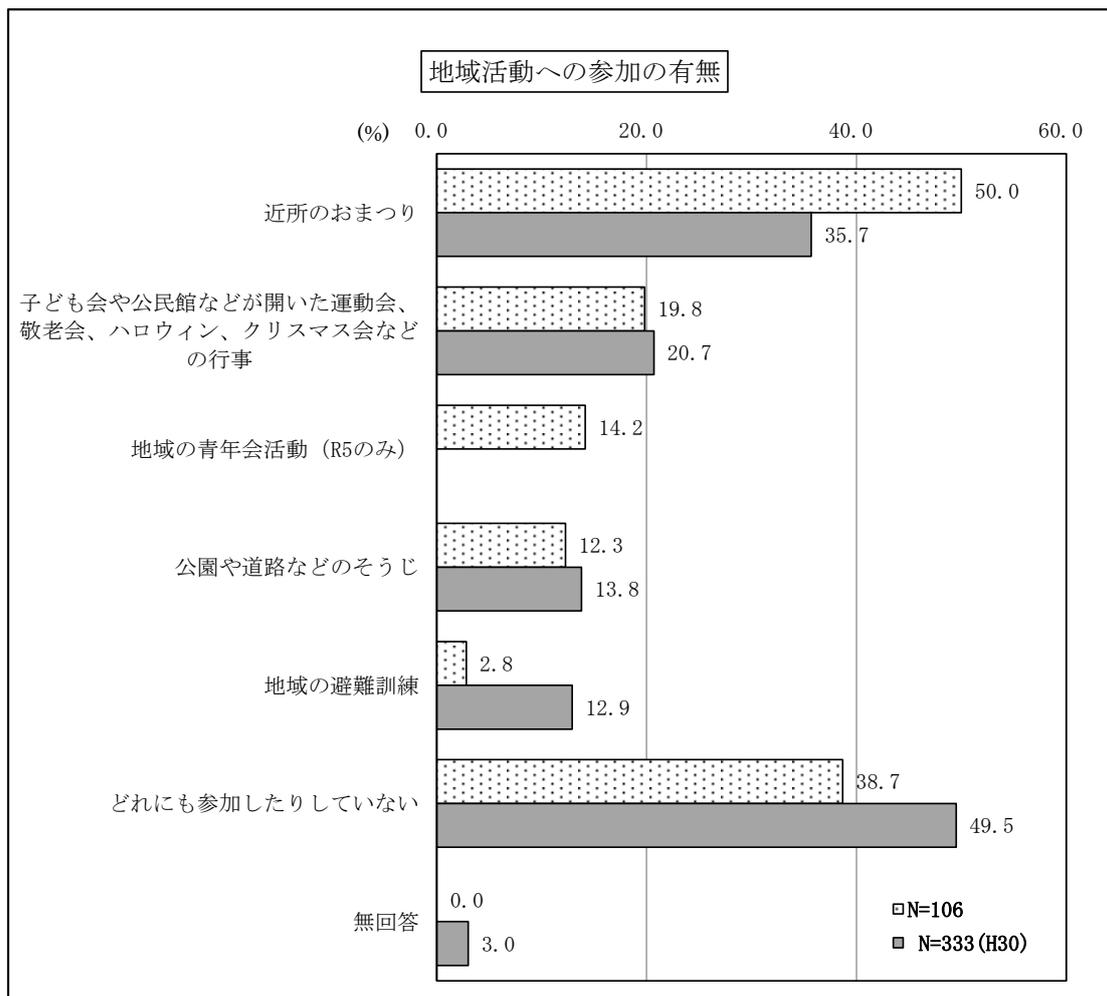
問 10 あなたの家の暮らし（経済状況）

・あなたの家の暮らしについては、「ふつう」が 51.9%で最も高く、次いで「苦しい」が 17.0%となっている。



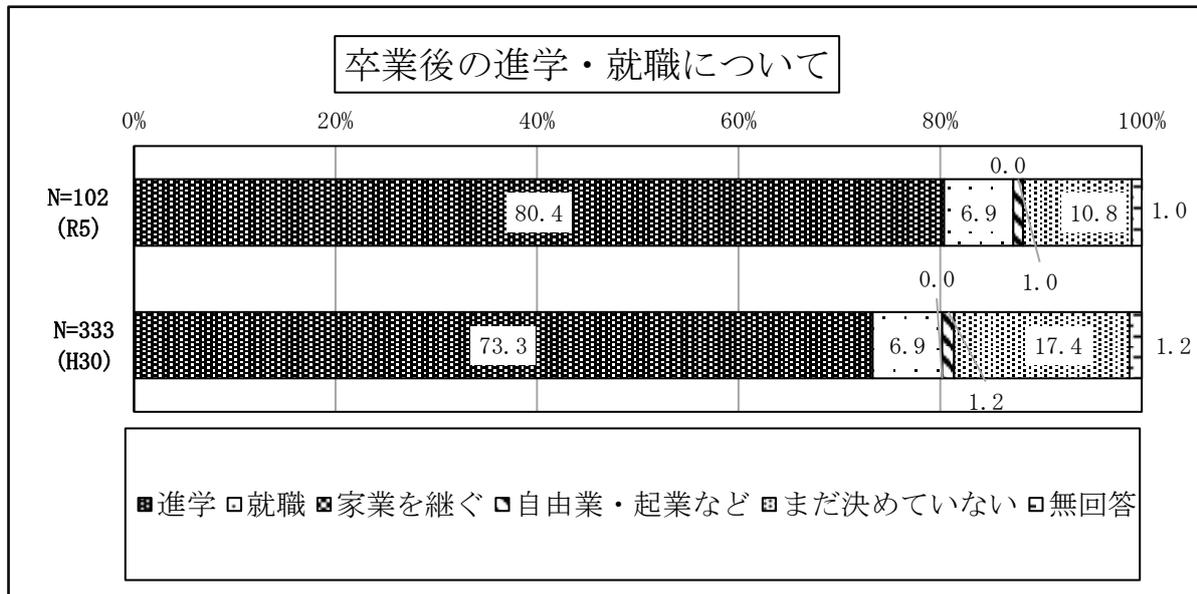
問 11 地域活動への参加 ※あてはまるものすべてに○

・「近所のおまつり」が令和5年では平成30年より 14.3ポイント高くなっている。また、「どれにも参加したり、行ったりしていない」の割合は、10.8ポイント低くなっている。



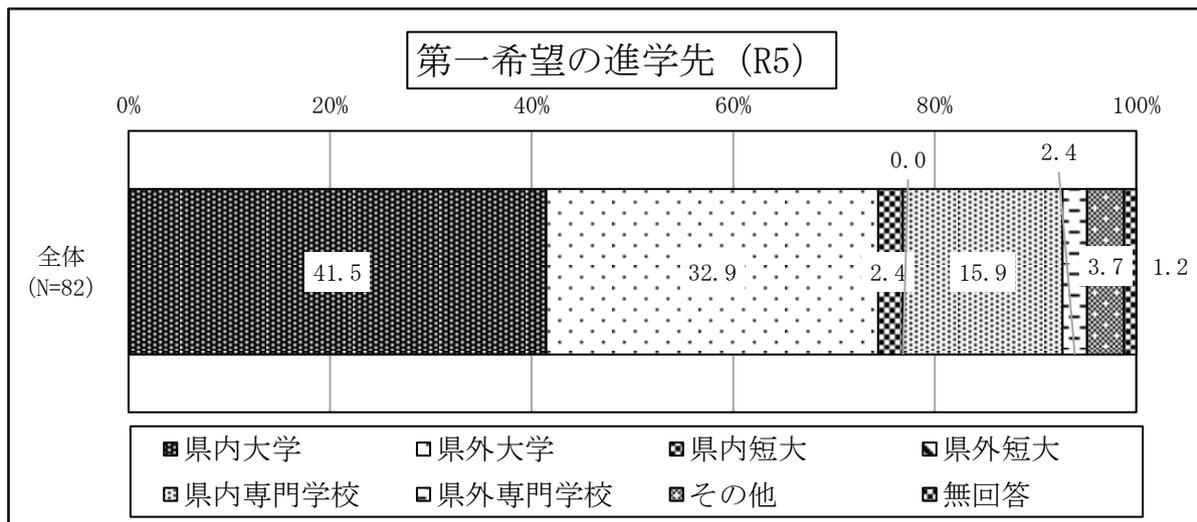
問 12 卒業後の進学や就職意向について（学生）

・令和5年と平成30年で全体的な傾向は同じだが、令和5年では、「進学」の割合が7.1ポイント高くなっており、「まだ決めていない」は6.6ポイント低くなっている。



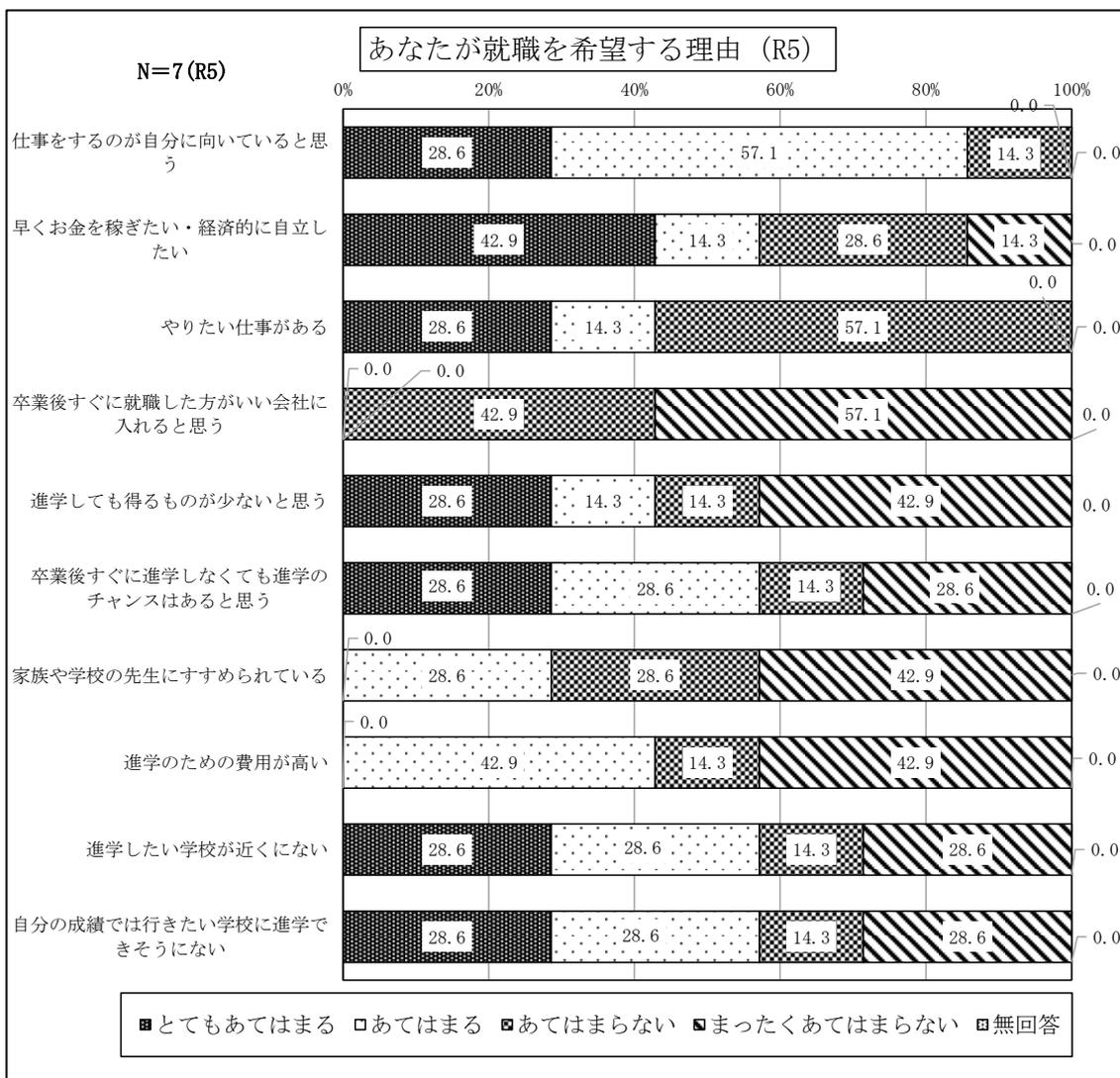
問 12-1 第一希望の進学先（問 12 で「進学」を選んだ方）

・問 12 で進学を選んだ人のうち、第一希望の進学先については、「県内大学」が41.5%で最も高く、次いで「県外大学」32.9%、「県内専門学校」が15.9%である。



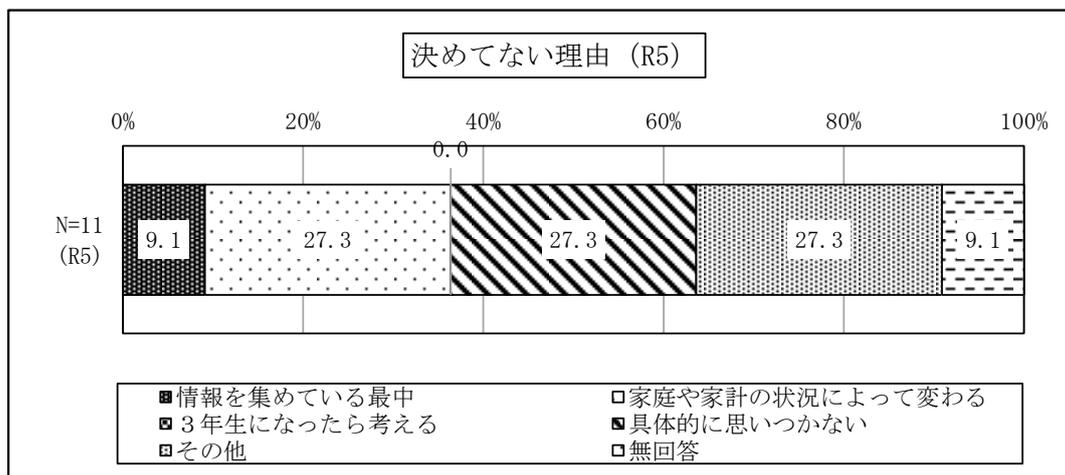
問 12-2 あなたが就職を希望する理由（問 12 で「就職」を選んだ方）

・あなたが就職を希望する理由については、「早くお金を稼ぎたい・経済的に自立したい」の42.9%が「とてもあてはまる」と回答しており、経済的な理由により就職を希望する傾向がみられる。



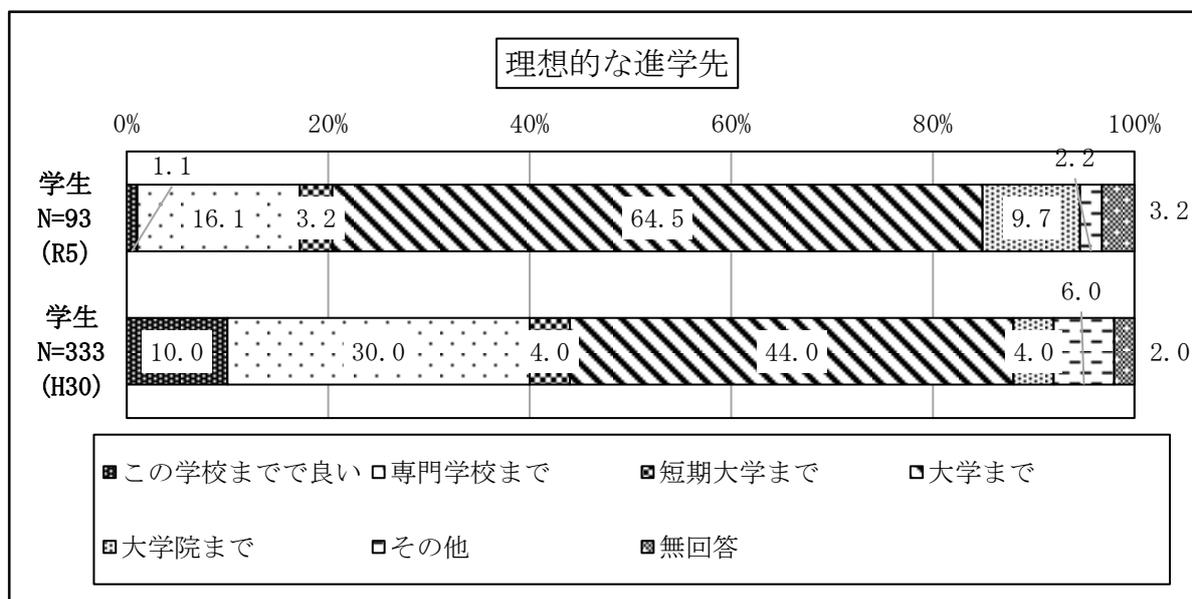
問 12-3 進路を決めていない理由（問 12 で「まだ決めていない」を選んだ方）

・決めていない理由については、「家庭や家計の状況によって変わる」「具体的に思いつかない」「その他」が27.3%となっている。



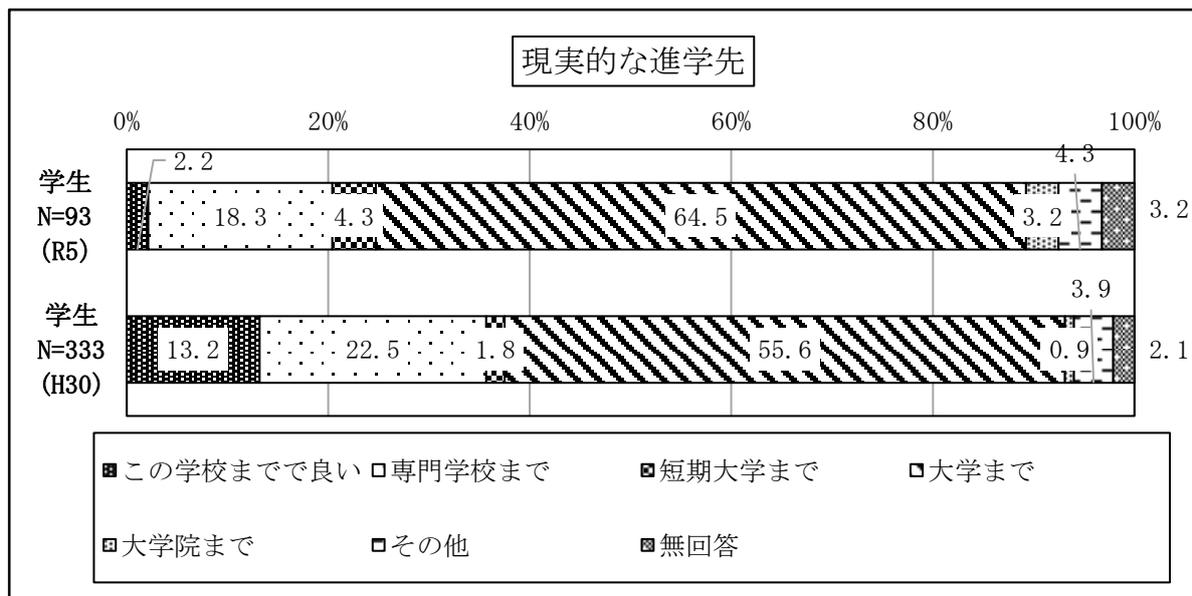
問 13-1 理想的な進学先（学生）

・令和5年と平成30年を比較すると、「この学校までで良い」「専門学校まで」が低くなっており、「大学まで」「大学院まで」の割合が高くなっている。



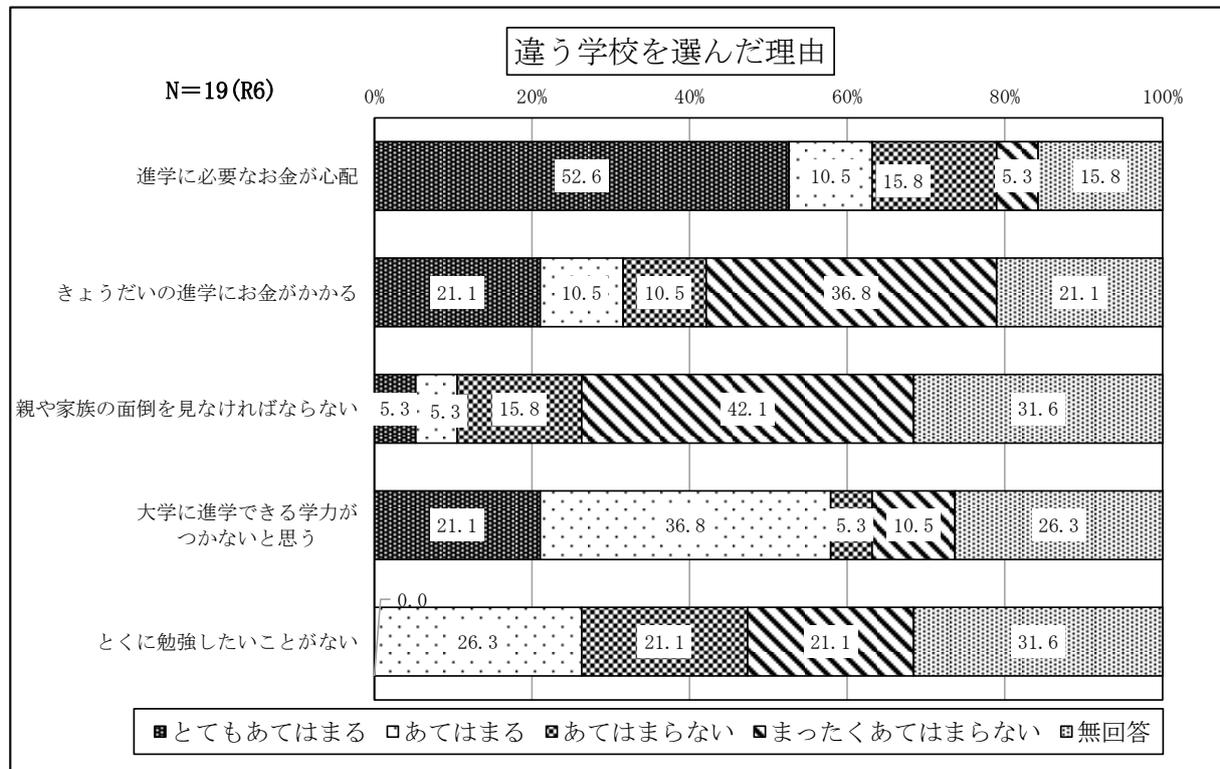
問 13-2 現実的な進学先（学生）

・現実的な進学先については、理想の進学先と同じく「この学校までで良い」「専門学校まで」が平成30年より低くなっているが、「短期大学まで」「大学まで」「大学院まで」の割合は高くなっている。



問 13-3 理想的な進学先と現実的な進学先で違う学校を選んだ理由（学生）

・違う学校を選んだ理由については、「進学に必要なお金が心配」の 52.6%、次いで「きょうだいの進学にお金がかかる」「大学に進学できる学力がつかないと思う」共に 21.1%が「とてもあてはまる」と回答しており、経済的理由や自身の学力にかかる不安から、理想とは違う進学先を選ぶ傾向にあると考えられる。



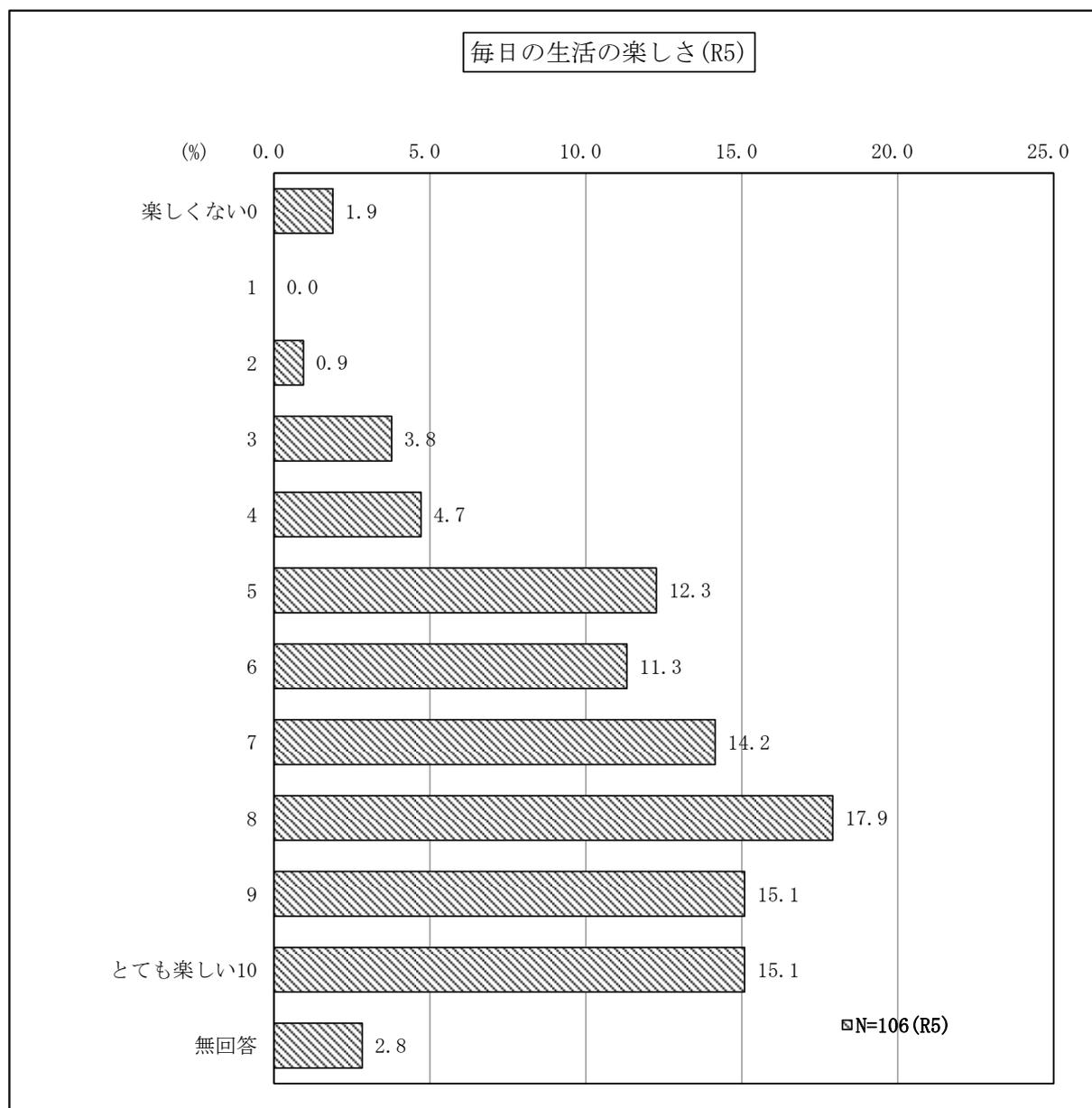
問 14 自分が持っている（できる）もの

・平成 30 年よりも「インターネットにつながるパソコンやタブレット(環境)」と「スマートフォン」を持っている割合が大幅に高くなった。

		※灰色はR5の選択肢			単位：%
N=106 (R5) N=333 (H30)		持っている (あった)	持たたいが 持っていない (やりたいが できない)	持たたくない (やりたくない)	無回答
A. 自分だけの本（教科書やマンガはのぞく）	R5	-	-	-	-
	H30	66.7	5.1	25.8	2.4
A-2. 新しい洋服・靴	R5	83.0	11.3	2.8	2.9
	H30	-	-	-	-
B. 子ども部屋 (兄弟・姉妹と使っている場合も含む)	R5	60.3	31.1	5.6	3.0
	H30	51.4	36.9	9.9	1.8
C. インターネットにつながるパソコンやタブレット (環境)	R5	93.3	2.8	0.9	3.0
	H30	49.8	34.5	13.8	1.8
D. 自分専用の勉強机/家の中で勉強ができる場所	R5	85.8	8.4	2.8	3.0
	H30	82.3	9.0	6.9	1.8
E. スポーツ用品（野球のグローブやサッカーボール、 バレーボールなど）	R5	68.8	8.4	17.9	4.9
	H30	70.6	6.0	21.6	1.8
F. 自分がアクセスできる音楽や映画サービス	R5	74.5	16.9	4.7	3.9
	H30	-	-	-	-
G. 友人と遊びに出かけるお金	R5	82.0	9.4	5.6	3.0
	H30	-	-	-	-
H. 自分が使えるパソコンまたはタブレット	R5	78.3	10.3	8.4	3.0
	H30	-	-	-	-
I. 定期的なヘアカット	R5	81.1	10.3	5.6	3.0
	H30	-	-	-	-
J. 自分で自由に使えるお金	R5	60.3	24.5	12.2	3.0
	H30	-	-	-	-
K. 友人が着ているような洋服	R5	62.2	16.0	18.8	3.0
	H30	64.6	8.7	24.0	2.7
L. 2足以上のサイズの合った靴	R5	84.9	7.5	4.7	2.8
	H30	-	-	-	-
M. スマートフォン	R5	92.4	2.8	0.9	3.8
	H30	30.9	36.0	31.2	1.8
N. 学習塾	R5	24.5	15.0	55.6	4.9
	H30	-	-	-	-
O. 1年に1回の家族旅行	R5	28.3	45.2	22.6	3.8
	H30	-	-	-	-
P. めがね又はコンタクトレンズ	R5	52.8	2.8	39.6	4.8
	H30	-	-	-	-

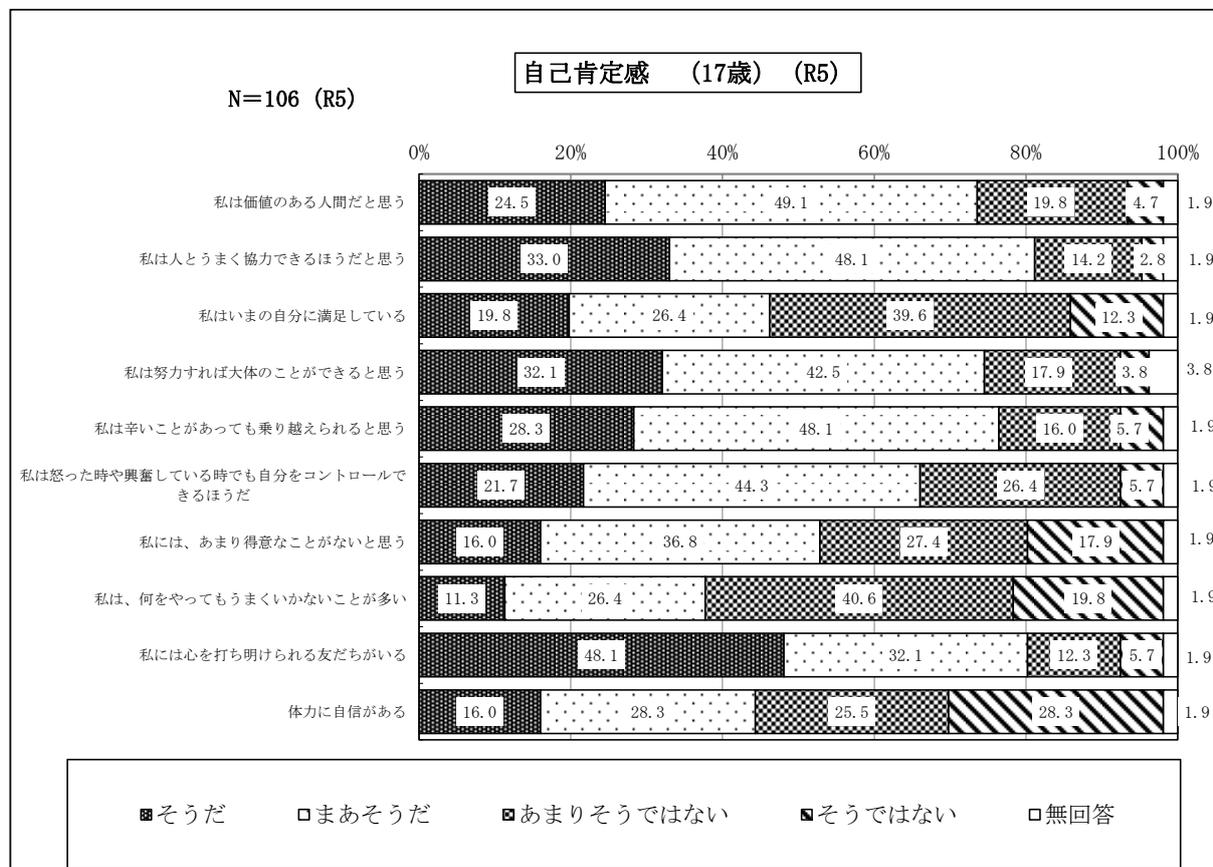
問 15 毎日の生活の楽しさ

・毎日の生活の楽しさについては、10段階評価のうち、「8」が17.9%で最も高く、次いで「9」「10(とても楽しい)」が15.1%となっている。



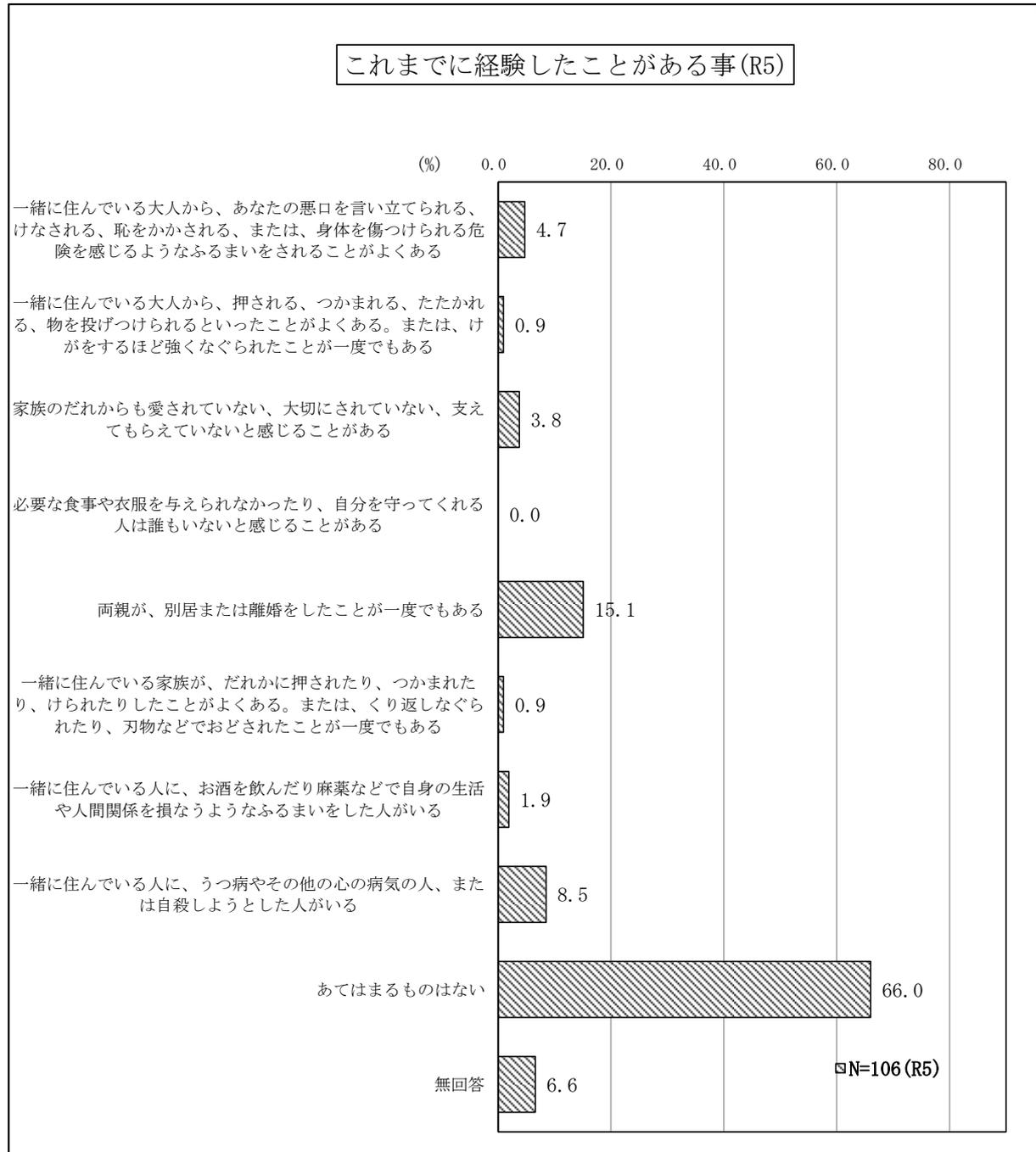
問 16 子どもの自己肯定感

・自己肯定感については、「私には心を打ち明けられる友だちがいる」が 48.1% で最も高く、次いで「私は人とうまく協力できるほうだと思う」が 33.0%、「私は努力すれば大体のことができると思う」が 32.1% となっている。



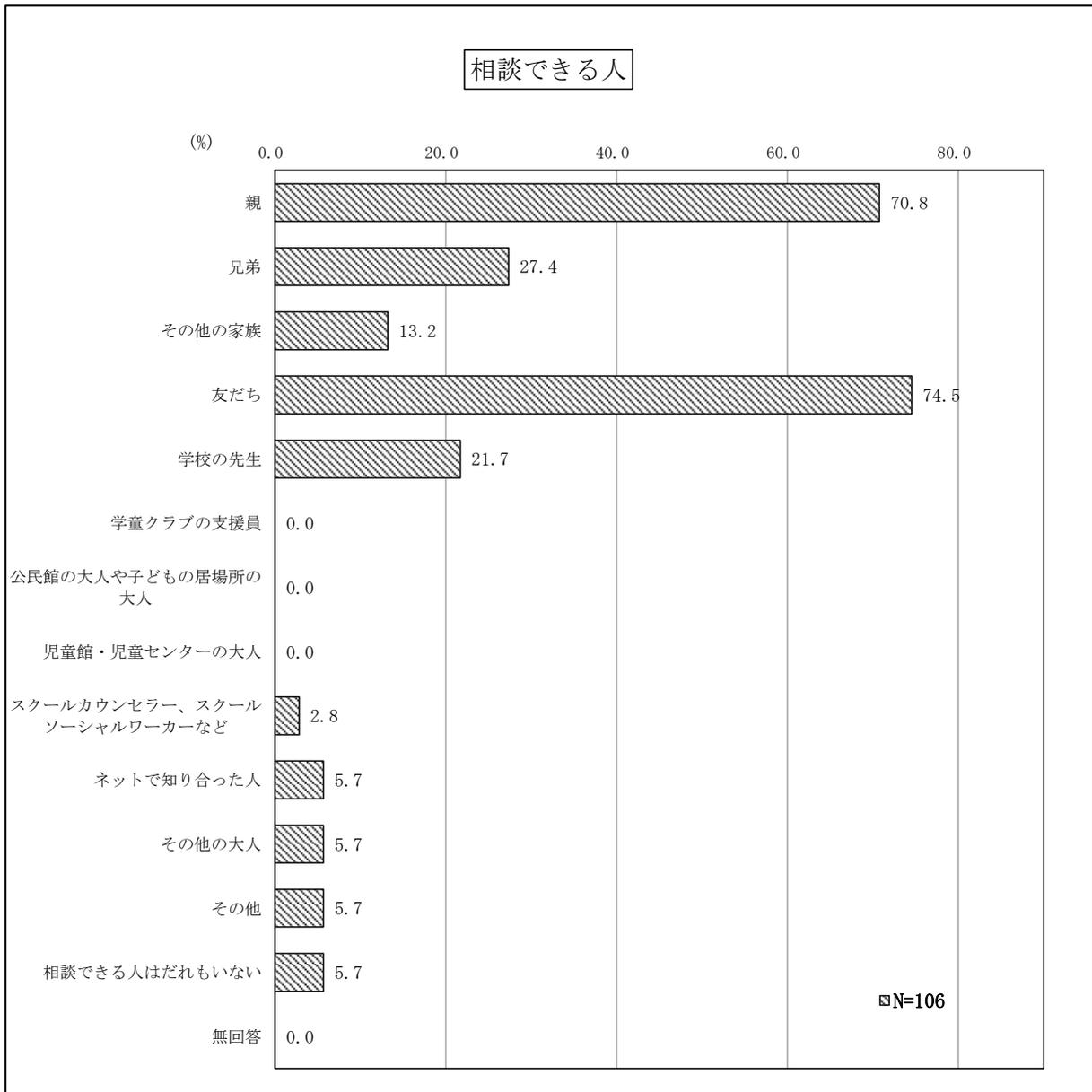
問 17 今までに感じたこと、経験したこと ※あてはまるものすべてに○

・今までに感じたこと、経験したことについては、「あてはまるものはない」が 66.0%で最も高いが、「両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」が 15.1%となっており、ひとり親家庭で生活した経験がある回答者もいることが分かる。



問 18 相談できると思う人 ※あてはまるものすべてに○

・相談できると思う人については、「友だち」が 74.5%で最も高く、次いで「親」が 70.8%、「兄弟」が 27.4%である。

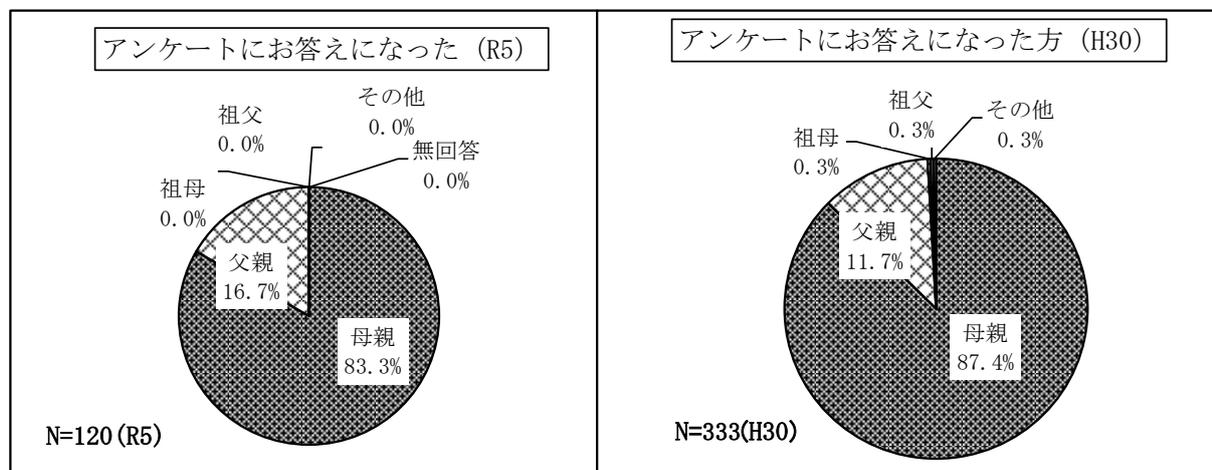


17 歲保護者調查結果

7. 17歳保護者調査結果

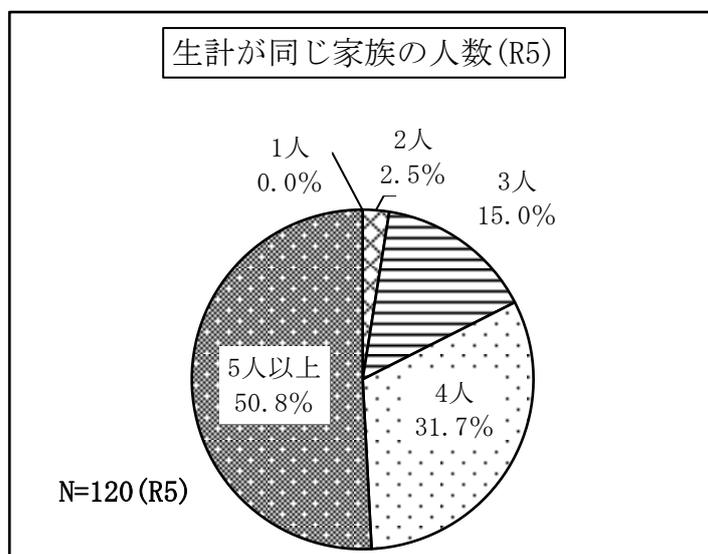
問1 子どもとの続柄

・回答者は令和5年のほうが平成30年よりやや「父親」が高いが、令和5年・平成30年共に「母親」が8～9割程で高くなっている。



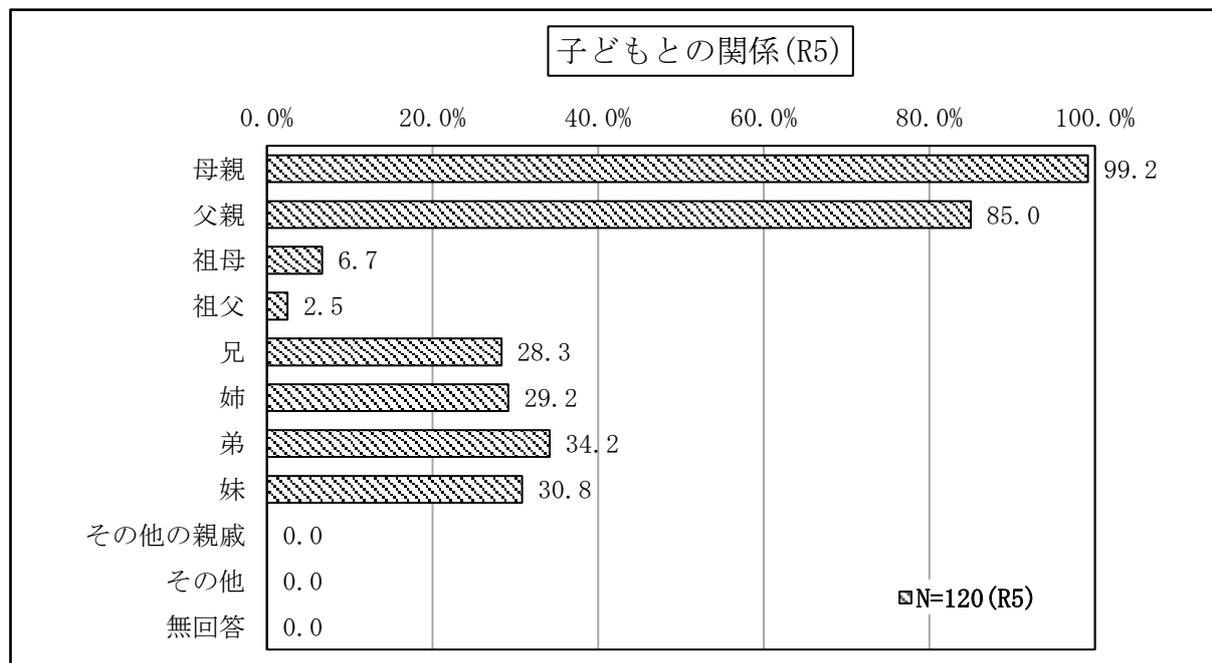
問2 生計が同じ家族の人数

・家族の人数については、「5人以上」が50.8%で最も高く、次いで「4人」が31.7%となっている。



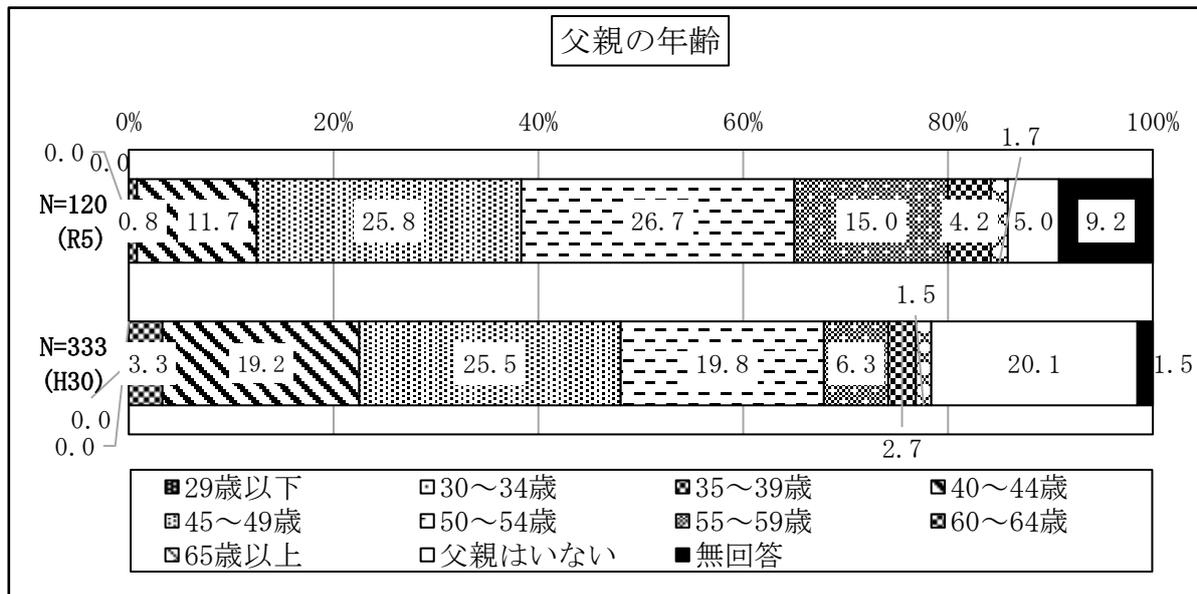
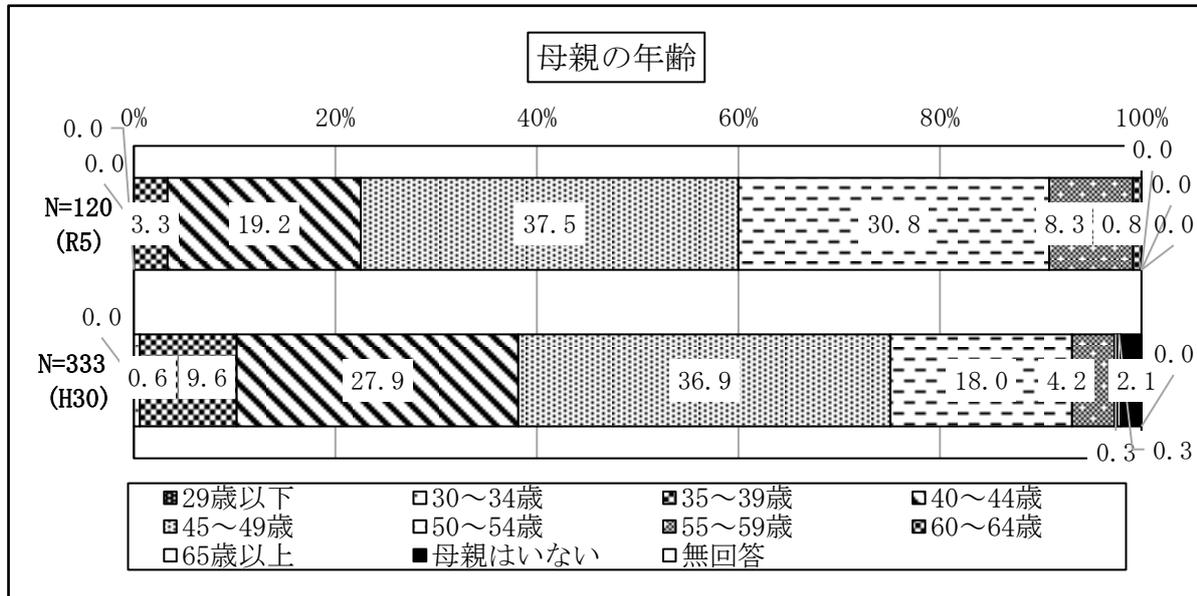
問3 子どもと生計が同じ家族の続柄 ※あてはまるものすべてに○

・子どもと生計が同じ家族の続柄については、「母親」が99.2%最も高く、次いで「父親」が85.0%、「弟」が34.2%である。



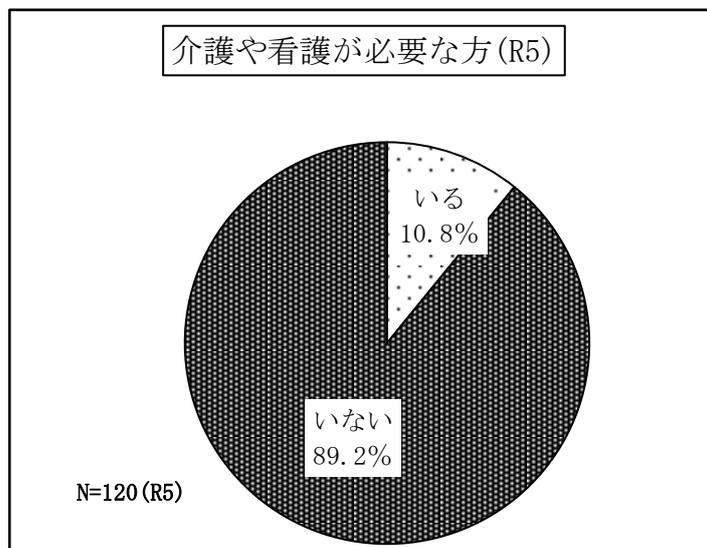
問4 母親と父親の年齢

- ・母親と父親の年齢両方で「35～39歳」と「40～44歳」が平成30年よりも低くなっている。
- ・一方で平成30年より、母親の「50～54歳」では12.8ポイント、父親でも「50～54歳」が6.9ポイント高くなっている。



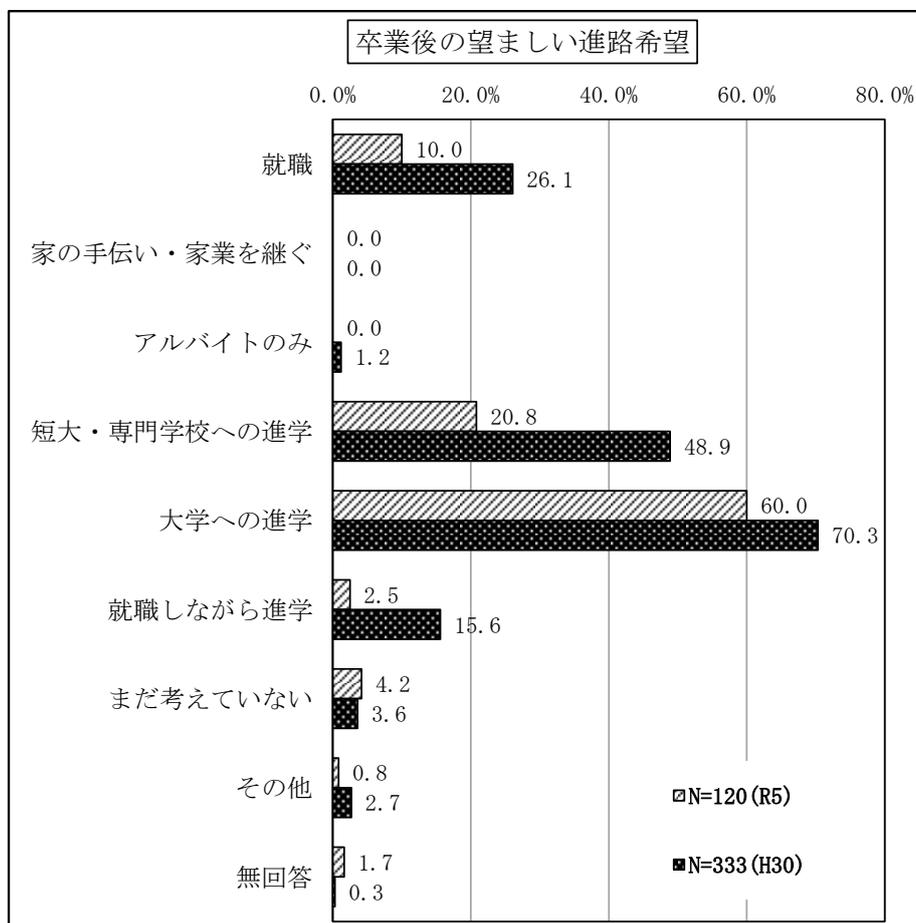
問5 家族の中で介護や看護が必要な方

・家族の中で介護や看護が必要な方はいますかという質問については、「いない」が89.2%、「いる」が10.8%となっている。



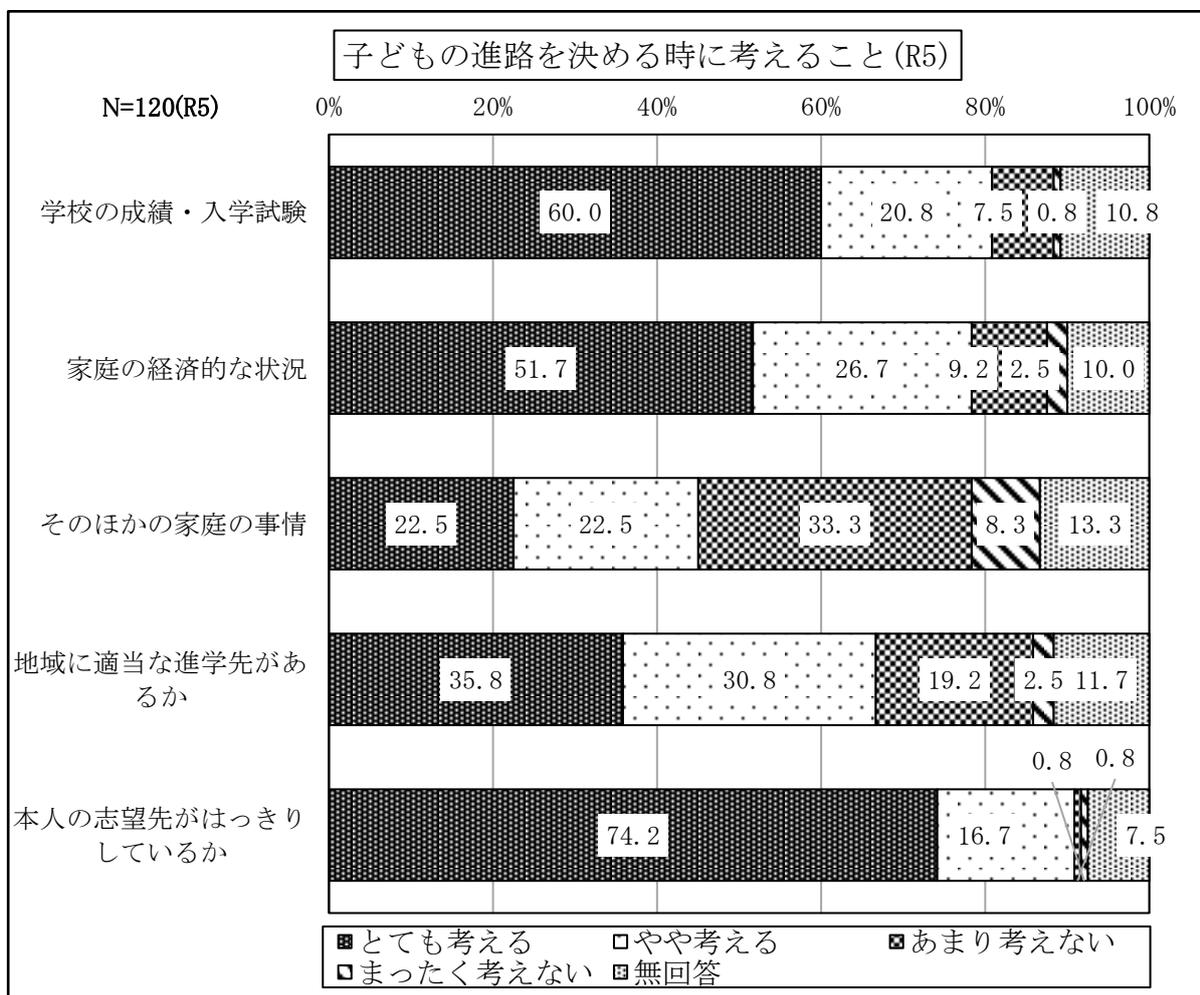
問6 子どもが現在通学している学校を卒業後の望ましい進路（子どもが学生の方）

・子どもが学校卒業後の望ましい進路については、令和5年・平成30年共に「大学への進学」が最も高く、次いで令和5年では「短大・専門学校への進学」が20.8%、「就職」が10.0%となっている。



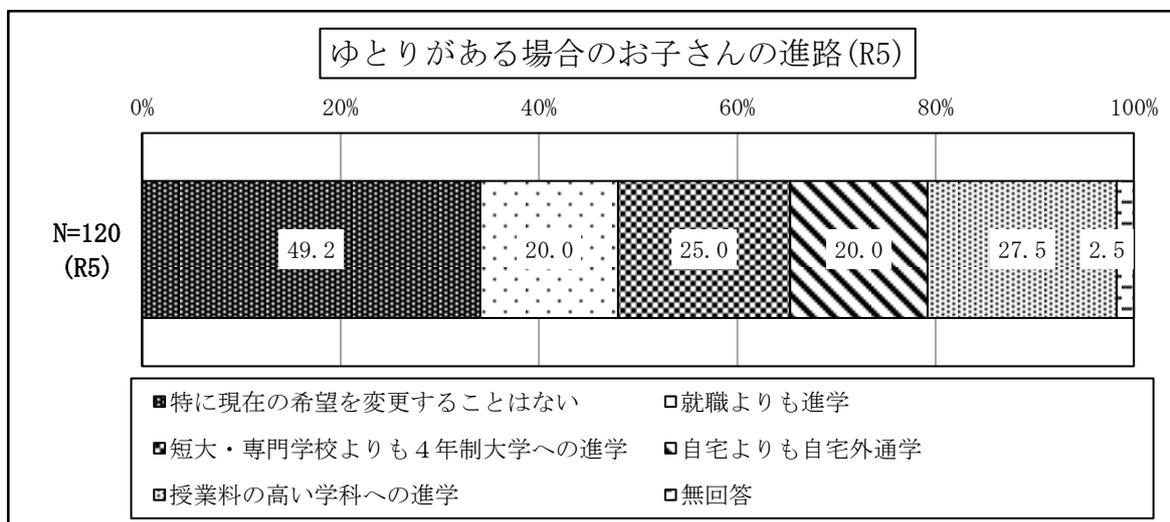
問7 子どもの進路を決める時に考えること（子どもが学生の方）

・子どもの進路を決める時に考えることについて、「とても考える」と回答した項目は、「本人の志望先がはっきりしているか」が74.2%最も高く、次いで「学校の成績・入学試験」が60.0%、「家庭の経済的な状況」が51.7%である。



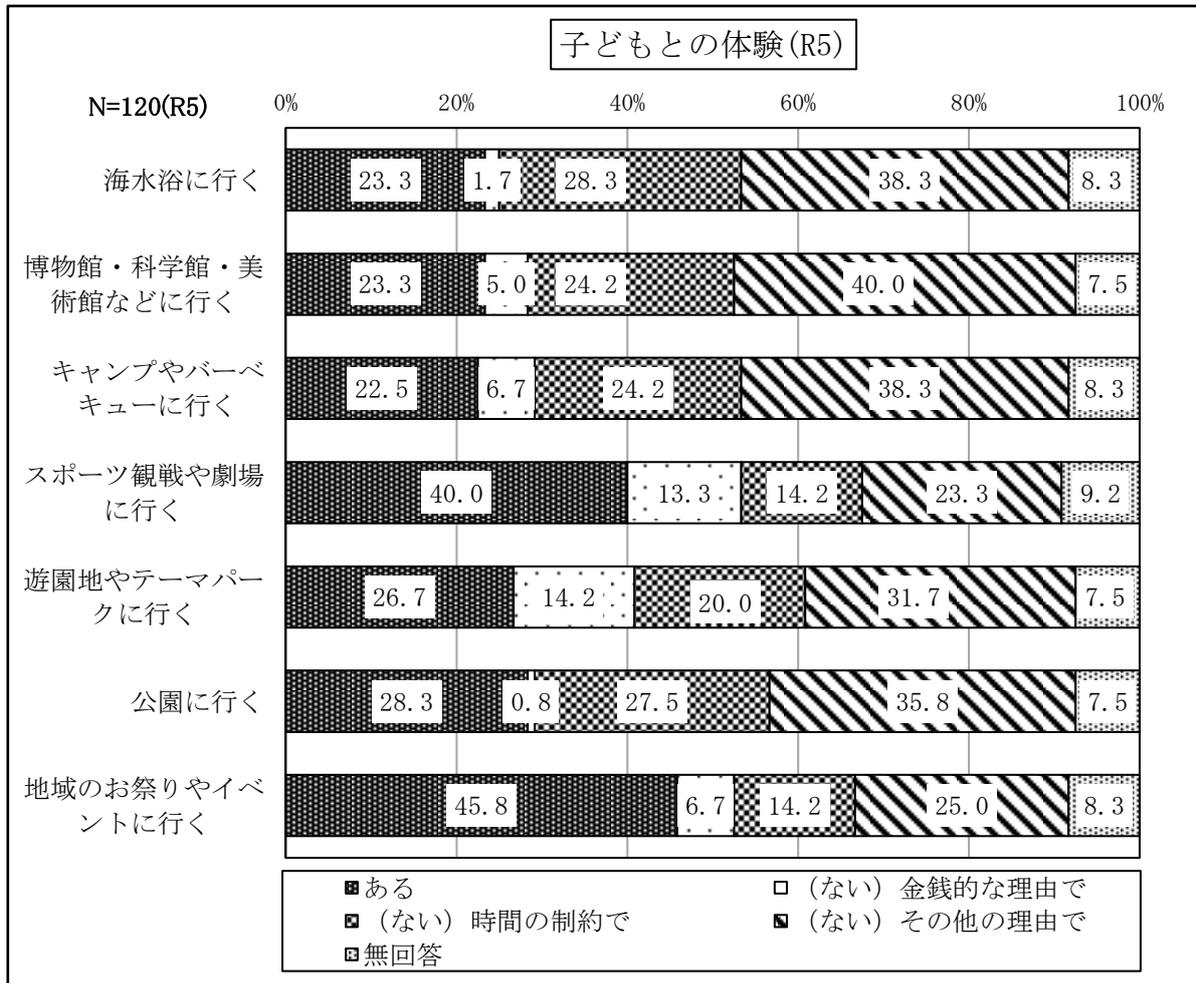
問8 経済的にゆとりがある場合のお子さんの進路 ※あてはまるものすべてに○

・ゆとりがある場合のお子さんの進路については、「特に現在の希望を変更することはない」が49.2%で最も高く、次いで「授業料の高い学科への進学」が27.5%となっている。



問9 子どもとの体験

・子どもとの体験については、「地域のお祭りやイベントに行く」が45.8%で最も高く、次いで「スポーツ観戦や劇場に行く」が40.0%、「公園に行く」が28.3%である。



問10 お子さんにしていること

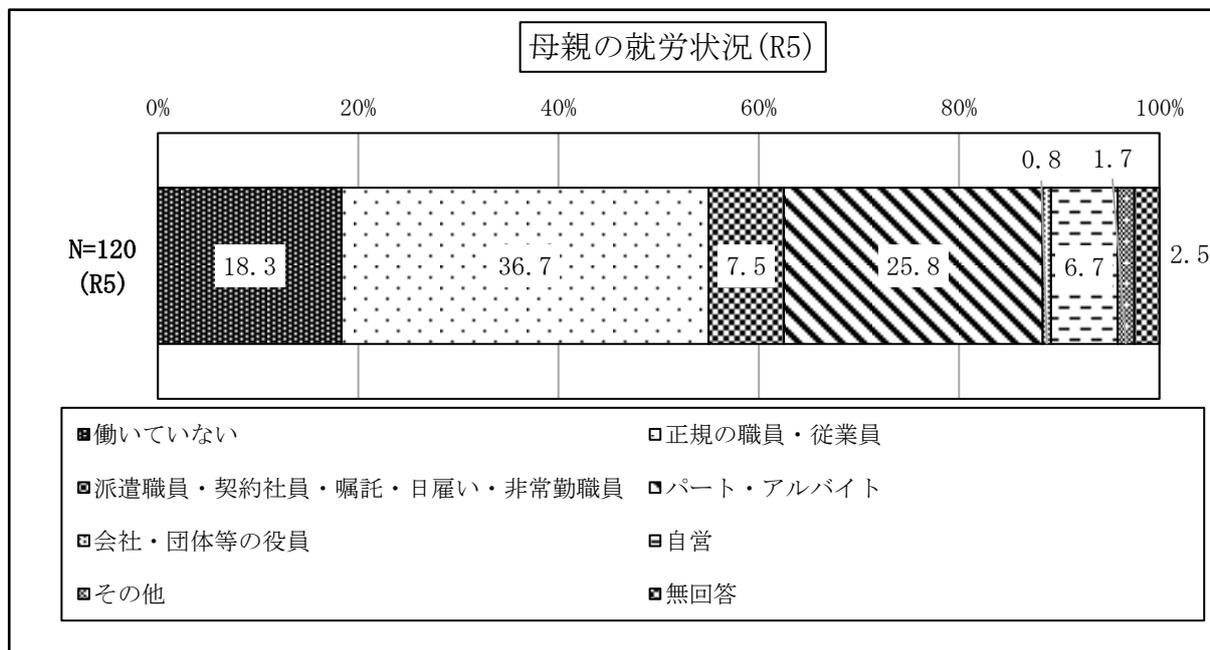
・お子さんにしていることについては、令和5年では「スマートフォンを与える」と「お誕生日のお祝いをする」の割合が95.0%で最も高くなっている。

・令和5年では平成30年より、「毎月おこづかいを渡す」が30.7ポイント高くなっている。一方で「習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる」では平成30年より32.1ポイント低くなっている。

N=120 (R5) N=333 (H30)	年度	灰色はR5のみの選択肢			単位：%	
		して いた	していない			無 回 答
			か思必 つわ要 たなだ と	かで経 つき済 たな 的に		
A. 毎月おこづかいを渡す	R5	51.7	20.8	22.5	5.0	
	H30	21.0	63.4	13.8	1.8	
B. 毎年新しい(お古でない)洋服・靴を買う	R5	80.0	7.5	10.8	1.7	
	H30	80.8	10.8	6.3	2.1	
C. 習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる	R5	40.0	32.5	22.5	5.0	
	H30	72.1	11.4	15.6	0.9	
D. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらおう、オンライン含む)	R5	35.0	35.0	24.2	5.8	
	H30	33.9	45.3	19.8	0.9	
E. お誕生日のお祝いをする	R5	95.0	1.7	0.0	3.3	
	H30	96.4	2.1	1.2	0.3	
F. 家族旅行に行く	R5	38.3	15.0	40.0	6.7	
	H30	-	-	-	-	
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	R5	86.7	2.5	6.7	4.2	
	H30	94.6	2.1	3.0	0.3	
H. 医者に行く(医療機関での健診を含む)	R5	-	-	-	-	
	H30	95.2	2.1	1.5	1.2	
I. 歯医者に行く(歯科医での健診を含む)	R5	-	-	-	-	
	H30	91.9	3.3	3.6	1.2	
J. 修学旅行などお金がかかる学校の活動	R5	84.2	9.2	3.3	3.3	
	H30	-	-	-	-	
K. パソコンやタブレットを与える	R5	79.2	5.0	12.5	3.3	
	H30	-	-	-	-	
L. スマートフォンを与える	R5	95.0	2.5	0.8	1.7	
	H30	-	-	-	-	

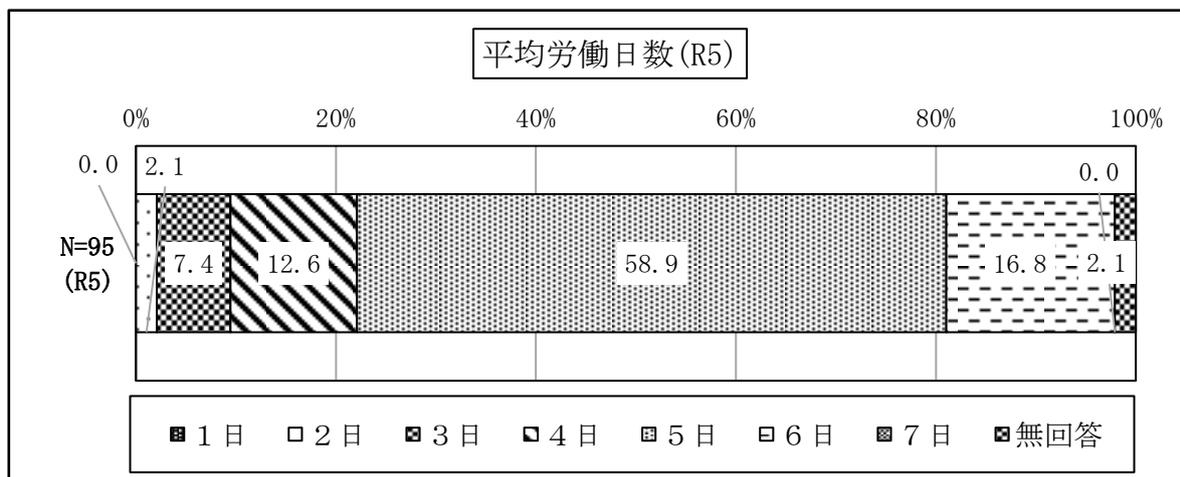
問 11 母親の就労状況

・母親の就労状況については、「正規の職員・従業員」が 36.7%で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が 25.8%、「働いていない」が 18.3%となっている。



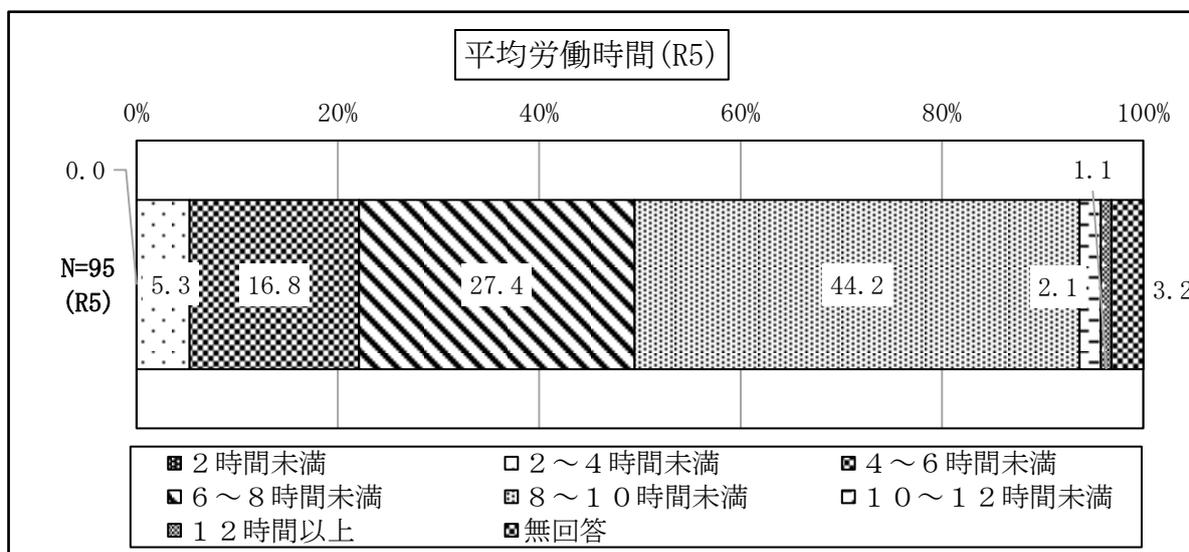
問 11-1 平均労働日数 (母親)

・母親の平均労働日数については、「5日」が 58.9%で最も高く、次いで「6日」が 16.8%となっている。



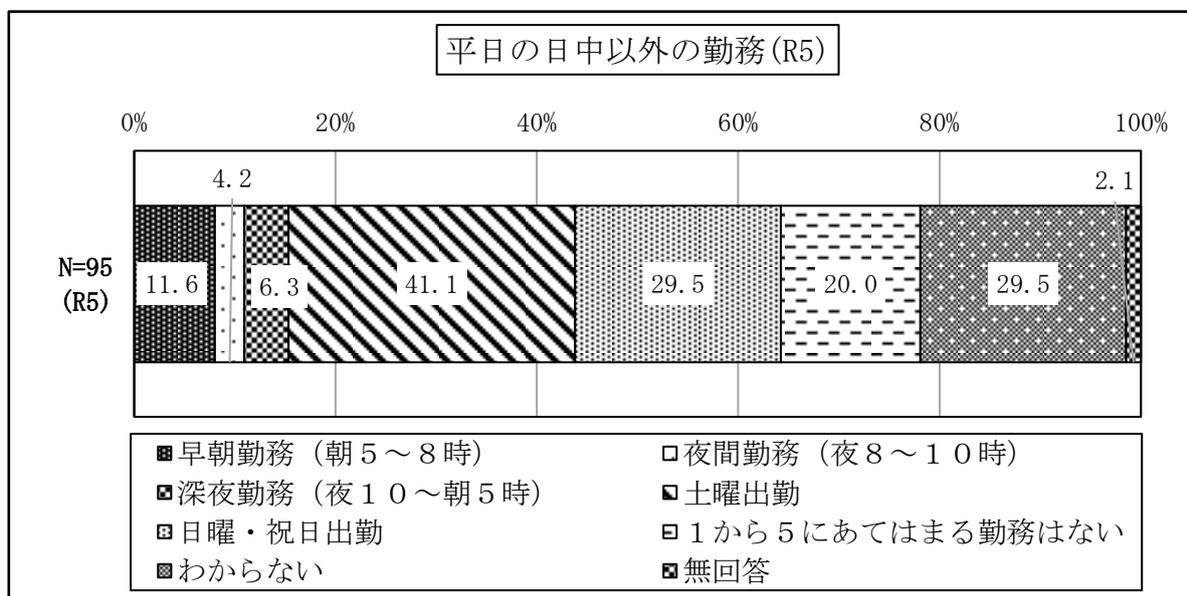
問 11-2 平均労働時間（母親）

・母親の平均労働時間については、「8～10時間未満」の44.2%が最も高く、次いで「6～8時間未満」の27.4%、「4～6時間未満」の16.8%である。



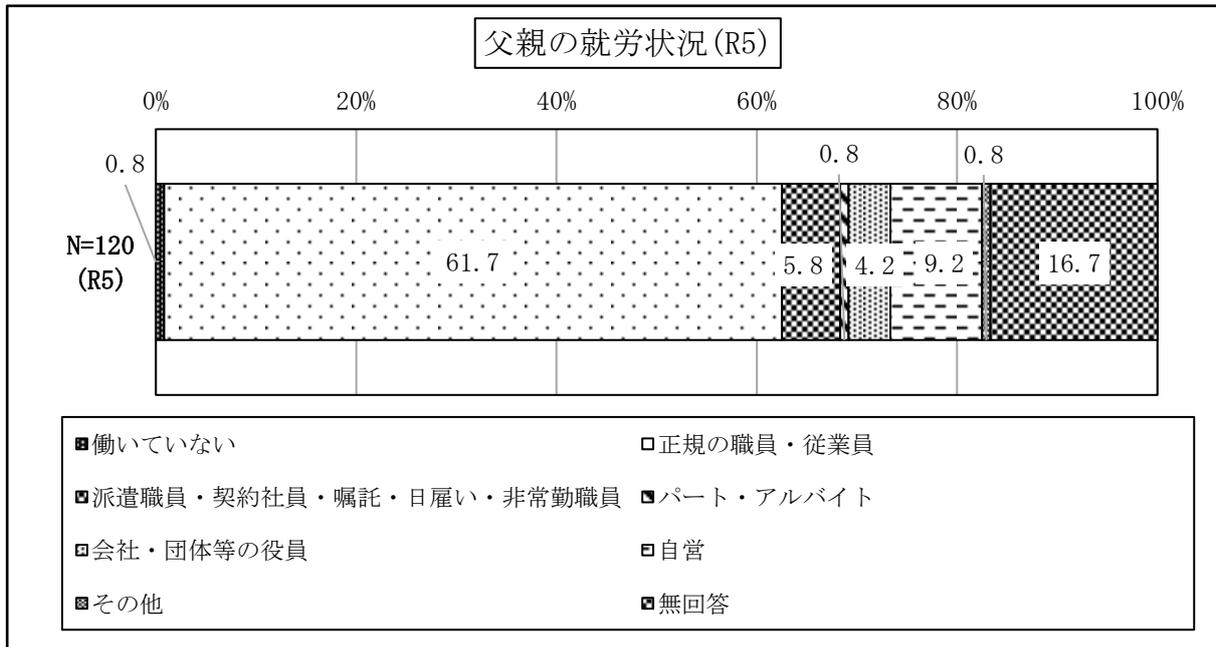
問 11-3 平日の日中以外の勤務（母親） ※あてはまるものすべてに○

・母親の平日の日中以外の勤務については、「土曜出勤」が41.1%で最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」「わからない」が29.5%となっている。



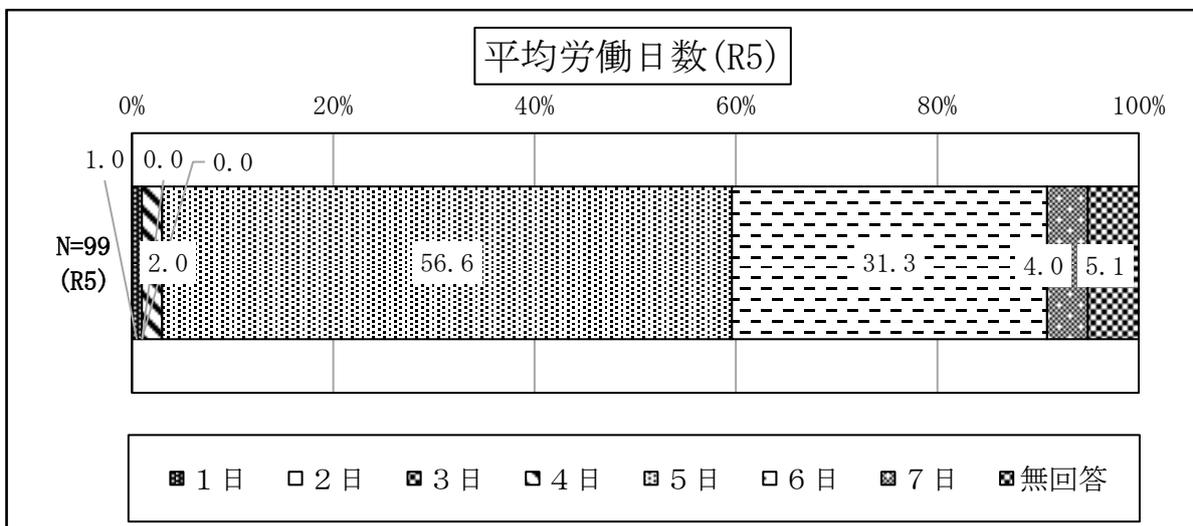
問 12 父親の就労状況

・父親の就労状況については、「正規の職員・従業員」が 61.7%で最も高くなっている。



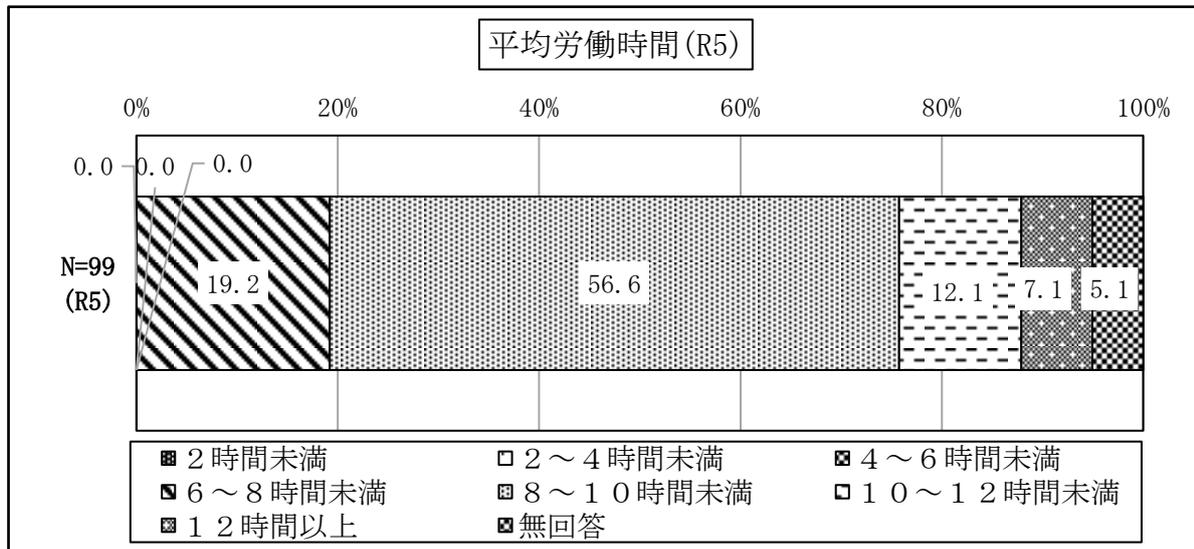
問 12-1 平均労働日数 (父親)

・父親の平均労働日数については、「5日」が 56.6%で最も高く、次いで「6日」が 31.3%となっている。



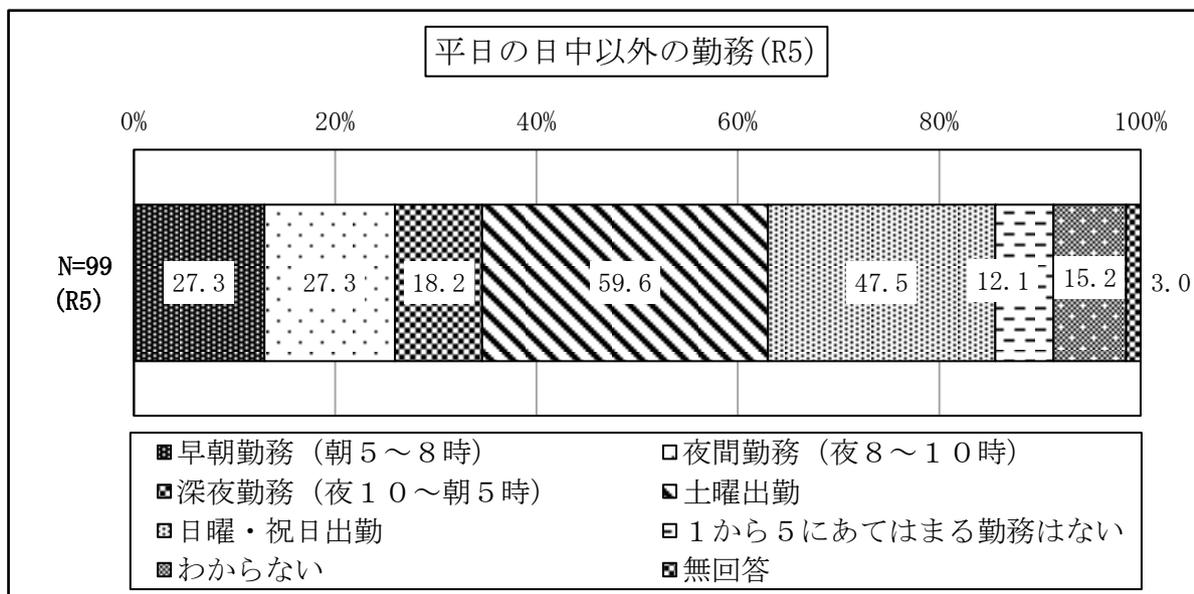
問 12-2 平均労働時間（父親）

・父親の平均労働時間については、「8～10時間未満」が 56.6%で最も高く、次いで「6～8時間未満」が 19.2%となっている。



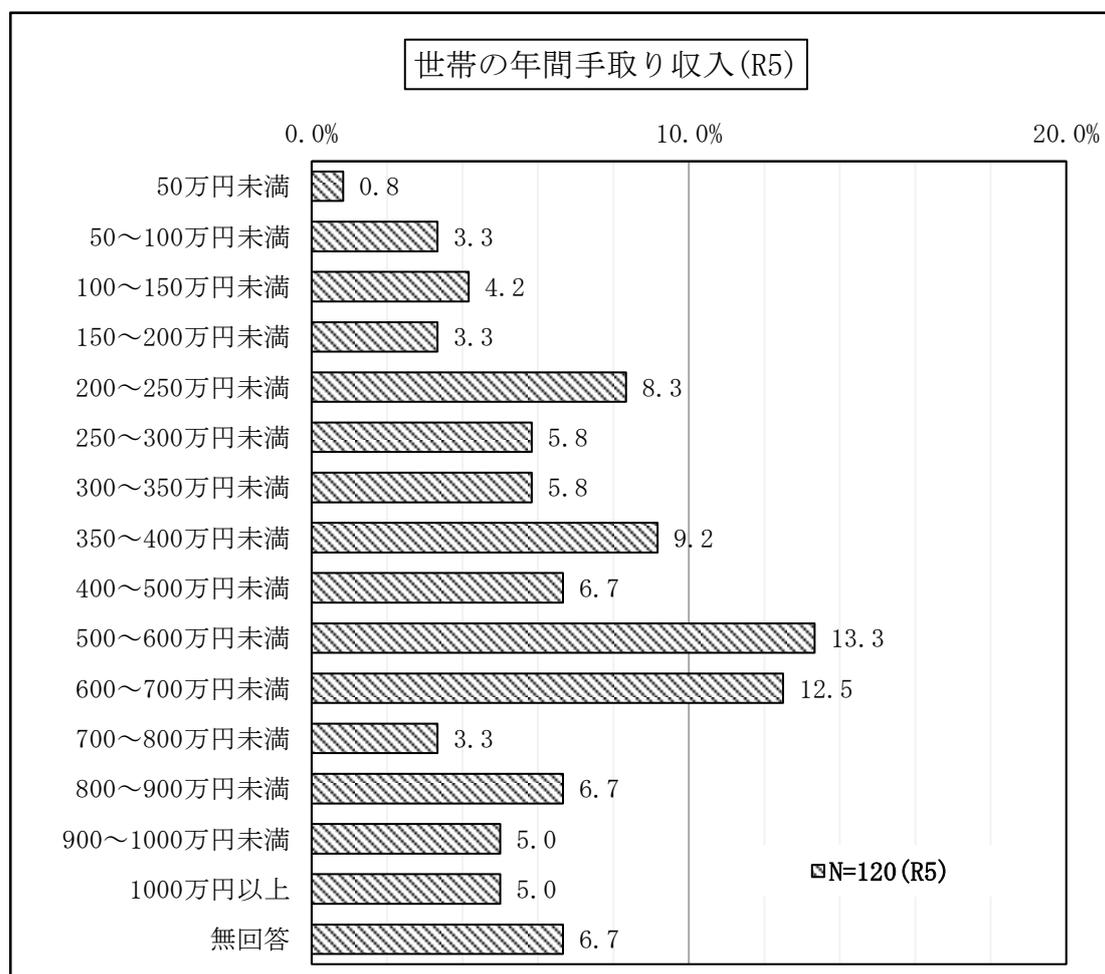
問 12-3 平日の日中以外の勤務（父親） ※あてはまるものすべてに○

・父親の平日の日中以外の勤務については、「土曜出勤」が 59.6%で最も高く、次いで「日曜・祝日出勤」が 47.5%、「早朝勤務(朝5時～8時)」「夜間勤務(夜8～10時)」が 27.3%となっている。



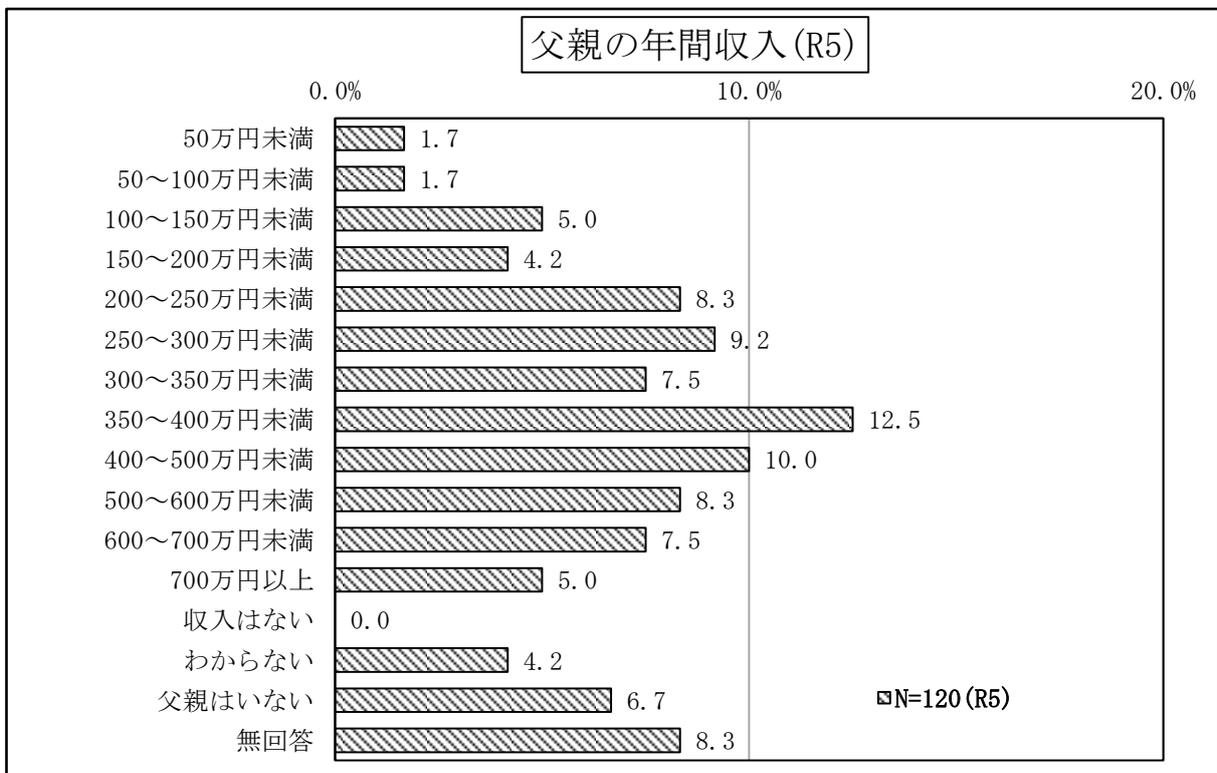
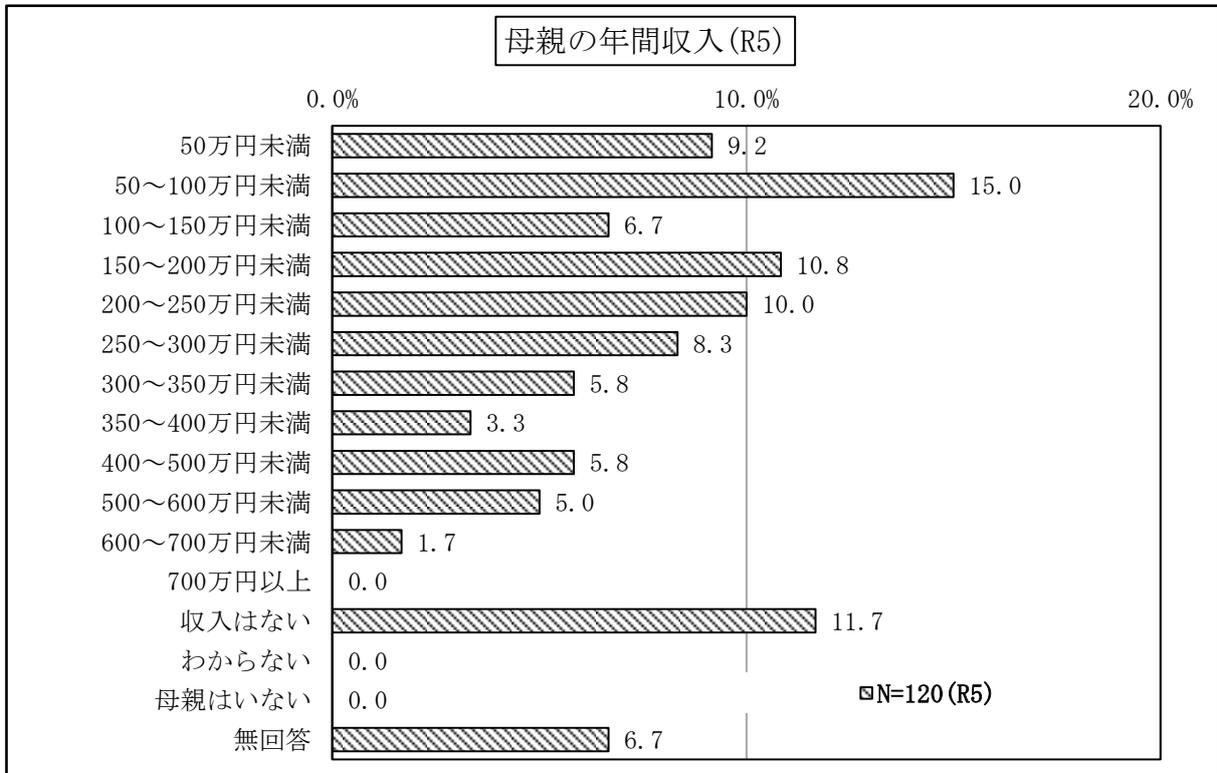
問 13 世帯の年間手取り収入

・世帯の年間手取り収入については、「500～600 万円未満」が 13.3%で最も高く、次いで「600～700 万円未満」が 12.5%、「350～400 万円未満」が 9.2%となっている。



問 13-1 親の年間手取り収入

・親の年間手取り収入については、母親では「50～100万円未満」が15.0%で最も高く、父親では「350～400万円未満」が12.5%で最も高くなっている。

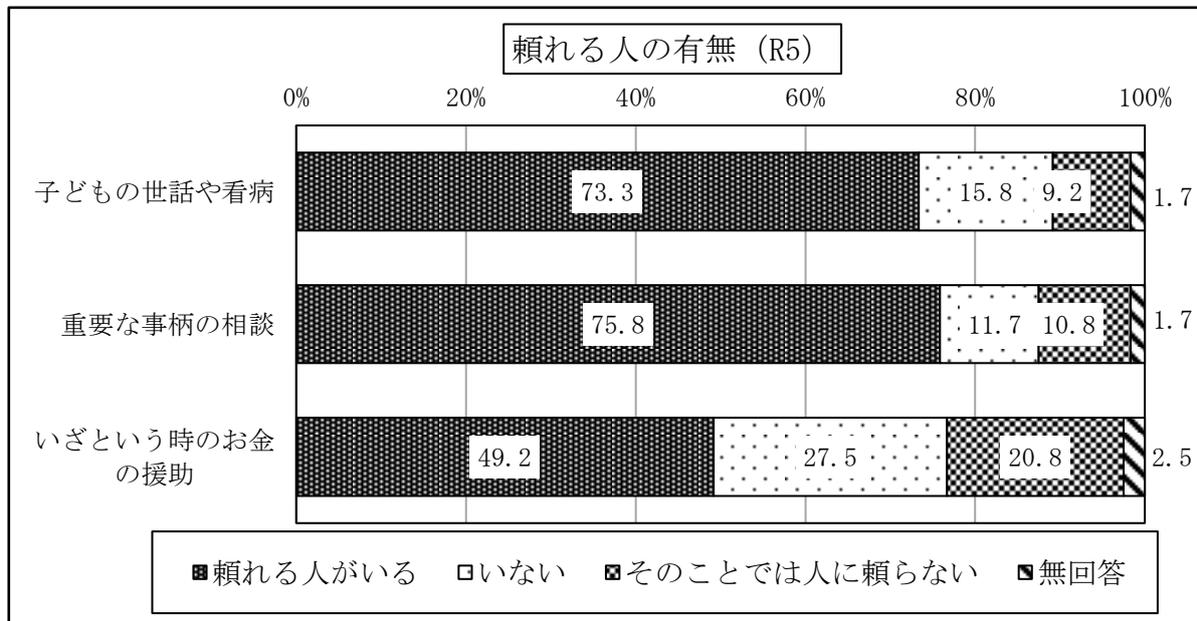


問 14 頼れる人について

(1) 頼れる人の有無

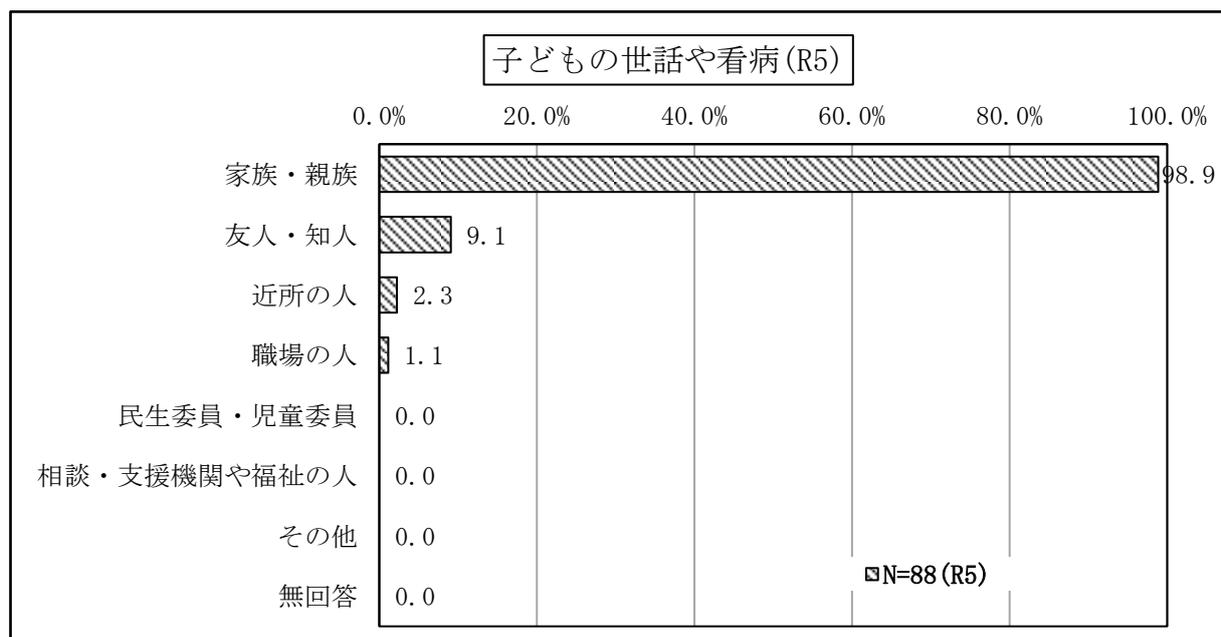
・頼れる人の有無については、「子どもの世話や看病」で73.3%、「重要な事柄の相談」で75.8%が「頼れる人がいる」と回答しており、回答者の7割程が各種相談をできる人がいるとみられる。

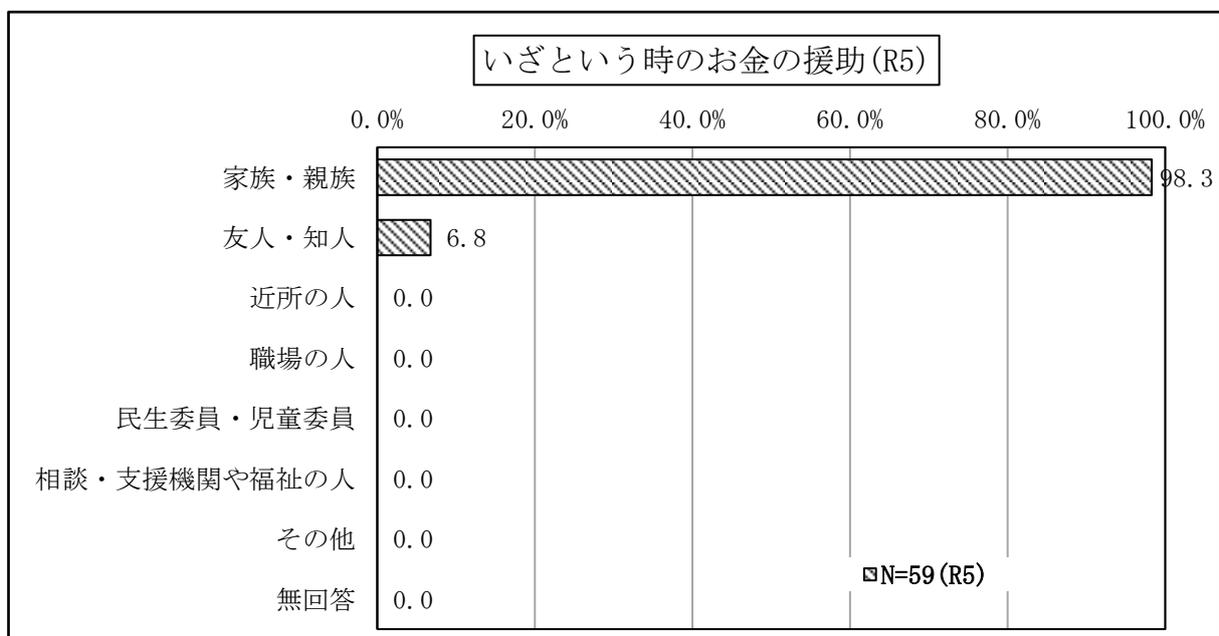
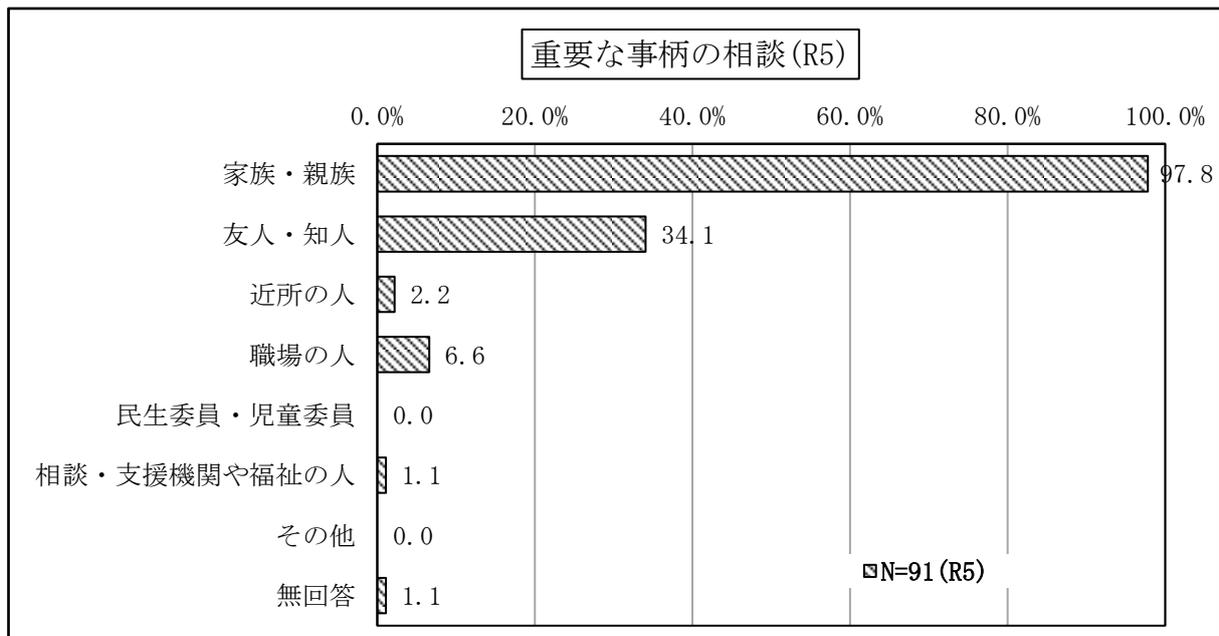
・「いざという時のお金の援助」では、49.2%が「頼れる人がいる」と回答している。



(2) 頼れる相手(問 14 で「頼れる人がいる」を選んだ方) ※あてはまるものすべてに○

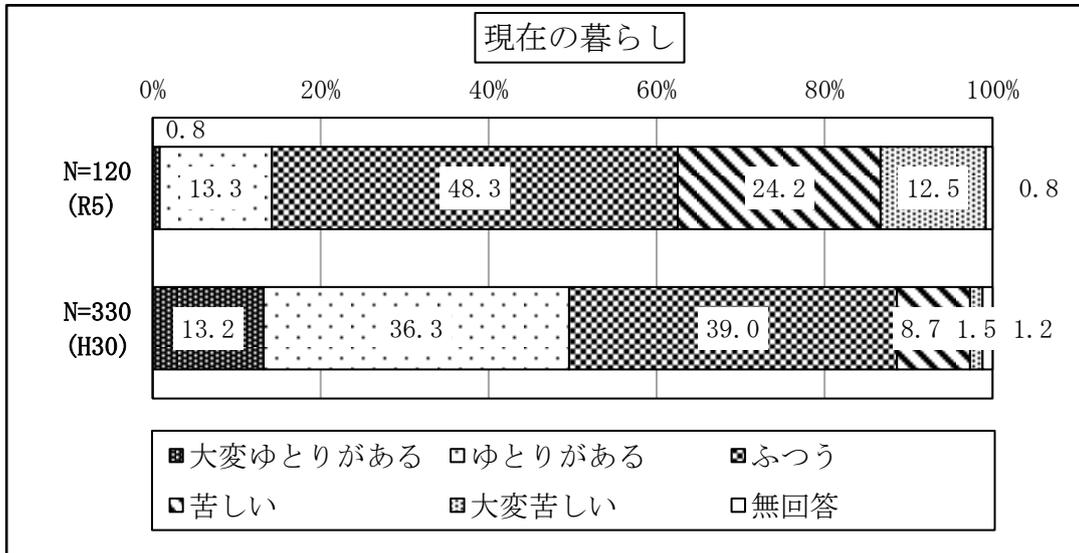
・頼れる相手については、子どもの世話や看病についての相談、重要な事柄の相談、金銭的援助に関する相談のいずれも「家族・親族」が最も高く、次いで「友人・知人」が続いている。





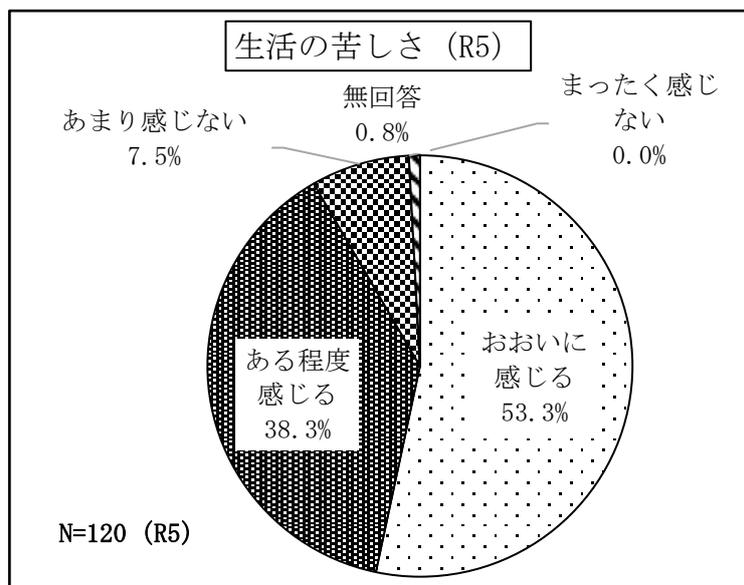
問 15 現在の暮らしの状況

・現在の暮らしの状況について、令和5年では平成30年より「大変ゆとりがある」「ゆとりがある」の割合が大幅に低くなった。一方で「ふつう」「苦しい」「大変苦しい」の割合が大幅に高くなっている。



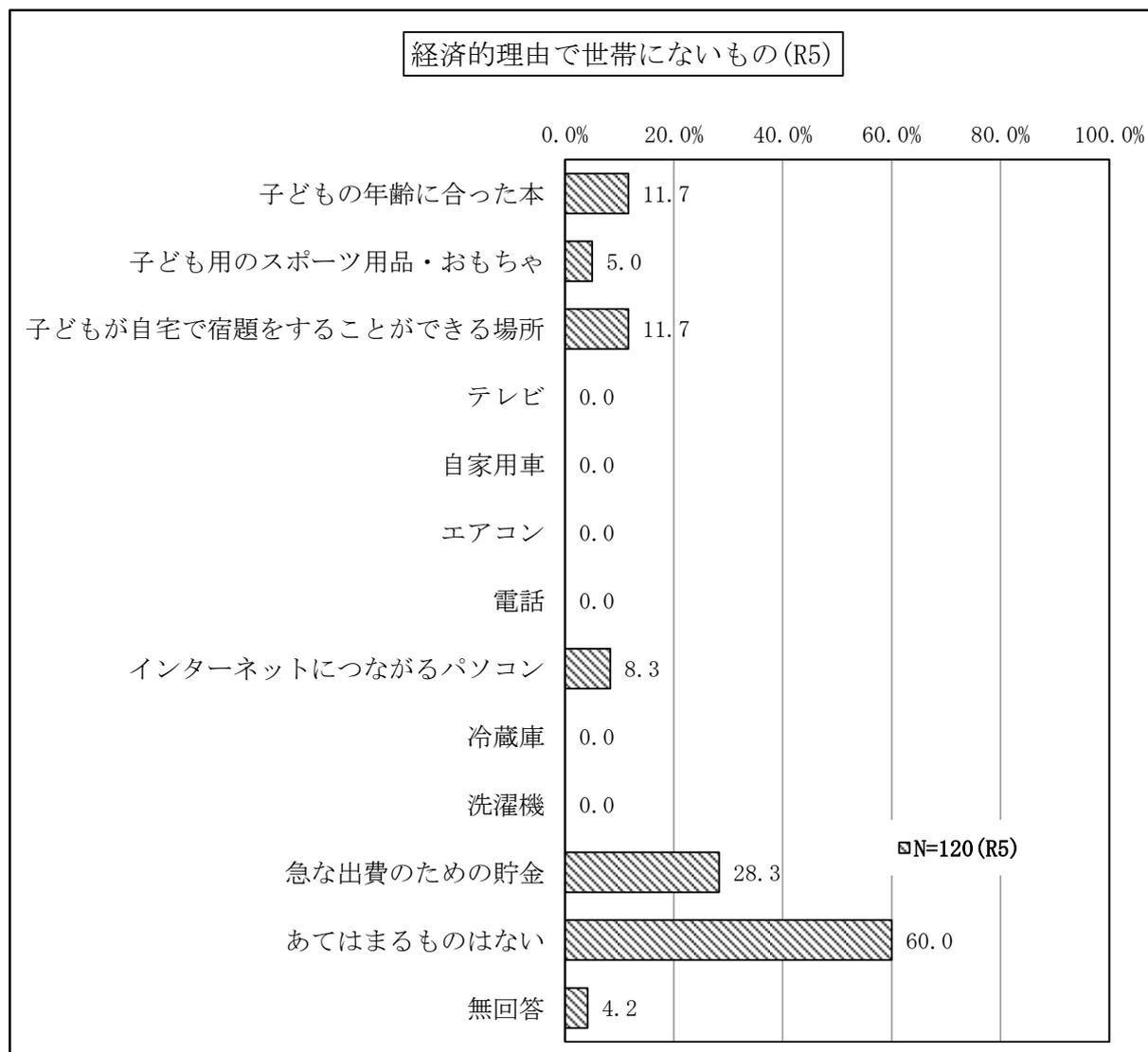
問 16 物価高騰による生活の苦しさ

・物価高騰による生活の苦しさについては、「おおいに感じる」と回答した家庭が 53.3%、「ある程度感じる」と回答した家庭が 38.3%であり、全体の 90%以上の家庭が何らかの形で物価高騰による経済的な苦しさを感じていることがわかる。



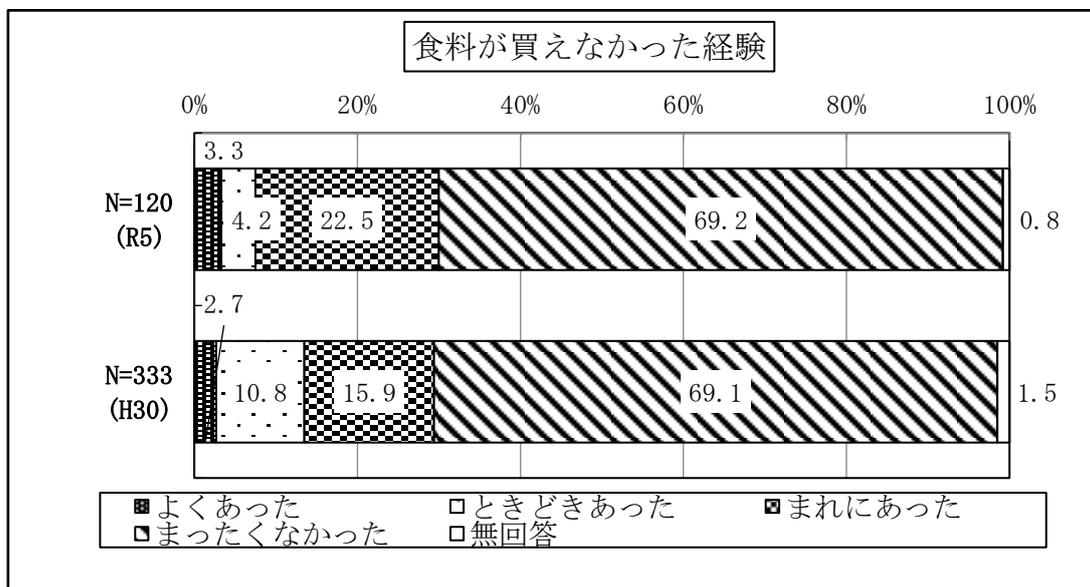
問 17 経済的理由で世帯にないもの ※あてはまるものすべてに○

・世帯にないものについては、「あてはまるものはない」が 60.0%で最も高く、次いで「急な出費のための貯金」が 28.3%となっている。



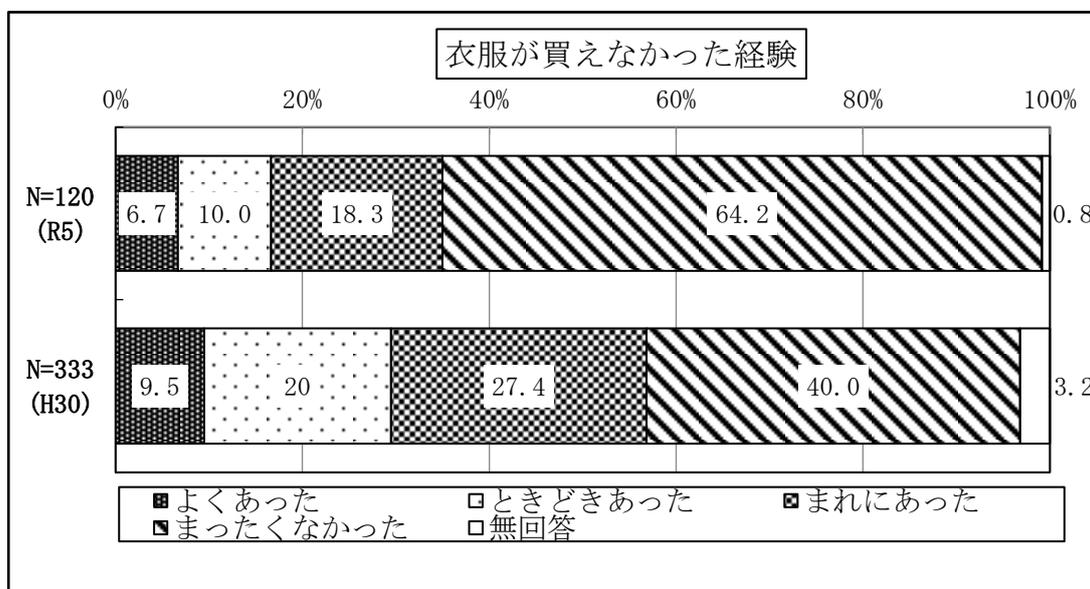
問 18-1 食料が買えなかった経験（過去 1 年間）

・食料が買えなかった経験では、令和5年では平成 30 年より「ときどきあった」が 6.6 ポイント低くなっており、「まれにあった」が 6.6 ポイント高くなっている。



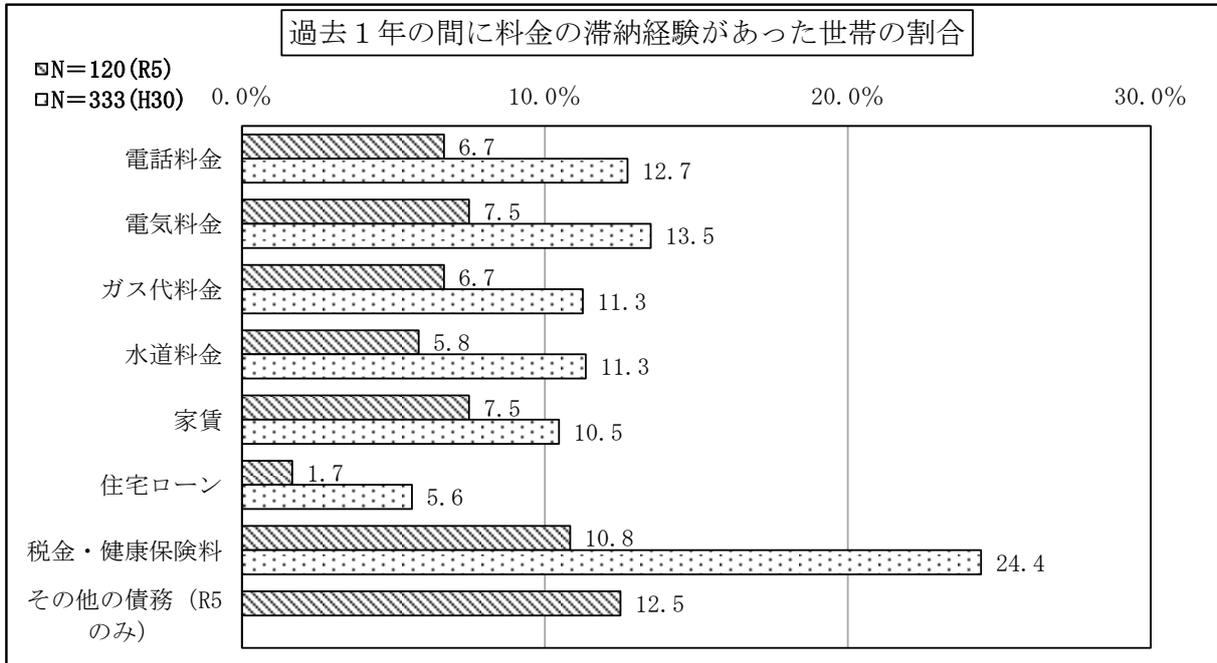
問 18-2 衣服が買えなかった経験（過去 1 年間）

・衣服が買えなかった経験については、令和5年では「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」が平成 30 年より低くなり、「まったくなかった」は 24.2 ポイント高くなっている。



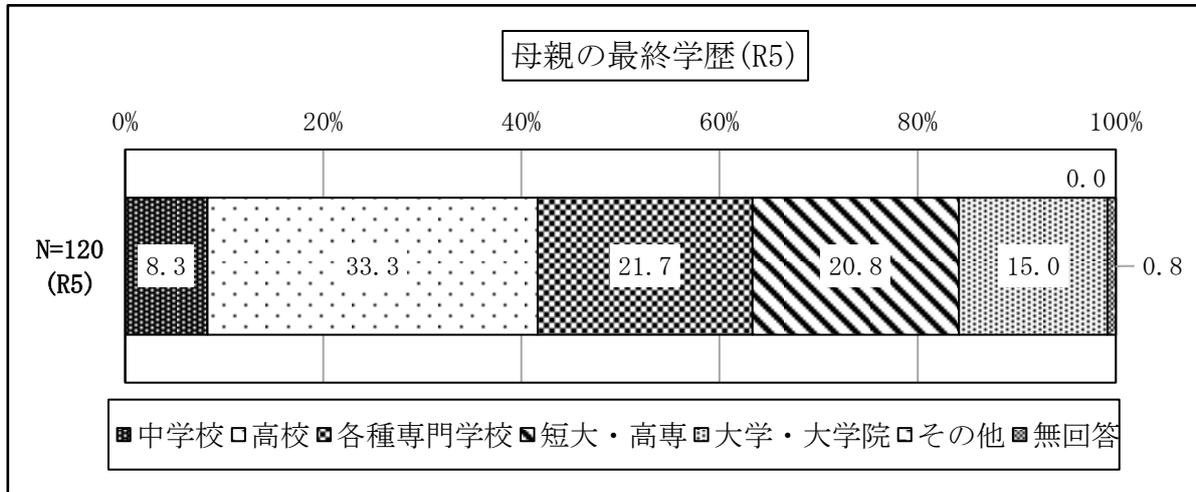
問 19 支払いができなかった経験（過去 1 年間）

・支払いができなかった経験については、平成 30 年より令和 5 年では全体的に滞納経験の割合は低くなっている。平成 30 年で最も高い割合であった「税金・健康保険料」は令和 5 年では平成 30 年より 13.6 ポイント低くなっている。



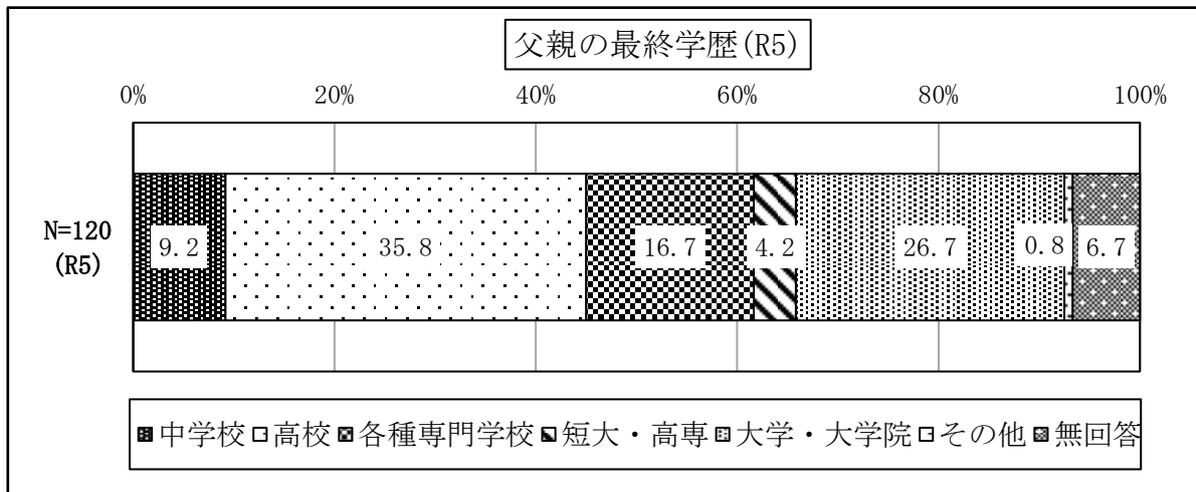
問 20 母親の最終学歴

・母親の最終学歴については、「高校」が 33.3%で最も高く、次いで「各種専門学校」が 21.7%、「短大・高専」が 20.8%である。



問 21 父親の最終学歴

・父親の最終学歴については、「高校」が 35.8%で最も高く、次いで「大学・大学院」が 26.7%、「各種専門学校」が 16.7%である。



問 22 支援制度等の利用有無

・支援制度等の利用有無については、「児童手当」の 87.5%が最も利用されており、次いで「こども医療費助成金」が 61.7%、「高等学校等就学支援金」が 47.5%となっている。

単位：%

支援制度等の利用 N=120 (R5)	利用している、 利用したことがある
児童手当	87.5
児童扶養手当	34.2
就学援助	26.7
生活保護	2.5
児童相談所（児童福祉司）	4.2
スクールカウンセラー	11.7
スクールソーシャルワーカー	4.2
高等学校等就学支援金	47.5
奨学のための給付金	16.7
母子父子寡婦福祉資金貸付金	0.8
生活福祉資金貸付金	2.5
こども医療費助成金	61.7
生活困窮者（こんきゅうしゃ）の自立支援相談窓口	0.0

※R5 は「現在利用している」「現在利用していないが以前利用したことがある」を合算

(1) 支援制度を利用しなかった理由

・支援制度を利用しなかった理由は、「制度の対象外だと思うから」がいずれの支援制度でも高い割合を占めており、「生活保護」の 59.2%が最も高くなっている。

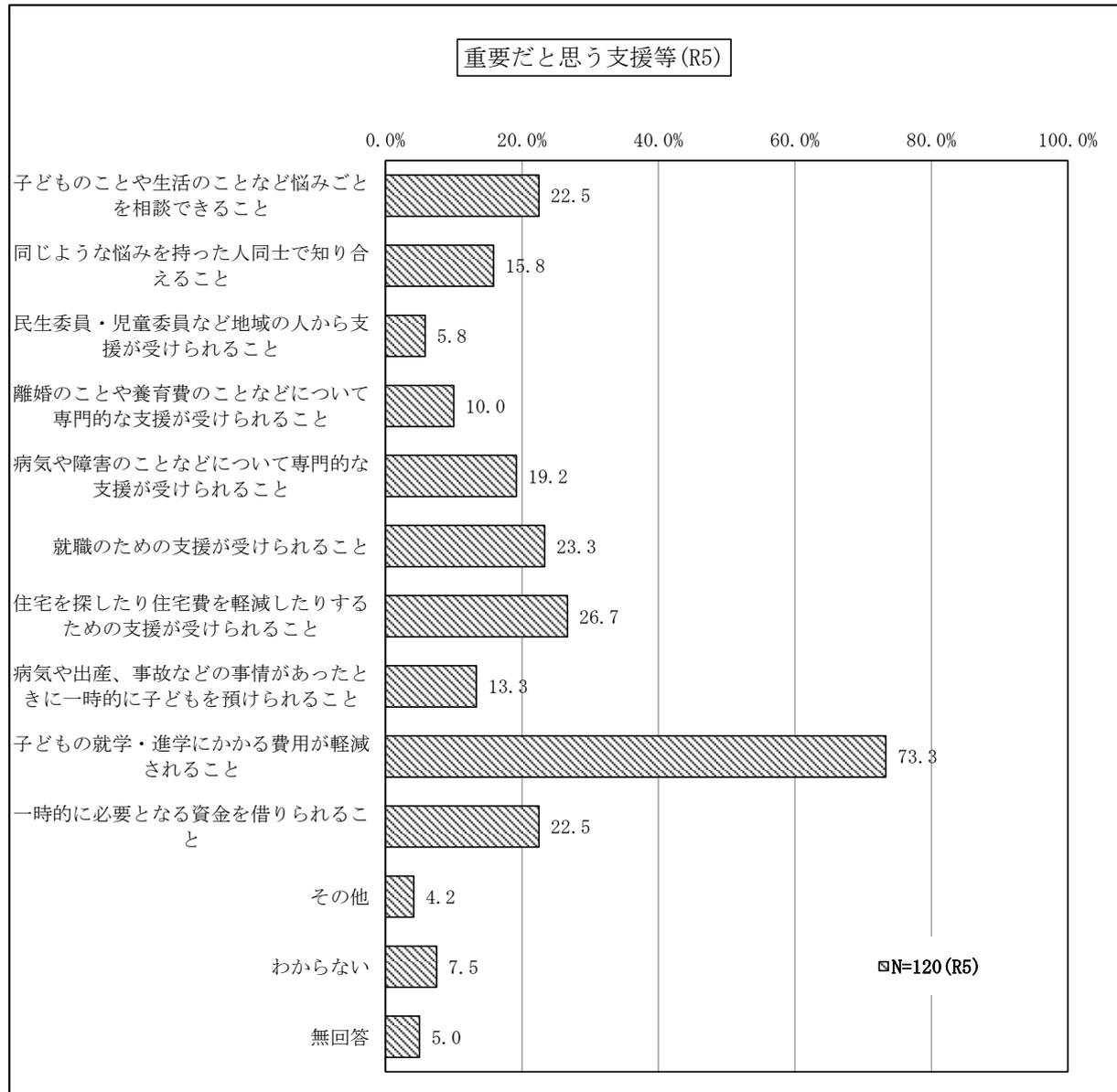
・「利用はできるが、特に利用したいと思わなかった」が「児童相談所」、「スクールカウンセラー」、「スクールソーシャルワーカー」で 2 割程度となっている。

単位：%

支援制度等の利用 N=120 (R5)	利用したことがない					無回答
	か利用 したは かたで いき るが、 特 に	しわ利 にか用 くらし いなた かか い が、 手 続 用 が	か制 ら 度 の 対 象 外 だ と 思 う	知今 らま なで な か つ た か ら 支 援 制 度 を	それ 以 外 の 理 由	
児童手当	0.0	0.8	9.2	0.0	1.7	0.8
児童扶養手当	0.8	1.7	38.3	2.5	10.8	11.7
就学援助	0.8	3.3	50.8	1.7	7.5	9.2
生活保護	1.7	0.8	59.2	1.7	16.7	17.5
児童相談所（児童福祉司）	14.2	4.2	26.7	1.7	28.3	20.8
スクールカウンセラー	18.3	2.5	20.0	0.8	25.8	20.8
スクールソーシャルワーカー	19.2	2.5	22.5	2.5	27.5	21.7
高等学校等就学支援金	1.7	2.5	30.8	1.7	3.3	12.5
奨学のための給付金	0.8	7.5	40.0	4.2	14.2	16.7
母子父子寡婦福祉資金貸付金	3.3	1.7	45.0	7.5	21.7	20.0
生活福祉資金貸付金	3.3	1.7	44.2	10.0	20.0	18.3
こども医療費助成金	0.8	2.5	19.2	4.2	3.3	8.3
生活困窮者（こんきゅうしゃ）の自立支援相談窓口	4.2	2.5	45.0	8.3	22.5	17.5

問 23 重要だと思う支援等 ※あてはまるものすべてに○

・重要だと思う支援等については、「子どもの就学・進学にかかる費用が軽減されること」が73.3%で最も高く、次いで「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」が26.7%となっており、金銭的支援に関する項目が上位を占めている。



自由意見

8. 自由記入欄に寄せられた意見

問 18 これから新しく挑戦してみたいこと（小学5年生）

区分	自由意見
勉強	IT パスポートの資格を取る
	算数や、できない勉強を、挑戦してみたい
	勉強を頑張る
	塾の成績を上げること
	未来ノートで社会の勉強したい
	漢字 50 問テストを頑張りたい！
	国語の文章問題を頑張りたい！
	塾に行きたい。まず、このクラスの秀才にカマをかけ、どの塾に行っているか調べる。また、散歩がてら、近所にどのような塾があるか調べようと思う。
	塾に挑戦したい。
	もし、将来建築士になるかもしれないからお母さんといっしょに勉強したい
	数検や、漢検の勉強。
	くもんの算数を3学年以上にしたい
	くもんで6年生の勉強をできるようにがんばりたい
	受験をがんばりたい
	わからないことが多いのでいっぱい勉強してたくさんのことをわかるようになりたいです。
	頭が良くなりたいそのために勉強を頑張る
	アメリカの学校に行きたい
	勉強をして、いい大学に入ってお金を稼ぎたい
	5年なので6年の勉強
	中学生の問題
	学校以外での勉強が苦手で、テストで 100 点取れるように、自主学習をしたいです
	勉強がもっと出来るように頑張りたい！
	歴史検定四級/漢字検定/歴史の勉強(日本史&世界史)
	難しい(苦手)な教科を頑張りたい。
	理科と社会をがんばりたい！
	挑戦したいことは、全学校の受験に合格したい。
	中学受験に合格したい。
	6年生の算数
	勉強や読書の時間や、自分でできることはしていきたい
	勉強と遊び
中学生の数学勉強	

勉強 (続き)	塾に入ってもっとかしこくなりたい。
	六年生の一番難しいテストや授業を何も知らずにやってみたい
	僕は、行きたい大学や成りたい職業があるので、これからその目標を、ちよつとずつ追いかけてみたいです。
	算数で難しいものを挑戦できるようにしたい
	自分で考えてテスト勉強する
	50問テストで100点取れるようになるためにもっと練習したい
	オンラインの英語に挑戦してみたいと思う。
	英語が上手くしゃべれる人になりたい
	勉強をもっとがんばりたい。
	toeic に挑戦してみたい
	塾で英語をやりたい
	塾でもっと難しい問題に挑戦したい
	塾で、一番頭のいいクラスに入りたい。
	算数や国語の文章問題
	習いごと
弓部を習ってみたい	
バク転教室	
泳げるようになりたいから、水泳を習いたい	
体操教室	
習い事を頑張りたい	
習字でもっと難しい漢字を書いてみたい。	
そろばんで5段取りたい(最高10段)	
習字で8段取りたい	
そろばん10段	
そろばんの試験で110点以上とってみたい	
習い事で、ピアノを習っていて、コンクールに1回出たことあるけど、もう少し大きいコンクールに出てみたいです。	
いろんな、習い事をしたい、体を動かすことをしたい。	
ピアノ教室	
習い事に挑戦してみたい	
絵を描く習い事に挑戦してみたい	
ダンスの発表会にたくさん出たいです。	
運動などをする習い事が気になっている	
スポーツ	ハンドボール
	バスケが上手になりたい。
	バスケットが上手になりたい。
	野球のキャッチャー
	野球 サッカー 卓球 藤川球児の火の玉ストレート

スポーツ (続き)	野球/サッカー/ピアノ/バレー/バスケ/卓球/藤川 球児の火の玉ストロートを投げてみたい
	空手
	低いボールをフライングして取る ユニフォームの番号の 11 番と 12 番より上の番号になりたい
	バレーの試合で勝つ。
	サッカーの強いクラブチームに行く。
	水泳の県合宿の練習でも耐える
	水泳をしたいし、新しく山のぼりをしてみたい
	新しいスポーツ
	バレーボールやりたい
	バレーボールをもっと楽しく上達していきたい
	空手に挑戦してみたいけど、すぐに辞めてしまうかもしれないから挑戦できない。
	ストリートダンスでセンターになりたい
	アメリカでのスポーツ
	硬式野球や卓球
	キックボクシングの試合で勝ちたい
	野球にまた、挑戦する
	バレーが上手になりたい
	バレーの選手になりたい
	バレーのかんとくになりたい
	跳び箱で 7 段とびたい
	スポーツに挑戦してみたい
	ドッジボール
	空手でわたしはもっともっと強くなって家族を守れるようになりたいから、空手をがんばって力をつけて家族を守れるように、今空手をがんばっています。
	もっとバスケを上手になりたい
	サッカーを頑張りたい。
	スポーツに入りたい!!
	縄飛び
	バレー/水泳/陸上
	サッカーでもっと強いチームに入りたい
	サッカーでドリブルを頑張りたい
サッカーでもっと得点を決められるようにしたい	
ダンスを覚える	
バスケットボールでダンクシュートをきめたい	
バトミントン	

スポーツ (続き)	バタフライを 25m 泳ぐのを挑戦したい。
	プールのターンに挑戦してみたい。
	サッカーで県トレまで行ったから 6 年は、九州まで行きたい
	体操
	サッカーを頑張りたい
	難しいボールも取ってみたい
	サッカーで強くなる テニスをやってみたい
	サッカーでキャプテンになって九州のトレセンに入りたい
部活	ダンス部
	部活(テニス)
	部活(バスケ、バレー)
	野球部で、試合に、出たい。
	部活の試合でいっぱいシュートをうってきめたい
	部活をしてみたい。
	強いところと戦ってみたい(部活)
	部活で強いチームと練習試合をしたい
	トロンボーンで、まだやったことがない曲を演奏できるようにしたい
	吹奏楽部に挑戦してみたいと思う。
部活楽しむ	
好きなこと	お絵かき
	リアルな絵を書きたい
	絵を書きたい！
	なにか生活で役立つものを作ってみたい!!
	料理を作る(おやつお菓子)
	外で全力で遊ぶ
	自転車に乗ること
	一輪車に乗れるようにしたい
	市などの将棋大会
	将棋がもっと強くなりたい。
	将棋もっと上手になりたい。
	プログラミング
	友達と同じようなゲーム
	ミシンで小物などを作ってみたい
	ダンスとかモデル
	美味しいピザ作り
家にギターがあるので挑戦してみたい	
Live2D で、自分が描いたイラストを動かしたい	

好きなこと (続き)	ネイルチップを作ったり自分にネイルしたりネイリストの夢を 叶えるために器用になりたい。 そろばんでもっと努力する バレエだけじゃなくってお家でもマッサージして体を柔らかくしたい「柔軟体」
	一人で県外にいったり旅行してみたい。 動画を編集してみたい。
	オオカミをなつかせたい
	DIYに挑戦してみたい
	自分で作ったアニメを発信したい
	沖縄の魅力をスライドで作りたい。 絵を書きたい。(タブレット)
	もっと料理に挑戦してみたい
	新しいゲームを買って遊ぶ(楽しく)
	自転車でいろんなところに行きたい
	ゲームがもっとうまくなりたい
	ユーチューバー
	ポケモン sv(スカーレットバイオレット)のオンライン対戦でマスターボール級(1番上のランク)に挑戦してみたい ポケモンレジェンズアルセウスを2時間半でストーリーをクリアしてみたい
	ゲームをして楽しむことを頑張りたいから勉強を頑張りたい
	ゲームのタイムアタック
	私の将来の夢は、動物園の飼育員なので、それに向けて頑張りたいです。
	本作り
	海外旅行(韓国) ダンスをならいたい K-POPライブ などなど
	ロボットが作れるように工作を頑張りたい
	一人で、遠出する。
	ボカロの小説をそろえる
	他の都道府県に行ってみたい
	新しいゲーム
	編み物
	犬触ってみたい/早起きしたい
	プロ野球スピリッツの、リアルタイム対戦。
	世界一周/世界遺産巡り/トカゲの飼育/じぶんの秘密基地作り

好きなこと (続き)	その他の昔遊びをどんどん調べて挑戦したい 医学書、14歳からわかる数学、麻雀のルールブック、チェスの攻略本、ヨーヨー上達ブック、囲碁の定石の本をかきたい。 プログラミングを習いたい
	散歩
	料理教室/本を書く
友達	新しい友達を作る
	友達と今以上に仲良く遊びたい
	色々な人と、仲良くして遊んだり部活はしたい
	友達と宿題とかをしたい。
	友達と仲良く喧嘩もなしで遊びたい
	みんなで楽しく遊べることを探して遊んでみたい。
	みんなに優しくしてあげたい
	友達と、高校生になったら夜遅くまで遊んでみたい
	クラス全員で外に出て鬼ごっこしたい
	クラス全員で劇をしたい
	鬼ごっこ
	みんなが頑張っている勉強やスポーツ 友達が好きなことへの研究
	毎日友達と遊びたい
	友達ともっと遊びたい
	友達と、プログラミングに行きたいです。
友達とお泊まり会をしてみたい。	
その他	児童会に挑戦してみたい
	発表をする
	部屋をきれいにする/親の手伝い
	部屋を綺麗にする(いつも綺麗に)
	今のままで満足している。
	わからない
	あまり、ありません
	今までで、満足しているから無い
	早寝早起き
	手帳やノート[日記]が毎日続く、習慣化するようにしたい!
	難しいと思っているものにも挑戦したい
	挑戦したいことは、特にありません。
	邪念を捨て、優しくなりたい
赤ちゃんがほしい	

その他 (続き)	宮古についてのくわしい人になりたい 色々な人を支えられるような人になりたい 先生になってみたい かんごしさんになりたい キャビンタテンダントになりたい 文具屋さんのくわしい方になりたい バレーのかんとくになりたい
	美容師

問 19 アンケートの感想や大人の人に言いたいこと (小学5年生)

区分	自由意見
学校のこと	今頃掃除をするときに雑巾を使うのは時代遅れだと思います。
	学校の習題がない休日がほしい、自分で時間割りと宿題を決めたい
	学校は楽しい
気持ちや考え	説教したくないのなら説教すんな！！
	みんないじめを見逃さないであげて見逃された子がかawaiiそうだよ
	いじめとかよくわからなくて、殴ったり叩かれたりすることもあるけど、そのときはちょっと仕返ししたりしてるから悪ふざけみたいなものだと思ってます。でも、何もしてないのに殴られたりするときは、流石に気分を害します。辞めてほしいけど、そういうこと言ったら何故か逆ギレされるので、少し悲しいです。
	勉強が心配
	友達を取り合ってしまう
	もっと友達と遊びたい
	冗談の話をされるので本当のことなのか分からなくて不安
	いつもありがとうございます。
	怒られた時に怒られた事を考えてる時に、ぐちゅぐちゅ言わないでほしい
	もうちょい金くれ
	大切にしてくれてありがとう
	私がかんばったらほめてほしい
	赤ちゃんがほしい
	相談するときに心配するのはもちろん分かるけど質問責めみたいのをしてくと相談しづらい
	これから楽しいことがあるか？
	私たちを産んでくれてありがとう幸せになります
	今はとても幸せです。
これからも頑張ろう	
おこちゃまって言わないでほしい	
もっと頭がよくなりたいたいです。	

親へ	自転車買って
	せめて義務教育の中学生までは育ててほしい
	私たちを産んでくれてありがとう幸せになります
	一緒に買い物連れてくんだったら大人のだけじゃなくて子どもの分も買ってー！
	ゲームほしい
	子供が行きたくない習い事を無理に行かせないでほしい。そこで何がおこっているか分からないのに、行ってストレスを溜めるだけなのに。もう辞めたい
	親としては、子どもの学習だけに目を向けるのではなく、子どもが生活や学習の中で様々な困難や問題に直面したときに、どのように対処し、解決策を見つけるかについて、より多くの注意を払う必要があります。子どもと友達のような関係を築き、子どもが成長する過程で常に愛と希望を心に留めておくよう助けるべきです。
大人へ	なんで大人だからって、いきってんの
	子供の気持ちも理解して
	子供の気持ちをもうちよっとわかって欲しい
	あまり心配しなくても子供は生きてます
	子供の意見を最後まで聞いてほしい
	このアンケートは答えの数が多く、答えやすくて良かったと思います (#. #)
	大人には、差別されたりされるのが嫌なので、日頃の言葉遣いを見直して話してほしいです('▽')
大人はインチキ	
アンケートについて	いろいろなことをアンケートされてなんかスッキリした
	誰が入力したかわからないようにしていることが安心だと思いました。
	ちょっと意味わかんなかったです。
	とても難しかった
	このアンケートに答えるだけで役に立つなら、また答えます。少し答えられないところもありました。アンケートに一回ボタン押したらもうけせないところをなおしてほしいです。
	もっと問いを短くしてほしい
	アンケート調査をとって素直にアンケートを解くことができた。アンケートをとるのはいいと思います。
	アンケート長かったです。
	このような調査をしてくださってありがとうございます。
	やりやすかった
	アンケートは正直に伝えることができよかったです！大人に特にありません。

アンケートについて (続き)	長かった アンケート量多い
	このアンケートを見て、少しアンケートが長くて答えるのにつかれた
	このアンケートをして、将来の夢がわかりました
	このアンケートはとてもためになった、特にない
その他	岸田が増税しているけど、なんで秘書や関わっている人は何も言わないのか。なぜ犯罪者のことが分かる人がいないのか。なぜこのような戦争などが起こったか。それは大人が政治しているからであって、子供も政治をさせる権利や女の人も政治できる仕組みを考えた方がいいのではないのか。その未来が良くなると思った。
	なぜ誰も得しない戦争や犯罪を犯すのか
	子ども食堂は聞いたことはあったけどこどもの居場所なんだとわかりました。
	人種差別をしないでほしいです。
	授業中でも基地の戦闘機の音やオスプレイ、ヘリコプターの音がうるさくて先生の声が聞こえなかったりして困るのでどうにかしてもらいたいです
	色々なことを知れた
	岸田総理に聞きたいこと。なぜひとのために働いているのに納税する
	南海トラフ巨大地震に備えてほしい。
	増税しないでください理由安く物が買えたら貧富のない暮らしになるかもしれないから

問 18 これから新しく挑戦してみたいこと（中学2年生）

区分	自由意見
学校のこと	学校でもっと積極的に行動したい
	勉強にあまり興味とかやる気がでないけど高校には、ちゃんと行きたいから、今からでも遅刻をしないとかなできることを少しずつ頑張っていきたい
	生徒会
	人に積極的に話かける
勉強	これまでよりももっと勉強に励みたい。
	勉強と部活の両立
	英語の勉強をもっとしたい
	勉強を今よりがんばりたい
	留学してみたい
	英会話ができるようになりたい
	期末テストで100番以内に入りたい
	英検3級
	勉強では中学3年生になったら英検や漢検などに挑戦したい。
	勉強を頑張る。
英語喋れるようになりたい/期末1位になりたい	

勉強 (続き)	高校数学の予習
	苦手な教科を得意になりたい
	自分が苦手な教科で高得点を取る
	数学を今以上にわかるように勉強をする
	不得意教科を得意教科にしていきたい
	英語で 95 点以上とること
	勉強しようとは思っている
	塾に入りたい/毎日勉強を続けたい
	テストで 50 位以内
	定期テスト 100 位以内入れるように頑張る。
	英検2級以上
	勉強頑張ってテストで良い点数を取りたい
	英検4級を受けること。 席次100番以内に入ること。
	英語を頑張りたい
	化学についてもっと知ってみたい。 定期テストで、一桁に入りたい。 ルービックキューブを早く全面揃えたい。
	50 番(席次)以内に入れるように頑張りたい。
	英語が上手に喋れるようになりたい
	他の国の言葉を勉強したい(イギリスなど)
	外国への短期留学などに行ってみたい。
	英検1級をとること
	検定に挑戦してみたい
	自分で勉強して復習してみる。
	将来のために英語をがんばって1級とりたい 国語を勉強したい
	席次 20 以上とるために人で勉強をできるようになりたい
	資格を取ること。(漢検数検英検)
	数学検定に挑戦してみたい。
	あとはわからない授業とかを分からなかったら、先生に聞いて、塾にも入って、勉強してできるようにしたいです。
	席次 25 番以内に入りたい
	得意教科を増やしたい
	テストでもっといい点を取れるようにしたい。
いろんな資格検定を取りたい	
漢検の資格を取りたい	
テスト勉強。	
受験勉強	

勉強 (続き)	心理学を学んでみたい
	言語聴覚士や心理カウンセラーなどの人に寄り添う仕事に付きたいから、今のうちから人の心理についてや、手話について勉強してみたい
	韓国語、中国語
	二十歳のなる前に留学に行きたい。
習いごと	少しは習い事などに挑戦したいです。
	習い事とか頑張る
	ピアノ教室に行ってみたい。
	バイオリン、そろばん、ダンス、歌、琉球笛、琴
	英会話教室などに通って英語が喋れるようになりたい
	ピアノをやってみたい
	新しく別の言語を習ってみたいです。
	新しい習い事に挑戦してみたい
	習字で8段取れるようになりたい
スポーツ	今やっているスポーツにもっと集中して取り組んでいきたい
	駅伝に出たい/空手をやめて違う事をしたい
	今やっている以外のスポーツ
	バスケ
	サッカーもっとうまくなる
	縄跳び
	いっぱいスポーツしたい
	サッカーで県トレにはいって試合でも活躍する
	自分がまだ体験していないスポーツ
	野球で活躍する
	他の格闘技がしてみたい/授業で格闘技がしてみたい
	一年生の頃から駅伝に参加していますが、最近宮古であった沖縄県駅伝大会に先輩に4秒差で負けたから、その悔しい気持ちを2月にある新人駅伝で、その先輩の記録を大幅に更新し、自分の自己ベストを出すということに挑戦している。
	遊びのサッカー
	バレーボールの一般の人達とバレーがしたい
	バク転
	ゴルフうまくなりしたい
	テニスうまくなりしたい
	バドミントン
	体作りやスポーツ
	駅伝大会での区間賞(実績作り)
部活	部活を頑張りたい
	部活(疲れにくい)

部活 (続き)	部活でチームと協力して県ベスト3を目指したい
	ダンス部のある高校に行ってダンスを本格的に楽しくなりたい。
	部活の大会で入賞できるように頑張る
	部活ですべりながらシュートしたい。
	部活はいる
	地区中体連
	部活でいろんな人と戦ってみたい
	高校生になったらハンド部か陸上部に入りたい
	部活でピッチャーをしているので新しい変化球を投げれるようにしたい
	部活でいい成績を残したい
	これからの部活では、一日一日頑張っていきたいと思ってる。大会などの良い結果を目標に。
	吹奏楽コンクールで、九州大会まで行きたい
	挑戦したいこととか、がんばりたいことなんだけど、これから新チームでエースやるからがんばりたい!!
	部活で県大会まで行って優勝したい
	野球部でエースを取りたい
	高校で吹奏楽部とかに入りたい
好きなこと	趣味として料理、楽器、アウトドア
	ピアノやカメラを始めたい
	サイクリング
	アニメを作ったり、エレキギターを弾いたり、ボクシングをしたりするのがいい気がする
	ピアノ、ゲーム、ボウリング
	自分がやりたいと思うことをする
	ボウリングで300点を取る
	コンピューター、プログラミング
	プラモデルではない工作
	ドラム
	楽しいこと
	木を使ったものを作ってみたい
	今ある学校の部活以外の種目をやってみたい。 (軽音とか弓道とか)
	色々な遊びを体験したい
	とりあえず、今の自分の趣味を最大限活かすことを目指したい
	新しいゲームしたい
	ギター引けるようになりたい
	バイオリン
	ゲームの大会にでてみたい

好きなこと (続き)	自転車で遠いところまで行ってみたい
	イラスト
	デジタルで絵を描いてみたいので、アイパッドが欲しい
	背景の絵を描くことに挑戦したいです！他には、人間の様々なポーズを描くことや読み切り漫画を描くことに挑戦したいです。もちろんジャンルは少年漫画のダークファンタジーで描きたいと思っています！
	合気道
	パソコンを組む、絵を描く、恋愛？
	趣味や夢中になれることを増やしたいからできることは何にでも挑戦したい
	バドミントン、DJプレイ
	たくさんのお菓子 ex ケーキ クッキー マカロン マフィン フィナンシェ マドレーヌ チョコゼリー タルトとかを上手に作る
	今はScratchというサイトでゲームづくりをしています、本格的なものでもゲームづくりをしてみたいと思う。
	ハッキングやプログラミング、薬剤の調合
	変化のある曲を一曲完成させること。
	大人になったら、ルービックキューブ揃えてみたい
	ピアノが弾きたい
	推しのライブに行ってみたい
	動画投稿、編集(YouTube)
	パソコンの操作がうまくなりたい
	好きなバンドのライブに行きたい
	弦楽器を弾けるようになりたい
	ドラムや絵がもっとうまくなりたい
	ペン回しの技
	曲作り、スケボー
	ボイストレーニングに通って、本格的にプロの歌手を目指したい
	色んなゲーム
	スケボー、曲作り
	配信者になりたい
	動画編集やプログラミングに挑戦したい
	お菓子作りの難易度 up
	タイピング練習
	いろんなゲーム
楽器	
ギターを練習してみたいです。	
サクスのビブラート、ソロ曲	
DIY	

好きなこと (続き)	そろそろ歌い手をやりたい
	パソコンのタイピング
	絵、にゃんこ大戦争
	友達や家族と一緒に韓国に旅行したい。(海外旅行)
	いろいろな所に旅行したい。
	自分が行ったことない国に行きたい
	色々な県や国に行ってみたい
	旅がしたい
	自転車を買いたい。
友達	友達と毎日楽しく過ごしたい
	自分と関わっている人が嬉しいと思うことを取り組んでいきたい
	友達の家泊まる
	友達となんでも一緒に挑戦したい
その他	貯金
	手伝い
	強くなる
	人とのコミュニケーションが苦手だからいろいろな人と話したい。
	自分が稼いだお金で家族を旅行に連れていきたい
	自分がしたいことを次々挑戦していきたいです。
	色々なことにチャレンジしたい
	東京の学校に行きたい。
	挑戦したいことは自分一人で毎日ほぼ同じ時間に起きてみたい。
	高校生になったら自分で弁当を作れるようになりたい。 極めたいと思うものを見つけたいので色々なことに挑戦したい。
	株に挑戦したい
	お金をためたり、勉強の時間をちょっと増やしたりなど、生活を楽しく過ごしたい。
	頑張って暮らせたらいい。
	自分一人で一つの物事を成し遂げてみたいです。
	家から出て県外に行きたい。
	海外に住みたい
	オールしてみたい。やりたいことしかない！できるものならすべてやる！
	新しく挑戦したいものは特に思いつかないので、手遅れにならないように、何事も無理せず頑張っていきたいです。

問 19 アンケートの感想や大人の人に言いたいこと（中学 2 年生）

区分	自由意見
学校のこと	学校を改善して欲しい
	頑張っていて成績が優秀な人より怠けていて、身なりもちゃんとしないうえ、校則を平気で破る人のほうが先生に可愛がられるのが納得できない。先生達はもっと頑張っている人を見てあげるべきだと思う。
	最近、スシローの醤油を舐めた青年などのインターネットで多くのトラブルが起きているので、ネットのモラルやマナーなどを授業内容に入れてほしい。
	学校がもっと楽しくなるように、学校をもっと良い場所にしたり、学校の問題に真剣に向き合ってください
	学校を楽しくしてほしい
	校長講話などは、暑いだけで誰も話を聞いてないので、規則正しいや団体行動やどの練習ならもっとマシなのにしてほしい
	部活がもっと快適になるように改善してほしいです
	成績をつける時テストの点数も見るけどその人の努力さや脳力も見てほしい。また髪型のルールなど。以前に、テストの点数は 99 点なのに成績が 3 だったこと。実技も自分なりに頑張ったのに
	生徒には「身なりを整えろ」なんて言うくせに先生達は服装も髪型も自由なのはおかしいと思う。 何か言うときは誰であろうとまずは自分達から身なりを整えるべきだと思う。「大人だからいい。」なんて言うのは通じないと思う。
	校則見直したほうがいい
	修学旅行制服は絶対寒いです。絶対。
	勉強をもっと詳しくしてください
	子どもたちに対して<口悪い>っていうのにその大人は子どもたち対して口がとても悪い。 子供の喧嘩なのに大人が入ってこないでほしい。先生の差別が酷い、他の子には教えているのに、私達には教えてくれない。ある授業で<自分たちで決めて良いよ>って言われ決めたのに、勝手に変えられて私がそれならそのときの授業で決めた方がいい>といったら逆ギレされた。 部活の大会で優勝したのに褒めることがなく怒ることしかなくて嬉しくなかった。 私達の部活の先生は、私達の悪口を他の生徒に言っている。
いい子な子は、大人に相談しにくい。 学校に嫌なことしかない	
気持ちや考え	もっと子供がなにか発信できるようにしてほしい。

<p>気持ちや考え (続き)</p>	<p>なりたい職業が声優なんですけど、親に一度だけ反対されたんですよ。もっかい考え直してみたけど、なってみたいなって気持ちだけで考えるのやめようって考えてたら、なりたい夢とか何もないんですよ。飽き性なのもあると思うけど笑。一応「夢は声優」ってみんなに言っているけど、実際なりたいのなんかないし、高校も〇〇に行くとか言いながら友達いるならそこでいいやみたいなお感じ。先生とかに進路相談言ったら、「いい高校見つかるまで探しな。いろんな高校あるから自分のペースでそしたら夢も叶うかもよ」みたいに言われるのが、自分にとっては行きたいところもないのになんかなって思いました※ぐちかもしれません。すみません。</p>
	<p>人の気持ちも分からんで口だけ言うのやめてほしいです。ちょっとは考えてほしいって思います。</p>
	<p>人の目をよく気にして自分の気持ちを伝えることがあまりできない、どうしたらいいかわからない</p>
	<p>自分なりに頑張ってるから目に見えるところだけで判断して、サボってるとか勝手に決めつけないでほしい</p>
	<p>自分の考え方が変わっていると思う。</p>
	<p>大人だから…、子どもだから…ということではなくお互いに尊敬しながら生活していきたい</p>
<p>親へ</p>	<p>欲しい物があつたとき「よそはよそ」と比べるのに勉強のことになるとすぐ比べることだったり、中学校になったらある席次に関して先生は「高校にはあまり席次は行かないよ」と言うけど、親が「何番以内平均何点じゃなかったら携帯没収」といわれるし、あまり携帯を取ったところであまり変わらないし、家庭によってはスマホを買ってくれないところがあるけど、周りみんな持っているし、クラスラインとかのことにしても勝手に話が進んでたり、中学生になってまだスマホがないのは、友達との連絡も取れないから買ってといえ「子供のときはそんなものないよ」と言われるけどそんなの知らんよと思います</p>
	<p>自分の性格が飽きっぽいから親に反対されそうで、自分のやりたいことを親に言えない。</p>
	<p>ご飯美味しい</p>
	<p>お母さんお父さん仕事頑張って。</p>
<p>大人へ</p>	<p>よく怒りすぎ</p>
	<p>こどもの意見もちゃんと聞こう</p>
	<p>子供の気持ちをわかって発言とかしてほしい 少しでも理解しようとしてほしい</p>
	<p>子供だけでカラオケなど遊ぶところに行つてはいけなは制限しすぎ。大人の好き勝手にしてるだけ。そんなに制限しないでください。</p>

大人へ (続き)	大人の人に言いたいこと、いつもお仕事お疲れ様
	もっとお金をください
	wi-fiなどのネット環境をもっと早く整えてほしい
	学校を少なくしてほしい
	バス高すぎる
	連帯責任とか意味の分からないルールを作らないで欲しい
	機嫌が悪くなったら子供に態度かえるのをやめてほしい
	大人の人達へこれからも支えてください
	遊ぶのにめっちゃ、お金かかるから、お金がなくても中学生が楽しめる施設がほしい。
	大人の人に言いたいことはないです。
大人の人には、特に何もありません。しいてゆうなら、子供に優しくしてえ～ください。	
誰かが悩んでいるときは気づいてあげてほしいです	
アンケートについて	こんなこと知ってどうするんですか？
	いじめアンケートとかも正直やる意味や必要性を感じません。
	何故このようなアンケートを行っているんですか？
	アンケート楽しかったです。
	やってみて、今の自分がどのような気持ちで生活していたかを振り返ることができたのでとても良かった。
	困った人の助けになるアンケートだと思いました。
	いじめアンケートは、自分以外に周りに、いじめがあるかどうかという項目を増やしてほしい。
	このアンケートがあると自分の気持ちが正直になるので、前向きになってアンケートに答えることができます。
	あいさつって難しいですよ。それに、これは私の心情なのですが、「自分に良いところはあると思いますか？」という質問なんですけど、自分に自信がない人にそれを聞くと変に刺激とかするんじゃないかと思います。なので、「だれかに“優しい”と言われたことはありますか？」など、がいいのではないかと、思います。これはあくまで提案なので...
	しっかり回答者のことを考えてくれている
	わかりやすい質問の仕方をしてくれている
	これをやって子供の悩みは消えるのか、
	自分のことについて知ることができた。
	自分と向き合うことが、できたと思います。
	ここではいつもは話せないことを伝えることができました。
子供は親や周りの人に心配をかけたくないと思っている人が多いからこういったアンケートで悩みなどが吐き出せたりするのはいいと思う。	

アンケートについて (続き)	少し分からなかった事があったが問題なくできた
	自分の気持ちを遠慮なくかける良いアンケートだと思った。
	理想を追い求める人についてはどう思っていますか？という質問しか浮かび上がりませんでした。
	このアンケートから私や周りの人たちがより良く過ごせるようになると良いと思う。
	アンケートは、悩むところもあったけど自分の本心でアンケートを答えることができて良かった。
	アンケートができてよかった
	このアンケートで自分と向き合うことができた。
	自分の生活を見直すために良いなと思いました。
	自分が気づけなかったことが気づけた。
	質問がまあまああった。 もう少し減らしてほしい。
	アンケートがちゃんとできた。
	僕は人生を楽しんでるとわかった
	自分の気持ちや感情を思う存分表現できたと思う。
	自分を振り返ることができたと思う
このアンケートをして、なんとなく自分が置かれてる状況を簡単に知ることができたので、アンケートをしてよかったなと思いました。	

問 19 アンケートの感想やふだん感じていること (17 歳)

区分	自由意見
学校のこと	体育の男女が一緒なのが非常に嫌です
	私は今年の一学期の途中から今までずっと学校を休んでいるので、学校に関する質問には学校に行っていたときのことを答えました。 学校に行かなくなってから、自律神経失調症と診断されました。これからは、今在籍している学校を辞めて通信制高校に通うつもりです。
気持ちや考え	恋愛が全てでは無いけど上手くいかない人生つらい
	お父さんが転職してから前よりお金に余裕が無くなって、県外の大学に行きたいけどお金の面が不安です。姉は東京の大学に行っています。
	お父さん給料あげてください。
	自分は思ったより充実した生活が送れているんだなと実感した。 このアンケートを通して自分って結構満たされた毎日を送ってるんだなと感じました。身の周りの事に感謝してこれからも頑張ります。

気持ちや考え (続き)	ストレス発散の仕方がわからない。
	毎日大変だけど、楽しいです。
	アンケートに答える中で今の自分の生活に感謝し、より良い将来を送るためにもっと勉強しなければならないと改めて感じた。
	進学についてもっと考えていけないなと思いました。 親の手伝いとか、もっとしていきます。
	このアンケートを通して自分の意志を伝えられていなかったと改めて感じたので、これからは自分の意志を伝えられるようにしたいと思いました。
アンケート	結構良心的な質問で良かった
	QRコードでのアンケート回答ができて便利だった。
	選択肢が少し選びづらいと思う。特にお小遣いについての質問は、5000円程度はないがお小遣いはもらっていてそれに満足しているが、選択肢の中でじっくりくるものがなかったので、選ぶ時にとっても悩んだ。もう少し悩まなくてもいいように質問して欲しい。
	アンケートの間12、13の学校卒業後の進路について補足させていただきます。問12は現実的には私立大学に進学したいと考えていて、問13は理想的には国公立大学に進学することになると思います。金銭的な理由で学費を払うのが厳しくて私立大学への進学を断念することになりそうです。
	長い。設問数を減らした方がいい。3問～5問くらい。
その他	給付金などで学費や習い事、進学が助けられるとありがたい。親の収入制限とか関係無しに！
	私は二人兄弟です。母子家庭です。大学に行きたいけど、母に迷惑をかけないため奨学金で行こうと思っています。そのことを考えたら、進学することを躊躇してしまいます。同じ立場の人たちを平等に支援して欲しいです。

問21 制度や支援策への自由意見（小学5年生保護者）

区分	自由意見
子育て環境	小学校内に学童を新設してほしい。
	①保育園の入園が課題で、今だに待機期間が長く、仕事復帰が厳しいです。兄弟がいる家庭を優先に、上の子と同じ園は入園できるようにしてほしい。②給食費の無償化を希望します。毎日出される牛乳を無くして、食材を増やしたりメニューを充実させてほしい。

<p>子育て環境 (続き)</p>	<p>県外に比べて子供たちが経験できることが少ないと思います。もちろん、沖縄でしか出来ないこともあるとは思いますが。引っ越してきてまず驚いたのは小学校の遠足が近くの公園とか…私は県外出身ですが、博物館や科学館なども少ないため自分の視野や興味を広げるきっかけみたいなものが平等にないように思えます。それらに触れる機会を与えられる家庭と、出来ない家庭の差があると思います。小学校や中学校で幅広く色々な経験や知識を与えられるような環境が子供たちみんなにあったらいいなと思います。</p> <p>地域的に学童が絶望的に少ない。 保育園や幼稚園の時期の方が安心して仕事ことができました。 学童問題は悩みの種です。 なぜ、地域によって差があるんでしょうか、、、仕事を辞めざるをえない家庭もあると思います。</p> <p>子供が学校に上がって落ち着いたので仕事をしたいが、まだ子供に合わせて時短で働ける場所がいいと考えており条件にあう仕事を見つけられない。実家が県外で何かあった時に助けを求められる人がいないのでなかなか働きに出るのが難しい。</p> <p>学童が少なく、入れるところがありません。 高学年の子どもを受け入れしている学童も少なく、夏休みなど長期間の学校休みの日に子どもだけで留守番させる事ができず、ちゃんとした仕事に就く事もできません。 もっと、学校から歩いて通える距離に学童を作って欲しいです。</p>
<p>学校・教育環境</p>	<p>不登校などの支援</p> <p>教職員をサポートできる人員を確保して、もっと時間や心に余裕が持てるようにしてもらいたいです。 先生たちが自分の時間や家族を大切にできるように。</p> <p>学校側の校内インフラの遅延を推進して欲しい。行政自体、社会主義国の構造と同じなため、古い世代からのトップダウン構造が、デジタル化を遅らせている。グローバル化の時代がいずれ訪れるにあたり、今の子供達は次世代の社会に慣れていけないといけません。 なので、今の古い世代の物差しで、子供達の未来を測るのはただのエゴでしかなく、絶対に妨げてはならない。 子供達の可能性を手助けするのが教育の役割であり、統率して軍队的なイエスマンロボットを作るべきではない。 相手が子供であれ、注意や否定や指導に対して、子供を納得、説得する根拠を示さなければいけない。 子供は大人が思ってる以上に実は賢いってことを大人がもっと理解する必要がある。</p>

<p>学校・教育環境 (続き)</p>	<p>子供がいつもお世話になっています。ありがとうございます。 学校はもっと個性を重視してほしいです。 海外の授業のやり方を取りいれたりしながら、もっと個人の力を伸ばした方がいいと思います。 勉強&スポーツ教え方は色々変えてもいいんじゃないでしょうか??</p> <p>部活をやっているが、試合や土日の送迎に時間も金も掛かる。試合の日だと7時集合の夕方まで。子供一人ならいいが、他の兄弟が中学校や高校、未就学児がいると更に大変。部活を出来る世帯が限られてくる。全員が気軽に活動出来ればいいと強く思います。現状犠牲になる事が多すぎて気軽に誘えません。</p> <p>学期始め終わりに式服で登校しますが、毎年成長する子供の式服の買い替えがもったいない。県外の小学校は学期始めと終わりに式服など着ない。経済的に厳しいと困ります</p> <p>出産から大学または専門学校までの家計負担を無くす事。職業訓練学校へのアプローチ(親子)。学業の平準化を中学校までにできるように、特に取り組んでほしい。進学への選択肢の広報、子どもがしたいことのリサーチ。マッチングを中学校くらいでフォロー(行政側が)してくれると、親も子どもも、スムーズにやりたいことをやれるかもしれない。</p>
<p>経済的支援</p>	<p>18歳未満の子どもの医療費無償化拡充を更に進めて欲しい。</p> <p>時間が空いた時に、急でも出勤ができるお仕事などがすぐ探せる何かがあればいいなとすごく思います。 それとうつ病で本当はパートでもきついのに通いながら子供達を養っていけないこの状況が苦しい。 生活保護を受ければ車には乗れないので、子供達がいればそんなことはできません。 児童扶養手当もありがたいのですが金額的に少なすぎると思います… 生活保護を受けずに、他にも援助金みたいなものがあるとすごく助かります。</p> <p>こどもの歯科矯正費用について助成があると良い。</p>

<p>経済的支援 (続き)</p>	<p>【医療費について】 数年前から小中学生全額免除の為、非常に助かっています。面倒な手続きも不要です。可能な限り、これからも続けて欲しい</p> <p>【給食費について】 小学校は給食費半額免除制度を設けているが、中学校は全額自己負担。 中学生は食べ盛りなので仕方ないかなと思う反面、何気に負担を感じている。 今年度(令和5年度)は、小中学校の給食費が全額免除になっているのでとても助かっている。来年度も免除、若しくは中学生も半額制度を設けてくれると嬉しい 収入に変動はないが、物価高騰、税金が高い一方で子どもたちの為の制度が充実してくれると子育て世代の私たちにはとても助かる</p> <p>税金の軽減 光熱費の値上げ無し NHKの受信料廃止</p>
<p>教育費支援</p>	<p>就学援助の収入枠をもっと広げて欲しい。</p> <p>給食費の免除</p> <p>進学を考えると経済面が負担となる。みんな平等に通えるような仕組みを作ってほしい</p> <p>通学バスの無償化 給食費の無償化 学用品費用、部活動にかかる費用の軽減 奨学金制度の無償化</p> <p>今年度は給食費の補助があり大変助かりました。これからも継続していただくと物価高の中の悩みが一つ減ります。</p> <p>高校までの授業料全額免除とか、収入に関係なく、全ての児童が平等に高校までは就学できる環境があればより助かります</p> <p>義務教育の間の学校給食の無償化や各種検定の級に応じた検定料の補助などの支援がほしい。</p>
<p>支援制度</p>	<p>どんな支援があるかなど、もっとわかりやすく知らせてほしい。</p> <p>世帯収入が高いほうではありますが、子どもが多いため就学援助など子どもの制度が使えないことに疑問を感じます。 子どもが多ければ何倍も生活費はかかります。多子世帯の条件も見直していただきたいです</p>

<p>支援制度 (続き)</p>	<p>ひとり親の為の家賃補助がない、仕事の支援や斡旋などがほとんど介護ばかりで40代シングルマザーはサービス業などの時間や休みが不定な仕事しかない。 これでは子供との時間も難しく家庭との仕事のバランスとるのも難しい。 もっとシングルマザーの不都合なことなど色々な意見を聞いてその立場になって支援を考えてほしい。 相談は出来てもあくまでも相談で本当の意味での支援になってません。 困ってる人はたくさんいます。 時間もお役所時間では相談できません。 24時間受け付けるくらいの姿勢が必要だと考えます。</p>
	<p>現在、物価高騰様々な面で値上がりが続いていて非常に生活が困難になって苦しいです。 手厚く支援を検討してほしいと思っています。</p>
	<p>離婚しても、昨年（離婚してない年、旦那が扶養してる年）の収入とか扶養人数で計算されるので、今現在の収入とか扶養で考えてほしい。 今が必要なのに、手当とかが前年度ので計算してるので母子家庭はマジで困る。 今必要なんです！</p>
	<p>家族構成に関わらず、所得制限があることに不公平感を強く感じます。子供は親の年収等に関係なく平等に施策を享受出来ると良いと考えます。</p>
	<p>支援制度が分かりづらい、 条件が厳しくて支援を希望しても受けられない</p>
	<p>世帯収入で子の支援が受けられない事。子育ての支援に所得制限は撤廃するべき。</p>
	<p>支援策や制度が微妙なラインで対象外とされているので、子ども達に自由に教育環境などが整えてあげられるか不安</p>
	<p>物価高騰しても給料が上がらなければ、困窮する家庭が増えると思う その場限りの対策ではなく長期で考えたきち？とした政策を打ってほしい。 この先新築を立てる予定だが一定条件を満たさなければ住宅ローン控除がなくなるのも厳しすぎる。 条件満たす家を建てるにはコストも増えることわかってるのか聞きたい。 とにかく今の日本は住みづらい。</p>

<p>支援制度 (続き)</p>	<p>多子家庭の数えかたがおかしい。 成人未満の子供を第一子とカウントしないで、小学何年生以上だとカウントされなくて幼稚園や、保育園の利用料が違った。年子間隔の家庭では自分たちの子供より少ないのに、多子家庭適用され利用料が半額、無料になっていて、おかしい。成人してなくて親の同意が必要など子供扱いするなら、この多子家庭の子供カウントするべき</p> <p>物価高騰をやめてほしい。 子供の通院や入退院で仕事が安定して出来ず、生活保護を受けたいが車を所有してる為できない。通院、通勤で車を運転しない、売るのは厳しい。 自立支援を、基準を満たさないグレーゾーンの家庭にももっと目を向けて欲しい。 貸付も基準が厳しくて、どう生活したらいいか分からない。 子供にも我慢ばかりで周りのお友達と比べられてどうしようもなく、やるせない。</p> <p>働けば働くほど税金が引かれ、全うな理由でない人達も非課税対象になるのは納得がいかない。 高収入ではなく、非課税世帯でもなく、一般的な世帯も、全ての世帯が平等な生活ができるようになってほしい。</p>
<p>アンケート</p>	<p>アンケート協力者には QUO カード配ってより、たくさんの集計をした方がよい</p> <p>個人を特定されなくても答えたくない。アンケートは任意にしてほしい。行政を信用できない。 無駄な紙の印刷等やめてほしい。学校を介してアンケートをとるなんて失礼です。 正直に答えたくないです。 ご了承ください。</p>
<p>その他</p>	<p>国民が求める本当の異次元の少子化対策を政府が本気で実現できれば求めることはないのだが。</p> <p>親はもう少し、自分の子供を育てる責任感を持って欲しいです。制度や支援を手厚くするのも、大切ですが、頼りすぎる人たちが増えているのも実情ではないでしょうか。しっかりと社会を支える大人に育てる事が大切だという事を、大人たちは考えて行動していかないといけない時が迫っていると思います。</p>

問 21 制度や支援策への自由意見（中学 2 年生保護者）

区分	自由意見
子育て環境	給食費無償化の延長。夏休みのみ利用できる学童の場がないので、子どものみで自宅にお留守番させているのが毎年夏になると不安。
	学校の放課後や夏、冬休み期間に教室を開放して卒業生や知識者が学習塾に通えない(経済的に)子供達に勉強を教えたり運動を教えてくれる制度があると良いと思う。(一部地域で実施している)
	とにかく産婦人科が少ない！宜野湾市はその点で大変です。小児科も、ものすごく混み病院に行くだけでヘトヘトです。産婦人科、小児科を増やして。
	シングルマザーで2人の子供を育てているにもかかわらず子供が保育園児だった時、別々の学校に通わされ、一緒に保育園に通わせたいと要望したら、「1度2人のお子さんを退園させて下さい。」と言われ断られた。1人で子育てをされていて、仕事もしているのに子供を退園させられたら、どうやって働けばいいのですか？国や地方団体は少子化をどうにかしたいといっているが、シングルマザーや本当に困っている人の事を考えていない。本当に少子化をよくしていきたい。子供達の未来を良くしていきたいと考えるなら、困ってるお父さんやお母さん。シングルで子育てしている人達にもっと意見を聞き、耳をかたむけるべきだと思う。困っていない、政界の方や地方公共団体で安定している人だけに聞いても本当に困っている人の事なんてわからないと思う。
学校・教育環境	母子家庭にとって、部活の活動の父兄の参加はキツイ。人数がいなくて役員に充てられたりしたので、サービス業は週末、仕事の休みをなかなか取れにくく、役員の手伝いが行けない時もあり、他の役員の方々にととても申し訳ない気持ちになります。気まづくなります。出来る事なら一生懸命、役員参加したかったです。
	教師陣のレベルを上げて欲しい
	学校での生活が見えないので、カメラなどで子供の様子が少しでも見られたら安心します。 部活なども、毎時間ではありませんが、どんな状況で練習しているのか見てみたいです。最近先生の犯罪もニュースに出ていたり、心配があります。
	制服や体育着等の再利用や、(中学校)小学校の場合は絵の具や習字セットや算数セットの活用をもっとどうにかならないかなー？と思います。一人っ子なので家にあり、勿体なく捨てられないので活用する事ができたらな…と感じます。
経済的支援	子育て世代に対する、助成をお願いします。 もしくは特別控除をしてけると嬉しいです。

経済的支援 (続き)	<p>子供が側湾症で装具が必要だったが、保険適応外だった。 小学生で側湾症が発症することが多い訳ですから、子供医療費助成の項目になってほしいと思いました。</p>
	<p>金銭的援助がもう少し欲しい</p>
	<p>子ども医療費を18歳までに！ 子ども手当を18歳まで！ 高校、大学の授業料免除！</p>
	<p>家賃の負担がとても大きいので、補助などがあれば助かります。市民税も収入で決まるのも理解できますが、ひとり親だと負担が大きいです。</p>
	<p>今年度、中学生の給食費が全額助成されたことを、とても有り難く思っています。お金を支給されるより支払いの必要がない方が有難いです。児童手当については、生まれ月によって受け取る金額に差があることに不公平感を覚えます。中学卒業月までではなく全員が15歳の最終月までならいいのに！ 今回のような、市民の考えを届ける場が定期的にあるといいと思います。</p>
	<p>最近子供が入院(市外)しました。退院時の支払いが高額になる為、急な出費に困りました。 入院(市外)でも現物給付出来れば助かります。自動償還になると、申請後払い戻しの期間が長いので困ります。</p>
	<p>実際に食べ物などに困っているご家庭があるとしたら、そちらにしっかり支援をしていただきたいと思った。うちも決して豊かではないが、何かできることがあったらしたいと思ったので、情報発信してほしいと思う。</p>
	<p>子ども医療費助成を高校生まで対象にしてほしいです。 部活などしてると、ケガすることもよくあるので、高校生まで対象になると、とても助かります。</p>
教育費支援	<p>収入はあっても日々の生活、こどもの教育費などで貯金が出来ず生活はギリギリです。非課税世帯だけでなく、課税世帯でも生活が苦しい人はたくさんいるので経済的援助に関する施策をもっと考えてほしい。 無料塾増やしてほしい</p>
	<p>高校卒業まで子供の就学にかかる費用は全て無償化するべきだと思う。 こんなに就学にお金がかかり子供の未来を考えない国は日本だけ</p>
	<p>大学進学に必要な奨学金の借り入れの幅を広げてほしい。</p> <p>◎全ての子どもたちがお金の心配をすることなく通える学校であるためのしくみや支援(高校まで) ◎訪問看護介護など個人や家族の選択肢が増える世の中だと全世代が生きやすいのではないか</p>
	<p>県外の大学への進学に、どのくらい費用がかかるか、この先の状況がどうなるのかわからないのが心配。</p>

教育費支援 (続き)	<p>児童手当は第1子が大学在学中までの間、第3子の手当金を月3万円にする案が検討されていると新聞記事で読んだ。是非、決定してほしい。</p> <p>第1子大学進学で学費がかなりかかる中、第2子の高校受験もあり、塾代などの出費がかさむ。</p> <p>子どもが中学、高校、大学となるにつれて家計に占める学費(塾代)も大きくなるので第2子、第3子の進学に支障が出ないように児童手当増額と、延長してほしい。</p>
	<p>学校の部活や外部でのスポーツ遠征費を高校生まで補助して欲しいです。</p>
	<p>私(父親)は、個人事業主です。</p> <p>昨年、経営していた飲食店を売上不振で閉店し、新たに学童のような小学生向けの塾(一般的な勉強ではなく、論理力等の生きる力を育む力の向上を目的とした教育)を開校しましたが、告知等が遅れたこともあり生徒数が少なくすぐに閉校しました。</p> <p>昨今の生成AIの進化に取り残されないように学びながら次の事業を計画中です。</p> <p>まだ生活資金を支えるだけの貯金がありますので、子どもたちの衣食住に支障をきたす状況には至っておりません。</p> <p>今後3年以内で、子どもたちの大学・高校・中学進学等が控えている為、不安に思うこともありますが、現状の状況のままであることのないよう計画実行していくつもりなので深刻には考えておりません。</p> <p>就学援助等の支援をいただきながら現在は生活しております。</p> <p>ありがとうございます。</p>
	<p>日本は、高校、大学への進学に、教育費がかかりすぎる。このままでは、収入格差で、収入がある人が高い教養を受けられ、収入が無いと、大学はおろか、高校すら行けないという選択を迫られている。平等に、学べる制度を。支援ではなく、制度にしたい。みんなが自由に学べて、自分のより良い将来を選択できる制度。</p>
	<p>高校卒業までは、経済的な負担のない学校生活を送れる制度作り</p>
	<p>私立高校へ行く場合も給付金や援助資金があったら選べる学校の幅が広がるので、うれしいです。</p>
	<p>数検、漢検、英検の受検料の助成をしていただきたいです。市町村により検定料が、半額の所もある様です。多くの子供達が受検できる様に支援していただきたいです。6年前は英検の受検料は半額だったと思います。</p>
	<p>国が計画している3人以上の世帯の大学無償化は是非実現してほしい。それに伴い大学法人だけでなく、専門学校や職業訓練施設等も無償化になるなら、更に良い(ありがたい)。</p>

<p>教育費支援 (続き)</p>	<p>今、生活には困ってはいません。ただ、ギリギリであり、貯金が出来ていないのが現状。高校、大学、海外留学など子どもが希望すれば叶えてあげたいが、その為の資金(低金利の奨学金、返還不要の奨学金)があれば情報がほしいです？</p>
	<p>大学無償化 収入に関係なく</p>
	<p>義務教育の範囲内の子供に関して かかる様々な費用を無料または助成して頂くと 助かります。</p>
	<p>子どもの教育環境をもっと良くしてあげたいが、家計に余ゆうがなく、満足する、習い事をさせてあげられない。</p>
<p>支援制度</p>	<p>結婚しても家庭内別居や1人での収入で生活を立ててるのに、結局全体の収入しかみないで、就学援助とか給付金が該当しないって所がありえない</p>
	<p>多子世帯へもっと手厚くしてほしいです。外食なんてできません。食費が凄いかかります！ その他もろもろ細かいお金が全員分となると凄い金額になります。 学校からの毎月の徴収金も全員となると、1人3千円だとしても7人だと2万なんて毎月すぐとんでいきます。 就学援助対象外なのが本当にありえないです！ 非課税対象者が羨ましかったりすることもあります。 仕事も真面目に頑張って、色々和我慢して生活してる人もいるの忘れないで欲しいです。</p>
	<p>子の看護休暇は、無給にせずに、満額支給してほしい</p>
	<p>様々な制度があるがわかりづらく、知ろうにも普段の仕事や家事等で行く時間が作れない。行政側から該当者に通知が行くシステムは出来ないか？取る事は強制徴収できるなら貰える方と相殺するなど検討してもらいたい。</p>
	<p>非課税世帯へのサポートは十分にあると思う。中間層への支援も是非お願いしたい。子供の人数と年収を考慮願いたい。</p>
	<p>母親のひとり親世帯です。子どもたちの進学費用で不安が大きいです。私が公務員のためいろいろな助成基準には該当しません。 収入は見た目に余裕があるように見えるかもしれませんが、先が不安なので習い事や塾なども優先順位にかけて選択し、目の前の生活は子どもに我慢させているのが現状です。</p>
	<p>母子家庭で実家暮らしで全員の収入を計算してシュウガクエンジョを受けられないと言うのは困る。家族からお金を貰えるわけでもないのに、全額払うのは私だから家族の収入を入れないでほしい</p>

支援制度 (続き)	生活保護を受けることはないが、(動けるから)生活保護を受けている人の方がお金を雑に使っているように思う。一人親世帯への家賃や税金、などの負担を軽減優先すべきだと思う。未来の子供たちに目を向けて!!!働かない大人に目を向けすぎだと思う。
	子どもが新しい事や、学校以外の事に挑戦する時、必ずお金が必要になります。日々の生活以外の学べる環境を整えてあげるのが難しく小さな事でも、頼れる機関があったら、心強いなと思いました。一世帯、年間〇〇円まで…とか…。
	ひとり親世帯、非課税世帯への手当、支援はよく、手厚くやっているとと思います。しかし、それ以外の世帯への支援は全くありません。収入の面が上記世帯よりもあると考えが有ると思いますが、それ以上に税や子供の教育費など支払い、支援も受けられない。上記世帯よりも大変な事も多々あります。子供の教育費等だけでも何かしら支援があれば助かる世帯も増えると思います。少しずつ変わってきていると思いますが、まだまだだと思います。前は受けれていた支援等も収入が少しだけ上がった途端、打ち切られてしまいました。その分、生活は前よりも大変になりました。
	県営、市営住宅など何度提出しても通る事が無く、生活保護受給していても、毎月が必死です。病気でなければ、もっと生活がしやすいと思いますが、皆同一な立場ではないのに、同一ですべて考えられて来た様な気がします。助けてほしいという気持ちもなくなりました。初めてこんなこと書きますが、何も変わらないと思いますが、少しでも最後に話してみました。また、だめになるのでしょうか。
アンケートについて	統計データとして公表するとありますが、どこで確認できるのでしょうか。
その他	ぜひお子さんに将来、生きやすいような世の中にしてほしいです。
	すべての方が、安心して暮らせる社会になってほしいです。特に、子供たちが。
	今でも暮らすのが大変なのに子供達の生きやすい未来になることを祈ります

問 24 制度や支援策への自由意見 (17 歳保護者)

区分	自由意見
子育て環境	税金を多く払っているのに、認可園にはなかなか入れず認可外保育園を他市町村で探すこともあった。仕事復帰にとっても苦勞した。生活困窮者が優先だとわかっているが、子供に対しての福祉は平等であってほしい。
	見た目(外見)では分かりづらい発達障害のこどもが生活しやすい環境をととのえてほしい。

学校・教育環境	<p>将来の目標がない、夢はあるけどどうしたらいいかわからないなど明るい未来を描けていないようでとてももったいないと感じています。</p> <p>キャリア教育や仕事体験の機会など、自分の夢を探す機会を増やし、将来の展望を明るいものにしてほしいです。</p> <p>※学校の友人と将来について話す機会が多いようなので、学校の負担にならない程度に情報を提供いただけると効果があると考えます。</p>
経済的支援	<p>こども医療助成制度を高校卒業迄に延長して欲しい。ファミリーサポート利用を中学校卒業迄に延長して欲しい。</p> <p>高校生になっても育てて行く上で いろいろな経費や出費がたくさんあります。フルタイムで働いていても賃金が低く 家賃と光熱費でほぼ給料はなくなります。</p> <p>お小遣いはあげられず 自分のほしいものはバイトをして過ごしている子供には申し訳ない気持ちです。</p> <p>社会全体の賃金が上がり またいろいろ支援をして下さるともう少し 生活しやすくなるかと思えます。</p> <p>18才を成年(成人?)というなら、18才まで児童手当や医療助成金などを給付してほしい。</p> <p>小さいうちはお金はかからないと思う。むしろ中高生となると、食は増えるし、おしゃべりしたり、友達との交際費などとてもかかる。今が楽しい子供たちに我慢ばかりさせられない。</p> <p>必要な小遣いを与えないから子供達の犯罪も増えていると思う。まず、親の給料を上げ、給付金も増やし、生活を安定させる事が必要だと思う。</p> <p>岸田総理の給料上げる前に国民の給料あげろ！！とイライラがつのります。国がやらないなら宜野湾市が考えて下さい！！</p> <p>一般的な家庭でも苦しいんだから国民一律にして下さい！！区切るな！！</p> <p>児童手当、高校生までにしてほしい。</p> <p>医療費、高校生対象にしてほしい。</p> <p>修学旅行費、援助してほしい。</p> <p>部活動費がかかるので、支援あれば助かる。</p>
教育費支援	<p>自宅から高校まで距離があり、バス賃が負担になります。卒業までの間交通費は無料になると助かります。</p> <p>また、部活で使用するユニフォームや靴などの援助金などあれば良いなと感じています。</p> <p>多子世帯は、奨学金も全ての対象から外れてしまう。収入はあるが、それ以上に子どもにかかる費用や、親の面倒までみると、毎月赤字になる。</p> <p>せめて、給付型の奨学金対象に入れて欲しい</p>

教育費支援 (続き)	給付型の奨学金制度を増やして欲しい
	高校までは所得に関係なく同じ就学支援が受けられるようにしていただきたい。
	スポーツ遠征などの補助金が充実してほしい。 手続きも分かりやすく簡単に出来ると嬉しいです。
	大学の学費はかなりのお金がかかりますが、共働きのごく普通の収入の家庭には支援がありません。 奨学金は将来の子どもの借金になることを考えると、進学を諦めることもあると思います。どんな子どもでも平等に進学ができる仕組みを作ってほしいです。
	県外への進学で必要な金額への支援制度。 収入に関係ない返済不要な奨学金。
	大学の学費が無償化されると大変助かります。塾の費用の助成金もあれば尚嬉しいです。
	進学への奨学金について、貸与型よりも給付型をもっと緩和して受けられるようにしてほしい。 経済的な理由で進学を諦めてしまう子ども多いのではないかと思います。少子化で子供を産まなくなる人がもっと増えるのではないかと思います。大学を卒業しても社会に出たら貸与型の奨学金の返済で結婚や子育てなどを考えられないという意見も聞きます。
	未就学時期の支援、体制は充実されてきているが、高校から大学の進学に関する支援は不十分であると思う。 2人以上の子供がいる家庭は厳しい状況があると思う。 物価高騰も厳しく感じる。
	姉妹に学生がいる為、進学費用の軽減されるといいなと思います。
	大学進学すると学費や生活費の仕送りは家計を圧迫する金利の低い奨学金を願う。 高校受験のための塾通いで家計に負担がかかる。 全日制高校だけでなく通信高校も充実してくれれば受験戦争も落ち着いてくるのではないだろうか。
	大学の学費無料になると、大学をあきらめていた子供たちが進学し、なりたい自分になれるチャンスがある。 医療費を高校まで支援してほしい！税の扶養控除額をもっと上げてほしい。
本人が希望して進学した学校ですが、バス代が高く負担になっている。 支援事業があるが該当しなかった。	

<p>教育費支援 (続き)</p>	<p>子供の大学進学に際して、片親でないため支援が足りないと思うことがあります。</p> <p>子供が3人いるとそれなりに働いていても、お金がかかります。まして県外での大学となると生活費や学費など奨学金を借りても仕送りが必要となってしまいます。</p> <p>制度の改善やいろんな支援を期待しています。</p>
<p>支援制度</p>	<p>非課税世帯、片親世帯ばかりが守られている気がする。</p> <p>子どもが多い多子世帯にも、無償学習塾(中、高)に参加できるようにしてほしいと思います。(今の世の中が学力を求めている)</p> <p>学習塾も学費が上がっているため、子供に合った学習塾へ通わせられていない。</p> <p>今まで苦労して子育てをしてきたが、今の支援は若者を甘やかしていると思います。</p> <p>出産代の値上げ(平成18年10月～)</p> <p>保育料が三歳以降無料</p> <p>医療費が中学生まで無料</p> <p>等々、今の17歳の年代で損と特を感じます。</p> <p>一部の人に支援金を配るのではなく、税金をさげ、すべての国民が平等である事を願います。</p> <p>子供の人数に関係なく、なにもかも所得割にされて、受けられる恩恵が少ない。</p> <p>毎年、毎月、働いた分税金を搾取されている気分です。まるで働かない世帯の子どもたちのために働いている(よその子を育てている)ような気持ちです。</p> <p>子供たちの事はみな一律平等にして欲しいです。</p> <p>宜野湾市は、上下水道費用が、他に比べてとても高い。</p> <p>今まで色んな支援など利用してきましたが、私の就職した途端に年間収入があるとして、それらが受けられなくなり、就職前と変わらず生活が困窮し、子供達に自由に学ばせたり新しい洋服、下着などが与えられません。税金を払う額は増え、物価高等に見合っていないかと思っています。</p>

<p>支援制度 (続き)</p>	<p>術後の父を一時的に家で同居させているが、まだお腹が開いている状態(手術の傷)なので歩くのも困難、私が車を出して病院に連れて行ってあげたいが仕事を休む事により収入が減る為、仕事を休めない。家族の大事な時に、動けず、つらい。 役所に相談に行きたいが、休めないため相談もできずにいる状態。 就学援助を利用させてもらっているが、子供の部活にかかる費用で生活が苦しい。 遠征代など急な出費が多いので掛け持ちで仕事をして、なんとか乗り越えているが進級時はとくにカツカツ、今年は下の子の入学もあり制服代がまだ貯まらず、どうお金を作ろうかと焦っている状態。 色々な制度を利用してどうにか生活できて助かっているが、頼る人がおらず今後がただただ不安。</p>
	<p>自営業ですが、コロナで大打撃を受け立て直しに苦労している最中です。 世間ではコロナは過去の事の様になり、行政の支援等も話にも出なくなりました。 私も含めてまだまだ苦しんでいる人は沢山いると思いますので、引き続きの支援制度をお願いしたいです。</p>
	<p>シングルの方達の支援は結構耳にしますが両親で一生懸命に子供を育てている家庭も経済的に苦しい時もあります。離婚しないで頑張っているのにシングルの方だけに支援があるのはおかしい。</p>
	<p>地域、産官学、企業とのパートナーシップによる子供たちへの安全、安心、学力向上への支援 介護、シングル家庭への支援 宜野湾の良さを活かした事を子供達へ伝えていく活動(歴史、農産物、文化、人)</p>
	<p>療育を受けている家庭に特別児童扶養手当などの受けられる手当は、始めは知らない人ばかりなので、案内してもらえると助かります。次女は持病があり、かなり前から対象だったのに受けられないでいた。制度を知らないと、窓口へ問い合わせや相談もすることがない。 窓口で特別児童扶養手当などを略して「～手当は受けていますか？」と確認されたりするが、浸透していない聞きなれない言葉なので戸惑った。 仕事は長女が進学を迎えるためフルタイムも考えるが、子供の持病もあり体調が不安定で両立できる自身がなく今の仕事をしている。基本給ではない為、月給にバラつきがあり安定しておらず、進学させられるのか、本人の行きたい所へ行かせてあげられるかと不安でもある。</p>
	<p>もっと給料をあげてほしい。 食費にすごいお金がかかるのと電気、水道の料金が高すぎて給料が全部そこにとられ子供に使えるお金が残らず苦しい。</p>

<p>支援制度 (続き)</p>	<p>母子家庭で、時間に限りがある為、長時間の勤務は難しく、パートの収入は生活の不足分を補う位しか、稼げないです。 団地の募集の情報など、収集する時間もなくていつもタイミングを逃してしまいます。 現在も民間の借家に住んでいますが、家賃の負担が大きいです…。 団地募集情報や家賃補助など、もっとわかりやすく提供してくれると良いのになと思いました。</p> <p>制度や支援基準を非課税世帯などで区切るのはいかがなものかと思う。 中間年収世帯でも貧困する時はする。もう少し支援を受けられる範囲を増やしてほしい。</p> <p>母娘が不仲で家庭環境が最悪のときがありました。 娘は私と自宅にいたいと言ってたので、母が実家や親戚の家で少しの期間暮らせないか相談したのですが、どこも受け入れしてもらえませんでした。 家計も火ダルマだったのでウィークリーやマンスリーを借りることもできず、家庭内エリア分けをしていましたが、お互い顔を合わせることも多く、余計火に油を注ぐ状況でした。 こう云う時に一時的に母側を受け入れてくれる所があったらいいなあと思いました。(低費用で) ※結局娘が折れ妥協している状態です。しこりが残ったまま…</p>
<p>その他</p>	<p>現在住んでいるアパートが取り壊しの為、引越さなくてはならないが引越し費用、家賃が高額なので困っている。</p>

資料編(調査票)

(小学5年生票)

※この整理番号は個人を特定するものではありません。
あなたとおうちの人の回答を一緒に入力するためのものです。



宜野湾市子ども未来応援計画調査

(小学5年生票) アンケートのおねがい

整理番号

調査の目的

この調査は、宜野湾市の子どもの成長や夢や希望、なやみなどを調べることを目的としています。

あなたへのお願い

- ◎この調査は、あなたが自分で回答してください。
- ◎名前は書かないでください。
- ◎答えたくない質問には、答える必要はありません。
- ◎答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選ぶようにしてください。
- ◎自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。思うままに書いてください。

回答のしかた

①学校のタブレットでとなりにある「QRコード」をよみこんで回答してください。もしくはURLを入力して回答してください。

アンケートのQRコード

URL : <https://src3.webcas.net/form/pub/src4/shou5>



◎12月15日(金)までに回答してください。

このアンケートの回答は、おうちの人や先生に見られることはありません。

※調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

◎宜野湾市福祉推進部福祉総務課生活支援係

◎調査委託機関：(株) サーベイリサーチセンター沖縄事務所

フリーダイヤル：0800-888-5585

(受付時間 月～金：10時00分～17時00分)



ここからスタートだよ
よろしくお願いします

【問1】 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 男 2. 女 3. その他・答えたくない

学校・勉強について

【問2】 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。

※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1. 自分で勉強する
- 2. 塾で勉強する
- 3. 学校の補習を受ける
- 4. 家庭教師に教えてもらう
- 5. 地域の人が行う無料の勉強会に参加する
- 6. 家の人に教えてもらう
- 7. 友だちと勉強する
- 8. その他
- 9. 学校の授業以外で勉強ほしくない

【問3】 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。

※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(①、②それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上	1時間以上	2時間以上	3時間以上
①学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
②学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	

【問4】 あなたは、クラスの中で勉強ができるほうだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. できるほうだと思う
- 2. まあまあできるほうだと思う
- 3. 普通くらいだと思う
- 4. あまりできないほうだと思う
- 5. できないほうだと思う
- 6. どれにもあてはまらない

【問5】 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. いつもわかる
 - 2. だいたいわかる
 - 3. 教科によってはわからないことがある
 - 4. わからないことが多い
 - 5. ほとんどわからない
- ⇒問6へ
- ⇒問5-1へ

【問5-1】 問5で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」を選んだ方にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

- 1. 小学1・2年生のころ
- 2. 小学3・4年生のころ
- 3. 小学5年生になってから

【問6】 あなたは、将来、どの学校まで行きたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1. 中学校まで
 - 2. 高校まで
 - 3. 専門学校まで
 - 4. 短大・高专まで
 - 5. 大学またはそれ以上
 - 6. まだわからない
- ⇒問6-1へ
- ⇒問7(次のページ)へ

【問6-1】 問6で1～5を選んだ方にお聞きします。その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1. 希望する学校や職業があるから
- 2. 自分の成績から考えて
- 3. 親がそう言っているから
- 4. 兄・姉がそうしているから
- 5. まわりの先輩や友だちがそうしているから
- 6. 家にお金がないと思うから
- 7. 早く働く必要があるから
- 8. その他
- 9. とくに理由はない

ふだんのくらしについて

【問7】 あなたは、あなたの住んでいる地域で次のような活動に参加したことがありますか。

あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- 1. 近所のおまつり
- 2. 子ども会や公民館などが開いた運動会やエイサー、敬老会、ハロウィン、クリスマス会などの行事
- 3. 公園や道路などのそうじ
- 4. 地域の避難訓練
- 5. どれにも参加したり、行ったりしていない

【問8】 あなたは、平日の放課後(学校のある日の夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか。

A～セのそれぞれについて、1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。

(○はそれぞれひとつ)

	1. 毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. そこでは全く過ごさない
A. 自分の家	1	2	3	4
イ. 祖父母の家	1	2	3	4
ウ. 友だちの家	1	2	3	4
エ. 塾や習い事	1	2	3	4
オ. 放課後児童クラブ(学童)	1	2	3	4
カ. 児童館・児童センター	1	2	3	4
キ. 学校(放課後子ども教室など)	1	2	3	4
ク. 子ども食堂などの地域の居場所	1	2	3	4
ケ. 公民館	1	2	3	4
コ. 地域のスポーツクラブなどの活動の場(野球場、サッカー場など)	1	2	3	4
サ. 公園	1	2	3	4
シ. 図書館	1	2	3	4
ス. ゲームセンター	1	2	3	4
セ. その他(具体的に：)	1	2	3	4

【問9】あなたは、週にどのくらい、食事をしていきますか。
(①～③それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

【問10】あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. そうである 2. どちらかといえばそうである
3. どちらかといえばそうではない 4. そうではない



【問11】次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。
(①、②それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまる	あてはまる といえは、 どちらかといえは、	どちらかといえは、 あてはまる	あてはまる といえは、 どちらか	あてはまる ない
①自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4	
②将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4	

【問14】全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していません)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。
(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していません	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10 : 十分に満足している

【問15】あなたの思いや気持ちを開かせてください。次の①～④について教えてください。
(①～④それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	とてもそう思う	そう思う	どちらかと言えは、 どちらか	あまりそう思わない	そう思わない
①がんばれば、むくわれる	1	2	3	4	
②自分は家族に大事にされている	1	2	3	4	
③不安に感じることがない	1	2	3	4	
④孤独を感じることはない	1	2	3	4	

【問16】あなたは、これまでに①～⑥のようなことがありましたか。それぞれについて教えてください。
(①～⑥それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	答えたくない・ わからない
①学校に行きたくないと思った	1	2	3	4	5
②1か月以上学校に行けなかった (病気の時をのぞく)	1	2	3	4	5
③いじめられた	1	2	3	4	5
④夜遅くまで子どもだけで過ごした	1	2	3	4	5
⑤学校に遅刻した	1	2	3	4	5
⑥家事や家族の世話を怠る時間がとれなかった	1	2	3	4	5

【問12】あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～12については、あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------------------------|------------------|--------------------|
| 1. 親 | 2. きょうだい | 3. その他の家族(祖父・祖母など) |
| 4. 友だち | 5. 学校の先生 | 6. 学童クラブの支援員 |
| 7. 公民館の大人や子どもたちの場所の大人 | 8. 児童館・児童センターの大人 | |
| 9. スタールカウンセラー、スタールソーシャルワーカーなど | | |
| 10. ネットで知り合った人 | | |
| 11. その他の大人(塾や習い事の先生や地域のスポーツクラブのコーチなど) | | |
| 12. その他(具体的に:) | | |
| 13. 相談できる人はだれもない | | |

【問13】あなたは、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらないうちのものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。
(①～④それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
①自分だけの本(学校の教科書やマンガはのぞく)	1	2	3
②子ども部屋(きょうだいと使っている場合もふくみます)	1	2	3
③(自宅で)インターネットにつながるパソコン	1	2	3
④自宅で洗濯をすることができる場所	1	2	3
⑤自分専用の勉強机	1	2	3
⑥スポーツ用品(野球のグローブや、テニサーボールなど)	1	2	3
⑦ゲーム機	1	2	3
⑧たいいていの友だちが持っているおもちゃ	1	2	3
⑨自転車	1	2	3
⑩おやつや、ちょっとしたおもちゃを買いおこづかい	1	2	3
⑪友だちが着ているのと同じような服	1	2	3
⑫2層以上のサイズのあった靴	1	2	3
⑬けいたい電話、スマートフォン	1	2	3
⑭けいたい音楽プレイヤーなど	1	2	3

その他

【問17】あなたは、子どもの居場所(無料で食事や食べられ、勉強を教えてもらうところ)を利用していますか。
(あてはまるもの1つに○)

1. 利用している ⇒問17-1へ
2. 利用していない ⇒問17-2へ

【問17-1】問17で「1. 利用している」を選んだ方にお聞きします。あなたが居場所を利用する理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 勉強するため | 2. いると安心できるため |
| 3. ごはんを食べるため | 4. スタッフと話をするため |
| 5. 友だちと遊ぶため | 6. 家にいづらいため |
| 7. 家にだれもいないため | 8. その他 |

【問17-2】問17で「2. 利用していない」を選んだ方にお聞きします。あなたが居場所を利用しない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. そのような居場所があることを知らなかったから |
| 2. そのような居場所が近所にないため |
| 3. 利用の仕方がわからないから |
| 4. 利用するのが面倒だから |
| 5. 利用したいが、クラブ活動や勉強で忙しいから |
| 6. 利用する必要がない |
| 7. その他 |

【問18】あなたは、これから新しく挑戦してみたいことがありますか。
勉強や遊び、習いごとなど何でもいいので、下のらんに書いてください。

【問19】さいごに、このアンケートの感想や、大人の人に言いたいことなどがありましたら、下のらんに書いてください。

※ここに書いていただいた内容は、だれが書いたかわからないように十分に注意して公表します。みなさんの意見を使用しようとするときに、もしだれが書いたかわかるような内容があれば、その部分は公表しませんので、安心して書いてください。

これで質問は終わります。ご協力、ありがとうございました。

(小学校5年生保護者票)

※整理番号は個人を特定するものではありません。
お子さんと保護者の回答を一緒に入力するためのものです。

宜野湾市子ども未来応援計画
調査(小学5年生保護者票)

整理番号

アンケートご協力をお願い

このアンケートは、宜野湾市に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、子どもの成長や夢や希望、日々の生活などにどのように影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくことを目的として実施するものです。

- 調査は、無記名で、お名前やご住所など、個人を特定する情報を書いていただく必要はありません。回答の内容は、すべて数字の形で統計的に処理しますので、誰が何を書いたかが他人に知られることはありません。
- また、**営利的に使用されることも一切ありません**。個人の回答が学校やその他の団体にもられることも一切ありません。
- あなたご自身やご家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。**答えにくい質問や、答えたくない質問には、答える必要はありませんが、プライバシーが守られる手続きを踏んでおりますので、ぜひありのままをお答えいただきますようお願いいたします。**
- この調査票の質問の「**お子さん**」とは、**この調査票が配布されたお子さんのことを指します**。そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「お子さん」とは調査票が配布されたお子さんのみのことです。

回答のしかた

■インターネットやスマートフォンからQRコードまたはURLを入力して回答してください。

URL: https://src3.webcas.net/form/pub/src4/shou5_h

アンケートのQRコード

Web 回答が難しい場合:

- ①こちらの調査票に直接、回答してください。
 - ②受け取った『小学5年生(保護者)用』封筒に入れ、テープでしっかり閉じてください。
 - ③下記日程までにお子様を選んでクラスの担任の先生に選んでください。
- ※12月15日(金)までに 回答してください。



★調査への回答にあたってご不明な点などございましたら、お問い合わせください。

◎宜野湾市福祉推進部福祉総務課生活支援係

◎調査委託機関:(株)サーベイリサーチセンター沖縄事務所

フリーダイヤル:0800-888-5585

(受付時間 月～金:10時00分～17時00分)

1

お子さんの母親のお仕事について

【問6】お子さんの**母親**の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(あてはまるもの1つに○)

※現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

1. 正社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
4. 自営業(家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む)
5. いない、わからない →問7(次のページ)へ
6. 働いていない(専業主婦を含む) →問6-1へ

【問6-1】問6で「6. 働いていない」を選んだ方にお聞きします。

働いていない最も主な理由を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
2. 子育てを優先したいため
3. 家族の介護・介助のため
4. 自分の病気や障害のため
5. 通学しているため
6. その他の理由

→問7(次のページ)へ

【問6-2】問6で1～4を選んだ方にお聞きします。

※現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

①1週間の平均的な労働日数を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数

1. 1日
2. 2日
3. 3日
4. 4日
5. 5日
6. 6日
7. 7日

②働いている日の平均的な労働時間(残業時間を含む)を教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間

1. 2時間未満
2. 2～4時間未満
3. 4～6時間未満
4. 6～8時間未満
5. 8～10時間未満
6. 10～12時間未満
7. 12時間以上

3

この調査票は、お子さんの保護者の方に記入をお願いします。

※この調査で「お子さん」とは、この調査票が配布されたお子さんのことを言います。

【問1】お子さんの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 女
2. 男
3. その他・答えない

お子さんのご家族のことについて

【問2】お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た結構でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

1. 母親(継母を含む)
2. 父親(継父を含む)
3. 祖父母
4. おじ、おばなどの親戚
5. 施設職員・里親 ※
6. その他

※「5. 施設職員・里親」に該当される方は、以下は回答せずにご帰出ください。

【問3】お子さんと生計が同じご家族の人数(お子さんを含む)を教えてください。

別居であっても、生計が同じご家族(単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど)も含まれます。
※2世帯住宅の場合、生計が別であれば、家族の人数として数えないでください。

(枠内に数字で記入してください)

ご家族の人数(お子さんを含む) 人

【問4】お子さんと生計が同じご家族の方は、どなたですか。それぞれ人数も教えてください。
お子さんから見た結構でお答えください。

(あてはまるものすべてに○、人数はカッコの中に数字で記入してください)

1. 母親
2. 父親
3. 祖母()人
4. 祖父()人
5. 兄()人
6. 姉()人
7. 弟()人
8. 妹()人
9. その他の親戚()人
10. その他()人

【問5】お子さんの親の最終学歴(卒業した学校)をお答えください。

(A、B それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	A. 母親	B. 父親
中学(中学部)まで	1	1
高校(高等部)まで	2	2
専門学校まで	3	3
短大・高专まで	4	4
大学またはそれ以上	5	5
いない、わからない	6	6

2

お子さんの父親のお仕事について

【問7】お子さんの**父親**の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(あてはまるもの1つに○)

※現在、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

1. 正社員・正規職員・会社役員
2. 嘱託・契約社員・派遣職員
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
4. 自営業(家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む)
5. いない、わからない →問8(次のページ)へ
6. 働いていない(専業主夫を含む) →問7-1へ

【問7-1】問7で「6. 働いていない」を選んだ方にお聞きします。

働いていない最も主な理由を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
2. 子育てを優先したいため
3. 家族の介護・介助のため
4. 自分の病気や障害のため
5. 通学しているため
6. その他の理由

→問8(次のページ)へ

【問7-2】問7で1～4を選んだ方にお聞きします。

※現在、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

①1週間の平均的な労働日数を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数

1. 1日
2. 2日
3. 3日
4. 4日
5. 5日
6. 6日
7. 7日

②働いている日の平均的な労働時間(残業時間を含む)を教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間

1. 2時間未満
2. 2～4時間未満
3. 4～6時間未満
4. 6～8時間未満
5. 8～10時間未満
6. 10～12時間未満
7. 12時間以上

4

お子さんのこと、お子さんとの関わりなどについて

【問8】 お子さんは将来、現実的に見くどの段階まで進学することを望みますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 中学校まで	⇒問8-1へ
2. 高校まで	
3. 専門学校まで	
4. 短大・高等まで	
5. 大学またはそれ以上	
6. まだわからない	⇒問9へ

【問8-1】 問8で1～5を選んだ方にお聞きします。

その理由は何ですか。(1～5については、あてはまるものすべてに○)

1. お子さんがそう希望しているから	2. 一般的な進路だと思っから
3. お子さんの学力から考えて	4. 家庭の経済的な状況から考えて
5. その他	6. 特に理由はない

【問9】 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。 A～Gについて、「1. している」「2. していない、したくない(子どもの意思や家庭の方針)」「3. していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。

(A～Gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	している	していない	
		したくない (子どもの意思 や家庭の方針)	経済的に できない
A. 毎月お小遣いを渡す	1	2	3
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3
D. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	1	2	3
E. お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F. 家族旅行に行く	1	2	3
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3

【問12】 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

(あてはまるもの1つに○)

1. 大変ゆとりがある	2. ゆとりがある	3. ふつう
4. 苦しい	5. 大変苦しい	

【問13】 最近の物価高騰で生活は若しくなつたと感じていますか。(○は1つ)

1. おおいに感じる	2. ある程度感じる	3. あまり感じない	4. まったく感じない
------------	------------	------------	-------------

【問14】 あなたの家では、過去1年の間に、お金が必要なくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

(あてはまるもの1つに○)

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

【問15】 あなたの家では、過去1年の間に、お金が必要なくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

(あてはまるもの1つに○)

1. よくあった	2. ときどきあった	3. まれにあった	4. まったくなかった
----------	------------	-----------	-------------

【問16】 あなたの家では、過去1年の間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンなどの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。

(A～Gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あった	なかった	該当しない (該当が不明)
A. 電話料金	1	2	3
B. 電気料金	1	2	3
C. ガス料金	1	2	3
D. 水道料金	1	2	3
E. 家賃	1	2	3
F. 住宅ローン	1	2	3
G. クレジットカードやほかの借金の支払い	1	2	3

【問10】 あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をする、またはこれまでにしたことがありますか。

(A～Gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	ある	ない		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
A. 海水浴に行く	1	2	3	4
B. 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
C. キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
D. スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
E. 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
F. 公園に行く	1	2	3	4
G. 地域のお祭りやイベントに行く	1	2	3	4

現在の暮らしについて

【問11】 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

(A～Cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

(1～7のあてはまるものすべてに○)

	①頼れる人はいますか (○は1つ)	②それは誰ですか						
		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	児童福祉施設職員・児童相談員	福祉・支援施設職員	その他
A. 子育てに 関する相談	1. 頼れる人がいる 2. いない 3. そのことで人に頼らない	1	2	3	4	5	6	7
B. 重要な事柄の 相談	1. 頼れる人がいる 2. いない 3. そのことで人に頼らない	1	2	3	4	5	6	7
C. いざという時 のお金の援助	1. 頼れる人がいる 2. いない 3. そのことで人に頼らない	1	2	3	4	5	6	7

【問17】 次のものうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

1. 子どもの年齢に合った本	2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ
3. 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	4. 洗濯機
5. 炊飯器	6. 掃除機
7. 冷蔵庫	8. 電子レンジ
9. 電話(固定電話・携帯電話を含む)	10. インターネットにつながるパソコン
11. 新聞の定期購読(ネット含む)	12. 世帯人数分のベッドまたは布団
13. 急な出費のための貯金(5万円以上)	14. 自家用車
15. あてはまるものはない	

収入、制度の利用について

【問18】 お子さんとし計(家計)を共にしている方全員の収入を合わせた、昨年の「世帯の年間手取り収入(ボーナス含む手取り額)」を教えてください。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

世帯収入(合算値) ※世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額		
1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700～800万円未満
13. 800～900万円未満	14. 900～1000万円未満	15. 1000万円以上

【問18-1】 問18の世帯の手取り収入のうち、お子さんの母親(または母親にかわる方)のおよその年間収入を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700万円以上
13. 収入はない	14. わからない	15. 母親はいない

【問18-2】問18の世帯の手取り収入のうち、お子さんの父親（または父親にかわる方）のおおよその年間収入を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700万円以上
13. 収入はない	14. わからない	15. 父親はいない

【問19】あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（A～Mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	現在利用している	以前利用したことがある	利用したことがない				
			利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、手続がわからなかったり利用しにくいから	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思っから	今までこの支援制度を知らなかったから	それ以外の理由
A. 児童手当	1	2	3	4	5	6	7
B. 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	7
C. 就学援助	1	2	3	4	5	6	7
D. 生活保護	1	2	3	4	5	6	7
E. 児童相談所（児童福祉司）	1	2	3	4	5	6	7
F. スクールカウンセラー	1	2	3	4	5	6	7
G. スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5	6	7
H. 高等学校等就学支援金	1	2	3	4	5	6	7
I. 奨学のための給付金	1	2	3	4	5	6	7
J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6	7
K. 生活福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6	7
L. 子ども医療費助成金	1	2	3	4	5	6	7
M. 生活困窮者の自立支援相談窓口	1	2	3	4	5	6	7

【問20】あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等どのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること
5. 病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること
6. 就職のための支援が受けられること
7. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
8. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
9. 子どもの就学・進学にかかる費用が軽減されること
10. 一時的に必要な資金を借りられること
11. その他（具体的に： _____）
12. わからない

【問21】最後に、暮らしやお仕事、お子さんについてなど、制度や支援策へのご要望やご意見などがありましたらご自由にお書きください。

※この欄に記入された内容は、個人を特定することのないよう十分に注意して集計し、統計データとして公表します。みなさんの意見を活用する際に、もし個人が特定できるような内容があった場合は、その部分の公表は控えますので、安心してご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力、ありがとうございました。

(中学2年生票)



※この整理番号は個人を特定するものではありません。
あなたとおうちの人の回答と一緒に入力するためのものです。

宜野湾市子ども未来応援計画調査
(中学2年生票) アンケートのおねがい

整理番号

調査の目的

この調査は、宜野湾市の子どもたちの成長や夢や希望、悩みなどを調べ、この調査を目的としています。

あなたへのお願い

- ◎この調査は、あなたが自分で回答してください。
- ◎前は書かないでください。
- ◎**答えたくない質問には、答える必要はありません。**
- ◎**答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選びましょう。**
- ◎自分の思う答えを書いてください。**まちがった答えや、正しい答えはありません。**思うままに書いてください。

正しい回答のしかた

①学校のタブレットでとりにある「QRコード」を読み込んで回答してください。
もしくはURLを入力して回答してください。

アンケートのQRコード

URL : <https://src3.webcas.net/form/pub/sro4/chuu2>



◎12月15日(金)までに 回答してください。

このアンケートの回答は、おうちの人や先生に見られることはありません。

★調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

◎宜野湾市福祉推進部福祉総務課生活支援係
.....
◎調査委託機関：(株) サバイリサーチセンター沖縄事務所
フリーダイヤル：0800-888-5585
(受付時間 月～金：10時00分～17時00分)



ここからスタートだよ
よろしくお願いします

【問1】 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 男 2. 女 3. その他・答えたくない

学校・勉強について

【問2】 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1. 自分で勉強する 2. 塾で勉強する
3. 学校の補習を受ける 4. 家庭教師に教えてもらう
5. 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する 6. 家の人に教えてもらう
7. 友だちと勉強する 8. その他
9. 学校の授業以外で勉強はしない

【問3】 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。

(①、②それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上	1時間以上	2時間より少ない	2時間以上	3時間以上
①学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6		
②学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6		

【問4】 あなたは、クラスの中で勉強ができるほうだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. できるほうだと思う 2. まあまあできるほうだと思う
3. 普通くらいだと思う 4. あまりできないほうだと思う
5. できないほうだと思う 6. どれもあてはまらない

【問5】 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1. いつもわかる } ⇒問6へ
2. だいたいわかる }
3. 教科によってはわからないことがある }
4. わからないことが多い } ⇒問5-1へ
5. ほとんどわからない }

【問5-1】 問5で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」を選んだ方にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

1. 小学1・2年生のころ 2. 小学3・4年生のころ
3. 小学5・6年生のころ 4. 中学1年生のころ
5. 中学2年生になってから

【問6】 あなたは、将来、どの学校まで行きたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1. 中学校まで } ⇒問6-1
2. 高校まで }
3. 専門学校まで }
4. 短大・高専まで }
5. 大学またはそれ以上 }
6. まだわからない } ⇒問7(次のページ)へ

【問6-1】 問6で1～5を選んだ方にお聞きします。その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

1. 希望する学校や職業があるから 2. 自分の成績から考えて
3. 親がそう言っているから 4. 兄・姉がそうしているから
5. まわりの先輩や友だちがそうしているから 6. 家にお金がないと思うから
7. 早く働く必要があるから 8. その他
9. とくに理由はない

ふだんのくらしについて

【問7】 あなたは、あなたの住んでいる地域で次のような活動に参加したことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 近所のおまつり
2. 子ども会や公民館などが開いた運動会やエイサー、敬教会、ハロウィン、クリスマス会などの行事
3. 公園や道路などのそうじ
4. 地域の避難訓練
5. どれにも参加したり、行ったりしていない

【問8】 あなたは、平日の放課後(学校のある日の夕方6時くらいまで)、どこで過ごしますか。A～セのそれぞれについて、1週間のうち、そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。

(○はそれぞれ1つ)

	1. 毎日	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. その他全く過ごさない
A. 自分の家	1	2	3	4
イ. 祖父母の家	1	2	3	4
ウ. 友だちの家	1	2	3	4
エ. 塾や習い事	1	2	3	4
オ. 放課後児童クラブ(学童)	1	2	3	4
カ. 児童館・児童センター	1	2	3	4
キ. 学校(放課後子ども教室など)	1	2	3	4
ク. 子ども食堂などの地域の居場所	1	2	3	4
ケ. 公民館	1	2	3	4
コ. 地域のスポーツクラブなどの活動の場(野球場、サッカー場など)	1	2	3	4
サ. 公園	1	2	3	4
シ. 図書館	1	2	3	4
ス. ゲームセンター	1	2	3	4
セ. その他(具体的に:)	1	2	3	4

【問9】あなたは、週にどのくらい、食事をしてますか。

(①～③それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5～6日	週3～4日	週1～2日、 ほとんど 食べない
①朝食	1	2	3	4
②夕食	1	2	3	4
③夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

【問10】あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. そうである | 2. どちらかといえばそうである |
| 3. どちらかといえばそうではない | 4. そうではない |

【問11】次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。

(①、②それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
①自分には、よいところがあると思う	1	2	3	4
②将来の夢や目標を持っている	1	2	3	4

【問12】あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～12については、あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|---------------------------------------|------------------|--------------------|
| 1. 親 | 2. きょうだい | 3. その他の家族(祖父・祖母など) |
| 4. 友だち | 5. 学校の先生 | 6. 学童クラブの支援員 |
| 7. 公民館の大人や子どもの居場所の大人 | 8. 児童館・児童センターの大人 | |
| 9. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど | | |
| 10. ネットで知り合った人 | | |
| 11. その他の大人(塾や習い事の先生や地域のスポーツクラブのコーチなど) | | |
| 12. その他(具体的に:) | | |
| 13. 相談できる人はだれもない | | |

5

【問13】あなたは、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合は「1 ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2 ほしい」、いらぬと思うものであれば「3 ほしくない」に○をつけてください。

(①～⑭それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	ある	ない	
		ほしい	ほしくない
①自分だけの本(学校の教科書やマンガはのぞく)	1	2	3
②子ども部屋(きょうだいと使っている場合もふくみます)	1	2	3
③(自宅で)インターネットにつながるパソコン	1	2	3
④自宅で宿題をすることができる場所	1	2	3
⑤自分専用の勉強机	1	2	3
⑥スポーツ用品(野球のグローブや、サッカーボールなど)	1	2	3
⑦ゲーム機	1	2	3
⑧たいいていの友だちが持っているおもちゃ	1	2	3
⑨自転車	1	2	3
⑩おやつや、ちょっとしたおもちゃを買いおこづかい	1	2	3
⑪友だちが着ているのと同じような服	1	2	3
⑫2 足以上のサイズのあった靴	1	2	3
⑬けいたい電話、スマートフォン	1	2	3
⑭けいたい音楽プレーヤーなど	1	2	3

【問14】全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で答えてください。

(あてはまるもの1つに○)

0: まったく満足していない	10: 十分に満足している									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

6

【問15】あなたの思いや気持ちを聞かせてください。次の①～④について教えてください。

(①～④それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	とてもそう思う	そう思う	どちらかといえばそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
①がんばれば、むくわれる	1	2	3	4	
②自分は家族に大事にされている	1	2	3	4	
③不安を感じることはない	1	2	3	4	
④孤独を感じることはない	1	2	3	4	

【問16】あなたは、これまでに①～⑥のようなことがありましたか。それぞれについて教えてください。

(①～⑥それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	よくあった	時々あった	あまりなかった	なかった	答えたくない・わからない
①学校に行きたくないと思った	1	2	3	4	5
②1 か月以上学校に行けなかった(病気の時をのぞく)	1	2	3	4	5
③いじめられた	1	2	3	4	5
④夜遅くまで子どもだけで過ごした	1	2	3	4	5
⑤学校に遅刻した	1	2	3	4	5
⑥家事や家族の世話を勉強する時間がとれなかった	1	2	3	4	5

7

その他

【問17】あなたは、子どもの居場所(無料で食事や食べられ、勉強を教えてもらうところ)を利用していますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------|---------|
| 1. 利用している | ⇒問17-1へ |
| 2. 利用していない | ⇒問17-2へ |

【問17-1】問17で「1. 利用している」を選んだ方にお聞きします。あなたが居場所を利用する理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 勉強するため | 2. いると安心できるため |
| 3. ごはんを食べるため | 4. スタッフと話をするため |
| 5. 友だちと遊ぶため | 6. 家にいづらいため |
| 7. 家にだれもいないため | 8. その他 |

【問17-2】問17で「2. 利用していない」を選んだ方にお聞きします。あなたが居場所を利用しない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|---------------------------|
| 1. そのような居場所があることを知らなかったから |
| 2. そのような居場所が近所にないため |
| 3. 利用の仕方がわからないから |
| 4. 利用するのが面倒だから |
| 5. 利用したいが、クラブ活動や勉強で忙しいから |
| 6. 利用する必要がない |
| 7. その他 |

8

【問18】あなたは、これから新しく挑戦してみたいことがありますか。
勉強や遊び、奮いごとなど何でもいいので、下の欄に書いてください。

【問19】さいごに、このアンケートの感想や、大人の人に言いたいことなどがありましたら、下のらんに書いてください。

※ここに書いていただいた内容は、だれが書いたかわからないように十分に注意して公表します。みなさんの意見を使用しようとするときに、もしだれが書いたかわかるような内容があれば、その部分は公表しませんので、安心して書いてください。

これで質問は終わりです。ご協力、ありがとうございました。

（中学2年生保護者票）

※整理番号は個人を特定するものではありません。
お子さんと保護者の回答を一緒に入力するためのものです。

宜野湾市子ども未来応援計画調査 （中学2年生保護者票） アンケートご協力のお願い

整理番号

このアンケートは、宜野湾市に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、子どもの成長や夢や希望、日々の生活などにどのように影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくことを目的として実施するものです。

- 調査は、無記名で、お名前やご住所など、個人を特定する情報を書き添えていただく必要はありません。回答の内容は、すべて数字の形で統計的に処理しますので、誰が何を書いたかが他人に知られることはありません。
- また、**営利目的に使用されることも一切ありません。** 個人の回答が学校やその他の団体にみられることも一切ありません。
- あなたご自身やご家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。**答えにくい質問や、答えたくない質問には、答える必要はありませんが、プライバシーが守られる手続きを踏んで頂きますので、ぜひありのままをお答えいただけますようお願いいたします。**
- この調査票の質問の「**お子さん**」とは、**この調査票が配布されたお子さん**のことを指します。そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「**お子さん**」とは調査票が配布されたお子さんのみのことです。

回答のしかた

■インターネットやスマートフォンからQRコードまたはURLを入力して回答してください。

URL : https://src3.webcas.net/form/pub/src4/chuu2_h

アンケートのQRコード

Web 回答が難しい場合：

- ①こちらの調査票に直接、回答してください。
 - ②受け取った『中学2年生（保護者）用』封筒に入れ、テープでしっかり閉じてください。
 - ③下記日程までにお子様に戻してクラスの担任の先生に渡してください。
- ※12月15日（金）までに 回答してください。



★調査への回答にあたってご不明な点などございましたら、お問い合わせください。

◎宜野湾市福祉推進部福祉総務課生活支援係

◎調査委託機関：（株）サーベイリサーチセンター沖縄事務所

フリーダイヤル：0800-888-5585

（受付時間 月～金：10時00分～17時00分）

1

この調査票は、お子さんの保護者の方に記入をお願いします。

※この調査で「お子さん」とは、この調査票が配布されたお子さんのことを言います。

【問1】お子さんの性別を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1. 女 2. 男 3. その他・答えたくない

お子さんのご家族のことについて

【問2】お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから見た親類でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

1. 母親（おばあちゃんを含む） 2. 父親（おじいちゃんを含む） 3. 祖父母
4. おじ、おばなどの親戚 5. 施設職員・里親 ※ 6. その他

※「5. 施設職員・里親」に該当される方は、以下は回答せずにご提出ください。

【問3】お子さんと生計が同じご家族の人数（お子さんを含む）を教えてください。

別居であっても、生計が同じご家族（単身赴任やひとり暮らしのお子さんなど）も含まれます。
※2世帯住宅の場合、生計が別であれば、家族の人数として数えないでください。

（枠内に数字で記入してください）

ご家族の人数（お子さんを含む）

【問4】お子さんと生計が同じご家族の方は、どなたですか。それぞれ人数も教えてください。
お子さんから見た親類でお答えください。

（あてはまるものすべてに○、人数はカッコの中に数字で記入してください）

1. 母親 2. 父親 3. 祖母()人 4. 祖父()人
5. 兄()人 6. 姉()人 7. 弟()人 8. 妹()人
9. その他の親戚()人 10. その他()人

【問5】お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。

（A、B それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	A. 母親	B. 父親
中学（中学部）まで	1	1
高校（高等部）まで	2	2
専門学校まで	3	3
短大・高専まで	4	4
大学またはそれ以上	5	5
いない、わからない	6	6

2

お子さんの母親のお仕事について

【問6】お子さんの母親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

（あてはまるもの1つに○）

※現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

1. 正社員・正規職員・会社役員 } ⇒問6-2へ
2. 嘱託・契約社員・派遣職員 }
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 }
4. 自営業（家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む） }
5. いない、わからない } ⇒問7（次のページ）へ
6. 働いていない（専業主婦を含む） } ⇒問6-1へ

【問6-1】問6で「6. 働いていない」を選んだ方にお聞きします。

働いていない最も主な理由を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため
3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため
5. 通学しているため 6. その他の理由

⇒問7（次のページ）へ

【問6-2】問6で1～4を選んだ方にお聞きします。

※現在、産前・産後休業、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

①1週間の平均的な労働日数を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数

1. 1日 2. 2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日 6. 6日 7. 7日

②働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を教えてください。

（あてはまるもの1つに○）

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間

1. 2時間未満 2. 2～4時間未満 3. 4～6時間未満
4. 6～8時間未満 5. 8～10時間未満 6. 10～12時間未満
7. 12時間以上

3

お子さんの父親のお仕事について

【問7】お子さんの父親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

（あてはまるもの1つに○）

※現在、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

1. 正社員・正規職員・会社役員 } ⇒問7-2へ
2. 嘱託・契約社員・派遣職員 }
3. パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員 }
4. 自営業（家族従業員、内職、自由業、フリーランスを含む） }
5. いない、わからない } ⇒問8（次のページ）へ
6. 働いていない（専業主夫を含む） } ⇒問7-1へ

【問7-1】問7で「6. 働いていない」を選んだ方にお聞きします。

働いていない最も主な理由を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1. 働きたいが、希望する条件の仕事がないため 2. 子育てを優先したいため
3. 家族の介護・介助のため 4. 自分の病気や障害のため
5. 通学しているため 6. その他の理由

⇒問8（次のページ）へ

【問7-2】問7で1～4を選んだ方にお聞きします。

※現在、育児・介護休業を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

①1週間の平均的な労働日数を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数

1. 1日 2. 2日 3. 3日 4. 4日 5. 5日 6. 6日 7. 7日

②働いている日の平均的な労働時間（残業時間を含む）を教えてください。

（あてはまるもの1つに○）

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間

1. 2時間未満 2. 2～4時間未満 3. 4～6時間未満
4. 6～8時間未満 5. 8～10時間未満 6. 10～12時間未満
7. 12時間以上

4

お子さんのこと、お子さんとの関わりなどについて

【問8】お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|----------|
| 1. 中学校まで | } ⇒問8-1へ |
| 2. 高校まで | |
| 3. 専門学校まで | |
| 4. 短大・高専まで | |
| 5. 大学またはそれ以上 | |
| 6. まだわからない | ⇒問9へ |

【問8-1】問8で1～5を選んだ方にお聞きします。

その理由は何ですか。(1～5については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. お子さんがそう希望しているから | 2. 一般的な進路だと思うから |
| 3. お子さんの学力から考えて | 4. 家庭の経済的な状況から考えて |
| 5. その他 | 6. 特に理由はない |

【問9】あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Gについて、「1. している」「2. していない、したくない(こどもの意思や家庭の方針)」「3. していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。
(A～Gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	している	していない	
		したくない (こどもの意思 や家庭の方針)	経済的に できない
A. 毎月お小遣いを渡す	1	2	3
B. 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C. 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3
D. 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)	1	2	3
E. お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F. 家族旅行に行く	1	2	3
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3

5

【問10】あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をする、またはこれまでにしたこと
がありますか。

(A～Gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	ある	ない		
		金銭的な 理由で	時間の 制約で	その他の 理由で
A. 海水浴に行く	1	2	3	4
B. 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
C. キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
D. スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
E. 遊園地やアーマパークに行く	1	2	3	4
F. 公園に行く	1	2	3	4
G. 地域のお祭りやイベントに行く	1	2	3	4

現在の暮らしについて

【問11】あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。

(A～Cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「1. 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

(1～7のあてはまるものすべてに○)

	①頼れる人はいますか (○は1つ)	②それは誰ですか						
		家族・ 親族	友人・ 知人	近所の人	職場の人	児童委員・ 民生委員	福祉の 関係者	その他
A. 子育てに 関する相談	1. 頼れる人がいる	1	2	3	4	5	6	7
	2. いない							
	3. そのことでは人に頼らない							
B. 重要な事柄の 相談	1. 頼れる人がいる	1	2	3	4	5	6	7
	2. いない							
	3. そのことでは人に頼らない							
C. いざという時 のお金の援助	1. 頼れる人がいる	1	2	3	4	5	6	7
	2. いない							
	3. そのことでは人に頼らない							

6

【問12】あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | |
|-------------|-----------|--------|
| 1. 大変ゆとりがある | 2. ゆとりがある | 3. ふつう |
| 4. 苦しい | 5. 大変苦しい | |

【問13】最近の物価高騰で生活は苦しくなっていると感じていますか。(○は1つ)

- | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|
| 1. おおいに感じる | 2. ある程度感じる | 3. あまり感じない | 4. まったく感じない |
|------------|------------|------------|-------------|

【問14】あなたのご世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

【問15】あなたのご世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

(あてはまるもの1つに○)

- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

【問16】あなたのご世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で月々の料金の支払い、家賃・住宅ローンなどの滞納、債務の返済ができないことがありましたか。

(A～Gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あった	なかった	該当しない (該当がない)
A. 電話料金	1	2	3
B. 電気料金	1	2	3
C. ガス料金	1	2	3
D. 水道料金	1	2	3
E. 家賃	1	2	3
F. 住宅ローン	1	2	3
G. クレジットカードやほかの借金の支払い	1	2	3

7

【問17】次のもののうち、経済的理由のためにあなたのご世帯にないものはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 子どもの年齢に合った本 | 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ |
| 3. 子どもが自宅で電器をすることができる場所 | 4. 洗濯機 |
| 5. 炊飯器 | 6. 掃除機 |
| 7. 冷房機器 | 8. 電子レンジ |
| 9. 電話(固定電話・携帯電話を含む) | 10. インターネットにつながるパソコン |
| 11. 新聞の定期購読(ネット含む) | 12. 世帯人数分のベッドまたは布団 |
| 13. 急な出費のための貯金(5万円以上) | 14. 自家用車 |
| 15. あてはまるものはない | |

収入、制度の利用について

【問18】お子さんと生計(家計)を共にしている方全員の収入を合わせた、昨年の「世帯の年間手取り収入(ボーナス含む手取り額)」を教えてください。世帯の収入から、税金や

社会保険料の額を差し引いた後の額でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

世帯収入(合算値) ※世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額		
1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700～800万円未満
13. 800～900万円未満	14. 900～1000万円未満	15. 1000万円以上

【問18-1】問18の世帯の手取り収入のうち、お子さんの母親(または母親にかわる方)のおよその年間収入を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700万円以上
13. 収入はない	14. わからない	15. 母親はいない

8

【問18-2】問18の世帯の手取り収入のうち、お子さんの父親（または父親にかわる方）のおよその年間収入を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700万円以上
13. 収入はない	14. わからない	15. 父親はいない

【問19】あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。（A～Mそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	現在利用している	以前利用したことがある	現在利用していないが、				
			利用したことがない	利用したいが、手続がわからなかったり利用しにくいから	利用したいが、条件を満たさない（たとえば収入等）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）など、知らなかったから	それ以外の理由
A. 児童手当	1	2	3	4	5	6	7
B. 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	7
C. 就学援助	1	2	3	4	5	6	7
D. 生活保護	1	2	3	4	5	6	7
E. 児童相談所（児童福祉司）	1	2	3	4	5	6	7
F. スクールカウンセラー	1	2	3	4	5	6	7
G. スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5	6	7
H. 高等学校就学支援金	1	2	3	4	5	6	7
I. 奨学のための給付金	1	2	3	4	5	6	7
J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6	7
K. 生活福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6	7
L. こども医療費助成金	1	2	3	4	5	6	7
M. 生活困窮者の自立支援相談窓口	1	2	3	4	5	6	7

【問20】あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること
2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること
3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること
4. 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること
5. 病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること
6. 就職のための支援が受けられること
7. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること
8. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること
9. 子どもの就学・進学にかかる費用が軽減されること
10. 一時的に必要な資金を借りられること
11. その他（具体的に： _____)
12. わからない

【問21】最後に、暮らしやお仕事、お子さんについてなど、制度や支援策へのご要望やご意見などがありましたらご自由にお書きください。

※この欄に記入された内容は、個人を特定することのないよう十分に注意して集計し、統計データとして公表します。みなさんの意見を活用する際に、もし個人が特定できるような内容があった場合は、その部分の公表は控えますので、安心してご記入ください。

以上で質問は終わりです。ご協力、ありがとうございました。

(17 歳票)

※この番号は個人を特定するものではありません。
あなたと空欄の空の回答を一緒に入力するためのものです。

宜野湾市子ども未来応援計画調査
(17 歳票) アンケートのおねがい

整理番号

調査の目的

このアンケートは、宜野湾市内の子どもを取り巻く社会や経済の状況が、どのようにその成長や夢、希望、日々の生活などに影響しているかを調べ、これからの対策を検討していくことを目的として実施するものです。

あなたへのおねがい

- ◎この調査は、平成 18 年 4 月 2 日～平成 19 年 4 月 1 日までに生まれたあなたが自分で書いてください。
- ◎名前は書かないでください。
- ◎答えたくない質問には、答える必要はありません。
- ◎答えに迷う場合には、あなたの気持ちや考えにできるだけ近いものを選びようにしてください。
- ◎自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。思うままに書いてください。

回答のしかた

■インターネットやスマートフォンから QR コードまたは URL を入力して回答してください。

URL : <https://src3.webcas.net/form/pub/src4/age17>

Web 回答が難しい場合：

アンケートの QR コード⇒



- ①こちらの調査票に直接、回答してください。
 - ②同封の『17 歳 (ご本人) 用』封筒に入れ、テープでしっかり閉じてください。
 - ③保護者様と一緒に提出用封筒 (大きい返信封筒) に入れてポストへ投函してください。
- ※12月20日(水)までに 回答してください。

このアンケートの回答は、家族の人に見られることはありません。

*調査への回答にあたってわからないことがありましたら、お問い合わせください。

◎宜野湾市福祉推進部福祉総務課生活支援係

◎調査委託機関：(株) サーベイリサーチセンター沖縄事務所

フリーダイヤル：0800-888-5585

(受付時間 月～金：10 時 00 分～17 時 00 分)

1

【問 5】あなたは、クラスの中で勉強ができるほうだと思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. できるほうだと思う | 2. まあまあできるほうだと思う |
| 3. 普通くらいだと思う | 4. あまりできないほうだと思う |
| 5. できないほうだと思う | 6. どれにもあてはまらない |

【問 6】あなたは現在、部活動に参加していますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|------------|----------|
| 1. 参加している | ⇒問 7 へ |
| 2. 参加していない | ⇒問 6-1 へ |

【問 6-1】問 6 で「2. 参加していない」を選んだ方にお聞きします。
その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 参加したい部活動がないから | 2. 部費や部活動に費用がかかるから |
| 3. 勉強が忙しいから | 4. アルバイトをしているから |
| 5. 塾・習い事が忙しいから | 6. 家の事情 (家族の世務・家事など) があるから |
| 7. どれにもあてはまらない | |

就労 (仕事やアルバイト) について

【問 7】あなたは、今までに就労 (仕事やアルバイト) をしたことがありますか。(○は 1 つ)

- | | |
|----------------|------------|
| 1. 現在している | } ⇒問 7-1 へ |
| 2. 過去にしたことがある | |
| 3. まったくしたことがない | |

【問 7-1】※問 7 で「1. 現在している」「2. 過去にしたことがある」と答えられた方にお聞きします。

(1) 仕事やアルバイトをするのはどのような時ですか。(○は 1 つ)

- | |
|------------------------|
| 1. 年間を通していつでも |
| 2. 長期休暇期間など、時間に余裕があるとき |
| 3. 単発の仕事で、タイミングがあったとき |

(2) 就労 (仕事やアルバイト) した際の雇用形態をおしえてください。(○は 1 つ)

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| 1. 正社員・正規職員 | 2. 派遣社員・契約社員 | 3. パート |
| 4. アルバイト | 5. その他 | |

(3) 学生の方に質問です。一週間にどれくらいの日数働いていますか。(○は 1 つ)

※学生でない方は 問 7-1 (6) へお進みください。

- | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| 1. 2 日以下 | 2. 3 日 | 3. 4 日 | 4. 5 日 | 5. 6 日以上 |
|----------|--------|--------|--------|----------|

3

【問 1】あなたの性別を教えてください。(○は 1 つ)

- | | | |
|------|------|-----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 答えたくない |
|------|------|-----------|

【問 2】中学校を卒業後、現在の状況を教えてください。(○は 1 つ)

- | | | |
|----------|-----------|---------------|
| 1. 全日制高校 | 2. 定時制高校 | } ⇒1~4 は問 3 へ |
| 3. 通信制高校 | 4. 専門学校等 | |
| 5. 働いている | 6. 働いていない | } ⇒5・6 は問 7 へ |

学校・勉強について

【問 3】あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. いつもわかる | } ⇒問 4 へ |
| 2. だいたいわかる | |
| 3. 教科によってはわからないことがある | } ⇒問 3-1 へ |
| 4. わからないことが多い | |
| 5. ほとんどわからない | |

【問 3-1】問 3 で「3. 教科によってはわからないことがある」「4. わからないことが多い」「5. ほとんどわからない」を選んだ方にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(○は 1 つ)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 小学 1・2 年生のころ | 2. 小学 3・4 年生のころ |
| 3. 小学 5・6 年生のころ | 4. 中学 1 年生のころ |
| 5. 中学 2 年生のころ | 6. 中学 3 年生のころ |
| 7. 高校・専門学校 1 年生のころ | 8. 高校・専門学校 2 年生になってから |

【問 4】あなたは、ふだん学校の授業以外に、1 日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などの勉強時間もふくみます。

(①、②それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	まったくくしない	30 分より少ない	1 時間より少ない	1 時間以上、2 時間より少ない	2 時間以上、3 時間より少ない	3 時間以上
①学校がある日 (月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
②学校がない日 (土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

2

(4) 平日一日の平均的な就労時間は何時間ですか。(○は 1 つ)

- | | |
|------------|-----------|
| 1. 3 時間以下 | 2. 4 時間 |
| 4. 6 時間 | 5. 7 時間以上 |
| 6. 平日は働かない | |

(5) 土日祝日など休日の一日の平均的な就労時間は何時間ですか。(○は 1 つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 3 時間以下 | 2. 4 時間 | 3. 5 時間 |
| 4. 6 時間 | 5. 7 時間以上 | 6. 休日働かない |

⇒問 7-1 (9) へ

(6) 学校へ通わず、すでにお仕事されている方 (または、過去に仕事をされたことがある方) に質問です。一週間にどれくらいの日数働いていますか。(○は 1 つ)

- | | | | | |
|----------|--------|--------|--------|----------|
| 1. 2 日以下 | 2. 3 日 | 3. 4 日 | 4. 5 日 | 5. 6 日以上 |
|----------|--------|--------|--------|----------|

(7) 平日一日の平均的な就労時間は何時間ですか。(○は 1 つ)

- | | | |
|-----------|-----------|------------|
| 1. 3 時間以下 | 2. 4 時間 | 3. 5 時間 |
| 4. 6 時間 | 5. 7 時間以上 | 6. 平日は働かない |

(8) 土日祝日など休日の一日の平均的な就労時間は何時間ですか。(○は 1 つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 3 時間以下 | 2. 4 時間 | 3. 5 時間 |
| 4. 6 時間 | 5. 7 時間以上 | 6. 休日働かない |

(9) 一か月でどのくらいの収入がありますか。平均的な額を教えてください。(○は 1 つ)

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| 1. 2 万円未満 | 2. 2 万円～4 万円未満 | 3. 4 万円～6 万円未満 |
| 4. 6 万円～8 万円未満 | 5. 8 万円～10 万円未満 | 6. 10 万円以上 |

(10) 就労でかせいだお金は何に使っていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 家計の足し | 2. 通学のための交通費 |
| 3. 修学旅行などの学校行事費 | 4. 学校の昼食代 |
| 5. 部活動の費用 | 6. 学用品 (文具など) |
| 7. 友だちと遊ぶ費用 | 8. 塾の費用 |
| 9. 携帯代 | 10. その他 |

4

自分について

【問 14】 あなた自身が持っている（できる）以下のものがありますか。それぞれ、あなたの状況にもっとも近いものに○をつけてください。（それぞれ、1つに○）

	持っている (Have)	持たないが持っている (Don't have but own)	持たない (Don't have)
A. (毎年) 新しい(お古でない) 洋服・靴	1	2	3
B. 自分の部屋	1	2	3
C. (自宅で) インターネットにつながる環境	1	2	3
D. 家の中で勉強ができる場所	1	2	3
E. 自分がアクセスできる音楽や映画サービス (Hulu, AmazonPrime, Netflix など)	1	2	3
F. 友人と遊びに出かけるお金	1	2	3
G. 自分が使えるパソコンまたはタブレット	1	2	3
H. スポーツや趣味の道具やウェアなどの必要経費 (部活含む)	1	2	3
I. 定期的なヘアカット	1	2	3
J. 月 5,000 円ほどの、自分で自由に使えるお金 (お小遣い)	1	2	3
K. 友人が着ているような洋服	1	2	3
L. 2足以上のサイズの合った靴	1	2	3
M. スマートフォン	1	2	3
N. 学習塾 (または家庭教師、オンライン含む)	1	2	3
O. 1年に1回の家族旅行 (1泊以上)	1	2	3
P. めがね又はコンタクトレンズ (矯正用)	1	2	3

【問 15】 あなたは、毎日の生活が楽しいですか。（あてはまる番号1つに○）

0 : 楽しくない	←	→	10 : とても楽しい							
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

【問 18】 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人は誰ですか。（1～12については、あてはまるものすべてに○）

- | | | |
|--|------------------|---------------------|
| 1. 親 | 2. 兄弟 | 3. その他の家族 (祖父・祖母など) |
| 4. 友だち | 5. 学校の先生 | 6. 学童クラブの支援員 |
| 7. 公民館の大人や子どもの居場所の大人 | 8. 児童館・児童センターの大人 | |
| 9. スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど | | |
| 10. ネットで知り合った人 | | |
| 11. その他の大人 (塾や習い事の先生や地域のスポーツクラブのコーチなど) | | |
| 12. その他 (具体的に: _____) | | |
| 13. 相談できる人はだれもいない | | |

【問 19】 最後に、このアンケートの感想や、ふだん感じていることについて自由にお書きください。

※この欄に記入された内容は、個人を特定することのないよう十分に注意して集計し、統計データとして公表をします。みなさんの意見を活用する際に、もし個人が特定できるような内容があった場合、その部分の公表はしませんので、安心して記入ください。

これで質問は終わりです。ご協力いただき、ありがとうございました。

【問 16】 あなたは自分自身をどう思っていますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

	そうだ	まあそうだ	あまりそうではない	そうではない
A. 私は価値のある人間だと思う	1	2	3	4
B. 私は人とうまく協力できるほうだと思う	1	2	3	4
C. 私はいまの自分に満足している	1	2	3	4
D. 私は努力すれば大体のことができると思う	1	2	3	4
E. 私は辛いことがあっても乗り越えられると思う	1	2	3	4
F. 私は怒った時や興奮している時でも自分をコントロールできるほうだ	1	2	3	4
G. 私には、あまり得意なことがないと思う	1	2	3	4
H. 私は、何をやってもうまくいかないことが多い	1	2	3	4
I. 私には心を打ち明けられる友だちがいる	1	2	3	4
J. 体力に自信がある	1	2	3	4

【問 17】 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。（あてはまる番号すべてに○）

- 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなられたことが一度でもある
- 家族のどれも愛されていない、大切にされていない、支えでもらえていないと感じることがある
- 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人は誰もいないと感じることがある
- 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある。または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる
- 1～8にあてはまるものはない

(17歳保護者票)



宜野湾市子ども未来応援計画調査
(17歳保護者票)
アンケートご協力のお願い

※この番号は個人を特定するものではありません。
お子さんと保護者の回答を一緒に入力を行うためのものです。

整理番号

このアンケートは、宜野湾市に住む子どもを取り巻く社会や経済の状況が、子どもの成長や、夢や希望、日々の生活などどのように影響しているかを調べ、これからの子どもや子育て環境への対策を検討していくことを目的として実施するものです。

- 調査は、無記名で、お名前やご住所など、個人を特定する情報を書いていただく必要はありません。回答の内容は、すべて数字の形で統計的に処理しますので、誰が何を書いたかが他人に知られることはありません。
- また、**営利目的に使用されることも一切ありません。** 個人の回答が学校やその他の団体にみられることも一切ありません。
- あなたご自身やご家族のことなどについて立ち入ったこともお聞きします。**答えにくい質問や、答えたくない質問は、答える必要はありませんが、プライバシーが守られる手続きを踏んでおきますので、ぜひありのままをお答えいただきますようお願いいたします。**
- この調査票の質問の「お子さん」とは、この調査票が配布されたお子さんのことを指します。そのお子さんに兄弟姉妹がいたとしても、「お子さん」とは調査票が配布されたお子さんののみことです。
- 宜野湾市では、小学5年生、中学2年生の保護者の方に、同様の調査票を配布しています。対象となるお子さんが複数いらっしゃるご家庭には、複数の調査票が配布されますが、できるだけすべての調査票に回答していただけますようお願い申し上げます。

回答のしかた

■インターネットやスマートフォンからQRコードまたはURLを入力して回答してください。

URL : https://src3.webcas.net/form/pub/sro4/age17_h

Web 回答が難しい場合:

アンケートのQRコード



- ①こちらの調査票に直接、回答してください。
 - ②同封の【17歳(保護者)用】封筒に入れ、テープでしっかり閉じてください。
 - ③お子さん用と一緒に提出用封筒(大きい返信封筒)に入れてポストへ投函してください。
- ※12月20日(水)までに 回答してください。

★調査への回答にあたってご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

◎宜野湾市福祉推進部福祉総務課生活支援係

◎調査委託機関:(株)サーベイリサーチセンター沖縄事務所

フリーダイヤル:0800-888-5585

(受付時間 月～金:10時00分～17時00分)

1

《この調査票は、お子さんの保護者の方に記入をお願いします》

お子さんのご家族のことについて

【問1】この調査票にお答えになっている方は、お子さんからみてどなたにあたりますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は1つ)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他(具体的に)

【問2】ご家族の人数を教えてください。(あなたと、このアンケートを持ち帰ったお子さんを含みます)。別居であっても生計が同じご家族(単身赴任や一人暮らしのお子さんなど)も含みます。 ※以下「家族」はすべて「同居・別居にかかわらず生計が同じ家族」を指します。

ご家族の人数(お子さんを含む) 人

【問3】お子さんと生計が同じご家族の方は、どなたですか。それぞれ人数も教えてください。お子さんから見た結構でお答えください。

(あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で記入してください)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母()人 4. 祖父()人
5. 兄()人 6. 姉()人 7. 弟()人 8. 妹()人
9. その他の親戚()人 10. その他()人

【問4】お子さんの母親と父親の年齢を教えてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

母親	1. 29歳以下	2. 30～34歳	3. 35～39歳	4. 40～44歳	5. 45～49歳
	6. 50～54歳	7. 55～59歳	8. 60～64歳	9. 65歳以上	10. 母親はいない
父親	1. 29歳以下	2. 30～34歳	3. 35～39歳	4. 40～44歳	5. 45～49歳
	6. 50～54歳	7. 55～59歳	8. 60～64歳	9. 65歳以上	10. 父親はいない

【問5】お子さんと同居している家族の中に、高齢・障害または病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。(あてはまる番号1つに○)

1. いる 2. いない

2

お子さんの進路について

お子さんが高校や専門学校へ通っている方に質問です。
(※お子さんが学校に通っていない方は、問9へお進みください。)

【問6】お子さんの現在の学校卒業後の進路として、もっとも望ましいと思うもの1つに○をつけてください。

1. 就職 2. 家の手伝い・家業を継ぐ 3. アルバイトのみ
4. 短大・専門学校への進学 5. 大学への進学 6. 就職しながら進学
7. まだ考えていない 8. その他

【問7】お子さんの学校卒業後の進路を決める際、次の項目をどの程度考えますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	とても考える	やや考える	あまり考えない	まったく考えない
A. 学校の成績・入学試験	1	2	3	4
B. 家庭の経済的な状況	1	2	3	4
C. そのほかの家庭の事情	1	2	3	4
D. 地域に適当な進学先があるか	1	2	3	4
E. 本人の志望先がはっきりしているか	1	2	3	4

【問8】現在よりも経済的にゆとりがあるとしたら、お子さんの進路などについて何をさせてあげたいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 特に現在の希望を変更することはない
2. 就職よりも進学
3. 短大・専門学校よりも4年制大学への進学
4. 自宅よりも自宅外通学
5. 授業料の高い学科への進学

3

お子さんに行っていること

【問9】過去1年の間に、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	ある	ない		
		金銭的な理由で	時間の制約で	その他の理由で
A. 海水浴に行く	1	2	3	4
B. 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
C. キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
D. スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
E. 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
F. 公園に行く	1	2	3	4
G. 地域のお祭りやイベントに行く	1	2	3	4

【問10】あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Jについて、「1. している」「2. していない、したくない(こどもの意思や家庭の方針)」「3. していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

	している	していない	
		したくない(こどもの意思や家庭の方針)	経済的にできなかった
A. 毎月おこづかいを渡す	1	2	3
B. 毎年新しい(お古でない)洋服・靴を買う	1	2	3
C. 習い事(音楽・スポーツ・習字等)に通わせる	1	2	3
D. 学習塾に通わせる (または家庭教師に来てもらう、オンライン含む)	1	2	3
E. お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F. 家族旅行に行く	1	2	3
G. クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
H. 修学旅行などお金がかかる学校の活動	1	2	3
I. パソコンやタブレットを与える	1	2	3
J. スマートフォンを与える	1	2	3

4

母親のお仕事について

【問 11】お子さんの母親(または母親にかわる方)の現在のお仕事の状況を教えてください。

(あてはまる番号 1 つに○)

※現在、産前産後休暇・育児休暇を取得している方は、就労時の状況をお答えください。
※母子世帯など、お子さんの母親がいらっしゃらない場合は問 13へお進みください。

1. 働いていない	⇒問 12へ
2. 正規の職員・従業員	} ⇒問 11-1へ
3. 派遣職員・契約社員・嘱託・日雇い・非常勤職員	
4. パート・アルバイト	
5. 会社・団体等の役員	
6. 自営	
7. その他	

【問 11-1】問 11で、2～7を選んだ方にお聞きします。

※現在、産前産後休暇・育児休暇を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

①1週間の平均的な労働日数を教えてください。(あてはまる番号 1 つに○)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数

1. 1日	2. 2日	3. 3日	4. 4日	5. 5日	6. 6日	7. 7日
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

②働いている日の平均的な労働時間(残業時間を含む)を教えてください。(○は1つ)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間

1. 2時間未満	2. 2～4時間未満	3. 4～6時間未満
4. 6～8時間未満	5. 8～10時間未満	6. 10～12時間未満
7. 12時間以上		

③お仕事には平日の日中以外の勤務もありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 早朝勤務(朝5～8時)	2. 夜間勤務(夜8～10時)
3. 深夜勤務(夜10～朝5時)	4. 土曜出勤
5. 日曜・祝日出勤	6. 1から5にあてはまる勤務はない
7. わからない	

父親のお仕事について

【問 12】お子さんの父親(または父親にかわる方)の現在のお仕事の状況を教えてください。

(あてはまる番号 1 つに○)

※現在、育児休暇を取得している方は、就労時の状況をお答えください。
※母子世帯など、お子さんの父親がいらっしゃらない場合は問 13へお進みください。

1. 働いていない	⇒問 13へ
2. 正規の職員・従業員	} ⇒問 12-1へ
3. 派遣職員・契約社員・嘱託・日雇い・非常勤職員	
4. パート・アルバイト	
5. 会社・団体等の役員	
6. 自営	
7. その他	

【問 12-1】問 12で、2～7を選んだ方にお聞きします。

※現在、育児休暇を取得している方は、就労時の状況をお答えください。

①1週間の平均的な労働日数を教えてください。(あてはまる番号 1 つに○)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた日数

1. 1日	2. 2日	3. 3日	4. 4日	5. 5日	6. 6日	7. 7日
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

②働いている日の平均的な労働時間(残業時間を含む)を教えてください。(○は1つ)

※複数のお仕事をしている場合はすべて合わせた時間

1. 2時間未満	2. 2～4時間未満	3. 4～6時間未満
4. 6～8時間未満	5. 8～10時間未満	6. 10～12時間未満
7. 12時間以上		

③お仕事には平日の日中以外の勤務もありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 早朝勤務(朝5～8時)	2. 夜間勤務(夜8～10時)
3. 深夜勤務(夜10～朝5時)	4. 土曜出勤
5. 日曜・祝日出勤	6. 1から5にあてはまる勤務はない
7. わからない	

収入などについて

【問 13】お子さんと生計(家計)を共にしている方全員の収入を合わせた、昨年の「世帯の年間手取り収入(ボーナス含む手取り額)」を教えてください。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額をお答えください。(あてはまる番号 1 つに○)

世帯収入(合算値) ※世帯全体の年間、ボーナス含む手取り額		
1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700～800万円未満
13. 800～900万円未満	14. 900～1000万円未満	15. 1000万円以上

【問 13-1】問 13の世帯の手取り収入のうち、お子さんの母親(または母親にかわる方)のおよその年間収入を教えてください。(あてはまる番号 1 つに○)

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700万円以上
13. 収入はない	14. わからない	15. 母親はいない

【問 13-2】問 13の世帯の手取り収入のうち、お子さんの父親(または父親にかわる方)のおよその年間収入を教えてください。(あてはまる番号 1 つに○)

1. 50万円未満	2. 50～100万円未満	3. 100～150万円未満
4. 150～200万円未満	5. 200～250万円未満	6. 250～300万円未満
7. 300～350万円未満	8. 350～400万円未満	9. 400～500万円未満
10. 500～600万円未満	11. 600～700万円未満	12. 700万円以上
13. 収入はない	14. わからない	15. 父親はいない

現在の暮らしについて

【問 14】あなたは次に挙げるA～Cの事柄で頼れる人はいますか(○は1つ)。また、「1. いる」と答えた方にお聞きします。それは誰ですか。

(それぞれ、あてはまる番号すべてに○)

	①頼れる人はいますか (○は1つ)	②それは誰ですか (あてはまる番号すべてに○)						
		家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	福祉・支援機関や福祉の人員	その他
A. 子どもの世話や看病	1. 頼れる人がいる 2. いない 3. そのことで人に頼らない	1	2	3	4	5	6	7
B. 重要な事柄の相談	1. 頼れる人がいる 2. いない 3. そのことで人に頼らない	1	2	3	4	5	6	7
C. いざという時のお金の援助	1. 頼れる人がいる 2. いない 3. そのことで人に頼らない	1	2	3	4	5	6	7

【問 15】あなたは、ご家庭の現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(○は1つ)

1. 大変ゆとりがある	2. ゆとりがある	3. ふつう
4. 苦しい	5. 大変苦しい	

【問 16】最近の物価高騰で生活は苦しくなったと感じていますか。(○は1つ)

1. おおいに感じる	2. ある程度感じる	3. あまり感じない	4. まったく感じない
------------	------------	------------	-------------

【問17】 次のものうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

- | | |
|-------------------------|---------------------|
| 1. 子どもの年齢に合った本 | 2. 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ |
| 3. 子どもが自宅で宿願をすることができる場所 | 4. テレビ |
| 5. 自家用車 | 6. エアコン |
| 7. 電話(固定電話・携帯電話を含む) | 8. インターネットにつながるパソコン |
| 9. 冷蔵庫 | 10. 洗濯機 |
| 11. 急な出費のための貯金(5万円以上) | 12. あてはまるものはない |

【問18】 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で家族が必要とする食料や衣料が買えないことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

- ハ. 食料が買えなかった経験
- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

- ヒ. 衣料が買えなかった経験
- | | | | |
|----------|------------|-----------|-------------|
| 1. よくあった | 2. ときどきあった | 3. まれにあった | 4. まったくなかった |
|----------|------------|-----------|-------------|

【問19】 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下のA～Hのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	あった	なかった	該当しない (必ず必要がない)
A. 電話料金	1	2	3
B. 電気料金	1	2	3
C. ガス料金	1	2	3
D. 水道料金	1	2	3
E. 家賃	1	2	3
F. 住宅ローン	1	2	3
G. 税金・社会保険料	1	2	3
H. その他の債務	1	2	3

9

人生経線について

【問20】 お子さんの母親が最後に卒業されたのは次のどれですか(中退は卒業に含まれません)。

- (あてはまる番号1つに○)
- | | | |
|----------|-----------|-----------------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 | 3. 各種専門学校(高校卒業) |
| 4. 短大・高专 | 5. 大学・大学院 | 6. その他 |

【問21】 お子さんの父親が最後に卒業されたのは次のどれですか(中退は卒業に含まれません)。

- (あてはまる番号1つに○)
- | | | |
|----------|-----------|-----------------|
| 1. 中学校 | 2. 高校 | 3. 各種専門学校(高校卒業) |
| 4. 短大・高专 | 5. 大学・大学院 | 6. その他 |

制度などの利用について

【問22】 あなたのご家庭では、以下の支援制度等を、これまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由にもっとも近いものに○をつけてください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	現在利用している	以前利用したことがある	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない				それ以外の理由
				利用はできるが、特に利用したくないと思わなかったから	利用したいが、手続がわからなかったり利用しにくいから	制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから	今までこの支援制度を知らなかったから	
A. 児童手当	1	2	3	4	5	6	7	
B. 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	7	
C. 就学援助	1	2	3	4	5	6	7	
D. 生活保護	1	2	3	4	5	6	7	
E. 児童相談所(児童福祉司)	1	2	3	4	5	6	7	
F. スクールカウンセラー	1	2	3	4	5	6	7	
G. スクールソーシャルワーカー	1	2	3	4	5	6	7	
H. 高等学校等就学支援金	1	2	3	4	5	6	7	
I. 奨学のための給付金	1	2	3	4	5	6	7	
J. 母子父子寡婦福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6	7	
K. 生活福祉資金貸付金	1	2	3	4	5	6	7	
L. こども医療費助成金	1	2	3	4	5	6	7	
M. 生活困窮者の自立支援相談窓口	1	2	3	4	5	6	7	

10

【問23】 あなたが現在必要としていること、重要だと思う支援等は何のようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること |
| 2. 同じような悩みを持った人同士で知り合えること |
| 3. 民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること |
| 4. 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること |
| 5. 病気や障害のことなどについて専門的な支援が受けられること |
| 6. 就職のための支援が受けられること |
| 7. 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること |
| 8. 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること |
| 9. 子どもの就学・進学にかかる費用が軽減されること |
| 10. 一時的に必要な資金を借りられること |
| 11. その他(具体的に:) |
| 12. わからない |

【問24】 最後に、暮らしやお仕事、お子さんについてなど、制度や支援策へのご要望やご意見などありましたら自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

11

ひとり親家庭自立促進計画策定に係る
アンケート調査報告書

目次

1. ひとり親家庭自立促進計画策定に係るアンケート調査の概要.....	331
2. ひとり親家庭自立促進計画策定に係るアンケート調査結果	332
問1 回答者の年齢・生計を一つにしている20歳未満のお子さんの年齢.....	332
問2 父子家庭・母子家庭・養育者のどれにあてはまるか	332
問3 各ひとり親支援策について知っているか、利用したことがあるか、今後利用したいか	333
問4 必要としている支援について.....	333
問5 現在取得している資格、その中で役に立ったもの、今後取得したいと考えているもの	334
問6 ひとり親家庭への支援について要望（自由意見）	335
参考資料 ひとり親家庭自立促進計画策定に係るアンケート調査票.....	344

1. ひとり親家庭自立促進計画策定に係るアンケート調査の概要

(1) 調査の目的

宜野湾市では平成 30 年 3 月に策定した「第三次宜野湾市ひとり親家庭自立促進計画」を推進してきた。本調査は、この計画の期間が令和 6 年度までとなっていることから、これを見直し、次期計画（令和 7 年度～令和 11 年度）に反映させるための基礎資料を得ることを目的として実施した。

(2) 調査の対象者

児童扶養手当受給者等 1,622 人

(3) 調査方法

現況届等の通知にアンケート調査票を同封し、紙に記入して提出もしくはインターネット回答を行うよう依頼。

(4) 回収率

	配布数	有効回収数	回収率
児童扶養手当等受給者	1,622	1,122	69.17%

(5) 実施期間

令和 5 年 7 月 14 日（金）～令和 5 年 9 月 29 日（金）

(6) 調査票の見方

回答は、原則として各質問の「回収有効票」を基数（N）とした百分率（％）で表し、小数第 2 位を四捨五入している。このため、百分率の合計が 100％にならない場合がある。また、2 つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が 100％を超える場合がある。

2. ひとり親家庭自立促進計画策定に係るアンケート調査結果

問1 回答者の年齢・生計を一つにしている20歳未満のお子さんの年齢

あなたの現在の年齢と生計を一つにしている20歳未満のお子さんの人数と年齢を教えてください。

①回答者の年齢

「40代」が最も高く、次いで「30代」となっている。

単位（人）

		全体	20歳以下	20代	30代	40代	50代	60代以上	無回答
全体		1122 100.0	3 0.3	120 10.7	375 33.4	454 40.5	158 14.1	3 0.3	9 0.8
世帯別	父子家庭	70 100.0	0 0.0	4 5.7	24 34.3	31 44.3	11 15.7	0 0.0	0 0.0
	母子家庭	1018 100.0	3 0.3	112 11.0	342 33.6	411 40.4	141 13.9	1 0.1	8 0.8
	養育者	7 100.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3	2 28.6	2 28.6	1 14.3
	問2で無回答の方	27 100.0	0 0.0	3 11.1	9 33.3	11 40.8	4 14.8	0 0.0	0 0.0

②20歳未満の子どもの人数

子どもの人数は、「1人」が最も高く、次いで「2人」となっており、3人～6人以上の多子世帯は約2割程度となっている。

単位（人）

		全体	1人	2人	3人	4人	5人	6人以上	無回答
全体		1122 100.0	526 46.9	398 35.5	129 11.5	49 4.4	12 1.1	5 0.4	3 0.3
世帯別	父子家庭	70 100.0	32 45.7	22 31.4	10 14.3	2 2.9	1 1.4	3 4.3	0 0.0
	母子家庭	1018 100.0	479 47.1	368 36.1	115 11.3	44 4.3	10 1.0	1 0.1	1 0.1
	養育者	7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3
	問2で無回答の方	27 100.0	11 40.8	7 25.9	3 11.1	3 11.1	1 3.7	1 3.7	1 3.7

問2 父子家庭・母子家庭・養育者のどれにあてはまるか

あなたはどちらにあてはまりますか。

「母子家庭」が90.7%で最も高く、「父子家庭」が6.2%、「養育者」が0.6%となっている。

全体	父子家庭	母子家庭	養育者	無回答
1122	70	1018	7	27
100.0	6.2	90.7	0.6	2.4

問3 各ひとり親支援策について知っているか、利用したことがあるか、今後利用したいか。

次のひとり親支援を知っていますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。また、利用したことがあるもの、今後利用したいと考えているものすべてに○をつけてください。

認知度が最も高い支援は「自立支援教育訓練給付金事業」、次いで「ひとり親家庭子どもの生活・学習支援事業」であった。利用したことがある支援では「高等職業訓練促進給付金等事業」、「パパ・ママお仕事応援事業」、今後利用したい支援では「ひとり親のお父さん・お母さんへサポートガイドブック」と回答した人が最も多かった。

単位：人

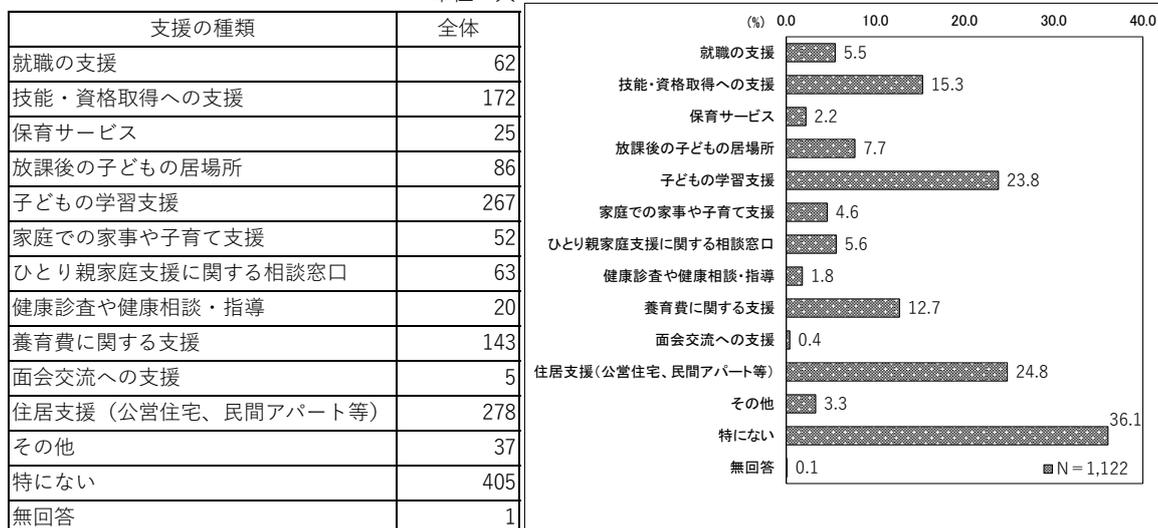
ひとり親家庭への支援の名称	知っている	利用したことがある	今後利用したい	どれにもあてはまらない
高等職業訓練促進給付金等事業	534	35	92	505
自立支援教育訓練給付金事業	594	22	101	1005
ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業	285	2	91	1061
パパ・ママお仕事応援事業	496	35	109	522
ひとり親家庭子どもの生活・学習支援事業	550	32	175	409
ひとり親のお父さん・お母さんへサポートガイドブック	304	10	221	600
母子・父子自立支援員相談支援	493	23	109	524
母子・父子自立支援プログラム策定事業	354	10	90	681
ひとり親家庭住宅支援資金貸付（沖縄県の事業）	405	22	159	569
沖縄県離婚前後親支援モデル事業（沖縄県の事業）	128	3	75	919
母子及び父子並びに寡婦福祉資金（沖縄県の事業）	320	19	150	658
ひとり親家庭等日常生活支援事業（沖縄県の事業）	439	16	128	559

問4 必要としている支援について

あなたが現在必要としている支援について、次の中から2つまで選んでください。

必要としている支援は、「特にない」が最も高く、次いで「住居支援（公営住宅、民間アパート等）」、「子どもの学習支援」、「技能・資格取得への支援」となっている。

単位：人



【その他】

調剤事務
パソコン基礎
ネイル
資格ではなく、経験
知識は取得できた

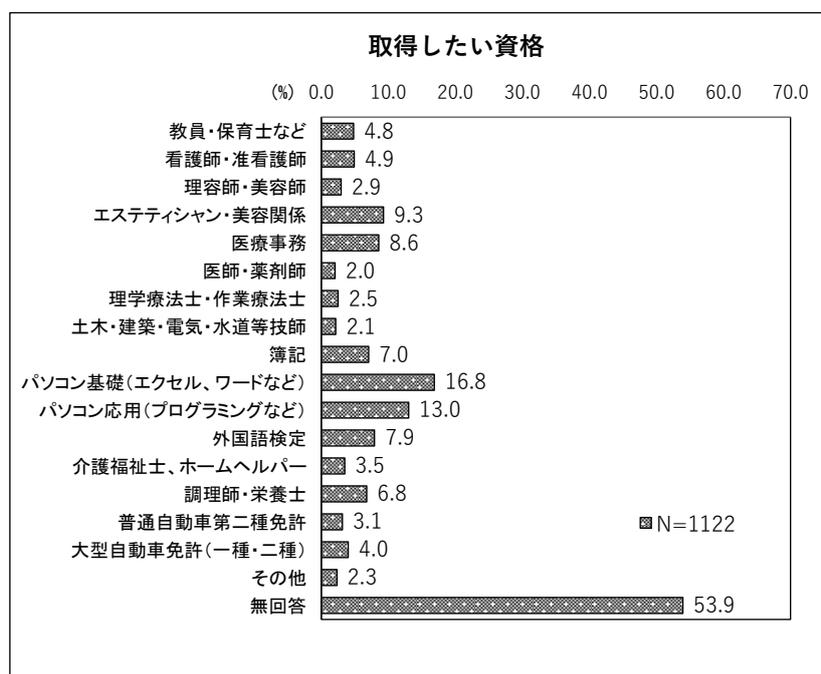
問5 現在取得している資格、その中で役に立ったもの、今後取得したいと考えているもの。

あなたが現在取得している資格等、その中で仕事に役立ったもの、今後取得したいと考えているものに○を記入してください。

取得している資格、役立った資格については「パソコン基礎（エクセル、ワードなど）」が最も高く、次いで「普通自動車第二種免許」、「簿記」となっている。

今後取得したい資格については、「パソコン基礎（エクセル、ワードなど）」が最も高く、「パソコン応用（プログラミングなど）」、「エステティシャン・美容関係」となっている。

資格の種類（複数回答）	①取得している （いくつでも ○）	②役立った （いくつでも ○）	①と②どちら もあてはまら ない	取得したい （○は3つま で）
教員・保育士など	77	21	1045	54
看護師・准看護師	29	12	1093	55
理容師・美容師	27	6	1095	33
エステティシャン・美容関係	62	10	1060	104
医療事務	69	17	1053	96
医師・薬剤師	0	0	1122	23
理学療法士・作業療法士	4	3	1118	28
土木・建築・電気・水道等技師	18	8	1104	24
簿記	169	55	953	79
パソコン基礎（エクセル、ワードなど）	248	90	874	189
パソコン応用（プログラミングなど）	40	17	1082	146
外国語検定	66	21	1056	89
介護福祉士、ホームヘルパー	69	25	1053	39
調理師・栄養士	40	17	1082	76
普通自動車第二種免許	240	74	882	35
大型自動車免許（一種・二種）	19	3	1103	45
その他	29	10	1093	26
無回答	-	-	-	605



【その他】

宅地建物取引士
フィナンシャルプランナー
社会福祉士
精神保健福祉士
社会保険労務士
公認心理師
衛生管理者
言語聴覚士
鍼灸師
手話
EQ絵本講師
登録販売者資格
ITやDXに関わる資格等
WEBデザイン（在宅でできる仕事）
パターンナー
ネイル

問6 ひとり親家庭への支援について要望（自由意見）

回答者から挙げられたご意見を、主な項目に整理すると以下の通りである。

区分	件数
生活・子育てについて	32
住まいについて	15
就労について	2
児童扶養手当について	18
養育費について	5
税制・支援制度について	53
相談体制・情報提供について	11
その他（上記以外）	8

自由意見ー生活・子育てについて
ヘルパー派遣の充実 例) 家事代行、利用頻度、公園へ連れてってくれる人、複数ではなく特定の人、決まった人であること、など。
周りに身寄りがなく子どもが手術で入院時、長男をみてくれる人が中々みつからず困った。ヘルパー事業は単発でしか利用できないので、児相等（DV等で一時保護になるので利用しにくい。）宿泊が気軽に利用しやすい場所があると子育てしやすい。
生活が厳しいから勤務時間も減るし、困る。働いても生活がうるおわない。子どもの為に貯金を残せないのがつらい。学校でつかうのは、無料だけどこの先もっと物価が上がったら、どうなるのか心配。日々、黙々と頑張るのみ。
県や市の手当てに満足していますが、近くに家族がないので自分が病気になった時、子どもをどうしたらいいか考えたりします。
コロナ、インフルエンザに子供がかかると、5日以上仕事を休まなくてはならず、有給が無くなると欠勤の為、給与の減に度々、困ります。台風時です。
Teen support room 沖種は、とても素晴らしい取り組みで利用したいのですが、部活動をしているので、帰りが遅く利用出来ないのが残念です。
高校卒業後、専門学校や大学へ行く場合の教育費が大変。1人分は中部福祉事務所から借入れできたが、2人目は、保証人が必要で、金融機関から借りた。もう少し何か支援がないものか。養育費ももらってなくてWワークして苦しい。
学童に入りやすくしてほしい。ひとり親でも共働きでも学童に入れなかったら、仕事がきびしい。
息子の学習意欲が非常に高く、中学受験をしたいと言っています。しかし中学受験に特化している学習塾の受講料は高く、通わせてあげられるか不安ですし、息子に対して申し訳ない気持ちです。そこでほんの少しでも受講料の負担を軽減していただけるような支援を要望したいです。

同居者の税が課税されてるために、就学援助が受けれない事があります。手取りも12～13万で、奨学金の返済や税金の支払いなどで、毎月の生活費もそんなに入れてもらってる訳でもないです。各家庭が高収入じゃない限り、支援をしてくれるようにしてほしいです。
子供は3人いるが、2人は大学生、1人は高校生です。3人とも勉強をしながらバイトをしているが、バイトも少なく、家計はとてもきびしい状態です。大学生のサポートがあれば、とても助かります。バイトと勉強の両立も大変。親も副業をしたいが、それもむずかしいし、できない。大学生になって社会人になるまでは、サポートがほしい。
児童が小学校へ入学後の学童クラブを確保できるか不安です。どのように予約し手続きをしたらいいのか市のホームページにのせて頂きたいです。ひとり親家庭は優先的に入所できるなどの支援があるとありがたいです。
高校3年間で卒業できなかった場合は、給付金の対象者に当てはまらないのが気になります。
子どもの生活や未来にかかわる事を重点的に支援してほしいです。経済的な問題で子どもの将来がせばめられるような状況は何としてでも避けたいと思っています。 子どもの心理的ケアの支援もあったらいいと思います。ひとり親だと子ども自身も感情を抑圧して生活している部分があっても親がそれに気づけない事があると思います。親に話せない事があっても、1人で抱え込まない環境づくりをしたいです。
支援が必要な子がいるのに、特別児童扶養手当の対象外になる家庭への補助があればありがたいなと思います。金銭的なものが1番ですが、それ以外に例えば民間の子供発達障害支援アドバイザーのような講座の受講料が、教育訓練講座のように給付対象になるといいなと思います。うるま市の児童館のように夕方から夜にかけて中高生が利用できるような施設があれば、子供が成長した時に行く場所があって安心できると思います。
朝から夜まで働いているので、子供の勉強を見る事がなかなか出来ないの、学習支援が、あったら良いと思う。家庭教師的な。
どうしても、子どもの預け先のない、ひとり親家庭に対して、いつでも安心して預けられるシッターさんや、数時間単位であずけられる保育園等を完備してくれたらと思う。
ひとり親として子育てをしていく中で不安も多いですが、宜野湾市は支援も多く、とても助かっております。ありがとうございます。
引っ越して来たばかりで、支援の内容が分かりませんが、自分（世帯主）が入院した時、子供二人の支援をお願いできれば助かります。
学習支援の場所と回数をもっとふやして欲しい。次男（中1）が不登校になっているので、勉強をサポートしてもらえる機会があれば助かる。
もっと情報提供をしてほしい。子どもの居場所が地区によってかたよっているように感じる。生活のため、フルタイムで働いているので、送迎の支援がほしい。
収入も少なく、物価は上がっていくばかりで、生活への不安しかありません。もっと安心して生活、子育てしていける支援を要望します。
ファミリーサポートセンターサービスをもっと充実させてほしい。もっと広く広報してほしい。

<p>子供を育てる為に仕事をしながら学校に通い転職しました。朝も子供より先に家を出て、子供より遅く帰宅し、学校が休みの日も仕事になりました。収入は以前よりも上がったものの、母子手当は、大幅に減額され、就学援助も給付対象外になり、明らかに以前より生活苦になっています。新入学時の就学援助支援は、とても大きいです。来年中学生になります。ひとり親への支援の見直しを希望します。</p>
<p>さまざまな支援を行っているが、それでも物価は上がり、足りないのが、本音です。市からも県からも支援をしてほしい。(夏休みも入り、きつい) 子供食堂をもっとしてほしい。月1回では少ない。</p>
<p>ファミリーサポートセンターを利用したいと思いますが、年間 6000 円ではすぐに無くなり、料金を支払いながら仕事を続けていく事が、とても厳しかったです。就職できていても、所得を押さえて働かなければならない状況となりました。頼れる方が近くにいないひとり親家庭の方が、料金(子どもをあずける事ができて)を気にせず、働ける制度をつくってほしいです。</p>
<p>高校卒業まで医療費現物給付を継続してほしい。その他にも高校卒業まで支援が継続して頂けたら生活が安定する世帯は多いと思います。</p>
<p>子供の居場所を作ってもらいたい。 仕事が忙しく、又収入を得たい為に、一人にしている時間が多いので見守り等のサービスがあるとよい。</p>
<p>ひとり親になっても非課税世帯にならなかったことで、子供の通塾支援を受けられず、塾に行かす事が出来なかったり、高校でも非課税世帯ではないことで受けられない支援もあります。一人の収入で、毎月赤字状態。生活資金としての借入れも多く、パンクするのもそのうちです。非課税世帯の方が様々な支援を受けることが出来、裕福に生活しているように思える時もあります。どうか、支援の幅を広げて頂きたいです。 宜しくをお願いします。</p>
<p>娘が大学進学を考えており、学費等の支援策があれば教えて頂きたい。</p>
<p>県外大学進学にかかる費用等への支援制度のわかりやすい案内等</p>
<p>大学進学に向けて、学費が心配。 ネットで調べてはいますが、よくわからない。 どういった支援があるのか、どこで聞けるのか等もう少し情報がほしいです。</p>

<p>自由意見ー住まいについて</p>
<p>ひとり親家庭は家賃半分にして下さい。(給与によって何割負担とか) 市役所へ何か手続きとか行くことになった時、仕事を休まないといけなくなる(その分、給与控除される。)ので、電子申請などにしてほしいです。</p>
<p>物価高もあり、家賃が重たい。ガス・電気代の節約は限界があり、これからの生活に不安を強く感じます。市民の皆様の税金を無駄にしないよう、親子共々、頑張ります。</p>
<p>子どもの塾の費用が中3からではなく、中1からしてほしい。市営・県営住宅入居をもっと入りやすくしてほしい。</p>
<p>住居に困窮していますが、市営住宅へ応募するも確率が高すぎて…狭き門すぎます…</p>

住居支援をしてほしい
母子家庭で、市営、県営団地申し込み期間を長くしてほしい。
住居支援の相談したいです。
民間アパート、住宅など住居支援（金銭面で、例えば収入などに関係なく〇〇円支給、補助など）があると、とても助かります。
家賃保証してほしい。
家賃安くなる制度がほしい。
公営住宅の倍率も高く、宜野湾市も地価が上がり家賃も上昇していて、居住支援があると助かると思います。
家賃の負担がとても大きくきついで、公営住宅など支援があると助かります。
賃貸住宅に住んでるひとり親家庭に家賃の補助制度があってほしい。正社員で働いていても、家賃を払うのは大変。
一番出費の大きい住居支援が受けられるようにしてほしいです。子ども進学、通学にかかる費用の支援の拡充。ひとり親に限らず全ての子どもたちが進みたい道へ進めるように。
家賃補助。習い事手当などがあれば嬉しい。母子家庭で習い事が出来ない（お金がない）では、子供にひもじい想いをさせてしまう。

自由意見—就労について
看護師免許取得の際、高等職業訓練促進等給付金を活用し、無事卒業することができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。
在宅ワークが可能なら、うつを治してチャレンジ出来るならやってみたいが、まだまだ気持ちに波があり、考えるとあせりとストレスになって、なかなか実現が難しいのが現状です。

自由意見—児童扶養手当について
元夫が、同じ市内に居住しているという理由で、現況届の時期に、前夫の住所や別居した日を書かされる事。毎回、精神的苦痛です。勝手に近くに住んでいる。
今は、すべての物が高騰し、生活が苦しい状況。手当額も上げるべきだと思います。
個人的に転職をして社会に対応していこうと努力はしますが、インフレで、物価高騰と円の価値も下がっているので、児童扶養手当や児童手当も円の価値が下がった分、支給額を上げて欲しいと嘆願します。実質的には減っていったらとも捉えております。
頑張って働いて、やっと少し給与が上がったと思ったら、児童扶養手当の支給額が減るといいう仕組みを見直してほしい。働けば働くほど、手当額が減っていく。生活が苦しいから、身も心も時間も削って働いているのに、負のループにしか感じない。
児童扶養手当をひとり親世帯へ一律全部支給にしてほしいです。
離婚した年度に、前年度、子供たちが私の扶養に入っておらず、児童扶養手当が満額もらえず厳しい状況だった。離婚直後に、大変な思いする母子が多いと思う。（フルタイムで勤務している方がある程度申告された年収があるので、扶養対象の年度を当年度にした

ほうがよいと思う。)
母子手当での収入限度額を増やしてほしい。全額支給停止になっている家庭と手当を満額もらえている家庭でトータルすると、支給停止の母親の負担がかなり大きいです。見直しをしてほしいです。
児童扶養手当の金額が増えると助かります。
物価高騰のためもっと児童扶養手当を増やしてほしい。
子が大きくなるにつれて食費や、クラブ活動や光熱費も高くなるので、その分、手当もふやしてほしい。又、3人目の手当は、6千円/月とかなのも、苦しいです。子一人のひとり親と子3人のひとり親の手当額が近い。この先も心配なので、学校(大学)にも行ったりして資格をとり、仕事したいが無理。一生パート生活なのか、子にやりたいことをさせられなくて、つらいです。
年収の増加に伴い、扶養手当受給額が減額になりますが、年々、様々な物価高騰により支出もかなり増加しているため、家計的には厳しい状況がずっと続いている状況です。
就学援助が通りませんでした。年収で250万くらいしかないのに、給与が増えると児童扶養手当は減り、税金はとられ、がんばって収入を増やしても損な気がします。沖縄市のように就学援助は、児童扶養手当を受けとってる方には出すようにしてほしい。
児童扶養手当の所得による受給額の見直し。現在の受給額が維持されないと、次の通知で最低額に下げられると生活できないのでとても困ります
児童扶養手当の所得制限を緩和して欲しい。無理して働いても手当が減ったり免除されていたものがされなくなったり、頑張るだけマイナスになる仕組みがおかしい。沖縄のひとり親に育てられた子供も少しは裕福になっても良いのでは？
児童扶養手当の手当額について、児童が1人の世帯はいいが、2人3人いる世帯は、児童1人世帯と比べて支給額が少なすぎる。平等ではない！児童の数が多ければ多いほどお金はかかるのに、なぜ支給額が大幅に減るのか理解できない。児童1人の支給額を子どもの人数分、同じ額を支給してほしいです！平等をお願いします。
児童扶養手当の所得制限内で働くと生活やっつけいけない。所得制限低すぎる。
所得は、平均に比べて低いので、一部支給停止は、なくしてほしい。
物価高騰しているので、所得制限見直しして欲しいです

自由意見—養育費について
養育費の代行請求(納付書送付手数料負担しても良いので、行政で取り立てる方法)。※約束してもお金がないと言われたら、取り立てが厳しい。
養育費を支払ってもらう為、話しをしてほしい。(中間役的な役割等)
音信不通になった元夫から養育費・慰謝料の回収。
日本における男性への養育義務が法的に甘すぎる。海外では離婚した後、相手がパートナーを見つけるまで給料天引きされる。または妻子へ財産贈与。認知しないと言えば養育や一際の義務から逃れるシステムは、日本女性、母親が強く経済力をつけるしかなく、貧しい状態からなかなか脱出できないシステムとなっている。いくら資格があっても健康、メ

<p>ンタル周りの協力が得られない。本当の親類なしのシングル親では、資格やフルタイムで働くのは難しい。</p>
<p>養育費の未払いが続き、弁護士に相談して調停を行いました。 未払い分を分割で支払うことになりましたが、大変手間なので、役所でも勧告指導があると助かります。</p>
<p>自由意見ー税制・支援制度について</p>
<p>高校・中学のPTA会費など校内金支払いが一気にくるので苦しい。母子家庭は分割とか半分とかならないのか？</p>
<p>ひとり親の非課税の額が135万以下は低すぎる。いろいろな物や生活に必用な物が高くなっている中、収入を増やさないと生きていけないのに税金で取られてきついです。</p>
<p>税金に追われ、生活できません。</p>
<p>申請関係を郵送でも対応して欲しい。休日窓口もありがたいですが、子の病気等で行けないこともあるので。</p>
<p>手続き（児童扶養手当等）に、仕事を休んで何度か行かないといけなくて、ちょっと大変だった。もう少し簡素化出来る部分があるとありがたいです。色々な事に時間がかかり、大変でした…。ネットスーパーの補助等あれば利用したいです。</p>
<p>母子手当、児童手当が無い月が、生活がきびしく感じる。</p>
<p>所得制限により、住民税課税世帯へ。少しでも豊かな生活を求めて転職をくり返し、安定した収入があると次は所得制限のカベにあたりました。非課税世帯の給付金なども該当しなくなり、今まで給付金や手当などの支給をUPしてくれているにもかかわらず、年収を非課税世帯に収まるよう減額を交渉するのは失礼と感じます。今の悩みです。給付金の額は大きいのでとても助かっていました。毎日、不安です。</p>
<p>宜野湾市への要望というより、県へ学割制度を要請して欲しいです。高校生の親の送り迎えが減れば、朝の渋滞も少しは緩和されると思います。</p>
<p>毎月家計逼迫なのに母子家庭関係なく国保が高く払えない</p>
<p>生活保護を受けていますが、児童手当・児童扶養手当・特別児童扶養手当など全部収入認定あつかいされ、家計に余裕がありません。子どもも含めて7人家族なので、手当などは収入認定しないでほしいと思っています。もしそれが難しいなら、もっと給付金など増やしてほしいです。どうか助けて下さい。</p>
<p>高校から色々もっとお金かかるのに、児童手当が中学までは困る。子供が学生の間は、児童扶養手当伸ばしてほしい。</p>
<p>仕事をしていて一定以上の給料をもらおうと支援金も手当も何もなくなるのが納得できない。ひとり親であるだけで大変な事は多々あると思います。市がひとり親の心の支えになるような場所作りをして、お金以外のサポートも手掛けてくれると助かるひとり親も増えると思います。</p>
<p>物価高や、光熱費などの値上がりもあり、生活がきびしくなり、それに対する支援を希望したい。</p>
<p>上下水道代補助もしくは免除。賃貸住宅の補助金などがあると大変助かります。</p>

継続的なお金の支援が欲しい。少額でもかまわないので。毎日が不安です。
手術（入院を伴う）を行ないたいが、長期入院の場合、どのような支援してもらえるか知りたい。
9月から個人事業（塾）を始めます。開業するひとり親への支援金等もあつたら、とても助かります
貸付などがあつたら助かるのですが。月々返済で。
物価上昇による生活費の助けになる様な支援。情報も一部の人にしか届かない。（忙しくて情報収集もままならない）成人（～18才）までの支援も検討して欲しい。
非課税世帯以外にも支援がほしい。
家事サポートの案内が欲しいです。
母子及び父子家庭等医療助成制度を利用させてもらっていますが、子宮頸がんを患っており抗がん剤治療中で、毎月、通院分・入院分・薬局分の3ヶ所に高額医療の限度額まで支払っています。後日、現金で負担分の差額を支給されるそうですが1～2ヶ月後では遅すぎるし、体調が悪く仕事に就いていないので、このままでは生活していけないし治療費も払えません。現物給付を導入してもらいたいです。
本当にお金に困っている片親への支援をもっと強化してほしい。
母子父子寡婦福祉資金の要件があまりにも厳しすぎる。ひとり親が借りやすいものであるべきなのに、何の為の制度かわからない。
精神面をサポートしていただける事業（支援）もあるといいです。仕事がつらく、でも養っていかなければならないので、簡単に転職もできませんでした。相談者もいないので、辛かったです。
ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業についてくわしく話がききたい。
毎月の生活が大変だから仕事頑張っているのに年収のせいで、ひとり親でも給付金ももらえない。結局は学校などの支払いがきついです。独自のひとり親への支援があるとすごく助かると思います。
物価高騰で金銭的な支援がもう少しあると助かります。
少しだけ給料が上がっただけで、非課税世帯該当ならず、支給停止や就学援助打ち切りになる。どうにかして欲しいです。
給付金が欲しい
食料支援をして欲しい
25歳の子が就業しているため就学援助費の申請が通らない。 本人も奨学金等の返済あるため家計の助けにはならないので、非常に困っています。
減税して欲しい
インフルのワクチン無料にしてほしい。（子供は2回なのでキツイ）
子供の運転免許の支援。子供の大学進学の時入学金の免除か、貸付け。
高校生、大学生のひとり親家庭への支援が少ない。アルバイトしながら、学業させたくない。
学校入学時の制服代金の支援の金額を、もう少し上げてほしい。学習塾の月謝の支援。

継続的に、授業料の無償化、給食費の無償化を実施してほしい。教育費が高く、ひとり親世帯は不安が多いし、負担も大きい。
学習塾を無料でうけられるよう支援をお願いしたい。
高校生対象の塾受講に対して給付金、免除等の支援。大学等への進学に対する学費免除（一部でも）につながる支援。家庭の事情ではあるが、高校生の進学（大学等）に対して断念する状況（子どもの貧困）が多い。
認可外（企業指導型）保育園の保育料が、第2子でも、全額支払わないといけないので、認可園と同様に、2人目の支払い免除があるとうれしいです。
今後、小学生、中学生となつてからの教育費や、部活をした時の遠征費など、支援して頂けると助かります。
子供が高校生になつても、制服代など（就学援助のような支援）があつてほしい。
就学援助の対象（収入問わず）にしてほしいです。ファミサポ利用の援助（¥6000）を保育費、学童利用料に使えるようにしてほしいです。ファミサポ利用には事前に予約が必要で、うまく使えず、1度も利用した事がないです。保育園や学童の延長料に使えると助かります。
不登校の子供達の支援所（学校・塾）格安でもほしい。軽食等の施設。
もっと子育てにおける金銭面を考慮してほしい。
大学にお金がかかるので、教育支援のための給付金があつてほしい
高校生修学旅行費用支援
金銭的な支援拡大を望みます。教育費が増大しておりますが、支出を減額することは、やはりできません。 学費だけでも、援助願いたいです。
高校生の支援制度の拡大と充実性
子供の高校受験や大学受験に向けて、無料で塾に通える支援があると助かります
給食費の無償化を1年だけじゃなくて、義務教育の間してほしい。
子供への学習支援を今後も続けていただけると助かります。よろしくお願ひします。

自由意見ー相談体制・情報提供について
ラインとかで相談できるようになれば嬉しい（18～21時くらいで）。
気軽に子育ての相談が出来る窓口があると良い。平日、昼間なんかに市役所へ出向けない。
児童扶養手当制度をよくわからず、離婚後数年間受給（申請）できずにいました。情報提供の発信等をわかりやすくしていただくと助かるかと思ひます。
どんな支援が受けられるのか、対象なのか分からない事が多い。
私は自分からすすんで市役所へ相談に行きます。そうではない母子父子家庭の方々でも気軽に相談して解決できる仕組みをつくつてほしいです。
宜野湾市のひとり親家庭の支援サービスをあまり知らないなので、これから必要な時は利用してみたいです！

一時的な支援がない。状況に応じた支援ない。窓口は、土曜日、夕方以降も必要。
大学進学についての情報、特に奨学金について。学校からも情報をもらえるが、もっとこまかい情報や支援があると助かると思った。
もう少し情報が開けていたら良いと思う。あと、市独自の支援が増えていくとうれしい。
色々考えてくださりありがとうございます。若くて子供を産んだ人で、情報ももっていない人達に、支援や働き方や生活のサポートがある事を、声がけして教えられるようなことが出来ても良いなと思います。
母子家庭への色々な手続きで児童家庭課へ行き必要な手続きを済ませました。その際、必要な手続きのみの案内でした。後日友人や周りの人達から給付金の申請や母子家庭の特別制度等教えてもらいました。私は、金銭的にも余裕がなかったので窓口でもっと聞き取りをして、受けられる制度や援助などの情報をいただけなかったことが残念でした。困っていることはありますか？金銭面や生活の面はどうしているのか、もう少し寄り添ってくれてもいいのにな、と思いました。対応が悪かったわけではありません。

自由意見ーその他（上記以外）
今後とも住み良い宜野湾市を意識して頂きたいです。
色々な面で支援いただきありがとうございます。コロナ禍で大変な時期もありますが、給付金などちよくちよく出てくれて本当に助かっています。
色々支援助を受けとても助かっています。
ひとり親家庭についての支援やサービスに感謝しております。ありがとうございます。
ひとり親家庭への支援が手厚くとても安心します。ありがとうございます。
十分な支援だと思うので、特にありません。
ひとり親と聞くとほとんどが離別だと捉えられると思うが、死別のひとり親家庭の支援もあるといいなと思う。交流会等があれば行ってみたい。
いつもありがとうございます。娘たちも支援のおかげで塾に通ったり、以前は沖国大の生徒さんと交流してみたりと、心も頭（勉強）も日々成長しています。感謝。

参考資料 ひとり親家庭自立促進計画策定に係るアンケート調査票

児童扶養手当受給者の皆様

宜野湾市ではこれまで「第三次宜野湾市ひとり親家庭自立促進計画」に沿ってひとり親家庭支援を推進してまいりました。今回、これまでの取組を振り返り、「第四次宜野湾市ひとり親家庭自立促進計画」を策定しさらに充実した支援とするため、皆様のご意見をお聞かせください。

※回答は送られてきた封筒に記載されていた宛名のご本人が記入してください。

宜野湾市長 松川 正則

問1 あなたの現在の年齢と生計を一つにしている20歳未満のお子さんの人数と年齢を教えてください。

- ① あなたの年齢 歳 ② 20歳未満のお子さんの人数 人
- ③ 20歳未満のお子さんの年齢 歳・ 歳・ 歳・ 歳・ 歳

問2 あなたはどちらにあてはまりますか。○をつけてください。

1. 父子家庭 2. 母子家庭 3. 養育者（祖父母・おじ・おば 等）

問3 次のひとり親支援を知っていますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。また、利用したことがあるもの、今後利用したいと考えているものすべてに○をつけてください。

	ひとり親家庭への支援の名称及び支援内容	知っている	利用したことがある	今後利用したい	はまらない	どれにもあてはまらない
1	高等職業訓練促進給付金等事業 母子家庭の母、または父子家庭の父が、看護師や保育士等の資格取得のために、1年以上養成機関で修業する場合、修業期間の生活費の支援を行っています。（6か月以上の修業で受給できる場合があります。）					
2	自立支援教育訓練給付金事業 ひとり親家庭の親が自立に向けて教育訓練講座を受講し、修了した場合、受講料として支払った費用の一部を支給します。					
3	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 高等学校を卒業していないひとり親家庭の親又は児童が、高等学校卒業程度認定試験の合格を目指して、民間事業者が実施する対策講座を受講する場合、受講料の一部を給付します。					
4	パパ・ママお仕事応援事業 ハローワーク沖縄と連携し、早期就労を希望するひとり親に対して、これまでの職歴や適性等に応じたきめ細やかな就労相談や、資格取得のための講座の案内等を行っています。					
5	ひとり親家庭子どもの生活・学習支援事業 大学生のボランティアと連携し、市内のひとり親家庭の中学生を対象に、学習のサポートや体験活動、居場所づくり等を行っています。					
6	ひとり親のお父さん・お母さんへサポートガイドブック ひとり親家庭の支援制度やお役立ち情報をまとめたガイドブックを作成し配布しています。					
7	母子・父子自立支援員相談支援 児童家庭課にひとり親の困りごとについて相談できる母子・父子自立支援員を配置しています。					
8	母子・父子自立支援プログラム策定事業 相談者の自立目標や生活状況等から自立支援プログラムを策定し、各関係機関と連携して就労支援等を行います。					
9	ひとり親家庭住宅支援資金貸付（沖縄県の事業） 「母子・父子自立支援プログラム」の策定を受け、自立に向けて求職活動や資格取得等に意欲的に取り組むひとり親家庭に対して、住居の借り上げに必要な資金（家賃）を無利子無担保で貸し付けます。					
10	沖縄県離婚前後親支援モデル事業（沖縄県の事業） 養育費に係る公正証書等の作成に係る費用や養育費保証契約を締結する際の初回本人負担費用について補助金を交付します。					

11	母子及び父子並びに寡婦福祉資金（沖縄県の事業） 母子及び父子ならびに寡婦の経済的自立を助け、扶養している児童の福祉を増進することを目的とした貸付事業です。				
12	ひとり親家庭等日常生活支援事業（沖縄県の事業） 一時的に家事・育児が困難になったときにヘルパーを派遣します。				

問4. あなたが現在必要としている支援について、次の中から2つまで選んでください。

1	就職の支援	8	健康診査や健康相談・指導
2	技能・資格取得への支援	9	養育費に関する支援
3	保育サービス	10	面会交流への支援
4	放課後の子どもの居場所	11	住居支援（公営住宅、民間アパート等）
5	子どもの学習支援	12	その他（ ）
6	家庭での家事や子育て支援	13	特にない
7	ひとり親家庭支援に関する相談窓口		

回答欄	

問5. あなたが現在取得している資格等、その中で仕事に役立ったもの、今後取得したいと考えているものに○を記入してください。

	資格の種類	① 取得している (いくつでも○)	② 役立った (いくつでも○)	③ ①と②どちらも あてはまらない	④ 取得したい (○は3つまで)
1	教員・保育士など				
2	看護師・准看護師				
3	理容師・美容師				
4	エステティシャン・美容関係				
5	医療事務				
6	医師・薬剤師				
7	理学療法士・作業療法士				
8	土木・建築・電気・水道等技師				
9	簿記				
10	パソコン基礎（エクセル、ワードなど）				
11	パソコン応用（プログラミングなど）				
12	外国語検定				
13	介護福祉士、ホームヘルパー				
14	調理師・栄養士				
15	普通自動車第二種免許				
16	大型自動車免許（一種・二種）				
17	その他（ ）				

問6. 自由意見

本市のひとり親家庭への支援について要望することなどありましたらご自由にお書きください。